

土木学会認定CPDプログラム

土木学会 平成29年度全国大会 案内

Japan Society of Civil Engineers 2017 Annual Meeting

大会テーマ

土木の将来と国際化 ～世界的課題への挑戦、世界に通じるDOBOKUへ～

日時：平成29年9月11日（月）～13日（水）

会場：九州大学伊都キャンパス、アクロス福岡 福岡シンフォニーホール
（特別講演会・全体討論会）、ソラリアプラザ1F イベントスペース・
ゼファ（パネル展示）、ソラリア西鉄ホテル（交流会）

主催：公益社団法人 土木学会

共催：九州大学

全国大会情報

<http://www.jsce.or.jp/taikai2017/>

本附録の掲載情報は、2017年7月31日現在のものです。
掲載情報が変更になっている場合もございますので、ホームページも合わせてご確認ください。

QRコード



平成29年度全国大会参加者へのアンケートご協力をお願い

<http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/node/119>

全国大会参加者へのサービス向上と運営の効率化のため、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

（2017年9月30日までにご回答ください）

QRコード



「土木学会全国大会案内」

日時：平成29年9月11日(月)～13日(水)

会場：九州大学伊都キャンパス、アクロス福岡 福岡シンフォニーホール (特別講演会・全体討論会)、ソラリアプラザ1F イベントスペース・ゼファ (パネル展示)、ソラリア西鉄ホテル (交流会)

大会テーマ 「土木の将来と国際化

～世界的課題への挑戦、世界に通じるDOBOKUへ～」

CONTENTS

◆挨拶・講師等のプロフィール

土木学会平成29年度全国大会を迎えて	3
基調講演会講師の紹介	4
特別講演会講師の紹介	5
全体討論会の趣旨と講師の紹介	7

◆全国大会会場案内・大会行事

会場所在地・アクセス	8
九州大学伊都キャンパス会場図	10
大会スケジュール	11

◆行事案内

(1) 基調講演会	16
(2) 特別講演会	16
(3) 全体討論会	16
(4) 第72回年次学術講演会	16
(5) 研究討論会	17
(6) 交流会	17
(7) International Programs (国際関連行事)	17
(8) 映画会	18
(9) パネル展示	19
(10) 見学会	19
(11) アンサンブルシヴィル演奏	20
九州大学伊都キャンパス会場でのインターネット接続	20
年次学術講演会講演要領	20
ウィルス対策について	22
年次学術講演会優秀講演者表彰制度について	23

◆研究討論会等内容紹介

研究討論会一覧	24
---------------	----

◆第72回年次学術講演会プログラム

第72回年次学術講演会会場および座長(予定者)一覧表	32
第I部門	34
第II部門	46
第III部門	50
第IV部門	61
第V部門	63
第VI部門	75
第VII部門	93
共通セッション	97

挨拶 土木学会平成29年度全国大会を迎えて

「土木の将来と国際化 ～世界的課題への挑戦、世界に通じるDOBOKUへ～」



増田 博行 MASUDA Hiroyuki
平成29年度土木学会全国大会実行委員長
国土交通省九州地方整備局長

土木学会平成29年度全国大会は、9月11日（月）から13日（水）の3日間、福岡市にある九州大学伊都キャンパスを会場として開催いたします。

九州での全国大会の開催は、平成21（2009）年に福岡大学で開催して以来8年ぶりとなります。

大会会場となる九州大学伊都キャンパスは、福岡市の西部に位置し、福岡市中心部から地下鉄とバスで50分という距離にあり、脊振山麓北側、糸島半島の緑と水に囲まれた豊かな自然環境の中にあります。

また、九州大学は、明治12（1879）年に県立福岡医学校として開設され、明治44（1911）年には、東京、京都、東北に次ぐ第4番目の帝国大学として創設されました。今年で創立106年を迎える九州大学は、現在、11学部と18学府を擁し、学生数も1万8千人を超えるなど、国内有数の総合大学として発展を続けています。

昨年を振り返ると、九州では非常に災害が多い年でした。特に、4月14日、16日の2度にわたり震度7を記録した熊本地震は未曾有の大災害となりました。九州地方整備局として、また、関係者の方々の力をお借りして、全力で復旧・復興に取り組んでいるところです。かつて、数年前、コンクリートから人へという流れがあり、東日本大震災が起こり、未曾有の大災害が発生して初めてコンクリートが大事だということが再認識されています。災害があつて初めて土木が見直されるということは非常に悲しいことですが、それが現実となっています。阪神・淡路大震災、東日本大

震災、熊本地震が風化しないよう、やはり、広く産学官の関係者で声を上げていく必要があると思います。

土木の範囲は河川・道路・港湾・空港・上下水道・鉄道・電力など幅広く、人々の安全・安心と豊かな暮らしは、これらの社会資本の上に成り立っています。

今、我が国は急激な高齢化、人口減少、財政状況の悪化など、多くの課題に取り組んでいます。我が国の未来が安全・安心で活力あるものでありつづけるためには、未だに不十分な交通、防災、エネルギーといった生活を支える社会基盤の整備や維持管理を、多くの課題を克服しつつ進めてゆかねばなりません。

国際社会においては、地球規模での気候変動による大災害への対応、中国、ロシア、インド、ブラジル、ベトナム等の新興国のめざましい発展の中での急速かつ大規模な社会資本整備の進展など、土木に関わるウエイトは益々大きくなっています。

このような状況において、日本の若者が世界のフィールドで活躍し、各国の技術者との有意義な技術的、学術的交流を持って、日本の土木技術の更なる向上に寄与することを大いに期待しています。

本大会が開催される福岡都市圏は、古来から大陸への玄関口として栄え、中でも博多は平安時代から室町時代にかけて商都として栄えました。日本における国際都市の先駆けであり、今回の大会テーマである「土木の将来と国際

化」にまさに合致する地域と言えます。

主な大会行事としては、学術講演会、研究討論会、基調講演会、特別講演会、全体討論会、パネル展示、国際関連行事を予定しています。パネル展示では、大会に参加する研究者、技術者だけでなく、市民の方々にも興味を持ってご覧いただけるよう、大会テーマに沿った幅広い視点から、土木のことを理解してもらえるような内容にしたいと

考えております。

本大会は、土木学会の7つの研究部門が一堂に会する唯一の機会として、学会の最大かつ最重要行事でもあります。全国から一人でも多くの学会員に参加していただき、皆様の学術・技術の研鑽を積むとともに会員相互の交流、情報交換などを通じて、実り多い大会になりますことを祈念しまして、挨拶いたします。

講演会・討論会概要、講師紹介

■ 基調講演会 — 会長講演

9月12日(火) 13:50～14:35 アクロス福岡 福岡シンフォニーホール



第105代土木学会会長

大石久和 OHISHI Hisakazu

一般社団法人 全日本建設技術協会 会長

学会歴

昭和42年 5月 土木学会入会
平成 6年 11月 フェロー会員
平成24年 6月 土木広報アクションプラン小委員会
委員長
平成26年 6月 土木広報戦略委員会 副委員長
平成27年 3月 名誉会員
平成28年 6月 次期会長
平成29年 6月 会長

学歴・職歴

昭和45年 3月 京都大学大学院工学研究科修士課程 修了
昭和45年 4月 建設省入省
平成 5年 4月 国土庁計画・調整局総合交通課長
平成 7年 6月 建設省道路局道路環境課長
平成 8年 7月 建設省大臣官房技術審議官
平成11年 7月 建設省道路局長
平成14年 7月 国土交通省技監
平成16年 7月 財団法人国土技術研究センター理事長
平成25年 6月 一般財団法人国土技術研究センター国土政策研究所長
平成28年 6月 一般社団法人全日本建設技術協会会長

講演題目：土木の「領域」を再考し、主張ある土木を構築しよう

全国の「土木人」は、学問的な研究をはじめ、行政・教育・調査設計・工事・国土や公物の管理などに至るあらゆる分野で、その水準の向上のために懸命の努力を続けている。

その成果は、多くの人々が負担する税（公債を含む）や料金を原資とする資金で実施される主としてインフラ整備（鉄道・電力などの設備投資を含む）に反映されている。これらは、広い意味で公共が提供する「公共の安全と繁栄」の

ためのツールとなっている。

ところが先進各国のインフラ投資の経年変化をみると、この20年で半減させてきた国は唯一わが国だけなのである。他のすべての先進国は、イギリスは約3倍、アメリカは約2倍などとインフラ投資を伸ばして来たのである。

つまり、土木における大学の研究成果も民間企業などの努力の結晶も、国民へ還元という意味では年々その量を減

少させ、ついには半減した。増加させてきた各国首脳は、「インフラ整備が自国の経済を成長させ、経済競争力を向上させる」と繰り返し述べている。

一方、インフラの整備水準は、インフラ投資が減少したこともあって先進各国と比して貧弱な水準に止まっており、国民の生活安全性や移動効率などは大きく劣後しているのである。こうしたことの影響もあって、わが国は世界のなかで唯一、まったくと言っていいほど経済成長しない国となってしまった。

そこで、ここでのメッセージは、こうした技術の発展の追求だけではない幅の広い土木の全体環境は「われわれが関心を寄せるべき領域である」という認識の獲得である。

国土環境の変化から人々の暮らしを守る

土木を「偉大な自然の営みのなかで人間の活動領域を確保するための知的生産のすべて」と考えると、近年の世界的な「自然・気象の凶暴化」とでもいべき現象の多発は、かつて構築した「人々の生命財産を守るための土木の活動領域（フロント）」の拡大・再構築をわれわれ土木に突きつけている。

他国に比べその状況がわが国ではより厳しくなっているのは、土木が守るべき人々の高齢化であり地域の壮年人口の減少である。自然が厳しくなる一方で、「助ける人が減り、助けなければならない人が増える」のである。

自助・共助・公助のどれもが厳しい方向に変化しており、今後さらにその傾向が増す。さらに他の先進国では地震が少ないが、わが国では地震が多発しそれも活動期に入ったといわれる厳しさがある。自然と向き合う「フロントの再構

築」は喫緊の課題である。

インテリジェントな「国土と公共公物」を形成する

法面は大雨によっても簡単に崩壊しないように対策する必要があるし、橋梁は落下がないように丁寧に管理しなければならない。しかし、崩壊や落下といった万が一の時でも、「人の命は落とさない」ことこそが究極の目標だ。

これを可能とする管理・保全を行うためには、驚異的に発達してきた人工知能とそれに情報を与える状態管理センサーなどの組み合わせが不可欠である。「国土が頭脳を持つ、公共公物が知能を持つ」というインテリジェントな国土と公共公物の環境整備は、不可避な今後の方向であると考ええる。土木はAIが最も活躍する分野なのである。

土木は他領域のすべての研究成果を最も貪欲に取り込む分野でありたいのである。

主張ある土木を構築する

国土に働きかけ、国土からの恵み（安全に暮らせる国土、効率的に生産・消費ができ、快適に暮らせる持続可能な国土）を得るための領域を土木と考えると、ここに土木としての「公への奉仕という哲学」をもった主張が存在する必然がある。

- 「社会全体のベストパフォーマンスの実現」を目指す他の存在がない状況のもとで…
- 公共経済学がフランスの土木集団から生まれたように…
- 土地を利用することで成り立つ土木が、土地に関する諸制度や国民の土地所有意識に無関心であってはならないように…

■ 特別講演1

9月12日(火) 14:45～15:45 アクロス福岡 福岡シンフォニーホール



栗田 啓子 KURITA Keiko
東京女子大学 教授

略歴

1951年生まれ、東京都出身、経済学博士（パリ第一大学）。1974年東京女子大学文理学部卒業、1979年よりフランス政府給費留学生としてパリ第一大学に留学、1984年早稲田大学大学院商学研究科博士課程修了。同年小樽商科大学商学部講師。同助教授、教授を経て、1994年より東京女

子大学教授。専門はフランス経済思想史。主著は『エンジニア・エコノミスト—フランス公共経済学の成立』（東京大学出版会）、共編著に『経済政策思想史』（有斐閣）、『日本における女性と経済』（北海道大学出版会）などがある。

講演題目：ともに生きるための公共事業 —フレンチ・エンジニアの「社会経済」思想

どのような公共事業が望ましいのだろうか？この問いに答えるために、フランスの土木エンジニアたちは19世紀前半にすでに費用便益分析の開発に着手していた。工事の効用を客観的な数値で示す指標を求めて、彼らは経済学の領域に足を踏み入れたのである。こうして、経済学と土木事業が結びつき、エンジニア・エコノミストが誕生した。もっとも、国内市場の統一や工業化の促進という目的は疑いようもなく、彼らにとっての課題はそれぞれの事業の正当性の証明にあったことに注意を促しておきたい。

しかし、19世紀も半ばを過ぎ、経済発展の陰の部分が見えてくるにつれて、なんのために公共事業を行うのかという問いがエンジニア・エコノミストに突きつけられるようになる。労働災害や失業による労働者の貧困問題、過剰な開発による環境問題などの社会問題に対応する必要性が生

じたのである。

このような状況のなかで、社会問題に応えられる経済学をめざし、市場と国家(政府)をつなぐ経済活動を志向する「社会経済」(économie sociale)という新たな経済学の領域を開いたのは、鉦山エンジニアのフレデリック・ル＝プレ(Frédéric Le Play, 1806-1882)だった。ル＝プレはナポレオン3世が厚い信頼を寄せた技術官僚であり、彼の周りには多くの土木エンジニアも集まり、エンジニアの社会的責任を論じていた。

本講演では、ル＝プレの一番弟子と言われる土木エンジニアのエミール・シェイソン(Emile Cheysson, 1836-1910)を主に取り上げ、公共事業における理念の問題を考えてみることにしたい。なんのための公共事業なのか、という問いかけは、現代でも必要な問いだと思うからである。

■ 特別講演 2

9月12日(火) 17:50～18:20 アクロス福岡 福岡シンフォニーホール



麻生 泰 ASO Yutaka
一般社団法人九州経済連合会 会長

略歴

1946年生まれ。1969年慶應義塾大学法学部法律学科卒業、1972年オックスフォード大学ニューカレッジ卒業。株式会社大沢商会を経て1975年麻生セメント株式会社監査役、1979年取締役社長、2001年代表取締役社長、2016年代表取締役会長に就任し現在に至る。(社)九州・山口経済連

合会(現(一社)九州経済連合会)理事、同国際委員長などを歴任し、2013年(一社)九州経済連合会会長に就任。

講演題目：九州から日本を動かす！

九経連では、「農林水産業の輸出拡大」、「観光の基幹産業化」を主要課題に掲げ、積極的に取り組んでいます。農林水産業では、九経連主導で農産物の輸出商社を作り、香港への輸出を始めました。今後はシンガポールへの輸出を計画しています。農家の手取り収入が増えることで、次世代が家業や地元に戻って来るようになることを目指しています。観光産業においては、増加する訪日外国人観光客の

消費額をいかに増やしていくかが課題です。これらを稼げる産業にして、地方としての尖がりを見せるためには、何よりも空港・港湾・道路といったインフラの整備・充実が必要不可欠です。シームレス交通によるアクセスの向上を図り、災害に強い強じんな国土をすることで、安心・安全を確保し、物流を活発化させ、より多くの観光客を呼び込むことができます。一方でインフラの老朽化も進んでいま

す。「安心」という日本ブランドが崩れないよう、メンテナンスを強化することも重要な課題です。

本講演では、「九州から日本を動かす」ための取組みと、

そのためのインフラ整備の必要性を中心に述べたいと思います。

■ 全体討論会

9月12日(火) 16:05 ~ 17:35 アクロス福岡 福岡シンフォニーホール

テーマ：土木と公共、地域と世界の観点から

土木技術は長い歴史のなかで、変わりゆく社会の要請に応え、そして新たな社会を築くために、様々な技術を取り入れ、様々な人材と協働して、その活動のフロンティアを広げてきた。

世界に目を向ければ、土木工学は”Civil Engineering”であり、市民生活と密接不可分な、「公共」を担っていること認識されている。日本でも土木技術は戦国時代や幕藩体制の領国経営の根幹をなすもので、まさに「公共」を担っていた。

現在の日本において、我々は、変動する社会の課題を解決し、土木の存在意義を次世代に継承するために、従前の枠組みに囚われず公共としての土木をもう一度見つめ直す必要がある。

全体討論では、土木を活用しつつ変動する社会の要請に応えるべく活躍している方、社会に新たな価値を提供するために土木技術と他分野の協働を実践している方等に、地域そして世界の課題を踏まえて将来に向けて土木と「公共」の関係を議論していただく。

全体討論会講師の紹介：



[コーディネーター]

塚原 健一 TSUKAHARA Kenichi

九州大学大学院 工学研究院 附属アジア防災研究センター 教授

1985年九州大学工学部土木工学科卒業。旧建設省入省後、ペンシルバニア大学留学、在インドネシア大使館勤務、アジア開発銀行勤務等、若手時代は主に海外業務に従事。九州地方整備局河川調査官、リバーフロント整備センター研究第一部長を経て2008年国土交通省退職。その後国際協力機構国際協力専門員を経て2011年より現職。現在は世界各地の災害について土地利用や開発政策の観点から研究している。



[パネリスト]

米良 充典 MERA Mitsunori

宮崎県商工会議所連合会 会頭

1945年福岡県生まれ。鹿児島経済大学(現：鹿児島国際大学)経済学部卒業。日立電線(東京都)を経て米良電機産業入社。同社をはじめグループ企業の社長を務めるほか、スカイネットアジア航空(現ソラシドエア)など地元企業への支援を行ってきた。宮崎県商工会議所連合会副会頭などを経て、2010年11月から現職。現在3期目。地域経済の動きに細かく目を配り、その先頭に立って「動く宮崎」をサポートする行動派。インフラ整備の必要性についても、商工会議所の枠を超え、地方創生の視点から積極的な発言を続けている。



[パネリスト]

濱崎 隆 HAMASAKI Takashi

一般社団法人九州観光推進機構 九州観光広報センター 次長

1968年鹿児島県生まれ。1992年京都大学工学部卒業後、株式会社リクルート入社。教育関連部門・人材関連部門を経て、2009年から旅行事業部へ。海外アウトバウンド事業立ち上げ、山陰・北陸地方の宿泊関連事業を経て、2013年からじゃらんリサーチセンターにて九州での地域活性化事業に携わる。2015年からは「九州観光戦略」を中核的に展開する「官民共同の常設実行組織」である一般社団法人九州観光推進機構へ出向。九州観光広報センターにて、広報・マーケティング・戦略構築を担当。「九州観光戦略」が掲げる「観光を九州の基幹産業へ」の実現へ向け、九州のブランドイメージ構築に取り組んでいる。



[パネリスト] **村川 友美** MURAKAWA Tomomi
(株)リバー・ヴィレッジ 代表取締役

1983年長崎県生まれ。2006年九州大学21世紀プログラム課程卒業。民間企業勤務・結婚・出産を経て2012年より九州大学工学研究院流域システム工学研究室に勤務。IUターン研究に参加する。2013年「地域のための小水力発電」導入を行う調査・設計コンサルタントとして株式会社リバー・ヴィレッジを設立。2015年F-coop生活協同組合との事業組合Seeds of Energy 設立。中山間地でのエネルギー創出のための事業形成と、都市の消費生活をエネルギーで結び付ける事業を行いながら、「地域のための小水力発電」の実現を目指す。

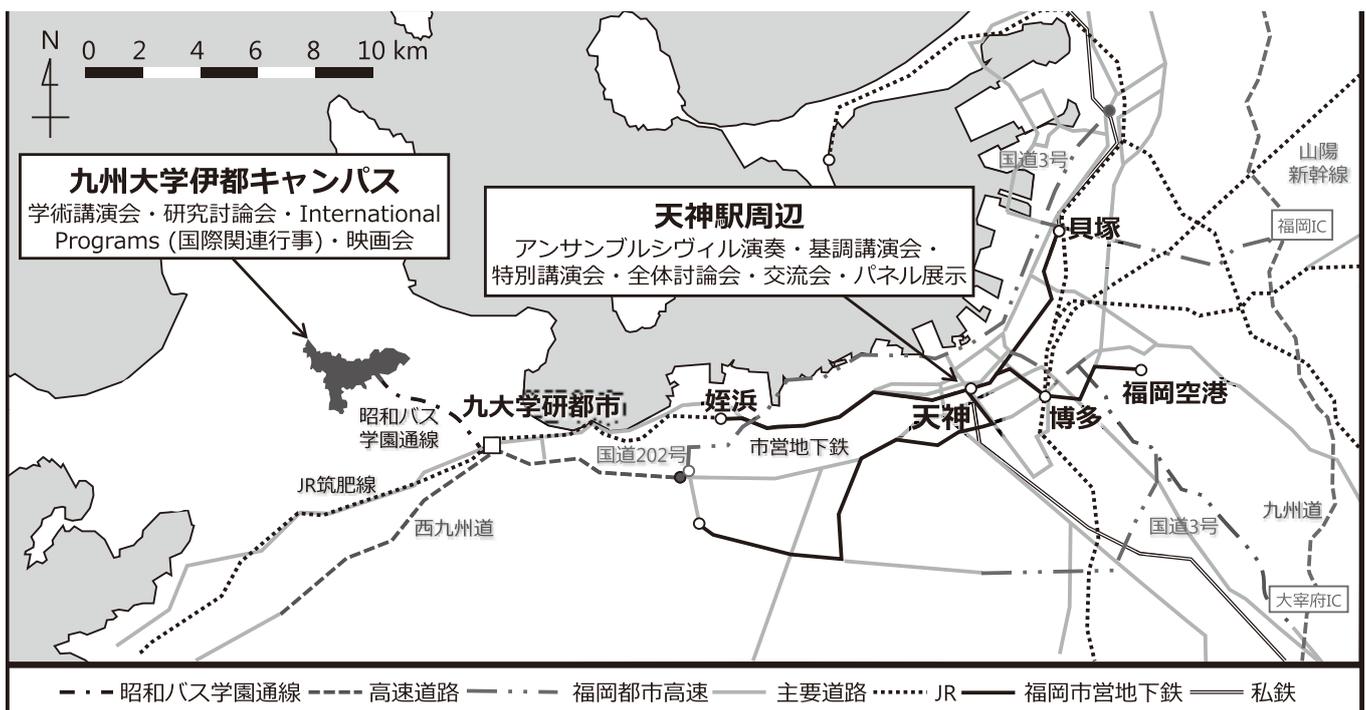


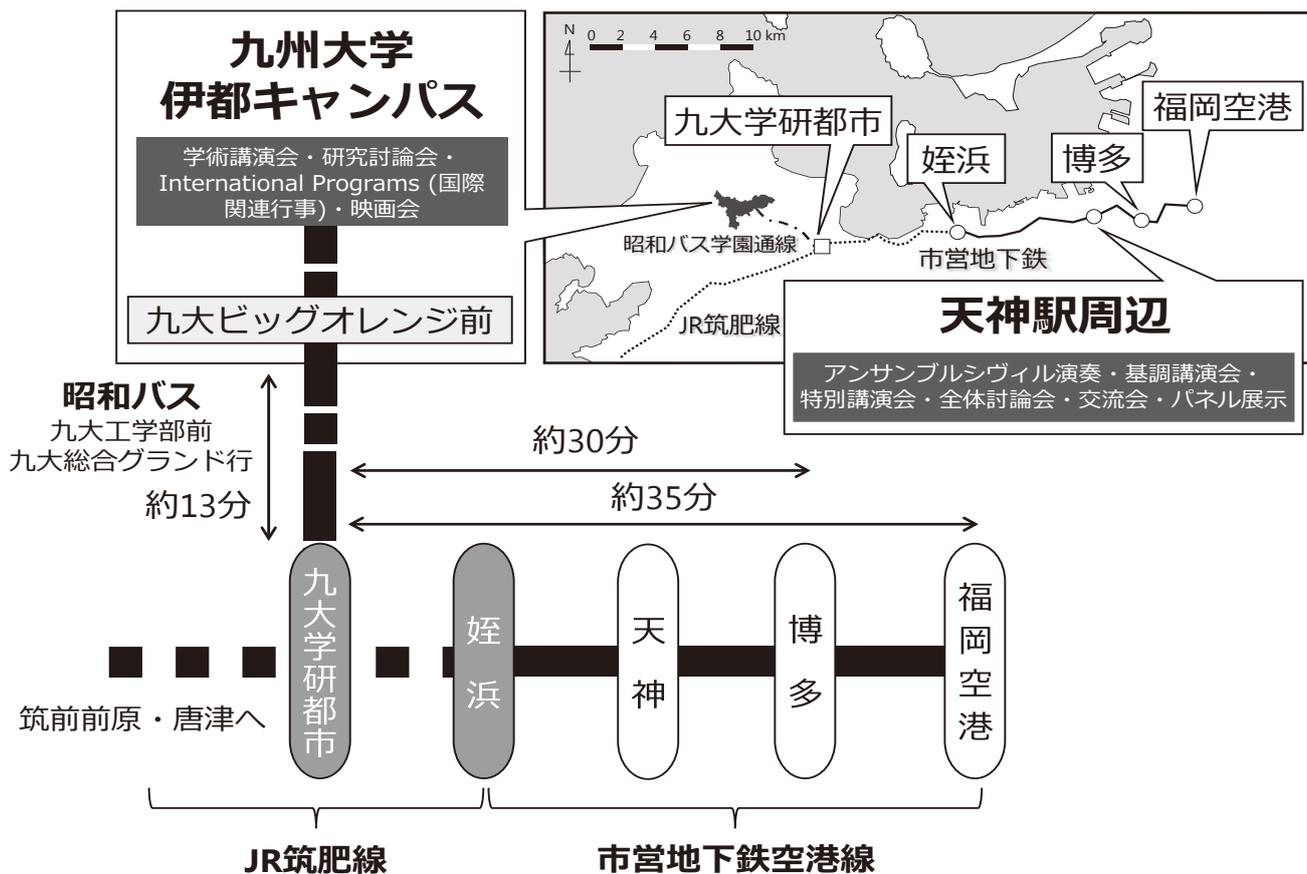
[パネリスト] **松永 千晶** MATSUNAGA Chiaki
九州大学大学院 工学研究院 助教

博士(工学)。九州大学工学部建設都市工学科卒業、同大学院工学研究科都市環境システム工学専攻修了。2000年4月より同大学院工学研究院環境都市部門助手、2004年8月よりParisTech (Ecole Nationale des Ponts et Chaussées, Ecole Polytechnique, Ecole Nationale Supérieure des Mines de Paris) 修士課程にて交通と持続可能な開発について学び、翌年12月同課程修士号(科学)取得。2006年1月より九州大学大学院工学研究院環境都市部門(現 環境社会部門) 助教、現在に至る。専門は交通計画学。現在は新国富指標を用いた都市の政策やインフラ整備の評価にも取り組んでいる。

全国大会会場案内・大会行事

■ 会場所在地・アクセス





九州大学伊都キャンパス
 (第72回年次学術講演会、研究討論会)
 〒819-0395 福岡市西区元岡744

◇ JR博多駅から

地下鉄空港線「姪浜・筑前前原・唐津方面行」→姪浜駅からJR筑肥線、九州大学研都市駅にて下車。

※西唐津行き、筑前前原行きに乘車した場合は、姪浜駅での乗り換えは不要。

昭和バス「九大総合グラウンド・九大工学部前行」、九大ビッグオレンジ前にて下車。

所要時間：約50分

◇ 福岡空港から

地下鉄「姪浜・筑前前原・唐津方面行」→姪浜からJR筑肥線、九州大学研都市駅にて下車。

※西唐津行き、筑前前原行きに乘車した場合は、姪浜駅での乗り換えは不要。

昭和バス「九大総合グラウンド・九大工学部前行」、九大ビッグオレンジ前にて下車。

所要時間：約1時間

アクロス福岡 福岡シンフォニーホール
 (特別講演会・全体討論会)
 〒810-0001 福岡市中央区天神1-1-1

◇ 九州大学伊都キャンパスから

昭和バス「九州大学研都市駅行」、九州大学研都市駅にて下車。

JR筑肥線「福岡空港」行→地下鉄空港線「天神」にて下車。

地下鉄空港線「天神」16番出口から徒歩3分。

◇ JR博多駅・福岡空港から

地下鉄空港線「姪浜・筑前前原・唐津方面行」→「天神」にて下車。

地下鉄空港線「天神」16番出口から徒歩3分。

ソラリアプラザ1F イベントスペース (ゼファ)
 (パネル展示)

〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目2-43

◇ 九州大学伊都キャンパスから

昭和バス「九州大学研都市駅行」、九州大学研都市駅にて

下車。

JR筑肥線「福岡空港」行→地下鉄空港線「天神」にて下車。

地下鉄空港線「天神」6番出口から徒歩4分。

◇ JR博多駅・福岡空港から

地下鉄空港線「姪浜・筑前前原・唐津方面行」→「天神」にて下車。

地下鉄空港線「天神」番出口から徒歩4分。

地下鉄空港線「天神」6番出口から徒歩3分。

◇ JR博多駅・福岡空港から

地下鉄空港線「姪浜・筑前前原・唐津方面行」→「天神」にて下車。

地下鉄空港線「天神」6番出口から徒歩3分。

お問い合わせ

◇ 土木学会 全国大会委員会事務局

総務課 TEL：03-3355-3442

◇ 平成29年度土木学会全国大会実行委員会事務局

西部支部 TEL：092-717-6031

(一時保育に関する問い合わせは、西部支部へお願いします。)

ソラリア西鉄ホテル

(交流会)

〒810-0001 福岡市中央区天神2-2-43

◇ 九州大学伊都キャンパスから

昭和バス「九大学研都市駅行」、九大学研都市駅にて下車。

JR筑肥線「福岡空港」行→地下鉄空港線「天神」にて下車。

大会ホームページ

<http://www.jsce.or.jp/taikai2017/>

■ 九州大学伊都キャンパス会場図



■ 学術講演会・研究討論会開催施設	P 駐車場	🚲 自転車駐輪場	🏪 売店	💵 キャッシュコーナー
📍 キャンパス案内図	🚌 バス停	🏍️ バイク駐輪場	🍽️ レストラン	🚬 喫煙所
				🚶 徒歩ルート

注)第2受付では、座長のみ受付が可能です



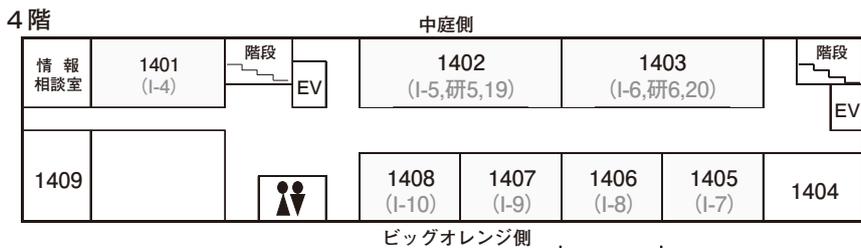
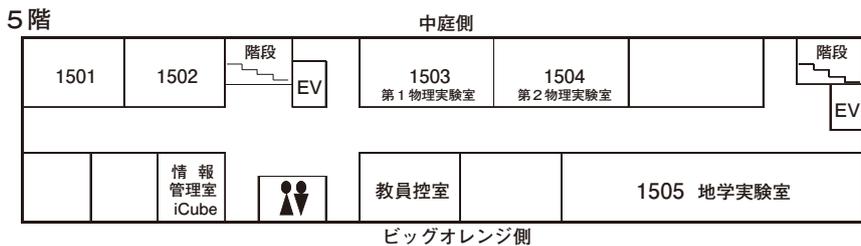
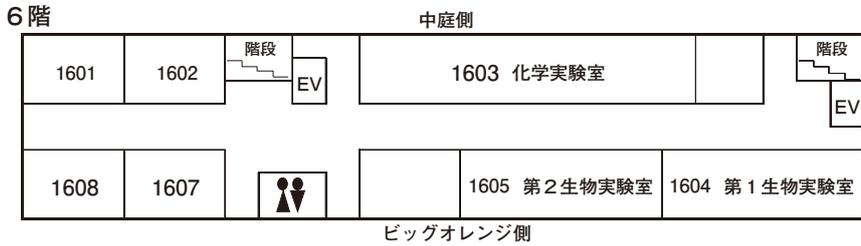
■ 大会スケジュール

日	会場	時間	内容
第1日目 9月11日 (月)	九州大学伊都キャンパス センターゾーン	8:00	受付開始
	センター1・2号館	9:00	年次学術講演会① (80min)
	ビッグさんど	10:00	年次学術講演会② (80min)
	総合学習プラザ・西講義棟	10:00	年次学術講演会③ (80min)
九州大学伊都キャンパス ウエストゾーン	総合学習プラザ・西講義棟	10:00	年次学術講演会④ (80min)
	稲盛財団記念館	10:00	年次学術講演会⑤ (80min)
	ソラリアプラザ IF イベントスペース (ゼファ)	10:00	年次学術講演会⑥ (80min)
	見学会	10:00	年次学術講演会⑦ (80min)
第2日目 9月12日 (火)	九州大学伊都キャンパス センターゾーン	8:00	受付開始
	センター1・2号館	9:00	年次学術講演会⑧ (80min)
	総合学習プラザ・西講義棟	10:00	年次学術講演会⑨ (80min)
	稲盛財団記念館	10:00	年次学術講演会⑩ (80min)
九州大学伊都キャンパス ウエストゾーン	アクロス福岡 シンフォニーホール	10:00	年次学術講演会⑪ (80min)
	ソラリアプラザ IF イベントスペース (ゼファ)	10:00	年次学術講演会⑫ (80min)
	ソラリア西鉄ホテル 8階「彩雲」	10:00	年次学術講演会⑬ (80min)
	見学会	10:00	年次学術講演会⑭ (80min)
第3日目 9月13日 (水)	九州大学伊都キャンパス センターゾーン	8:00	受付開始
	センター1・2号館	9:00	年次学術講演会⑮ (80min)
	総合学習プラザ・西講義棟	10:00	年次学術講演会⑯ (80min)
	稲盛財団記念館	10:00	年次学術講演会⑰ (80min)
九州大学伊都キャンパス ウエストゾーン	ソラリアプラザ IF イベントスペース (ゼファ)	10:00	年次学術講演会⑱ (80min)
	見学会	10:00	年次学術講演会⑲ (80min)
	ソラリアプラザ	10:00	年次学術講演会⑳ (80min)
	見学会	10:00	年次学術講演会㉑ (80min)

建物・会場配置図

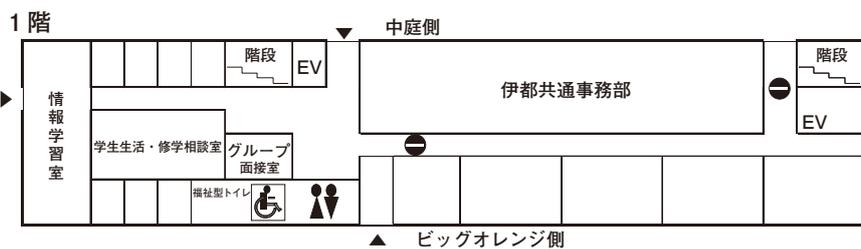
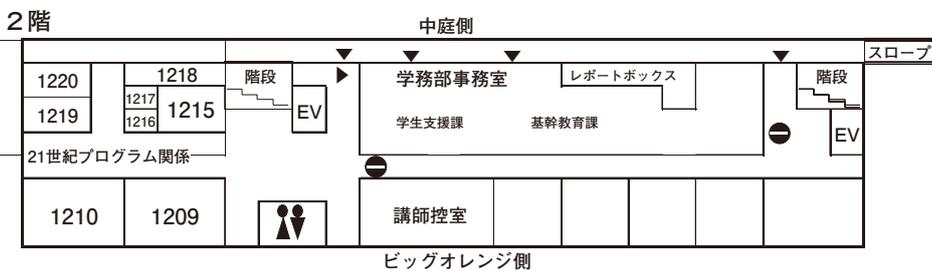
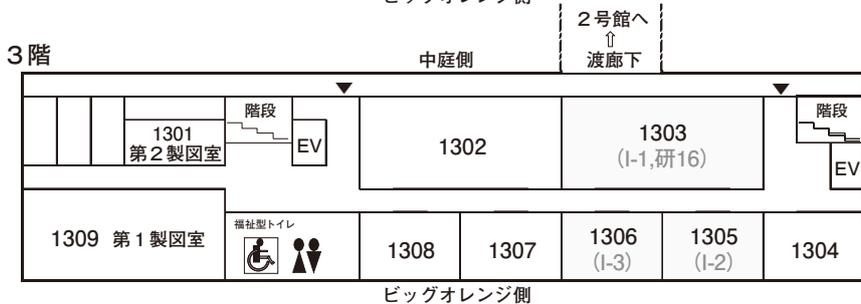
九州大学伊都キャンパス センター1号館 (年次学術講演会)

センター1号館



バス道路側

工学部側



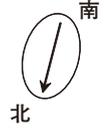
正面玄関

▲ : 出入口
● : 立入り禁止

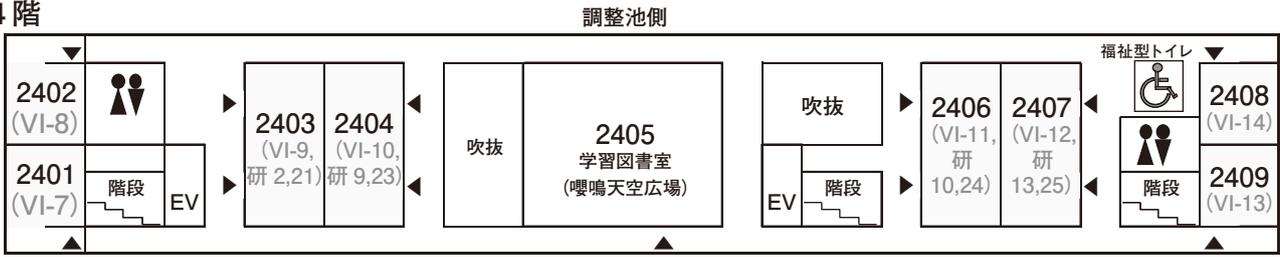
建物・会場配置図

■ 九州大学伊都キャンパス センター2号館 (年次学術講演会)

センター2号館



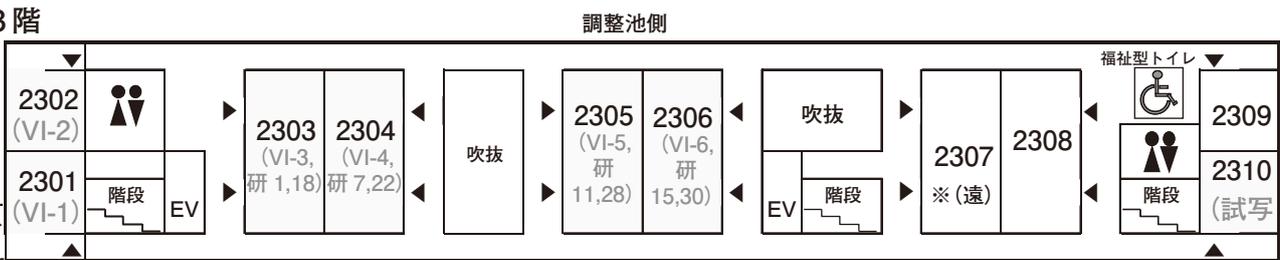
4階



バス道路路側

工学部側

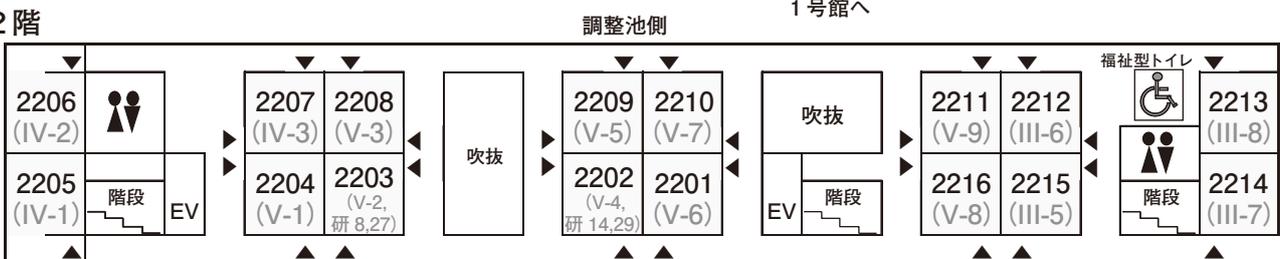
3階



センター3号館へ

(試写・休憩室)

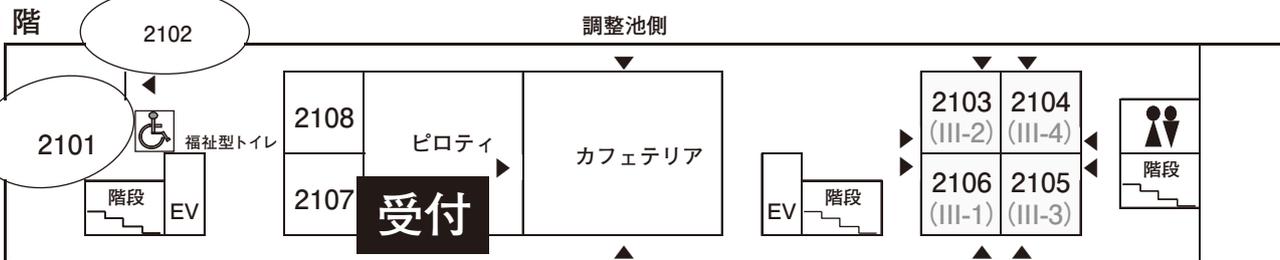
2階



スロープ

生活支援施設 (ビッグさんど)

1階

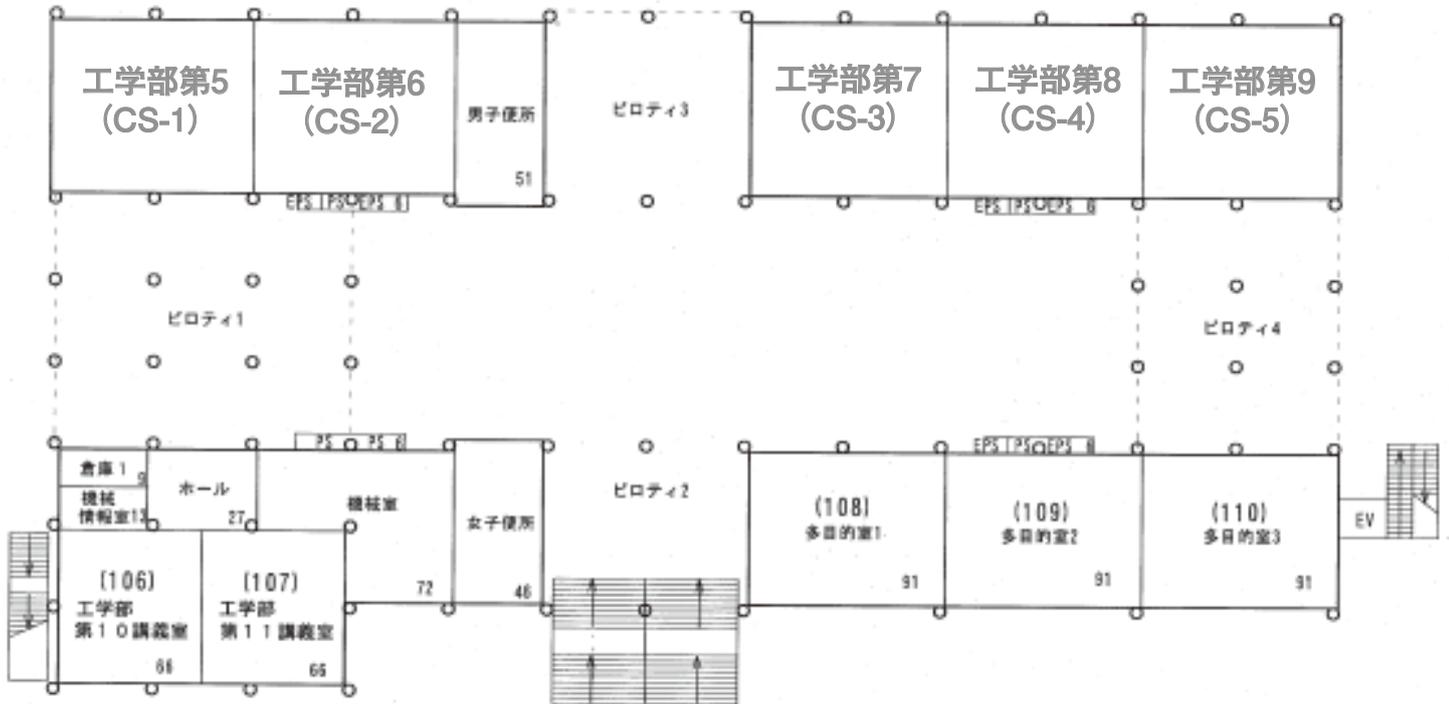


▲印：出入口

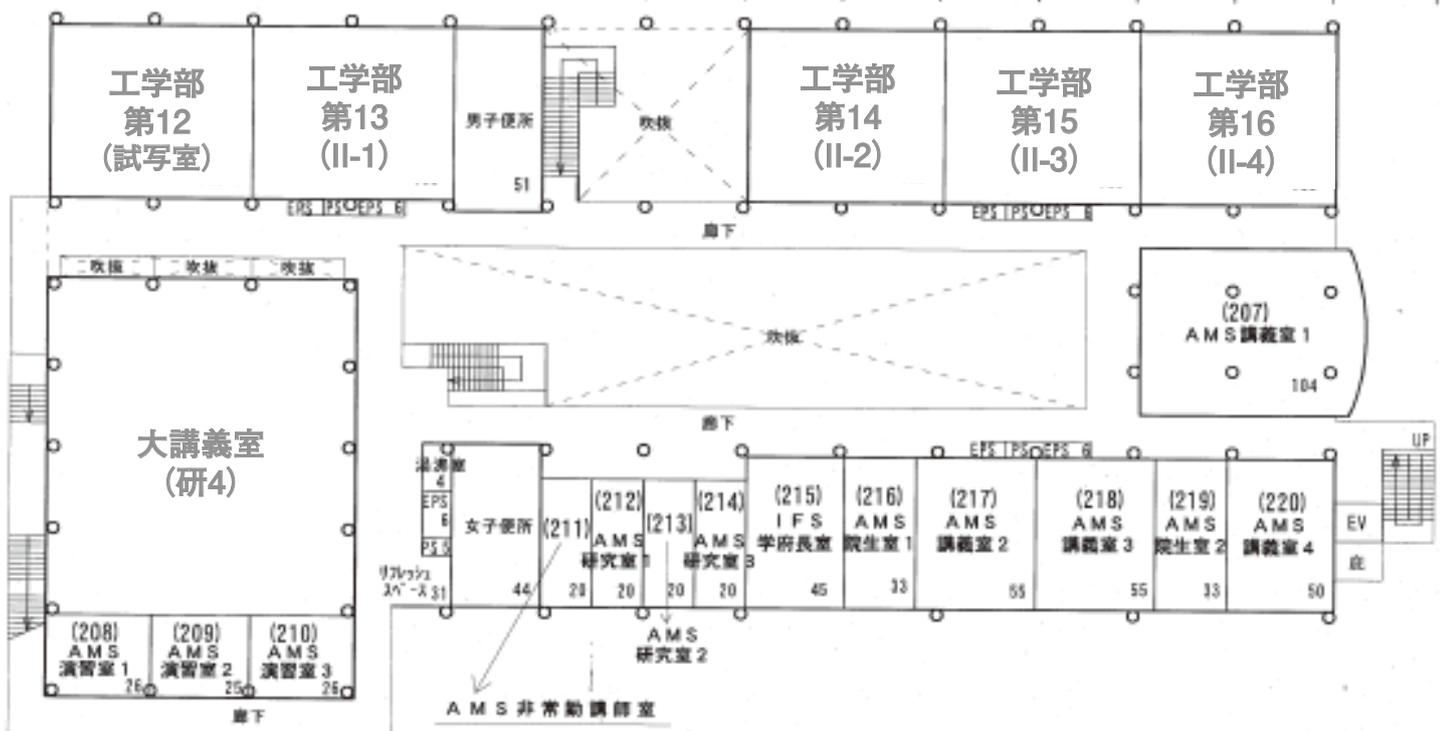
建物・会場配置図

■ 九州大学伊都キャンパス ウエストゾーン 総合学習プラザ (年次学術講演会)

1階



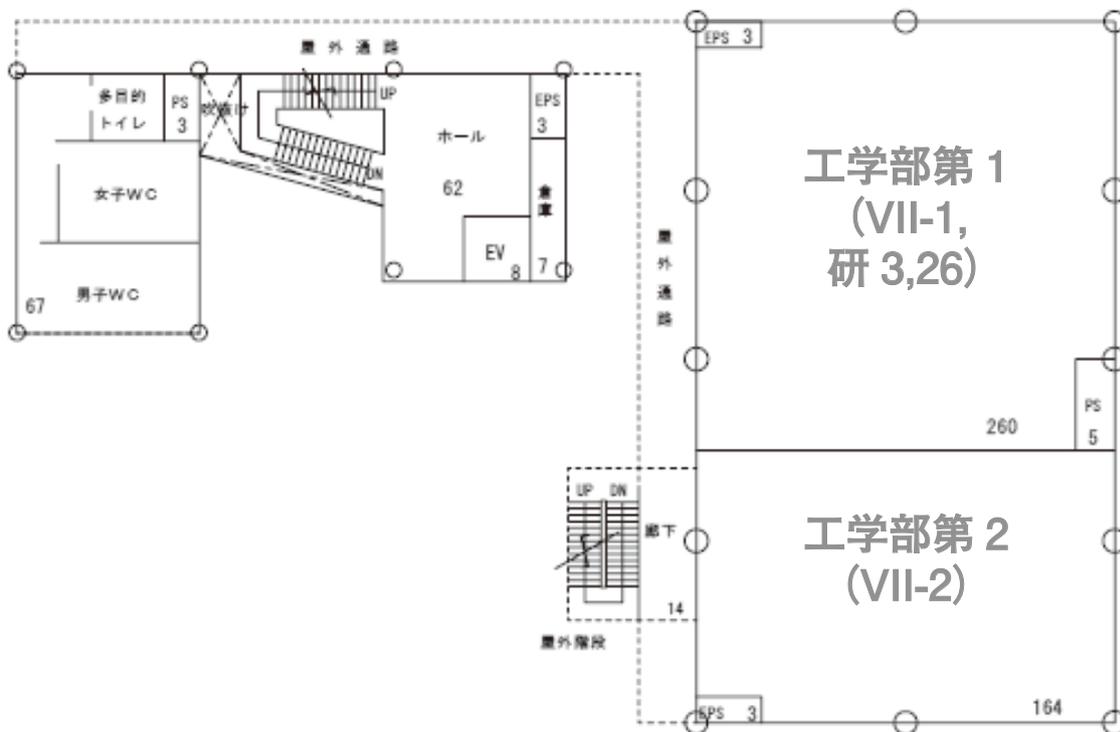
2階



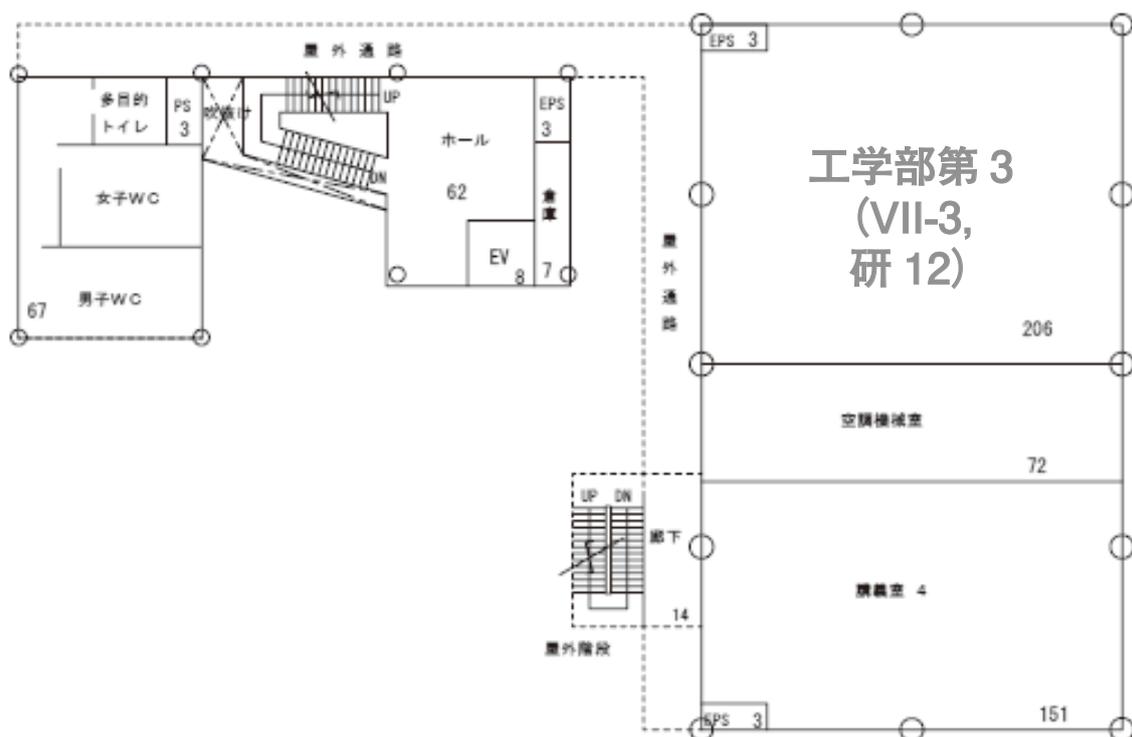
建物・会場配置図

■ 九州大学伊都キャンパス ウエストゾーン 西講義棟 (年次学術講演会)

2階



3階



■ 行事案内

(1) 基調講演会

9月12日(火) 13:50～14:35 アクロス福岡 福岡シンフォニーホール

会長講演「土木の「領域」を再考し、主張ある土木を構築しよう」

土木学会 会長 大石 久和（一般社団法人 全日本建設技術協会 会長）

【会 場】アクロス福岡 福岡シンフォニーホール

【入場料】無料(一般参加可能)

(2) 特別講演会

9月12日(火) 14:45～15:45、17:50～18:20 アクロス福岡 福岡シンフォニーホール

特別講演1 (14:45～15:45)

「ともに生きるための公共事業 —フレンチ・エンジニアの「社会経済」思想」

栗田 啓子（東京女子大学 教授）

特別講演2 (17:50～18:20)

「九州から日本を動かす！」

麻生 泰（一般社団法人 九州経済連合会 会長）

【会 場】アクロス福岡 福岡シンフォニーホール

【入場料】無料(一般参加可能)

(3) 全体討論会

9月12日(火) 16:05～17:35 アクロス福岡 福岡シンフォニーホール

テーマ「土木と公共、地域と世界の観点から」

コーディネーター 塚原 健一（九州大学大学院 工学研究院附属アジア防災研究センター 教授）

パネリスト 米良 充典（宮崎県商工会議所連合会 会頭）、濱崎 隆（一般社団法人九州観光推進機構 九州観光広報センター 次長）

村川 友美（(株)リバー・ヴィレッジ代表取締役）、松永 千晶（九州大学大学院工学研究院 助教）

【会 場】アクロス福岡 福岡シンフォニーホール

【入場料】無料(一般参加可能)

(4) 第72回年次学術講演会

9月11日(月)～13日(水) 九州大学伊都キャンパス

9月11日(月) 9:00～10:20、10:40～12:00、15:20～16:40、17:00～18:20

9月12日(火) 9:00～10:20、 10:40～12:00
9月13日(水) 9:00～10:20、 10:40～12:00、 15:20～16:40

(5) 研究討論会

9月11日(月)、13日(水) 九州大学伊都キャンパス

9月11日(月) 13:00～15:00
9月13日(水) 13:00～15:00

(6) 交流会

9月12日(火) 19:00～20:30 ソラリア西鉄ホテル

【会場】ソラリア西鉄ホテル 8階「彩雲」

【参加費】事前申込み：(一般) 6,000円、(学生) 2,000円〔事前申込み期日：8月31日〕

当日申込み：(一般) 7,000円、(学生) 2,000円

※申し込みは、大会情報ホームページ(交流会)をご覧ください。

大会情報ホームページ：<http://www.jsce.or.jp/taikai2017/>

(7) International Programs (国際関連行事)

JSCE Annual Meeting International Program focuses on current issues and challenges facing the civil engineering profession. Please take this opportunity to share ideas and opinions with engineering professionals from around the world.

国際関連行事として、期間中に英語による以下の行事を実施いたします。ふるってご参加ください。

○ Venues : Kyushu University Ito Campus (Inamori Center, Big Sando and others)

(会場：九州大学伊都キャンパス(稲盛財団記念館、ビッグさんど他))

1. International Roundtable Meeting (ラウンドテーブルミーティング)

Implementing ICTs within the Construction Industry

「建設現場へのICT、IoT技術の導入：各国の取組み事例と課題、将来へのメッセージ」

Date : September 11 (Mon)

Time : 14:00～17:00

Venue : Kyushu University Ito Campus (Inamori Center) (会場：九州大学伊都キャンパス 稲盛財団記念館)

2. The 19th International Summer Symposium (第19回インターナショナルサマーシンポジウム)

Date : September 11 (Mon) - 12 (Tues)

Time : 9:00～12:00

Venue : Kyushu University Ito Campus (会場 : 九州大学伊都キャンパス)

3. International Workshop for Young Engineers (国際若手技術者ワークショップ)

Theme : Innovative Construction Methods- a Case of Cut-and Cover Tunneling Method

「革新的新工法WS - 開削トンネル工法を例に」

Date : September 11 (Mon)

Time : 13:30 ~ 17:30

Venue : Kyushu University Ito Campus (Inamori Center) (会場 : 九州大学伊都キャンパス 稲盛財団記念館)

4. IAC Networking Reception

Date : September 11 (Mon)

Time : 17:30 ~ 19:30

Venue : Kyushu University Ito Campus (Big Sando) (会場 : 九州大学伊都キャンパス ビッグさんど)

5. The 11th International Symposium on Disaster Risk Management

co-hosted by WFEO, JFES, JSCE and AIJ

Date : September 13 (Wed)

Time : 9:00 ~ 13:00

Venue : Kyushu University Ito Campus (Inamori Center) (会場 : 九州大学伊都キャンパス 稲盛財団記念館)

For further details, please visit the JSCE IAC website:

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

詳細については、土木学会国際センターのホームページをご覧ください。

皆様の御参加を御待ちしております。

(8) 映画会

9月11日(月)~13日(水) 九州大学伊都キャンパス 稲盛財団記念館

9月11日(月) 平成28年度土木学会映画コンクール受賞作品と最近の土木学会選定映像

- 13:00 開会挨拶 土木技術映像委員会
- 13:05 新しい河 (中川改修事業) (44分)
- 13:50 小湊鐵道 建設作業 (無声映画) (12分)
- 14:02 「日比谷279米 地下鉄工事記録 一帝都高速度交通営団 地下鉄2号線 日比谷一工区建設記録」 (58分)
- 15:00 8ミニッツ ~鎌倉で津波から生きのびる (15分)
- 15:15 休憩 (5分)
- 15:20 平成28年度映画コンクール最優秀賞作品 (60分)
- 16:20 第1日目 終了

9月12日(火) 特集 九州の土木技術映像

- 10:00 挨拶 土木技術映像委員会
 10:03 大規模地下空洞掘削工事に挑む！—九州電力小丸川発電所(9分)
 10:12 地域の安全を守る—水無川1号砂防ダムの記録—(24分)
 10:36 松原・下笠^{しもがせ}ダム建設記録 総集編(42分)
 11:18 苦闘 海底破砕帯突破—新関門トンネル建設の記録—(25分)
 11:43 第2日目 終了

9月13日(水) 特集 土木遺産の記録

- 09:30 挨拶 土木技術映像委員会
 09:33 余部橋りょう さらなる100年へ(20分)
 09:53 石を架ける—石橋文化を築いた人びと—(39分)
 10:32 海峡をつないだ技術—関門鉄道トンネル開通までの歩み—(34分)
 11:06 石橋のふるさと—肥後の石工を訪ねて(16分)
 11:22 第3日目 終了

(9) パネル展示

9月11日(月)～13日(水) ソラリアプラザ1F イベントスペース (ゼファ)

主催：土木学会西部支部全国大会実行委員会

- ・テーマ 「九州の土木～その過去・現在・未来と世界的課題への挑戦～」
- ・内容 ①九州の土木遺産と最近のトピックス
 ②九州の土木 世界へ
 ③熊本地震と復興

【日時】9月11日(月)～13日(水) 10:00～19:00

【会場】ソラリアプラザ1F イベントスペース (ゼファ)

【入場料】無料(一般参加可能)

(10) 見学会

No.	コース名	日時	参加費	定員
①	1日コース 上西郷川 里川の再生(2016年土木学会デザイン賞) 官営八幡製鐵所 日本事務所(世界遺産) 河内(貯水池) 堰堤及び南河内橋(選奨土木遺産) 他	9月13日(水) 8:30～17:30	3,800円 昼食・保険・税込み	40名
②	半日コース 博多港港湾施設 今津元寇防塁 他	9月11日(月) 13:00～17:30	2,000円 保険・税込み	40名

平成29年度全国大会に係わるCPD単位の詳細については、技術推進機構ホームページ (http://committees.jsce.or.jp/opcet/cpd/01_2017zenkoku) をご覧ください

(11) アンサンブルシヴィル演奏

【会場・日時】アクロス福岡 福岡シンフォニーホール, 9月12日 (火) 13:15 ~ 13:40 (13:45より講演会・討論会)

【入場料】無料 (一般参加可能)

【会場・日時】九州大学伊都キャンパスセンターゾーン受付前ピロティ, 9月13日 (水) 12:00 ~ 13:00

【入場料】無料

■九州大学伊都キャンパス会場でのインターネット接続

学会期間中, 九州大学伊都キャンパスで使用できるゲスト用アカウントを総合受付にてご案内します。

なお, 特別講演会・全体討論会および交流会の会場では, 提供の無線LANは使用できません。

年次学術講演会講演要領

■講演会発表の進め方

- 1) 各セッションの運営は、座長に一任されています。
- 2) 座長と講演者の打合せをセッション開始直前にその会場で行います。その際、座長より、講演順番、講演時間、討論時間などについて指示がありますので、それを遵守してください。
- 3) 発表時間は原則として、入退場も含めて7分です。7分以内に発表が完了できるように、準備をお願いします。
- 4) パソコン・液晶プロジェクターは各発表会場に用意されますので、それらを使用して発表を行ってください。なお、パソコンの操作は講演者自身で行ってください(会場担当係では対応しかねますのでご了承ください)。
- 5) 発表用ファイルは、USBメモリもしくはCD-ROMに保存して発表会場へご持参ください。セッション開始前に各会場に準備されたパソコンにコピーしていただきます。
- 6) 発表では、会場設置のパソコンを使用させていただきます。次の「演題発表に関わる注意事項」を必ず確認・遵守してください。

General Instructions for Presenters

- 1) The responsibility for organizing the sessions lies with the session chair of that session.
- 2) A short briefing will be held before each session begins. The session chair will provide information about the order of presentations, the time allotment for presentation and discussion, etc.
- 3) Each presentation has been allotted 7 minutes, including the time required for changeover. Be sure that you finish your presentation within 7 minutes.

- 4) The laptop computer and LCD projector provided in each session room are to be used for all presentations. Each speaker is responsible for operating the computer during their presentation; this is not the responsibility of the technical staff in the session rooms.
- 5) Before your session begins, copy your presentation file onto the provided computer in the session room.
- 6) **All speakers are required to use the provided computer** for their presentation. Follow the further instructions in “Guide for Slide Presentation” .

演題発表に関わる注意事項 (重要)

1. 発表スライドの準備

- 1) 発表者は、パワーポイントなどの発表用ファイルを5)で指定したOSで読み取れるフォーマットのUSBメモリもしくはCD-ROM(ファイナライズされたもの)に保存してご持参ください。他のメディアは利用できません。
 - 2) メディア・ファイルのウイルスチェックを必ず事前に実施してください。
 - 3) ファイルサイズは20MB以下を目安とし、これを超える場合も100MB以下を厳守してください。
 - 4) 発表用ファイルの名前は、演題番号としてください。(例えば、II部門の演題番号138の場合は、“II138.pptx” などとなります。)
 - 5) パソコンと液晶プロジェクターは講演会会場設置のものを必ずご利用いただきます。会場のパソコンのOSはWindows 7です。インストールされているソフトは、MS Office2016 (Excel, Word, PowerPoint)、Media Player 12及びDVDマルチドライブ、USBマウスです。なお、フォント種については講演者の環境とは異なる可能性もありますのでご注意ください。
- ※前項のソフトウェア以外の特別なものを講演で必要とする等のため、講演者ご持参のパソコンを使わざるを得ない場合は、当日、座長の許可を得たうえでそのセッションの最後の順番で発表していただきます。時間が限られているため、ケーブルの盛り替えは当該発表者自身が発表時間内に行っていただきます。討議は発表直後に行っていただき、討議が終了したら速やかに会場設置のパソコンと取り換えてください。ケーブル端子はミニD-sub 15pin (HD15pin) です。

2. 発表の際の留意事項

- 1) 発表セッションの10分前までにご自身の発表される会場に入室してください。遅れると発表できない場合があります。
- 2) 必ずセッション開始前に、持参した発表用ファイルを会場設置のコンピューターにコピーしてください。
- 3) 発表者の方は、発表セッションでは会場前方の席にて待機してください。
- 4) トラブル等により発表順が変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 5) 各会場には、レーザーポインタが用意されていますので、ご使用ください。
- 6) 発表終了後、会場担当係が責任を持ってファイルを削除します。

Guide for Slide Presentation

1. Preparing Slides

- 1) Bring your presentation file on a USB memory stick or CD-R to your session. Do not use any other form of digital media. Make sure that your digital media and presentation file are readable by the computer system indicated in the following section, 5).
- 2) Please scan your digital media and presentation file with antivirus software prior to the session, and make sure that they have no virus infection.

- 3) Preferably, the size of your presentation file should not exceed 20 MB, and must not exceed 100 MB.
 - 4) Name your presentation file with the number assigned to your presentation. For example, the file name would be "III138.pptx" , if your presentation number is 138 of Division II.
 - 5) All speakers are required to use the laptop computer and LCD projector provided in the session room. The operation system of the provided computers is Windows 7. The following software are available:
MS Office2016, DVD Multi and Windows Media Player 12. Note that font options available on the provided computer might differ from those used when you created your presentation file.
- ※If it is absolutely necessary that you use your own computer in order to use software and/or computer specifications besides those listed above, ask the chairperson for permission before the session starts. If this is permitted, your presentation may be rescheduled to the last slot of the session. Please promptly switch computers within the allotted presentation time, and restore the connection of the provided computer immediately after the end of your presentation and discussion. The provided computer is connected to the LCD projector via a cable terminal with mini D-sub 15pin (HD15pin).

2. In Session

- 1) Please arrive at your session room at least 10 minutes before the session starts. Failure to do so may result in the cancellation of your presentation.
- 2) Copy your presentation file to the computer provided in the session room before the beginning of the session.
- 3) Please seat yourself close to the front of the session room before your presentation.
- 4) The order of presentations in the session may be changed in the event of unexpected technical trouble.
- 5) A laser pointer is provided in all the session rooms.
- 6) After the session, your presentation file will be deleted by technical staff in the session room.

■ ウィルス対策について

会場内に設置した全てのPCにウィルス対策ソフトをインストールしていますが、発表の際に使用したメディアは、お持ち帰りの後、ご自身のPCに接続する前に再度ウィルスチェックをしていただくようお願い致します。ウィルス感染に関する責任は学会として負いかねますので、各自の責任で会場内のパソコンをご利用ください。

Preventive Measures against Computer Virus

Antivirus software is installed in all computers provided in the session rooms. However, we strongly request all session speakers to rescan their digital media with an antivirus software after their session presentation prior to connecting the media to their computer. JSCE disclaims any responsibility for any damage to computer systems due to the use of computers provided in the session rooms and consequential virus infection.

■ 土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰制度について

全国大会委員会

全国大会年次学術講演会の発表者を対象に「土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰」を実施しております。

この「表彰規定」は、将来の土木界を担っていく若手の研究者および技術者の論文内容や講演技術が向上し、さらに全国大会が活性化することを目的とし定めたものです。

今回講演される若手研究者、技術者の方々のご健闘を期待いたします。

土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰規定

この規定は土木学会全国大会における研究発表の表彰に関する取り扱いについて定めたものである。

1. 表彰の目的

土木学会全国大会で優れた講演を行った若手研究者、技術者を表彰し、

- ①論文内容、講演技術の向上に寄与する。
- ②若手研究者、技術者の参加意欲の向上を図る。
- ③全国大会全体の活性化に貢献する。

などを目的とする。

2. 名称

この表彰の名称は「土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰」とする。

3. 対象者

- ・全国大会で実際に講演を行う個人会員の中で、40歳以下の研究者、技術者を対象に、論文内容に加え、講演が簡潔明瞭で優れたものに与える。
- ・講演予定者と講演者が一致しない場合は、審査の対象外とする。
- ・ポスターセッションは対象外とする。

4. 選出方法

- ・各セッションの座長（司会者）は、対象者の講演を「土木学会年次学術講演会優秀講演者採点表記入上の留意事項」に基づき採点し、合計得点最上位者1名を推薦する。
- ・本部事務局（全国大会実行委員会事務局）にて、部門ごとに各セッションからの被推薦者の合計得点を集計する。その中から、各部門セッション数の2分の1の人数となる合計得点の上位者を、優秀講演者として選出する。なお、ボーダーラインにある合計得点数が同じ被推薦者を全て含めた場合に、各部門セッション数の2分の1の人数を超えるときには、合計得点と同じ被推薦者の中から年齢の若い順番に選出し、2分の1を超えない人数に調整する。

5. 表彰

- ・土木学会全国大会報告号において氏名を発表する。
- ・後日、個人あてに表彰状を送付する。
- ・表彰は全国大会実行委員会講演部会長と全国大会委員会委員長の連名で行う。

6. その他

- ・この規定は、1995年度全国大会から施行する。
- ・本規定は必要に応じて全国大会委員会において見直す。

附則（平成7年3月24日理事会了承）

（平成8年6月18日一部改正）

平成29年度土木学会全国大会

研究討論会一覧(九州大学伊都キャンパス)

日時:平成29年9月11日(月)、13日(水)

日時/会場	題目	座長および話題提供者
【研01】 9月11日(月) 13:00-15:00 センター2号館 2303	「複合的自然災害に関する工学的視点からみた地域防災の有り方」－阿蘇地域での事象を例として－ 地盤工学委員会 http://committees.jsce.or.jp/jiban/ 火山工学研究小委員会・斜面工学研究小委員会	座長 鈴木素之 山口大学 大学院創成科学研究科 教授 斜面工学研究小委員会委員長 話題提供者 中村洋介 福島大学 「活断層布田川断層の活動」 山里 平 気象庁「2013-2016年阿蘇山の噴火活動」 中濃耕司 東亜コンサルタント「熊本地震・豪雨による土砂災害」 千葉達朗 アジア航測「UAVによる阿蘇山2016年噴火災害の状況把握」 瀬戸真之 福島大学「地形変化、被害の現状と対策」 安養寺信夫 砂防・地すべり技術センター「複合的自然災害に対する防災の在り方」
2016年熊本地震・豪雨災害から阿蘇山噴火災害へと九州中央部の火山地域での複合自然災害が続いている。このような複合災害の減災・防災を考える意義は大きい。例えば、首都圏では直下型の地震と富士山噴火が連動する可能性が指摘されている。地盤工学委員会の委員は熊本地震と阿蘇山噴火の災害調査を実際に行っている。その成果をまとめ、複合災害の実情と問題点を論議する。①阿蘇火山と熊本地震の特性を解説し、どのような被害が起こったのか、②そしてどのような対調査や応策がされ、③今後の課題はどこにあるのかに迫りたい。総合討論ではこれらの研究成果をもとに、地震・豪雨と火山噴火の複合災害への減災・防災のあり方を討論する。		
【研02】 9月11日(月) 13:00-15:00 センター2号館 2403	鋼橋の維持管理の効率化・確実化に向けて－モニタリング技術の利活用－ 鋼構造委員会 http://committees.jsce.or.jp/steel/	座長 長山智則 東京大学 話題提供者 伊藤裕一 JR東海 本間淳史 NEXCO東日本 松田 浩 長崎大学 長山智則 東京大学 宮下 剛 長岡技術科学大学
重要な社会資本である橋梁の、効率的かつ確実な維持管理が求められる中、構造物のモニタリング技術に対する期待は大きく高まっている。しかし、構造物の状態をセンサ等により計測・伝送する技術については様々な知見が蓄積されてきているものの、計測されたデータと構造物の劣化・損傷・修繕等の維持管理の現場で必要とされる情報との関連性の解明については技術開発の途上にあり、発展途上であると考えられる。本討論会では、鋼橋のモニタリングの最新技術、それらを利用する上での課題、ならびにそれらを利用した計測の事例を紹介するとともに、今後、モニタリング技術を活かしていくうえで開発が望まれる項目とその展望について議論する。		
【研03】 9月11日(月) 13:00-15:00 西講義棟 第1講義室	「放射性汚染物質を含む廃棄物等をどう安全に始末していくかを考えよう－事故由来汚染廃棄物対策および放射性廃棄物処分に関する最近の技術動向－」(仮題) エネルギー委員会(低レベル放射性廃棄物・汚染廃棄物対策に関する研究小委員会) http://committees.jsce.or.jp/enedobo/	座長 大西有三 関西大学 客員教授/京都大学 名誉教授 話題提供者 出口 朗 原環機構 技術部長 HLW地層処分事業の最近の取組み状況 佐々木泰 日本原燃㈱ 開発設計部長 LLW埋設事業の最近の取組み状況 加藤和之 原子力損害賠償・廃炉等支援機構 執行役員 1F廃止措置に向けての技術開発等の最近の取組み 油井三和 日本原子力研究開発機構 福島環境安全センター 特任参与 福島における除染および除去土壌減容・再生に係る研究開発の最近の状況 勝見 武 京都大学大学院 地球環境学堂 教授 土壌特性を踏まえた除去土壌の再生利用の技術動向 河西 基 ㈱アサノ大成基礎エンジニアリング 電力中央研究所 土木学会の活動状況
2011年の東日本大震災に伴い発生した東京電力福島第一原子力発電所(以下、1F)事故から6年以上が経過し、1Fにおける汚染水問題等への対策も進んで安定的に推移してきているとともに廃止措置に向けた種々の技術開発等の取組が精力的になされつつある。また、福島県内における除染も進み避難指示区域の解除も徐々に拡大されてきている中、除染に伴う除去土壌等の除染廃棄物を対象とした中間貯蔵施設への搬入や、除去土壌の減容・再生利用の実証試験も始まっている。これらの1Fにおける廃止措置に向けた課題や福島県内における除去土壌等の除染廃棄物を対象とした減容再生利用や中間貯蔵施設計画への取組みの現状と今後の方向性について報告と意見交換を行う。一方、1F事故による影響等もあり事業展開が困難な状況にあった低レベル放射性廃棄物(LLW)や高レベル放射性廃棄物(HLW)の処分手業推進に関する検討も動き始めてきており、これらの課題への最近の取組み状況についても報告をしていただく。それらを踏まえて、事項由来放射性汚染廃棄物と原子力発電所運転に伴う放射性廃棄物の課題全体を俯瞰した今後の取組みの方向性についてフロアを交えて意見交換を行う。		

日時／会場	題 目	座長および話題提供者
【研04】 9月11日(月) 13:00-15:00 総合学習プラザ 大講義室	水工学分野の気候変動適応研究において社会実装の促進に何が必要か？ 水工学委員会 http://committees.jsce.or.jp/hydraulic/	座 長 中北英一 京都大学防災研究所 話題提供者(予定) 中北英一 京大防災研 気候変動全体論 山田朋人 北大 DS 橋本典明 九大 高潮・洪水 藤見俊夫 熊大 計画 行政 九地整、福岡県、佐賀県、長野県、などから1、2名
地球温暖化時の降水・洪水への適応策の提案だけでなく、水循環や水環境を含めた気候変動の影響評価、適応策の提案が求められている。しかし、影響評価研究と比較して適応策研究が十分に進み活用されているとはいえない。また、水工学分野の社会実装については検討の重要性が指摘されているが、その方法論については未だ不明瞭なままである。特に、地方自治体においては適応策実装の方法論について模索が続いている状態と言えよう。水工学委員会では適応策に関連する問題を包括的に解決すべく、グローバル気候変動研究推進小委員会を立ち上げた。昨年から引き続き、小委員会メンバーを中心に水工学分野における適応策研究のあり方について議論し、特にその社会実装において必要となる考え方について明らかにしたい。		
【研05】 9月11日(月) 13:00-15:00 センター1号館 1402	低炭素社会に向けた地盤改良と防災(案) 木材工学委員会 地中使用木材の耐久性評価に関する研究小委員会 http://committees.jsce.or.jp/mokuzai/	座 長 原 忠 高知大学教授 防災推進センター副センター長 話題提供者 森本文崇 高知市総務部新庁舎建設事務所長 松橋利明 青森県東青地域県民局東青地方漁港漁場整備事務所計画指導課長 末次大輔 佐賀大学准教授 地中使用木材の耐久性評価に関する研究小委員会委員長 沼田淳紀 飛鳥建設株式会社 技術研究所環境・エネルギーグループ主席研究員 桃原郁夫 森林総合研究所 産学官民連携推進担当研究コーディネーター 吉田雅穂 福井工業高等専門学校教授 水谷羊介 兼松サステック株式会社 ジオテック事業部統轄
2015年のパリ会議(COP21)では、先進国・途上国を含む世界が2020年以降の温室効果ガス削減に取り組むことが決定した。土木分野においても土木学会創立100周年宣言として、持続可能な社会の実現が目標に掲げられた。一方、我が国では都市部に人口・産業が密集し、構造物の維持管理上軟弱地盤の適切な対策が求められ、南海トラフ地震などの発生確率の高い地震に備えるための災害対策も喫緊の課題であるなど地盤に関わる課題が山積している。本討論会では、基調講演として豊富な森林資源を活用した新しい地盤補強技術を報告し、土木・木材の専門家を交えて低炭素社会の実現に向けた地盤改良と防災のあり方を討議したい。		
【研06】 9月11日(月) 13:00-15:00 センター1号館 1403	構造物と都市の超先端数値シミュレーションの研究開発と実務利用の可能性 応用力学委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/amc/index.html	座 長 (予 定) 市村 強 東京大学 話題提供者(予定、案) 浅井光輝 九州大学 井料隆雅 神戸大学 澤田正孝 電力中央研究所 高橋佑弥 東京大学
土木工学では、構造解析・交通解析等でさまざまな数値シミュレーションが研究され実務利用されてきた。近年、計算機の進歩と都市情報の増加を利用し、超大規模モデルを桁違いの速度・精度で解析する超先端数値シミュレーションの研究開発が進められている。シミュレーションの基盤となる計算科学・計算機科学・情報科学を踏まえ、超先端数値シミュレーションの研究開発の現状を紹介する。併せて、このような超先端数値シミュレーションを設計・都市計画等の実務に利用する可能性を議論する。		
【研07】 9月11日(月) 13:00-15:00 センター2号館 2304	「岩盤斜面災害の軽減に向けて ～危険斜面の抽出技術と安定性評価技術～」 岩盤力学委員会 岩盤斜面研究小委員会 http://www.rock-jsce.org/	座 長 緒方健治 NEXCO中日本 話題提供者 田山 聡 NEXCO西日本 日外勝仁 寒地土木研究所 小山倫史 関西大学 他数名
岩盤崩落や落石は一旦発生すると社会に大きな影響を与えることが多いが、様々な要因が複雑に絡み合うため、その発生メカニズムの正確な把握や発生場所・時期・規模などの確実な予測ができるまでには至っていない。そのため、岩盤斜面研究小委員会はこれまで、岩盤斜面に関する知見や研究成果を継続的にとりまとめ、社会や会員へ迅速に提供・発信し、災害軽減に役立てることを目指して活動を行ってきた。本討論会では、小委員会の成果である、1)膨大な岩盤斜面の中から危険性の高い斜面を抽出する技術、2)抽出した斜面の安定性を評価する技術について報告を行い、岩盤斜面災害の一層の軽減に向けて議論する。		

日時/会場	題目	座長および話題提供者
【研08】 9月11日(月) 13:00-15:00 センター2号館 2203	DIVERSITYの視点から見直そう:土木計画学における研究と教育 土木計画学研究委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/ip/index.shtm ※共催:ダイバーシティ推進委員会 http://committees.jsce.or.jp/diversity/	座長 Giancarlos Troncoso Parady 東京大学 中道久美子 東京工業大学 話題提供者 藤原章正 広島大学/留学生指導・途上国研究経験が豊富な教員から見た教育・研究 Jan-Dirk Schmöcker 京都大学/外国人から見た研究・教育 谷口綾子 筑波大学/女性から見た土木計画学における教育・研究 村山顕人 東京大学/異分野から見た国際研究・教育 松尾美和 神戸大学/海外研究経験のある女性から見た研究・教育 Wisetjindawat Wisinee 名古屋工業大学/女性外国人から見た研究・教育
土木計画学委員会では研究発表会でも外国人、女性の割合が増え、国際セミナー等を通じた国際的な活動も進めている。しかし、女性、外国人はまだ少数派であり、ロールモデルが少ないのが現状である。本討論会では、外国人として、海外研究経験を持つ日本人として、女性として、あるいはそれら複数の立場から土木計画学や関連分野の研究に携わる先生方を登壇者に迎え、土木分野の研究と教育について議論する。外国人あるいは女性として研究・教育に求められる姿勢とそれに対するお考え、キャリアパスの不足や人材の流動性の拡大等の課題や、今後の土木計画学やその国際化に向けたご期待についてお話を伺い、フロアの聴講者と率直な意見交換を行う。 ※言語:日本語(一部英語可)		
【研09】 9月11日(月) 13:00-15:00 センター2号館 2404	コンクリート構造物の品質・耐久性確保 マネジメントシステムの社会実装 コンクリート委員会・建設マネジメント委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/concrete/index.html http://committees.jsce.or.jp/cmc/	座長 細田 暁 横浜国立大学准教授 話題提供者 河野広隆 京都大学教授 田村隆弘 徳山高専 岩城一郎 日本大学 佐藤和徳 国土交通省東北地方整備局 二宮 純 NEXCO西日本エンジニアリング 坂田 昇 鹿島建設
山口県で構築されたコンクリート構造物のひび割れ抑制システムは、品質確保システムへと発展し、2013年からは東北復興道路での品質・耐久性確保システムへとつながり、社会実装が進められている。その後、群馬県等の各地の自治体・事業者においてもシステムの構築が進められ、2017年度には熊本、阿蘇の復興において山口発の品質確保システムが適用される状況となっている。本研究討論会では、一連の品質・耐久性確保システムの本質を問題解決や人材育成のマネジメントの視点から論じ、システムを社会実装し、持続的に発展していくための課題について議論する。また、システムによる効果と生産性向上の観点からの課題についても議論する。		
【研10】 9月11日(月) 13:00-15:00 センター2号館 2406	「2030年以降の建設現場の姿」 ～現場を補完するロボット技術・AI技術の可能性と人の役割～ 建設用ロボット委員会・建設技術研究委員会 http://committees.jsce.or.jp/robot/ http://committees.jsce.or.jp/sekou/	座長(予定) 山元 弘 建設用ロボット委員会副委員長 話題提供者(予定・案) 【基調講演】 穴井宏和 (株)富士通研究所 知識情報処理研究所 人工知能研究センター 島本卓三 国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所長 【話題提供者】 山根修治 建設技術研究委員会委員長 延藤 遵 建設技術研究委員会運営副委員長 北原成郎 建設用ロボット委員会災害・事故研究小委員長 古屋 弘 建設用ロボット委員会新技術研究小委員長
i-Constructionの先、一層進化したロボット技術やAI技術の活用によって改善が進む将来の建設現場の姿を思い描き、そこでの人の役割を考える。ロボット技術やAI技術が将来世代の人間の職を奪うことになると警鐘が鳴らされる今、その利活用の方向性と未来の土木技術者や技能者に求められる資質を考え、これから建設業界が取り組むべき課題を①建設現場におけるロボット技術やAI技術の効果とリスク②ロボット技術やAI技術の利活用の方向性③多様な人材の確保や多様な人材の育成等の観点から議論する。		
【研11】 9月11日(月) 13:00-15:00 センター2号館 2305	先達に学ぶトンネル技術 トンネル工学委員会運営小委員会 技術交流部会 http://committees.jsce.or.jp/tunnel/	座長(予定) 土門 剛 首都大学東京 話題提供者(予定) 朝倉俊弘 京都大学名誉教授 中田雅博 中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株)
主題:日本のトンネル技術は、明治時代から技術改革を重ね、その技術力は大きく向上した。しかしながら近年、トンネル工事そのものの減少、ベテラン技術者の退職等から、技術力の低下が懸念されている。そこで、トンネル技術の世代間継承を目的に、トンネル技術の最前線に関与した各分野の先達たちにその貴重な経験に基づいた話題を提供していただくこととした。各種のトンネル技術の導入、工夫、開発、今後の技術展望などについて講演いただき、これからのトンネル技術のあり方を考える場としたい。		

日時/会場	題目	座長および話題提供者
【研12】 9月11日(月) 13:00-15:00 西講義棟 第3講義室	原子力土木委員会での危機耐性への取り組み 原子力土木委員会 http://committees.jsce.or.jp/ceofnp/	座長 中村 晋 日本大学、原子力土木委員会委員幹事 話題提供者 中村 晋 日本大学 主旨説明 近藤駿介 東京大学・名誉教授、原子力発電環境整備機構・理事長 リスク情報を活用した原子力安全への取り組み 高田毅士 東京大学大学院・教授 原子力発電所の地震安全に関する基本原則構築の試み 本田利器 東京大学大学院・教授 危機耐性を考慮した耐震設計体制の構築への取り組み 松山昌史 電力中央研究所 津波に対する対策への取組み 大友敬三 電力中央研究所 屋外重要土木構造物の取組み
2011年東北地方太平洋沖地震での被災を受けて、土木学会原子力安全土木技術特定テーマ委員会からの提言として、設計で考慮する事象を越えた事象への対応を考慮する“危機耐性”という概念が提案された。原子力安全の基本思想である深層防護の現状と課題やその設計への反映について、長年我が国のリーダーとしてリードされてきた専門家、その考え方を社会基盤施設の安全へ反映するための枠組みづくりを実施している研究者、および原子力土木委員会での取り組みを紹介する。それを踏まえ、参加者を交えた危機耐性の取り組みに関する討論を行い、そのために乗り越えなければならない課題を明らかにする。		
【研13】 9月11日(月) 13:00-15:00 センター2号館 2407	Society5.0(超スマート社会)におけるインフラの新たな維持管理・更新・マネジメント —SIPインフラにおけるAIを用いた技術革新とその可能性— SIPインフラ連携委員会	座長 藤野陽三 横浜国立大学 上席特別教授 話題提供者 櫻井彰人 慶應義塾大学 杉山 将 理化学研究所/東京大学 田中健一 三菱電気 久田 真 東北大学 前川宏一 東京大学 若原敏裕 清水建設
ICTを最大限に活用し、サイバー空間とフィジカル空間とを融合させ、人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」(Society5.0)の実現を目指すことが第五期科学技術基本計画によって示されている。SIPインフラはこのSociety5.0実現に貢献することを重要な目標としており、AI、IoTなどを用い、インフラに関する新たな維持管理・更新・マネジメントに関する技術開発を行っている。本研究討論会ではAI技術の応用例の紹介、AI技術をもとにした技術革新とインフラの維持管理の効率化との関係及び今後の可能性について議論する。特に、インフラの余寿命予測技術とAI技術との融合を中心に、インフラのアセットマネジメントシステムの全国展開をも視座に入れた議論を行う。		
【研14】 9月11日(月) 13:00-15:00 センター2号館 2202	分野・部門間協働による防災推進のためのアジア諸国の協力 ACECC TC21国内支援委員会 http://committees.jsce.or.jp/acecc/	座長 竹内邦良 アジア土木学協会連合協議会TC21共同議長、土木学会ACECC TC21国内支援委員会委員長、山梨大学名誉教授、水災害・リスクマネジメント国際センター前センター長 話題提供者 石渡幹夫 独立行政法人 国際協力機構 天野雄介 国土交通省 総合政策局 酒井直樹 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 和田 章 東京工業大学名誉教授 倉田英之 熊本県西原村役場 総務課 天野光歩 株式会社 建設技術研究所
科学技術の進歩にもかかわらず国内外で災害が増加しており、アジア太平洋地域では減災・防災は共通した喫緊の課題になっている。防災に関する科学技術情報が、災害に対する備えや避難の意志決定を行う行政や市民に正確に伝わっていないこと、また学術分野や部門間の意思疎通、知識・知見の伝達が不十分であることが、災害の主因の一つと考えられる。アジア土木学協会連合協議会の21番目の技術委員会であるTC21は学術・部門横断的アプローチ(Transdisciplinary Approach)により、災害に強い社会づくりに貢献することを目的として設立された。本研究討論会では、TC21の取組みを紹介するとともに、災害の根本原因の軽減を通じた災害に強い社会づくりについて議論する。		
【研15】 9月11日(月) 13:00-15:00 センター2号館 2306	次世代が知りたい土木の魅力とは何か 土木広報センター http://committees.jsce.or.jp/cprcenter/	座長 鳥谷幸宏 九州大学(土木広報センター 次長/インフラ解説グループ長) 話題提供者 緒方英樹 全国建設研修センター(土木広報センター 土木リテラシー促進グループ長) 小松 淳 日本工営(土木広報センター 次長/情報集約・発信グループ長) 国土交通省九州地方整備局 土木学会西部支部 コンサルタント委員会市民交流研究小委員会 学生(九大女子2年生土木系1名、九大女子2年生非土木系1名) 子育てを終えた女性1名
土木学会の土木広報センターの活動を中心に、土木学会(支部を含む)では土木の魅力が市民にどのように伝えているかを紹介していただき、市民への情報発信と市民との交流の場の形成が土木の魅力伝えるためにどのように活かされているかをパネリスト間で議論していただく。また、西部支部の具体例をもとに議論を進める。さらに、地元の小・中学生などの次世代を担う人々とのふれあい、ユニークな取り組みについて、それらが土木の魅力伝える広報活動として非常に効果的であることを事例を挙げて紹介していただく。そして、後半で次世代が知りたい土木の魅力とは何か、土木の魅力をどのように次世代に伝えるかを参加者全員で討論する。		

日時／会場	題 目	座長および話題提供者
【研16】 9月11日(月) 13:00-15:00 センター1号館 1303	巨大地震・津波に対し水循環施設はどう備えるべきか 水循環施設の合理的な災害軽減対策研究小委員会 http://committees.jsce.or.jp/eec2/	講演者 宮島昌克 金沢大学 宮本勝利 日水コン 小西康彦 日水コン 井上涼介 元茨城大学 飛田哲男 関西大学 有賀義明 弘前大学 山中明彦 パシフィックコンサルタンツ 原田賢治 静岡大学
兵庫県南部地震以後、巨大地震のたびに水循環施設に被害が生じて国民生活に給水制限やトイレの使用制限などの影響がでている。本討論会ではそれぞれの地震の特徴と被害形態を踏まえて、どのようにしたら今後想定されている巨大地震に備えることができるかを討論する。		
【研18】 9月13日(水) 13:00-15:00 センター2号館 2303	非線形地震応答解析の品質保証とそれのあるべき姿について考える －非線形地震応答解析法の妥当性確認／検証方法の体系化について－ 地震工学委員会・地盤・構造物の非線形地震応答解析法の妥当性確認／検証方法の体系化に関する研究小委員会 http://committees.jsce.or.jp/eec2/	座 長 中村 晋 日本大学工学部土木工学科 国内外の数値解析の妥当性確認／検証方法の現状と課題および小委員会活動について 話題提供者 堀 宗朗 東京大学地震研究所 巨大地震津波災害予測研究センター HPCを用いたシミュレーション 室野剛隆 (公財)鉄道総合技術研究所 鉄道地震工学研究センター 鉄道構造物の地震応答解析 大矢陽介 (国研)港湾空港技術研究所 地震防災研究領域 港湾構造物の地震応答解析 矢部正明 (株)長大 構造事業本部 道路構造物の地震応答解析 若井明彦 群馬大学 大学院理工学府 環境創生部門 地盤工学分野での数値解析 佐竹亮一郎 群馬大学 大学院理工学府 環境創生部門 地盤工学分野での数値解析
1995年兵庫県南部地震以降、耐震設計に関する基準類は、非線形地震応答解析を利活用し、耐震性能の評価を行う体系に改訂された。施工に係わる品質保証と同様に、複雑な地震時挙動の設計や評価に数値解析を利活用するためには、その品質や信頼性を向上させる枠組みの構築が急務と考えられる。さらに、その構築は、有限要素法から最近の粒子法などの非線形地震応答解析法の適切な発展を促進する意味でも重要となる。研究討論会では、耐震設計などで利活用が増加している非線形地震応答解析法の品質評価の現状を認識し、体系化の必要性とそのコンセンサスを形成するとともにそれに必要な課題を明らかにすることを目的とした討論を行う。		
【研19】 9月13日(水) 13:00-15:00 センター1号館 1402	「構造設計における目標安全性水準の設定 ～How safe is safe enough?～」 構造工学委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/struct/framepage2.html	座 長 佐藤尚次 中央大学教授「設計基準体系における安全性照査ガイドライン策定小委員会」委員長 話題提供者 高田毅士 東京大学:建築分野 蛭沢勝三 電力中央研究所:原子力分野 菊池喜昭 東京理科大学:地盤分野 有川太郎 中央大学:河川・海岸分野 秋山充良 早稲田大学:構造分野
構造工学委員会では、「設計基準体系における安全性照査ガイドライン策定小委員会」を設立し、重要課題について討議を重ねてきたが、その中で最も重要なテーマである「目標安全性水準の設定」についての討議内容を紹介し、参加者からご意見をいただき、今後の活動に反映させたい。 討議の主な観点としては、地震作用のような低頻度の変動作用や偶発作用が主たる作用となる境界状態、全確率か条件付き確率か、リスクの経済・社会的受容性、国際標準ISO2394で紹介されているLQI (Life Quality Index)の考え方、などがある。 How safe is safe enough?という問いかけに対して、皆さんはどのように答えますか?		
【研20】 9月13日(水) 13:00-15:00 センター1号館 1403	鋼・コンクリート複合構造物と水～構造物の寿命を全うさせるために水を管理する～ 複合構造委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/fukugou/index.html	座 長 大西弘志 岩手大学 話題提供者 大西弘志 岩手大学 大塚 努 東京地下鉄(株) 廣河了亮 高槻市 西内達雄 (一財)電力中央研究所 西 弘 (株)CORE技術研究所
我が国では橋梁等において水が原因と考えられる損傷が多発し、構造物としての寿命が大幅に短縮されているとの研究結果から、橋梁への水対策は維持管理上必要不可欠となっている。しかし、これらの構造物に対して水がどのように浸入して損傷を与えているかが明確になっていないため、防水・排水工も多種多様な手法が提案されている。水対策工の施工にあたっては施工困難箇所や交通規制等施工条件が厳しい場合への対応など、従来工法においてもいまだに課題は多く、供用下にある構造物の寿命を保全できているのかどうかについて議論の余地がある。 そこで本研究討論会では、鋼やコンクリートと水の接点から、複合構造物と水の関連性について基本から再確認する。具体的には、各種構造物において、水によるどのような損傷が生じているか、防水・排水対策をどのように行っているかを報告してもらい、これまでは見落とされている事象や、参考になる技術について討論したいと考えている。また、防水・排水小委員会(H210(終了)、H214(活動中))における活動報告を行い、多様な視点を持った技術者から、今後の検討方針について活発かつ有益なご意見をいただきたいと考えている。		

日時/会場	題目	座長および話題提供者
【研21】 9月13日(水) 13:00-15:00 センター2号館 2403	人にやさしい地下空間の創造に向けて ～地下空間のわかりやすさ、歩きやすさ～ 地下空間研究委員会 http://www.jsce-ousr.org/	座長 清水則一 地下空間研究委員会 心理小委員会委員(山口大学教授) 話題提供者 樋口 敬 福岡市地下鉄道事業者(福岡市交通局施設部施設設計課建築設計係) 古川隆一 天神地区地下街事業者(福岡地下街開発株式会社管理部) 今泉暁音 行動心理の研究者 心理小委員会委員(福岡大学助教) 工藤康博 都市計画の専門家 計画小委員会委員(地下空間研究委員会顧問)
わが国の都市では、地下鉄や地下街、地下道、地下駐車場などの地下空間が建設されてきた。今では、それぞれの歩行空間がネットワークされ、民地ビルの地下階にまでシームレスに連絡されており、不特定多数の人々が行き交う、都市の活動を支える重要なインフラとなっている。その一方で、地下空間特有の閉鎖性や迷路性に加え、平面的にも立体的にも複雑な空間となっている施設もある。各施設では、その改善に取り組んでいるが、いまだ、誰もがわかりやすい空間になっていない。わかりやすく、歩きやすい空間形成を進めることで、常時だけでなく、災害時にも安全に避難することが可能になる。討論会ではこのような地下空間施設の現状に着目し、立場の異なる様々な専門家を交え、利用者の行動の側面を中心に意見交換したいと考えている。		
【研22】 9月13日(水) 13:00-15:00 センター2号館 2304	都市機能のリノベーションとトンネル技術の応用 トンネル工学委員会(特殊トンネル部会) http://committees.jsce.or.jp/tunnel/	座長 清水 満 東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター 次長 話題提供者 近藤政弘 西日本旅客鉄道株式会社 桑原 清 株式会社ジェイテック 丸田新市 植村技研工業株式会社 藤岡一頼 NEXCO 総研 澤田 亮 鉄道総合技術研究所 田島新一 鹿島建設株式会社
鉄道などで分断されているまちの活性化や鉄道踏切、幹線道路の渋滞緩和などによる都市機能の効率化を目的に、鉄道と道路や河川・水路などの立体交差事業が実施される。この場合、オーバースタイルやアンダーパス型の横断施設が施工されるが、近年では特にアンダーパス型が多用される傾向にある。これは、日本の高いトンネル技術を背景にその応用技術が発展したためと考えられる。本研究討論会では、トンネル技術を応用したアンダーパス型の横断施設的设计・施工に関して、これまでの変遷を総括するとともに、都市機能のリノベーションにより貢献するトンネルの技術開発の展望について議論を深める。		
【研23】 9月13日(水) 13:00-15:00 センター2号館 2404	質の高いインフラ投資の実現に向けた ODA事業の改善方策 建設マネジメント委員会 http://committees.jsce.or.jp/cmc/	座長 小澤一雅 東京大学 話題提供者 奥村康博 国土交通省 金哲太郎 (独)国際協力機構 傅 暁 大成建設株 林 幸伸 日本工営株 福本勝司 大林道路株
ODA事業を通して、発展途上国のインフラ整備を支援するとともに、建設技術の移転、現地の人材育成に寄与することは、国際社会の発展のために日本が果たさなければならない大きな役割であり、これらに貢献可能な本邦企業が長期的に質の高いインフラ事業の実現に関わることが肝要である。土木学会建設マネジメント委員会ODA活用小委員会は、平成27年6月に中間報告書を取り纏め、包括的建設サービス(Wrap-up Construction Service (WCS))方式と包括的地域協定(Wrap-up Regional Agreement (WRA))方式の2つの事業方式を提案している。事業方式や契約問題の観点から、質の高いインフラ投資の実現に向けたODA事業の改善方策について議論する。		
【研24】 9月13日(水) 13:00-15:00 センター2号館 2406	「インフラメンテナンスへのロボット技術の導入」～現状と将来展望～ 建設用ロボット委員会 http://committees.jsce.or.jp/robot/	座長 建山和由 立命館大学理工学部教授、建設用ロボット委員会委員長 話題提供者 六郷恵哲 岐阜大学工学部社会基盤工学科名誉教授、特任教授 新田恭士 国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 企画専門官 安田 亨 パシフィックコンサルタンツ株式会社 交通基盤事業本部 兼 技術研究センター 技術理事 加瀬 裕 パナソニック株式会社コネクティッドソリューションズ社 係長 隈部 佳 九州旅客鉄道株式会社施設部工事課土木技術マネジメント 課長代理
橋梁やトンネルといったインフラの老朽化が叫ばれて久しいが、これらの構造物の点検はいまだに人による作業に大きく依存している。このような背景のもと、SIPを始めとしてインフラメンテナンスへのロボット技術の導入が進められている。本研究討論会では、インフラメンテナンスの現状および、現在導入されているロボット技術の現状を紹介すると共に、今後インフラメンテナンス分野へロボット技術を積極的に導入するためにはどうすべきかを議論する。また、2030年のインフラメンテナンスの理想像等も論点に議論する。		

日時／会場	題目	座長および話題提供者
【研25】 9月13日(水) 13:00-15:00 センター2号館 2407	官民連携のまちづくり活動における市民合意形成 コンサルタント委員会市民合意形成小委員会 http://www.jsce.or.jp/committee/kenc/index.asp	座長 上野俊司 国際航業株式会社 話題提供者 森本章倫 早稲田大学理工学術院 社会環境工学科 教授 林 将廣 株式会社アイ・エス・エス 伊藤将司 株式会社福山コンサルタント
<p>少子高齢化、環境問題、生活様式の変化などの様々な地域課題や社会問題等により、市民ニーズは多様化・高度化し、従来の行政サービスを越える対応が求められている。また、財政制約下の中では、持続可能な都市経営の実現が課題となっており、官民が連携した様々な公的な活動が求められている状況である。このような状況の中、官民連携によるまちづくりが広がり、多数の活動事例が見られる。</p> <p>本研究討論会においては、当委員会がこれまで活動してきた社会資本整備や防災まちづくりの市民合意形成に関する研究成果を踏まえ、官民が連携して活動を行っている先進事例を紹介しながら、このような活動を行う上で求められる市民合意形成について、議論を深めてみたい。</p>		
【研26】 9月13日(水) 13:00-15:00 西講義棟 第1講義室	下水再生水の利用促進における環境工学の役割 環境工学委員会 http://committees.jsce.or.jp/eec/	座長 久場隆広 九州大学 話題提供者 山下洋正 国土交通省 国土技術政策総合研究所 下水道研究部 下水処理研究室 室長 国内の再生水利用紹介とISO国際規格化 濱田秀幸 福岡市下水道局 下水再生水の30年間以上に渡る天神地区等への給水状況と新技術導入 田中宏明 京都大学 下水再生水の農業利用と病原体リスク 大熊那夫紀 造水促進センター 下水再利用のためのMBR+ROシステムの事例紹介
<p>偏在する水資源に対して都市部においては人口集中と水需要の増加がある。また、地球規模での気候変動により渇水リスクの増大が懸念されている。このため、非在来水源である下水処理水の再生利用を積極的に進めることが求められている。</p> <p>本討論会では、下水再生水の利用促進に取り組んでいる方々に話題提供をしていただき、今後の下水再生水活用の在り方を考え、環境工学分野が貢献をしているには何が必要かを討論する機会としたい。</p>		
【研27】 9月13日(水) 13:00-15:00 センター2号館 2203	技術伝承における映像の果たす役割～九州の土木遺産を中心として～ 土木技術映像委員会 http://committees.jsce.or.jp/avc/	座長 大野春雄 土木学会土木技術映像委員会委員長(建設教育研究推進機構理事長・攻玉社工科短期大学名誉教授) 話題提供者 文化財関係者 土木映画カメラマン 土木技術映像委員会委員 他
<p>九州には石橋をはじめとする貴重な土木遺産が数多く存在するが、その多くは老朽化と自然災害の脅威にさらされている。『平成28年熊本地震』でも熊本城の石垣や通潤橋など多くの土木遺産が被災した。一方、必要な修復、保存のための移設・復元に欠かせない、石工などの伝統技術の継承者は高齢化しており、若手への技術の伝承が急がれる。</p> <p>討論会では、現存建造物の映像による記録の必要性、技術伝承への映像技術活用の可能性について、九州の土木遺産保存の現状と課題を共有するとともに議論する。</p> <p>技術映像としての情報の視覚的な保存により、データベースとしての機能だけでなく、技術の共有、土木遺産の認知度の向上、将来的にはバーチャルリアリティ技術との融合による次世代への効果的な技術伝承などの効果が期待できる。</p>		
【研28】 9月13日(水) 13:00-15:00 センター2号館 2305	継続教育におけるeラーニングの展開 継続教育実施委員会 http://committees.jsce.or.jp/opcet/01_committee	座長 竹村次朗 継続教育実施委員会委員長:東京工業大学 話題提供者 福原美三 (一社)日本オープンオンライン教育推進協議会事務局長:明治大学特任教授) ①社会人の学びのトレンド/国の政策動向 岸田 徹 (株)ネットラーニング 代表取締役 ②技術シーズ:eラーニングの技術的動向 石川孝重 (一社)日本建築学会:日本女子大学 教授 ③先学協会 大和則夫 建設コンサルタンツ協会九州支部理事:(株)東京建設コンサルタント 専務執行役員九州支社長 ④外部のeラーニングに期待すること 鷲見浩一 継続教育実施委員会eラーニング運営小委員会委員長:日本大学 教授 ⑤継続教育実施委員会
<p>継続教育実施委員会・技術推進機構では、土木技術者のためのeラーニングの本格導入に向け、今年度にeラーニングの試行を行う。大学でのeラーニングの普及や民間による各種eラーニングが提供される中、土木学会において今後本格展開を進めるにあたり、eラーニングによる学びの現状や先行する学協会の取り組み、土木技術者の学びの現状を踏まえ、土木学会のeラーニングは、何を目標として、どのような方向性を目指すべきであるかについて、討議を行うものである。</p>		

日時／会場	題 目	座長および話題提供者
【研29】 9月13日(水) 13:00-15:00 センター2号館 2202	「若手技術者の失敗に学ぶ～Innovation 若手技術者による土木“革新” 2017」 若手会員パワーアップ小委員会 http://committees.jsce.or.jp/kikaku03/	座 長 (予 定) 企画委員会若手パワーアップ小委員会の委員 話題提供者(予定) 企画委員会若手パワーアップ小委員会の委員 他
若手パワーアップ小委員会では、昨年度研究討論会「若手が集まる講習会を考える」で活発に討論された結果(http://committees.jsce.or.jp/kikaku03/node/19)を「若手パワーアップ塾」「プラタシロ」など当小委員会主催の企画や、各支部活動に展開してきた。今年度研究討論会ではこのような企画の1つとして、「若手技術者の失敗に学ぶ」討論会を開催する。当小委員会から話題提供(失敗事例と分析結果の紹介)をおこない、調査・計画・設計・施工の各段階の失敗事例を学んで技術力やモチベーションの向上を目指すとともに、グループワークを行うことで参加者の交流を深める。		
【研30】 9月13日(水) 13:00-15:00 センター2号館 2306	「自動走行×道路インフラ×流通事業が リンクする未来」 土木情報学委員会 http://committees.jsce.or.jp/cceips/	座 長 河村 圭 山口大学 話題提供者 天野 肇 特定非営利活動法人 ITS Japan 近藤康弘 AZAPA(株) 西村 出 (株)セブン&アイHLDGS. 平井秀明 (株)リコー 山根裕之 伊藤忠テクノソリューションズ(株)
平成26年6月に国土交通省の定期点検要領が策定され、道路インフラについて原則として5年に1度の定期点検が義務づけられた。また、ICT技術の発展に伴い、新しい点検技術が開発されている。一方で、道路インフラ自体は、従前どおり新設あるいは補修・補強がなされている。この道路インフラを情報インフラとして利用することで、計測精度や測位精度が向上する可能性が高い。近年開発が進む自動走行についても、道路インフラが発信する情報を利用した走行システムの活用が期待できる。また、災害時における動線の情報を発信することで、いち早い物流の復旧が可能となる。道路インフラが発信する情報によって変わる未来について幅広く議論を行う。		

第72回年次学術講演会会場および座長(予定者)一覧表

月 日		9月11日(月)			
部門	会場	9:00~10:20	10:40~12:00	15:20~16:40	17:00~18:20
I	I-1 センター1号館1303教室	維持管理(一般)(1) I-001~I-008 木ノ本剛	維持管理(一般)(2) I-009~I-016 青木康泰	維持管理(計画・管理)(1) I-017~I-024 木村元哉	維持管理(計画・管理)(2) I-025~I-032 谷口望
	I-2 センター1号館1305教室	地震防災(1) I-064~I-071 丸山喜久	地震防災(2) I-072~I-078 盛川 仁	地震防災(3) I-079~I-085 庄司 学	地震防災(4) I-086~I-093 三上 卓
	I-3 センター1号館1306教室	波動・数値解析 I-122~I-129 紅雲一寛	計算力学 I-130~I-138 古川 陽	橋梁床版(1) I-139~I-146 菅田龍一	橋梁床版(2) I-147~I-154 橋 吉宏
	I-4 センター1号館1401教室	橋梁一般(設計)(1) I-187~I-194 奥井義昭	橋梁一般(設計)(2) I-195~I-202 田村 洋	橋梁一般(設計)(3) I-203~I-210 橋山秀喜	橋梁一般(設計・施工) I-211~I-218 西谷雅弘
	I-5 センター1号館1402教室	疲労(1) I-259~I-266 村越 潤	疲労(2) I-267~I-274 田井政行	疲労(3) I-275~I-282 木下幸治	疲労(4) I-283~I-290 穴見健吾
	I-6 センター1号館1403教室	維持管理(測定)(1) I-329~I-336 大島義信	維持管理(測定)(2) I-337~I-344 長山智朗	維持管理(測定)(3) I-345~I-352 蘇 迪	橋梁一般(測定) I-353~I-360 佐伯昌之
	I-7 センター1号館1405教室	衝撃(実験)(1) I-397~I-403 香月 智	衝撃(実験)(2) I-404~I-410 今野久志	衝撃(実験)(3) I-411~I-417 岩谷 浩	衝撃(解析) I-418~I-425 山本佳士
	I-8 センター1号館1406教室	橋梁耐震(1) I-466~I-473 竹田周平	橋梁耐震(2) I-474~I-481 北原武嗣	橋梁耐震(3) I-482~I-489 宇野州彦	橋梁耐震(4) I-490~I-497 古川愛子
	I-9 センター1号館1407教室	地震応答解析(1) I-537~I-543 松永昭吾	地震応答解析(2) I-544~I-552 渡邊学歩	耐風・風工学(1) I-553~I-559 木村吉郎	耐風・風工学(2) I-560~I-566 比江島慎二
	I-10 センター1号館1408教室	継手(1) I-607~I-613 南 邦明	継手(2) I-614~I-620 鈴木康夫	継手(3) I-621~I-628 田畑晶子	接合・溶接 I-629~I-636 廣畑幹人
II	II-1 総合学習プラザ第13講義室	水災害・防災(1) II-001~II-007 山本隆広	水災害・防災(2) II-008~II-014 小森大輔	水災害・防災(3) II-015~II-021 鷺見哲也	流出 II-022~II-028 野原大督
	II-2 総合学習プラザ第14講義室	河川環境構造 II-059~II-066 鬼塚幸樹	河川生態系 II-067~II-072 溝口裕太	河川環境 II-073~II-079 村岡敬子	水環境の評価・モデリング II-080~II-086 梅田 信
	II-3 総合学習プラザ第15講義室	樹林・流水 II-114~II-119 大石哲也	植生水理 II-120~II-126 岡本隆明	数値流体力学 II-127~II-134 吉田圭介	河川水理 II-135~II-141 横嶋 哲
	II-4 総合学習プラザ第16講義室	漂砂 II-168~II-175 伴野雅之	波浪 II-176~II-183 横田雅紀	津波液力・漂流物 II-184~II-190 関 克己	津波・高潮 II-191~II-196 奥村与志弘
III	III-1 センター2号館2106教室	不飽和土・粘土の変形特性 III-001~III-008 木元小百合	特殊土 III-009~III-016 海野寿康	地盤改良(1) III-017~III-024 内野秀克	地盤改良(2) III-025~III-031 尾尾浩一
	III-2 センター2号館2103教室	透水・浸透(1) III-072~III-079 酒匂一成	透水・浸透(2) III-080~III-087 小高猛司	透水・浸透(3) III-088~III-094 前田健一	透水・浸透(4) III-095~III-101 森 啓年
	III-3 センター2号館2105教室	斜面(1) III-134~III-141 若井明彦	斜面(2) III-142~III-149 荒木功平	斜面(3) III-150~III-157 平岡隆隆	斜面(4) III-158~III-165 石沢友浩
	III-4 センター2号館2104教室	地盤の応力と変形 III-206~III-213 竹山智英	土の物理化学的性質 III-214~III-220 三上武子	地盤の動的挙動(1) III-221~III-228 中澤博志	地盤の動的挙動(2) III-229~III-236 山口恵美
	III-5 センター2号館2215教室	数値解析 III-276~III-283 橋 伸也	土壌地下水汚染(1) III-284~III-291 渡邊保貴	土壌地下水汚染(2) III-292~III-299 小峯秀雄	フィルダ III-300~III-306 向後雄二
	III-6 センター2号館2212教室	トンネル(1) III-336~III-343 伊東佳彦	トンネル(2) III-344~III-351 重田佳幸	トンネル(3) III-352~III-359 村山秀幸	トンネル(4) III-360~III-367 松下智昭
	III-7 センター2号館2214教室	圧密(1) III-405~III-412 片桐雅明	圧密(2) III-413~III-420 梅崎健夫	土留め(1) III-421~III-426 神田政幸	土留め(2) III-427~III-433 杉山太宏
	III-8 センター2号館2213教室	安全性・信頼性(1) III-471~III-477 兵動正幸	安全性・信頼性(2) III-478~III-484 伊藤和也	現場計測(1) III-485~III-491 安井利彰	現場計測(2) III-492~III-498 神宮司元治
IV	IV-1 センター2号館2205教室			災害・防災(1) IV-001~IV-007 田 尚志	災害・防災(2) IV-008~IV-014 北詰恵一
	IV-2 センター2号館2206教室		公共交通(1) IV-046~IV-053 新倉淳史	公共交通(2) IV-054~IV-061 柳沼秀樹	都市・地域計画 IV-062~IV-069 中道久美子
	IV-3 センター2号館2207教室		交通のセンシングと解析 IV-097~IV-104 中西 航	道路交通計画・運用 IV-105~IV-112 野中康弘	道路交通モデル IV-113~IV-120 葛西 誠
V	V-1 センター2号館2204教室	舗装一般(1) V-001~V-007 塚本真也	舗装一般(2) V-008~V-015 河村直哉	維持・修繕(舗装)(1) V-016~V-022 坂本政一	維持・修繕(舗装)(2) V-023~V-029 若永真和
	V-2 センター2号館2203教室	副産物利用・再生材料(1) V-070~V-077 小川洋二	副産物利用・再生材料(2) / 新材料・新工法(材料)(1) V-078~V-085 原田耕司	新材料・新工法(材料)(2) V-086~V-093 上原元樹	新材料・新工法(材料)(3) V-094~V-101 宇野洋志城
	V-3 センター2号館2208教室	構造物調査・診断(1) V-141~V-148 田中泰司	構造物調査・診断(2) V-149~V-155 青木圭一	構造物調査・診断(3) / 構造設計 V-156~V-162 秋山克良	連続橋・連続コンクリート(構造) / 距離連続コンクリート(構造) V-163~V-170 上原子晶久
	V-4 センター2号館2202教室	維持管理(1) V-209~V-216 勝木 太	維持管理(2) V-217~V-224 藤井隆史	維持管理(3) V-225~V-232 小松怜史	維持管理(4) / 劣化予測 V-233~V-240 井林 康
	V-5 センター2号館2209教室	付着・定着・継手(1) V-276~V-283 轟俊太郎	付着・定着・継手(2) V-284~V-291 上田尚史	付着・定着・継手(3) V-292~V-299 高橋良輔	プレキャストコンクリート V-300~V-307 河野哲也
	V-6 センター2号館2201教室	混和材 V-346~V-353 吉田克弥	混和材(1) V-354~V-361 林 大介	混和材(2) V-362~V-369 高木志志	混和材(3) V-370~V-376 酒井雄也
	V-7 センター2号館2210教室	塩害(1) V-417~V-424 山口明伸	塩害(2) V-425~V-432 加藤絵乃	塩害(3) V-433~V-440 田中博一	塩害(4) / アルカリシリカ反応(1) V-441~V-448 久保昌一
	V-8 センター2号館2216教室	補修・補強(材料)(1) V-487~V-494 遠藤裕文	補修・補強(材料)(2) V-495~V-502 佐々木 亘	補修・補強(材料)(3) V-503~V-510 宮里心一	補修・補強(材料)(4) V-511~V-518 片平 博
	V-9 センター2号館2211教室	鋼材腐食(1) V-556~V-563 古賀裕久	鋼材腐食(2) V-564~V-571 染谷 望	木材利用 V-572~V-577 野田 龍	木材(耐久性)・木材利用 V-578~V-584 佐々木貴信
VI	VI-1 センター2号館2301教室	ダム(1) VI-001~VI-008 山下哲一	ダム(2) VI-009~VI-016 佐藤英明	ダム(3) VI-017~VI-023 宮入 齋	調達 VI-024~VI-031 梅津芳樹
	VI-2 センター2号館2302教室	鉄道(1) VI-071~VI-077 小林寿子	鉄道(2) VI-078~VI-085 早川博久	鉄道(3) VI-086~VI-092 北出啓一郎	鉄道(4) VI-093~VI-099 舟橋秀廣
	VI-3 センター2号館2303教室	山岳トンネル(1) VI-137~VI-144 石田滋樹	山岳トンネル(2) VI-145~VI-152 日下 敦	山岳トンネル(3) VI-153~VI-160 安井成豊	山岳トンネル(4) VI-161~VI-168 海潮 忍
	VI-4 センター2号館2304教室	山岳トンネル(10) VI-208~VI-215 嶋本敬介	山岳トンネル(11) VI-216~VI-223 藤倉篤美	山岳トンネル(12) VI-224~VI-230 増田 潔	開削トンネル VI-231~VI-237 土屋弘弘
	VI-5 センター2号館2305教室	シールドトンネル(1) VI-277~VI-284 河本武士	シールドトンネル(2) VI-285~VI-292 木村 晃	シールドトンネル(3) VI-293~VI-300 瀬川幸司	シールドトンネル(4) VI-301~VI-307 中谷武彦
	VI-6 センター2号館2306教室	施工技術(1) VI-347~VI-354 高橋敏樹	施工技術(2) VI-355~VI-362 梅村 勝	軌道保守(1) VI-363~VI-369 橋谷栄一	軌道保守(2) VI-370~VI-376 坪川洋友
	VI-7 センター2号館2401教室	施工技術(3) VI-417~VI-424 谷口裕史	施工技術(4) VI-425~VI-432 藤井誠司	軌道保守(8) VI-433~VI-440 山崎謙幸	軌道保守(9) VI-441~VI-447 及川祐也
	VI-8 センター2号館2402教室	施工技術(5) VI-487~VI-494 杉山 律	施工技術(6) VI-495~VI-502 喜多直之	施工技術(7) VI-503~VI-510 菅原克夫	施工技術(8) VI-511~VI-518 春木正史
	VI-9 センター2号館2403教室	施工技術(9) VI-557~VI-563 新村 亮	施工技術(10) VI-564~VI-571 清水正巳	施工技術(11) VI-572~VI-578 三木 浩	施工技術(12)・施工計画(1) VI-579~VI-585 杉本直行
	VI-10 センター2号館2404教室	リニューアル(7) VI-625~VI-631 朝原徹也	リニューアル(8) VI-632~VI-639 山 毅	リニューアル(9) VI-640~VI-647 熊坂徹也	リニューアル(10) VI-648~VI-655 愛敬圭二
	VI-11 センター2号館2406教室	ロボット・自動化・情報化施工(1) VI-693~VI-700 青木浩章	ロボット・自動化・情報化施工(2) VI-701~VI-708 武石 学	ロボット・自動化・情報化施工(3) VI-709~VI-716 森本直樹	ロボット・自動化・情報化施工(4) VI-717~VI-723 安藤 拓
	VI-12 センター2号館2407教室	建設事業計画・工程管理 VI-764~VI-771 山下正治	品質管理(1) VI-772~VI-779 横尾 敦	品質管理(2)・安全管理(1) VI-780~VI-787 久保昌史	安全管理(2) VI-788~VI-795 八朝秀晃
	VI-13 センター2号館2409教室	新材料・新素材 VI-836~VI-843 大脇英司	技術開発(1) VI-844~VI-851 坂本 守	技術開発(2) VI-852~VI-859 田中亮一	技術開発(3) VI-860~VI-867 宇野昌利
	VI-14 センター2号館2408教室	検査技術・診断(1) VI-908~VI-915 阪本泰士	検査技術・診断(2) VI-916~VI-923 松田 敏	検査技術・診断(3) VI-924~VI-931 森 康雄	検査技術・診断(4) VI-932~VI-939 田辺重男
VII	VII-1 西講義棟第1講義室	有害物質環境汚染 VII-001~VII-007 和田信一郎	原子力土木(外的事象)PRA・地震・津波 VII-008~VII-013 中村 晋	原子力土木(地中構造物耐震) VII-014~VII-019 飯田泰子	原子力土木(地盤・斜面・断層変位・耐久性) VII-020~VII-027 中村 晋
	VII-2 西講義棟第2講義室	埋立処分場管理(1) VII-066~VII-071 関戸知雄	埋立処分場管理(2) VII-072~VII-078 朝倉 宏	循環資源・リサイクル VII-079~VII-085 渡辺亮一	バイオレメディエーション VII-086~VII-093 奥津野也
	VII-3 西講義棟第3講義室	環境システム・環境計画 VII-134~VII-141 山田百合子	都市環境・エネルギー VII-142~VII-149 小林 功	大気水環境・騒音振動(1) VII-150~VII-156 前田 章	大気水環境・騒音振動(2) VII-157~VII-163 齋藤邦夫
CS	CSの1会場 総合学習プラザ第5講義室	International session国際セッション(1) CS2-001~CS2-008 大槻順朗	International session国際セッション(5) CS2-009~CS2-016 岡本隆明	地下空間の多角的利用(1) CS4-001~CS4-007 岡崎 平	地下空間の多角的利用(2) CS4-008~CS4-013 岡本隆明
	CSの2会場 総合学習プラザ第6講義室	International session国際セッション(3) CS2-017~CS2-024 中島伸一郎	International session国際セッション(4) CS2-025~CS2-032 崔 瑛	土木分野におけるIoT(1) CS15-001~CS15-004 梶見周彦	土木分野におけるIoT(2) CS15-005~CS15-009 藤田耕司
	CSの3会場 総合学習プラザ第7講義室	International session国際セッション(2) CS2-009~CS2-016 松村 聡	計算力学(1) CS13-001~CS13-006 斎藤隆泰	計算力学(2) CS13-007~CS13-012 吉川 仁	計算力学(3) CS13-013~CS13-019 西藤 潤
	CSの4会場 総合学習プラザ第8講義室	気候変動による影響への適応 CS6-001~CS6-005 矢野真一郎	複合構造物(1) CS5-001~CS5-006 大山 理	複合構造物(2) CS5-007~CS5-013 大久保真人	複合構造物(3) CS5-014~CS5-020 鈴木啓悟
	CSの5会場 総合学習プラザ第9講義室	土木教育一般(1) CS1-001~CS1-007 白旗弘実	土木教育一般(2) CS1-008~CS1-013 皆川 浩	土木教育一般(3) CS1-014~CS1-020 鈴木啓悟	土木教育一般(4) CS1-021~CS1-027 宮里心一

部門	会場	9月12日(火)		9月13日(水)		
		9:00~10:20	10:40~12:00	9:00~10:20	10:40~12:00	15:20~16:40
I	I-1	維持管理(耐荷性能) I-033~I-040 北根安雄	維持管理(補修) I-041~I-048 清水 優	維持管理(疲労) I-049~I-056 平野秀一	安全性・信頼性/最適設計 I-057~I-063 中村 晋	
	I-2	地震防災(5) I-094~I-100 泰 康範	地震防災(6) I-101~I-107 近藤伸也	破壊力学 I-108~I-114 判治 剛	非破壊評価 I-115~I-121 山田真幸	
	I-3	橋梁床版(3) I-155~I-162 梶尾 聡	橋梁床版(4) I-163~I-170 大西弘志	ダム・タンクの耐震 I-171~I-178 仲村成貴	耐震補強 I-179~I-186 五十嵐晃	
	I-4	橋梁一般(施工)(1) I-219~I-226 宮 充	橋梁一般(施工)(2) I-227~I-234 坂本達朗	診断・補修・補強(1) I-235~I-242 内田大介	診断・補修・補強(2) I-243~I-250 石川敏之	診断・補修・補強(3) I-251~I-258 宮下 剛
	I-5	維持管理(環境) I-291~I-297 貝沼重信	維持管理(腐食) I-298~I-305 佐藤 歩	維持管理(防食・耐候)(1) I-306~I-313 下里哲弘	維持管理(防食・耐候)(2) I-314~I-320 和田 新	維持管理(防食・耐候)(3) I-321~I-328 永田和寿
	I-6	橋梁・車両の振動 I-361~I-366 上半文昭	橋梁振動 I-367~I-374 松本泰尚	構造同定 I-375~I-380 山本亨輔	強震動予測 I-381~I-388 後藤浩之	設計地震動・地盤震動 I-389~I-396 福島康宏
	I-7	地盤震動・液状化(1) I-426~I-433 福武毅芳	地盤震動・液状化(2) I-434~I-441 酒井久和	地盤震動・液状化(3) I-442~I-449 野津 厚	地盤震動・液状化(4) I-450~I-457 坂井公俊	基礎の耐震 I-458~I-465 石井 晃
	I-8	地中構造物の耐震 I-496~I-505 大竹省吾	トンネル・地中構造物の耐震 I-506~I-513 濱野雅裕	座屈・耐荷力(桁・柱) I-514~I-521 小野 潔	座屈・耐荷力(板) I-522~I-528 金田崇男	座屈・耐荷力(その他) I-529~I-536 玉越隆史
	I-9	耐風・風工学(3) I-567~I-574 北川徹哉	免震構造・デバイス(1) I-575~I-582 姫野岳彦	免震構造・デバイス(2) I-583~I-590 渡邊学歩	ダンパー (1)/免震構造・デバイス(3) I-591~I-598 葛 凌彬	ダンパー (2) I-599~I-606 室野剛隆
	I-10	耐震設計法(1) I-637~I-644 藤原聖二	耐震設計法(2) I-645~I-651 長尾 毅	壁士の耐震 I-652~I-659 小野祐輔	耐力・変形性能 I-660~I-667 山口隆司	耐震実験 I-668~I-675 田辺篤史
II	II-1	河川計画・管理(1) II-029~II-036 峠 嘉哉	河川計画・管理(2) II-037~II-043 田代 喬	土砂生産・ダム管理 II-100~II-106 竹林洋史	堤防 II-107~II-113 森 啓年	
	II-2	水理構造物(1) II-087~II-092 内田龍彦	水理構造物(2) II-093~II-099 重枝未玲	侵食・河床変動 II-154~II-160 溝口敦子	水理計測法 II-161~II-167 橋 涼太	
	II-3	河道管理(1) II-142~II-147 山本陽子	河道管理(2) II-148~II-153 音田慎一郎	海岸・港湾構造物(1) II-209~II-215 松本 朗	海岸・港湾構造物(2) II-216~II-221 中村友昭	海岸・港湾構造物(3) II-222~II-227 鈴木高二朗
	II-4	沿岸環境(1) II-197~II-202 片岡智哉	沿岸環境(2) II-203~II-208 矢野真一	土質安定処理(1) II-048~II-055 稲垣由紀子	土質安定処理(2) II-056~II-063 石井裕泰	土質安定処理(3) II-064~II-071 原 弘行
	III-1	地盤改良(3) III-032~III-039 高野大樹	地盤改良(4) III-040~III-047 森河由紀弘	洗掘・侵食(1) III-116~III-120 近藤明彦	洗掘・侵食(2) III-121~III-126 松田達也	地下空洞と地下構造物 III-127~III-133 清水隆文
	III-2	斜面(5) III-166~III-173 相山貴俊	斜面(6) III-174~III-181 野々山栄人	斜面(7) III-182~III-189 田口岳志	斜面(8) III-190~III-197 阿部慶太	斜面(9) III-198~III-205 藤田昌弘
	III-3	地盤の動的挙動(3) III-237~III-244 規矩大義	地盤の動的挙動(4) III-245~III-251 上田恭平	土の動的性質(1) III-252~III-259 藤本隆雄	土の動的性質(2) III-260~III-267 安田 進	砂の変形強度 III-268~III-275 中井健太郎
	III-4	試験法・調査法(1) III-307~III-314 石川敬祐	試験法・調査法(2) III-315~III-322 津野 究	リサイクル(1) III-323~III-329 末次大輔	リサイクル(2) III-330~III-335 鶴ヶ崎和博	
	III-5	トンネル(5) III-368~III-375 畑 浩二	トンネル(6) III-376~III-383 杉山博一	シールド(1) III-384~III-390 砂金伸治	シールド(2) III-391~III-396 岡 昭博	岩の工学的性質・地震防災 III-397~III-404 岡崎健治
	III-6	維持・補修 III-434~III-440 日下 敦	凍結・凍土 III-441~III-448 林 宏親	補強土(1) III-449~III-455 宮本慎太郎	補強土(2) III-456~III-463 橋本 聖	補強土(3) III-464~III-470 河村 隆
IV	IV-1	観光 IV-015~IV-022 栗原 剛	土木史 IV-023~IV-030 石橋知也	景観認識・分析 IV-031~IV-037 増山晃太	景観評価・デザイン IV-038~IV-045 柴田 久	
	IV-2	交通事故 IV-070~IV-077 松尾幸二郎	自転車・歩行者 IV-078~IV-084 吉城秀治	空港・港湾・物流 IV-085~IV-092 石黒一彦	経済分析 IV-093~IV-096 高山雄貴	
	IV-3	災害・防災(3) IV-121~IV-128 円山琢也	災害・防災(4) IV-129~IV-136 今西 肇	リモートセンシング(1) IV-137~IV-144 久保守貴彦	リモートセンシング(2) IV-145~IV-151 小島尚人	
	V-1	舗装材料(1) V-030~V-037 丸山記美雄	舗装材料(2) V-038~V-045 木谷貴夫	路面評価(舗装)(1) V-046~V-053 岡部俊幸	路面評価(舗装)(2) V-054~V-061 久利良夫	路面評価(舗装)(3) V-062~V-069 丸山 陽
	V-2	リサイクル(舗装) V-102~V-108 若林由弥	構造評価(舗装) V-109~V-116 井谷雅司	製造・施工 V-117~V-124 坂本 淳	締固め V-125~V-132 上野 敦	ポンプ圧送 V-133~V-140 根本浩史
	V-3	補修・補強(構造) V-171~V-178 服部尚道	補修・補強(構造)(2)/曲げ V-179~V-186 小林 薫	耐震 V-187~V-194 松崎 裕	耐震・補強/振動 V-195~V-201 岡本 大	疲労・衝撃 V-202~V-208 千々和伸浩
	V-4	非破壊試験法(1) V-241~V-247 渡邊 健	非破壊試験法(2) V-248~V-254 麻植久史	非破壊試験法(3) V-255~V-261 内田慎哉	非破壊試験法(4) V-262~V-268 重敷 勲	非破壊試験法(5) V-269~V-275 金田尚志
	V-5	せん断・ねじり(1) V-308~V-315 松本浩朗	せん断・ねじり(2)/コンクリート製品 V-316~V-322 村田裕志	プレストレストコンクリート V-323~V-330 細野宏巳	新材料・新工法(構造) V-331~V-338 中村拓郎	数値解析/破壊力学 V-339~V-345 山本浩士
	V-6	物性(1) V-377~V-384 小川由布子	物性(2) V-385~V-392 福岡和人	クープ・収縮 V-393~V-400 伊藤 始	ひび割れ V-401~V-408 谷口秀明	引張・圧縮・温度応力 V-409~V-416 浅本晋吾
	V-7	アルカリシリカ反応(2) V-449~V-456 山本貴士	複合劣化 V-457~V-462 斎藤 豪	耐久性(1) V-463~V-470 三浦泰人	耐久性(2)/耐火性 V-471~V-478 菅川 浩	凍害 V-479~V-486 迫井裕樹
V	V-8	エコ・緑地コンクリート・リサイクル V-519~V-526 伊達重之	評価・試験方法 V-527~V-534 岡崎慎一郎	短繊維補強コンクリート(材料)(1) V-535~V-541 河野伊知郎	短繊維補強コンクリート(材料)(2) V-542~V-548 岩下健太郎	短繊維コンクリート(材料)(3)/産地補強コンクリート(材料) V-549~V-556 堀田賢
	V-9	防食(1) V-585~V-592 審良善和	防食(2) V-593~V-600 羽淵貴士	特殊コンクリート V-601~V-606 竹田宣典	吹付けコンクリート・高流動コンクリート V-607~V-612 白根勇二	水中コンクリート・軽量コンクリート V-613~V-618 笹倉伸晃
	VI-1	橋梁(1) VI-032~VI-039 宇野洋志城	橋梁(2) VI-040~VI-046 小林 顕	建設マネジメント(1) VI-047~VI-054 大沼和弘	建設マネジメント(2) VI-055~VI-062 高 直人	建設マネジメント(3) VI-063~VI-070 今石 尚
	VI-2	鉄道(5) VI-100~VI-106 村上達也	鉄道(6) VI-107~VI-114 栗林健一	鉄道(7) VI-115~VI-121 月館 洋	鉄道(8) VI-122~VI-128 堀雄一郎	鉄道(9) VI-129~VI-136 川崎祐治
	VI-3	山岳トンネル(5) VI-169~VI-175 青柳隆浩	山岳トンネル(6) VI-176~VI-183 土門 剛	山岳トンネル(7) VI-184~VI-191 古賀大陸	山岳トンネル(8) VI-192~VI-199 西浦秀明	山岳トンネル(9) VI-200~VI-207 吉川直幸
	VI-4	地下構造物(1) VI-238~VI-245 古荘伸一郎	地下構造物(2) VI-246~VI-253 寺田倫康	地下構造物(3)、河川構造物 VI-254~VI-261 緒方明彦	山留め VI-262~VI-269 近江健吾	設計技術 VI-270~VI-276 森田 篤
	VI-5	シールドトンネル(5) VI-308~VI-315 西田与志雄	シールドトンネル(6) VI-316~VI-323 中川雅由	シールドトンネル(7) VI-324~VI-331 安井充豊	シールドトンネル(8) VI-332~VI-338 香川 敦	港湾海洋構造物・空港・建設環境 VI-339~VI-346 濱地克也
	VI-6	軌道保守(3) VI-377~VI-384 猿木雄三	軌道保守(4) VI-385~VI-392 元好 茂	軌道保守(5) VI-393~VI-400 辻江正裕	軌道保守(6) VI-401~VI-408 山本隆一	軌道保守(7) VI-409~VI-416 森本 勝
	VI-7	軌道保守(10) VI-448~VI-454 本野貴志	軌道保守(11) VI-455~VI-462 松本剛明	軌道保守(12) VI-463~VI-470 木浦純一郎	軌道保守(13) VI-471~VI-478 高橋貴哉	軌道保守(14) VI-479~VI-486 立川正勝
	VI-8	アセットマネジメント(1) VI-519~VI-526 青木千里	アセットマネジメント(2) VI-527~VI-533 堀 倫佑	アセットマネジメント(3) VI-534~VI-541 吉田三郎	アセットマネジメント(4) VI-542~VI-549 藤藤徹郎	リニューアル(1) VI-550~VI-556 勝谷康之
VI	VI-9	リニューアル(2) VI-586~VI-593 吉田善紀	リニューアル(3) VI-594~VI-600 福本 守	リニューアル(4) VI-601~VI-608 森瀬善士	リニューアル(5) VI-609~VI-616 出本剛史	リニューアル(6) VI-617~VI-624 西川 修
	VI-10	リニューアル(11) VI-656~VI-663 廣田元朗	リニューアル(12) VI-664~VI-671 内藤英樹	リニューアル(13) VI-672~VI-678 田所敏弥	リニューアル(14) VI-679~VI-685 田口直樹	リニューアル(15) VI-686~VI-692 山口順一郎
	VI-11	ロボット・自動化・情報化施工(5) VI-724~VI-731 前田宏宗	測量・センシング・GPS(1) VI-732~VI-739 片山政弘	測量・センシング・GPS(2) VI-740~VI-747 佐藤瑞彦	測量・センシング・GPS(3) VI-748~VI-755 後閑淳司	測量・センシング・GPS(4) VI-756~VI-763 近藤高弘
	VI-12	CIM(1) VI-796~VI-803 北原 剛	CIM(2) VI-804~VI-811 杉浦伸哉	施工計画(2) VI-812~VI-819 田坂裕雄	施工計画(3) VI-820~VI-827 尾崎健一郎	施工計画(4) VI-828~VI-835 重光 達
	VI-13	施工計画(5) VI-868~VI-875 木村 聡	施工計画(6) VI-876~VI-883 中出 剛	地盤改良(1) VI-884~VI-891 坂梨利男	地盤改良(2) VI-892~VI-899 足立有史	地盤改良(3) VI-900~VI-907 石井裕泰
	VI-14	検査技術・診断(5) VI-940~VI-947 木村政俊	検査技術・診断(6) VI-948~VI-955 西村 毅	検査技術・診断(7) VI-956~VI-963 羽淵貴士	検査技術・診断(8) VI-964~VI-971 戸田勝哉	検査技術・診断(9) VI-972~VI-979 松井雅紀
	VI-1	放射性廃棄物の処分技術(1) VI-028~VI-035 丸込吉則	放射性廃棄物の処分技術(2) VI-036~VI-043 沖原光信	放射性廃棄物の処分技術(3) VI-044~VI-051 渡邊隆夫	放射性廃棄物の処分技術(4) VI-052~VI-058 山田淳夫	放射性廃棄物の処分技術 VI-059~VI-065 千野裕之
	VI-2	モニタリング・解析(水質・生態系) VI-094~VI-101 伊藤岡宏樹	水環境モデリング・水質浄化技術 VI-102~VI-109 尾崎博明	環境影響評価 VI-110~VI-117 横田樹広	環境創造・ビオトープ VI-118~VI-125 川原田圭介	地域環境計画・管理 VI-126~VI-133 田中周平
	VI-3	土壌・地下水汚染 VI-164~VI-169 梶原昌範	土壌・地下水汚染(分析修復技術) VI-170~VI-175 伊藤圭二	下水道・資源循環 VI-176~VI-183 山田剛史	雑性処理 VI-184~VI-191 多田羅昌浩	用排水システム VI-192~VI-199 川又 睦
	CSの1会場	International session国際セッション(6) CS2-041~CS2-047 紀 紀	International session国際セッション(8) CS2-055~CS2-061 全 邦訂		新設および大規模改修時の橋梁計画(1) CS3-001~CS3-006 今西修久	新設および大規模改修時における橋梁計画(2) CS3-007~CS3-012 吉田直弘
CSの2会場	International session国際セッション(7) CS2-048~CS2-054 酒井雄也	International session国際セッション(9) CS2-062~CS2-066 千々和伸浩	道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(1) CS7-001~CS7-008 田中敏弘	道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(2) CS7-009~CS7-016 佐藤一貴	道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(3) CS7-017~CS7-024 葉山浩士	
CSの3会場	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(1) CS14-001~CS14-008 岡本 修	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(2) CS14-009~CS14-016 澤田純之	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(3) CS14-017~CS14-024 宇野昌利	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(4) CS14-025~CS14-032 田中克則	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(5) CS14-033~CS14-040 佐田達典	
CSの4会場	複合構造物(3) CS5-014~CS5-020 石川敏之	複合構造物(4) CS5-021~CS5-027 齋藤 隆	複合構造物(5) CS5-028~CS5-033 剛 剛史	複合構造物(6) CS5-034~CS5-039 平 陽兵		
CSの5会場		ダイバーシティ&インクルージョン CS8-001~CS8-005 保田祐司	土木分野における資料・映像記録の収集・保存と利活用(1) CS12-001~CS12-006 原口征人	土木分野における資料・映像記録の収集・保存と利活用(2) CS12-007~CS12-013 三上 卓		

第72回 年次学術講演会プログラム

第I部門

応用力学、構造工学、鋼構造、耐震工学、地震工学、風工学など

I-1 (センター1号館1303教室) / 9月11日(月)

- 維持管理(一般)(1) / 9:00~10:20 / 木ノ本 剛(首都高速道路)
- I-001 橋梁フィンガージョイントとステンレス鋼製排水樋の電気化学機構に関する基礎的研究 / 九州大学 [学] 百田 寛之・貝沼 重信・塚本 成昭
 - I-002 圧延桁端の断面欠損過程における変形と残留応力再分配に関する実験的研究 / 明石工業高等専門学校 [正] 三好 崇夫・河島 央樹・久松 稜弥
 - I-003 高力ボルト摩擦接合継手のすべり耐力に及ぼす連結板の腐食減肉の影響 / 琉球大学 [学] 大城 泰樹・山下 修平・田井 政行
 - I-004 送電用鉄塔部材を対象とした接合部滑り実験 / 電力中央研究所 [正] 高島 大輔
 - I-005 岩盤埋設水圧鉄管の外水圧屈屈に関する維持管理面からの一考察 / 東電設計 [F] 中村 秀治
 - I-006 ラジアルゲート脚柱の応力分布に対するトラニオンガータの影響について / 中国電力 [正] 南條 英夫・西川 雅章・中村 秀治
 - I-007 耐候性鋼材の補修方法に関する基礎的実験 / 山口大学 [学] 永田 隆弥・麻生 稔彦・今井 篤実
 - I-008 耐候性鋼橋梁補修用水洗レス工法の検討 / 日鉄住金防蝕 [正] 今井 篤実・佐野 大樹・橋本 凌平

- 維持管理(一般)(2) / 10:40~12:00 / 青木 康素(土木研究所)
- I-009 損傷したケーブルを有する少数ケーブル斜張橋の残存性能に関する解析的研究 / 神戸大学 [学] 林 宏行・橋本 国太郎
 - I-010 長寿命化を目指した鋼・合成構造物ディテールの検討 / 東日本旅客鉄道 [正] 保延 有一・山田 正人・青木 千里
 - I-011 標識板フェールセーフの構造検討 / 首都高速道路 [正] 久保田 成是・堀内 佑樹
 - I-012 RC中空床版橋の円筒型枠の状態調査事例 / サンスイコンサルタント [正] 山岡 大輔・藤本 典紀・小野 貴章
 - I-013 実験と解析の比較による分極抵抗法の適用性についての研究 / 香川大学 [学] 大熊 千紗都・岡崎 慎一郎・吉田 秀典
 - I-014 シン系表面浸材をASR劣化が進行したコンクリートに塗布した際の劣化抑制効果と水分逸散性能に関する検討 / 神戸大学 [学] 谷河 雅大・川合 将斗・森川 英典
 - I-015 開削トンネルに適した通水型止水試験方法の検討 / 東京地下鉄 [正] 大槻 あや・瀬筒 新弥・保栖 重夫
 - I-016 複合劣化発生地域の可視化 / 中央大学 [学] 川又 裕夢・佐藤 尚次

- 維持管理(計画・管理)(1) / 15:20~16:40 / 木村 元哉(西日本旅客鉄道)
- I-017 河川鋼製水門の部位レベルの腐食性評価と腐食環境モニタリング / 九州大学 [学] 八木 孝介・貝沼 重信・加藤 禎洋
 - I-018 Sn添加鋼の沖縄海岸地域における3年間の暴露試験結果 / 新日鐵住金 [正] 菅江 清信・上村 隆之・田中 陸人
 - I-019 広島県内山間部における高齢化した鋼ブラットラス橋の損傷調査 / 荒谷建設コンサルタント [正] 加納 匠・川見 周平・平原 義之
 - I-020 供用半世紀を迎える我が国最初の無塗装耐候性鋼橋梁の健全度評価 / JFEスチール [正] 若山 萌美・栗原 康行・中西 克佳
 - I-021 明石海峡大橋洗掘確認調査 / 本州四国連絡高速道路 [正] 信重 和紀・麓 興一郎・小川 和也
 - I-022 瀬戸大橋海中基礎の劣化度調査 / 本州四国連絡高速道路 [正] 遠藤 和男・安部 真理子・門田 整達
 - I-023 キルギス共和国の橋梁維持管理における技術支援策について / 苫小牧工業高等専門学校 [学] 金田 祐樹・松尾 優子・和田 隆弘
 - I-024 地方公共団体へのアンケート調査による道路橋の維持管理に関する現状分析 / 首都大学東京 [正] 中村 一史・小林 隼・谷口 望

- 維持管理(計画・管理)(2) / 17:00~18:20 / 谷口 望(前橋工科大学)
- I-025 道路橋のビーム型伸縮装置の損傷事例と劣化の情報交換に

- I-026 ついて / 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 山田 健太郎
- I-027 ジャイロ計測による長大吊橋形状管理法の提案 / 復建調査設計 [正] 梅本 幸男
- I-028 性能設計型の橋梁補修順位決定について / 北武コンサルタン [正] 杉本 博之・渡邊 忠朋
- I-029 既設橋の性能評価(LOAD RATING)に関する研究 / 長岡技術科学大学 [学] ゴンザレス ロドリゲス ジョナタン・GONZALEZ RODRIGUEZ JONATHAN・宮下 剛
- I-030 ベイジャンネットワークを用いた構造物の維持管理手法に関する基礎的検討 / 東京都市大学 [学] 永井 孝宏・丸山 収・須藤 敦史
- I-031 判定区分を用いた寒冷地橋梁の劣化評価手法の提案 / 東北工業大学 [正] 須藤 敦史・佐藤 京・兼清 泰明
- I-032 JR東日本管内の鋼桁に関する現状の健全度定量評価(その1) / 東日本旅客鉄道 [正] 岡澤 亮太・吉倉 智宏
- I-033 空港滑走路舗装における最適調査時期の評価に関する基礎的検討 / 東京都市大学 [学] 田崎 陽介・吉田 郁政

I-1 (センター1号館1303教室) / 9月12日(火)

- 維持管理(耐荷性能) / 9:00~10:20 / 北根 安雄(名古屋大学)
- I-034 腐食した鋼製橋脚の地震時挙動に関する研究 / 名古屋工業大学 [学] 大野 桂樹・永田 和寿・杉浦 邦征
 - I-035 下フランジの腐食をもつ鋼桁の耐荷力に関する解析的研究 / 青木あすなる建設 [正] 劉 翠平・牛島 榮・宮下 剛
 - I-036 桁端腐食が鋼I桁の耐荷力に与える影響解析 / 首都高速道路技術センター [正] 上條 崇・増井 隆・鈴木 寛久
 - I-037 トラス橋の格点部モデル化方法がリダンダンシー解析におよぼす影響 / 山口大学 [学] 岡直幸・内山 和昭・田島 啓司
 - I-038 約90年間供用されたリベット鉄道桁の端支部における腐食性状と残存耐荷特性 / JFEエンジニアリング [正] 松本 祥吾・中田 祐利花・村越 潤
 - I-039 鋼桁橋支支部の柱としての耐力評価に関する一考察 / 首都大学東京 [学] 中田 祐利花・村越 潤・野上 邦栄
 - I-040 腐食した実機鉄塔部材の耐荷性能に関する検討 / 電力中央研究所 [正] 佐藤 雄亮・石川 智巳
 - I-041 腐食鋼管の板厚評価方法と残存圧縮耐力に関する検討 / 京都大学 [学] 諸橋 亜美・杉浦 邦征・鈴木 康夫

- 維持管理(補修) / 10:40~12:00 / 清水 優(名古屋大学)
- I-042 福岡県汐入川橋の腐食減肉断面の当て板補修設計について / 土木研究センター [正] 落合 盛人・安波 博道・五島 孝行
 - I-043 Uリブ鋼床版横リブ交差部における下面補修補強工法に関する解析的研究 / 大阪市立大学 [学] 森下 弘大・山口 隆司・田畑 晶子
 - I-044 当て板補修部の荷重分担に関する解析的研究 / 名古屋工業大学 [学] 小川 和花・永田 和寿・藤本 高志
 - I-045 炭素繊維シート接着により補強された鋼短柱の局部座屈強度に関する実験研究 / 新日鐵住金マテリアルズ [正] 秀熊 佑哉・大垣 賀津雄・菊地 新平
 - I-046 同期カメラを活用した送電鉄塔の維持管理システムの精度検証 / 東電設計 [正] 栗原 幸也・辻 徳生・中村 秀治
 - I-047 送電用鋼管鉄塔の主柱材取替工法に関する研究 / 東電設計 [正] 山崎 智之・安藤 正人・本郷 榮次郎
 - I-048 DAMAGE ASSESSMENT BASED ON MODAL ANALYSIS OF PLATED STRUCTURE / 京都大学 [正] 鈴木 康夫・Sakhiah Abdul Kudus・松村 政秀
 - I-049 火災により面外変形した鋼桁ウェブの補修方法に関する解析的研究 / 名古屋大学 [学] 小野 健太・北根 安雄・廣畑 幹人

I-1 (センター1号館1303教室) / 9月13日(水)

- 維持管理(疲労) / 9:00~10:20 / 平野 秀一(首都高速道路)
- I-049 鋼床版橋におけるデッキ進展き裂の超音波探傷法による調

- I-050 査/首都大学東京 [正] 村越 潤・御代川 裕紀・幅 三四郎
Uリブ鋼床版の下面補強工法における当て板間量に関する
検討/日本ファブテック [正] 奥村 学・田畑 晶子・松
下 裕明
- I-051 高力ボルト導入軸力を変化させた当て板補修部の実験的検討
/名古屋工業大学 [学] 藤本 高志・永田 和寿・小川 和花
- I-052 輪荷重走行試験によるSFRC補強の破壊形態の検討/首都
高速道路技術センター [正] 葉山 瑞樹・平山 繁幸・木ノ
本 剛
- I-053 アスファルト舗装を有する鋼床版の補修・補強法に関する
一検討/京都大学 [学] 張 曉曼・鈴木 康夫・杉浦 邦征
- I-054 屋外暴露したSFRC舗装敷設鋼床版試験体における接合面
の引張強度の経年劣化調査/首都大学東京 [学] 幅 三四
郎・村越 潤・小野 秀一
- I-055 支承に機能障害を有する鋼I桁の弾塑性FEM解析による挙
動分析/橋梁調査会 [F] 吉田 好孝・大石 龍太郎
- I-056 経年劣化した既設鉄道橋支保部の水平移動機能の同定手法
に関する2,3の考察/大阪市立大学 [学] 杉本 悠真・坂田
鷹起・木村 元哉

■安全性・信頼性/最適設計/10:40~12:00/中村 晋(日本大学)

- I-057 南海トラフ地震を想定した三重県尾鷲市・高知県黒潮町に
ある道路橋の耐震・耐津波信頼性評価/早稲田大学 [学]
河合 祐美・磯辺 弘司・秋山 充良
- I-058 既設落石覆工の衝撃応答解析結果を用いた破壊確率の推定
/室蘭工業大学 [正] 栗橋 祐介・Rocco Custer・小室 雅人
河川増水における橋梁上部構造流出に関する信頼性の検討
/中央大学 [学] 光永 憲弘・佐藤 尚次
- I-060 高速道路橋の活荷重特性に関する研究/高速道路総合技術
研究所 [正] 萩原 直樹・稲荷 優太郎・広瀬 剛
- I-061 CAEによる道路橋設計手法の提案/パシフィックコンサル
タנטツ [正] 山本 智弘・古田 均・小沼 恵太郎
- I-062 鉄道工事桁上における遠心荷重作用位置に関する一考察/
東日本旅客鉄道 [正] 田辺 詩織・吉田 一・山口 慎
- I-063 ハイブリッド合成桁・ホモジニアス合成桁の終局曲げ耐力
における比較検討/筑波大学 [正] 山本 亨輔・千野 隆之介

I-2 (センター1号館1305教室) /9月11日(月)

■地震防災(1) /9:00~10:20/丸山 喜久(千葉大学)

- I-064 3次元レーザスキャナを用いた熊本城石垣等の変状分析/
国土館大学 [正] 橋本 隆雄・石作 克也
- I-065 2016年熊本地震における大切畑大橋の被害分析とその一考
察/熊本大学 [学] 吉塚 卓史・葛西 昭
- I-066 2016年熊本地震における桑鶴大橋の被災ケース分析/熊本
大学 [学] 上田 智也・葛西 昭・田崎 賢治
- I-067 2016年熊本地震における俵山大橋の被災状況分析/熊本大
学 [正] 葛西 昭・大城 雄希・大森 貴行
- I-068 高速道路における地震被害の復旧時間に関する調査研究/
横浜国立大学 [学] 長崎 亜弥美・藤野 陽三
- I-069 航空写真と建物閉領域情報を用いた建物の建築年代の推定
方法の検討/東京工業大学 [正] 盛川 仁・上野 翔太・飯
山 かほり
- I-070 点推定を利用した木造建物の被害評価一実被害への適用一
/東京工業大学 [正] 飯山 かほり・盛川 仁・大野 晋
- I-071 地震動特性による平成28年熊本地震の実被害と平成25年熊
本県地域防災計画での想定被害との比較分析/熊本大学
[学] 會田 和摩・松田 泰治・松尾 優作

■地震防災(2) /10:40~12:00/盛川 仁(東京工業大学)

- I-072 隣接建物を有する鉄道高架橋の有効入力動に関する基礎的
検討/鉄道総合技術研究所 [正] 和田 一範・室野 剛隆
- I-073 常時微動観測に基づく建物一連絡橋間の相互作用に関する
基礎検討/テス [正] 赤坂 大介・和田 一範・小野寺 周
- I-074 粒子法を用いた橋梁に作用する流体力の数値計算/千葉大学
[学] 菊地 俊紀・丸山 喜久・庄司 学
- I-075 南西諸島海域における断層モデルの構築/防災科学技術研
究所 [F] 大角 恒雄
- I-076 東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動の推移と漁港施設へ
の影響/東海大学 [正] 三神 厚・神山 真
- I-077 地震応答解析による杭式防波堤補強工法の挙動の推定/新
日鐵住金 [正] 森安 俊介・及川 森・菊池 喜昭
- I-078 比抵抗映像法を用いた高尾野羽根溶岩ドーム斜面調査/ケイ
ズラブ [正] 河内 義文・假屋 隆文・HAZARIKA HEMANTA

■地震防災(3) /15:20~16:40/庄司 学(筑波大学)

- I-079 2016年熊本地震の推計地震動分布図と国土交通省強震観測

- I-080 記録の非線形性の評価/国土技術政策総合研究所 [正] 石
井 洋輔・梶尾 辰史・片岡 正次郎
インベントリーデータベースを用いた構造物のリスク評価
手法の提案/鉄道総合技術研究所 [正] 日野 篤志・室野
剛隆・和田 一範
- I-081 構造物のリスク評価に用いるインベントリーデータベース
の構築/伊藤忠テクノソリューションズ [正] 松本 拓・
日野 篤志・和田 一範
- I-082 無筋コンクリート橋脚の振動台実験挙動の再現解析に関す
る研究/京都大学 [学] 矢野 翔太
- I-083 MEMSジャイロセンサを用いた層間変形角の推定/東京
理科大学 [学] 石黒 広倫・真田 樹・佐伯 昌之
- I-084 部材破壊音に着目した構造物の損傷判定指標の開発/東京
理科大学 [学] 榊原 賢・佐伯 昌之
- I-085 陸上部での水平方向地殻変動量とその近辺の津波高さとの
経験的関係/弘前大学 [正] 片岡 俊一

■地震防災(4) /17:00~18:20/三上 卓(エイト日本技術開発)

- I-086 2016年熊本地震において強震動の作用を受けた道路ネット
ワークの被害分析/筑波大学 [学] 水越 湧太
- I-087 車載カメラ画像を活用した地震による道路被害の抽出に向
けた基礎検討/千葉大学 [学] 瀬崎 陸
- I-088 道路ネットワークの津波災害時における機能支障の定量的
評価/筑波大学 [学] 伊藤 詩織・庄司 学
- I-089 2016年熊本地震における高速道路の機能的被害・復旧の時
空間的分析/岐阜大学 [学] 佐藤 多恵・能島 暢呂・加藤
宏紀
- I-090 地震時の高速道路復旧予測モデルの高精度化に向けた基礎
検討/千葉大学 [学] 五十嵐 翼・丸山 喜久
- I-091 高密度な微動H/Vスペクトル比データベースの構築 その1
データベースの構築/神奈川大学 [正] 荏本 孝久・落合
努・井上 駿
- I-092 高密度な微動H/Vスペクトル比データベースの構築 その2
データの活用事例/構造計画研究所 [正] 落合 努・荏本
孝久・井上 駿
- I-093 微動観測に基づく精細なゆれやすさマップ/愛媛大学 [F]
森 伸一郎・トヤナトナブラサド・吉岡 優汰

I-2 (センター1号館1305教室) /9月12日(火)

■地震防災(5) /9:00~10:20/秦 康範(山梨大学)

- I-094 大規模停電とその影響波及に関する考察—2006年首都圏大
規模停電と2016年東京大規模停電の事例間比較—/岐阜大
学 [正] 加藤 宏紀・能島 暢呂
- I-095 低圧ガス導管の地震時被害予測における地形補正の評価/
東京ガス [正] 猪股 渉・丸山 喜久
- I-096 都市ガス供給システムにおける第1次緊急停止判断のシス
テム分析/岐阜大学 [学] 森山 達哉・能島 暢呂
- I-097 熊本地震の被害を受けた通信埋設管の概況について/
NTT [正] 若竹 雅人・張 秋松・末富 岩雄
- I-098 種々の地震における通信埋設管の被災状況に関する検討
/NTT [正] 張 秋松・若竹 雅人・塚本 博之
- I-099 2016年熊本地震における下水道管路網の被害と入力地震動
の関係/筑波大学 [学] 原 昌弘・庄司 学・永田 茂

■地震防災(6) /10:40~12:00/近藤 伸也(宇都宮大学)

- I-101 製品の出荷機能の信頼性評価に関する研究 一待機冗長シ
ステムを対象に一/篠塚研究所 [正] 望月 智也・静間 俊
郎・中村 孝明
- I-102 製品の出荷機能の信頼性評価に関する研究 一事例解析に
よる適用性一/篠塚研究所 [正] 静間 俊郎・高田 一・中
村 孝明
- I-103 2016年熊本地震における避難者数推移への影響要因に関する
考察/岐阜大学 [学] 永井 小雪里・能島 暢呂・繁田 健嗣
- I-104 2016年熊本地震の被災事例に基づく避難者人口推定式の検
討/岐阜大学 [学] 繁田 健嗣・能島 暢呂・永井 小雪里
- I-105 福島県いわき市における地域の防災力評価の検討/宇都宮
大学 [学] 高木 将人・近藤 伸也・山岡 暁
- I-106 防災カルテを用いた長野県北部地域における斜面の信頼性評
価手法/法政大学 [学] 近野 玲央・酒井 久和・梶谷 義雄
- I-107 ハザードマップの可視化のための拡張現実の利用に関する
基礎検討/千葉大学 [学] 君塚 遼・丸山 喜久

I-2 (センター1号館1305教室) / 9月13日(水)

■破壊力学 / 9:00~10:20 / 判治 剛(名古屋大学)

- I-108 有限要素法を用いたレールき裂進展速度に関する解析手法の精度検証 / 鉄道総合技術研究所 [正] 水谷 淳・細田 充・片岡 宏夫
- I-109 低応力三軸度における鋼材の延性破壊性状に関する解析的研究 / 名城大学 [学] 劉 巖・秋田 智史・厚地 政哉
- I-110 鋼部材の延性き裂進展解析における損傷進展エネルギーの決定方法に関する一検討 / 名城大学 [学] 猪飼 豊樹・葛 漢彬
- I-111 繰り返し曲げを受ける鋼部材の延性き裂発生・進展・破壊現象の解明に関する実験的研究 / 名城大学 [学] 吉田 聡一郎・猪飼 豊樹・半谷 高士
- I-112 熱弾性応力分布計測結果の破壊力学評価による鋼構造部材の疲労き裂進展性評価 / 神戸大学 [正] 阪上 隆英・溝上 善昭・奥村 淳弘
- I-113 熱弾性応力分布計測結果の破壊力学評価による鋼橋の疲労き裂補修効果の検証 / 神戸大学 [学] 東 智之・溝上 善昭・中山 和真
- I-114 板曲げを受ける面外ガセット溶接継手に生じるき裂への当て板接着による応力拡大係数低減効果 / 京都大学 [正] 松本 理佐・河本 隆史・石川 敏之

■非破壊評価 / 10:40~12:00 / 山田 真幸(東北工業大学)

- I-115 電磁超音波センサ(EMAT)を用いた溶接残留応力の測定 / 早稲田大学 [学] 相澤 宏行・小野 潔・荻 博次
- I-116 音響加振を用いたベルトコンベア支持構造物の局部断面振動モードの同定 / 東京大学 [学] 加藤 宗・長山 智則・蘇 迪
- I-117 超音波探傷法による鋼床版デッキプレート進展き裂の深さ推定に関する一検討 / 土木研究所 [正] 高橋 実・小池 光裕・村越 潤
- I-118 2次元フェーズドアレイを用いた鋼溶接部の非破壊試験 / 東京都市大学 [正] 白旗 弘実
- I-119 オーステナイト系鋼材中の欠陥に対する2次元順解析および逆散乱解析 / 群馬大学 [学] 稲垣 祐生・斎藤 隆泰
- I-120 粒子フィルタによる振動データからの構造部材の損傷推定 / 愛媛大学 [正] 中畑 和之・ザブリ アイシャ・齊藤 中
- I-121 曲面を有する疲労き裂に対するフェイズドアレイ超音波探傷法の検討 / 岐阜大学 [学] 井上 一磨・木下 幸治・納土 武久

I-3 (センター1号館1306教室) / 9月11日(月)

■波動・数値解析 / 9:00~10:20 / 紅露 一寛(新潟大学)

- I-122 振動解析へのカルマンフィルタの適用 / 佐藤工業 [正] 黒田 千歳・歌川 紀之・小泉 直人
- I-123 非保存系に対するシンプレクティック時間積分法 / 砂子組 [正] 田尻 太郎・佐藤 昌志
- I-124 鉄道車両走行時の軌道材料の影響による荷重特性に関する基礎的研究 / 九州大学 [学] 池田 圭輔・園田 佳巨・瀧上 翔太
- I-125 屈曲CFRP構造内部の層間剥離による超音波散乱シミュレーション / 群馬大学 [正] 斎藤 隆泰・今井 済・山添 智
- I-126 時間反転法を用いたFRP中の欠陥形状再構成に関する研究 / 群馬大学 [学] 大芦 健太・斎藤 隆泰
- I-127 UKFを用いた1次元誘電率分布の推定手法の開発と電磁波レーダー実験による検証 / 東京工業大学 [学] 黒澤 航・古川 陽・廣瀬 壮一
- I-128 表面波を用いた半無限弾性体に作用する加振力の推定手法の開発 / 東京工業大学 [学] 永雄 康二・古川 陽・廣瀬 壮一
- I-129 成層地盤の伝播特性に基づく地盤振動制御(WIB工法原理) / E&Dテクノデザイン [F] 竹宮 宏和

■計算力学 / 10:40~12:00 / 古川 陽(東京工業大学)

- I-130 ロックシェッド用SRC床版の静的荷重実験とFEM解析 / 金沢大学 [学] 松田 隆志・北島 幹士・前川 幸次
- I-131 制御理論を用いた橋梁上任意点に作用する移動荷重の荷重効果同定 / 東京都市大学 [学] 鈴木 健吾・丸山 収・関屋 英彦
- I-132 確率的降伏を考慮した非線形スペクトル確率有限要素法の提案 / 大成建設 [正] 羽場 一基・堀田 渉・堀 宗朗
- I-133 確率的降伏を考慮した非線形スペクトル確率有限要素法の数値的検証 / 大成建設 [正] 堀田 渉・羽場 一基・堀 宗朗
- I-134 既存橋梁システムの耐震性能計算への応答曲面代替モデルの適用に関する検討 / 東京大学 [学] 北原 優・西尾 真由子
- I-135 開口合成法を用いた円形ポリスチレン中の欠陥の逆解析 / 群馬大学 [学] 藤縄 和宏・斎藤 隆泰・今井 済

- I-136 拡散による破壊現象における亀裂パターン形成の数値解析 / 慶應義塾大学 [学] 廣部 紗也子・小國 健二
- I-137 Cyclic densificationを用いたバラスト道床沈下解析における構成材の弾性挙動の空間変動の影響評価解析法 / 新潟大学 [学] 井口 建斗・紅露 一寛
- I-138 弾性体の3次元自由振動問題における有限要素法のモード分解能の調査 / 大分工業高等専門学校 [正] 名木野 晴暢・佐藤 弘弥・山本 寧音

■橋梁床版(1) / 15:20~16:40 / 皆田 龍一

(三井造船鉄構エンジニアリング)

- I-139 3次元非線形解析を用いた既設道路橋RC床版の余寿命予測に関する基礎的検討 / 福山コンサルタント [正] 鍋田 仁人・宮村 正樹・中野 聡
- I-140 固有振動数を用いた道路橋RC床版の剛性評価方法に関する検討 / 福山コンサルタント [正] 土田 智・中野 聡・宮村 正樹
- I-141 繰り返し移動荷重作用下における鋼コンクリート合成床版頭付きスタッドの損傷分析 / 法政大学 [学] 星名 浩人・藤山 知加子・松村 寿男
- I-142 擬似クラック法による実橋RC床版の劣化再現手法の検討 / 法政大学 [学] 高橋 正也・藤山 知加子・田中 泰司
- I-143 輪荷重走行振動疲労実験におけるRC床版の耐疲労性の評価 / 日本大学 [学] 木内 彬喬・阿部 忠・澤野 利章
- I-144 内部ひび割れを有する鋼板接着RC床版のたわみ測定と健全性の推定 / 内外構造 [正] 前川 敬彦・佐藤 彰紀・坂本 直太
- I-145 鋼橋RC床版内部の水平ひび割れ発生に関する考察 / 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [F] 青山 實伸・有馬 直秀
- I-146 炭素繊維シート補強された鋼道橋RC床版の健全性点検技術(その2) / オリエンタルコンサルタンツ [正] 古賀 秀幸・安倍 敦・内藤 英樹

■橋梁床版(2) / 17:00~18:20 / 橋 吉宏

(中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋)

- I-147 新気仙大橋の高耐久RC床版についての検討 その1 (配合検討とASR反応性試験) / 横河ブリッジホールディングス [正] 石井 博典・櫻村 康介・石田 哲也
- I-148 新気仙大橋の高耐久RC床版についての検討 その2 (スケールリング抵抗性の分析) / 横浜国立大学 [学] 中川 恵理・細田 暁・櫻村 康介
- I-149 新気仙大橋の高耐久RC床版についての検討その3 (空気量測定) / 東京大学 [正] 田中 泰司・櫻村 康介・石井 博典
- I-150 新気仙大橋の高耐久RC床版についての検討 その4 (表層品質の評価) / 横浜国立大学 [正] 小松 怜史・田島 涼・細田 暁
- I-151 新気仙大橋の高耐久RC床版についての検討 その5 (現場施工および品質管理) / 横河ブリッジホールディングス [正] 櫻村 康介・石井 博典・石田 哲也
- I-152 コンクリート内部の鋼材が凍害に及ぼす影響 / 日本橋梁建設協会 [正] 皆田 龍一・久保 圭吾・佐藤 孝司
- I-153 凍結融解環境下において輪荷重が床版の劣化損傷に及ぼす影響 / 日本橋梁建設協会 [正] 宮田 朋和・久保 圭吾・佐藤 孝司
- I-154 供用開始から35年以上経過した鋼コンクリート合成床版の健全度調査 / IHIインフラ建設 [正] 山崎 敏宏・鈴木 康宏・佐々木 秀智

I-3 (センター1号館1306教室) / 9月12日(火)

■橋梁床版(3) / 9:00~10:20 / 梶尾 聡(太平洋セメント)

- I-155 床版取替えに対応したUFC床版の疲労耐久性に関する検討 / 阪神高速道路 [正] 小坂 崇・金治 英貞・一宮 利通
- I-156 UFC床版と鋼桁の接合部の設計法に関する検討 / 鹿島建設 [正] 一宮 利通・金治 英貞・小坂 崇
- I-157 ワッフル型UFC床版同士の接合構造に関する検討 / 鹿島建設 [正] 藤代 勝・一宮 利通・横田 祐起
- I-158 UFCを用いた重ね継手構造を有する床版の曲げ性能に関する実験的検討 / 大林組 [正] 佐々木 一成・大場 誠道・岩城 孝之
- I-159 橋梁床版上への適用を考慮した騒音低減型ハイブリッドコンクリート舗装の開発 / 鹿島道路 [正] 横田 慎也・遠藤 大樹・久利 良夫
- I-160 ハイブリッド有機繊維補強早強コンクリートの製造と施工 / 中日本高速道路 [正] 猪狩 慎之介・野島 昭二・三輪 賢太郎

- I-161 鋼床版のコンクリート舗装による疲労対策の効果確認／中日本高速道路 [正] 野島 昭二・三輪 賢太郎・可児 知大
- I-162 PCM舗装の施工性試験と現場施工報告／首都高速道路技術センター [正] 青木 聡・石原 陽介・阿部 大輔

■橋梁床版(4) / 10:40~12:00 / 大西 弘志(岩手大学)

- I-163 半連続プレキャスト床版における梁モデルを用いた継手構造の耐力評価検討／新日鉄住金エンジニアリング [正] 北慎一郎・櫻井 信彰・赤江 信哉
- I-164 既往実験から推測する梁状化したPC床版の押抜きせん断耐力／高速道路総合技術研究所 [正] 尾辻 千瑛・広瀬剛・舟山 淳起
- I-165 SELF-PROPELLED IMPACT VIBRATION EXPERIMENT AGAINST DETERIORATED BRIDGE SLAB／金沢大学 [学] グエン テュガ・Masuya Hiroshi・Yokoyama Hiroshi
- I-166 PC床版に用いるCFCCの定着性能に関する研究／金沢大学 [学] 山口 嵩文・渡瀬 博・田中 徹
- I-167 打継ぎ目を有する上面増厚補強に関する計算手法の拡張／三井住友建設 [F] 三上 浩・井之上 賢一・水野 政純
- I-168 STRIP法における初項(n=0)についての一考察／井沢設計 [正] 廣瀬 清泰・堀川 都志雄
- I-169 回転式打音検査システムによる床版変状位置の分析に関する研究／葛井 [正] 岩井 浩・谷口 望・廣江 正明
- I-170 市道上空3,000t超PC桁ジャッキダウン架設の施工について／九鉄工業 [正] 山崎 一輝

I-3 (センター1号館1306教室) / 9月13日(水)

■ダム・タンクの耐震 / 9:00~10:20 / 仲村 成貴(日本大学)

- I-171 重力ダムのクレストラジアルゲートにおける空水時地震応答の再現解析と減衰定数の推定／中央コンサルタンツ [正] 徳江 聡・佐藤 信光・藤田 将司
- I-172 重力式コンクリートダムの耐震安全性に及ぼす鉛直ジョイントの影響検討／清水建設 [正] 藤田 豊・木全 宏之・堀井 秀之
- I-173 液体輸送車両の安全性向上と燃費向上のための制振装置の開発／十川ゴム [正] 河田 彰・井田 剛史・平野 廣和
- I-174 液体輸送車両における内容液の液面揺動による運転性能の把握／中央大学 [学] 因 和樹・河田 彰・平野 廣和
- I-175 アーチダムの地震時応力に及ぼす堆砂の影響／弘前大学 [F] 有賀 義明・斗内 陸人・松橋 勇輝
- I-176 地震による重力式ダムクレストラジアルゲートの貯水時の実測加速度応答特性の分析／水資源機構 [正] 佐藤 信光・藤田 将司・富田 尚樹
- I-177 内構材を有する矩形タンクのパルジング振動に関する実験的研究／岐阜工業高等専門学校 [正] 渡邊 尚彦・宮崎 泰樹・行田 聡
- I-178 垂直補剛材を有する鋼I桁の耐力に着目した載荷実験／水資源機構 [正] 富田 尚樹・阿曾 浩・佐藤 信光

■耐震補強 / 10:40~12:00 / 五十嵐 晃(京都大学)

- I-179 貫通鋼棒を用いたサイドブロックの耐荷機構に関する一考察／鉄道総合技術研究所 [正] 佐藤 祐子・渡辺 健・轟 俊太郎
- I-180 既設橋に予備せん断システムを適用した地震時の応答／オイレ工業 [正] 宇野 裕恵・広瀬 剛・川神 雅秀
- I-181 ロッキング橋脚を有する橋梁の耐震補強／西日本高速道路 [正] 榎木 正喜・高原 良太
- I-182 地震時液状化地盤に設置した橋台の耐震補強／早稲田大学 [正] 安 同祥・清宮 理
- I-183 景観に配慮したこ線型ラメンプレートガーダー橋の橋脚の橋軸直角方向の耐震補強設計／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 宮澤 明子・梅本 喜久・高木 芳光
- I-184 桁端部緩衝材の低温時特性と桁衝突挙動に関する検討／土木研究所寒地土木研究所 [正] 寺澤 貴裕・西 弘明・佐藤 孝司
- I-185 ロッキング橋脚を有する2径間跨道橋の耐震補強設計／エイト日本技術開発 [正] 中谷 武弘・渡邊 英・堤 史尚
- I-186 一般国道173号福住大橋 鋼連続トラス橋の耐震補強設計／大日本コンサルタンツ [正] 具志 一也・龍 和宏・菅野 晃生

I-4 (センター1号館1401教室) / 9月11日(月)

■橋梁一般(設計)(1) / 9:00~10:20 / 奥井 義昭(埼玉大学)

- I-187 鋼鉄道橋のSBHSの適用による鋼重低減効果に関する検討／鉄道総合技術研究所 [正] 秋山 慎一郎・藤原 良憲・横山 秀喜

- I-188 柔ジベルを用いた鉄道用非合成桁の設計手法に関する一考察／東日本旅客鉄道 [正] 平林 雅也・吉田 一・山田 正人
- I-189 大規模地震時における馬桁付連続合成桁への作用力に関する解析的検討／中央復建コンサルタンツ [正] 中原 正人・藤原 良憲・片桐 章憲
- I-190 鋼コンクリート合成床版を用いた連続合成桁における中間支点部有効幅の検討／法政大学 [学] 南波 謙太・藤山 知加子・熊野 拓志
- I-191 MECHANICAL BEHAVIOR OF STEEL-CONCRETE COMPOSITE BEAMS SUBJECTED TO NEGATIVE BENDING MOMENT／早稲田大学 [学] Hung Tzuhan・Lin Weiwei・Lam Heang
- I-192 横桁剛性をパラメータとした2方向支持されたRC床版を有する鋼2主I桁橋／長岡技術科学大学 [学] 小平 健太・岩崎 英治・長井 正嗣
- I-193 維持管理性に配慮した鋼桁と鋼製橋脚剛結部のダイヤフラムの開口形状の検討／阪神高速道路 [正] 曾我 恭匡・杉山 裕樹・石井 博典
- I-194 多径間連続斜張橋の活荷重に対する2段階設計法の検討／阪神高速道路 [正] 杉山 裕樹・金治 英貞・渡邊 裕規

■橋梁一般(設計)(2) / 10:40~12:00 / 田村 洋(東京工業大学)

- I-195 弾塑性有限変位FEM解析を用いた複合橋脚の終局限界状態に関する一考察／横河ブリッジ [正] 水口 知樹・磯部 龍太郎・副島 直史
- I-196 サグ比の異なる超長大径間吊橋の弾塑性挙動と耐力特性／首都大学東京 [正] 岸 祐介・小沢 武仁・野上 邦栄
- I-197 送出し架設時の腹板座屈照査における基準の違いによる補強量差に関する考察／川田工業 [正] 大野 克紀・藤原 良憲・横山 秀喜
- I-198 一括架設時におけるI形鋼合成床版桁形式に対する横倒れ座屈の検討／オリエンタルコンサルタンツ [正] 富田 毅・熊坂 徹也・審良 郁夫
- I-199 支点盛り替えのある横取り架設での設計検討／IHIインフラシステム [正] 竹嶋 夏海・河原 謙二郎
- I-200 鋼構造の利点を最大限に引き出す鉄筋コンクリート充填鋼殻／八戸工業大学 [学] 塩井 幸武・長谷川 明
- I-201 鋼管集成橋脚横つなぎ材の地震時性能に関する実験的検討／阪神高速道路 [正] 甲元 克明・田中 将登・曾我 恭匡
- I-202 鋼製逆L型橋脚隅角部の応力評価への高度解析手法の適用性／首都大学東京 [学] 西 優美子・村越 潤・野上 邦栄

■橋梁一般(設計)(3) / 15:20~16:40 / 横山 秀喜

(鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

- I-203 橋脚として使用する電気抵抗溶接鋼管のシャルピー吸収エネルギー特性／JFEシビル [正] 尾添 仁志・小野 潔・川井 健吾
- I-204 動的引張試験による二相系ステンレス鋼の材料特性／長岡工業高等専門学校 [学] 佐藤 信輔・宮寄 靖大
- I-205 SBHS400鋼小片を活用したシャルピー衝撃試験片製作方法に関する研究／早稲田大学 [学] 北爪 大貴・河内 巧・小野 潔
- I-206 ベアリング部材にポリアミド樹脂を用いたコンパクト型支承の提案／川金コアテック [正] 鶴野 禎史・大塚 美穂・林 祉青
- I-207 ベアリング部材にポリアミド樹脂を用いたコンパクト型支承の検証試験／日本鑄造 [正] 柴谷 優太・原田 孝志・石山 昌幸
- I-208 鋼トラス橋ガセットプレートのフィレット部応力集中に関する解析的検討／日本ファブテック [正] 小峰 翔一・玉越 隆史・青木 康素
- I-209 HORIZONTAL SOLITARY PRESSURE BY GIRDER POSITION PARAMETER BASED ON CADMAS／九州工業大学 [学] ケイ シュンエン・幸左 賢二・佐藤 崇
- I-210 軟弱地盤におけるRC低床式高架橋の多径間連続化に関する展望について／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 岡田 典高・丸富 理

■橋梁一般(設計・施工) / 17:00~18:20 / 西谷 雅弘

(本州四国連絡高速道路)

- I-211 Florianopolis形式橋梁の構造特性に関する基礎的検討／岐阜大学 [学] 西 宏将・村上 茂之・藤井 孝樹
- I-212 オスマン・ガーズィー橋(トルコ)プロジェクト概要／IHIインフラシステム [正] 柳原 正浩・川上 剛司
- I-213 オスマン・ガーズィー橋における設計基準の策定／IHIインフラシステム [正] 島 宜範・井上 学
- I-214 オスマン・ガーズィー橋の架橋地点の地盤・地震／IHIインフラシステム [正] CETINKAYA OSMAN TUNC・社浦 潤一

- I-215 オスマン・ガズィー橋の構造概要/IHIインフラシステム [正] 田中 剛・菊地 博満・徳重 雅史
- I-216 オスマン・ガズィー橋の維持管理設備/IHIインフラシステム [正] 小野 元嗣・山本 修嗣
- I-217 オスマン・ガズィー橋の現地施工概要/IHIインフラシステム [正] 関 真二郎・工藤 光弘・山根 三弘
- I-218 オスマン・ガズィー橋 AMDによる主塔の振動制御/IHIインフラシステム [正] 高井 祐輔・井澤 竜生

I-4 (センター1号館1401教室) /9月12日(火)

■橋梁一般(施工)(1) /9:00~10:20/一宮 充(横河工事)

- I-219 トルコ・第1ポスボラス橋 ハンガー取替え工事/IHIインフラシステム [正] 北山 暢彦・杉村 誠
- I-220 トルコ・第1第2ポスボラス橋 主ケーブル開放調査および送気乾燥システムの施工/IHIインフラシステム [正] 井谷 達哉・杉村 誠
- I-221 供用下の鋼桁橋改築工事における鋼桁改造に関する検討/高田機工 [正] 山田 貴男・西幡 巨千昭・岩田 博文
- I-222 小松川ジャンクション新設における既設RC橋脚への鋼製横梁の設置検討/首都高速道路 [正] 濱野 真彰・染谷 厚徳・山内 貴宏
- I-223 鋼桁の横桁連結方式による橋梁連続化工法の開発/建設技術研究所 [正] 光川 直宏・諸角 治・甲元 克明
- I-224 既設合成桁の床版取替えにおける荷重分配横桁に着目した合理的主桁補強工法に関する検討/大阪市立大学 [学] 小林 駿祐・山口 隆司・松本 崇志
- I-225 AFRPシート接着工法を適用した腐食によって局部損傷を生じた鋼部材の補修に関する一検討/北海道道路エンジニアリング [正] 伊藤 浩・五十嵐 元次・小室 雅人
- I-226 狭隘な箱断面への補強部材取り付けに適用する支圧接合用高力ボルト引抜特殊ジャッキの開発/エム・エムブリッジ [正] 鈴木 俊光・橋本 幹司

■橋梁一般(施工)(2) /10:40~12:00/坂本 達朗

(鉄道総合技術研究所)

- I-227 支圧板方式による鋼ポータルラーメン橋剛結部の施工/高田機工 [正] 廣門 公二・山田 貴男・佐合 大
- I-228 高架橋改築工事におけるCIMを活用した施工計画/JFEエンジニアリング [正] 西関 友洗・瀬尾 高宏・瀧 靖文
- I-229 都市部における橋梁架替工事の施工計画/JFEエンジニアリング [正] 能登 晋也・志賀 弘明・小池 俊行
- I-230 狭隘な作業スペースにおける長尺ブロック横倒し計画/JFEエンジニアリング [正] 瀬尾 高宏・瀧 靖文・中山 和弥
- I-231 北陸地域を対象とした塗替塗装における付着塩分の実態把握/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 有馬 直秀・橋 吉宏・小森 徹
- I-232 各種鋼橋防食工の補修塗装に関する検討/日本ペイント [正] 宮田 敦士・富山 慎仁・三谷 誠
- I-233 金属粉を含有するシリコン樹脂防錆塗料を下塗層に適用した重防食塗装の性能評価 第3報 素地調整方法による付着性・防錆性能の評価/シールドテクス [正] 砂田 正明・植田 早苗・山城 恭徳
- I-234 プラスチック鍍(こて)を用いた光沢仕上げの橋梁床版への適用に関する検証/宮地エンジニアリング [正] 藤井 一成・藤井 邦貴・鈴木 浩二

I-4 (センター1号館1401教室) /9月13日(水)

■診断・補修・補強(1) /9:00~10:20/内田 大介
(三井造船鉄構エンジニアリング)

- I-235 折り曲げ薄鋼板を接着接合したUリブ鋼床版の実橋での補強効果検証/阪神高速道路 [正] 岡本 亮二・ハツ元 仁・田畑 晶子
- I-236 鋼床版補強に適用する接着接合部の載荷試験/ワイ・シー・イー [正] 一宮 充・田畑 晶子・ハツ元 仁
- I-237 連続鋼斜張橋の鋼床版に発生した疲労き裂と補修/阪神高速道路 [正] 田畑 晶子・小林 寛・仲田 晴彦
- I-238 コンクリート系舗装による鋼床版の応力低減効果に関する基礎的検討(続報)/日本建設機械施工協会 [正] 小野 秀一・村越 潤・高橋 実
- I-239 鋼鉄道トラス橋の縦桁中間補剛材下端部に発生した疲労き裂対策/JR西日本 [正] 大久保 成将・池頭 賢・本田 征大
- I-240 鋼下路トラス鉄道橋縦桁中間補剛材下端の疲労対策の提案/レールテック [正] 松本 健太郎・大久保 成将・池頭 賢
- I-241 鋼上路パイプアーチ橋の疲労照査と対策検討/大日本コンサルタント [正] 町田 信彦・高山 淳一・松尾 聡一郎

- I-242 炭素繊維シートで補強した2軸対称プレートガードの曲げ耐力実験/高速道路総合技術研究所 [正] 服部 雅史・広瀬 剛・大垣 賀津雄

■診断・補修・補強(2) /10:40~12:00/石川 敏之(関西大学)

- I-243 CFRP部材による鋼桁端腐食部の補修・補強に関する解析的検討/首都大学東京 [学] 小林 洗貴・近藤 諒翼・タイ ウィサル
- I-244 鋼構造物の炭素繊維シート接着工法における積層数の検討/長岡技術科学大学 [正] 宮下 剛・今井 隆博・広瀬 剛
- I-245 残留変形を有する鋼部材の炭素繊維シート接着補修に関する研究/長岡技術科学大学 [学] 森久 慶祐・宮下 剛・奥山 雄介
- I-246 VaRTM成形で接着されたCFRP部材による鋼板の座屈補強に関する実験的研究/首都大学東京 [学] 佐藤 潤・タイ ウィサル・中村 一史
- I-247 VaRTM成形で接着されたCFRP部材による断面欠損した桁端柱部材の性能回復について/首都大学東京 [学] 松山 晃大・タイ ウィサル・中村 一史
- I-248 鋼トラス橋下弦材腐食部の炭素繊維シートによる補修工法の検討/長野工業高等専門学校 [正] 奥山 雄介・広瀬 剛・服部 雅史
- I-249 熱硬化型炭素繊維プリプレグシートにより腐食部を補強した照明柱の静的載荷実験/京都大学 [学] 陳 晨・松村 政秀・中尾 亮介
- I-250 吊形式人道橋の補強方法に関する基礎的検討/岐阜大学 [学] 山本 昂平・岩田 照夫・山崎 百花

■診断・補修・補強(3) /15:20~16:40/宮下 剛(長岡技術科学大学)

- I-251 CFRP板接着補修における不規則性の確率論的解析/関西大学 [正] 兼清 泰明・笠行 健介・石川 敏之
- I-252 複合応力を受ける接着接合部のFBGセンサを用いた損傷モニタリング/豊橋技術科学大学 [正] 松本 幸大・織笠 千春・三枝 玄希
- I-253 道路標識の固有振動数モニタリングによる異常検知の検証/東京理科大学 [学] 尾崎 大地・石黒 広倫・佐伯 昌之
- I-254 バタフライウェブ橋の動的挙動の把握を目的にした振動試験について/西日本高速道路 [正] 山本 泰造・紙永 祐紀
- I-255 白鳥大橋ハンガーロープの現状評価/ドーコン [正] 佐々木 康史・島田 武・福田 孝志
- I-256 鋼板添接補修された圧縮部材の死荷重応力を考慮した終局解析/広島大学 [学] 福田 洋顕・川見 周平・藤井 堅
- I-257 変状の生じた吊橋のFEAによる原因推定と終局耐力の検討/長岡技術科学大学 [学] リニャン パンテイング カロス アルトゥーロ・岩崎 英治・長井 宏平
- I-258 シールドトンネル天端部分の補強構造の検討/東京地下鉄 [正] 大塚 努・大槻 あや・保栖 重夫

I-5 (センター1号館1402教室) /9月11日(月)

■疲労(1) /9:00~10:20/村越 潤(首都大学東京)

- I-259 き裂部ボルト締めによるストップホールの応力集中の低減効果/関西大学 [正] 石川 敏之・八重垣 諒太・清川 昇悟
- I-260 小径ストップホールの径と位置が溶接部の応力集中に与える影響/岐阜大学 [学] 鈴木 元啓・木下 幸治・穴見 健吾
- I-261 鉄道橋Iビーム桁支点首部に発生した疲労き裂調査/西日本旅客鉄道 [正] 池頭 賢・丹羽 雄一郎・岩井 将樹
- I-262 鉄道橋Iビーム桁支点部分の疲労き裂に対するストップホールの補修効果の評価/名古屋大学 [学] 岩井 将樹・判治 剛・館石 和雄
- I-263 S8T相当の高力スタッドボルトを用いる片面当て板補強の曲げ疲労試験/日本ファブテック [正] 彭 雪・奥村 学・石川 敏之
- I-264 高力ボルト当て板補修された疲労き裂の応力集中に与える影響/名古屋大学 [学] 中山 裕哉・清川 昇悟・判治 剛
- I-265 Smart ZIC工法による溶接継手の疲労強度向上効果/関西大学 [学] 松原 由典・石川 敏之・曾我 麻衣子
- I-266 高力スタッドボルトによって当て板補強した鋼板の直上曲げ載荷に対する疲労強度/大阪市立大学 [学] 儀賀 大己・奥村 学・田畑 晶子

■疲労(2) /10:40~12:00/田井 政行(琉球大学)

- I-267 UITを施した十字すみ肉溶接継手におけるルート起点の疲労破壊/新日鐵住金 [正] 米澤 隆行・高貴 広志・田中 睦人
- I-268 鋼床版垂直スティフナ上端溶接部に生じる疲労き裂へのUITの効果に関する解析的検討/首都高速道路技術センター [正] 大住 圭太・森 猛

- I-269 疲労き裂が生じたガセット溶接継手部へのピーニング処理の効果／岐阜大学 [学] 阪野 裕樹・木下 幸治・秋山 竜馬
- I-270 ピーニング処理によるデッキプレート貫通き裂の疲労強度向上に関する研究／京都大学 [学] 山下 俊俊・松本 理佐・服部 篤史
- I-271 平日・休日交通量の違いによる鋼橋の損傷度の影響／首都高速道路技術センター [正] 仲野 孝洋・時田 英夫・小林 明史
- I-272 トラス部材の疲労に着目した管理手法に関する検討／本州四国連絡高速道路 [正] 奥村 淳弘・溝上 善昭・安部 真理子
- I-273 コンクリート充填鋼管T継手のホットスポット応力に対する幾何学パラメータの影響／長崎大学 [学] 葛 亜静・鄭建・中村 聖三
- I-274 JR東日本管内の鋼桁に関する現状の健全度定量評価(その2)／東日本旅客鉄道 [正] 小林 亜沙子・吉倉 智宏

■疲労(3) / 15:20~16:40 / 木下 幸治(岐阜大学)

- I-275 実橋における鋼床版デッキ貫通型き裂の発生・進展性状／首都高速道路技術センター [正] 平山 繁幸・窪田 光作・高橋 晃浩
- I-276 デッキプレートの厚さがき裂進展速度に与える影響に関する実験的研究／名城大学 [学] 高陽 傳・中秋 葛 漢彬
- I-277 新たな舗装による鋼床版補強の検討／高速道路総合技術研究所 [正] 稲荷 優太郎・小野 秀一・松本 政徳
- I-278 デッキ進展き裂を有する鋼床版の疲労耐久性に対するSFRC舗装の効果／法政大学 [F] 森 猛・村越 潤・佐藤 歩
- I-279 部分加熱による溶接残留応力低減に関する実験的検討／三井造船鉄構エンジニアリング [正] 内田 大介・森 猛
- I-280 圧縮残留応力を用いたUリブ鋼床版溶接ルートの疲労対策方法の検討／新日鐵住金 [正] 島貴 広志・米澤 隆行・田中 陸人
- I-281 スレッドローリングねじで付加物を接合した平板の疲労強度に関する実験的研究／明星大学 [正] 鈴木 博之
- I-282 取替用高性能鋼床版パネルの疲労強度／新日鐵住金 [正] 横関 耕一・富永 知徳・白旗 弘実

■疲労(4) / 17:00~18:20 / 穴見 健吾(芝浦工業大学)

- I-283 ルート疲労破壊を防止するモジュラー型伸縮装置の溶接詳細／法政大学 [正] 山崎 信宏・森 猛・原田 孝志
- I-284 疲労耐久性への配慮が十分でない大型鋼製フィンガージョイントの疲労試験／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 納土 武久・小塚 正博・池端 信哉
- I-285 ボルト取付けタイプ鋼製伸縮装置の損傷発生傾向の分析／阪神高速技術 [正] 塚本 成昭・田畑 晶子・林 訓裕
- I-286 SBHS700鋼母材の疲労強度とき裂進展特性に関する検討／岐阜大学 [学] 小野 友暉・木下 幸治
- I-287 ウェブギャップ板の損傷状態に着目した主桁首溶接部の応力計測／首都高速道路 [正] 飛田 遼・鈴木 寛久・弓削 太郎
- I-288 溶接残留応力に及ぼす試験体形状・寸法の影響／岐阜大学 [正] 木下 幸治・鈴木 元啓・小野 秀一
- I-289 太径ねじ部材の疲労強度／本州四国連絡高速道路 [正] 河野 慎也・小河 正次・坂野 昌弘
- I-290 レーザ・アークハイブリッド溶接を用いた十字および縦方向継手の疲労強度／名古屋大学 [正] 判治 剛・館石 和雄・清水 優

I-5 (センター1号館1402教室) / 9月12日(火)

■維持管理(環境) / 9:00~10:20 / 貝沼 重信(九州大学)

- I-291 塩分濃度計測に基づく壁面による風速の低減率の算定／京都大学 [学] 坪倉 佑太・広瀬 望・武邊 勝道
- I-292 風洞実験によるドライガゼ法捕集装置周りの気流評価／京都大学 [正] 野口 恭平・井伊 悠・白土 博通
- I-293 鋼橋における飛来塩分量と腐食環境の検討／福井県工業技術センター [正] 前田 健児
- I-294 CFDによる複雑地形上の風況評価を用いた橋梁部位別付着塩分量の推定／京都大学 [学] 石渡 純也・野口 恭平・白土 博通
- I-295 観測と数値モデルを組み合わせた腐食環境予測の精度検証／松江工業高等専門学校 [正] 広瀬 望・坪倉 佑太・武邊 勝道
- I-296 メソ数値予報モデルを利用した飛来塩分の高精度予測のための境界条件の高度化／長岡技術科学大学 [正] 中村 文則・大原 涼平・井野 裕輝
- I-297 橋梁内部における付着塩分量推定システムの検討／松江工業高等専門学校 [学] 吉田 和也・広瀬 望・武邊 勝道

■維持管理(腐食) / 10:40~12:00 / 佐藤 歩(土木研究所)

- I-298 ワッペン試験による多主桁鋼桁橋の横断面に着目した腐食環境調査／山口大学 [学] 丸山 和人・田島 啓司・麻生 稔彦
- I-299 フーリエ変換赤外分光法を用いた非塩化物系凍結防止剤の腐食速度遅延効果の検討／興栄コンサルタント [正] 畑佐 陽祐・蓮池 里菜・木下 幸治
- I-300 ワッペン式暴露試験による鋼桁橋の部位毎の腐食挙動に関する一考察／土木研究センター [正] 中島 和俊・加納 勇・森田 千尋
- I-301 鋼材さび面に対するCold Spray工法の防食性能に関する電気化学的考察／琉球大学 [正] 加藤 祐介・下里 哲弘・田井 政行
- I-302 亜熱帯地域における飛来塩分防護板を採用した鋼橋の腐食環境調査／新日鐵住金エンジニアリング [正] 立花 周作・藤川 敬人・麻生 稔彦
- I-303 鋼／コンクリート境界部のマクロセル腐食に及ぼす塩分と滞水の影響／西日本高速道路総合サービス沖繩 [正] 賀数 淳人・加藤 祐介・下里 哲弘
- I-304 海浜部にて2年間大気暴露したステンレス鋼と炭素鋼を接合した厚板の腐食特性／長岡工業高等専門学校 [学] 西脇 天太・小見 恒介・宮崎 靖大
- I-305 大気環境における球状黒鉛鉄の腐食挙動に関する基礎的研究／日之出水道機器 [正] 池田 鮎美・貝沼 重信・甲斐 信博

I-5 (センター1号館1402教室) / 9月13日(水)

■維持管理(防食・耐候)(1) / 9:00~10:20 / 下里 哲弘(琉球大学)

- I-306 大分県におけるニッケル系高耐候性鋼ワッペン式試験6年目調査／新日鐵住金 [正] 峯崎 浩・三浦 淳也・田中 陸人
- I-307 ワッペン試験によるNi系高耐候性橋梁の腐食環境調査／宇部興産機械 [正] 桑名 弘暁・山脇 英俊・河原 和俊
- I-308 耐候性鋼材の長期腐食減耗量推定に及ぼす曝露環境(日照/日陰)の影響／新日鐵住金 [正] 長澤 慎・原田 佳幸・田中 陸人
- I-309 中山間地域で27年間曝露された耐候性鋼試験片のさびと表面処理皮膜の性状／松江工業高等専門学校 [正] 武邊 勝道・大屋 誠・広瀬 望
- I-310 保護性さびが生成された耐候性鋼材の環境変化による経時変化について／日本橋梁建設協会 [正] 石本 圭一・川村 弘昌・鈴木 克弥
- I-311 耐候性鋼橋梁の各部位におけるさび粒子径とさび外観評点／土木研究センター [正] 加納 勇・中島 和俊・森田 千尋
- I-312 画像解析による耐候性鋼材のさびの外観評価／九州工業大学 [学] 続木 広大・瀧口 尚吾・山根 圭太
- I-313 耐候性鋼橋の維持管理法に関する継続調査／木更津工業高等専門学校 [正] 佐藤 恒明・野口 成人・宇田 見賢司

■維持管理(防食・耐候)(2) / 10:40~12:00 / 和田 新(首都高速道路)

- I-314 素地調整におけるプラスト施工条件が表面性状に及ぼす影響評価／九州大学 [学] キム アラン・貝沼 重信・渡邊 亮太
- I-315 プラスト素地調整の施工条件が静摩擦係数に及ぼす影響に関する基礎的検討／九州大学 [学] 渡邊 亮太・貝沼 重信・キム アラン
- I-316 レーザ処理が鋼素地の表面性状に及ぼす影響に関する基礎的検討／九州大学 [学] 谷川 慶太・貝沼 重信・渡邊 亮太
- I-317 加熱装置を用いた鋼橋の塗装剥離に関する基礎的研究／名古屋大学 [学] 中村 将章・廣畑 幹人・井上 勝順
- I-318 IH装置塗膜剥離工法による鋼桁への熱影響に関する検討／日本橋梁 [正] 井上 勝順・小西 日出幸・廣畑 幹人
- I-319 鋼橋における塗膜の白亜化現象とその抑制技術に関する研究／名古屋工業大学 [学] 牛田 成彦・鞍馬 宏紀・永田 和寿
- I-320 橋脚の白亜化と紫外線強度に関する検討／名古屋工業大学 [学] 小川 優貴・永田 和寿・鞍馬 宏紀

■維持管理(防食・耐候)(3) / 15:20~16:40 / 永田 和寿

- (名古屋工業大学)
- I-321 チタン箔シートを用いた塗膜弱部部の延命化／日鉄住金防蝕 [正] 橋本 凌平・我那覇 康彦・今井 篤実
- I-322 鋼構造部材の溶接部における防食塗装劣化特性に関する基礎的研究／名古屋大学 [学] 竹田 文哉・廣畑 幹人・伊藤 義人
- I-323 近接した塗膜傷間における鋼材の電気化学機構に関する基礎的研究／九州大学 [学] 増本 岳・貝沼 重信・佐鳥 隆生
- I-324 鋼橋まくらぎ下防錆塗膜の開発／鉄道総合技術研究所 [正] 鈴木 実・坂本 達朗・佐藤 大悟

- I-325 Al-Mg合金溶射鋼板における溶射施工境界部の耐アルカリ性と防食性能の評価／富士技建 [F] 石崎 茂・松村 功・横山 和昭
- I-326 水系塗料を用いた新設鋼構造物用塗装系の長期耐久性に関する検討／鉄道総合技術研究所 [正] 坂本 達朗・小野 明倫
- I-327 Al-Zn合金と繊維を用いた鋼部材閉塞部の犠牲陽極防食技術に関する基礎的研究／九州大学 [学] 山下 和也・貝沼 重信・石原 修二
- I-328 暴露期間10年以上が経過したFRP材料の力学特性／本州四国連絡高速道路 [正] 町田 陽・楠原 栄樹・花井 拓

I-6 (センター1号館1403教室) / 9月11日(月)

■維持管理(測定) (1) / 9:00~10:20 / 大島 義信(土木研究所)

- I-329 写真画像計測を用いた表面計測の相関関係による腐食深さ推定の整合性／広島大学 [学] 有木 峻将・藤井 堅
- I-330 低周波渦電流を用いた腐食鋼部材のさび層・残存板厚同時検知手法の検討／東京工業大学 [学] 阿久津 絢子・佐々木 栄一
- I-331 局部加振法を用いた橋梁主桁損傷検出のセンサー配置による検出精度の検討／北見工業大学 [学] 橋爪 志奈・三上 修一・山崎 智之
- I-332 パルス渦電流板厚測定法による応力作用下の板厚測定に関する実験的検討／名古屋大学 [学] 安藤 聡一郎・北根 安雄・伊藤 義人
- I-333 UAVでの音響計測による鋼板桁橋桁端部の局部振動特性把握による損傷検知に関する研究／横浜国立大学 [学] 黒木 美央子・西尾 真由子・伊藤 駿
- I-334 道路橋RC床版における内部水平ひび割れ検出法に関する提案／ソーキ [正] 中山 昭二・谷口 朋代・小野 祐輔
- I-335 橋梁ヘルスマニタリングへの活用を目指したドローンによる上部構造寸法の計測に関する研究／山口大学 [正] 渡邊 学歩・渡邊 豊・福田 信行
- I-336 デジタル舗装路面画像からクラックを抽出するための画像処理手法／山梨大学 [正] 吉田 純司・小野 義道

■維持管理(測定) (2) / 10:40~12:00 / 長山 智則(東京大学)

- I-337 載荷試験によるPC箱桁の損傷と振動特性の変化／京都大学 [正] 金 哲佑・徐 展・o.s.Luna Vera
- I-338 鉄筋コンクリート梁の多段階曲げ載荷実験による損傷の進展と固有振動数の変化の関係／愛媛大学 [学] 小林 巧・森 伸一郎
- I-339 被災した鋼板桁橋の発生ひずみによる安全性評価(その1)／オムロンソーシアルソリューションズ [正] 樋上 智彦・高瀬 和男・藤岡 靖
- I-340 被災した鋼板桁橋の発生ひずみによる安全性評価(その2)／オムロンソーシアルソリューションズ [正] 中野 公太・高瀬 和男・山口 弘信
- I-341 既設PC橋における活荷重と主桁ひずみ計測によるモニタリング技術に関する基礎的研究／西日本高速道路 [正] 福田 雅人・伊川 嘉昭・高瀬 和男
- I-342 PC鋼線破断時における弾性波の捕捉と桁挙動の把握／福井大学 [学] 金子 宏隆・鈴木 啓悟・Tuttipongsawat Porjan
- I-343 1柱1杭式RCラーメン高架橋大型模型の正負交番載荷試験による振動数の低下傾向について／鉄道総合技術研究所 [正] 西岡 英俊・石原 匠・阿部 慶太
- I-344 1柱1杭式RCラーメン高架橋杭頭部および柱端部の損傷レベルが振動特性に及ぼす影響について／鉄道総合技術研究所 [正] 阿部 慶太・石原 匠・西岡 英俊

■維持管理(測定) (3) / 15:20~16:40 / 蘇 迪(東京大学)

- I-345 情報板が設置された曲線を有する角型溶接構造支柱の振動特性の検討／中央大学 [学] 瀬戸 大輔・平野 廣和・佐藤 尚次
- I-346 洋上風力発電設備支持物モニタリングデータの加速度変位分析とFEM動的解析／TTES [正] 勝山 真規・吉岡 健・中嶋 周作
- I-347 加速度を利用した簡易な走行車両重量測定手法(B-WIM)の検討／TTES [正] 菅沼 久忠・梅川 雄太郎・木下 幸治
- I-348 ニューラルネットワークを用いた大規模下路アーチ橋梁の損傷同定に関する解析的研究／大阪市立大学 [学] 堂ノ本 翔平・山口 隆司
- I-349 日本海沿岸地域における裸鋼板の膜厚増加量と気象外乱の非線形回帰分析／福井大学 [学] 伊藤 拓・鈴木 啓悟
- I-350 車輛通行に伴う加速度データを用いた橋梁の変位モニタリングに関する検討／TTES [正] 梅川 雄太郎・菅沼 久忠・木下 幸治

- I-351 ANALYSIS OF LOAD TEST RESULTS FOR MAUBIN BRIDGE IN MYANMAR / 京都大学 [正] 杉浦 邦征・KHIN Maung Zaw・鈴木 康夫
- I-352 高齢化プラットラス橋の全体解析による腐食部材の軸応力推定／徳山工業高等専門学校 [学] 山根 達郎・福田 洋頭・加納 匠

■橋梁一般(測定) / 17:00~18:20 / 佐伯 昌之(東京理科大学)

- I-353 コンクリート構造物のたわみ監視装置の開発／東海旅客鉄道 [正] 前田 昌克・鏡坂 勝則
- I-354 多点多軸加速度計測を利用した橋梁のたわみ推定／東京大学 [正] 長山 智則・張 春播
- I-355 橋梁振動波形の包絡線特徴量を用いたニューラルネットワークによる交通量推定／横浜国立大学 [学] 栗栖 雄一・西尾 真由子
- I-356 無線加速度計を用いた道路橋照明柱の疲労損傷度推定の試み／琉球大学 [正] 田井 政行・下里 哲弘・梅川 雄太郎
- I-357 橋梁の振動エネルギーを利用した発電装置のパラメータ設計方法と実橋梁での検証実験／山梨大学 [正] 竹谷 晃一・佐々木 栄一
- I-358 赤外線応力測定システムによる鋼道路橋に発生する応力測定／阪神高速道路 [正] 藤林 美早・西岡 勉・渡邊 武
- I-359 3軸摩擦型ひずみゲージを用いた主ひずみの原位置可視化の試み／名城大学 [正] 小塩 達也
- I-360 振動可視化レーダーによる斜張橋振動計測の試み／埼玉大学 [正] 松本 泰尚・能美 仁・白井 郁夫

I-6 (センター1号館1403教室) / 9月12日(火)

■橋梁・車両の振動 / 9:00~10:20 / 上半 文昭(鉄道総合技術研究所)

- I-361 固有振動数測定のため低減に向けて／日本航空電子工業 [正] 富岡 昭浩・玉田 和也・宮下 剛
- I-362 大型車の動的走行荷重が劣化床版に与える影響／金沢大学 [正] 深田 幸史・鈴木 啓悟・浜 博和
- I-363 WASHBOARD ROAD: Corrugation on Dry Granular Sand and Snow Roadbed / 北海道大学 [学] シリマハシヨタ ティラナイ
- I-364 車両走行により乾燥砂路面に自然発生する凹凸起伏に関する基礎的研究／北海道大学 [学] 池田 愛子・Srimahachota Teeranai・鄭 好
- I-365 2種類の車両を用いたSSMAに基づく橋梁健全性評価の可能性検討／筑波大学 [学] 二出川 真・米原 善秀・高橋 悠太
- I-366 車両応答計測を利用した路面プロファイル推定に基づく橋梁固有振動数の抽出／東京大学 [学] 中須賀 淳貴・長山 智則・王 浩祺

■橋梁振動 / 10:40~12:00 / 松本 泰尚(埼玉大学)

- I-367 歩道橋の振動数変化に着目した立位静止者用モデルの精緻化に関する検討／近畿大学 [F] 米田 昌弘
- I-368 横断歩道橋の固有振動特性と動的応答量の経年比較／北見工業大学 [学] 白川 雄太・宮森 保紀・小幡 卓司
- I-369 Study on Dynamic Characteristic Variations of a Ballasted Railway Bridge / 北見工業大学 [学] 張 友奇・宮森 保紀・門田 峰典
- I-370 部材温度の変動が単純PC梁の固有振動特性へ与える影響／北見工業大学 [学] 小川 大智・宮森 保紀・齊藤 剛彦
- I-371 鉄道複線コンクリート桁の共振挙動／鉄道総合技術研究所 [正] 後藤 恵一・渡辺 勉・松岡 弘大
- I-372 橋梁の振動特性を用いた定期点検の簡易化に関する検討／金沢大学 [学] 南 貴大・藤生 慎・大澤 脩司
- I-373 長大PC斜張橋の多点モニタリングによる振動性状の実測と考察／東京大学 [正] 蘇 迪・中澤 治郎・長山 智則
- I-374 白鳥大橋メインケーブル定着部近傍の軸方向ひずみに関する短期計測／室蘭工業大学 [正] 小室 雅人・岸 徳光・福田 孝志

I-6 (センター1号館1403教室) / 9月13日(水)

■構造同定 / 9:00~10:20 / 山本 亨輔(筑波大学)

- I-375 実測記録と数値モデルに基づくバランスド扁平アーチ橋の振動特性把握—斜材背面地盤のモデル化— / 日本大学 [学] 鳥森 晃一・仲村 成貴・関 文夫
- I-376 レーザー超音波法によるFRP中の超音波伝搬の可視化と弾性定数の推定の試み／愛媛大学 [学] 溝上 尚弥・中畑 和之・斎藤 隆泰
- I-377 道路標識振動応答解析のための数値モデルの構築／東京理科大学 [学] 辻 貴洋・佐伯 昌之

- I-378 道路標識振動解析モデルのパラメータ推定における目的関数の検討／東京理科大学 [学] 北林 和良・辻 貴洋・佐伯 昌之
- I-379 熊本地震の余震応答計測を利用したゴム支承特性の同定／東京大学 [学] クレリ ミュゲ・長山 智則
- I-380 桁端部劣化損傷を有する鋼桁橋の構造信頼性評価のためのセンシング法への検討／横浜国立大学 [学] 松島 史彰・西尾 真由子・三浦 正樹

■強震動予測／10:40～12:00／後藤 浩之(京都大学)

- I-381 2016年鳥取県中部の地震(Mj6.6)の震源のモデル化／長岡技術科学大学 [正] 池田 隆明・高瀬 裕也・小島 由記子
- I-382 2016年鳥取県中部の地震(Mw6.2)の特性化震源モデルの構築／愛知工業大学 [正] 倉橋 奨・入倉 孝次郎・宮腰 研
- I-383 2016年鳥取県中部の地震の特性化震源モデルの構築／鳥取大学 [学] 吉田 昌平・香川 敬生・野口 竜也
- I-384 常時微動H/Vスペクトル比を用いた地震動推定—2016熊本地震における熊本城、くまもと森都心図書館について—／金沢大学 [正] 村田 晶・秦 吉弥・土田 美悠子
- I-385 海外における地震ハザード評価の一例／基礎地盤コンサルタンツ [正] 畑山 諒人・小川 能克・三木 茂
- I-386 経験的サイト増幅・位相特性を考慮した強震動評価手法への近地項・中間項の導入に関する基礎的検討／港湾空港技術研究所 [正] 長坂 陽介・野津 厚
- I-387 カーネル密度推定と混合正規分布モデルによる地震動波形の包絡線近似／岐阜大学 [正] 久世 益充・能島 暢呂
- I-388 KL展開による地震動の経時特性のモード解析／岐阜大学 [正] 能島 暢呂・久世 益充

■設計地震動・地盤震動／15:20～16:40／福島 康宏

(エイト日本技術開発)

- I-389 地震動のサイト増幅特性の経験的評価におけるバラツキに関する基礎的検討／エイト日本技術開発 [正] 福島 康宏・長尾 毅
- I-390 強震記録に含まれる2方向水平成分間位相特性の評価／京都大学 [学] 瀧井 寛史・五十嵐 晃
- I-391 常時微動H/Vスペクトルを用いたサイト増幅特性の統計的な推定法の提案／国土技術政策総合研究所 [正] 福永 勇介
- I-392 断層上のラーメン高架橋における基礎形式の違いによる地震時挙動の比較／ジェイアール総研エンジニアリング [正] 川野 有祐・日野 篤志・室野 剛隆
- I-393 2016年熊本地震における設計地震力超過継続時間の評価／岐阜大学 [学] 山本 大喜・能島 暢呂
- I-394 2016年熊本地震における地殻ひずみの日変動特性と地震発生過程／東北工業大学 [F] 神山 真・小出 英夫・沢田 康次
- I-395 2016年熊本地震の前震(M6.5)の特性化震源モデル／港湾空港技術研究所 [正] 野津 厚
- I-396 明石市魚住地区大規模造成地の常時微動特性／明石工業高等専門学校 [正] 鍋島 康之・平井 俊之・立花 瑠唯

I-7 (センター1号館1405教室)／9月11日(月)

■衝撃(実験)(1)／9:00～10:20／香月 智(防衛大学校)

- I-397 ソイルセメント緩衝工を用いた落石防護擁壁の安定照査／構研エンジニアリング [正] 鈴木 健太郎・保木 和弘・山澤 文雄
- I-398 基礎地盤が異なる条件下における落石防護擁壁の耐衝撃挙動／土木研究所 寒地土木研究所 [正] 山澤 文雄・今野 久志・西 弘明
- I-399 落石防護擁壁用ソイルセメント製緩衝工の適用範囲検討／構研エンジニアリング [正] 牛渡 裕二・栗橋 祐介・西 弘明
- I-400 落石防護柵の耐衝撃挙動に関する基礎的検討／土木研究所 寒地土木研究所 [正] 荒木 恒也・今野 久志・西 弘明
- I-401 従来型落石防護柵の間隔保持材設置効果に関する重錘落下衝撃実験／土木研究所 寒地土木研究所 [正] 今野 久志・荒木 恒也・西 弘明
- I-402 エネルギー吸収型落石防護柵の支柱間隔の性能評価に関する実験的研究／プロテックエンジニアリング [正] 石井 太一・西田 陽一・榎谷 浩
- I-403 落石防護柵に使用するひし形金網の特性について／ピーセーフ [正] 松嶋 秀士・小島 明徳・真鍋 賀行

■衝撃(実験)(2)／10:40～12:00／今野 久志

(土木研究所 寒地土木研究所)

- I-404 CFRPシート接着工法により曲げ補強したRC梁の衝撃荷重実験／室蘭工業大学 [学] 船木 隆史・岸 徳光・栗橋 祐介

- I-405 CFRPロッドを下面埋設したRC梁の衝撃荷重実験／釧路工業高等専門学校 [F] 岸 徳光・栗橋 祐介・小室 雅人
- I-406 A BASIC STUDY ON IMPACT RESISTANCE OF RC BEAMS REINFORCED BY CONTINUOUS FIBER COMPOSITE PANEL／九州大学 [正] 玉井 宏樹・孫 揚・園田 佳巨
- I-407 ポリウレタン樹脂で被覆されたRC版の繰り返し衝撃力に対する耐荷性に関する実験的検討／九州大学 [学] 影山 幹浩・園田 佳巨・興石 正己
- I-408 局部損傷を受けたRC版の耐爆性能に関する基礎的研究／防衛大学校 [学] 長谷川 大・別府 万寿博・黒田 一郎
- I-409 SHPB法によるポリビニルアルコール短繊維補強コンクリートの動的一軸圧縮強度に関する実験的検討／防衛大学校 [学] 岩根 利浩・別府 万寿博・市野 宏嘉
- I-410 一質点系モデルによる近接爆発を受けるRC梁の応答評価に関する基礎的検討／防衛大学校 [学] 永田 真・別府 万寿博・市野 宏嘉

■衝撃(実験)(3)／15:20～16:40／榎谷 浩(金沢大学)

- I-411 単粒度砕石ジオセル緩衝体の衝突速度低減効果に関する検討／日本サミコン [正] 宮本 大介・大山 亮貴・小室 雅人
- I-412 異なる飽和度における落石緩衝材の側方変位に着目した衝撃緩衝メカニズム／名古屋工業大学 [学] 堀 耕輔・田中 敬大・前田 健一
- I-413 砂を対象とした重錘落下衝突実験／東電設計 [正] 山川 大貴・上野 裕稔・別府 万寿博
- I-414 ガス用ポリエチレン管の防護材の衝撃緩衝特性に関する実験的研究／九州大学 [学] 吉武 翔・玉井 宏樹・園田 佳巨
- I-415 短繊維補強によるコンクリート板の裏面剝離抑制効果に関するエネルギー論的考察／防衛大学校 [学] 上野 裕稔・別府 万寿博・市野 宏嘉
- I-416 鋼棒の衝突を受ける鋼板の耐貫通性能に関する基礎的研究／防衛大学校 [学] 濱田 匠李・別府 万寿博・市野 宏嘉
- I-417 鋼製砂防堰堤が受ける土石流の衝撃荷重評価に関する検討／防衛大学校 [正] 堀口 俊行・香月 智・石川 信隆

■衝撃(解析)／17:00～18:20／山本 佳士(名古屋大学)

- I-418 CFRPロッドを下面埋設したRC梁の耐衝撃挙動に関する数値解析的検討／室蘭工業大学 [学] 瓦井 智貴・岸 徳光・小室 雅人
- I-419 重錘落下衝撃を受ける扁平RC梁の弾塑性衝撃応答解析／室蘭工業大学 [学] 鄭 丹丹・小室 雅人・瓦井 智貴
- I-420 中速度衝突を受ける鉄筋コンクリート版の破壊メカニズムに関する数値解析的考察／防衛大学校 [学] 片岡 新之介・別府 万寿博・市野 宏嘉
- I-421 コンクリート板の破壊現象を対象とした粒子離散化有限要素法による数値解析／東電設計 [正] 中釜 裕太・中田 達也・廣部 紗也子
- I-422 RCはりの衝撃応答解析に関する基礎的考察／九州大学 [学] 後藤 航・園田 佳巨
- I-423 変形可能な飛翔体とコンクリート板構造物の高速衝突実験の再現解析／パシフィックコンサルタンツ [正] 高橋 千明・蔡 飛
- I-424 STATIC AND IMPACT BEHAVIOR OF RC BEAM REINFORCED BY CARBON FIBER AND SIMULATION／金沢大学 [学] チャンレ ホワンチュン・MASUYA Hiroshi・KOBAYASHI Akira
- I-425 A study on the load bearing capacity and impact resistance of RC beams with corroded reinforcement by FEM／九州大学 [学] 路 馳・玉井 宏樹・園田 佳巨

I-7 (センター1号館1405教室)／9月12日(火)

■地盤震動・液状化(1)／9:00～10:20／福武 毅芳(清水建設)

- I-426 高濃度薬液改良体の流水環境下における長期耐久性について／早稲田大学 [学] 中道 馨・山崎 知・赤木 寛一
- I-427 地盤全体としての強度低下率を指標とした液状化判定法の提案／鉄道総合技術研究所 [正] 坂井 公俊・小島 謙一
- I-428 道路舗装厚を考慮した液状化ハザードマップと実被害との比較検証／横浜国立大学 [学] 奥田 浩季・清田 隆・小長 井 一男
- I-429 東北地方太平洋沖地震において液状化に曝露されたエリアの道路網の被害分析／筑波大学 [学] 中嶋 千穂子・庄司 学
- I-430 巨大地震による上・下水道埋設管路被害と地盤震動および液状化の関係／筑波大学 [学] 小林 怜夏・庄司 学
- I-431 礫質土の耐液状化性能に関する実験的研究—繰返し三軸強度比RLと締固め度Dcの相関性について—／エース [正] 前田 賢・島田 茂・福井 英人

- I-432 原位置と室内試験におけるVsを用いた液状化強度比の推定/東京大学 [正] 清田 隆・呉 杰祐
 I-433 液状化発生地点の特徴評価に向けた共分散構造分析/千葉大学 [学] 柳瀬 匡雄

■地盤震動・液状化(2) /10:40~12:00/酒井 久和(法政大学)

- I-434 平成28年熊本地震の御船ICにおける大速度記録の原因分析/京都大学 [学] 豊増 明希・後藤 浩之・澤田 純男
 I-435 不整形地盤上における鉛直フーリエスペクトル比の変動に関する検討/鉄道総合技術研究所 [正] 田中 浩平・坂井 公俊・盛川 仁
 I-436 常時微動観測を用いた盛土造成地における地盤構造の推定と地震時の安定性評価/福井大学 [正] 伊藤 雅基・小嶋 啓介・吉田 清夏
 I-437 2016年熊本地震の地表地震断層ごく近傍における常時微動観測/鳥取大学 [正] 香川 敬生・吉田 昌平・上野 太士
 I-438 2016年鳥取県中部の地震による本震と余震観測記録の特性/鳥取大学 [正] 野口 竜也・香川 敬生・吉田 昌平
 I-439 地盤物性の変動を考慮した地表地震動最大値の確率分布評価法/中央開発 [正] 東野 圭悟・坂井 公俊・田中 浩平
 I-440 地中構造物の耐震性向上対策としての残置土留壁の効果について/ニュージェック [正] 五十嵐 徹・後藤 浩之・澤田 純男
 I-441 3次元基盤不整形性を有する市街地における地下ライフラインの地震被害想定を試み/山梨大学 [学] 木下 顕吾・鈴木 猛康・宮本 崇

I-7 (センター1号館1405教室) /9月13日(水)

■地盤震動・液状化(3) /9:00~10:20/野津 厚(港湾空港技術研究所)

- I-442 2016年熊本地震の本震直後における益城町市街地での地盤速度構造の推定に関する試み/大阪大学 [正] 秦 吉弥・吉見 雅行・後藤 浩之
 I-443 臨時余震観測に基づく2016年熊本地震によって被災した緑川堤防沿いでのサイト増幅特性の評価/大阪大学 [学] 湊 文博・秦 吉弥・大川 雄太郎
 I-444 常時微動計測に基づく和歌山県内の変電所でのMSR値の評価/大阪大学 [学] 大川 雄太郎・秦 吉弥・湊 文博
 I-445 新潟県粟島および山口県見島を対象とした想定地震時における津波避難困難時間の評価に関する試み/大阪大学 [学] 山内 政輝・秦 吉弥・鍛田 泰子
 I-446 東京における短周期地震動の、地表付近での増幅の解釈/東京大学 [正] 飯田 昌弘
 I-447 3次元有限要素法による関東地方における工学的基盤波の再現計算/東電設計 [正] 栗田 哲史・董 勤喜・吉見 顕一郎
 I-448 台南市における微動観測に基づく地盤震動特性の推定に関する研究/京都大学 [学] 三木 拓人・清野 純史
 I-449 S波インピーダンスによる地盤増幅特性評価法の地震観測記録に基づく検証/京都大学 [学] 林 穂高・後藤 浩之・澤田 純男

■地盤震動・液状化(4) /10:40~12:00/坂井 公俊

(鉄道総合技術研究所)

- I-450 3次元FEMに基づく山地形の地盤増幅率の推定/法政大学 [学] 藤並 雄誠・吉見 雅行・酒井 久和
 I-451 福井地震による九頭竜川堤防被害と微動特性について/福井大学 [正] 小嶋 啓介・伊藤 雅基・水野 智洋
 I-452 2008年荒低沢地すべりに対するSPH法による三次元地震応答解析/法政大学 [学] 石川 大地・酒井 久和・小野 祐輔
 I-453 杭式改良を用いた液状化地盤の側方流動抑制に関する遠心模型実験/三井住友建設 [正] 湖山 美怜・森川 嘉之・高橋 英紀
 I-454 動的遠心力模型実験装置の改善及び地盤の液状化模型実験/高知工業高等専門学校 [学] 三笠 候嗣・小松 拓矢・岡林 宏二郎
 I-455 動的遠心力模型実験装置による液状化模型実験の有効応力解析法を用いた地震応答解析/高知工業高等専門学校 [学] 小松 拓矢・三笠 候嗣・岡林 宏二郎
 I-456 三次元の弾性FEM解析を用いた係留施設の構造変化部分周辺の法線出入り量の推定/香川大学 [正] 小泉 勝彦・村上 功一・山中 稔
 I-457 SPH-DEM連成解析を用いた地震と津波が同時に作用する際の液状化による混成堤の沈下に関する検討/東電設計 [学] 岩本 哲也・中瀬 仁・大矢 陽介

■基礎の耐震 /15:20~16:40/石井 晃(鹿島建設)

- I-458 杭頭部の半剛結核の載荷実験/JR東海 [正] 岩田 秀治・鈴木 亨・伊藤 太郎

- I-459 地盤改良体を用いた杭基礎構造物の地震時変位抑制に関する実験的検討/東日本旅客鉄道 [正] 池本 宏文・高崎 秀明
 I-460 液状化地盤における橋台基礎の対策工の効果検証(その2 鋼管矢板壁(側面一体型)) /土木研究所 [正] 石田 修一・谷本 俊輔・中田 光彦
 I-461 液状化地盤における橋台基礎の対策工の効果検証(その1 鋼管矢板壁(前面分離型)) /土木研究所 [正] 中田 光彦・谷本 俊輔・石田 修一
 I-462 小径杭の杭配置に応じた支持力の変化に関する解析的検討/鉄道総合技術研究所 [正] 土井 達也・日野 篤志・室野 剛隆
 I-463 簡易解析モデルによる液状化地盤における橋台基礎の地震時挙動の評価/土木研究所 [正] 高橋 宏和・谷本 俊輔・中田 光彦
 I-464 土の上に設置した直接基礎橋脚の振動台試験による地震時挙動の評価/複合技術研究所 [正] 太田 剛弘・日野 篤志・室野 剛隆
 I-465 打撃試験法を用いた杭基礎の健全性評価に対する解析的検討/法政大学 [学] 大塚 経志郎・今井 義之・西山 誠治

I-8 (センター1号館1406教室) /9月11日(月)

■橋梁耐震(1) /9:00~10:20/竹田 周平(福井工業大学)

- I-466 瓦形ゴムシューのパラメトリックスタディによる一考察/ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 塚原 美佳・野上 雄太・石橋 忠良
 I-467 既設鋼上路式アーチ橋の架設工法に関する調査/川田テクノシステム [正] 田巻 嘉彦・上野 勝敏
 I-468 粒子法を用いた橋桁に作用する津波波力の算定/鳥取大学 [学] 中村 雅志・小野 祐輔・庄司 学
 I-469 広域道路ネットワークにおける地震被害シミュレーションの実現可能性の検討/阪神高速道路 [正] 篠原 聖二・金治 英貞・馬越 一也
 I-470 3波連続で地震を受ける耐震補強された鋼製橋脚に関する解析的研究/愛知工業大学 [学] 鈴木 洋平・鈴木 森晶・飯田 智仁
 I-471 地震後の初動点検における矩形鋼製橋脚の損傷度判定手法に関する実験的検討/愛知工業大学 [正] 嶋口 儀之・鈴木 森晶・鈴木 洋平
 I-472 瀬戸大橋吊橋の耐震補強/本州四国連絡高速道路 [正] 平山 靖之・河藤 千尋・花井 拓
 I-473 損傷制御型サイドブロックを用いた橋梁の地震時挙動/首都高速道路技術センター [正] 張 広鋒・和田 新・石高 裕二

■橋梁耐震(2) /10:40~12:00/北原 武嗣(関東学院大学)

- I-474 超過外力が作用したときのアーチ橋の損傷シナリオに関する研究(その1 損傷を制御していない橋の挙動) /土木研究所 [正] 中尾 尚史・大住 道生
 I-475 超過外力が作用したときのアーチ橋の損傷シナリオに関する研究(その2 損傷を制御した場合の橋の挙動) /土木研究所 [正] 大住 道生・中尾 尚史
 I-476 鋼橋の耐震設計における「ひずみ照査法」は正当に評価されているのか? /名城大学 [F] 宇佐美 勉・葛 漢彬
 I-477 ひずみ照査法に基づく耐震性能照査法の1次設計の重要性/名城大学 [学] 鈴木 元哉・葛 漢彬
 I-478 架設系を考慮した既設鋼上路式アーチ橋の死荷重断面力に関する研究/川田テクノシステム [正] 上野 勝敏・田巻 嘉彦
 I-479 既往被害地震における橋梁の損傷と超過外力に対する課題/土木研究所 寒地土木研究所 [正] 佐藤 孝司・白戸 義孝・今野 久志
 I-480 PCラーメン橋の大規模地震時における応答変位照査法に関する一考察/NEXCO西日本コンサルタンツ [正] 松田 宏・塩畑 英俊・吉田 直弘
 I-481 ANALYSIS OF NONLINEAR BEHAVIOR OF SHIKANSEN VIADUCT UNDER DOUBLE PASSING LOAD OF SHINKANSEN AND EFFECTIVENESS OF APPLICATION OF MULTI TUNED MASS DAMPERS (MTMD) OF DIFFERENT MASS RATIOS/東京大学 [正] ムスタファ アッタ・水谷 司・蘇 迪

■橋梁耐震(3) /15:20~16:40/宇野 州彦(五洋建設)

- I-482 鋼下路式ニールセンローゼ橋の耐震補強対策検討/大日本コンサルタント [正] 荒木 亨仁・安川 仁敏・畠山 圭司
 I-483 地震時損傷を受けた壁構造の再現解析及び耐力評価方法の検証/NEXCO西日本コンサルタンツ [正] 李 首一・伊川 嘉昭・榎木 正喜

- I-484 炭素繊維シート巻立てによる円形鋼製橋脚の補修・補強に関する解析的検討／首都大学東京 [学] 岡崎 直斗・中村一史・岸 祐介
- I-485 道路鉄道併用トラス橋の免震化対策／本州四国連絡高速道路 [正] 花井 拓・河藤 千尋・平山 靖之
- I-486 滑り曲面の球面化による摩擦振子型免震機構付き橋梁の地震応答性状の改善の試み／早稲田大学 [学] 市川 義高・服部 琳太郎・秋山 充良
- I-487 材料劣化を考慮した繰り返し載荷下のゴム材料挙動の数値解析／名古屋工業大学 [学] 小岩 千紗・小畑 誠・後藤 芳顕
- I-488 橋梁のゴム支承の性能低下に対する変位拘束ケーブル適用対策の効果／京都大学 [学] 栗野 翔太・五十嵐 晃
- I-489 斜角を有するRCラーメン高架橋の三次元動的応答に関する一考察／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 山口 健・友竹 幸治・関 貴志

■橋梁耐震(4) / 17:00~18:20 / 古川 愛子(京都大学)

- I-490 地盤の寄与率を指標とした橋梁・高架橋の減衰評価のための基礎的検討／鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正] 石川 太郎・坂井 公俊・小島 謙一
- I-491 直接基礎のロッキング現象に関する基礎的実験／宇都宮大学 [学] 武田 龍國・藤倉 修一・楠木 崇仁
- I-492 弾性壁に作用する動土圧に関する遠心模型実験(その1:遠心模型実験)／高速道路総合技術研究所 [正] 高原 良太・広瀬 剛・加藤 一紀
- I-493 弾性壁に作用する動土圧に関する遠心模型実験(その2:数値シミュレーション)／大林組 [正] 樋口 俊一・高原 良太・広瀬 剛
- I-494 FEMを用いた阿蘇大橋の崩落メカニズムの静的検討／東亜コンサルタント [正] 谷口 亮太・千田 知弘・渡辺 浩
- I-495 液状化地盤上に存在する橋梁の橋台背面アプローチ部における段差解消に関する基礎的検討／九州大学 [学] 斧田 和樹・梶田 幸秀
- I-496 大規模地震時における摩擦杭の支持力確認検討／NEXCO西日本コンサルタンツ [正] 児嶋 基成・伊川 嘉昭・和田 広之
- I-497 輪石の開閉を伴う石橋の揺れに関する一考察／建設プロジェクトセンター [正] 筒井 光男・坂田 力

I-8 (センター1号館1406教室) / 9月12日(火)

■地中構造物の耐震 / 9:00~10:20 / 大竹 省吾

(オリエンタルコンサルタンツ)

- I-498 地盤・構造条件が小断面ボックスカルバートの地震時挙動に与える影響に関する基礎的検討／ジェイアール東海コンサルタンツ [正] 仲秋 秀祐・早川 慧・柳川 一心
- I-499 小断面ボックスカルバートの断面形状が耐震性能に与える影響に関する基礎的検討／ジェイアール東海コンサルタンツ [正] 小林 史・柳川 一心・今枝 潤志
- I-500 埋設管に作用する地盤拘束力の管周方向分布に関する研究／名古屋大学 [正] 北野 哲司・坂上 貴士・小倉 均
- I-501 局部変形のある鋼管の圧縮変形特性／名古屋大学 [正] 菅沼 淳・林口 暢高
- I-502 地震時における給水用高密度ポリエチレン管の耐震性評価／京都大学 [正] 西川 源太郎・塩浜 裕一・鈴木 剛史
- I-503 水平二方向地震動に対する地中箱型構造物の耐震性能評価／東北電力 [正] 土田 恭平・伊藤 悟郎・永井 秀樹
- I-504 コンクリートの引張抵抗を考慮したファイバーモデルによる地中構造物の非線形解析／ナレッジフュージョン [正] 福江 清久
- I-505 数値解析による道路ボックスカルバートの耐震性能評価に関する検討／阪神高速道路 [正] ハツ元 仁・光吉 泰生・澤村 康生

■トンネル・地中構造物の耐震 / 10:40~12:00 / 濱野 雅裕

(エイト日本技術開発)

- I-506 山岳トンネルの地震被害と耐震性について／深田地質研究所 [F] 亀村 勝美
- I-507 山岳トンネル坑口部の耐震設計に関する考察／パシフィックコンサルタンツ [正] 山本 健太・橋本 知尚・屋代 瑞希
- I-508 免震トンネルの縦断方向の地震時挙動評価に用いる詳細分割モデルの提案／山梨大学 [学] 宍倉 佳浩・鈴木 猛康
- I-509 断層変位を受ける地中線状構造物の変形状に関する解析的検討／大成建設 [正] 坂下 克之・畑 明仁
- I-510 耐震補強を考慮した地中構造物の地震時損傷率評価に関する検討／安藤ハザマ [正] 浦野 和彦・西村 毅・前田 博司
- I-511 地下構造物の地震被害の相違に着目した3次元解析の有効

- 性に関する一考察／日建設計シビル [正] 西山 誠治・田辺 篤史・杉田 吏絵
- I-512 丸鋼を用いた開削トンネルの変形性能および損傷評価に関する検討／鉄道総合技術研究所 [正] 川西 智浩・日野 篤志・室野 剛隆
- I-513 動的解析に基づく既存サイホン縦断方向の耐震性能照査／神戸大学 [学] 平山 智章・鍛田 泰子・有野 治

I-8 (センター1号館1406教室) / 9月13日(水)

■座席・耐荷力(桁・柱) / 9:00~10:20 / 小野 潔(早稲田大学)

- I-514 支点部の隙や移動が生じた鋼桁端部の耐荷力の評価／鉄道総合技術研究所 [正] 戸崎 隆之・吉田 善紀・小林 裕介
- I-515 支承部付近が腐食した鋼橋のせん断耐荷力評価とその補強法／パシフィックコンサルタンツ [正] 浅尾 尚之・藤井 堅
- I-516 支間部に腐食劣化の生じた鋼桁橋の耐荷性能評価に関する一検討／オリエンタルコンサルタンツ [正] 有村 健太郎・船越 博行・舟山 耕平
- I-517 水平地動を受ける鋼変断面片持ち柱の崩壊メカニズムの変動特性／神戸市立工業高等専門学校 [正] 酒造 敏廣
- I-518 SM570とSUS329J3Lを組合せたハイブリッド長柱の圧縮強度特性／長岡工業高等専門学校 [学] 堀澤 英太郎・宮崎 靖大
- I-519 鋼製パイプ断面を有する柱杭一体構造の耐荷力曲線／オリエンタルコンサルタンツ [正] 大森 貴行・葛西 昭・小原 礼
- I-520 鋼製パイプ断面を有する柱杭一体構造の初期不整と圧縮強度の関係／熊本大学 [学] 小原 礼・葛西 昭・大森 貴行
- I-521 鉄筋コンクリート充填鋼管柱の静荷重実験に関する弾塑性有限要素解析／室蘭工業大学 [学] 堅田 恭輔・小室 雅人・栗橋 祐介

■座席・耐荷力(板) / 10:40~12:00 / 金田 崇男(土木研究所)

- I-522 材料強度の変化に伴う面内曲げ圧縮荷重を受ける周辺単純支持板の強度特性／長岡工業高等専門学校 [学] 高橋 寛成・宮崎 靖大・奈良 敬
- I-523 SBHS500を用いた十字断面短柱の耐荷力特性に関する解析的研究／早稲田大学 [学] 安宅 俊樹・小野 潔・加藤 健太郎
- I-524 AN EXPERIMENTAL STUDY ON LOAD-CARRYING CAPACITY OF OUTSTANDING STEEL PLATES MADE OF SBHS400／早稲田大学 [学] PRIYOTANTOMO YOSEPHMICHAELBIMO・TOSHIKI ADAKE・KIYOSHI ONO
- I-525 面内曲げを受ける等間隔に縦補剛されたアルミニウム合金板の最適断面形状と耐荷力／大阪大学 [学] 清水 弘樹・大倉 一郎
- I-526 等間隔に縦補剛されたアルミニウム合金板のせん断耐荷力／大阪大学 [学] 鶴見 一恵・大倉 一郎
- I-527 波形加工による鋼板の履歴エネルギー吸収の変動／エムエスシーソフトウェア [正] 上野山 拓也・山田 宰・北澤 雅之
- I-528 疲労き裂を有する鋼部材の残存耐荷力に関する研究／神戸大学 [学] 星野 加奈・橋本 国太郎

■座席・耐荷力(その他) / 15:20~16:40 / 玉越 隆史(土木研究所)

- I-529 トラス橋の格点部を含めたパネルの終局強度に関する研究／日本車輛製造 [正] 山田 忠信・後藤 芳顕・海老澤 健正
- I-530 下弦材が破断したトラス橋の崩壊挙動解明のための大規模実験／名古屋役所 [正] 河合 惟大・後藤 芳顕・山田 忠信
- I-531 トラス橋の崩壊防止手法開発のための大規模実験／岐阜工業高等専門学校 [正] 水野 剛規・後藤 芳顕・山田 忠信
- I-532 断面欠損を有する鋼トラス橋圧縮部材の残存耐荷力に関する解析的検討／首都大学東京 [学] 井上 恭輔・村越 潤・岸 祐介
- I-533 EXPERIMENTAL STUDY ON REPAIR METHOD USING CFRP FOR CORRODED GUSSET PLATE CONNECTION IN TRUSS BRIDGE／長岡技術科学大学 [学] ファム ゴック ヴァイン・宮下 剛・大垣 賀津雄
- I-534 内面が腐食した鋼箱型断面部材の耐荷力評価と補強方法に関する基礎的研究／大阪市立大学 [学] 廣澤 直人・山口 隆司・高田 佳彦
- I-535 鋼桁橋の耐火性能評価と対策の検討／東京大学 [学] 川崎 広樹・蘇 迪・長山 智則
- I-536 初期不整を有する薄肉円筒シェルの終局強度の統計的評価法／長崎大学 [学] 鬼塚 友章・松田 浩・古賀 掲維

■地震応答解析(1) / 9:00~10:20 / 松永 昭吾

(共同技術コンサルタント)

- I-537 動的解析を用いた南海トラフ地震による鋼ローゼ橋の地震応答に関する研究 / 早稲田大学 [学] 尾曾越 計・小野 潔・片岡 正次郎
- I-538 2016年熊本地震の観測波を用いた動的解析による鉛直地震動が橋梁モデルの地震時応答に及ぼす影響 / 九州大学 [学] 中島 昌矢・崔 準ホ
- I-539 熊本地震で被災した連続曲線高架橋の非線形地震応答解析 / 山口大学 [学] 益田 諒大・渡邊 学歩・葛西 昭
- I-540 都市内高速ジャンクション免震高架部の地震応答特性 / 横浜国立大学 [学] 戸部 真世・敷井 佑丞・藤野 陽三
- I-541 主塔・主桁間の衝突を伴う長大橋の地震応答の再現と大地震時の損傷過程の推定 / 東京大学 [正] 武田 智信・水谷 司・長山 智則
- I-542 wallstatを利用した熊本地震における木造建物被害シミュレーション / 千葉大学 [学] 須藤 巧哉・山崎 文雄・劉 ウェン
- I-543 地震被害推定 / モデルを用いた電化柱の即時被害推定 / 中央開発 [正] 田中 駿・坂井 公俊・田中 浩平

■地震応答解析(2) / 10:40~12:00 / 渡邊 学歩(山口大学)

- I-545 堤体の有無が応答解析における基盤の伝達特性に及ぼす影響 / 農研機構 [正] 林田 洋一・増川 晋・田頭 秀和
- I-546 ダム門柱の入力加速度の推定における簡易三次元モデルの有用性 / 東電設計 [正] 松本 陽介・恒川 明伸・中野 靖
- I-547 アーチダムの地震応答における減衰定数の影響 / 国土技術政策総合研究所 [正] 平松 大周・佐藤 弘行・金銅 将史
- I-548 堤高の異なるアーチダムの堤体応答と地震動強度の関係 / 電力中央研究所 [正] 西内 達雄
- I-549 2016年熊本地震観測波を用いた落橋防止装置を有する橋梁の地震応答解析 / 九州大学 [学] 永原 稔之
- I-550 東北地方太平洋沖地震時の横浜ベイブリッジ走行中の大型車の転倒および滑動の可能性 / 横浜国立大学 [学] 成田 顕次・SIRINGORINGO Dionysius・藤野 陽三
- I-551 内巻き帯鉄筋を有するラーメン高架橋が終局に至る地震動の大きさの動的非線形解析による推定 / 東日本旅客鉄道 [正] 桑木野 耕介・杉田 清隆・築嶋 大輔
- I-552 ラーメン高架橋全体系の入力損失効果に関する研究 / 鉄道総合技術研究所 [正] 寶地 雄大・室野 剛隆・齊藤 正人

■耐風・風工学(1) / 15:20~16:40 / 木村 吉郎(東京理科大学)

- I-553 架設時長大PC斜張橋のガスト応答に関する研究—静的空気力と非定常空気力の評価— / 清水建設 [正] 清水 和昭・伊藤 靖晃・中島 穰
- I-554 架設時長大PC斜張橋のガスト応答に関する研究—ガスト応答解析と弾性模型実験の比較— / 清水建設 [正] 伊藤 靖晃・中島 穰・小林 秀人
- I-555 オーブングレーチングを閉塞したトラス補剛吊橋の耐風安定性向上の検討 / 横浜国立大学 [学] 小寺 拓実・勝地 弘・山田 均
- I-556 下津井瀬戸大橋の耐風安定性に関する一考察 / 本州四国連絡高速道路 [正] 楠原 栄樹・山根 彰・花井 拓
- I-557 橋桁側面に開口部を設けた箱桁橋の耐風性に関する研究 / 京都大学 [学] 潮田 潤・八木 知己・王 嘉奇
- I-558 トラス橋斜材のフランジ突起の有無が自己励起型渦励振応答特性に与える影響 / 九州工業大学 [学] 江尻 和史・松田 一俊・加藤 九州男
- I-559 片持ち支持された正方形断面柱の空力特性の迎角による変化 / 関東学院大学 [正] 中藤 誠二

■耐風・風工学(2) / 17:00~18:20 / 比江島 慎二(岡山大学)

- I-560 矩形断面周りの流れ場に関するDMD解析を用いた研究 / 京都大学 [学] 下西 舞・塚前 伊久磨・白土 博通
- I-561 風で飛翔する球による衝撃力の測定 / 日本大学 [F] 野村 卓史・長谷部 寛・飯泉 拓也
- I-562 空気中の物体の飛翔過程の解析 / 日本大学 [学] 大野 卓実・野村 卓史
- I-563 屋外イベント入場者数の動向に及ぼす複合要素の分析 / 法政大学 [正] 北川 徹哉
- I-564 風速予測精度へのサンプリング頻度の影響と強風平均持続時間に関する検討 / 京都大学 [学] 劉 文博・張 東明・張 騰月
- I-565 数値流体解析を用いた定常流れ場に基づく最大瞬間風速の予測 / 京都大学 [学] 西牟田 裕介・白土 博通・野口 恭平
- I-566 自然条件下におけるSUPG内流れの予測と効率化に関する検討 / 京都大学 [学] 山岡 大樹・白土 博通・湯井 大貴

■耐風・風工学(3) / 9:00~10:20 / 北川 徹哉(法政大学)

- I-567 着氷雪電線のギャロッピングにおいてねじれ振動が鉛直振幅に与える影響の評価 / 電力中央研究所 [正] 松宮 央登・西原 崇・八木 知己
- I-568 矩形断面におけるねじれ振動起因の大振幅空力自励振動応答 / 京都大学 [学] 小松 尚弘・八木 知己・佐々木 雄多
- I-569 斜円柱の雨なし振動の発生原因の検討 / 東京理科大学 [学] 石井 誉大・木村 吉郎・大幢 勝利
- I-570 並列ケーブルのウェイク振動に対するスパイラル突起の制振効果に関する研究 / 神鋼鋼線工業 [正] 榊 一平・八木 知己・小川 哲司
- I-571 数値流体解析によるウェイクギャロッピングに関する研究 / 東京大学 [正] 菊地 由佳
- I-572 タンDEM正方形角柱のインライン振動応答特性に与える模型支持条件の影響 / 九州工業大学 [学] 中村 雄太・松田 一俊・加藤 九州男
- I-573 ギャロッピングの原理を利用した革新的なタービンプレード / 岡山大学 [正] 比江島 慎二・高松 宏彰・上田 剛慈
- I-574 バックステイケーブルから発生した振動音とその対策 / 川田工業 [正] 小笠原 照夫・向笠 正洋・田中 寛泰

■免震構造・デバイス(1) / 10:40~12:00 / 姫野 岳彦(川金コアテック)

- I-575 圧縮疲労試験による橋梁用ゴム支承の特性変化に与える低温環境の影響について / 寒地土木研究所 [正] 佐藤 京・今井 隆・原 暢彦
- I-576 軸応力とせん断ひずみの変化に伴うゴム支承の局部応力状態評価 / 九州大学 [学] SUNG HYUNWOO・原 暢彦・今井 隆
- I-577 経年劣化LRBを有する高架道路橋の地震リスク評価 / 阪神高速道路 [正] 林 訓裕・五十嵐 晃・足立 幸郎
- I-578 積層ゴム支承における内部鋼板とゴムの接着層の劣化特性評価 / 阪神高速技術 [正] 坂本 直太・向井 梨紗・篠原 聖二
- I-579 免震支承における損傷比率と対応した免震支承—RC橋脚間の耐力比指標に関する基礎的検討 / 東北大学 [学] 津村 拓都・久保 陽平・松崎 裕
- I-580 免震支承における損傷比率と免震支承—RC橋脚間の耐力比の関係に基づく免震支承の経年劣化の影響に関する基礎的検討 / 東北大学 [学] 久保 陽平・津村 拓都・松崎 裕
- I-581 低温環境下におけるゴム支承の温度依存性に関する実験的研究 / 北見工業大学 [学] 入江 駿亮・中村 保之・齊藤 剛彦
- I-582 低温環境下における新しい高減衰ゴム支承の力学特性に関する実験的研究 / 住友理工 [正] 中村 保之・入江 駿亮・齊藤 剛彦

■免震構造・デバイス(2) / 9:00~10:20 / 渡邊 学歩(山口大学)

- I-583 各個撃破を回避する摩擦サイドブロックの開発(その1:技術概要と振動台実験) / 青木あすなろ建設 [正] 波田 雅也・木村 浩之・和田 新
- I-584 各個撃破を回避する摩擦サイドブロックの開発(その2:振動台実験結果) / 青木あすなろ建設 [正] 木村 浩之・波田 雅也・和田 新
- I-585 鉛プラグ入り積層ゴム支承(LRB)の地震時応答増大要因に着目した耐震性能評価について / アーク情報システム [正] 内藤 伸幸・松田 泰治・宇野 裕恵
- I-586 免震ゴム支承と鋼製橋脚の2方向非線形相互作用を考慮した橋梁の地震応答特性 / 埼玉大学 [学] 新井 大輔・党 紀
- I-587 2方向に制震デバイスを設置した場合の制震効果の確認 / 首都高速道路 [正] 和田 新・滝本 和志・波田 雅也
- I-588 磁石式多層すべり免震支承の水平反力特性 / 崇城大学 [正] 片山 拓朗・片山 花
- I-589 静的水平荷重試験による球面すべり支承の荷重—変位関係 / セントラルコンサルタント [学] 菊地 真紀・藤倉 修一・グエンミン ハイ
- I-590 反重力すべり支承の解析モデルにおける減衰評価 / JIPテクノサイエンス [正] 戸田 圭彦・宇野 裕恵・五十嵐 晃

■ダンパー (1) / 免震構造・デバイス(3) / 10:40~12:00 / 葛 漢彬

(名城大学)

- I-591 スライド部を有する座屈拘束ダンパーを上下部構造間に設置した橋梁の制震効果に関する動的解析 / JFEシビル [正] 萩原 健一・塩田 啓介・内藤 仁志
- I-592 疲労試験およびFEM解析によるU型鋼製ペローズの疲労強度について / 摂南大学 [正] 田中 賢太郎・頭井 洋・松村 政秀

- I-593 アンボンドプレースを用いたロッキング橋脚を有する橋梁の耐震性能向上に関する一提案／ニューブリッジ [正] 加藤 修・野呂 直以
- I-594 制震装置による複数鋼桁橋の制震効果に関する検討／摂南大学 [学] 内山 昌哉・田中 賢太郎・頭井 洋
- I-595 制震デバイスによる送電鉄塔の耐震性向上に関する基礎的研究／熊本大学 [学] 松本 将之・會田 和摩・松田 泰治
- I-596 極軟鋼せん断パネルの等方硬化による機能分散型免制震橋の地震応答の影響／埼玉大学 [正] 党 紀・Bidaha Joshi・石山 昌幸
- I-597 危機耐性と経年変化を考慮した機能分散型免制震システムの性能確認／日本鑄造 [正] 石山 昌幸・山崎 信宏・党 紀
- I-598 地震リスクを用いた機能分散型免制震橋の危機耐性評価／埼玉大学 [学] 秋池 佑香・党 紀・山崎 信宏
- ダンパー (2) / 15:20~16:40 / 室野 剛隆 (鉄道総合技術研究所)
- I-599 座屈拘束波形鋼板 (BRP) 制震ダンパーの許容低サイクル疲労損傷度／オリエンタルコンサルタンツ [正] 山田 聡徳・宇佐美 勉・葛 漢彬
- I-600 大ストローク化した大型粘性ダンパーの動的性能試験／川金コアテック [正] 高井 博之・新名 裕
- I-601 せん断型座屈拘束プレースの開発に関する実験的研究／名城大学 [学] 近藤 加奈・深田 桃子・榊原 賢治
- I-602 有孔座屈拘束プレース (PBRB) の開発に関する実験的研究／名城大学 [学] 辛 ヨウ超・賈 良玖・吉川 裕康
- I-603 CYCLIC LOADING TEST OF U-SHAPED STEEL BELLOW DAMPERS AS ENERGY ABSORBERS FOR BRIDGES／京都大学 [正] 松村 政秀・ARAFAT AHMED・田中 賢太郎
- I-604 非対称摩擦型ダンパーの基本性能／大林組 [正] 佃 有射・武田 篤史
- I-605 非対称摩擦型ダンパーの地震時減衰力容量／大林組 [正] 武田 篤史・佃 有射
- I-606 せん断パネル溶接部に対する低サイクル疲労き裂発生寿命の簡易照査法／名古屋大学 [正] 清水 優・館石 和雄・判治 剛
- I-10 (センター1号館1408教室) / 9月11日(月)
- 継手 (1) / 9:00~10:20 / 南 邦明 (鉄道建設・運輸施設整備支援機構)
- I-607 高力ボルト摩擦接合継手のすべり耐力向上に関する実験的研究／琉球大学 [学] 澤田 知幸・下里 哲弘・有住 康則
- I-608 既設耐震性鋼橋梁に用いる高力ボルト摩擦接合継手のすべり耐力／東日本旅客鉄道 [正] 網谷 岳夫・森 猛・小林 裕介
- I-609 無機ジンクリッチペイント面と接着剤の接着性能に関する検討／阪神高速道路 [正] 丹波 寛夫・堀井 久一・山口 隆司
- I-610 腐食鋼材粗面と無機ジンクリッチペイント塗装を施した高力ボルト摩擦接合部のすべり係数／西日本旅客鉄道 [正] 坂田 鷹起・木村 元哉・戸田 健介
- I-611 改良した錆促進剤の高力ボルト摩擦接合継手への適用に関する検討—曝露試験／駒井ハルテック [正] 吉岡 夏樹・本多 克行・山口 隆司
- I-612 改良した錆促進剤の高力ボルト摩擦接合継手接合面への適用に関する検討—すべり試験／大阪市立大学 [学] 本多 克行・山口 隆司・中村 定明
- I-613 改良した錆促進剤の高力ボルト摩擦接合継手接合面への適用に関する検討—断面観察／駒井ハルテック [正] 橋 肇・本多 克行・山口 隆司
- 継手 (2) / 10:40~12:00 / 鈴木 康夫 (京都大学)
- I-614 繰り返し荷重が与えられた高力ボルト摩擦接合継手におけるボルト軸力に関する実験的検討／神戸大学 [学] 二宮 僚・橋本 国太郎
- I-615 亜鉛アルミ合金溶射を施した高力ボルト摩擦接合継手の導入軸力試験／鉄道・運輸機構 [正] 南 邦明・横山 秀喜・徳富 恭彦
- I-616 ボルト間隔および緑端距離が小さい高力ボルト摩擦接合継手の静的引張試験／横河ブリッジ [正] 清川 昇悟・館石 和雄・判治 剛
- I-617 ボルト配置間隔と板厚が高力ボルト摩擦接合継手のすべり後耐力に与える影響／大阪市立大学 [学] 森山 仁志・杉山 裕樹・山口 隆司
- I-618 一部に支圧ボルトを用いた多列高力ボルト摩擦接合継手のすべり挙動／石川工業高等専門学校 [正] 高井 俊和・森山 仁志・山口 隆司
- I-619 高力ボルト摩擦接合へのボルト孔樹脂充填による支圧効果／関西大学 [学] 八重垣 諒太・石川 敏之・木田 秀人
- I-620 接合面に接着剤を塗布した高力ボルト摩擦接合継手のすべり挙動に関する基礎的研究／大阪市立大学 [学] 藤田 翔吾・山口 隆司・丹波 寛夫
- 継手 (3) / 15:20~16:40 / 田畑 晶子 (阪神高速道路)
- I-621 リベット接合を用いた鉄道用鋼橋の特性に関する研究／前橋工科大学 [学] 上原 可夢居・谷口 望・後藤 貴士
- I-622 腐食耐久性を向上した新形高力ナットの開発に関する基礎的研究／大阪市立大学 [学] 郎 宇・森山 仁志・山口 隆司
- I-623 高強度ねじ付きスタッドの軸力導入に関する基礎的検討／大阪市立大学 [学] 奥原 大貴・山口 隆司・吉田 賢二
- I-624 高力スタッドボルトを用いた一面摩擦接合の当て板補修に関する実験的研究／大阪市立大学 [学] 山本 佑大・山口 隆司・彭 雪
- I-625 腐食環境下における高力ボルトの健全度判定方法に関する一考察／西日本旅客鉄道 [正] 和田 直樹・坂田 鷹起
- I-626 既設鋼桁下フランジ継手部のバイパス部材を用いた取替え工法に関する検討／大阪市立大学 [学] 戸田 健介・山口 隆司・田畑 晶子
- I-627 樹脂の透明度定量方法に関する検討／IHI [正] 岩本 達志・秋山 好広・吉田 利樹
- I-628 端支部における下フランジの取替について／日本橋梁 [正] 川村 弘昌・谷口 祐治・鯨島 力
- 接合・溶接 / 17:00~18:20 / 廣畑 幹人 (名古屋大学)
- I-629 荷重伝達型十字すみ肉溶接継手の静的強度／日本橋梁建設協会 [正] 田村 修一・森 猛・村上 貴紀
- I-630 部分溶け込み溶接継手の静的および衝撃引張強度／ショールド建設 [正] 竹村 学・木田 秀人・金 裕哲
- I-631 溶接組立てしたSUS323L製部材断面の残留応力分布／長岡工業高等専門学校 [正] 宮崎 靖大
- I-632 低温時における橋梁用高降伏点鋼 (SBHS) 溶接部のシャルピエ衝撃試験／鉄道・運輸機構 [正] 横山 秀喜・南 邦明・藤原 良憲
- I-633 接着接合した薄肉鋼管の圧縮強度に関する実験的研究／長岡技術科学大学 [学] 後藤 裕司・宮下 剛・磯部 公一
- I-634 簡易な鋼管突込接合構造の基本特性確認試験／新日鐵住金 [正] 富永 知徳・横関 耕一・寺田 好男
- I-635 コンクリート充填鋼管柱とRCスラブのソケット接合に関する耐荷力試験について／東日本旅客鉄道 [正] 加藤 格・田附 伸一
- I-636 明石海峡大橋ハンガーロープ定着部開放調査／本州四国連絡高速道路 [正] 麓 興一郎・信重 和紀・提 仁志
- I-10 (センター1号館1408教室) / 9月12日(火)
- 耐震設計法 (1) / 9:00~10:20 / 篠原 聖二 (阪神高速道路)
- I-637 加速度軌跡の異なるスペクトル適合波の2方向非線形応答スペクトル／大成建設 [正] 井上 和真・渡辺 和明・五十嵐 晃
- I-638 控え直杭式岸壁のレベル1地震動に対する性能照査時の骨組みモデル化について／パシフィックコンサルタンツ [正] 宮下 健一郎・長尾 毅
- I-639 地震リスクと復旧日数を目的関数とした既存RC橋梁システムの最適補強設計に関する基礎的研究／早稲田大学 [学] 須田 郁慧・熊崎 達郎・秋山 充良
- I-640 地震時における構造物の倒壊方向抑制方法に関する解析的評価／埼玉大学 [学] 劉 宗牧・齊藤 正人・室野 剛隆
- I-641 径厚比の違いを考慮した鋼管杭のM-φ関係について(その2.事例検討)／鋼管杭・鋼矢板技術協会 [正] 塩崎 禎郎・大矢 陽介・小濱 英司
- I-642 径厚比の違いを考慮した鋼管杭のM-φ関係について(その1:M-φモデル算定法の提案)／港湾空港技術研究所 [正] 大矢 陽介・塩崎 禎郎・小濱 英司
- I-643 既製RC杭を用いた既設杭基礎の地震時限界状態の評価手法に関する一検討／土木研究所 [正] 鬼木 浩二・岡田 太賀雄・大住 道生
- I-644 ケーブル式落橋防止構造の最適設計に関する一考察／横河ブリッジホールディングス [正] 結城 洋一・玉井 宏樹・路 馳
- 耐震設計法 (2) / 10:40~12:00 / 長尾 毅 (神戸大学)
- I-645 危機耐性に優れた倒壊方向制御構造の振動台実験／鉄道総合技術研究所 [正] 豊岡 亮洋・室野 剛隆・實地 雄大
- I-646 ラーメン高架橋における倒壊方向制御機構の有効性に関する基礎的検討／鉄道総合技術研究所 [正] 小野寺 周・日野 篤志・室野 剛隆
- I-647 胸壁模型の最大加速度推定に関する応答スペクトル法の適

- 用性の実験的検討／東亜建設工業 [正] 府川 裕史・小濱英司
- I-648 鋼製橋脚基部の簡易な低サイクル疲労照査法と地震時の損傷度評価への適用／名古屋大学 [学] 本田 直也・館石 和雄・判治 剛
- I-649 高架橋の危機耐性を高める自重補償機構の地震時挙動に関する実験的検討／ジェイアール総研エンジニアリング [正] 西村 隆義・室野 剛隆・豊岡 亮洋
- I-650 角形CFT部材の地震時の変形性能の算定法／JR東日本 [正] 青木 千里・網谷 岳夫・井上 佳樹
- I-651 細長比パラメータの大きい鋼部材に対するひずみ照査法の適用性／早稲田大学 [学] 竹沢 洋輝・小野 潔・岡田 誠司

I-10 (センター1号館1408教室) / 9月13日(水)

■盛土の耐震 / 9:00~10:20 / 小野 祐輔 (鳥取大学)

- I-652 神戸淡路鳴門自動車道の高盛土の常時・降雨時・地震時の作用に対する性能照査／本州四国連絡高速道路 [正] 角野 充・村上 博基・横井 芳輝
- I-653 柱列状地盤改良体を用いた液状化対策の解析的検討／鉄建建設 [正] 山内 真也・中村 宏・米川 裕幸
- I-654 急勾配化した補強盛土の解析的検討による地震時応答評価／鉄道総合技術研究所 [正] 鈴木 聡・井澤 淳・山崎 貴之
- I-655 粒子法による河川堤防盛土の地震時安全性に関する基礎的検討／阪神高速道路 [正] 平野 翔也・梶田 幸秀
- I-656 開口クラックの力学的挙動を考慮した盛土の動的破壊解析／京都大学 [学] 池田 貴昭・後藤 浩之・澤田 純男
- I-657 常時微動観測による鉄道盛土の等価1自由度モデル構築手法の妥当性確認／鉄道総合技術研究所 [正] 荒木 豪・坂井 公俊・小島 謙一
- I-658 レベル2地震に対する盛土の変形性能照査基準に関する事例報告／エイト日本技術開発 [正] 片根 弘人・金 聲漢・黒田 修一
- I-659 高速道路盛土における微動観測と地震観測／芝浦工業大学 [学] 大塚 悠大・紺野 克昭・渡辺 陽太

■耐力・変形性能 / 10:40~12:00 / 山口 隆司 (大阪市立大学)

- I-660 細長比パラメータの大きい電鍍鋼管の耐力・変形性能に関する解析的研究／早稲田大学 [学] 川井 健吾・小野 潔・尾添 仁志

- I-661 1/5縮小模型試験体を用いた実大円形RC橋脚の再現性の検討／岐阜大学 [学] 山本 翔吾・木下 幸治
- I-662 SBHS500材による正方形断面鋼製柱の繰り返し載荷試験のFE解析とその改善提案／瀧上工業 [正] 藤原 史・川西直樹・後藤 芳顕
- I-663 設計基準強度60N/mm²のコンクリートを用いたRC部材の正負交番載荷実験／阪神高速道路技術センター [正] 服部 匡洋・篠原 聖二・岡田 太賀雄
- I-664 材料強度の違いが構造物の振動特性に与える影響の感度分析／パシフィックコンサルタンツ [正] 今川 純一・日野 篤志・小野寺 周
- I-665 地震時の箱断面鋼製橋脚隅角部における脆性破壊移行確率に関するパラメトリックスタディ／東京工業大学 [正] 田村 洋・佐々木 栄一
- I-666 軸方向鉄筋の内側に円形帯鉄筋を配置した壁式橋脚における耐力評価／東日本旅客鉄道 [正] 杉田 清隆・柴嶋 大輔
- I-667 CFT柱の繰り返し履歴特性を考慮した汎用的な3次元セグメントモデルの提案／豊田工業高等専門学校 [正] 川西直樹・後藤 芳顕

■耐震実験 / 15:20~16:40 / 田辺 篤史 (日建設シビル)

- I-668 2016年熊本地震の観測波を用いた橋台衝突実験／熊本高等専門学校 [正] 岩坪 要・別城 小百合・山岸 千夏
- I-669 遠心模型振動実験による高圧ガス設備の動的相互作用に関する検討／高圧ガス保安協会 [F] 木全 宏之・小山田 賢治・佐野 孝
- I-670 石橋模型振動実験による壁石崩壊メカニズムの検討／大成建設 [正] 堀田 昂良・山尾 敏孝・高野 敬太
- I-671 既設構造を活用した制振ダンパーによる耐震改良橋の基礎的変形特性の実験的検討／海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 [正] 近藤 明彦・小濱 英司・遠藤 敏雄
- I-672 制震化した鋼製ラーメン橋脚のダイヤフラム補強に関する解析的検討／名城大学 [学] 浅井 駿弥・渡辺 孝一
- I-673 鋼上部構造縮小試験体による強度・変形能の再現性の検討／岐阜大学 [学] 岩田 隆弘・井上 一磨・木下 幸治
- I-674 インターロッキングブロックの形状が組積造壁の荷重—変位関係に及ぼす影響に関する研究／大林組 [学] 増田 景也・古川 愛子・清野 純史
- I-675 耐震集合柱の振動台実験に基づいた数値解析モデルの研究／法政大学 [学] 栗原 柊介・酒井 久和・澤田 純男

第II部門

水理学、水文学、河川工学、水資源工学、港湾工学、海岸工学、海洋工学、環境水理など

II-1 (総合学習プラザ第13講義室) / 9月11日(月)

■水災害・防災(1) / 9:00~10:20 / 山本 隆広

(長岡工業高等専門学校)

- II-001 クラウドコンピューティングによる浸水解析の高速化／日立製作所 [正] 山口 悟史・楠田 尚史
- II-002 CommonMP用NILIM平面二次元氾濫モデル(一体型)の公開／国土技術政策総合研究所 [正] 小沢 嘉奈子・川崎 将生・多田 智和
- II-003 河川管理実務におけるCommonMPを用いたリアルタイム洪水・氾濫計算／河川情報センター [正] 柿澤 一弘・田所 正・三平 良雄
- II-004 洪水氾濫シミュレーションによる岩手県岩泉町乙茂地区における2016年台風10号の洪水氾濫状況の把握／東京理科大学 [学] 守屋 博貴・二瓶 泰雄・片岡 智哉
- II-005 浸水被害対策の早期発現に向けた新たな取組とその検証／セントラルコンサルタント [正] 兼松 祐志・川添 昌紀
- II-006 家屋の存在が氾濫流の挙動と土砂堆積に及ぼす影響／前橋工科大学 [学] 陳 翔・平川 隆一・沼口 慎太郎
- II-007 降雨流出氾濫モデルを用いた主要連絡道路の交通途絶評価について／土木研究所 [正] 栗林 大輔・近者 敦彦・澤野 久弥

■水災害・防災(2) / 10:40~12:00 / 小森 大輔 (東北大学)

- II-008 堤防脆弱性指標を用いた堤防浸透破壊危険性評価に関する研究／中央大学 [正] 田端 幸輔・福岡 捷二
- II-009 2016年熊本地震・6月20日豪雨からなる複合災害の発生状況調査／東京理科大学 [学] 桜庭 拓也・二瓶 泰雄・倉上 由貴

- II-010 三次元浸透実験に基づく河川堤防の耐浸透性に関する線構造物全体の評価／東京理科大学 [学] 町田 陽子・二瓶 泰雄・倉上 由貴
- II-011 平成27年9月鬼怒川大洪水時における堤体浸透被害と透水性基盤を考慮した堤防脆弱性指標t*mとの関係／中央大学 [学] 上村 勇太・福岡 捷二・田端 幸輔
- II-012 破堤開口部の荒締切方法の違いが氾濫流量低減に与える影響に関する模型実験／土木研究所 寒地土木研究所 [正] 島田 友典・渡邊 康玄・岡部 博一
- II-013 2016年8月北海道豪雨での破堤災害を踏まえた支川背水区間破堤に関する一考察／北海道河川財団 [正] 山本 太郎・千葉 学・吉田 隆年
- II-014 堤防天端への簡易補強による耐越水性向上効果の検討／東京理科大学 [学] 篠原 麻太郎・倉上 由貴・二瓶 泰雄

■水災害・防災(3) / 15:20~16:40 / 鷲見 哲也 (大同大学)

- II-015 内水氾濫頻発区域の地理的・人為的分布特性／東北大学 [学] 中口 幸太・小森 大輔・風間 聡
- II-016 荒川支川群に囲まれた川島町の内水氾濫の有無による氾濫特性の変化／埼玉大学 [正] 赤崎 佑太・田中 規夫
- II-017 都市中小河川における機動的防水工法の提案／パシフィックコンサルタンツ [正] 松田 如水・平川了治・石原 正義
- II-018 超過洪水時の氾濫リスクバランスを見据えた放水路分派部形状について／パシフィックコンサルタンツ [正] 島田 立季・桑原 正人・竹林 洋史
- II-019 和歌山県新宮川流域における気候変動を考慮した浸水・土砂被害影響評価／神戸大学 [学] 西岡 誠悟・小林 健一郎・奥 勇一郎
- II-020 水害リスクカーブに基づく京都市周辺域における宅地かさ

- II-021 上げの浸水被害軽減効果の分析／京都大学 [正] 田中 智大・市川 温・萬 和明
中小河川の出水特性を踏まえた住民避難に着目したタイムラインの検討／建設コンサルタンツ [正] 住谷 喜信・原田 大輔・松田 和人

■流出／17:00～18:20／野原 大督(京都大学)

- II-022 遅れ現象へのむだ時間の導入効果に関する研究／北海学園大学 [学] 井上 進・嵯峨 浩
II-023 2016年8月の常呂川連続洪水における機械学習手法を用いた水位予測の研究／室蘭工業大学 [学] 岡崎 亮太・中津川 誠・小林 洋介
II-024 確率降雨量と確率洪水流量の関係／東北大学 [学] 菅原 雄太・風間 聡・峠 嘉哉
II-025 米代川における積雪深計設置による融雪出水予測の精度向上／三井共同建設コンサルタント [正] 黒澤 祥一・福島 健一郎・風間 聡
II-026 渋海川流域を対象とした洪水流量の推定／長岡工業高等専門学校 [学] 保坂 大輝・星野 大雅・須田 玲
II-027 鉛直浸透機構を考慮した降雨流出モデルのロバスト性に関する基礎的研究／中央大学 [学] 諸岡 良優・山田 正
II-028 貯留関数式のパラメータ特性に関する4つのダム流域における考察／明星大学 [正] 藤村 和正・井芹 慶彦・岡田 将治

II-1 (総合学習プラザ第13講義室) / 9月12日(火)

■河川計画・管理(1) / 9:00～10:20 / 峠 嘉哉(東北大学)

- II-029 五島列島福江島における「丸畑」の構造／九州大学 [学] 井上 晃輔・清野 聡子・坂本 峻
II-030 歴史洪水を想定した万力林の水防機能に関する水理学的検証／法政大学 [学] 小川 陽・道奥 康治・北條 幸雄
II-031 分散型水管理を通じた、あまみず社会の実現に向けた取り組み／九州大学 [F] 鳥谷 幸宏・山下 三平・渡辺 亮一
II-032 茅沼地区旧川蛇行復元事業に伴う河川水位と地下水位の変化について／室蘭工業大学 [学] 坂本 久宣・中津川 誠・佐々木 瑞乃
II-033 インドネシア国ソロ川流域における渇水リスクの試算／土木研究所 [正] 海野 仁・GUSYEV Maksym・千田 容嗣
II-034 タイ国チャオプラヤ川流域における渇水リスクの試算／土木研究所 [正] 千田 容嗣
II-035 気候変動がメコン川流域(東北タイ)の渇水リスクに及ぼす影響評価／土木研究所 [正] 菊森 佳幹・徳永 良雄・千田 容嗣
II-036 都市流域内人口密度を用いたイスラエルの都市における水ストレス度の算定／香川大学 [学] 北村 友敬・石塚 正秀・紀伊 雅敦

■河川計画・管理(2) / 10:40～12:00 / 田代 喬(名古屋大学)

- II-037 想定最大規模の雨量波形設定手法の過大評価について／大同大学 [正] 鷺見 哲也
II-038 確率限界法検定に基づく極値水文学の統計的予測に関する研究／中央大学 [学] 清水 啓太・山田 正
II-039 時空間スケールと分布を考慮した洪水リスク評価モデル降雨の作成／京都大学 [学] 園田 慶祐・堀 智晴・野原 大督
II-040 山地河川における洪水観測水面形に基づく流量ハイドログラフの算定精度について／中央大学 [学] 大野 純暉・高瀬 貞雄・福岡 捷二
II-041 ダム流入量予測技術の一つの考え方／八千代エンジニアリング [正] 天方 匡純・渡邊 優
II-042 アンサンブル水文予測情報のダム予備放流操作への利用性分析手法の検討／京都大学 [学] 齋藤 宏樹・野原 大督・堀 智晴
II-043 流水型ダム群を用いたカスケード型洪水制御方式の嘉瀬川への適用／佐賀大学 [正] 押川 英夫・小柳 志朗・大串 浩一郎

II-1 (総合学習プラザ第13講義室) / 9月13日(水)

■都市の水災害 / 10:40～12:00 / 押川 英夫(佐賀大学)

- II-044 都市域における降雨の空間分布が流量・水位に与える影響について／中央大学 [学] 小山 直紀・諸岡 良優・高倉 望
II-045 小山市大行寺・立木地区における浸水対策の氾濫水理解析／宇都宮大学 [学] 林天揚・池田 裕一・飯村 耕介
II-046 東京都23区を対象とした都市浸水の再現計算とその精度検証／早稲田大学 [学] 中森 奈波・関根 正人・児玉 香織
II-047 荒川と江戸川にはさまれた東京東部低平地の豪雨時浸水リ

- スクの評価／早稲田大学 [学] 小方 公美子・関根 正人・柴田 祐希
II-048 氾濫解析における堤内地の街区構造モデル化に際しての一考察:東海豪雨時の新川破堤に伴う都市域への浸水過程を対象として／名古屋大学 [正] 田代 喬・八木 健太郎・戸田 祐嗣

- II-049 荒川堤防決壊に伴う大規模浸水と地下鉄トンネル内の浸水の拡大プロセス／早稲田大学 [学] 児玉 香織・関根 正人・小林 香野
II-050 輪島市輪島地区における津波浸水による下水道ネットワーク被害想定に関する一考察／関西大学 [学] 大谷 卓・安田 誠宏・岡部 良治

■大気・水象 / 15:20～16:40 / 瀬戸 心太(長崎大学)

- II-051 WBGTの移動観測に基づく東京都市街地の暑熱環境特性／千葉工業大学 [学] 河野 恭佑・植田 弥月・小田 僚子
II-052 都市大気境界層における非定常な無次元速度分布の特性／千葉工業大学 [学] 白井 健・小田 僚子・稲垣 厚至
II-053 都市気象LESモデルを用いたゲリラ豪雨の渦管生成メカニズムの解析／京都大学 [学] 土橋 知紘・山口 弘誠・中北 英一
II-054 ひまわり8号及びKaバンドレーダー観測を想定した雲情報のデータ同化によるゲリラ豪雨予測実験／京都大学 [学] 上嶋 一樹・山口 弘誠・中北 英一
II-055 雲レーダーを利用した積乱雲発生初期の構造に関する研究／京都大学 [学] 新保 友啓・中北 英一・佐藤 悠人
II-056 フェーズドアレイ気象レーダーの反射強度を用いた局地的豪雨の降水量予測に関する検討／パシフィックコンサルタンツ [正] 松田 浩一・橋本 健・佐藤 浩一
II-057 疑似温暖化手法を用いた降水システムに対する都市化や地球温暖化の影響に関する研究／法政大学 [正] 鈴木 善晴・岡崎 智也・小山 隼平
II-058 年輪酸素同位体比の年層内データにみる江戸時代天保期の気候環境／名古屋工業大学 [学] 濱田 育実・庄 建治朗・佐野 雅規

II-2 (総合学習プラザ第14講義室) / 9月11日(月)

■河川環境構造物 / 9:00～10:20 / 鬼束 幸樹(九州工業大学)

- II-059 石組み台形断面バイパス水路の流速場に関する実験的検討／日本大学 [正] 中嶋 和成・安田 陽一
II-060 階段状水路におけるのnonaerated skimming flowの流速特性の実験的検討／日本大学 [学] 藏重 敬輔・高橋 正行
II-061 落差部に設置する粗石斜路における流速場についての実験的検討／日本大学 [学] 平岡 大貴・安田 陽一
II-062 礫が堆積した階段式魚道内の流れとウグイの遡上および滞留行動について／東洋大学 [学] 齋藤 圭汰・青木 宗之・坂間 睦美
II-063 底生魚を対象とした魚道簡易改善法の検討／土木研究所 [正] 村岡 敬子・萱場 祐一
II-064 粗度高さを変化させた横断勾配のある粗石魚道の流れについて／東洋大学 [正] 青木 宗之・吉田 翔平・齋藤 圭汰
II-065 水生生物の降環境を考慮したStone bumpを利用した流況改善／日本大学 [学] 篠崎 遼太・安田 陽一
II-066 洪水時の賀茂川床固工に設置する石組み簡易魚道の安定性／日本大学 [正] 安田 陽一

■河川生態系 / 10:40～12:00 / 溝口 裕太(埼玉大学)

- II-067 浅水型ワンドの河川生態学的機能／河川財団近畿事務所 [正] 中西 史尚・綾 史郎・河合 典彦
II-068 四万十川におけるアユの産卵に適した環境場の抽出／高知工業高等専門学校 [学] 松岡 直明・岡田 将治
II-069 環境DNA多種同時検出法(メタバーコーディング)による淡水域の魚類相調査 一野洲川河口部ヨシ帯における調査事例一／パシフィックコンサルタンツ [正] 渡部 健・帰山 淳・小島 勇人
II-070 希少生物調査における環境DNA手法の有効性の再確認一環境DNAを用いたゼニタナゴ新規繁殖地の発見一／パシフィックコンサルタンツ [正] 真木 伸隆・坂田 雅之・杉山 秀樹
II-071 佐波川および高津川における環境DNAを用いたアユの降下状況モニタリング／山口大学 [正] 乾 隆帝・河野 誉仁・赤松 良久
II-072 環境DNA分析によるイタセンパラのモニタリング調査手法の検討／パシフィックコンサルタンツ [正] 上月 佐葉子・山本 義彦・源 利文

■河川環境／15:20～16:40／村岡 敬子(土木研究所)

- II-073 2016年熊本地震による白川土砂流出量への影響／山口大学 [正] 山本 浩一・赤松 良久・乾 隆帝
- II-074 熊本地震に起因して流出した土砂による白川河口干潟への影響／九州大学 [学] 服部 敬太郎・田井 明・小森田 智大
- II-075 国内河川におけるマイクロプラスチックの数密度分布特性／東京理科大学 [学] 工藤 功貴・片岡 智哉・二瓶 泰雄
- II-076 消波ブロックで囲まれた河口干潟における川ゴミの現地観測と収支解析／東京理科大学 [正] 片岡 智哉・馬場 大樹・二瓶 泰雄
- II-077 鳴子ダムにおける河川水辺の国勢調査からみた魚類相の特徴と外来魚生息の可能性／復建技術コンサルタント [正] 山本 和司・佐藤 高広・鷺田 なぎさ
- II-078 流れを利用した蛇かごの環境創出機構維持のための基礎実験／日本大学 [学] 館山 雅史・武村 武・小田 晃
- II-079 阿妻川における多自然川づくり実施後の追跡調査結果について／大日本コンサルタント [正] 中村 創・竹林 洋史・橋本 健一

■水環境の評価・モデリング／17:00～18:20／梅田 信(東北大学)

- II-080 渡良瀬川の流速の数値計算と自浄作用推定のためのモデル化／足利工業大学 [学] 李 佳洲・上岡 充男・長尾 昌朋
- II-081 佐波川における水温予測モデルの開発／山口大学 [学] 河野 誉仁・赤松 良久・乾 隆帝
- II-082 水温成層微細構造の評価における複数水温プロファイルの比較／埼玉大学 [正] 古里 栄一・鮎川 和泰・原田 守啓
- II-083 ダム湖水におけるカビ臭物質ジェオスミンおよび2-MIBの発生状況とその要因／呉工業高等専門学校 [学] 牛尾 幸航・黒川 岳司・垣内 美月
- II-084 手賀沼におけるアオコの長期変動に関する研究／中央大学 [学] 柿沼 太貴・山田 正
- II-085 木曾川水系津屋川のハリヨ生息地保全を目的とした湧水機構の推定／大同大学 [学] 吉川 慎平・鷺見 哲也
- II-086 砂床および礫床河道を対象とした生態系代謝構造の推定／埼玉大学 [正] 溝口 裕太・戸田 祐嗣

II-2 (総合学習プラザ第14講義室)／9月12日(火)

■水理構造物(1)／9:00～10:20／内田 龍彦(広島大学)

- II-087 三角状水面波列がブロック安定性に与える影響に関する実験／土木研究所 寒地土木研究所 [正] 岩崎 樹樹・井上 卓也・矢部 浩規
- II-088 円柱群を有する単断面開水路での流れの再現と抗力係数の検討／東洋大学 [学] 坂間 睦美・青木 宗之
- II-089 急流河川水衝部の三次元流れ構造と石礫河床に作用する流体力／建設技術研究所 [正] 加藤 翔吾・福岡 捷二
- II-090 階段状水路におけるステップ水平部の粗度設置の影響について／日本大学 [学] 田中 直哉・高橋 正行
- II-091 直角水制周辺の河床変動に及ぼす水制高の影響／前橋工科大学 [学] 飯岡 千晶・平川 隆一・福田 介
- II-092 運動量の定理に基づくスルースゲートの水理検討／松江工業高等専門学校 [正] 荒尾 慎司・羽田野 袈裟義・李 洪源

■水理構造物(2)／10:40～12:00／重枝 未玲(九州工業大学)

- II-093 玉川上水における通水能力の評価に関する基礎的研究／中央大学 [学] 山田 真衣・柿沼 太貴・山田 正
- II-094 矩形堰と台形堰における水面形に関する実験的検討／日本大学 [学] 島崎 竜一・安田 陽一
- II-095 開口部を有する上向越流堰の直下流における乱流特性について／熊本大学 [学] 宇根 拓孝・大本 照憲・安達 幹治
- II-096 広頂堰の越流水深と流量の評価方法に関する研究／建設技術研究所 [正] 多田 羅 謙治・羽田野 袈裟義・杉村 貴志
- II-097 荒瀬ダムを想定した開口部を有する堰が河床変動および流れに与える影響／熊本大学 [学] 安達 幹治・大本 照憲・宇根 拓孝
- II-098 Ogee堰の潜り越流時の堰上流水位の見積もり／群馬工業高等専門学校 [正] 永野 博之・羽田野 袈裟義・杉村 貴志
- II-099 射流中の横越流の排出機能に対するフラップ板設置の影響／日本大学 [学] 細川 康司・安田 陽一

II-2 (総合学習プラザ第14講義室)／9月13日(水)

■土砂生産・ダム管理／9:00～10:20／竹林 洋史(京都大学)

- II-100 古文書編纂資料に基づく福岡県耳納山地域の土石流災害の抽出／九州大学 [正] 西山 浩司・広城 吉成・脇水 健次
- II-101 火山地帯を想定した軽量骨材を用いた土石流実験／日本大学 [学] 山田 翔太・小田 晃

- II-102 A New Method for Safety Analysis of Vegetated Hillslopes under Different Rainfall／京都大学 [正] ウ インシン・中北 英一
- II-103 プレート型センサの高速流中を流下する礫の計測特性／土木研究所 [正] 櫻井 寿之・中西 哲・石神 孝之
- II-104 河床材料の影響を踏まえた減少係数モデルの実河川への適用について／土木研究所 [正] 本山 健士・中西 哲・石神 孝之
- II-105 宇奈月ダム排砂時の貯水池非定常準二次元解析法による河床変動の検討／建設技術研究所 [正] 岩谷 直貴・福岡 捷二・藤田 士郎
- II-106 土砂バイパスの土砂供給における下流河道の土砂動態に関する基礎的検討／土木研究所 [正] 宮脇 千晴・中西 哲・石神 孝之

■堤防／10:40～12:00／森 啓年(山口大学)

- II-107 堤防の土質構造の違いが決壊プロセスに及ぼす影響／早稲田大学 [学] 佐藤 耕介・関根 正人・堀江 翼
- II-108 地震・洪水複合災害実験水路に基づく浸潤面が加振時の堤体変形に及ぼす影響／東京工業大学 [学] 入江 美月・倉上 由貴・二瓶 泰雄
- II-109 越流堤天端形状の改良による越流効率向上に関する考察／パシフィックコンサルタンツ [正] 市山 誠・石原 正義・片山 直哉
- II-110 堤防裏のり面下部のシート補強工法による耐越水性の検討／東京理科大学 [正] 二瓶 泰雄・篠原 麻太郎・倉上 由貴
- II-111 河川堤防に用いる透気防水シートの防水・透気効果の持続性について／太陽工業 [正] 川岸 靖・伊東 侑毅・佐藤 拓也
- II-112 千歳川堤防植生試験地において確認された草種の堤防植生としての適性検討／土木研究所 寒地土木研究所 [正] 谷瀬 敦・杉原 幸樹・新目 竜一
- II-113 河川堤防に発生するモグラ穴の発生要因分析／パシフィックコンサルタンツ [正] 薄井 隆義・郷家 康弘・佐藤 純

II-3 (総合学習プラザ第15講義室)／9月11日(月)

■樹林・流木／9:00～10:20／大石 哲也(土木研究所)

- II-114 白川流域における熊本地震による流木災害リスクへの影響の評価／九州大学 [学] 竹村 大・矢野 真一郎・笠間 清伸
- II-115 音更川出水時における河道樹木の流失・堆積について／北開水工コンサルタント [正] 村中 寿孝・佐々木 香織・岡部 和憲
- II-116 山国川流域における砂防ダムの流木災害リスク低減効果の検討／九州大学 [学] 富田 浩平・矢野 真一郎・笠間 清伸
- II-117 部分透過型砂防堰堤の流木捕捉機構に関する基礎的研究／京都大学 [正] 原田 紹臣・中谷 加奈・里深 好文
- II-118 交互配置された樹林が流れの構造に及ぼす影響と抵抗特性に関する研究／法政大学 [学] 橋本 俊平・道興 康治
- II-119 急流河川における樹木群の水理的影響に関する検討／水工リサーチ [正] サムナー 圭希・柿沼 孝治・山口 昌志

■植生水理／10:40～12:00／岡本 隆明(京都大学)

- II-120 鬼怒川における河川植生の経年変化と流れの関係／芝浦工業大学 [学] 飯村 隼多・宮本 仁志・尾崎 将太郎
- II-121 赤川ハリエンジュ対策箇所でのモニタリング調査結果の一考察／パシフィックコンサルタンツ [正] 堀合 孝博・吉武 英気・片桐 真也
- II-122 植生を有する河道の側方侵食機構に関する水理実験—礫床河道の植生化した中州掘削水路を例として—／名古屋大学 [正] 尾花 まき子・村上 尚哉・戸田 祐嗣
- II-123 側岸の植生が流路変動に与える影響について／北海道大学 [正] 久加 朋子・山口 里実
- II-124 洪水時における礫床上への種子着床に関する検討／土木研究所 [正] 大石 哲也・大槻 順朗・宮本 仁志
- II-125 河道内の砂州形成と滞筋の固定化を再現する草本・樹林動態解析モデルの適用について／いであ [正] 板谷 越 朋樹・岡村 誠司・小澤 宏二
- II-126 鬼怒川下流部における植生動態モデルの適用／芝浦工業大学 [学] 片岡 健吾・宮本 仁志

■数値流体力学／15:20～16:40／吉田 圭介(岡山大学)

- II-127 報文:iRIC NaysCUBE による三次元性の流れの再現検証／ドーコン [正] 長谷川 覚也・堀岡 和晃・木村 一郎
- II-128 流体の第二粘性が密度ベース解法による圧縮性流体の数値解に及ぼす影響に関する研究／筑波大学 [学] 松浦 大志・高橋 悠太・山本 亨輔
- II-129 渦動粘性項を考慮した運動量方程式による跳水部の水面形

- の近似解/京都大学 [F] 細田 尚・テン トエトエ・カストロオルガス オスカ
- II-130 粒子フィルタの導入により横断方向の水位差を緩和した準2次元不定流解析法/新潟大学 [学] 須田 光千野・星野剛・安田 浩保
- II-131 間欠性浅水流サージのダム流下における流況変化に関する粒子法シミュレーションによる基礎的検討/名城大学 [学] 金原 政希・新井 宗之・村田 雄大
- II-132 一様等方乱流場における微小粒子の衝突特性に粒子比重が及ぼす影響/静岡大学 [正] 横嶋 哲・島田 佳昭
- II-133 湾曲水路を用いた流水挙動の三次元性に関する検討/北海道大学 [正] 木村 一郎・北園 和也
- II-134 流木群の曲げ変形を伴う橋脚堆積過程を説明する数値解析法の開発/阿南高専 [正] 長田 健吾・清水 義彦

■河川水理/17:00~18:20/横嶋 哲(静岡大学)

- II-135 跳水内部の空気混入率分布に関する検討/日本大学 [学] 内田 健太・高橋 正行・大津 岩夫
- II-136 屈折部が連続した開水路流れに関する実験的研究/北海道大学 [正] 田中 岳・渡辺 伸宙
- II-137 礫床緩勾配の台形断面水路における流速分布に対する側壁勾配の影響/日本大学 [学] 小林 泰士・安田 陽一
- II-138 アジョイント法を用いた縦断面形状時間変化の同化解析に対する制御変数の影響/東京建設コンサルタント [正] 松延 和彦・渡邊 明英・鈴木 裕三
- II-139 水位を与条件とした漸縮・漸拡矩形断面水路での流量・粗度係数の時空間推定/九州工業大学 [学] 西山 晋平・重枝 未玲・秋山 壽一郎
- II-140 スルースゲート下流側の射流の水面変動と乱流境界層の発達状態との関係/日本大学 [学] 佐藤 柳言・内田 健太・高橋 正行
- II-141 コンクリート個別要素法のサブパーティクルスケールの摩耗モデルを導入した高精度のEuler-Lagrangeシミュレーション/中央大学 [正] 福田 朝生・福岡 捷二

II-3 (総合学習プラザ第15講義室) /9月12日(火)

■河道管理(1) /9:00~10:20/山本 陽子(国土技術政策総合研究所)

- II-142 砂州掘削調査による河道断面の比高拡大プロセスの考察/北海道河川財団 [正] 千葉 学・山本 太郎・高橋 賢司
- II-143 出水後粒度分布変化と画像解析による河床材料調査/北開水工コンサルタント [正] 住友 裕明・木村 峰樹・菅野 秀則
- II-144 交互砂州の形成物理の直接計測に向けた動的光切断法の拡張/北海道大学 [正] 星野 剛・倉橋 将幸・安田 浩保
- II-145 五ヶ瀬川の適正分派及び河道の維持に関する検討/建設技術研究所 [正] 多田 裕治・志賀 三智・小野 富生
- II-146 低水路内の比高拡大・二極化の要因分析及対策の検討/ドーコン [正] 堀岡 和晃
- II-147 河道掘削前後における河床変動状況の分析と河道管理の留意点—米代川二ツ井地区の事例—/パシフィックコンサルタンツ [正] 吉武 央気・徐 冰潔・坂 憲浩

■河道管理(2) /10:40~12:00/音田 慎一郎(京都大学)

- II-148 音更川出水時における河道蛇行の急発達による河岸・堤防決壊について/北海道河川財団 [正] 岡部 和憲・新庄 興・清水 康行
- II-149 土砂流入量と河岸侵食に関する移動床実験/寒地土木研究所 [正] 井上 卓也・山口 里実
- II-150 河川狭窄部における局所的深掘れの形成過程に関する研究/名古屋工業大学 [学] 久野 由雅・富永 晃宏・原 悠二
- II-151 混合粒径条件下における高精度な流砂量式構築のための基礎的研究/岐阜大学 [学] 大橋 一弘・井上 公斗・原田 守啓
- II-152 導流工による河岸凹部の流れ構造の変化と土砂堆積制御/名古屋工業大学 [学] 齊藤 俊貴・富永 晃宏
- II-153 黒部川における石礫交互砂州河道の回復技術に関する研究—巨石付き盛土砂州設置による河道の回復効果の検証—/中央大学 [正] 後藤 岳久・福岡 捷二・桶川 勝功

II-3 (総合学習プラザ第15講義室) /9月13日(水)

■侵食・河床変動/9:00~10:20/溝口 敦子(名城大学)

- II-154 掃流砂礫の粒度分布の違いが粒径幅の大きな河床の鉛直構造に及ぼす影響/早稲田大学 [学] 中川 裕貴・関根 正人・平松 裕基
- II-155 混合砂礫河床における砂の移動限界と基盤構造の効果/立命館大学 [学] 玉木 光・山田 啓太郎・三輪 浩

- II-156 掃流砂の移動に伴い生じる粘土河床の浸食促進・抑制効果/早稲田大学 [学] 芦澤 穂波・関根 正人・池田 憲昭
- II-157 掃流砂の移動に伴う河道湾曲部の粘土河床の浸食現象/早稲田大学 [学] 佐藤 裕・関根 正人・芦澤 穂波
- II-158 側岸侵食によって側方から供給される土砂に着目した河道拡幅時の蛇行流路に関する実験/土木研究所 寒地土木研究所 [正] 山口 里実・岩崎 理樹・久加 朋子
- II-159 覆砂による礫床河川の土砂移動と流路変動への効果/舞鶴工業高等専門学校 [学] 山田 啓太郎・三輪 浩・横江 佳人
- II-160 熊本県荒瀬ダム撤去に伴う河床変動の数値解析を用いた検討/前橋工科大学 [学] 沼口 慎太郎・平川 隆一・大本 照憲

■水理計測法/10:40~12:00/椿 涼太(名古屋大学)

- II-161 開水路粗面乱流において発生する水面変動の移流・伝播特性に関する実験的検討/神戸大学 [学] 谷 昂二郎・藤田 一郎
- II-162 非接触型流速計による高水流量観測における風向風速観測法と水表面流速の風依存性に対する考察/パシフィックコンサルタンツ [正] 斐 希恵・山崎 裕介・吉田 俊康
- II-163 流速画像解析法(STIV)の汎用化・自動化のための流速異常値棄却法の提案/パシフィックコンサルタンツ [正] 柏田 仁・中西 徹真・二瓶 泰雄
- II-164 三次元時空間体積を用いた河川表面流解析手法のパラメータ検証/神戸大学 [学] 辻 一成・能登谷 祐一・藤田 一郎
- II-165 SfM-MVSによる橋脚周辺での河床変動の検討/愛知工業大学 [正] 赤堀 良介・青島 正和・中田 詞也
- II-166 河川・湖沼における自動採水ドローンの開発と実用性の検証/山口大学 [正] 赤松 良久・渡辺 豊・平坂 直行
- II-167 衛星画像を活用した出水前後の河道内被状況変化の分析/建設技術研究所 [正] 工藤 真・岩見 収二・水見 啓樹

II-4 (総合学習プラザ第16講義室) /9月11日(月)

■漂砂/9:00~10:20/伴野 雅之(港湾空港技術研究所)

- II-168 南東水道を含む周防灘北西海域の底質と浮遊土砂輸送特性について/いであ [正] 水野 博史・松永 康司・宮崎 啓司
- II-169 円形造波水槽を使用した沿岸漂砂の特性に関する実験的考察/名古屋大学 [F] 水谷 法美・安齋 渉・中村 友昭
- II-170 複数の侵食型波浪によって形成される海浜断面に関する実験的研究/金沢工業大学 [学] 伊豆 友貴・有田 守
- II-171 堆積型波浪によって形成されるカスパ地形の形成と消失に関する実験的研究/金沢工業大学 [学] 田之上 久倫・有田 守
- II-172 五島列島福江島三井楽町白良ヶ浜の地形変化と沿岸環境再生の提案/九州大学 [学] 坂本 峻・清野 聡子・井上 晃輔
- II-173 水俣湾におけるコアサンプリング結果に基づく底泥輸送シミュレーション/九州大学 [学] 松野下 晃平・Fathya Edistri・矢野 真一郎
- II-174 紀伊水道沿岸砂浜の表層砂の液状化特性に関する基礎的実験/神戸市立工業高等専門学校 [正] 宇野 宏司・柿木 哲哉
- II-175 碎波に伴い発生する渦による底質の移動についての実験的研究/日本大学 [学] 宮内 直哉・山崎 崇史・鷺見 浩一

■波浪/10:40~12:00/横田 雅紀(九州産業大学)

- II-176 上面排水付き上部フレアによる越波対策工法の提案/神戸製鋼所 [正] 荻野 啓・片岡 保人・神田 直美
- II-177 上部フレア護岸における前面消波ブロックの影響/神戸製鋼所 [正] 神田 直美・荻野 啓・田中 敦
- II-178 有孔八角型被覆ブロックの人工リーフにおける波浪安定性評価に関する一考察/日建工学 [正] 大熊 康平・松下 紘資・飯干 富広
- II-179 法先水深を考慮した傾斜護岸への波の打ち上げ高さに関する一検討/東北工業大学 [学] 菅原 命士・高橋 敏彦・相原 昭洋
- II-180 3次元数値流体力学ツールOpenFOAMによる波浪変形解析の妥当性に関する一検討/鹿島建設 [正] 鈴木 一輝・岩前 伸幸・福山 貴子
- II-181 島状防波堤の前背面の波高分布と作用波力に及ぼす堤体構造の影響について/三省水工 [正] 河村 裕之・中村 孝幸・浅田 潤一郎
- II-182 Kuバンドレーダーによる海面観測/気象工学研究所 [正] 高田 望・岡田 澄哉・牛尾 知雄
- II-183 伊勢湾における短波海洋レーダを用いた面的波浪計測と精度向上に向けた検討/東京理科大学 [学] 島崎 穂波・片岡 智哉・二瓶 泰雄

■津波波力・漂流物 / 15:20~16:40 / 関 克己 (中央大学)

- II-184 定常流実験における木材漂流物の投入方法の検討 / エコー [正] 小島 大典・岩田 善裕・奥田 泰雄
- II-185 陸上構造物に対する津波漂流物の影響に関する水理模型実験 / エコー [正] 長谷川 巖・岩田 善裕・奥田 泰雄
- II-186 地震・津波漂流物の複合災害が及ぼす構造物の損傷度に関する基礎的検討 / 大成建設 [正] 小尾 博俊
- II-187 斜め入射時の陸上構造物に働く津波波力に関する水理実験 / 大成建設 [正] 織田 幸伸・本田 隆英・小保 哲平
- II-188 沿岸域の浮体構造物に作用する津波荷重の基本特性に関する実験的検討 / 清水建設 [正] 長谷部 雅伸・竹内 真幸・吉田 郁夫
- II-189 エネルギー貯蔵タンク側面に作用する津波波圧に関する実験的研究 / 大阪大学 [正] 荒木 進歩・國松 航・北口 春陽
- II-190 2011年東北津波において転倒したRC建物に及ぼした周辺建物群の影響 / 京都大学 [学] 坂東 直樹・奥村 与志弘・米山 望

■津波・高潮 / 17:00~18:20 / 奥村 与志弘 (関西大学)

- II-191 宮崎県北部沿岸で想定される津波の来襲特性に関する検討 / 西日本技術開発 [正] 安永 文香・山下 直紀・土屋 悟
- II-192 エネルギー線法による遡上津波解析の東北地方太平洋沖地震津波データを用いた精度検証 / 防衛大学校 [学] 野中 小百合・多田 毅・宮田 喜壽
- II-193 防潮林の津波波力低減効果に関する水理実験 / 大成建設 [正] 小保 哲平・織田 幸伸・本田 隆英
- II-194 台風0918号の強度と高潮に対する擬似温暖化実験 / 岐阜大学 [学] 豊田 将也・吉野 純・小林 智尚
- II-195 確率台風モデルを用いた三河湾における高潮予測経験式の提案 / 関西大学 [学] 平井 翔太・安田 誠宏・岩原 克仁
- II-196 津波災害時における住民の避難行動開始の時空間分析 / 京都大学 [学] 上大迫 弘隆・奥村 与志弘・清野 純史

II-4 (総合学習プラザ第16講義室) / 9月12日(火)

■沿岸環境 (1) / 9:00~10:20 / 片岡 智哉 (東京理科大学)

- II-197 諫早湾干拓堤防による成層構造の変化が有明海の貧酸素水塊の消長に与えた影響についての検討 / 九州大学 [学] 田所 壮也・矢野 真一郎
- II-198 数値シミュレーションによる河川水温変動が有明海の密度成層構造に与える影響の評価 / 九州大学 [学] 中村 潤幸・矢野 真一郎・Nasser Arifin
- II-199 水中放流する温排水拡散範囲に及ぼす影響要因に関する一提案 / 中国電力 [正] 玉井 孝謙・重川 義信・安野 孝生
- II-200 自己組織化マップを用いた水俣湾における海水中の溶存態水銀のIn-situ Methylation機構に関する検討 / 九州大学 [学] 谷中 敬亮・矢野 真一郎・多田 彰秀
- II-201 天白川における塩分遡上と水質の関係に関する研究 / 名古屋工業大学 [学] 海野 優樹・富永 晃宏
- II-202 塩水遡上の数値解析モデルによる河床凹凸が都市河川の水質に及ぼす影響評価 / 芝浦工業大学 [正] 宮本 仁志・新谷 哲也・守田 優

■沿岸環境 (2) / 10:40~12:00 / 矢野 真一郎 (九州大学)

- II-203 花見川河口周辺の流れの把握に関する研究 / 日本大学 [学] 平田 悠真・中村 倫明・落合 実
- II-204 一生アマモ場に生息する生物群集構造の季節的変動特性の一例 / 金沢工業大学 [学] 加藤 慎吾・有田 守
- II-205 環境保全措置として移設したサンゴの白化現象の影響分析と考察 / エコー [正] 川崎 貴之・甲斐 広文・知念 直
- II-206 2016年の夏季に那覇港で生じた大規模なサンゴ白化現象の影響分析と考察 / エコー [正] 岩村 俊平・坂井 功・仲村 進一

- II-207 那覇港「波の上ビーチ」におけるサンゴ着床実験 / 大成建設 [正] 高山 百合子・羽角 華奈子・片倉 徳男
- II-208 グリーンインフラとしての海岸砂丘の環境・文化政策における保全 / 九州大学 [正] 清野 聡子・會津 光博

II-4 (総合学習プラザ第16講義室) / 9月13日(水)

■海岸・港湾構造物 (1) / 9:00~10:20 / 松本 朗 (不動テトラ)

- II-209 スリットによる動水圧低減効果の確認を目的とした模型振動実験 / 五洋建設 [正] 海田 翔平・池野 勝哉・奥田 一弘
- II-210 ニューマチックケーソン式栈橋を対象とした杭の水平載荷実験 / 日本港湾コンサルタント [正] 柴田 大介・姜 超・長尾 毅
- II-211 コンクリート底板を有する鋼製栈橋の最適形状に関する実験的検討 / 室蘭工業大学 [学] 内山 太公・木村 克俊・上久保 勝美
- II-212 フィルターユニットの拘束条件が耐波安定性に及ぼす影響 / 関西エアポート [正] 齋藤 祐樹・稲津 百華・青木 伸一
- II-213 防波堤補強に用いるカウンターウェイトブロックの耐波安定性 / 日建工学 [正] 松下 紘資・平石 哲也
- II-214 PCマクラギの津波避難施設への応用に関する一考察 / 名古屋大学 [学] 山田 悠貴・趙 容桓・中村 友昭
- II-215 2次元鉛直壁に作用する打ち上がった水塊の落水現象に伴う水平波力について / 大阪市立大学 [学] 梅田 尋慈・水谷 夏樹・池本 将大

■海岸・港湾構造物 (2) / 10:40~12:00 / 中村 友昭 (名古屋大学)

- II-216 栈橋に作用する揚圧力に対する数値波動水路の適用性に関する検討 / パシフィックコンサルタンツ [正] 大久保 陽介・鈴木 信夫・山口 達治
- II-217 リサイクル材の岸壁裏埋材に関する基礎的検討 / 四国地方整備局高松港湾空港技術調査事務所 [正] 伊藤 春樹・竹田 晃・上邨 知輝
- II-218 倒伏状態のフラップゲート式防潮堤を対象とした車両走行試験 / 日立造船 [正] 木村 雄一郎・松原 大輔・山川 善人
- II-219 ベルマウス効果利用型水室対の水位差を利用する波力発電技術に関する検討 / 山口大学 [F] 羽田野 袈裟義・和西 裕介・楠葉 貞治
- II-220 余震を考慮した係留施設の供用可否判定に関する検討 / ニュージェック [正] 曾根 照人・大塚 尚志・淵ノ上 篤史
- II-221 2016年熊本地震における干拓堤防の被災に関する現地調査 / 日本大学 [正] 後藤 浩・小林 昭男・石野 和男

■海岸・港湾構造物 (3) / 15:20~16:40 / 鈴木 高二郎

- (海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所)
- II-222 長周期波による潜堤の岸側法肩部における被覆ブロックの被災機構に関する数値的研究 / 名古屋大学 [正] 趙 容桓・張 楚・中村 友昭
- II-223 津波の越流により生じる海岸堤防裏法尻周辺の流動場の形成条件に関する一考察 / 名古屋大学 [正] 中村 友昭・日比野 加奈・趙 容桓
- II-224 第2堤防設置が海岸堤防を越流する流れによって生じる洗掘深に与える影響 / 埼玉大学 [学] 五十嵐 善哉・田中 規夫
- II-225 粘土混合土の表層せん断強度特性 / 大成建設 [正] 本田 隆英・織田 幸伸・伊藤 一教
- II-226 防波堤基礎マウンド内に発生する津波浸透流に対する腹付工の効果 / 沿岸技術研究センター [正] 大村 厚夫・佐藤 昌宏・柴田 大介
- II-227 銚子沖洋上風力発電所海域の海底地形変化 / 鹿島建設 [正] 福山 貴子・林田 宏二・福本 幸成

第Ⅲ部門

土質力学、基礎工学、岩盤工学、土木地質、地盤環境工学など

III-1 (センター2号館2106教室) / 9月11日(月)

■不飽和土・粘土の変形特性 / 9:00~10:20 / 木元 小百合 (京都大学)

- III-001 繰返し載荷による軟弱粘土の乱れの把握と骨格構造概念に基づく記述 / 名古屋大学 [正] 中井 健太郎・野田 利弘・鈴木 彩華

- III-002 諏訪市上川・四賀の沖積層の土質特性と沈下予測 / 大阪市立大学 [学] 中村 優孝・大島 昭彦・小坂 慎一
- III-003 間隙中の水分状態を変化させた不飽和土の繰返しせん断変形挙動 / 宇都宮大学 [正] 海野 寿康・吉直 卓也・YASMIN ZAKARIA
- III-004 境界条件の設定とサクシオンの大きさが不飽和盛土材料の

- 強度特性に及ぼす影響／東海旅客鉄道 [学] 田中 宏治・松丸 貴樹
- III-005 不飽和砂のせん断帯発達過程における土粒子接触頻度とメニスカス水の分布の変化／京都大学 [学] 木戸 隆之祐・肥後 陽介
- III-006 CT画像解析による水分保持曲線の評価のための画素寸法の検討／熊本大学 [学] 福島 大介・椋木 俊文・宮田 喜壽
- III-007 不飽和砂質土供試体における気泡混入水の体積圧縮特性／防災科学技術研究所 [正] 中澤 博志・田端 憲太郎・濱本 昌一郎
- III-008 P波速度検層による不飽和状態の持続性確認(その2)／オリエンタル白石 [正] 藤井 直・山田 直之・山根 信幸

■特殊土／10:40～12:00／海野 寿康(宇都宮大学)

- III-009 腐朽経過に着目した竹チップ混合固化処理土の強度特性／福岡大学 [正] 古賀 千佳嗣・佐藤 研一・藤川 拓朗
- III-010 実証実験による破碎瓦の土圧特性に関する一考察／ニュージェック [正] 山本 龍・東野 孝之・菅野 高弘
- III-011 関東ロームを対象とした焼成品と現地発生土の放射線遮蔽性能の評価／早稲田大学 [学] 那須 郁香・吉川 絵麻・小峯 秀雄
- III-012 インドに分布する膨潤性粘土の簡易判定法に関する検討／鉄道総合技術研究所 [正] 渡辺 健治
- III-013 正規圧密泥炭および有機質粘土の微小ひずみ時せん断剛性率の定式化／寒地土木研究所 [正] 林 宏親・林 憲裕
- III-014 乾湿繰返し圧密試験機による泥岩碎石集合体のスレーキング進行特性と圧縮特性の把握／名古屋大学 [学] 早野 智彦・中野 正樹・酒井 崇之
- III-015 セメンテーションによって保持された超高間隙構造土の非排水せん断特性／東京大学 [学] 佐藤 樹・桑野 玲子
- III-016 前橋泥流堆積物の液状化強度と固結度の検討／群馬大学 [学] 中島 航・平野 瑛祐・樋口 邦弘

■地盤改良(1)／15:20～16:40／竹内 秀克(不動テトラ)

- III-017 高圧噴射攪拌工法による揺動矩形改良体の原位置施工実験(その1実験概要)／竹中土木 [正] 益本 孝彦・山田 修三・小西 一生
- III-018 高圧噴射攪拌工法による揺動矩形改良体の原位置施工実験(その2出来形と強度)／ケミカルグラウト [正] 小松 和彦・阿部 宏幸・小西 一生
- III-019 高周波衝撃弾性波調査を応用した高圧噴射攪拌工法の造成径計測システムの実証試験／東興ジオテック [正] 大野 喜代孝・堤 公平・濱田 誠
- III-020 異種工法地盤改良体ラップ部の密着性について／竹中土木 [正] 野口 達也・益本 孝彦・今井 政之
- III-021 斜め改良体壁による液状化対策効果に関する遠心実験／大成建設 [正] 藤原 斉都
- III-022 柱状地盤改良工法の効率的な攪拌方法の検討に関する基礎的研究／東京都市大学 [学] 杉村 晃嗣・伊藤 和也・末政 直見
- III-023 地盤改良を用いて建設された谷埋め盛土と周辺地盤の変位に関する一考察／ネクスコ・エンジニアリング東北 [正] 澤野 幸輝・高坂 敏明・外崎 靖也
- III-024 セメント系改良土の固化遅延に関する強度と影響／東京都市大学 [学] 柴野 勝弘・末政 直見・木下 文男

■地盤改良(2)／17:00～18:20／永尾 浩一(佐藤工業)

- III-025 ポリウレタン系注入材を用いた固結砂の長期養生中の強度、溶出特性／早稲田大学 [学] 山崎 知・中道 馨・赤木 寛一
- III-026 三軸圧縮試験における薬液改良土の変形特性／強化土エンジニアリング [正] 佐々木 隆光・末政 直見・島田 俊介
- III-027 シリカ含有量に着目した薬液注入工法による液状化対策効果の確認方法に関する検討／中部電力 [正] 山根 和人・遠藤 大輔・和仁 雅明
- III-028 超音波振動を併用した薬液注入工法の開発(第2回現場実証実験)／三信建設工業 [正] 本谷 洋二・野口 好夫・石田 明人
- III-029 地盤条件が懸濁型薬液注入の浸透性に及ぼす影響について／不動テトラ [正] 矢部 浩史・深田 久
- III-030 微粒子の浸透可否評価手法の適用性について／東京都市大学 [学] 上村 健太郎・佐々木 隆光・末政 直見
- III-031 供用中のガントリクレーンレール基礎の補強対策工法／日本港湾コンサルタント [正] 清水 建一郎・高野 向後・川嶋 憲

III-1 (センター2号館2106教室)／9月12日(火)

- 地盤改良(3)／9:00～10:20／高野 大樹(港湾空港技術研究所)
- III-032 脈状地盤改良用薬液注入材に関する研究／ライト工業 [正] 大西 高明・井澤 淳・水野 弘二
- III-033 脈状地盤改良工法による品質管理手法の一考察／東日本旅客鉄道 [正] 水野 弘二・井澤 淳・大西 高明
- III-034 囲い込み施工による効率的な脈状地盤改良工法に関する基礎的検討／鉄道総合技術研究所 [正] 井澤 淳・小島 謙一・大西 高明
- III-035 石炭灰埋立地盤に対する静的締固め工法の適用性(その1)～試験施工結果に基づく液状化評価と締固め改良率について～／大成建設 [正] 天野 喜勝・喜多 千砂子・広重 敬嗣
- III-036 石炭灰埋立地盤に対する静的締固め工法の適用性(その2)有効締固め係数および相対密度と液状化強度の関係について／不動テトラ [正] 尾形 太・西野 日出樹・市橋 豊隆
- III-037 石炭灰埋立地盤に対する静的締固め工法の適用性(その3)～RI密度検層による改良後地盤密度の測定について～／基礎地盤コンサルタンツ [正] 大久保 幸倫・萩原 協仁・市橋 豊隆
- III-038 製鋼スラグの高強度化技術に関する室内実験／大林組 [正] 宮岡 修二・森下 智貴・田島 孝敏
- III-039 地盤のばらつきを考慮したサンドコンパクションパイル工法の設計検討／大成建設 [正] 千野 和彦・広重 敬嗣・石井 亘

■地盤改良(4)／10:40～12:00／森河 由紀弘(名古屋工業大学)

- III-040 グラウト注入および加振時における地盤内変位の空間分布解析／海上・港湾・航空技術研究所 [正] 高野 大樹・森川 嘉之・宮田 喜壽
- III-041 新たなCPG工法の開発一現場実証実験の概要一／三信建設工業 [正] 竹之内 寛至・佐々 真志・山崎 浩之
- III-042 新たなCPG工法の開発一模型実験および現場実証実験結果の比較一／アートンシビルテクノ [正] 高橋 但・佐々 真志・山崎 浩之
- III-043 新たなCPG工法の開発一評価改良率を用いた隆起抑制効果の評価一／復建調査設計 [正] 木村 康隆・佐々 真志・山崎 浩之
- III-044 静的圧入締固め工法における石膏系中性固化材の適用性一環境対応特性一／石原産業 [正] 平井 恭正・新坂 孝志・大澤 誠司
- III-045 静的圧入締固め工法における石膏系中性固化材の適用性一強度特性一／三信建設工業 [正] 新坂 孝志・平井 恭正・竹之内 寛至
- III-046 再生焼き石膏とセメントによる軟弱地盤改良の固化材添加量の推定方法／群馬大学 [学] 富澤 奈岐沙・蔡 飛・若井 明彦
- III-047 セメント系混合材料の全自動製造システムの提案／大林組 [正] 宮入 斎・藤原 宗一

III-1 (センター2号館2106教室)／9月13日(水)

- 土質安定処理(1)／9:00～10:20／稲垣 由紀子(土木研究所)
- III-048 セメント改良土を対象とした円柱供試体のせん断面形成3次元シミュレーション／名古屋大学 [正] 山田 正太郎・野田 利弘・中野 正樹
- III-049 山砂を用いたフライアッシュ配合土の一軸圧縮強度特性／木更津工業高等専門学校 [学] 夏井 大介・鬼塚 信弘
- III-050 周辺土の含水比がセメント系固化材による改良体に与える影響～材齢1年～／セメント協会 [正] 泉尾 英文・半井 健一郎・酒井 秀一
- III-051 Mg濃度と水温の変化によるセメント処理土の劣化促進実験手法の開発／山口大学 [正] 原 弘行・安井 賢太郎
- III-052 フライアッシュと埋め土からなる掘削土を用いた流動化処理土の配合検討／大成建設 [正] 松井 秀岳・石井 裕泰・早瀬 宏文
- III-053 セメント改良土強度とばらつき供試体寸法影響に関する実験検討／大成建設 [正] 石井 裕泰・松井 秀岳・下村 雅則
- III-054 気泡ソイルセメント安定液の分離含水比について／早稲田大学 [学] 若松 大幹・赤木 寛一・重田 恭兵
- III-055 地下ダム建設工事への気泡工法適用の試み～施工性・壁体品質について～／西松建設 [正] 阿部 孝行・羽山 里志・吉野 修

■土質安定処理(2)／10:40～12:00／石井 裕泰(大成建設)

- III-056 改良型針貫入試験による固化改良土(砕・転圧盛土工法)の強度推定原理／フジタ [正] 北島 明・福島 伸二・堀田 崇由

- III-057 改良型針貫入試験の固化改良土(砕・転圧盛土工法)の強度管理への適用性/フジタ [正] 堀田 崇由・福島 伸二・北島 明
- III-058 土質安定処理した島尻層群泥岩のスレーキングによる設計CBRへの影響/九州産業大学 [学] 永秋 健・林 泰弘・藤龍一
- III-059 石灰、セメント改良した建設発生土の締固めに関する基礎的検討(その1)/土木研究所 [正] 宮下 千花・井上 玄己・宮武 裕昭
- III-060 石灰、セメント改良した建設発生土の締固めに関する基礎的検討(その2)/土木研究所 [正] 井上 玄己・宮下 千花・澤松 俊寿
- III-061 石灰、セメント改良した建設発生土の締固めに関する基礎的検討(その3)/セメント協会 [正] 中村 弘典・佐藤 智泰・宮下 千花
- III-062 火山灰質粗粒土でのセメント系改良土からの六価クロム溶出量の低減について/奥村組土木興業 [正] 吉田 宗久・勝野 秀之・北村 敏也
- III-063 多硫酸カルシウムによる六価クロムの低減効果/デンカ [正] 今 敬太・渡辺 雅昭・佐々木 崇

■土質安定処理(3) / 15:20~16:40 / 原 弘行(山口大学)

- III-064 短繊維混合補強土を用いた緩傾斜面に対する降雨侵食実験—降雨浸透効果—/西松建設 [正] 平野 孝行・加藤 俊二・土橋 聖賢
- III-065 短繊維混合補強土を用いた緩傾斜面に対する降雨侵食実験—侵食抑制効果—/フジタ [F] 阪本 廣行・加藤 俊二・土橋 聖賢
- III-066 短繊維混合処理土の力学特性を考慮した2次元弾性FEMによる試験解析/西松建設 [正] 荒 孝太郎・平野 孝行・佐藤 靖彦
- III-067 セルロースを主成分とする高吸水性微細粉体の地盤改良効果/京都大学 [正] 澤村 康生・矢野 隆夫・相原 恵一
- III-068 栄養塩の供給状況および微生物の残留が砂の固化状況に与える影響/土木研究所 [正] 稲垣 由紀子・加藤 俊二・佐々木 哲也
- III-069 微生物を利用した泥炭の改良における養生時間とウレアーゼ活性/土木研究所寒地土木研究所 [正] 佐藤 厚子・林 憲裕・川 了
- III-070 生態系に配慮した改良材による河床堆積物(軟弱地盤)の安定処理/鹿島建設 [正] 小澤 一喜・小野 満・石川 典男
- III-071 土質安定処理を施した国頭マージの再流出抑制効果の検討/九州産業大学 [学] 大坪 雅・林 泰弘・藤 龍一

III-2 (センター2号館2103教室) / 9月11日(月)

■透水・浸透(1) / 9:00~10:20 / 酒匂 一成(鹿児島大学)

- III-072 2016年熊本地震による地下水位最大変動量/大成ジオテック [正] 福田 光治・林 豊・栗木 徳明
- III-073 排水性補強材を打設した盛土の浸透流解析/九州大学 [学] 伊藤 裕孝・笠間 清伸・浜崎 智洋
- III-074 道路盛土における排水パイプの設計法と解析的評価について/西日本高速道路エンジニアリング関西 [正] 三好 忠和・常田 賢一・北口 峻輝
- III-075 3層キャピラリーバリア地盤の限界長の検討/飛鳥建設 [正] 松元 和伸・小林 薫・森井 俊広
- III-076 古墳墳丘の細・粗互層構造が雨水浸透に与える影響/京都大学 [正] 澤田 茉伊・中野 雄太・三村 衛
- III-077 MRIを用いた不飽和土の鉛直浸透挙動に関する一考察/山梨大学 [学] 荒木 大輝・荒木 功平・舛谷 敬一
- III-078 ひも状繊維材料の毛管上昇特性を活かした地盤内水分供給に関する検討/九州大学 [正] 古川 全太郎・安福 規之・大場 碧海
- III-079 地盤材料の浸透特性がキャピラリーバリアの遮水・排水性能に及ぼす影響/鉄道総合技術研究所 [正] 佐藤 武斗・松丸 貴樹

■透水・浸透(2) / 10:40~12:00 / 小高 猛司(名城大学)

- III-080 渡島トンネル(木古内工区)における高圧・大量湧水の再現解析—地下水・ボーリング孔内の流れの連成解析による水抜きボーリングの評価—/大成建設 [正] 増岡 健太郎・山本 肇・亀田 徹也
- III-081 3次元地盤モデル作成システムを用いたトンネルグラウチング管理システムの開発/熊谷組 [正] 古田 信義・片山 政弘・石濱 茂崇
- III-082 京都府南山城地域における水源揚水井の維持管理計画に関する研究/関西大学 [学] 中寺 美月・楠見 晴重・大西 有三

- III-083 メタンハイドレート生産坑井周辺の細粒分目詰まり機構に関する実験/鹿島建設 [正] 露木 健一郎・三浦 悟・北本 幸義
- III-084 二酸化炭素地中貯留における坑井配置の自動最適化/大成建設 [正] 宮城 充宏・山本 肇・藤 自求
- III-085 二酸化炭素地中貯留時の貯留層内圧力上昇の抑制に関する数値解析検討/大成建設 [正] 藤田 クラウディア・山本 肇・中島 崇裕
- III-086 実鉄道盛土における含水状態の長期計測と浸透流解析/鉄道総合技術研究所 [正] 松丸 貴樹・小湊 祐輝・藤原 雅仁
- III-087 試験盛土による長期的な含水状態変動の計測と浸透流解析/鉄道総合技術研究所 [正] 小湊 祐輝・松丸 貴樹・佐藤 武斗

■透水・浸透(3) / 15:20~16:40 / 前田 健一(名古屋工業大学)

- III-088 石混じり礫質土を有する河川堤防における地盤特性に関する考察/建設技術研究所 [正] 長谷川 剛基・李 圭太・小高 猛司
- III-089 中空ねじり試験機による水平方向透水係数測定に関する研究/広島大学 [学] 高岡 慶人・土田 孝・栗原 大
- III-090 中間土堤体土の吸水軟化試験による浸透耐性の評価と供試体作製方法の影響/名城大学 [学] 田中 貴之・小高 猛司・李 圭太
- III-091 吸水軟化試験による砂質土の浸透耐性の評価/中部土質試験協同組合 [正] 久保 裕一・小高 猛司・李 圭太
- III-092 地下水の高い地山に構築した盛土の変状事例とその対策/西日本高速道路 [正] 田上 涼平・竹本 将・柳迫 新吾
- III-093 複層構造における上層基礎地盤の透水性が浸透破壊に与える影響/名城大学 [学] 森 智彦・小高 猛司・崔 瑛
- III-094 複層基礎地盤の上部砂層の透水性と層厚が堤体法尻部に及ぼす影響に関する浸透流解析/名城大学 [学] 森 三史郎・小高 猛司・李 圭太

■透水・浸透(4) / 17:00~18:20 / 森 啓年(山口大学)

- III-095 複層構造基礎地盤を有する河川堤防の浸透破壊実験における三次元効果の検討/名城大学 [学] 林 愛実・小高 猛司・崔 瑛
- III-096 河川堤防の被覆土層のある基礎地盤でのパイピング進行性破壊に関する模型実験/パシフィックコンサルタンツ [正] 増山 博之・新村 卓也・館川 逸朗
- III-097 河川堤防のり面の進行性破壊に関する大型模型実験/土木研究所 [正] 東 拓生・秋場 俊一・石原 雅規
- III-098 大型模型実験の降雨・水位上昇による堤体内浸透挙動に関する検証/土木研究所 [正] 秋場 俊一・東 拓生・石原 雅規
- III-099 浸透破壊模型実験のSPH法を用いた浸透流解析による検証/大林組 [正] 中道 洋平・杉江 茂彦・高橋 真一
- III-100 異なる基礎地盤特性の堤防の噴砂動態・パイピング挙動/名古屋工業大学 [学] 西村 柁哉・前田 健一・櫛山 総平
- III-101 模型堤防の浸透破壊メカニズム解明のための空気~水~土骨格連成有限変形シミュレーション/名古屋大学 [正] 吉川 高広・野田 利弘・内藤 誠也

III-2 (センター2号館2103教室) / 9月12日(火)

■透水・浸透(5) / 9:00~10:20 / 椋木 俊文(熊本大学)

- III-102 ダム基礎岩盤の透水性分布を考慮した割れ目ネットワークモデルの構築/鹿島建設 [正] 中島 誠門・渥美 博行・升元 一彦
- III-103 割れ目ネットワークモデルによる処分パネルを考慮した湧水量の評価/鹿島建設 [正] 升元 一彦・中島 誠門・野中 隼人
- III-104 ポイント希釈試験による割れ目内地下水流量の測定精度の検討/電力中央研究所 [正] 田中 靖治
- III-105 花崗岩に存在する割れ目を対象とした単孔トレーサー試験と評価解析/電力中央研究所 [正] 野原 慎太郎・長谷川 琢磨・田中 靖治
- III-106 川表に縦断亀裂を有する河川堤防の浸透特性に関する模型実験/土木研究所 [正] 地蔵 智樹・谷本 俊輔・石原 雅規
- III-107 砂質土斜面における水みちの形成に関する基礎的検討/群馬大学 [学] 仲 祐亮・住田 啓輔・本明 将来
- III-108 空気圧を用いた連通試験に関する水平一次元カラム実験/岡山大学 [学] 西原 直也・小松 満・西垣 誠

■透水・浸透(6) / 10:40~12:00 / 千々松 正和(安藤・間)

- III-109 放射性廃棄物処分場の砂・ベントナイト混合土の透水性能に応じた小型変水位透水試験の検討/戸田建設 [正] 関口 高志・三浦 玄太・倉持 隼斗

- III-110 小型変水位透水試験による比較的短期間での砂・ベントナイト混合土の透水係数測定の可能性／早稲田大学 [学] 倉持 隼斗・小峯 秀雄・関口 高志
- III-111 砂層をベントナイト層で挟み込む三層構造試料における水分拡散係数を用いた不飽和時の吸水量評価に関する試案／早稲田大学 [学] 尾崎 匠・小峯 秀雄・山本 修一
- III-112 火山灰質性地盤材料を母材としたベントナイト混合土の遮水性能の評価／熊本大学 [学] 宮内 陸・棕木 俊文・志田 賢二
- III-113 ベントナイト混合土の遮水性に及ぼす締め時含水比の影響／フジタ [F] 福島 伸二・北島 明
- III-114 低密度ベントナイトのプレハイドレーション効果のメカニズムに関する検討／電力中央研究所 [F] 田中 幸久・大山 隆弘

III-2 (センター2号館2103教室) / 9月13日(水)

■洗掘・侵食(1) / 9:00~10:20 / 近藤 明彦

(海上・港湾・航空技術研究所)

- III-116 台風災害で被災した道東自動車道の構造物洗掘対策について／東日本高速道路 [正] 三浦 由守・篠田 雅男
- III-117 橋脚底面の状態に着目した洗掘模型実験／鉄道総合技術研究所 [正] 櫻 健典・馬目 凌・渡邊 諭
- III-118 小型堤防による越水から決壊現象における堤体粒度の影響／中部大学 [学] 朱 登瑜・杉井 俊夫・寺西 剣悟
- III-119 降雨係数の変化に着目した土砂流出予測と適応策効果／九州大学 [学] 後藤 寛寿・安福 規之・石蔵 良平
- III-120 張芝の根系発達による土砂保持効果に関する模型実験／土木研究所 [正] 加藤 俊二・川添 英生・佐々木 哲也

■洗掘・侵食(2) / 10:40~12:00 / 松田 達也(豊橋技術科学大学)

- III-121 実海域を想定した遠心力場の波浪実験法の開発と地盤液状化への適用／東洋建設 [正] 宮本 順司・佐々 真志・鶴ヶ崎 和博
- III-122 波による液状化とパイプの浮上に関する遠心模型実験／東洋建設 [正] 角田 紘子・宮本 順司・佐々 真志
- III-123 法先保護工が津波越流による落堀形成の抑制に与える効果について／九州工業大学 [学] 船倉 玖彬・廣岡 明彦・永瀬 英生
- III-124 地下水位上昇時の下水管損傷部周辺地盤の内部浸食に関する模型試験／京都大学 [学] 宇都宮 悠・木元 小百合・赤木 俊文
- III-125 ON FINDING A SUITABLE STATE INDEX FOR THE STUDY OF THE MECHANICAL BEHAVIOUR OF POST SUFFUSION SOILS／東京大学 [学] ベドジャーメッディー・桑野 玲子
- III-126 地下の水みち探索における地中流水音測定の有効性の検討／東京大学 [学] 小南 直翔・桑野 玲子

■地下空洞と地下構造物 / 15:20~16:40 / 清木 隆文(宇都宮大学)

- III-127 福岡市の路面下空洞とその生成傾向に関する検討／東京大学 [学] 堀田 真由子・桑野 玲子
- III-128 熊本地震により発生した樋管・樋管の空洞の確認調査と連通試験／建設技術研究所 [正] 白川 博之・松下 俊樹・末吉 仙英
- III-129 変位・荷重自動制御方式による地下鉄躯体アンダーピニングの施工／鹿島建設 [正] 山本 章貴・矢野 孝司・小野塚 大輔
- III-130 地中連続壁や杭工事に使用する安定液の比重低減剤の開発一素材選定評価一／栗田工業 [正] 平尾 孝典・藤田 聡・三浦 俊彦
- III-131 地中連続壁や杭工事に使用する安定液の比重低減剤の開発一実証実験一／大林組 [正] 三浦 俊彦・荒川 真・水本 実
- III-132 3ピンジャーチカルバートの地震時縦断方向挙動と損傷に関する分析／高速道路総合技術研究所 [正] 中村 洋丈・藤原 優・藤岡 一頼
- III-133 異なる造壁性試験方法を用いた安定液管理手法の検討／大林組 [正] 森下 智貴・三浦 俊彦・荒川 真

III-3 (センター2号館2105教室) / 9月11日(月)

■斜面(1) / 9:00~10:20 / 若井 明彦(群馬大学)

- III-134 歴史に記録された土石流災害を用いた防災情報の提供について／野々市市役所 [正] 山田 秀麻・荒木 龍介・西野 高志
- III-135 斜面上部に発生したき裂の原因究明と対策／西日本旅客鉄道 [正] 波多野 裕待・清水 準一・細井 幹生

- III-136 土砂災害警戒区域が重なった地域の災害特性／金沢工業大学 [学] 松田 尚道・清水 諒・加藤 孝敬
- III-137 1kmメッシュにおける地形特性の数値的表現方法に関する考察／大阪大学 [学] 越村 謙正・小田 和広・小泉 圭吾
- III-138 試掘した和泉層群粘土のり面の地質・物理特性／西日本高速道路エンジニアリング四国 [正] 内田 純二・古川 誠司・山下 弘晃
- III-139 急傾斜地防災のためのデータベース作成と数値解析による安定性評価／長崎大学 [学] 犬尾 智樹・蔣 宇静・大嶺 聖
- III-140 航空レーザー測量を活用した落石斜面管理に関する報告／JR東日本 [正] 横井 太一
- III-141 竹林斜面の地盤密度が豪雨時の斜面崩壊に及ぼす影響／福岡大学 [学] 松尾 雅伸・佐藤 研一・藤川 拓朗

■斜面(2) / 10:40~12:00 / 荒木 功平(山梨大学)

- III-142 まさ土切土斜面の土壌水分特性推定における粒子フィルタの適用性／大阪大学 [学] 藤本 彩乃・伊藤 真一・小田 和広
- III-143 粘土質シルトで構成される切土斜面における土壌水分特性のデータ同化／大阪大学 [学] 大段 恵司・小田 和広・伊藤 真一
- III-144 様々な降雨時の現地計測結果に基づく浸透解析モデルの確率論的更新／大阪大学 [学] 伊藤 真一・小田 和広・小泉 圭吾
- III-145 広島県内の土砂災害と降雨特性に関する研究／呉工業高等専門学校 [学] 丸亀 伸・森脇 武夫・龍尾 一海
- III-146 有限要素解を援用した自然斜面内の地下水位上昇量の簡易予測モデル(その2)／群馬大学 [正] 若井 明彦・蔡 飛・亀山 ひろみ
- III-147 南阿蘇村高野台地区に分布する草千里ヶ浜火山降下軽石のせん断特性／九州大学 [学] 山縣 史朗・笠間 清伸・古川 全太郎
- III-148 水平慣性力を受ける模型盛土の補強材条件の違いによる補強効果／西日本高速道路エンジニアリング中国 [正] 川波 敏博・下野 宗彦・小林 敬尚
- III-149 多次元方向の変位計測に基づく実大模型斜面の掘削時の不安定度評価／高知大学 [正] 笹原 克夫・伊藤 和也・平岡 伸隆

■斜面(3) / 15:20~16:40 / 平岡 伸隆(労働安全衛生総合研究所)

- III-150 曲げ変形を受けたPC鋼棒の破断時軸荷重について／三重大学 [正] 酒井 俊典・宮武 裕昭・近藤 益央
- III-151 曲げ変形を受けたPC鋼棒の破断時とびだし衝撃荷重について／相愛 [正] 常川 善弘・酒井 俊典・宮武 裕昭
- III-152 内部充てん型エポキシ樹脂被覆PC鋼より線と定着用膨張材を用いた高耐食グラウンドアンカー用定着具の開発／神鋼鋼線工業 [正] 荒木 茂・中村 真也・東 康治
- III-153 表層補強効果に及ぼすのり枠工剛性の影響について／明石工業高等専門学校 [学] 村井 臣成・鍋島 康之・藤澤 敦士
- III-154 支圧板付きロックボルト補強斜面の地震時安定性に与える補強材挿入角度の影響に関する実験的検討／鹿島建設 [正] 中本 詩瑤・関 栄・竹村 次朗
- III-155 地盤変状の影響を受ける斜面上に設置された道路橋基礎に関する遠心力載荷実験／土木研究所 [正] 真弓 英大・河村 淳・谷本 俊輔
- III-156 地山補強土工法の補強材打設間隔に関する検討～その1:遠心模型実験～／東京都市大学 [正] 伊藤 和也・高橋 昌大・渡田 洋介
- III-157 地山補強土工法の補強材打設間隔に関する検討 ～その2:有限要素解析によるシミュレーション～／東京都市大学 [正] 渡田 洋介・伊藤 和也・高橋 昌大

■斜面(4) / 17:00~18:20 / 石沢 友浩(防災科学技術研究所)

- III-158 仮設時に使用可能な地山補強と計測に関する実大規模崩壊実験／労働安全衛生総合研究所 [正] 平岡 伸隆・吉川 直孝・副田 尚輝
- III-159 引張り材を用いたフレーム構造による斜面補強を施した実大斜面の掘削実験／日鐵住金建材 [正] 堀 謙吾・岩佐 直人・副田 尚輝
- III-160 重力加速度計を用いたパイプ傾斜計の開発と実用性の検証／明治コンサルタント [正] 納谷 宏・林田 昇・國友 建
- III-161 排水パイプを打設した鉄道盛土の間隙水圧低下効果に関する一考察／西日本旅客鉄道 [正] 西田 幹嗣・藤井 昌隆・杉山 友康
- III-162 地すべり変状箇所におけるUAVレーザー計測と細部測量結果の検証／西日本高速道路エンジニアリング中国 [正] 金子 雅博・二谷 卓
- III-163 池の沢溪岸の斜面崩壊(全層雪崩)の捕捉と土中水分計測に基づく安定性評価／山梨大学 [正] 荒木 功平・市村 彰大・石井 篤志

- III-164 土壌水分計を用いた斜面内浸透流解析へのタンクモデル法適用性の検討／早稲田大学 [学] 岡崎 啓一朗・竹内 佳成・赤木 寛一
- III-165 高性能のり面吹付けコンクリートによる吹付け砕工の長期耐久性について／ユニラップ工法研究会 [正] 別府 正顕・庭田 和之・大塚 達也

III-3 (センター2号館2105教室) / 9月12日(火)

■斜面(5) / 9:00~10:20 / 桐山 貴俊(清水建設)

- III-166 阿蘇大橋地区の斜面崩壊における緊急砂防対策について1崩壊概要と周辺の亀裂の状況／基礎地盤コンサルタンツ [正] 笠井 真吾・島本 卓三・与那嶺 淳
- III-167 阿蘇大橋地区の斜面崩壊における緊急砂防対策について2崩壊斜面の評価と緊急対策／基礎地盤コンサルタンツ [正] 積田 清之・島本 卓三・与那嶺 淳
- III-168 阿蘇大橋地区の斜面崩壊における緊急砂防対策について3滑落崖周辺の斜面安定化を目的とした緊急対策／基礎地盤コンサルタンツ [正] 東風平 宏・島本 卓三・与那嶺 淳
- III-169 阿蘇大橋地区の斜面崩壊における緊急砂防対策について4落石解析による崩壊斜面内の緊急対策方針の検討／基礎地盤コンサルタンツ [正] 佐々木 一好・島本 卓三・与那嶺 淳
- III-170 阿蘇大橋地区の斜面崩壊における緊急砂防対策について5斜面崩壊内の有人施工着手に向けた緊急対策／基礎地盤コンサルタンツ [正] 渡辺 慎太郎・島本 卓三・与那嶺 淳
- III-171 阿蘇大橋地区の斜面崩壊における緊急砂防対策について6一地震により発生する崩壊危険箇所の判定に関する一考察一／基礎地盤コンサルタンツ [正] 永川 勝久・島本 卓三・与那嶺 淳
- III-172 航空レーザーデータを用いた2016年熊本地震における斜面崩壊の抽出／千葉大学 [学] 佐川 由季・山崎 文雄・Luis Moya
- III-173 震災宅地擁壁復旧に関する復旧事業と設計上の留意点／パシフィックコンサルタンツ [正] 門田 浩一

■斜面(6) / 10:40~12:00 / 野々山 栄人(防衛大学校)

- III-174 阿蘇の斜面崩壊をモデルとした被害範囲推定に関する数値解析的検討／九州大学 [学] 田中 大貴・笠間 清伸・古川 全太郎
- III-175 熊本地震による斜面の広域的崩壊危険度評価／防衛大学校 [正] 篠田 昌弘・宮田 喜壽
- III-176 熊本地震における南阿蘇村付近の斜面崩壊発生場の解析的検討／群馬大学 [学] 新島 悠斗・笹木 久美・若井 明彦
- III-177 Material Point Methodを用いた斜面崩壊解析／清水建設 [正] 桐山 貴俊・福武 毅芳
- III-178 不連続変形法と粒子法を用いた土石流のための連成数値解析に関する研究／関西大学 [学] 久野 実希子・三木 茂・佐々木 猛
- III-179 3D-FEMによる引張材フレーム材を用いた斜面安定対策工の性能評価／福岡大学 [正] 千田 知弘・岩佐 直人・堀 謙吾
- III-180 飽和度上昇時のせん断強度低下による豪雨時斜面崩壊の連成解析による検討／地層科学研究所 [正] 中川 光雄
- III-181 遺伝的アルゴリズムを用いた斜面における損傷位置の推定可能性／電源開発 [正] 庄路 友紀子・高島 正治・鈴木 隼人

III-3 (センター2号館2105教室) / 9月13日(水)

■斜面(7) / 9:00~10:20 / 田口 岳志(秋田大学)

- III-182 熊本誘発地震における大分道切土のり面崩落災害に関する考察について／西日本高速道路エンジニアリング中国 [正] 佐々木 啓之・田山 聡・浜崎 智洋
- III-183 高速道路におけるのり面の特徴と損傷種別の関係に関する点検データに基づく分析／大阪大学 [学] 窪田 上太郎・小田 和広・小泉 圭吾
- III-184 地盤災害情報マップ(D-map)を用いた災害対応の取り組み／NEXCO西日本 [正] 西川 祐平・石村 典久・内田 純二
- III-185 グラウンドアンカーの損傷事例とその原因および維持管理の課題／ネクスコ東日本エンジニアリング [正] 宗形 和洋・小林 怜史・小川 智久
- III-186 油圧ディスクを用いたグラウンドアンカーの荷重管理について／中部電力 [正] 川嶋 直人・酒井 俊典
- III-187 振動を用いたグラウンドアンカー残存引張り力の推定方法／応用地質 [正] 斎藤 秀樹・青池 邦夫・八嶋 厚
- III-188 X線を用いたグラウンドアンカーの残存引張り力測定／西日本高速道路エンジニアリング関西 [正] 藤巴 太郎・矢野 法孝・谷口 清

- III-189 旧タイプアンカーを有する切土のり面調査について／ネクスコ・エンジニアリング東北 [正] 松崎 孝汰・澤野 幸輝・高梨 俊行

■斜面(8) / 10:40~12:00 / 阿部 慶太(鉄道総合技術研究所)

- III-190 北海道における道路斜面災害の発生と降雨・融雪の影響／土木研究所寒地土木研究所 [正] 日外 勝仁・角田 富士夫・倉橋 稔幸
- III-191 融雪期盛土災害への安定解析の適用性の検討／土木研究所寒地土木研究所 [正] 山本 正彦・林 憲裕・林 宏親
- III-192 熱・浸透連成解析の適用による道路健全性評価手法の開発／アステック東洋 [正] 中井 卓巳・大西 有三・西野 直均
- III-193 2016年台風10号による北海道日勝峠周辺の道路災害の事例報告／土木研究所寒地土木研究所 [正] 伊東 佳彦・倉橋 稔幸・角田 富士夫
- III-194 豪雨等による道路のり面災害の降雨パターン分析／土木研究所 [正] 川添 英生・加藤 俊二・佐々木 哲也
- III-195 土砂災害発生の危険性を伝達するためのリアルタイム現地雨量情報の活用に関する研究／山梨大学 [学] 佐藤 和卓・鈴木 猛康
- III-196 不織布フィルターにより表面の浸透性を高めた模型斜面における降雨浸透と地下水上昇／広島大学 [学] 丸田 亮・土田 孝・細川 大吉
- III-197 温度浸食による凍結地盤の地形変形に関する基礎的研究／北海道大学 [学] 本間 翔太・小川 昌也・土井 泰樹

■斜面(9) / 15:20~16:40 / 篠田 昌弘(防衛大学校)

- III-198 切土耐震補強における設計事例／東日本旅客鉄道 [正] 油谷 彬博・中村 宏・山内 真也
- III-199 泥岩地帯の切土耐震及び排水対策／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 中塚 博元・木下一孝・油谷 彬博
- III-200 中央線市ヶ谷駅付近の盛土すべり変状メカニズム／東日本旅客鉄道 [F] 中村 宏・友利 方彦・油谷 彬博
- III-201 グラウンドアンカー補強斜面のFEMとNewmark法を組み合わせた新たな評価手法の提案／鉄道総合技術研究所 [正] 浅野 翔也・中島 進・成田 浩明
- III-202 グラウンドアンカーの配置および破壊形態に関する解析的検討／鉄道総合技術研究所 [正] 成田 浩明・中島 進・浅野 翔也
- III-203 のり面工施工箇所の経験雨量分析／鉄道総合技術研究所 [正] 佐々木 智之・阪東 聖人・湯浅 友輝
- III-204 限界雨量の再現期間を用いたのり面工の耐雨性効果の定量化方法／鉄道総合技術研究所 [正] 阪東 聖人・佐々木 智之・湯浅 友輝
- III-205 鉄道沿線における渓流災害の防止に向けた取り組み／西日本旅客鉄道 [正] 森 泰樹・藤井 昌隆・佐々木 良

III-4 (センター2号館2104教室) / 9月11日(月)

■地盤の応力と変形 / 9:00~10:20 / 竹山 智英(神戸大学)

- III-206 山岳トンネル坑口部の応力・変形に関する2次元有限要素解析／鳥取大学 [学] 渡上 正洋・西村 強・文村 賢一
- III-207 層面断層をすべり面とした地すべりの例／中日本高速道路 [正] 橋場 幸彦・加藤 靖郎・笠井 克哲
- III-208 横ずれ断層におけるjogの存在を考慮したRiedelせん断帯の生成シミュレーション／名古屋大学 [学] 豊田 智大・野田 利弘・山田 正太郎
- III-209 EDO-EPS盛土の耐震性能向上を目的とした緊結金具の開発一基礎試験(その2) / 発泡スチロール土工法開発機構 [正] 窪田 達郎・塚本 英樹
- III-210 締固め度一定条件における短繊維混合粒状材料の繊維混合率と強度特性の関係／八戸工業大学 [学] 盛 健太郎・橋詰 豊・金子 賢治
- III-211 ガスハイドレートの存在形態の存在形態が地盤の強度変形特性に及ぼす影響の考察とそのモデル化／名古屋工業大学 [正] 岩井 裕正・川崎 貴也・張 鋒
- III-212 メタンハイドレート生産井の応力解析のための異種材料間接触面摩擦特性の実験的評価／産業技術総合研究所 [正] 覺本 真代・坂本 靖英
- III-213 浸透破壊の模型実験のFEM解析検証／大林組 [F] 杉江 茂彦・中道 洋平・鈴木 和明

■土の物理化学的性質 / 10:40~12:00 / 三上 武子(前田建設工業)

- III-214 凍結融解とイオン交換反応を利用した洗浄技術における洗浄効率改善のための実験的検討／摂南大学 [学] 井上 拓人・伊藤 譲・廣瀬 剛
- III-215 温度変化速度が異なる真砂土および豊浦珪砂の不凍水曲線

- の比較／近畿大学 [正] 高野 保英・Hayashi Masaki
 湿度増加環境下のベントナイトの変形挙動／足利工業大学 [正] 西村 友良
 III-217 粒状の砂・ベントナイト混合土の締固め性に関する一考察／早稲田大学 [学] 篠崎 由梨・小峯 秀雄・千々松 正和
 III-218 FDR-V法によるベントナイト混合土の表面密度測定に関する再検討／岡山大学 [正] 小松 満・千々松 正和
 III-219 B型粘度計を用いた超重泥水の粘度測定結果の評価／早稲田大学 [学] 瀬川 一義・吉川 絵麻・小峯 秀雄
 III-220 モンモリロナイト含有率の低い試料におけるメチレンブルー吸着量試験の測定精度に関する検討／早稲田大学 [学] 石塚 光・小峯 秀雄・磯 さち恵

■地盤の動的挙動(1) / 15:20~16:40 / 中澤 博志(防災科学技術研究所)

- III-221 埋立地盤の液状化強度特性を考慮した地震応答解析／東京電機大学 [正] 石川 敬祐・安田 進
 III-222 3次元静的残留変形解析の各種液状化対策工法への応用／大成建設 [正] 小林 真貴子・立石 章・宇野 浩樹
 III-223 高強度製鋼スラグ材を用いた密度増大工法の液状化対策効果／大林組 [正] 伊藤 浩二・宮岡 修二
 III-224 格子状改良・排水工法の液状化対策効果に関する試算(その4) —排水材配置を考慮した2次元有効応力解析—／西松建設 [正] 小宮 隆之・平野 孝行・齋藤 禎二郎
 III-225 格子状改良・排水工法の液状化対策効果に関する試算(その5) —排水材配置を考慮した3次元有効応力解析—／群馬大学 [学] 狩野 圭喬・蔡 飛・佐藤 靖彦
 III-226 擬似3次元モデルを用いた格子状地盤改良の解析検討／竹中土木 [正] 今井 政之・金田 一広・津國 正一
 III-227 鉱さい集積場の3次元すべり安定性評価による無被害事例の検証解析／大成建設 [正] 広重 敬嗣・石井 亘・立石 章
 III-228 すべり面形状および液状化の発生が3次元すべり安全率に及ぼす影響について／大成建設 [正] 石井 亘・広重 敬嗣・立石 章

■地盤の動的挙動(2) / 17:00~18:20 / 山口 恵美(関東学院大学)

- III-229 高吸水ポリマーを用いた揺動による埋設管被害の再現実験／東京電機大学 [学] 原 千明・安田 進・大保 直人
 III-230 地下水位低下により液状化対策を施した箇所の降雨時の水位／東京電機大学 [F] 安田 進・橋本 隆雄・内田 秀明
 III-231 熊本地震により液状化が発生した鉱さい堆積場の調査対策事例／基礎地盤コンサルタンツ [正] 伊東 周作・矢幡 竜弥・渡邊 大祐
 III-232 ポータブル動的貫入試験による大型試験体地盤の品質評価／防災科学技術研究所 [正] 河又 洋介・中澤 博志・寺田 竜士
 III-233 周辺施設への影響を考慮した護岸構造物の大規模振動実験／港湾空港技術研究所 [正] 寺田 竜士・小濱 英司・菅野 高弘
 III-234 地震動および波浪の作用を受ける護岸における地盤内挙動に関する遠心模型実験／海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 [正] 小濱 英司
 III-235 1G振動台実験による粘り強いケーソン式岸壁の検討／竹中工務店 [正] 金田 一広・山崎 浩之・佐々 真志
 III-236 熊本県益城町における常時微動観測結果の評価／ニュージェック [正] 平井 俊之・大島 昭彦・小坂 慎一

III-4 (センター2号館2104教室) / 9月12日(火)

■地盤の動的挙動(3) / 9:00~10:20 / 規矩 大義(関東学院大学)

- III-237 新潟市域沖積層の地震時地盤応答特性に関する基礎的研究／新潟大学 [学] 尾崎 佑輔・保坂 吉則・大竹 雄
 III-238 圧密履歴を有する粘性土地盤上の盛土の地震時挙動／京都大学 [正] 上田 恭平・芦野 貴之・井合 進
 III-239 多方向繰返しせん断後の不攪乱粘土の再圧密特性について／復建調査設計 [正] 佐藤 秀政・Tran Thanh Nhan・稗田 拓郎
 III-240 平成28年熊本地震における熊本城の被災築石構造物に関する研究／長崎大学 [学] 勝田 佑弥・蔭 宇静・大嶺 聖
 III-241 蛇籠擁壁の耐震性評価手法の検討(その1) —中詰材の要素試験—／高知大学 [学] 田所 佑理佳・原 忠・末次 大輔
 III-242 蛇籠擁壁の耐震性評価手法の検討(その2) —蛇籠構造の模型実験—／佐賀大学 [正] 末次 大輔・松尾 光流・中澤 博志
 III-243 蛇籠擁壁の耐震性評価手法の検討(その3) —再現解析による評価—／エイト日本技術開発 [正] 栗林 健太郎・原 忠・末次 大輔
 III-244 支圧抵抗と摩擦抵抗を組み合わせた補強土壁の地震応答解析／矢作建設工業 [正] 武藤 裕久・長沼 明彦・小高 猛司

■地盤の動的挙動(4) / 10:40~12:00 / 上田 恭平(京都大学)

- III-245 破壊条件の違いを考慮した繰返し弾塑性モデルによる浮上り遠心実験のシミュレーション／大成建設 [正] 宇野 浩樹・立石 章・岡 二三生
 III-246 廃タイヤチップを用いた水平補強による液状化対策の地盤改良機構に関する研究／九州大学 [正] ヘマンタ ハザリカ・儲 楚・Amizatulhani Abdullah
 III-247 傾斜地盤上に建設された盛土の耐震性に及ぼす段切り処理の効果／名古屋大学 [正] 酒井 崇之・中野 正樹・西谷 徹
 III-248 鋼矢板を用いたため池堤補強工法に関する解析的検討／新日鐵住金 [正] 藤原 覚太・乙志 和孝・奥田 洋一
 III-249 画像解析を用いた遠心載荷振動模型実験によるフィルダム堤頂部の亀裂発達過程／農業・食品産業技術総合研究機構 [正] 田頭 秀和・黒田 清一郎・林田 洋一
 III-250 地震観測記録に基づくロックフィルダム堤体の動的物性に関する研究／埼玉大学 [学] 田那部 直也・曾田 英揮・茂木 秀則
 III-251 せん断変形を受けた土質しゃ水材料の透水特性に関する実験的研究／電源開発 [正] 久野 彰大・高島 正治

III-4 (センター2号館2104教室) / 9月13日(水)

■土の動的性質(1) / 9:00~10:20 / 橋本 隆雄(国士館大学)

- III-252 2016年熊本地震のKIK-net益城の観測地震波による豊浦砂の液状化試験／東京電機大学 [学] 佐藤 剛・安田 進・石川 敬祐
 III-253 熊本地震における家屋被害に関わったと思われる火山灰性粘性土の動的変形特性／茨城大学 [F] 安原 一哉・渡邊 大樹・吉見 雅行
 III-254 微視的構造に着目した熊本平野における火山灰質砂の液状化特性／九州大学 [学] 小合 克弥・ハザリカ ヘマンタ・國生 剛治
 III-255 Undrained Cyclic Torsional Shear Test on Sand Boil Retrieved after the 2016 Kumamoto Earthquake／九州工業大学 [学] 劉 浩・永瀬 英生・廣岡 明彦
 III-256 初期せん断応力下での複数回液状化試験における再圧密条件の影響／東京大学 [学] 森本 時生・青柳 悠大・古関 潤一
 III-257 浦安砂の液状化特性に過圧密効果が及ぼす影響／東京電機大学 [学] 金井 勇介・石川 敬祐・安田 進
 III-258 消散エネルギーを用いた豊浦砂の再液状化特性の定式化／東京大学 [学] 山崎 佑太郎
 III-259 高压条件下中空ねじりせん断装置を用いた繰返し変形特性取得の試み／産業技術総合研究所 [正] 野田 翔兵・木村 匠・坂本 靖英

■土の動的性質(2) / 10:40~12:00 / 安田 進(東京電機大学)

- III-260 1g下振動台実験による長尺短冊型ドレーン工法によるマンホール浮上対策の検討／芝浦工業大学 [正] 岡本 敏郎・阿部 豪
 III-261 薬液注入材の体積収縮に着目した強度発現メカニズムに関する研究／東京都市大学 [学] 石川 喜章・滝浦 駿介・末政 直晃
 III-262 細粒分を含む短繊維混合固化処理土の液状化特性／福岡大学 [学] 堀 哲巳・佐藤 研一・藤川 拓朗
 III-263 遠心模型実験に用いるセルロースエーテル水溶液が豊浦砂の特性に与える影響について／大成建設 [正] 忠野 祐介・宇野 浩樹・立石 章
 III-264 微生物代謝によって改良された砂の繰返し三軸強度比と炭酸カルシウム析出量の関係／川崎地質 [正] 塚本 将康・稲垣 由紀子・佐々木 哲也
 III-265 繰返しせん断作用下におけるクリンカアッシュの圧縮特性の把握／宇都宮大学 [学] 柳田 匡慶・海野 寿康・熊谷 隆宏
 III-266 加振時不飽和地盤のサクシオン変化に関する一考察／山梨大学 [学] 深沢 郁未・荒木 功平・藤森 弘晃
 III-267 非塑性シルトの強度特性と堆積構造の相違／みらい建設工業 [正] 足立 雅樹・安原 一哉・鳥袋 淳

■砂の変形強度 / 15:20~16:40 / 中井 健太郎(名古屋大学)

- III-268 供試体作製条件が繰返し載荷時のひずみ分布に与える影響／アースプライム [正] 佐々木 朋子・古関 潤一
 III-269 単純せん断試験と三軸せん断試験による砂の定常状態の比較／首都大学東京 [学] 水野 光輝・吉嶺 充俊
 III-270 定圧一面せん断試験による砂の定常状態密度の推定／首都大学東京 [正] 吉嶺 充俊・香西 勇祐・細野 康代
 III-271 砂質土の供試体作製時における初期含水比の違いが力学挙動に及ぼす影響／名城大学 [学] 御手洗 翔太・小高 猛司・板橋 一雄

- III-272 異方性を考慮した弾塑性構成モデルの開発と検証／東北学院大学 [学] 新田 悠生・飛田 善雄
- III-273 地盤の移動体積比に着目した擁壁背後地盤の大変形解析／早稲田大学 [学] 今田 耕太郎・赤木 寛一・桐山 貴俊
- III-274 最大粒径の異なる碎石の変形・強度特性／九州工業大学 [学] 黄 中原・永瀬 英生・廣岡 明彦
- III-275 三軸試験による礫質土の力学特性の評価における供試体密度の影響／名城大学 [学] 梅村 逸遊・小高 猛司・李 圭太

III-5 (センター2号館2215教室) / 9月11日(月)

■数値解析 / 9:00~10:20 / 橋 伸也(神戸大学)

- III-276 実物大スケールで応用するための3次元個別要素モデルによる地盤材料の強度定数の表現／大成建設 [正] 瓜谷 匠・福元 豊・大塚 悟
- III-277 2次元FEM静的解析におけるエネルギー伝達境界の適用性の検討／地震工学研究所 [正] 大島 快仁・宇高 竹和
- III-278 地すべり斜面におけるトンネル掘削解析のモデル化についての考察／山口大学 [学] 天藤 翔太・市原 翔・中島 伸一郎
- III-279 除荷問題における三次元効果に関する検討／JIPテクノサイエンス [正] 伊藤 肇・太田 秀樹・飯塚 敦
- III-280 集排水機能を具備するマクロエレメント法の準静的問題における近似精度の検証／名古屋大学 [正] 野中 俊宏・山田 正太郎・野田 利弘
- III-281 1次元軸対称問題によるメタンハイドレート生産時における内部浸食の数値解析的検討／大成建設 [正] 赤木 俊文・木元 小百合
- III-282 粒子法(SPH法)による衝突荷重評価のための粒子間隔の検討／大林組 [正] 遠藤 学・秋元 理仁・佐藤 一樹
- III-283 粒子法(SPH法)による土塊衝突荷重評価に関する研究／大林組 [正] 秋元 理人・遠藤 学・戸田 圭彦

■土壌地下水汚染(1) / 10:40~12:00 / 渡邊 保貴(電力中央研究所)

- III-284 重金属等を含む焼却主灰造粒固化物の長期溶出挙動評価(その2)／鹿島建設 [正] 河合 達司・佐藤 毅・川端 淳一
- III-285 重金属溶出量の標高(深度)分布について／基礎地盤コンサルタンツ [正] 丹下 良樹・岡本 幸一郎
- III-286 重金属の土壌溶出量公定分析における乾燥時間の短縮方法／大成建設 [正] 近藤 俊介・海野 円・高畑 陽
- III-287 自然由来重金属等含有土の大気曝露期間と不溶化効果の関係／早稲田大学 [学] 江原 佳奈・小峯 秀雄・井上 陽介
- III-288 不溶化処理土からの重金属溶出挙動評価／鹿島建設 [正] 佐藤 毅・河合 達司・川端 淳一
- III-289 石膏添加による自然由来有害金属不溶化について／早稲田大学 [学] 景山 隆弘・赤木 寛一
- III-290 砒素汚染泥水の鉄粉処理方法／五洋建設 [正] 柳橋 寛一・田中 裕一
- III-291 砒素吸着鉄粉の再生処理に使用したアスコルビン酸からの砒素回収方法／大成建設 [正] 海野 円・根岸 昌範・高畑 陽

■土壌地下水汚染(2) / 15:20~16:40 / 小峯 秀雄(早稲田大学)

- III-292 地下水汚染到達距離の評価に関するパラメーターの感度解析／竹中工務店 [正] 奥田 信康
- III-293 地下水流向流速の簡易計測装置の開発／山口大学 [正] 小野 文也・山本 浩一
- III-294 地下水透過性壁による地下水の中和およびふっ素浄化技術の開発／大林組 [正] 加藤 顕・日笠山 徹巳
- III-295 ベーパーディスク型地下水流向流速計の水質依存性に関する研究／山口大学 [学] 水保 勝基・山本 浩一・小野 文也
- III-296 碎石ダスト(スクリーニングス)を母材としたセメント改良土の遮水性に関する配合検討事例／鴻池組 [正] 大山 将・西村 良平・吉岡 由郎
- III-297 大規模切土工事におけるノンコア削孔スライムと地球統計学を用いた重金属の3次元分布評価の試み／大林組 [正] 奥澤 康一・中戸 敬明・久保 大樹
- III-298 二次元型植生実験装置による六価クロム汚染土壌浄化に関する基礎的検討／九州大学 [学] 森元 友紀・古川 全太郎・笠間 清伸
- III-299 画像解析を用いた異なる温度条件下における砂中の有機溶剤の挙動の評価／熊本大学 [学] 竹中 亮・椋木 俊文・塩田 絵里加

■フィルダム / 17:00~18:20 / 向後 雄二(東京農工大学)

- III-300 りルダムのコアゾーンにおける締固め状態の評価事例／水資源機構 [正] 坂本 博紀・曾田 英揮・小林 弘明
- III-301 変形係数に着目したコア材の締固め管理について／鹿島建設 [正] 辻 良祐・藤崎 勝利・吉田 輝

- III-302 フィルダムコアゾーンにおける密度鉛直分布の計測事例／鹿島建設 [正] 小林 弘明・坂本 博紀・有馬 慎一郎
- III-303 連続地震によって生じるため池堤体天端沈下量に及ぼす締固め度の影響／石川工業高等専門学校 [正] 新保 泰輝・中村 達也・ANTOINE DUTTINE
- III-304 荒廃沢ダムのシミュレーション解析への非線形構成式の適用／竹中土木 [正] 津野 正一・松本 徳久・安田 成夫
- III-305 ロックフィルダムを対象とした土水連成弾粘塑性FEM解析／鹿島建設 [正] 大野 進太郎・藤崎 勝利・京川 裕之
- III-306 長期的な圧密変形特性に着目したロックフィルダムの変形挙動／水資源機構 [正] 曾田 英揮・仁子 幸子・佐藤 信光

III-5 (センター2号館2215教室) / 9月12日(火)

■試験法・調査法(1) / 9:00~10:20 / 石川 敬祐(東京電機大学)

- III-307 SH型貫入試験の波形データと粒度との関係／中部大学 [正] 杉井 俊夫・余川 弘至・浅野 憲雄
- III-308 ハンマーの重量と落下高さを変化させた動的貫入試験の貫入効果について／東京都市大学 [学] 蓮沼 佑晃・田中 剛・伊藤 和也
- III-309 スクリューオーガによる掘削特性について／東京都市大学 [学] 花上 遼太・末政 直晃・伊藤 和也
- III-310 振動式貫入試験法による液状化想定地盤での原位置調査／海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 [正] 菅野 高弘・谷本 俊輔・小濱 英司
- III-311 コアドリルを用いたトンネル覆工背面の簡便な調査方法について／フジタ [正] 丹羽 廣海・村山 秀幸・岡崎 健治
- III-312 チューブ貫入による地盤の変形挙動に及ぼす拘束圧の影響／防衛大学校 [正] 正垣 孝晴・奥田 大史
- III-313 廃棄物埋立地における物理探査により推定した遮水シート設置深度のボーリング調査による検証／香川大学 [正] 山中 稔・松本 謙二・小城 祐樹
- III-314 音響トモグラフィ地盤探査による地下埋設物確認調査事例／大成建設 [正] 山上 順民・生井 康丈・古池 章紀

■試験法・調査法(2) / 10:40~12:00 / 津野 究(鉄道総合技術研究所)

- III-315 諏訪市上川・四賀における地盤調査(その1:調査概要とボーリング結果)／大阪市立大学 [学] 京矢 侑樹・大島 昭彦・小坂 慎一
- III-316 諏訪市上川・四賀における地盤調査(その2:動的コーン貫入試験)／大阪市立大学 [学] 野山 優一・大島 昭彦・京矢 侑樹
- III-317 諏訪市上川・四賀における地盤調査(その3:スウェーデン式サウンディング試験)／大阪市立大学 [学] 安田 賢吾・京矢 侑樹・大島 昭彦
- III-318 数量化Ⅱ類による土の液性限界試験のばらつき要因分析例／大阪工業大学 [学] 藤田 琢磨・日置 和昭・服部 健太
- III-319 劣化の著しい岩石に対する乾湿繰り返し試験装置の性能確認／フジタ [正] 新井 智之・丹羽 廣海・岡崎 健治
- III-320 高知高専型一面せん断試験機による定体積試験の高度化と液状化強度試験／高知工業高等専門学校 [学] 伊月 優星・岡林 宏二郎・常石 晶
- III-321 岩盤に支持された杭の模型実験による動的支持力と静的支持力の比較／土木研究所CAESAR [正] 河野 哲也・宮原 清・七澤 利明
- III-322 セメント水和熱を用いた高圧噴射攪拌杭径確認手法における地下水流影響の検討／ライト工業 [正] 村田 晋一・大西 高明・長崎 康司

III-5 (センター2号館2215教室) / 9月13日(水)

■リサイクル(1) / 9:00~10:20 / 末次 大輔(佐賀大学)

- III-323 エージング灰造粒物の環境適合性評価／清水建設 [正] 村田 博一・浅田 素之・川口 正人
- III-324 尿素肥料による想定木片混じり土の長期強度特性把握／名古屋大学 [学] 池上 浩樹・中野 正樹・酒井 崇之
- III-325 回転式破碎混合工法による低品質な建設発生土の改良手法の検討(その1) ~解きほぐし締固め土のトラフィカビリティについて~／日本国土開発 [正] 中島 典昭・佐藤 研一・藤川 拓朗
- III-326 回転式破碎混合工法による低品質な建設発生土の改良手法の検討(その2) 一解砕粒径及び仮置き期間が強度に及ぼす影響について一／福岡大学 [学] 近松 周平・中島 典昭・佐藤 研一
- III-327 低強度石炭灰混合材料の耐久性評価手法の検討(その3:炭種の違いによる影響)／福岡大学 [学] 池田 哲朗・佐藤 研一・藤川 拓朗

- III-328 高濃度フライアッシュスラリーの室内投入実験／東洋建設 [正] 鶴ヶ崎 和博・山崎 智弘
- III-329 中性化処理した上総層群泥岩の化学特性／九州産業大学 [学] 赤司 かがり・林 泰弘・佐藤 市郎

■リサイクル(2) /10:40~12:00/鶴ヶ崎 和博(東洋建設)

- III-330 種々の暴露条件下における石灰質混合材料の力学・溶出特性／福岡大学 [学] 豊永 麻依・佐藤 研一・藤川 拓朗
- III-331 フェロニッケルスラグ混合土の路床・路盤材への適用性の検討／福岡大学 [学] 福味 尊・佐藤 研一・藤川 拓朗
- III-332 自然砂を混合した高炉水砕スラグの液状化強度特性／九州大学 [学] 王 韋ブン・石蔵 良平・安福 規之
- III-333 破碎による粒度分布の変化が高炉水砕スラグのせん断強度特性に及ぼす影響／九州大学 [学] 坂田 智美・安福 規之・石蔵 良平
- III-334 海砂混合に伴う高炉水砕スラグの硬化・透水特性の変化／山口大学 [F] 松田 博・TRAN NHAN・堤 祥亮
- III-335 粘性土の違いに着目した焼きほぐし竹チップ混合土の強度・変形特性／福岡大学 [学] 村尾 勇成・佐藤 研一・藤川 拓朗

III-6 (センター2号館2212教室) /9月11日(月)

■トンネル(1) /9:00~10:20/伊東 佳彦(土木研究所寒地土木研究所)

- III-336 山岳トンネルのリスク低減に関する検討(その1)ーリスク分類と対応策ー／鴻池組 [正] 山田 浩幸・芥川 真一
- III-337 山岳トンネルのリスク低減に関する検討(その2)ー大変形・地すべり・山はねに関連するリスクの管理ー／大成建設 [F] 小原 伸高・大谷 達彦・奥井 裕三
- III-338 山岳トンネルにおけるリスク低減に関する検討(その3)ー一切羽崩壊・地表面陥没に関連するリスクの管理ー／竹中土木 [正] 市川 晃央・山本 雅広・小川 淳
- III-339 山岳トンネルのリスク低減に関する検討(その4) /大林組 [正] 木梨 秀雄・土田 淳也・福田 毅
- III-340 山岳トンネルのリスク低減に関する検討(その5)ー維持管理に関連するリスクの管理ー／ケー・エフ・シー [正] 岡部 正・安田 亨・寺戸 秀和
- III-341 性状変化が激しい泥岩を前方探査にて事前に評価し掘削／前田建設工業 [正] 北澤 剛・江島 武
- III-342 水平ボーリング孔での指向性ボアホールレーダによる水みち分布調査への適用／鹿島建設 [正] 松下 智昭・升元 一彦・白鷺 卓
- III-343 AI的方法を利用した地山評価に関する研究／大林組 [正] 畑 浩二・中岡 健一

■トンネル(2) /10:40~12:00/重田 佳幸

(パシフィックコンサルタンツ)

- III-344 盤ぶくれが発生した東北地方の高速道路トンネルにおける地山物性値の傾向 ~粘土鉱物特性に着目して~／ネクスコ・エンジニアリング東北 [正] 安田 賢哉・山家 信幸・宮沢 一雄
- III-345 供用中道路トンネルにおける路面隆起と室内試験結果の関係について／ネクスコ・エンジニアリング東北 [正] 山家 信幸・村山 暢・白川 優衣
- III-346 地山の膨張性を考慮した山岳トンネルの補修設計への適用例／日本工営 [正] 太田 敬一・渡邊 長浩・京谷 孝史
- III-347 インパクト形状ならびに構造の違いが盤ぶくれに与える影響に関する模型実験／鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正] 渡辺 和之・下津 達也・嶋本 敬介
- III-348 供用中の山岳トンネルの盤ぶくれに対する構造補強の効果に関する数値解析／鉄道総合技術研究所 [正] 嶋本 敬介・野城 一栄・久保原 猛
- III-349 地圧を受ける変状トンネルにおけるモニタリングシステムの構築／鉄道総合技術研究所 [正] 森瀬 喬士・嶋本 敬介・津野 究
- III-350 山岳トンネル覆工の耐荷性能・変形性能に関する基礎的検討／長岡技術科学大学 [学] 茶木 勇太・野城 一栄
- III-351 トンネルの薄肉支保工に関する基礎的研究／首都大学東京 [学] 中島 秀・西村 和夫・土門 剛

■トンネル(3) /15:20~16:40/村山 秀幸(フジタ)

- III-352 大土被りトンネルにおける変形制御型支保技術の解析的検討／鹿島建設 [正] 岡田 祐子・岩野 圭太・小泉 悠
- III-353 破碎帯と交差する大断面トンネルの施工／鴻池組 [正] 福井 正規・吉田 武久・藤井 洋行
- III-354 鉄塔直下と鉄道トンネル近接部における山岳トンネルの施工／鴻池組 [正] 山下 和也・山田 浩幸・永田 常雄

- III-355 地すべり地帯におけるトンネルの安定対策工／戸田建設 [正] 奥 博志・大原 宏敬・内藤 将史
- III-356 削工エネルギーと地質展開写真による地山評価(その1:切羽画像撮影装置) /大成建設 [正] 古賀 快尚・市来 孝志・谷 卓也
- III-357 削孔エネルギーと地質展開写真による地山評価(その2:3次元的地質構造の把握) /大成建設 [正] 市来 孝志・山上 順民・谷 卓也
- III-358 切羽写真の画像解析による亀裂分布の定量的解析と現場への適用／鹿島建設 [正] 戸邊 勇人・宮嶋 保幸・山本 拓治
- III-359 数値解析に基づく先受工の施工範囲に関する一考察／土木研究所 [正] 北川 洋平・岸田 展明・日下 敦

■トンネル(4) /17:00~18:20/松下 智昭(鹿島建設)

- III-360 覆工巻厚および背面空洞とびびわれパターンの関係性分析 /パシフィックコンサルタンツ [正] 前田 洗樹・水野 希典・重田 佳幸
- III-361 光切断法を用いた表面形状データによるトンネル覆工コンクリート評価への提案 /西日本高速道路エンジニアリング四国 [正] 山本 達哉・橋本 和明・松田 靖博
- III-362 横断方向びびわれと走行型計測の変形モード解析による外力性変状の評価について /パシフィックコンサルタンツ [正] 重田 佳幸・水野 希典・前田 洗樹
- III-363 計測に基づくトンネル覆工コンクリートの健全度評価の試み /西日本高速道路エンジニアリング九州 [正] 谷口 徹也・山戸 隆秀・草場 雅哉
- III-364 トンネル覆工試験体の打音試験を対象とした数値シミュレーション /鉄道総合技術研究所 [正] 津野 究・嶋本 敬介・船越 宏治
- III-365 壁面びびり法によるトンネル覆工応力測定における削孔深度 /応用地質 [正] 奥井 裕三・國村 省吾・西村 和夫
- III-366 覆工コンクリートのせん断変形に対する追従性の確認 /土木研究所 [正] 小出 孝明・砂金 伸治・日下 敦
- III-367 トンネル内の金属系あと施工アンカーの施工状態とアンカー引抜き耐力の関係に関する基礎的実験 /土木研究所 [正] 日下 敦・小出 孝明・岸田 展明

III-6 (センター2号館2212教室) /9月12日(火)

■トンネル(5) /9:00~10:20/畑 浩二(大林組)

- III-368 SDA-SWING法による山岳トンネル施工時湧水量の予測 /竹中土木 [正] 森 守正・安田 亨・市川 晃央
- III-369 高水位を有する岩盤における非排水性構造トンネルの挙動解析 /大成建設(元長崎大学) [正] 前野 克治・蔭 宇静・手塚 仁
- III-370 変形制御型ロックボルトの開発 /鹿島建設 [正] 岩野 圭太・岡田 祐子・伊達 健介
- III-371 山岳トンネルに用いる可縮支保部材に関する検討 /大成建設 [正] 谷 卓也・坂井 一雄・青木 智幸
- III-372 トンネルの変形抑制効果を期待したロックボルトの合理的な長さに関する検討 /鉄道・運輸機構 [正] 玉井 達毅・外山 真・嶋本 敬介
- III-373 個別要素法を用いた低強度地山における曲面切羽の安定性に関する検討 /首都大学東京 [学] 石橋 拓也・住田 亮介・土門 剛
- III-374 都市部小断面NATMによる地下鉄アンダーピニング用導坑施工実績 /鹿島建設 [正] 小野塚 大輔・矢野 孝司・小林 直広
- III-375 無導坑超近接トンネルの掘削時挙動 /神戸大学 [学] 田中 佑弥・土門 剛・西村 和夫

■トンネル(6) /10:40~12:00/杉山 博一(清水建設)

- III-376 応答変位法と地震時主働土圧を用いた発生断面力の比較によるU型擁壁の耐震設計手法に関する検討 /鉄道総合技術研究所 [正] 西山 和宜・小湊 祐輝・仲山 貴司
- III-377 偏土圧の影響に着目した3ヒンジ式アーチカルバートの横断方向の地震時挙動 /京都大学 [学] 宮崎 祐輔・澤村 康生・岸田 潔
- III-378 盛土中のトンネルの耐震設計に用いる盛土形状を考慮した地盤変位算定手法の提案と試算 /鉄道総合技術研究所 [正] 小林 克哉・仲山 貴司・西岡 英俊
- III-379 異高型複断面トンネルを対象とした動的荷重実験 /東京地下鉄 [正] 佐々木 孝太・前川 宏一・津野 究
- III-380 異高型複断面トンネルを対象とした静的荷重実験の再現解析 /東京地下鉄 [正] 角田 隆太・前川 宏一・土屋 智史
- III-381 特徴点追跡手法を用いた岩盤構造物の変状モニタリングに関する研究 /大林組 [正] 藤岡 大輔・畑 浩二・西山 哲

- III-382 ダイレクタンシーがトンネルの変位と岩盤のひずみ分布におよぼす影響についての検討／大林組 [正] 中岡 健一・畑浩二・木梨 秀雄
- III-383 炭素繊維シートを鋼材により固定した場合のトンネル補強効果に関する実験的検討／土木研究所 [正] 石村 利明・砂金 伸治・日下 敦

III-6 (センター2号館2212教室) / 9月13日(水)

■シールド(1) / 9:00~10:20 / 砂金 伸治(土木研究所)

- III-384 シールドトンネルにおける継手面のシールド材止水実験／鉄道総合技術研究所 [正] 船越 宏治・津野 究・亀田 孝秀
- III-385 シールドによる地盤変位に対する掘進速度の影響について／鉄道・運輸機構 [正] 川原 悠・田中 淳寛・千代 啓三
- III-386 鋼製シールドトンネルのセグメント腐食減肉に伴う二次覆工への応力移行に関する一考察／NTT [正] 松本 安弘・石川 琢也・出口 大志
- III-387 七号地層粘性土層におけるセグメントに作用する土圧の設定例／東京電力パワーグリッド [正] 金城 佑紀・出雲 力斗・小寺 洋
- III-388 穿孔法を応用したセグメントの主鋼材に作用する応力度推定法の開発／東京電力ホールディングス [正] 岡 滋見・齋藤 仁・吉本 正浩
- III-389 供用中高速道路トンネル直下の泥土圧式シールド掘進／西松建設 [正] 中野 文彦・吉田 吉孝
- III-390 ヘリカルリボン翼型アジテータの適用性検討／清水建設 [正] 中谷 篤史・杉山 博一・岩井 俊之

■シールド(2) / 10:40~12:00 / 團 昭博(中央復建コンサルタンツ)

- III-391 シールドトンネルの覆工における基礎的挙動に関する一考察／土木研究所 [正] 坂本 昇・森本 智・砂金 伸治
- III-392 シールドトンネルの基礎的挙動に着目したシールド材に関する実験的考察／土木研究所 [正] 森本 智・砂金 伸治・日下 敦
- III-393 大断面・超近接・併設シールドトンネル間の地盤特性／阪神高速道路 [正] 平野 正大・藤原 勝也・陣野 員久
- III-394 大断面・超併設・長距離シールドトンネルの併設影響に関する一考察／阪神高速道路 [正] 藤原 勝也・平野 正大・長屋 淳一
- III-395 鉄道シールドトンネルの試設計における一考察／中央復建コンサルタンツ [正] 中里 大樹・坂田 智基・室谷 耕輔
- III-396 葛西橋通り付近管路新設工事における塩害環境下でのRCセグメント耐久性設計／東京電力パワーグリッド [正] 出雲 力斗・金城 佑紀・小寺 洋

■岩の工学的性質・地震防災 / 15:20~16:40 / 岡崎 健治(土木研究所)

- III-397 熊本地震により発生した地表地震断層の特徴／基礎地盤コンサルタンツ [正] 田中 慎吾・山下 浩二・山口 剛史
- III-398 「活断層」再考／明大工業 [正] 吉村 辰朗
- III-399 地下ダム場における溶質輸送現象の定量化／神戸大学 [学] 濱田 莉葉子・井上一 哉・田中 勉
- III-400 粘土鉱物の構造の違いに着目した岩質材料の一軸圧縮強度に関する一考察／鳥取大学 [学] 竹原 裕太・河野 勝宣・西村 強
- III-401 三軸応力下における凝灰岩の変形異方性／鉄道総合技術研究所 [正] 富樫 陽太・菊本 統・谷 和夫
- III-402 高温環境下にある軟岩とALCの時間依存性に関する実験的研究／埼玉大学 [正] 山辺 正・金子 泰彦・須田 悠尽
- III-403 数値解析を用いた直接処分施設の掘削・廃棄体運搬時における影響予測／福島工業高等専門学校 [学] 西内 瑞生・林 久資・金澤 伸一
- III-404 熱・水・応力・化学連成解析モデルによる不連続性岩盤の長期透水特性予測／京都大学 [学] 緒方 奨・岸田 潔・安原 英明

III-7 (センター2号館2214教室) / 9月11日(月)

■圧密(1) / 9:00~10:20 / 片桐 雅明(日建設計シビル)

- III-405 舞鶴若狭自動車道若狭地区の建設時に11m沈下した盛土の残留沈下と補修状況／中日本高速道路 [正] 稲垣 太浩・田中 正生
- III-406 うめきた帯水層の地下水位低下による粘土層の沈下量予測／大阪市立大学 [学] 末吉 拳一・大島 昭彦・小坂 慎一
- III-407 うめきた粘土層の地下水位変動による繰返し圧密挙動を考慮した沈下量予測／大阪市立大学 [正] 大島 昭彦・末吉 拳一・小坂 慎一

- III-408 大阪・神戸地域の浅層帯水層の地下水位低下による地盤沈下量の予測／大阪市立大学 [学] 小坂 慎一・大島 昭彦・中村 優孝
- III-409 塩釜粘土の圧密沈下ポテンシャルの基礎的研究／東北工業大学 [学] 川村 雄大・今西 肇・権 永哲
- III-410 宮城県塩竈市新浜地区に堆積する沖積粘土の微視的観察と圧密特性／石川工業高等専門学校 [学] 小川 真・重松 宏明・川瀬 拓也
- III-411 宮城県塩竈市新浜地区に堆積する沖積粘土の過圧密・正規圧密領域における力学特性／石川工業高等専門学校 [学] 高井 静也・重松 宏明・出村 隆能
- III-412 荷重増分比の異なる不攪乱粘性土の一次元圧密挙動／東海大学 [学] 吉富 隆弘・飯沼 孝一・杉山 太宏

■圧密(2) / 10:40~12:00 / 梅崎 健夫(信州大学)

- III-413 ニューラルネットワークによって推定された沖積粘土層の圧密定数の妥当性／大阪大学 [学] ト 令東・小田 和広
- III-414 一次元圧密の二次元圧密モデルに関する一考察／東海大学 [正] 杉山 太宏・石塚 知己・吉富 隆弘
- III-415 低塑性から高塑性の浚渫粘性土の多層沈降実験／日建設計シビル [正] 片桐 雅明・國田 淳・樋口 晃
- III-416 浚渫粘性土に対する拘束圧下でのかく乱・減容化効果の実験的検証／東亜建設工業 [正] 田中 洋輔・御手洗 義夫・木内 大介
- III-417 高圧脱水固化処理した関門航路浚渫土の強度特性／九州大学 [学] 豊里 亮喜・笠間 清伸・古川 全太郎
- III-418 間隙比に着目した浚渫海成粘土の効率的処分に関する研究／広島大学 [学] 遠藤 秀祐
- III-419 灰処分場の沈下特性に関する考察／中国電力 [正] 谷田 哲也・齊藤 直・林 稔
- III-420 高圧下における火山灰質土の締固めと破碎の特性に関する研究／大成建設 [正] 秋元 宏仁・末政 直晃・伊藤 和也

■土留め(1) / 15:20~16:40 / 神田 政幸(鉄道総合技術研究所)

- III-421 熊本地震におけるブロック積擁壁の被災状況について／全国土木コンクリートブロック協会 [正] 近藤 和仁・金丸 和生・松岡 智
- III-422 地震時土圧力算定における上載盛土の影響に関する基礎検討／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 工藤 敦弘・中島 進・成田 浩明
- III-423 小型模型石積み壁を用いた引き抜き崩壊実験／鉄道総合技術研究所 [正] 湯浅 友輝・高柳 剛・酒井 久和
- III-424 SPH-DEM法に基づく石積み擁壁の模型実験に対する数値シミュレーション／法政大学 [学] 伊吹 竜一・小野 祐輔・湯浅 友輝
- III-425 箱型ブロックに設置した抵抗板の特性と効果について／九州大学 [学] 史 大磊・安福 規之・末松 吉生
- III-426 グラウンドアンカー定着地盤の最大周面摩擦抵抗の簡易推定方法と連続打撃貫入抵抗との関係／興和 [正] 中野 義仁・本間 則之・山本 宏幸

■土留め(2) / 17:00~18:20 / 杉山 太宏(東海大学)

- III-427 道路土工におけるプレキャスト擁壁の構造的特徴／土木研究所 [正] 澤松 俊寿・宮武 裕昭
- III-428 都市部におけるCSM (カッターソイルミキシング)工法の適用と施工実績 その1—東西線木場駅改良工事—／東京地下鉄 [正] 伊藤 聡・橋口 弘明・山中 耕太郎
- III-429 都市部におけるCSM工法の適用と施工実績 その2—東西線木場駅改良工事—／鹿島建設 [正] 星野 恭平・橋口 弘明・山中 耕太郎
- III-430 高地下水位かつ掘削深さ10mを超える箇所での斜め土留め工法の適用事例／大林組 [正] 大川 祥功・照井 太一・藤木 豊
- III-431 控え壁の挙動に着目した鋼矢板方式斜め土留めの検証／大林組 [正] 照井 太一・杉江 茂彦・高橋 真一
- III-432 土中通電による土と鋼材壁面の摩擦低減効果に関する基礎的研究／前田建設工業 [正] 野田 兼司・石黒 健・飯島 健
- III-433 高吸水性ポリマー改良土の品質管理法に関する検討／早稲田大学 [学] 廣瀬 雅弥・赤木 寛一

III-7 (センター2号館2214教室) / 9月12日(火)

■維持・補修 / 9:00~10:20 / 日下 敦(土木研究所)

- III-434 レーザドップラ振動計を用いた空隙を有するコンクリートの音響反射振動／明石工業高等専門学校 [学] 上杉 潤矢・鍋島 康之
- III-435 漏水を生じるトンネルの覆工背面における地質と湧水の水

- 質について/土木研究所寒地土木研究所 [正] 岡崎 健治・倉橋 稔幸・丹羽 廣海
- III-436 供用中のトンネルにおける安全な内巻工の施工について/西日本高速道路 [正] 澤井 健二・久保 謙吾・福田 滉人
- III-437 傾斜地盤上の軟弱地盤に構築した高速道路盛土の変状要因の推定と対策工事計画の一事例/ネクソコ東日本エンジニアリング [正] 西村 光司・奥村 欣司・加賀 学
- III-438 高速道路の盛土補強対策における地盤の強度定数の評価方法/NEXCO西日本コンサルタンツ [正] 松川 耕治・笠間 清伸・田山 聡
- III-439 事例調査によるグラウンドアンカーの荷重増加原因の考察/土木研究所 [正] 杉井 良平・高木 将行・石黒 梓
- III-440 プレア・ヴィヘア寺院第三ゴブラにおける地盤調査と石積構造物の変状分析/関西大学 [学] 桑島 流音・小山 倫史

■凍結・凍土/10:40~12:00/林 宏親(土木研究所寒地土木研究所)

- III-441 凍土方式遮水壁 閉合手順の検討(未凍結箇所)の閉合影響検討—凍土方式遮水壁大規模整備実証事業(その9)—/鹿島建設 [正] 江崎 太一・宇津野 衛・田部井 和人
- III-442 小規模凍土壁実証試験のブライン間欠運転に関する解析的検討—凍土方式遮水壁大規模整備実証事業(その10)—/鹿島建設 [正] 田部井 和人・並川 正・森川 誠司
- III-443 遮水壁内部の局所的な地下水位低下を想定した注水効果に関する検討—凍土方式遮水壁大規模整備実証事業(その11)—/鹿島建設 [正] 瀬尾 昭治・中野 誠門・野中 隼人
- III-444 凍土造成に伴う地中温度管理と補助工法実績—凍土方式遮水壁大規模整備実証事業(その12)—/鹿島建設 [正] 上原 昌也・阿部 功・山本 正嗣
- III-445 室内試験に基づく現地地盤の凍上・沈下予測の評価事例/精研 [正] 大石 雅人・仙宏 宏・大畝 丈広
- III-446 載荷条件下における不凍水量と透水系数の関係/奥村組土木興業 [正] 廣瀬 剛・伊藤 譲
- III-447 凍土形成時の熱流直交方向への膨張特性に関する基礎的研究/北海道大学 [学] 栗城 雅史・金内 亮・天沼 稚香子
- III-448 凍結融解に因る地盤・構造物の連成挙動に関する研究/北海道大学 [学] 高橋 佳佑・白石 映人・工藤 史登

III-7 (センター2号館2214教室) / 9月13日(水)

■補強土(1) / 9:00~10:20/宮本 慎太郎(防衛大学校)

- III-449 急勾配地山補強材を用いた既設もたれ壁の耐震補強工法に関する模型実験の検証/東日本旅客鉄道 [正] 鈴木 健一・池本 宏文・高崎 秀明
- III-450 急勾配地山補強材を用いた既設もたれ壁の耐震補強工法の補強効果に関する感度分析/ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 桐生 郷史・鈴木 健一・谷口 義則
- III-451 帯鋼補強土壁の補強材敷設領域が内的安定に与える影響に関する動的遠心模型実験/京都大学 [学] 柴田 尚紀・澤村 康生・木村 亮
- III-452 パッカー付補強材を用いた盛土補強対策工について/大林組 [正] 小笠原 啓人・富田 泰史・渡辺 郁夫
- III-453 補強土壁における耐震性に与える補強材剛性の影響/ヒロセ [正] 大谷 義則・若井 明彦・渡邊 泰介
- III-454 両面補強土壁の地震時挙動に関する一考察/豊田工業高等専門学校 [学] 鈴木 恒太・小林 睦・三浦 均也
- III-455 兵庫県南部地震で被災した剛な一体型壁面工を有する補強土擁壁の検証解析/鉄道総合技術研究所 [正] 中島 進・渡辺 健治

■補強土(2) / 10:40~12:00/橋本 聖(土木研究所)

- III-456 μ_x 線CTを用いた補強材引抜き時のせん断ひずみ分布の可視化/京都大学 [学] 木村 鴻志・澤村 康生・木戸 隆之祐
- III-457 補強土壁工における補強材と裏込め材の摩擦特性/西日本高速道路 [正] 湯浅 利幸・大藤 貴也・田山 聡
- III-458 先端拡大型補強材の加圧注入効果/大日本土木 [正] 中谷 登・竹村 佳真・林 豪人
- III-459 多数アンカー式補強土壁の鋼材腐食調査/岡三リビック [正] 中村 真司・小浪 岳治・林 豪人
- III-460 盛土補強土工法における棒状補強材の合理的配置に関する検討/八千代エンジニアリング [正] 吉川 修一・中村 洋文・藤岡 一頼
- III-461 補強土壁の変状要因検知技術検証のための実大実験/土木研究所 [正] 新田 武彦・宮武 裕昭・藤田 智弘
- III-462 補強土壁の損傷検知技術検証のための実大実験/岡三リビック [正] 林 豪人・藤田 智弘・佐藤 登
- III-463 補強土壁における水平ポーリングの排水効果に関する実大実験/旭化成アドバンス [正] 村中 俊裕・佐藤 登・藤田 智弘

■補強土(3) / 15:20~16:40/河村 隆(信州大学)

- III-464 石積み壁ののり面低減係数に関する実験的検討/鉄道総合技術研究所 [正] 高柳 剛・太田 直之・山田 祐樹
- III-465 緩勾配化した切土補強土擁壁の設計合理化に関する検討/鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正] 山崎 貴之・陶山 雄介・高野 裕輔
- III-466 壁面変位による補強土壁の健全性評価に関する一考察/土木研究所 [正] 佐藤 登・澤松 俊寿・新田 武彦
- III-467 裏込め静的載荷時における壁面材形状の異なる補強土壁の変形挙動について/九州工業大学 [学] 佐藤 史啓・廣岡 明彦・永瀬 英生
- III-468 急勾配化した補強盛土の列車繰返し荷重に対する残留変位・累積変形特性の把握/鉄道・運輸機構 [正] 阪田 暁・山崎 貴之・高野 裕輔
- III-469 変状発生により再構築した補強土壁の表面波探査による盛土性状の把握/土木研究所寒地土木研究所 [正] 橋本 聖・川尻 峻三・川口 貴之
- III-470 段階式繰返し載荷試験によるジオセル補強地盤の支持力特性および応力分散効果/日本大学 [学] 伊藤 友哉・峯岸 邦夫・山中 光一

III-8 (センター2号館2213教室) / 9月11日(月)

■安全性・信頼性(1) / 9:00~10:20/兵動 正幸(山口大学)

- III-471 関東地方の市町村レベルでの自然災害リスクGNSの評価/東京都市大学 [学] 高徳 亮太・石澤 幹太・伊藤 和也
- III-472 応答曲面法による豪雨時のため池破堤に関するリスク評価/岡山大学 [正] 西村 伸一・水間 啓慈・柴田 俊文
- III-473 Coupled Markov Chainモデルを用いた地層構成の確率的内挿—地盤調査の多寡を考慮した河川堤防リスクマネジメントモデルへ向けて—/新潟大学 [学] 小出 央人・大竹 雄
- III-474 控え矢板式係船岸の永続状態の根入れ長におけるレベル1信頼性設計法に関する検討/エコー [正] 松原 弘晃・竹信 正寛・宮田 正史
- III-475 港湾構造物の円弧すべり照査における荷重抵抗係数アプローチによる部分係数法の検討/パシフィックコンサルタンツ [正] 川俣 秀樹・竹信 正寛・宮田 正史
- III-476 粘り強い防波堤構築のための被覆ブロックの安定性に関する水理模型実験/九州大学 [学] 竹下 修平・笠間 清伸・平澤 充成
- III-477 仮設土留めのリアルタイム安全監視システム構築へ向けた逆解析の定式化/新潟大学 [学] 児玉 真乃介・大竹 雄・本城 勇介

■安全性・信頼性(2) / 10:40~12:00/伊藤 和也(東京都市大学)

- III-478 地震災害後の早期道路復旧に向けた路面下空洞調査の活用/ジオ・サーチ [正] 岡本 順平・松隈 努・濱崎 哲次
- III-479 熊本地震による河川堤防の変状要因の推定を目的とした堤体開削調査/建設技術研究所 [正] 高田 晋・松下 俊樹・長船 建太郎
- III-480 2016熊本地震における地盤変状による小規模建築物の被害と地盤改良長の関係/山口大学 [正] 兵動 正幸・小川 正宏・渡邊 学歩
- III-481 熊本地震を対象とした地形地質情報に基づく河川堤防の被災分析/九州大学 [学] 長濱 康太・安福 規之・石蔵 良平
- III-482 山陽自動車道盛土の降雨に対する安定性評価/西日本高速道路 [正] 竹國 一也・竹本 将・秦 二期
- III-483 路盤陥没に対する列車運転規制と対策工事の効果の検証について/東日本旅客鉄道 [正] 細井 学・武田 亮祐・室谷 貴弘
- III-484 重力異常と亜炭層深度・層厚との相関/中部大学 [学] 伊藤 健介・杉井 俊夫・浅野 憲雄

■現場計測(1) / 15:20~16:40/安井 利彰(前田建設工業)

- III-485 近接土留めへの影響を考慮した機械攪拌工法地盤改良の施工(その1)—周辺地盤への影響と対策—/西松建設 [正] 吉田 吉孝・村川 徳尚・草野 孝三
- III-486 近接土留めへの影響を考慮した機械攪拌工法地盤改良の施工(その2)—近接土留めの事前影響検討—/西松建設 [正] 高橋 寛行・土屋 光弘・吉田 吉孝
- III-487 近接土留めへの影響を考慮した機械攪拌工法地盤改良の施工(その3)—近接土留めの実挙動と考察—/西松建設 [正] 草野 孝三・吉田 吉孝・佐藤 靖彦
- III-488 軟岩の原位置せん断摩擦試験結果例による一考察/基礎地盤コンサルタンツ [正] 和田 英孝・岩崎 博一
- III-489 ジオセルを用いた高館ロームの切土凍上抑制工法の原位置試験/八戸工業大学 [学] 小笠原 亮介・盛 健太郎・橋詰 豊

- III-490 バイプロコーン貫入試験データのコア分析による評価／産業技術総合研究所 [正] 中島 善人・神宮司 元治
- III-491 改良型土圧センサーによる模型砂地盤の除荷に伴う応力再配分の把握／日本大学 [学] 榎木 英洋・重村 智・岡嶋 礼男

■現場計測(2) / 17:00~18:20 / 神宮司 元治(産業技術総合研究所)

- III-492 PSOとNNのハイブリット同定システムにおける地下水水位モニタリング／防衛大学校 [学] 小松 喜治・堀口 俊行・香月 智
- III-493 砕石地盤改良体を用いた盛土の排水効果の検証／高速道路総合技術研究所 [正] 藤原 優・酒井 俊典・大石 新之介
- III-494 凍結融解を受けた石油樹脂・アクリル樹脂系止水材の強度特性／東京電設サービス [正] 佐藤 亘・桑原 弘昌
- III-495 路面下に発生する空洞の発生状況の分析と考察／ジオ・サーチ [正] 小池 豊・濱也 幸樹
- III-496 軟弱地盤上に構築された盛土の圧密沈下予測値と実測値に関する一考察／東日本旅客鉄道 [正] 佐々木 愛・勝山 なつき・田附 伸一
- III-497 多層ニューラルネットワークを用いたのり面地盤の経時変化モニタリングの試み／西日本高速道路エンジニアリング関西 [正] 中村 真・楠見 晴重・大西 有三
- III-498 含水比の変化が締め固め地盤の強度および非破壊試験結果に及ぼす影響／九州大学 [学] 藤原 将真・安福 規之・石蔵 良平

III-8 (センター2号館2213教室) / 9月12日(火)

■基礎工 / 9:00~10:20 / 三反畑 勇(安藤・間)

- III-499 スカートサクシオン基礎の実海域実験(その1:概要および貫入実験) / 大林組 [正] 伊藤 政人・栗本 卓・松元 和久
- III-500 スカートサクシオン基礎の実海域実験(その2:撤去実験) / 大林組 [正] 粕谷 悠紀・濱地 克也・上條 宏明
- III-501 スカートサクシオン基礎の実海域実験(その3:水平載荷試験) / 大林組 [正] 栗本 卓・伊藤 政人・松岡 義博
- III-502 スカートサクシオン基礎の水平抵抗に対する解析的評価(その1:全応力解析) / 大林組 [正] 小山 宏人・栗本 卓・伊藤 政人
- III-503 スカートサクシオン基礎の水平抵抗に対する解析的評価(その2:有効応力解析) / 大林組 [正] 佐藤 伸・栗本 卓・伊藤 政人
- III-504 橋台背面の地盤抵抗を考慮した既設道路橋の耐震性能に関する解析的検討 / 土木研究所 [正] 今野 貴元・大城 一徳・眞弓 英大
- III-505 地山補強材を用いた橋台の耐震補強に関する解析的検討 / 鉄道総合技術研究所 [正] 上野 慎也・佐名川 太亮・西岡 英俊
- III-506 バットレス改良体を用いた片持ち鋼製橋脚の変位抑制効果に関する検討 / ジェイアール西日本コンサルタンツ [正] 高田 直明・森山 晃士・野村 顕

■支持力・基礎工 / 10:40~12:00 / 佐藤 伸(大林組)

- III-507 直接基礎橋脚模型を対象とした繰返し偏心荷重載荷実験(その1) / 鉄道総合技術研究所 [正] 黒木 悠輔・西岡 英俊・佐名川 太亮
- III-508 直接基礎橋脚模型を対象とした繰返し偏心荷重載荷実験(その2) / 鉄道総合技術研究所 [正] 佐名川 太亮・黒木 悠輔・西岡 英俊
- III-509 鋼矢板を用いた沈下対策工法の試算 / 鉄道総合技術研究所 [正] 戸田 和秀・西岡 英俊
- III-510 移動荷重載荷時のジオセル補強基礎の支持力特性 / 防衛大学校 [正] 宮本 慎太郎・宮田 喜壽・篠田 昌弘
- III-511 載荷試験結果の分析に基づく鉛直荷重を受ける柱状体基礎の設計法の検討 / 土木研究所 [正] 河村 淳・河野 哲也・七澤 利明
- III-512 超鋭敏粘土に沈設するニューマチックケーソン基礎における傾斜修正工の施工実績 / 鹿島建設 [正] 仲野 勝博・小堀 正樹・塚本 優
- III-513 旧長崎街道の構口橋台と路体の構造 / 佐賀市教育委員会 [正] 尾松 匠磨・正垣 孝晴・奥田 大史
- III-514 三重津海軍所舟屋地区の地盤特性と基礎杭の施工方法 / 興和 [正] 鈴木 直文・正垣 孝晴・奥田 大史

III-8 (センター2号館2213教室) / 9月13日(水)

■杭(1) / 9:00~10:20 / 福武 毅芳(清水建設)

- III-515 簡易な急速載荷試験の実験的研究(その1) —試験概要— / システム計測 [正] 成田 雅章・中西 義隆・澤石 正道
- III-516 簡易な急速載荷試験の実験的研究(その2) —試験結果に関する考察— / システム計測 [正] 中西 義隆・成田 雅章・澤石 正道
- III-517 簡易な急速載荷試験の実験的研究(その3) —試験結果の利用法に関する一考察— / 新日鉄住金エンジニアリング [正] 澤石 正道・和田 昌敏・中西 義隆
- III-518 掘り杭工法における支持層確認指標に関する考察 / 竹中土木 [正] 山田 修三・小西 一生
- III-519 砂質地盤中のサクシオンアンカーの把持力に関する遠心模型実験 / 東海大学 [正] 北 勝利・宇都宮 智昭・関田 欣治
- III-520 機械攪拌式地盤改良を用いた杭の施工性に関する遠心模型実験 / 大林組 [正] 須藤 敏巳・渡邊 康司・山本 忠久
- III-521 先端プレート付H鋼杭の施工 / 東日本旅客鉄道 [正] 堀利明・大塚 隆人・加藤 精亮
- III-522 堆積岩を支持層とする杭の先端載荷試験事例 / 基礎地盤コンサルタンツ [正] 白井 康夫・金丸 功希・田中 淳

■杭(2) / 10:40~12:00 / 西岡 英俊(鉄道総合技術研究所)

- III-523 回転鋼管杭の施工時情報を用いた現場施工品質評価に向けた基礎研究(その1) / 新潟大学 [正] 大竹 雄・渡邊 慎也・後藤 宏輔
- III-524 回転鋼管杭の施工時情報を用いた現場施工品質評価に向けた基礎研究(その2) / 新潟大学 [学] 渡邊 慎也・大竹 雄・鈴木 友之
- III-525 継手部の形状を模擬した鋼管矢板基礎の水平抵抗特性—その1 継手模型の各種力学試験 / 阪神高速道路 [正] 西原 知彦・草場 翔馬・澤村 康生
- III-526 継手部の形状を模擬した鋼管矢板基礎の水平抵抗特性—その2 動的遠心模型実験 / 京都大学 [学] 草場 翔馬・宮崎 祐輔・澤村 康生
- III-527 小口径鋼管杭の多列補強効果について(数値解析) / ケー・エフ・シー [正] 渡邊 直人・ハザリカ ヘマンタ・鱈 洋一
- III-528 小口径鋼管杭により補強した送電用鉄塔基礎の支持力特性 / アイテックコンサルタント [正] 茂木 浩二・加藤 厚志・津田 修
- III-529 鋼管回転杭の応力可視化に関する研究 / 松江工業高等専門学校 [学] 横野 泰河・大屋 誠・澤石 正道
- III-530 小口径回転圧入鋼管杭を用いた盛土上の斜組杭の水平支持力特性 / 西日本旅客鉄道 [正] 清水 隆弘・近藤 政弘・春名 哲弥

■杭(3) / 15:20~16:40 / 北 勝利(東海大学)

- III-531 杭の軸方向押込み支持力の推定式作成方法標準化と推定式見直しに関する検討 / 土木研究所 [正] 大城 一徳・七澤 利明・河野 哲也
- III-532 三次元弾塑性有限要素解析による杭基礎一体型鋼管集成橋脚の耐震性能評価 / 北海道大学 [正] 磯部 公一・澤村 康生・木村 亮
- III-533 大規模な群杭基礎における杭長の設定 / 北海道電力 [正] 服部 直・高石 孟・柳瀬 大輔
- III-534 X線CTを用いた先端翼付き回転貫入杭の貫入特性解明に関する研究 / 熊本大学 [学] 南 篤志・佐藤 宇紘・大谷 順
- III-535 支持地盤の拘束圧依存性を考慮した大口径場所打ち杭の支持力機構に関する解析的考察 / 大阪大学 [正] 小田 和広
- III-536 模型掘り杭の傾斜角と根入れ深さに着目した砂地盤中の引抜き抵抗実験 / 九州大学 [正] 姜 正求・安福 規之・石蔵 良平
- III-537 簡易的載荷試験に基づく既設杭の性能評価に向けた基礎的研究 / 新潟大学 [学] 大木 拓馬・大竹 雄・西岡 英俊
- III-538 側方移動の影響を受けた橋台杭基礎の断面力に関する解析手法の検討 / 土木研究所 [正] 坂下 学・谷本 俊輔・七澤 利明

第IV部門

土木計画、地域都市計画、国土計画、交通計画、交通工学、鉄道工学、景観・デザイン、土木史、測量など

IV-1 (センター2号館2205教室) / 9月11日(月)

■災害・防災(1) / 15:20~16:40 / 泊 尚志(東北工業大学)

- IV-001 全国の防災拠点の現状と重要度のランク付け / 金沢大学 [学] 小泉 奏子・中山 晶一朗・高山 純一
- IV-002 防災意識の定着に着目した防災教育の実施効果に関する研究 / 北見工業大学 [学] 岩澤 樹・高橋 清・松川 優一
- IV-003 地域の食料の活用による大規模災害時の自助・共助の可能性に関する検討—平時の家庭・小売店の食料調査より— / 金沢大学 [学] 吉田 裕美子・大澤 脩司・藤生 慎
- IV-004 平成28年熊本地震における被災地の物資不足と近隣市民による物資支援の事例 / 福岡大学 [正] 渡辺 浩・千田 知弘・森本 航平
- IV-005 平成27年9月関東・東北豪雨災害を踏まえた栃木市避難所運営の課題と改善案 / 宇都宮大学 [正] 近藤 伸也・手塚 拓也・山岡 暁
- IV-006 災害廃棄物処理における地域性を考慮した港湾BCP政策 / 関西大学 [学] 小橋 昭文・吉田 拓史・北詰 恵一
- IV-007 道路トンネル内火災時の避難啓発に関する検討 / 高速道路総合技術研究所 [正] 清水 雅之・八木 弘・海瀬 忍

■災害・防災(2) / 17:00~18:20 / 北詰 恵一(関西大学)

- IV-008 津波被災確率を用いた被災人口の評価 / 千代田化工建設 [正] 藤田 謙一・矢代 晴実
- IV-009 事前通行規制基準雨量における時間雨量設定方法の提案 / 岡山理科大学 [正] 佐藤 丈晴
- IV-010 平成28年8月北海道大雨激甚災害時において市街地に流入した水の流れの分析 / 土木研究所 寒地土木研究所 [正] 西原 照雅・船木 淳悟
- IV-011 自然災害に対するリスク指標(GNS)を用いた大阪府内の市町村間でのリスク検討 / 関西大学 [学] 向井 友亮・小山 倫史
- IV-012 階層分析法を用いた自然災害に対するリスク指標の合理化 / 横浜国立大学 [学] 神谷 圭祐・菊本 統・伊藤 和也
- IV-013 震災避難人命リスクの社会・地理モデルの普遍化と対象域の拡大—神奈川県湘南海岸への適用とデータ同化— / 遠感環境モニター [正] 金子 大二郎
- IV-014 地盤情報を加味した宅地価格の土地評価設定について / 東北工業大学 [学] 見玉 文・今西 肇・阿部 和正
- I-100 地震等が起因する車両火災による下水道管路施設の耐火性能を考慮した維持管理計画に関する研究 / 日本技術士会 [正] 常井 友也

IV-1 (センター2号館2205教室) / 9月12日(火)

■観光 / 9:00~10:20 / 栗原 剛(東海大学)

- IV-015 裏磐梯の来訪者特性調査の結果—2013年度から2016年度の調査の結果— / 福島大学 [正] 川崎 興太
- IV-016 トラベルコスト法を用いたシーニックバイウエイの経済効果の推計—冬季のシーニックバイウエイ北海道大雪・富良野ルート为例として— / 日本大学 [学] 田平 将大・中家 智之・伊東 英幸
- IV-017 時空間情報を活用した観光地における来訪者の行動把握 / 大阪工業大学 [学] 大崎 雄治・吉川 眞・田中 一成
- IV-018 周遊観光行動の調査方法に関する基礎的考察—沖縄本島を対象として— / 琉球大学 [学] 田中 謙大・神谷 大介・福田 大輔
- IV-019 体で感じるドボク / ファインロードコンサルタント [正] 北添 慎吾
- IV-020 観光・娯楽目的の地域間交流における訪問先の認知度に関する研究 / 徳島大学 [F] 近藤 光男・近藤 明子・神崎 成美
- IV-021 クルーズ旅客の特性分析—発着型および非発着型乗客に着目して— / 金沢大学 [学] 大西 遼・藤生 慎・高山 純一
- IV-022 日本人に好まれるクルーズ旅行形態に関する基礎的分析—金沢港での乗下船者を対象として— / 金沢大学 [学] 松田 耕司・藤生 慎・高山 純一

■土木史 / 10:40~12:00 / 石橋 知也(福岡大学)

- IV-023 浅野總一郎と京浜工業地帯発展の関連性について—その2 明治政府における土族授産としてのセメント産業— / 浅野工学専門学校 [正] 森住 藍・浅野 一
- IV-024 台湾技術協会と八田興一 / 木更津高専 [正] 武長 玄次郎
- IV-025 トンネル工事を見守る「化粧木」に関する一考察「土木民族学」的なアプローチの試み / ネクスコ・エンジニアリング 東北 [正] 阿部 公一

- IV-026 鉄道唱歌を活用したJR鳥島線沿線の地域活性化方策に関する一考察—『鳥島線鉄道唱歌』の解明から『現代版鉄道唱歌』製作までの取組みを踏まえて— / 足利工業大学 [学] 島海 航・蘭田 恩治・福島 二朗
- IV-027 An Actual proof of Tokushima's Museum of Bridges / 徳島県土地開発公社 [F] 武市 修一
- IV-028 文献調査から企画提案するヘリテージリズムの一考察(利根運河を事例として) / 関東地方整備局 [正] 大谷 周・蔵品 真侑子
- IV-029 歴史的鋼橋の保全に関する事例分析および考察 / 日本大学 [F] 五十畑 弘・大森 真央・菊地 健司
- IV-030 3Dレーザーキャナデータをを用いた城郭石垣の形状解析 / サンコーコンサルタント [正] 萩原 育夫・保坂 俊明・富田 和気夫

IV-1 (センター2号館2205教室) / 9月13日(水)

■景観認識・分析 / 9:00~10:20 / 増山 晃太(熊本大学)

- IV-031 ソーシャルメディアを活用した緑景観の分析 / アジア航測 [正] 竹村 唯・吉川 眞・田中 一成
- IV-032 スカイラインに着目した大阪平野の景観分析 / 復建調査設計 [正] 岡部 雄基・吉川 眞・田中 一成
- IV-033 東京港における海上からみた景観特性に関する研究—視距離と視野角を用いた魅力分析— / 日本大学 [学] 水石 知佳・岡田 智秀・田島 洋輔
- IV-034 都市空間における街区内部細街路の景観特性に関する研究—奥行プロポーショナル分析法に基づく街区内部細街路の内部景観評価について— / 日本大学 [学] 森 紗耶・岡田 智秀・田島 洋輔
- IV-035 街路の中間領域に関する研究 / 日本大学 [学] 渡辺 万紀子・天野 光一・西山 孝樹
- IV-036 首都圏近郊都市における地域再生に関する研究—千葉県八千代市八千代台地区の住環境評価からみたまちづくりビジョンの構築— / 日本大学 [学] 新橋 一士・岡田 智秀・田島 洋輔
- IV-037 祭礼空間の把握—だんじり祭りを対象に— / 中央復建コンサルタンツ [正] 渡辺 秀斗・吉川 眞・田中 一成

■景観評価・デザイン / 10:40~12:00 / 柴田 久(福岡大学)

- IV-038 下水道マンホール蓋のデザインの変遷とその背景(その1) マンホール蓋のデザインの変遷 / 奥村組 [正] 大槻 弥生・川嶋 英介
- IV-039 多摩動物公園とんぼ橋のデザイン / 首都高技術 [正] 高津 惣太・窪田 裕一・北山 直人
- IV-040 多摩動物公園とんぼ橋の設計 / 首都高技術 [正] 北山 直人・赤堀 裕・窪田 裕一
- IV-041 河川景観重点区間抽出に資する評価軸の検討 / 土木研究所 [正] 鶴田 舞・萱場 祐一
- IV-042 景観からみた高速道路植栽機能の検証 / 中日本高速道路 [正] 石田 篤徳・河嶋 道子・鬼東 大平
- IV-043 走行時の景観評価に影響を与える道路構造と植栽・法面要素 / ニュージェック [正] 保田 敬一・島根 高啓・山崎 元也
- IV-044 新国立競技場問題における「建築専門誌」の報道分析 / 古今東西社 [正] 中西 正紀
- IV-045 金銭欲・物欲から脱却した人達の理想郷—それはコミュニティ共同生活体と言う桃源郷だった。 / 井上達明建築事務所 [正] 井上 達明

IV-2 (センター2号館2206教室) / 9月11日(月)

■公共交通(1) / 10:40~12:00 / 新倉 淳史(運輸総合研究所)

- IV-046 地方都市における壮年層市民の公共交通支援意識に関する研究 / 山口大学 [正] 榊原 弘之・片上 諒・山野 晃寛
- IV-047 中山間地域における公共交通利用者の満足度に関する基礎分析—土佐清水市における事例— / 高知工科大学 [正] 西内 裕晶・土居 貴之・重山 陽一郎
- IV-048 新幹線駅へのアクセス交通としての高速バスの現状と今後の方向性 / 政策研究大学 [学] 佐藤 良介・家田 仁
- IV-049 我が国における索道の都市内交通としての役割に関する研究 / 横浜国立大学 [学] 早内 玄・中村 文彦・田中 伸治
- IV-050 東西線輸送改善施策 / 東京地下鉄 [正] 西川 祐・鈴木 章悦・森谷 剛
- IV-051 約1年間で開業を目指した新駅ホームの設計・施工について

- て/ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 小原 豊湖・佐々木 優美・鎌田 則夫
 IV-052 原宿駅改良工事の計画/東日本旅客鉄道 [正] 中村 光佑・谷野 良輔
 IV-053 千里山団地の建替えによる駅前広場等の交通機能強化に関するケース・スタディ/都市再生機構 [正] 曾根 真理・脇本章・溝辺 正浩

■公共交通(2) / 15:20~16:40/柳沼 秀樹(東京理科大学)

- IV-054 地方中規模都市における鉄道の現状把握/西日本旅客鉄道 [正] 北村 周郎・田淵 剛・榊原 弘之
 IV-055 都市圏の鉄道乗降客数に関する経年変化パターンの類型化/関西大学 [学] 保田 義之・秋山 孝正・井ノ口 弘昭
 IV-056 モバイル空間統計を用いた北陸新幹線整備前後の訪問者数変化に関する比較分析/名城大学 [正] 鈴木 温・橋本 達・早川 勇希
 IV-057 シルバーバスに着目した高齢者の移動実態把握に関する基礎的研究/京都大学 [学] 中川 航志郎・宇野 伸宏・中村 俊之
 IV-058 高齢運転者の将来推定について/北海学園大学 [正] 堂柿 栄輔・松山 将之・築瀬 範彦
 IV-059 空間人口分布を考慮した私事目的バス停車単位需要推計手法の提案/芝浦工業大学 [学] 鷺津 宏明・遠藤 玲・秋山 祐樹
 IV-060 大都市圏中心部の大規模都市開発における周辺鉄道駅利用者の予測手法に関する考察/計量計画研究所 [正] 加藤 昌樹・菊池 雅彦・松本 浩和
 IV-061 ゾーン細分化による鉄道・バス一体配分手法の改善/芝浦工業大学 [学] 高園 紘徳・遠藤 玲

■都市・地域計画/17:00~18:20/中道 久美子(東京工業大学)

- IV-062 統計モデリングを応用した空き家分布の広域推定の試み/摂南大学 [学] 小野 裕基・熊谷 樹一郎・植松 恒
 IV-063 土地適正化計画制度の運用に伴う北陸地方都市(非線引き都市)における土地利用上の課題に関する一考察/国土開発センター [正] 大林 充典・森川 大輔・新田川 貴之
 IV-064 生産空間維持における道の駅の活用方法に関する研究/北見工業大学 [学] 大橋 一仁・高橋 清
 IV-065 「道の駅」における地域福祉機能の需要に関する分析/和歌山工業高等専門学校 [学] 湊 絵美・伊勢 昇・櫻井 祥之
 IV-066 「小さな拠点づくり」に向けた基礎調査—栃木県さくら市住民の意識—/宇都宮大学 [正] 松本 美紀・石井 大一郎・坂本文子
 IV-067 里山社会の幸福度に関する調査/東北工業大学 [学] 菅野 雅絵・今西 肇・菊池 輝
 IV-068 積雪寒冷地における低密度地域集落のQOL計測のための意識構造分析/北見工業大学 [学] 柿崎 かぶと・高橋 清
 IV-069 自動車利用と意識からみた自動車依存に対する個人的・社会的な問題認識/福井大学 [正] 川本 義海・北林 優依

IV-2 (センター2号館2206教室) / 9月12日(火)

■交通事故/9:00~10:20/松尾 幸二郎(豊橋技術科学大学)

- IV-070 冬期道路における視界不良事故発生箇所の道路環境条件/土木研究所寒地土木研究所 [正] 武知 洋太・伊東 靖彦・松澤 勝
 IV-071 Winter Indexを用いた北海道内一般国道における冬型交通事故多発区間の推定/土木研究所 寒地土木研究所 [正] 齊田 光・平澤 匡介・高橋 尚人
 IV-072 道路防雪林の防雪機能を維持するための間引き管理に関する研究/土木研究所寒地土木研究所 [正] 太田 広・幸田 勝・伊藤 義和
 IV-073 自発光スノーボールの着雪対策について/東日本高速道路 [正] 加藤 哲・中原 和也
 IV-074 地域住民によるスマート交差点の評価/豊田工業高等専門学校 [正] 野田 宏治・倉橋 史也・山崎 基浩
 IV-075 阪神高速の合流部における車線境界線実線化等による事故対策の効果検証/阪神高速道路 [正] 岩里 泰幸・宇野 巧・井上 徹
 IV-076 商用車プローブデータを活用した注意喚起カラー舗装の効果分析/首都高速道路 [正] 友久 響・小山 周一・前川 友宏
 IV-077 パーチャルリアリティーを用いた交通安全対策について/西日本高速道路エンジニアリング中国 [正] 原田 和幸

■自転車・歩行者/10:40~12:00/吉城 秀治(福岡大学)

- IV-078 路面平坦性に着目した自転車走行環境の評価に関する研究/北見工業大学 [学] 佐々木 優太・渡辺 健太・高橋 清
 IV-079 往復2車線道路における車道通行の自転車に対する自動車

- の追越し行動の分析/立命館大学 [正] 小川 圭一・布目 拓大
 IV-080 都市特性の比較による自転車の都市政策に関する考察(その1) —特に政令指定都市の6都市を比較して—/仙台市建設公社 [正] 岩崎 裕直
 IV-081 格子状の街路ネットワークにおける広幅員街路上の歩行者行動に基づく特性/横浜国立大学 [学] 堀 弥樹・中村 文彦・田中 伸治
 IV-082 心拍データを用いたストレス度評価による歩行空間の昼夜比較/名城大学 [学] 中務 真里子・林 大揮・鈴木 温
 IV-083 歩道計測型MMSを用いた歩道空間のバリア評価に関する研究/日本大学 [正] 江守 央・佐田 達典
 IV-084 視覚障害者・高齢者の外出意欲増進対話ロボットの評価実験手法/駒井ハルテック [正] 別所 叶望・内田 敬・松本 浩子

IV-2 (センター2号館2206教室) / 9月13日(水)

■空港・港湾・物流/9:00~10:20/石黒 一彦(神戸大学)

- IV-085 地方空港の空港アクセスに関する調査研究—小松空港を対象として—/金沢大学 [学] 河本 麻実・藤生 慎・高山 純一
 IV-086 空港の多様性に関する基礎的研究—乗降目的以外の役割に着目して—/日本大学 [正] 西山 孝樹・天野 光一・石松 玲
 IV-087 最近の大型クルーズ船を対象とした水域施設計画に関する基礎的研究/国土技術政策総合研究所 [正] 安部 智久・岸田 正也
 IV-088 九州~関西・中部・関東間におけるフェリー・RORO船による輸送品目特性の分析/海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 [正] 荒谷 太郎・佐藤 圭二
 IV-089 鉄道貨物・長距離フェリーによる輸送状況と貢献に関する一考察—北海道発着貨物を事例として—/北海商科大学 [正] 相浦 宣徳・加藤 博敏・平出 渉
 IV-090 北九州・福岡間(鹿児島線)鉄道貨物輸送力増強事業の事後評価/日本貨物鉄道 [正] 角田 仁・小西 一史
 IV-091 WEBアンケート調査に基づいた貨物駅の利用意識状況に関する一考察/鉄道総合技術研究所 [正] 厲 国権・角田 仁
 IV-092 中国における医療物流改革と病院物流へのAIの応用/ロジデザイン [正] 田中 純夫・Lin Wei・酒匂 秀敏

■経済分析/10:40~12:00/高山 雄貴(金沢大学)

- IV-093 気候変動による国際経済への影響分析に関する研究 仮想水移動に着目して/鳥取大学 [学] 小澤 陽・土屋 哲・谷本 圭志
 IV-094 中長期的な社会資本整備による地域への影響に関する事例調査研究/国土技術政策総合研究所 [正] 根津 佳樹・小川 智弘・山口 悟司
 IV-095 最適動学CGEモデルを用いた地球温暖化による洪水被害の長期的影響評価/山梨大学 [学] 西鶴 誠希・武藤 慎一
 IV-096 SCGEモデルを用いた中部横断自動車道の地域経済効果の計測/山梨大学 [学] 平林 和樹・武藤 慎一

IV-3 (センター2号館2207教室) / 9月11日(月)

■交通のセンシングと解析/10:40~12:00/中西 航(東京工業大学)

- IV-097 マイクロブログのTwitterを用いた事業評価に関する一考察/東京都市大学 [学] 太田 勝也・今井 龍一
 IV-098 BluetoothMACアドレスによる交通状態推定方法の検証—実測とマイクロ交通シミュレーションを用いて—/日本大学 [学] 青柳 達也・石坂 哲宏・安藤 正志
 IV-099 マイクロ波センサを用いた新たな可搬式高精度車両検知器の開発/西日本高速道路エンジニアリング関西 [正] 堀 広毅・吉見 栄俱
 IV-100 プローブカーを用いた時間信頼性評価のための道路における速度変動要因の考察/金沢大学 [学] 古屋 健登・中山 晶一朗・大澤 脩司
 IV-101 道路交通分析に用いる大縮尺道路地図の要件に関する基礎的研究/東京都市大学 [学] 田中 拓也・今井 龍一・谷口 寿俊
 IV-102 ETC2.0プローブ情報の基本特性のモニタリング/東京都市大学 [学] 金井 翔哉・今井 龍一・松島 敏和
 IV-103 ETC2.0プローブ情報を用いた高速道路の合流部における急挙動発生状況の評価/国土技術政策総合研究所 [正] 井 慎二・鳥海 大輔・牧野 浩志
 IV-104 ETC2.0プローブ情報を用いた走光型視線誘導システムの速度抑制効果分析/首都大学東京 [正] 小根山 裕之・下田 直輝・柳原 正実

■道路交通計画・運用 / 15:20~16:40 / 野中 康弘(道路計画)

- IV-105 都市高速道路における渋滞時の効果的な料金ブース運用方法 / 阪神高速道路 [正] 萩原 武司・鈴木 健太郎
- IV-106 都市高速道路の入口合流部渋滞箇所における車線変更禁止施策の効果検証 / 阪神高速道路 [正] 飛ヶ谷 明人・増本 裕幸・兒玉 崇
- IV-107 付加追越車線方式の試行運用による車線利用率に関する考察—高速道路の片側2車線区間を対象として— / 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 近田 博之・川島 陽子・田中 真一郎
- IV-108 転回路付き緩速車線を用いた交通運用策の提案と適用可能な交通条件 / 日本大学 [学] 茂木 翔平・下川 澄雄・森田 緯之
- IV-109 目視点検による道路施設の変状の要因分析 / 西部技術コンサルタント [正] 田邊 信男・上坂 未希・水野 正行
- IV-110 道路の機能低下と道路構造物の品質劣化を防ぐ「道路保全工学」のすすめ / 道路保全研究所 [正] 鈴木 廣治
- IV-111 上信越自動車道吉井地区災害復旧工事 / ネクスコ東日本エンジニアリング [正] 伊勢谷 真樹・永井 宏・志農 和啓
- IV-112 県境道路沿道地域の人口動態および地域特性—福井県嶺北地域を対象として— / 福井工業大学 [正] 吉村 朋矩・三寺 潤・小塚 みすず

■道路交通モデル / 17:00~18:20 / 葛西 誠(高速道路総合技術研究所)

- IV-113 アクティビティマイクロシミュレーションと観測データの融合による需要予測手法 / 山梨大学 [学] 澤田 茜・小原 拓也・佐々木 邦明
- IV-114 高速道路の車線選択モデルへのRecursive Logit Modelの適用可能性 / 芝浦工業大学 [学] 岩崎 真純・岩倉 成志・野中 康弘
- IV-115 混雑の時空間移動を扱う準動的均衡配分モデルに関する研究 / 金沢大学 [学] 小池 光右・中山 晶一郎・高山 純一
- IV-116 都市道路網における大型車課金の有効性に関するモデル分析 / 関西大学 [学] 常 センケイ・井ノ口 弘昭・秋山 孝正
- IV-117 追従車両への推奨走行情報の提供が運転挙動に及ぼす影響分析 / 名城大学 [学] 石黒 祥梧・松本 幸正
- IV-118 交通流シミュレーションシステムを用いた自律型自動運転自動車の影響評価 / 金沢大学 [学] 工保 淳也・藤生 慎・高山 純一
- IV-119 信号情報に反応するドライバーの割合が単一交差点通過に与える影響の分析 / 名城大学 [学] 西尾 和也・松本 幸正
- IV-120 渋滞緩和効果の簡易予測手法に関する検討 / パシフィックコンサルタンツ [正] 木守 岳広・田畑 あずみ・山本 亮平

IV-3 (センター2号館2207教室) / 9月12日(火)

■災害・防災(3) / 9:00~10:20 / 円山 琢也(熊本大学)

- IV-121 震災時の災害医療搬送の改善を目的とした場外離着陸場配置に関する研究 / 愛知工業大学 [学] 鈴木 聡一・小池 則満
- IV-122 自然災害に伴う復旧工事時の所要時間情報の提供と今後の道路管理への活用 / 西日本高速道路エンジニアリング九州 [正] 坂田 裕彦・三倉 義教・南部 繁樹
- IV-123 車線規制された高速道路におけるバスブローブを活用した渋滞情報提供について / 西日本高速道路 [正] 三倉 義教・西尾 治樹・坂田 裕彦
- IV-124 暴風雪を考慮した北海道における道路ネットワークの防災機能評価 / 政策研究大学 [学] 澤部 智子・家田 仁・柳沼 秀樹
- IV-125 非常時における緊急輸送道路ネットワークの連結信頼性の基礎的分析 / 金沢大学 [学] 中南 孝晶・中山 晶一郎
- IV-126 緊急輸送道路のリスク分析 / 石川県ネットワークと橋梁分析 / 金沢大学 [学] 王 佳文・中山 晶一郎・高山 純一
- IV-127 高速道路における降雨時通行規制によるリスク管理手法を用いた基準値設定に関する考察 / 西日本高速道路 [正] 櫻谷 慶治・濱沖 俊史・音地 拓
- IV-128 高速道路における降雨時通行規制によるリスク管理手法 /

大阪大学 [学] 音地 拓・櫻谷 慶治・小濱 健吾

■災害・防災(4) / 10:40~12:00 / 今西 肇(東北工業大学)

- IV-129 熊本地震における益城町仮設住宅入居者の居住地選択意向に関する分析 / 熊本大学 [学] 渡邊 萌・佐藤 嘉洋・円山 琢也
- IV-130 熊本地震における益城町仮設住宅聞き取り調査の自由回答の分析 / 熊本大学 [学] 川野 倫輝・佐藤 嘉洋・円山 琢也
- IV-131 震災復興期における郵送調査未回答者層の実態と意識:熊本地震益城町の事例 / 熊本大学 [学] 佐藤 嘉洋・長濱 康希・円山 琢也
- IV-132 災害図上訓練(DIG)を通じた高速道路における災害対応力強化に関する実践的研究 / 西日本高速道路エンジニアリング中国 [F] 楠橋 康広・福井 鉄兵・上田 浩之
- IV-133 地区防災計画策定に有効なリスクコミュニケーション手法の提案 / 山梨大学 [学] 渡辺 貴徳・鈴木 猛康
- IV-134 岩手日報社インタビューにもとづく東日本大震災における避難意思決定の課題 / 岐阜大学 [正] 小山 真紀・青木 俊樹
- IV-135 高松市中心部を対象とした高潮災害時の避難行動シミュレーション / 香川大学 [学] 久保 菜・和田 光真・吉田 秀典
- IV-136 重大な疾患を持つ災害時要援護者の避難容易性に関する一考察 / 金沢大学 [学] 森崎 裕磨・藤生 慎・高山 純一

IV-3 (センター2号館2207教室) / 9月13日(水)

■リモートセンシング(1) / 9:00~10:20 / 久保寺 貴彦(東洋大学)

- IV-137 高分解能衛星データを用いた平成27年8月関東・東北豪雨における浸水域の抽出と精度評価 / 日本大学 [正] 園部 雅史・羽柴 秀樹
- IV-138 熊本地震前後の空中写真から作成したDSMの差分による倒壊建物の抽出 / 東洋大学 [正] 政春 尋志・久保寺 貴彦・佐藤 佑樹
- IV-139 高解像度SAR画像における橋梁の反射特性に関する基礎的検討 / 千葉大学 [正] 劉 ウェン・澤 可那子・山崎 文雄
- IV-140 Landsat画像にみるネパール地震災害後の復興状況 / 日本大学 [正] 杉村 俊郎・福島 暉輝・内田 裕貴
- IV-141 高分解能衛星画像によるスマトラ島沖地震津波被災地の被災前と被災10年後の比較 / 日本大学 [学] 吉原 弘一郎・羽柴 秀樹
- IV-142 UAVに搭載した赤外線カメラから得られる画像データを用いた地震災害直後の建物被害把握 / 金沢大学 [学] 松岡 佑樹・藤生 慎・高山 純一
- IV-143 地すべり危険箇所推定のための素誘因影響比較分析支援策 / 東京理科大学 [学] 関根 洋佑・小島 尚人
- IV-144 最近の土砂災害に見る不適格宅地・家屋対策の課題 / 長崎大学 [F] 高橋 和雄

■リモートセンシング(2) / 10:40~12:00 / 小島 尚人(東京理科大学)

- IV-145 ドローンを用いたダム堤体の挙動観測手法の開発 / JR東日本 [正] 大森 友博・金井 英司・小野 桂寿
- IV-146 UAVによる土量算出方法の精度評価 / 新星コンサルタント [正] 中島 博敬・中島 英敬・松本 良一
- IV-147 UAV測量による簡易な河川地形把握手法を活用した河道管理の検討 / 復建技術コンサルタント [正] 市川 健・那須野 新・天谷 香織
- IV-148 UAVを用いた浅水底の写真測量のための水面反射軽減技術 / 山口大学 [正] 神野 有生・上田 修靖・Partama I GD Yudha
- IV-149 衛星リモートセンシングを利用したサンフランシスコ湾保全のモニタリング—EPA Star Grant Research:米国閉鎖性水域の水質評価の一環として— / 日本大学 [正] 野中 崇志・中村 光士郎・長谷川 健司
- IV-150 気象衛星ひまわり8号による都市の熱環境 / 日本大学 [正] 内田 裕貴・鈴木 真之介・奥山 健志
- IV-151 土地利用を考慮した気温分布図の作成と評価 / 日本大学 [学] 安部 光貴・朝香 智仁・岩下 圭之

第V部門

土木材料、舗装工学、コンクリート工学、コンクリート構造、木材工学など

V-1 (センター2号館2204教室) / 9月11日(月)

■舗装一般(1) / 9:00~10:20 / 塚本 真也(東亜道路工業)

- V-001 北海道型SMAの機能向上に関する基礎的研究 / 土木研究

- V-002 所寒地土木研究所 [正] 田中 俊輔・安倍 隆二・武市 靖実道におけるゴム粒子入り凍結抑制舗装の効果に関する一考察 / 大林道路 [正] 上地 俊孝・鈴木 徹・稲葉 行則
- V-003 舗装材料の電気抵抗による凍結融解評価について / 土木研究

- V-004 所寒地土木研究所 [正] 上野 千草・安倍 隆二・木村 孝司
遮熱性ウレア塗料の塗膜物性と耐久性に関する一考察／ニ
チレキ [正] 福澤 勇輝・平岡 富雄・村井 有希
- V-005 乳剤散布装置付アスファルトフィニッシャの一般舗装への
適用／大林道路 [正] 小澤 光一・菅野 善次郎・細見 耕平
- V-006 ひび割れを封かんすることによる舗装体の延命効果に関す
る一検討／大成ロテック [正] 紺野 路登・渡邊 一弘
- V-007 面的な舗装の出来形管理に関する一検討／大林道路 [正]
森石 一志・光谷 修平・西川 啓一

■舗装一般(2) /10:40~12:00/河村 直哉(国土交通省)

- V-008 AMPTを用いたアスファルト混合物の動弾性係数|E*|
と塑性変形抵抗性の関係の検討／ニチレキ [正] 宮城 裕
一・丸山 陽・内海 正徳
- V-009 FlowNumberによる塑性変形抵抗性の評価に関する一検討
／ニチレキ [正] 齋藤 夏実・丸山 陽・宮城 裕一
- V-010 FlowNumber試験による複層構成のアスファルト混合物の
塑性変形抵抗性に関する評価手法の一検討／ニチレキ
[正] 高内 大・丸山 陽・宮城 裕一
- V-011 熱帯地域におけるアスファルト舗装の流動軟弱れと耐流動
性に関する考察／国際協力機構 [正] 田中 幸成・古木 守
靖・岡村 憲光
- V-012 HWT試験による改質アスファルト混合物の評価方法の検討
／日本道路 [正] 朴 希真・遠藤 桂
- V-013 積雪寒冷地における舗装体温度に関する考察／土木研究所
寒地土木研究所 [正] 安倍 隆二・木村 孝司・上野 千草
- V-014 永久ひずみが弾性ひずみに比例すると仮定したわだち掘れ
量の算定法／石川工業高等専門学校 [正] 西澤 辰男
- V-015 弾性係数のバラつきがアスファルト舗装の信頼性に与える
影響に関する検討／土木研究所 [正] 岩永 真和・寺田 剛・
藪 雅行

■維持・修繕(舗装)(1) /15:20~16:40/城本 政一(大成ロテック)

- V-016 耐久性に優れたアスファルト混合物の開発／三井住建道路
[正] 深町 淳・浅倉 正勝・小野 洋
- V-017 トンネル内舗装におけるフラッシュ現象の発生要因とその
対策／ニチレキ [正] 横島 健太・石原 陽介・井田 達郎
- V-018 浸透型クラックシール材試験施工の追跡調査／西日本高速
道路 [正] 下清水 秀則・本松 資朗・上坂 憲一
- V-019 舗装全層打換えにおける路面変状の原因調査結果と再発防
止策について／西日本高速道路 [正] 山口 明子・本松 資
朗・高田 克也
- V-020 ポーラスアスファルト混合物内の浸透型補修材の残存状態に
関する考察／近畿大学 [学] 裏 泰樹・麓 隆行・中澤 克明
- V-021 路上路盤再生工で補修した箇所において発生した損傷の原
因調査と補修検討／西日本高速道路 [正] 洲崎 尚樹・森
由美・高田 克也
- V-022 同一横断測線上における舗装のFWDたわみ量調査結果/
土木研究所 [正] 渡邊 一弘・藪 雅行

■維持・修繕(舗装)(2) /17:00~18:20/岩永 真和(土木研究所)

- V-023 空港コンクリート舗装における長寿命化へ向けた取組み/
成田国際空港 [正] 濱 聖哉・佐藤 渉
- V-024 コンクリート舗装用補修材の付着試験に関する検討／土木
研究所 [正] 加藤 祐哉・片平 博・古賀 裕久
- V-025 Dynamic Time Warpingを用いたコンクリート舗装の異
常箇所検出方法について／大成ロテック [正] 城本 政一・
平川 一成・亀山 修一
- V-026 橋梁レベリング層用ゲースアスファルト混合物のコンク
リート床版への適用性／東日本高速道路 [正] 瀧川 翼・
佐藤 正和・吉田 真純
- V-027 高速自動車国道 休憩施設における大型駐車場舗装の実用
化に向けた取組み／中日本高速道路 [正] 奥村 駿・高野
真史・岡田 和弘
- V-028 舗装工事に付帯する構造物設置工の生産性向上に関する取り
組み／大成ロテック [正] 唐木 健次・佐々木 恵・平原 幸男
- V-029 三軸ジオグリップの路盤補強効果に関する現場実験での検
討／NIPPO [正] 渡邊 真一・尾本 志展・弘中 純一

V-1 (センター2号館2204教室) /9月12日(火)

■舗装材料(1) /9:00~10:20/丸山 記美雄

- (土木研究所 寒地土木研究所)
- V-030 ポリプロピレン短繊維を添加した機能性土系舗装の凍結融
解特性／信州大学 [正] 河村 隆・梅崎 健夫・川田 幸広
- V-031 機能性土系舗装の圧縮強度、保水性および吸水性と乾燥密
度および間隙率の関係／信州大学 [学] 川田 幸広・河村
隆・梅崎 健夫

- V-032 乳剤散布装置付アスファルトフィニッシャによる薄層
オーバーレイ工法の開発／大有建設 [正] 今井 宏樹・田
口 克也
- V-033 フォーム発生装置による含水量とアスファルト混合物性
状に関する実験的検討／NIPPO [正] 岩間 将彦・安藤 政
浩・黒澤 伸治
- V-034 高強度半たわみ舗装用セメントミルクの適用性に関する
検討／日本道路 [正] 藤井 洋志・梶谷 明宏・清水 進
- V-035 UFC道路橋床版と舗装材料の付着特性に関する検討／鹿
島道路 [正] 田口 翔太・金治 英貞・一宮 利通
- V-036 改質ゲースアスファルト混合物のクッキング条件が品質に
与える影響について／大林道路 [正] 木谷 貴宏・稲葉 行
則・鈴木 徹
- V-037 橋梁レベリング層用新型ゲースアスファルト混合物試験施
工報告／西日本高速道路 [正] 足立 健・中井 拓郎

■舗装材料(2) /10:40~12:00/木谷 貴宏(大林道路)

- V-038 凍結融解作用を受けた舗装混合物に対する蛍光エポキシ樹
脂含浸法による評価／土木研究所 寒地土木研究所 [正] 丸
山 記美雄・木村 孝司
- V-039 一軸圧縮引張試験を用いたアスコンの応力緩和性能の評価
／東亜道路工業 [正] 山本 恭央・平戸 利明
- V-040 表層および路盤用アスファルト混合物に対する修正ロッ
マン試験／国土技術政策総合研究所 [正] 河村 直哉・坪
川 将丈
- V-041 石炭灰配合アスファルト混合物の材料特性及び周辺環境に
及ぼす影響に関する検討／福岡大学 [学] 山下 貴弘・佐
藤 研一・藤川 拓朗
- V-042 アスファルト表層材供用2.5年後の曲げ性状変化におけ
る表面深さと再生方法の影響／土木研究所 [正] 佐々木 巖・
川島 陽子・西崎 到
- V-043 PMAのSBS分散状態と粘弾性状に着目したアスファルト
混合物の施工性評価指標に関する一検討／昭和シェル石油
[正] 野口 健太郎・瀬尾 彰
- V-044 道路用碎石の特性とアスファルトのはく離抵抗性に関する一
検討／東亜道路工業 [正] 小林 亜湖・平戸 利明・村山 雅人
- V-045 インドネシア産天然アスファルト「AsButon」の性状につい
て／大成ロテック [正] 増澤 優介・平川 一成・寺田 剛

V-1 (センター2号館2204教室) /9月13日(水)

■路面評価(舗装)(1) /9:00~10:20/岡部 俊幸(鹿島道路)

- V-046 人の生理応答を考慮した人体熱負荷による保水性舗装の有
効性評価／大成ロテック [正] 上堂 蘭 研太・青木 政樹・
島崎 康弘
- V-047 供用中の遮熱性舗装におけるはがれ状況の定量化手法の検
討／東京都土木技術支援・人材育成センター [正] 西岡
佑介・峰岸 順一
- V-048 路面削溝による路面表情付与一白色骨材配合アスコンの見
え方／大林道路 [正] 光谷 修平・小嶋 匠・堀 繁
- V-049 温度特性を考慮した歩道舗装ブロックの曝露試験時の挙動
／首都大学東京 [学] 張 嘩・上野 敦・宇治 公隆
- V-050 各種試験による屋外歩行施設の舗装硬さの評価／木更津工
業高等専門学校 [正] 鬼塚 信弘・多田 悟士・三上 晃寛
- V-051 異なる表面性状の骨材混合による路面のすべり抑制効果に
関する検討／阪神高速技術 [正] 久利 良夫
- V-052 ベビーカー走行時の振動と押す力に関する一評価／東亜道
路工業 [正] 及川 真依・多田 悟士
- V-053 コンクリート舗装のポリッシング抵抗性の簡易試験に関す
る一検討／山口大学 [学] 田中 裕隆・吉武 勇

■路面評価(舗装)(2) /10:40~12:00/久利 良夫(阪神高速技術)

- V-054 レーザ・テクスチャ・スキヤナ(LTS)を用いたきめ深さの
測定方法に関する一検討／ニチレキ [正] 李 旭東・丸山
陽・増山 加奈子
- V-055 路面テクスチャに着目した凍結路面における走行安全性に
関する研究／北海学園大学 [学] 古田 智大・田中 俊輔・
武市 靖
- V-056 定量的な舗装の日常点検方法に関する検討／高速道路総合
技術研究所 [正] 石坂 健一
- V-057 高機能舗装I型におけるひび割れの経年変化／西日本高速
道路エンジニアリング九州 [正] 長沼 卓也・板倉 秀和・
坂本 勇
- V-058 画像認識技術を用いた路面舗装のひび割れ検出／ニチゾウ
テック [正] 服部 洋・清水 晋作・宇野津 哲哉
- V-059 舗装の振動と路床のCBR、TAとの関係について／佐藤渡辺
[正] 下野 祥一・西浦 康至・伊東 光太

- V-060 鉄道貨物ヤード設計手引きにより施工された舗装の供用性に関する研究/日本貨物鉄道 [正] 岡本 学・上浦 正樹・真鍋 和則
- V-061 貨物のRide Qualityによる路面評価の戦略/アクト・ファクトリー [F] 山本 武夫

■路面評価(舗装)(3) /15:20~16:40/丸山 陽(ニチレキ)

- V-062 滑走路グルーピングのすべり抵抗性と排水性に関する研究/中央大学 [学] 荻原 亮太・姫野 賢治・前川 亮太
- V-063 乗用自動車の走行抵抗に路面雪氷が及ぼす影響に関する実験/寒地土木研究所 [正] 大浦 正樹・丸山 記美雄・木村 孝司
- V-064 路面凹凸の状態と自動車の燃費の関係に注目した環境負荷ならびに経済的損失/横浜国立大学 [学] 武藤 秀人・藤野 陽三・シリゴリゴ ディオン
- V-065 平坦性指標BBIによる空港アスファルト舗装の平坦性評価/国土技術政策総合研究所 [正] 坪川 将丈・河村 直哉
- V-066 タイヤ/路面騒音の周波数特性における速度・温度補正に関する検討/鹿島道路 [正] 岡部 俊幸・大嶋 智彦・川村 彰
- V-067 生理心理計測に基づく走行路面の安全性および快適性評価の可能性/北見工業大学 [正] 富山 和也・川村 彰・Rossi Riccardo
- V-068 車載型プロファイルメータを用いた平均プロファイル深さの推定/鹿島道路 [正] 大嶋 智彦・岡部 俊幸・川村 彰
- V-069 スマートフォンを用いた道路舗装の健全度評価技術の検討/福岡大学 [学] 中牟田 慎一郎・佐藤 研一・藤川 拓朗

V-2 (センター2号館2203教室) /9月11日(月)

■副産物利用・再生材料(1) /9:00~10:20/小川 洋二(太平洋セメント)

- V-070 産業廃棄物を活用したコンクリートの基礎物性に関する基礎的研究/宮崎大学 [正] 李 春鶴・田口 弘平・丸山 智裕
- V-071 瓦エアモルタルの硬化物性の把握/名古屋工業大学 [学] 山田 悠史・上原 匠・湯川 圭吾
- V-072 無収縮グラウトとコンクリートがらを活用したプレバッキング工法の基礎研究/日鉄住金高炉セメント [正] 居石 鉄兵・市野 宏嘉・兼安 真司
- V-073 フライアッシュ原粉を使用したPHC杭の適用性検討/東京電力ホールディングス [正] 松浦 忠孝・鬼束 俊一・本間 雅人
- V-074 フライアッシュ原粉を利用したコンクリートの実施配合検討試験/五洋建設 [正] 米谷 宏史・安田 浩二・寺内 哲也
- V-075 微粒分特性による締固め性状及び強度変化に着目した石炭灰のCSGへの積極的活用/東京大学 [学] 鈴木 雄大・石田 哲也・藤澤 侃彦
- V-076 細粒流動化処理土を利用した低強度プレバッキングコンクリート/大幸工業 [正] 大前 延夫・浜野 廣美・平安座 唯博
- V-077 低度処理再生骨材および高炉スラグ細骨材を用いたコンクリートのフレッシュ性状に関する実験的検討/高知工業高等専門学校 [正] 山田 悠二・浅野 拓巳・橋本 親典

■副産物利用・再生材料(2) /新材料・新工法(材料)(1) /10:40~12:00/原田 耕司(西松建設)

- V-078 ごみ溶融スラグおよび鉱物質微粉末を用いたコンクリートの基礎的性状/豊田工業高等専門学校 [正] 河野 伊知郎・大畑 卓也・松井 隆哉
- V-079 高炉スラグ細骨材を用いたモルタルの圧縮応力下におけるひび割れ進展に関する研究/熊本大学 [学] 堤 亮祐・尾上 幸造・岩本 崇臣
- V-080 高炉スラグ細骨材を使用したモルタル小片の簡易凍結融解試験法に関する検討~試験開始材齢と凍結融解試験方法の影響~/九州大学 [学] 渡辺 総太・佐川 康貴・藤井 隆史
- V-081 NaOH刺激によるFA-GGBS-SF混合型ジオポリマーにおける反応相組成/電力中央研究所 [正] 山本 武志・菊地 道生・大塚 拓
- V-082 高炉スラグ微粉末の置換率と前養生が蒸気養生ジオポリマーの物理的性質に及ぼす影響/電力中央研究所 [正] 菊地 道生・山本 武志・大塚 拓
- V-083 種々のH+型ジオポリマー粉体によるアルカリシリカ反応の抑制/鉄道総合技術研究所 [正] 佐藤 隆恒・上原 元樹・小田 慎太郎
- V-084 ジオポリマーPCまくらぎの営業線への試験敷設/鉄道総合技術研究所 [正] 上原 元樹・佐藤 隆恒・東原 実
- V-085 現場加温養生を施した実物大ジオポリマーの施工実験に関する報告/前田建設工業 [正] 吉丸 将司・南 浩輔

■新材料・新工法(材料)(2) /15:20~16:40/上原 元樹

(鉄道総合技術研究所)

- V-086 部分吸水に伴うジオポリマーの表層劣化メカニズムと表面含浸材の効果/大分工業高等専門学校 [正] 一宮 一夫・原田 耕司・池田 攻
- V-087 タグチメソッドによるフライアッシュベースジオポリマーの配合最適化/熊本大学 [学] 岩本 崇臣・尾上 幸造・佐川 康貴
- V-088 ジオポリマーモルタルの流動性と圧縮強度に関する基礎的研究/三井住友建設 [正] 恩田 陽介・石澤 正太・佐々木 亘
- V-089 下水汚泥焼却灰を用いたジオポリマーコンクリートの透水性に関する基礎的研究/日本大学 [学] 望月 勇樹・伊藤 義也・山口 晋
- V-090 メタカオリン含有人工ボゾランを混和材に用いたコンクリートの河川構造物への施工事例/九州大学 [正] 山本 大介・佐川 康貴・濱田 秀則
- V-091 3Dプリンティング技術に資するセメント硬化体の製造方法/岐阜大学 [学] 増田 裕介・國枝 稔
- V-092 実機ミキサにおけるコンクリートの練混ぜ時の中空微小球の分散性に関する検討/鹿島建設 [正] 水野 浩平・林 大介・橋本 学
- V-093 後添加した中空微小球の分散性に関する検討/鹿島建設 [正] 橋本 学・林 大介・水野 浩平

■新材料・新工法(材料)(3) /17:00~18:20/宇野 洋志城(佐藤工業)

- V-094 凍害によるスケール抑制材としての高吸水性ポリマーの効果/大分工業高等専門学校 [学] 加藤 英徳・一宮 一夫
- V-095 炭素粉末とポリプロピレンを添加したモルタルの電磁波吸収性/摂南大学 [学] 平井 義明・高井 伸一郎・熊野 知司
- V-096 フライアッシュコンクリートの低温環境下の硬化促進/太平洋マテリアル [正] 郭 度連・中田 和秀
- V-097 早強性・低収縮性を有するコンクリートの温度ひび割れ抵抗性に関する基礎的検討/住友大阪セメント [正] 亀島 博之・小田部 裕一・横関 康祐
- V-098 早強性と低収縮性を有するコンクリートの実構造物におけるコンクリート温度とひずみの挙動/鹿島建設 [正] 川崎 文義・高浦 雄貴・取違 剛
- V-099 マスコングリート対策用パイプクーリングの自動制御に関する性能確認試験/三井住友建設 [正] 原 勝哉・樋口 正典・村尾 光則
- V-100 パイプクーリングの水温自動制御装置を用いた温度ひび割れ制御/三井住友建設 [正] 臺 哲義・樋口 正典・原 勝哉
- V-101 PVB樹脂および珪砂を用いた被覆鉄筋の重ね継手に関する一考察/大林組 [正] 片野 啓三郎・竹田 宣典

V-2 (センター2号館2203教室) /9月12日(火)

■リサイクル(舗装) /9:00~10:20/若林 由弥(土木研究所)

- V-102 コンクリート廃材を使用した舗装の事例/大林道路 [正] 井手 義勝・渡邊 満葉・狩屋 雅之
- V-103 再生混合物の性能向上に関する一検討/昭和シェル石油 [正] 佐野 昌洋・瀬尾 彰
- V-104 積雪寒冷地における繰り返し利用時のアスファルト再生骨材の性状変化に関する一考察/土木研究所寒地土木研究所 [正] 木村 孝司・安倍 隆二・上野 千草
- V-105 リサイクル材料を利用した常温アスファルト混合物の配合検討および性能評価/関電工 [正] 茅ノ間 恵美・井口 昌之・山本 大介
- V-106 透水性舗装材の保水性に関する基礎的研究/九州工業大学 [学] 師岡 拓真
- V-107 高温高圧水による劣化アスファルトの改質検討/日本大学 [学] 富田 凌平・赤津 憲吾・並木 大宜
- V-108 ポリマー改質アスファルト含有発生材に対する分別再材料化技術の適用性/日本大学 [学] 佐久間 達也・青柳 佳祐・加賀田 成

■構造評価(舗装) /10:40~12:00/井谷 雅司(土木研究所)

- V-109 FWDによる普通コンクリート舗装の健全性評価/土木研究所 [正] 松本 健一・若林 由弥・渡邊 一弘
- V-110 コンクリート舗装におけるひずみ計測に基づく不同沈下量の検討/広島大学 [正] 小川 由布子・亀田 昭一・佐藤 良一
- V-111 有限要素法を用いたコンクリート舗装の目地部評価に関する検討/土木研究所 [正] 若林 由弥・松本 健一・渡邊 一弘
- V-112 路床と路盤の締固め状態を評価できる簡易な測定方法の検討/土木研究所 [正] 寺田 剛・岩永 真和・藪 雅行
- V-113 アスファルト舗装でオーバーレイしたコンクリート舗装の

- 健全性評価／東日本高速道路 [正] 佐藤 正和・竹村 真那斗・湯下 義弘
- V-114 ひび割れ劣化進行度とFWDたわみ量との比較検討／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 高井 健志・中村 康広・小田山 宏亮
- V-115 高速道路の舗装における補修の影響と舗装の層厚を考慮した層別耐荷力評価／大阪大学 [学] 荒木 駿・風戸 崇之・貝戸 清之
- V-116 小型FWDと車載型FWDの値の関連性／福井県工業技術センター [正] 三田村 文寛

V-2 (センター2号館2203教室) / 9月13日(水)

■製造・施工 / 9:00~10:20 / 坂本 淳(大成建設)

- V-117 細骨材の表面水率の違いがコンクリートのフレッシュ性状に及ぼす影響／福岡大学 [学] 松浦 佑弥・橋本 紳一郎・徳光 卓
- V-118 塑性粘度を考慮した間隙充填モルタルの充填性評価に関する研究／首都大学東京 [学] 武地 慧征・艾爾肯 艾麗菲拉・宇治 公隆
- V-119 間隙通過性試験およびタンピング試験によるPC部材用コンクリートの施工性能評価の検討／オリエンタル白石 [正] 中村 敏之・橋本 紳一郎・吉村 徹
- V-120 数値解析によるボックス形とU形容器および小型模擬型枠内を流動するコンクリートの間隙通過性の評価／徳島大学 [学] 中島 翼・橋本 親典・岡友 貴
- V-121 型枠の撥水性・平滑性の変化によるブリーディング挙動の変化と水みちの可視化による表面気泡生成メカニズムの考察／東京大学 [学] 中山 功暉・石田 哲也・吉田 祐麻
- V-122 コンクリート構造物の養生計画立案手法に関する研究／石川工業高等専門学校 [学] 大島 美穂・福留 和人・連 亮也
- V-123 掘削機用走行レールに設けた開口の有無が中埋めコンクリートの充填性に与える影響／オリエンタル白石 [正] 石井 智大・東 洋輔・小林 俊秋
- V-124 ニューマチックケーソン工法の無人化施工への取り組み(掘削機走行レール残置手法)／オリエンタル白石 [正] 東洋輔・石井 智大・福田 淳二

■締固め / 10:40~12:00 / 上野 敦(首都大学東京)

- V-125 砕砂使用および低単位セメント量のコンクリートの間隙通過性向上に関する検討／清水建設 [正] 高橋 圭一・浦野 真次・根本 浩史
- V-126 骨材粒度がプレストレストコンクリートの充填性に及ぼす影響／東急建設 [正] 杉田 菜々望・橋本 紳一郎・中村 敏之
- V-127 モルタルにおける細骨材の粒度分布の違いが加振下での塑性粘度、充填性およびブリーディング量に与える影響／東海大学 [学] 竹久 大貴・井手 一雄・橋本 紳一郎
- V-128 フライアッシュコンクリートの実構造物の施工性能評価／香川高等専門学校 [正] 林 和彦・中村 瞭・徳田 義一
- V-129 テーブルバイブレータで締固めたコンクリートの凍結融解抵抗性に関する検討／ホクエツ [正] 湊 信之・貝森 英樹
- V-130 再振動締固め方法の違いが強度特性および塩分浸透に及ぼす影響に関する基礎的研究／福岡大学 [学] 阿部 稜・久保田 崇嗣・植原 弘貴
- V-131 バイブレータの周波数がコンクリートの物質透過性に与える影響／芝浦工業大学 [学] 田箆 滉貴・伊代田 岳史・岡本 敏道
- V-132 材料分離に伴うペースト割合と表層透気性の変動に関する検討／東京理科大学 [学] 村上 大介・西村 和朗・加藤 佳孝

■ポンプ圧送 / 15:20~16:40 / 根本 浩史(清水建設)

- V-133 フレッシュコンクリート試験と平均管内圧力との関係／前田建設工業 [正] 太田 健司・南 浩輔・橋本 紳一郎
- V-134 コンクリートの簡易圧送性評価手法を用いたリアルタイム評価に関する検討／前田建設工業 [正] 南 浩輔・太田 健司・橋本 紳一郎
- V-135 超高強度モルタルの管内流動性評価に関する検討／大成建設 [正] 渡部 孝彦・橋本 理・武田 均
- V-136 圧送を伴うコンクリートの筒先での品質確保に関する一考察／前田建設工業 [正] 今井 嵩弓・宮澤 友基・太田 健司
- V-137 圧送性改善剤を用いたコンクリートの圧送性に関する検討／福岡大学 [学] 竹山 博之・北野 潤一・橋本 紳一郎
- V-138 膨張材併用軽量コンクリート(Ⅱ種)のポンプ圧送性に関する一検討／首都高速道路 [正] 井田 達郎・岸田 政彦・樋口 祐治
- V-139 流動コンクリートの管内流動に関する研究／日本大学 [正] 伊藤 義也・根本 竜太郎・山口 晋

- V-140 増粘剤一液型高性能AE減水剤を用いた高流動コンクリートのポンプ圧送性に関する検討／鉄建建設 [正] 西脇 敬一・関口 健二・ヴ ニャットリン

V-3 (センター2号館2208教室) / 9月11日(月)

■構造物調査・診断(1) / 9:00~10:20 / 田中 泰司(東京大学)

- V-141 高速道路橋梁下部工におけるコンクリートの塩害と凍害に関する劣化状況調査／東日本高速道路 [正] 鈴木 貴洋・曾田 信雄・早坂 洋平
- V-142 強制加振試験によるRC構造物の簡易点検手法の検討／東北大学 [正] 内藤 英樹・杉山 涼亮・松本 泰季
- V-143 電磁波レーダー探査による中空床版橋の異常箇所調査報告／復建技術コンサルタント [正] 唐木 正史・窪田 光作・高橋 晃浩
- V-144 局所的に上床版厚が不足するRC中空床版橋の床版耐荷力の照査方法等についての検討報告／復建技術コンサルタント [正] 飯土井 剛・窪田 光作・高橋 晃浩
- V-145 平面的損傷の画像解析手法の開発／大成建設 [正] 鈴木 三馨・本澤 昌美・堀口 賢一
- V-146 非破壊調査による円筒枠上かぶり厚の測定結果検証／西日本高速道路エンジニアリング中国 [正] 大田 一成・末永 拓剛・高橋 保則
- V-147 大正時代後期のコンクリート材料試験／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 赤堀 誠・小林 薫・伊藤 隼人
- V-148 コンクリート橋検査における可搬型高エネルギーX線源の透過X線撮像能力の定量化／東京大学 [学] 竹内 大智・小沢 孝生・三津谷 有貴

■構造物調査・診断(2) / 10:40~12:00 / 青木 圭一(中日本高速道路)

- V-149 マルチコプタ(ドローン)の橋梁点検への展開／大日本コンサルタント [正] 平山 博・小林 大・越後 滋
- V-150 模擬空隙を与えたコンクリート供試体の周波数応答解析／東北大学 [学] 小林 滉季・杉山 涼亮・内藤 英樹
- V-151 切出しPC桁におけるコア削孔法の鋼材応力と鋼材切断法の鋼材応力の比較／富山県立大学 [学] 小林 勇佑・伊藤 始・西野 哲史
- V-152 コンクリート内鉄筋からの散乱波抽出と鉄筋界面の可視化／福井大学 [学] 角田 貴也・鈴木 啓悟
- V-153 コンクリート中の含水率とかぶり厚が鉄筋の腐食速度に及ぼす影響／東急建設 [正] 前原 聡・伊代田 岳史
- V-154 旧仕様PCグラウトの充填特性確認実験／首都高速道路 [正] 蒲 和也・半澤 功祐・青木 聡
- V-155 補強RC床版の床版上面増厚による疲労耐久性の効果分析／西日本高速道路エンジニアリング関西 [正] 柳井 喜浩・松井 隆行

■構造物調査・診断(3) / 構造設計 / 15:20~16:40 / 秋山 充良

(早稲田大学)

- V-156 実橋梁の変位測定および測定結果に基づく曲げ剛性評価に関する一検討／北海道大学(現:パシフィックコンサルタンツ) [学] 高沢 優人・佐藤 靖彦・前田 芳巳
- V-157 腐食ひび割れ幅から推定した腐食量による鉄筋腐食RCはりの曲げ耐荷力推定／京都大学 [学] 大塚 尊之・山本 貴士・高谷 哲
- V-158 単純PRCT型15主桁の列車高速走行時の動的挙動解析／東日本旅客鉄道 [F] 小林 薫・伊藤 隼人
- V-159 高架橋における梁スラブ構造の耐力に関する載荷試験／東日本旅客鉄道 [正] 平尾 隆太郎・佐々木 尚美
- V-160 吉野川渡河部に架かる吉野川大橋(仮橋)の設計／西日本高速道路 [正] 飯田 浩貴・和田 吉憲
- V-161 RCボックスカルバート隅角部の配筋合理化に関する数値解析的検討／大成建設 [正] 村田 裕志・畑 明仁
- V-162 既存橋梁に着目した二枚壁橋脚の構造特性とその効果／日本大学 [学] 高松 寛子・関 文夫

■連続繊維補強コンクリート(構造) / 短繊維補強コンクリート(構造) /

17:00~18:20 / 上原 晶久(弘前大学)

- V-163 炭素繊維シートで補強されたRC桁のせん断耐力に関する実験的研究／北海学園大学 [正] 高橋 義裕・立石 晶洋・荒添 正棋
- V-164 CFRPプレート接着補強工法におけるポリウレタ樹脂挿入による付着性能の改善／九州大学 [学] 扇 孝洋・日野 伸一・畠山 繁忠
- V-165 変動を伴う高レベル荷重下におけるBFRPシートとコンクリートの付着挙動／名城大学 [学] 金 天玉・岩下 健太郎・近藤 修

- V-166 高強度ひずみ硬化型セメント系材料製のパネルを用いた合成床版の曲げ破壊性状／東亜建設工業 [正] 忽那 惇・田中 亮一・網野 貴彦
- V-167 高い損傷レベルの変形を受けた材料・構造特性の異なるRC柱の軸方向鉄筋の座屈性状について／中部大学 [学] 近藤 貴紀・水野 英二
- V-168 超高強度繊維補強セメント系材料の圧縮破壊挙動に関する高速度画像計測／神戸大学 [学] 渡邊 大基・三木 朋広・河野 克哉
- V-169 バサルト繊維や鋼繊維を用いた短繊維補強コンクリートの軸引張試験の再現解析／鉄道総合技術研究所 [正] 笹田航平・田中 徹・仁平 達也
- V-170 3次元RBSMによる繊維補強コンクリートのせん断伝達挙動の解析的評価／関西大学 [学] 佐藤 輝忠・上田 尚史

V-3 (センター2号館2208教室) / 9月12日(火)

■補修・補強(構造) (1) / 9:00~10:20 / 服部 尚道(東急建設)

- V-171 展張格子鋼板筋を用いたRCボックスカルバートの補強に関する実大載荷実験/JFEシビル [正] 吉岡 泰邦・塩田啓介・内藤 仁志
- V-172 PPCを上面増厚したRC床版の梁型負曲げ試験／東京都市大学 [学] 文屋 遼太郎・小森 篤也・吉川 弘道
- V-173 主桁間に補強鋼管を有するPRC桁の剛性向上と鋼管接合部に関する実験的検討／東日本旅客鉄道 [正] 伊藤 隼人・小林 薫
- V-174 高強度鉄筋を用いた既設RC柱の曲げ補強工法の開発／奥村組 [正] 山口 治・松本 恵美・三澤 孝史
- V-175 異なる引張特性を有するFRCCによるせん断補強効果／大阪市立大学 [学] 公文 裕之・大宅 慧・角掛 久雄
- V-176 鋼板格子筋を用いて補強した低せん断スパン比RCはりの載荷実験/JFEシビル [正] 塩田 啓介・吉岡 泰邦・内藤 仁志
- V-177 応力履歴を与えたRCはりに鋼板格子筋を配置した断面増厚補強法における補強効果／日本大学 [F] 阿部 忠・田中 佐愛・塩田 ケイスケ
- V-178 PIC板を用いたRC梁試験体の曲げ試験における補強効果に関する研究／長崎大学 [学] 岩本 康平・松田 浩・鶴田 健

■補修・補強(構造) (2) / 曲げ / 10:40~12:00 / 小林 薫

(東日本旅客鉄道)

- V-179 炭素繊維束で端部定着された炭素繊維グリッド板のせん断特性について／福山大学 [正] 宮内 克之・下枝 博之・三島 弘敬
- V-180 豪雪地域における剥離・剥落対策工(ネット工)の改良／JR東日本 [正] 滝澤 和慶・本望 義昌・白又 幹敏
- V-181 内在塩分に起因した塩害損傷における補修材料の比較と評価／阪神高速技術 [正] 辻本 栄一・向井 梨紗・坂本 直太
- V-182 軽量コンクリート(II種)と炭素繊維シートとの付着特性に関する実験的研究および一考察／首都高速道路 [正] 岸田政彦・井田 達郎・樋口 祐治
- V-183 道路橋RC床版に対する含浸系防水材による補修効果に関する研究／大阪市立大学 [学] 小瀬 詠理・新名 勉・田村 悟士
- V-184 ホームドア設置に伴う桁式乗降場既設穴あきPC板の健全性照査／ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 木村敬・内田 裕人・山本 忠
- V-185 ファイバーモデルを用いた地震応答解析によるRC橋脚の軸力変動の検討／大日本コンサルタント [正] 高 文君・吉澤 努・徳橋 亮治
- V-186 RBSM-FEM結合解析手法を用いたRC杭一地盤連成系の損傷評価解析／名古屋大学 [学] 北川 晴之・山本 佳士・中村 光

V-3 (センター2号館2208教室) / 9月13日(水)

■耐震 / 9:00~10:20 / 松崎 裕(東北大学)

- V-187 レンガ積層体構造壁式橋脚の力学的特性に関する基礎的研究／鉄建建設 [正] 好竹 亮介・藤田 健史・塚田 堅士
- V-188 RC多方向びり割れモデルを組み込んだ有限要素解析による非線形挙動の比較検討／コムスエンジニアリング [正] 福浦 尚之・前川 宏一
- V-189 柱主鉄筋を梁上面の鋼板にナット締め定着した柱梁接合部構造に関する実験的検討／東日本旅客鉄道 [正] 國井 道浩・渡部 太郎・佐々木 尚美
- V-190 メナーゼヒンジを有する部材の耐震性能(ヒンジ回転方向)

- ／高速道路総合技術研究所 [正] 広瀬 剛・高原 良太・武田 篤史
- V-191 メナーゼヒンジを有する部材の耐震性能(ヒンジ回転軸方向)／大林組 [正] 中村 泰・武田 篤史・高原 良太
- V-192 梁高さを縮小して柱主筋を鋼板定着した柱梁接合部に関する実験的検討／東日本旅客鉄道 [正] 倉岡 希樹・國井 道浩・築嶋 大輔
- V-193 内巻き帯鉄筋を有するRC柱の高軸圧縮応力下における変形性能／東日本旅客鉄道 [正] 松田 聡美・佐々木 尚美
- V-194 相対的に大きなかぶりを有するRC棒部材のせん断耐力に関する解析的検討／コムスエンジニアリング [正] 米津 薫・土屋 智史・牧 剛史

■耐震・補強 / 振動 / 10:40~12:00 / 岡本 大(鉄道総合技術研究所)

- V-195 小田急小田原線酒匂川橋梁の耐震補強工場の検討—鋼棒後挿入工法の採用—／熊谷組 [正] 大本 晋士郎・岸田 敦朗・小高 篤司
- V-196 耐震壁のあるRC柱に対する一面からの耐震補強効果／東日本旅客鉄道 [正] 齋藤 祐樹・大郷 貴之
- V-197 開口のある耐震壁を有する鉄道ラーメン高架橋柱の耐震性能と補強効果／東日本旅客鉄道 [正] 藤田 健史・齋藤 祐樹・大郷 貴之
- V-198 あと施工型せん断補強工法の極厚部材への適用性に関する解析的評価／ニュージェック [正] 松本 敏克・福浦 尚之・池尻 一仁
- V-199 内部にレールを有するコンクリート橋脚を模擬した交番載荷実験／東日本旅客鉄道 [正] 高橋 紗希子・鈴木 雄大・大郷 貴之
- V-200 超高強度コンクリートの物性と高品質構造材からなるRC柱・梁の繰返し漸増載荷時の挙動に関する研究／浅野工学専門学校 [正] 殿廣 泰史・加藤 直樹・加藤 清志
- V-201 PC桁のプレストレス量と振動特性に関する一考察／高速道路総合技術研究所 [正] 豊田 雄介・広瀬 剛・設楽 和久

■疲労・衝撃 / 15:20~16:40 / 千々和 伸浩(東京工業大学)

- V-202 異形鉄筋と丸鋼を用いたRCはりに関する繰返し載荷試験時の挙動の違い／土木研究所 寒地土木研究所 [正] 林田 宏
- V-203 移動輪荷重下におけるRC床版の疲労耐久性評価式の提案／北海道大学 [学] 濱田 那津子・竹田 京子・佐藤 靖彦
- V-204 若材齢及び凍結させたセメント材料を用いた高速載荷試験／法政大学 [学] 加藤 遼二郎・藤山 知加子
- V-205 輪走行作用下におけるRC床版の疲労損傷過程に関する検討／日本大学 [学] 島野 孝則・前島 拓・子田 康弘
- V-206 鉄道運行情報を活用した鉄道構造物の累積疲労損傷度の推定手法／鉄道総合技術研究所 [正] 徳永 宗正・後藤 恵一・曾我部 正道
- V-207 風車基礎接合部のコンクリート損傷に及ぼす空隙の影響に関する研究／大阪市立大学 [学] 菅 祐太郎・黒木 唯真・角掛 久雄
- V-208 鋼製容器で被覆した鋼繊維補強ポリマー含浸コンクリート製保管容器の落下試験／太平洋セメント [正] 森 寛晃・本間 健一・小森 久幸

V-4 (センター2号館2202教室) / 9月11日(月)

■維持管理 (1) / 9:00~10:20 / 勝本 太(芝浦工業大学)

- V-209 高強度高耐久セメント系繊維補強材料の物性および耐久性／大林組 [正] 平田 隆祥・川西 貴士・貫田 誠
- V-210 ガラスクロスによる剥落対策を行った跨線橋におけるコンクリート片落下とその対応／西日本高速道路 [正] 松下 剛・中野 尚人・竈本 武弘
- V-211 劣化した溶融亜鉛めっき鋼板の簡易塗替え補修仕様の検討／西日本高速道路エンジニアリング関西 [正] 上田 憲寿・木虎 久人・松本 倫毅
- V-212 亜硝酸リチウムを用いたグラウト再注入補修を行った既設PC橋におけるPC鋼材の自然電位モニタリング／ピーエス三菱 [正] 鴨谷 知繁・石井 浩司・森川 英典
- V-213 海岸部に位置する乗換ご線橋の塩害に関する調査報告及び対策工の検討／東日本旅客鉄道 [正] 立石 和也・志村 雅仁・霧木 寿
- V-214 既設表面保護工箇所の含水率と鉄筋腐食に関する実橋調査／JR東海 [正] 宮本 祐輔・伊藤 雄郷・仲佐 俊之
- V-215 中性化残りの違いが表面含浸材施工による防食効果へ与える影響／高知高専 [学] 門田 悠伽・近藤 拓也・山田 悠二
- V-216 コンクリートの中性化が吸水性状に及ぼす影響に関する一考察／名古屋工業大学 [学] 米塚 真道・井上 裕介・吉田 亮

■維持管理(2) /10:40~12:00/藤井 隆史(岡山大学)

- V-217 異なる鉄筋を対象とした光ファイバセンサによる腐食膨張挙動モニタリング/太平洋セメント [正] 吉田 愛・早野博幸・江里口 玲
- V-218 光ファイバセンシングによる鉄筋の腐食状況の検証/太平洋セメント [正] 早野 博幸・吉田 愛・江里口 玲
- V-219 表面弾性波可視化技術と目視検査による表面ひび割れ発生確認に基づく鉄筋腐食率の早期推定/京都大学 [学] 北条優・辻岡 章雅・畠堀 貴秀
- V-220 マンホール未入孔点検技術1—上床版自動撮影装置/NTT [正] 古川 貴之
- V-221 マンホール未入孔点検技術2—上床版撮影画像を用いた劣化部位検知システム/日本電信電話 [正] 齋藤 千紘・柳秀一・奥津 大
- V-222 FAコンクリート中の鉄筋腐食に対する腐食環境センサの適用性評価/金沢工業大学 [学] 田中 祐貴・宮里 心一・畑中 達郎
- V-223 ひび割れ補修を施した鉄筋コンクリートの鉄筋腐食実験/電力中央研究所 [正] 松尾 豊史・松村 卓郎・大塚 拓
- V-224 リーン系二相ステンレス鋼の河川環境暴露試験による耐食性評価/土木研究所 [正] 岡田 修幸・富山 禎仁・西崎 到

■維持管理(3) /15:20~16:40/小松 怜史(横浜国立大学)

- V-225 樋管および壁状構造物に発生したセパレタ周りの沈みひび割れに関する研究/東北学院大学 [正] 武田 三弘・大塚 浩司
- V-226 レベルセット関数を利用したコンクリート構造物のひび割れ自動計測に関する研究/茨城大学 [学] 中野 葵・渡辺ともみ・車谷 麻緒
- V-227 鉄道H鋼埋込桁の健全度調査/ジェイアール西日本コンサルタンツ [正] 木戸 弘大・井口 真一・濱田 謙
- V-228 PC桁のひび割れを検知する導電性回路の検討/鉄道総合技術研究所 [正] 永坂 亮介・仁平 達也・岡本 大
- V-229 環境条件の地域性や構造特性に基づく全国港湾橋RC床版の劣化傾向の類型化/新潟大学 [学] 北澤 周作・大竹雄・兵頭 志志
- V-230 高大連携による地域橋梁の維持管理手法に関する一提案/日本大学 [学] 浅野 和香奈・加藤 勇・子田 康弘
- V-231 生存時間解析を用いた橋橋上部工の劣化進行に影響を及ぼす要因の抽出/海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 [正] 田中 豊・川端 雄一郎・加藤 絵万
- V-232 3次元CIMデータを用いた橋梁長寿命化の検討/パシフィックコンサルタンツ [正] 矢口 昂史・鶴田 浩章・上田 尚史

■維持管理(4) /劣化予測/17:00~18:20/井林 康

(長岡工業高等専門学校)

- V-233 箱型トンネルにおける材料劣化が構造物の力学性能に与える影響に関する解析的検討/東京地下鉄 [正] 河畑 充弘・辻 貴大・渡邊 貞之
- V-234 橋梁点検における3次元有限要素モデルの有効性/群馬県建設技術センター [正] 根岸 伸治・濱本 朋久・三田 淳
- V-235 ゴム支承の2軸圧縮せん断試験におけるゴム支承の大ひずみ計測及び解析/長崎大学 [学] 城野 優一・松田 浩・今井 隆
- V-236 ASR劣化コンクリート構造物に対して実施した補修および補強対策後10年目の検証/石川県 [正] 津田 誠・浦 修造・鳥居 和之
- V-237 劣化要因の分類に基づく下部工の劣化予測に関する一考察/金沢大学 [学] 菊池 創太・久保 善司・福留 和人
- V-238 通信用マンホール内の鉄筋の腐食要因/NTT [正] 藤本 憲宏・古川 貴之・永井 友康
- V-239 実測腐食減量による鉄筋腐食速度評価手法の精度検討/四国総合研究所 [正] 中川 裕之・松島 学
- V-240 トンネル覆工コンクリートの早期段階のカルシウム溶脱現象の解明/金沢工業大学 [学] 望月 秀太郎・木村 定雄・大嶋 俊一

V-4 (センター2号館2202教室) /9月12日(火)

■非破壊試験法(1) /9:00~10:20/渡邊 健(徳島大学)

- V-241 鉄筋腐食によるコンクリート内部劣化の評価への弾性波トモグラフィ法の適用性/京都大学 [学] 村上 陸・河野 広隆・塩谷 智基
- V-242 表面弾性波可視化技術による表面被覆下のコンクリートひび割れの検出/京都大学 [学] 山名 晋平・河野 広隆・服部 篤史
- V-243 受信波の位相変化量に基づいた内部欠陥サイズ推定方法の

- V-244 検討/大進コンサルタンツ [正] 炭谷 浩一・山下 健太郎
- V-245 多数点測定の時相変化情報に基づいた内部欠陥探査方法の検討/東洋計測リサーチ [正] 山下 健太郎・炭谷 浩一
- V-246 鋼材腐食RC梁のモード円適合による減衰比測定/防衛大学校 [正] 黒田 一郎・菅原 隆司
- V-247 接着系あと施工アンカーの付着性能が打撃応答特性に及ぼす影響/長岡工業高等専門学校 [学] 舟波 尚哉・村上 祐貴・高橋 知也
- V-248 打撃応答特性を自己組織化マップに適用したコンクリート内部の欠陥領域評価/長岡工業高等専門学校 [学] 野内 彩可・村上 祐貴・井山 徹郎

■非破壊試験法(2) /10:40~12:00/麻植 久史(京都大学)

- V-249 PCグラウトの充填率が弾性波初動部に及ぼす影響/首都大学東京 [学] 佐藤 剛・大野 健太郎・宇治 公隆
- V-250 火害を受けたコンクリートの衝撃弾性波法による劣化範囲の評価手法/東京都 [学] 前田 祐輔・大野 健太郎・宇治 公隆
- V-251 平地走行型ロボットを用いたコンクリート内部欠陥の非破壊評価手法/立命館大学 [学] 野崎 峻・内田 慎哉・松橋 貫次
- V-252 コンクリートの養生期間が弾性波伝搬に及ぼす影響/コンステック [正] 鄭 子揚・佐藤 大輔・田中 昭洋
- V-253 銅スラグ細骨材コンクリートに対する圧縮強度推定手法の適用に関する検討/徳島大学 [学] 鈴木 彩莉・西山 航平・渡辺 健
- V-254 電磁パルス法によるかぶりコンクリートの品質評価における粗骨材体積濃度の影響/大阪大学 [学] 東 賢明・鎌田 敏郎・寺澤 広基
- V-255 電磁パルス法による接着系あと施工アンカーの非破壊評価に関する実験的検討/大阪大学 [正] 服部 晋一・鎌田 敏郎・寺澤 広基

V-4 (センター2号館2202教室) /9月13日(水)

■非破壊試験法(3) /9:00~10:20/内田 慎哉(立命館大学)

- V-256 超音波横波トモグラフィ装置によるコンクリート内部調査事例/青木あすなろ建設 [正] 新井 佑一郎・坂本 浩之・三上 創史
- V-257 低周波アレイ探触子を用いたコンクリート深部の鉄筋映像化/愛媛大学 [学] 小澤 耀生・中畑 和之・大平 克己
- V-258 コンクリート内部の音速分布と接触時間、貫入抵抗値の関係/ものづくり大学 [正] 森濱 和正・澤本 武博
- V-259 埋込み小型振動デバイスをを用いた覆工コンクリート厚の測定に関する基礎実験/金沢工業大学 [学] 手塚 勇策・木村 定雄・戸本 悟史
- V-260 橋梁遊間部胸壁を対象とする打音点検装置の開発/長岡工業高等専門学校 [学] 高橋 知也・池田 富士雄・村上 祐貴
- V-261 機械学習を利用した打音法によるコンクリート浮き部検出に関する基礎研究/芝浦工業大学 [学] 佐相 駿実・勝木 太・日比野 克彦
- V-262 自己組織化マップSOMを用いた打音法/佐藤工業 [正] 歌川 紀之・黒田 千歳・安永 守利

■非破壊試験法(4) /10:40~12:00/蔵重 勲(電力中央研究所)

- V-263 空気圧力を用いたコンクリートの表面吸水試験装置の精度向上/香川高等専門学校 [学] 増尾 敬・林 和彦
- V-264 画像解析によるコンクリート表層における吸水性状の評価/鉄道総合技術研究所 [正] 西尾 壮平
- V-265 各種シリンドラを用いたコンクリート表層の透気試験方法の検討/徳島大学 [学] 面矢 建次郎・渡辺 健・関川 昌之
- V-266 In-situ evaluation of cover concrete quality of road bridges in Thailand and Myanmar/北海道大学 [正] ヘンリー マイケル・佐々木 敏樹・松本 浩嗣
- V-267 気体流量センサを用いたPCグラウト充填不足部における新たな空隙体積推定手法の提案/CORE技術研究所 [正] 小椋 紀彦・西 弘・西口 裕之
- V-268 印加電圧の周波数が二電極法におけるモルタル中の電流密度分布に与える影響/大阪大学 [学] 眞下 裕也・工藤 正智・寺澤 広基
- V-269 反発速度比を用いたコンクリート強度推定および打撃角度に関する検討/高速道路総合技術研究所 [正] 飛田 一彬・萩原 直樹・渡邊 晋也

■非破壊試験法(5) /15:20~16:40/金田 尚志

(日鐵住金テクノロジー)

- V-270 分光分析法を用いたコンクリート表面塩分量の面的計測/

- V-270 長岡技術科学大学 [学] 井野 裕輝・原田 健二・下村 匠
蛍光X線を用いた塩化物イオン量推定に関する研究/法政
大学 [学] 渡部 瑠依子・溝淵 利明
- V-271 電磁波レーダを用いたコンクリート内部のひび割れ探査に
関する基礎的検討/長岡技術科学大学 [学] 後藤 新・武
田 健太・下村 匠
- V-272 炭素繊維シート補強したRCはり供試体の空隙の検知/東
北大学 [学] 近 栄一郎・神宮 裕作・内藤 英樹
- V-273 固有振動数の測定による漁港施設の機能診断方法の検討/
東海大学 [学] 丸山 敏生・笠井 哲郎・島崎 洋治
- V-274 ウォータージェットによる非破壊検査法(水撃音響法)の加振
周波数/熊本大学 [正] 森 和也・徳臣 佐衣子
- V-275 MRIによるセメント硬化体への水分浸透の非破壊観察/東
京大学 [正] 酒井 雄也・横山 勇気・岸 利治

V-5 (センター2号館2209教室) / 9月11日(月)

- 付着・定着・継手(1) / 9:00~10:20 / 轟 俊太郎
(鉄道総合技術研究所)
- V-276 ステンレスおよびニレジスト製モルタル充填式継手の単体
性能に関する検討/日本スプライススリーブ [正] 松本
智夫・阿瀬 正明・二羽 淳一郎
 - V-277 拘束型重ね継手の破壊形態に関する引張実験/前橋工科大
学 [学] 高田 遼太・飯塚 豊・岡野 素之
 - V-278 化学的目粗し法を用いた処理面の付着特性/東京都市大学
[正] 栗原 哲彦・田口 晃大・山崎 和宥
 - V-279 湿潤環境下における接着系あと施工アンカーのクリーブ挙
動の検討/土木研究所 [正] 富山 禎仁・中村 崇・西崎 到
 - V-280 主鉄筋をあと施工アンカーで施工した接合梁の曲げ荷重試
験/安藤ハザマ [正] 西村 毅・新井 泰・水上 博之
 - V-281 あと施工アンカーの耐振動性に関する実験的検討/東日本
旅客鉄道 [正] 菅原 寛文・井口 重信・倉岡 希樹
 - V-282 プレキャスト部材における新しい鉄筋継手構造の引張試験
/大成建設 [正] 趙 唯堅・北村 健・岩崎 郁夫
 - V-283 鉄筋継手形状毎の機械的性質と材料変化について/小野工
業所 [正] 高橋 明彦・八城 勇一・大西 弘志

- 付着・定着・継手(2) / 10:40~12:00 / 上田 尚史(関西大学)
- V-284 アンカー近接およびへりあきが同時に影響するあと施工ア
ンカーの引抜き耐力の評価法/鉄道総合技術研究所 [正]
三倉 寛明・田所 敏弥・岡本 大
 - V-285 RC部材の接合部の破壊性状に関する解析的検討/鹿島建設
[正] 松永 たかこ・曾我部 直樹・平 陽兵
 - V-286 既設RC構造物との継手適用に向けた拡底アンカー筋の基
礎的実験/首都高速道路 [正] 柿木 啓・相川 智彦・石原
陽介
 - V-287 溶接姿勢・鉄筋種類がD51のK型フレア溶接のど厚サイ
ズ及び精度に及ぼす影響/鉄道総合技術研究所 [正] 佐藤
浩二・仁平 達也・岡本 大
 - V-288 ループ鉄筋の曲げ内径が継手の曲げ挙動に与える影響/三
井住友建設 [正] 竹山 忠臣・佐々木 亘・篠崎 裕生
 - V-289 機械式定着鉄筋の定着プレートのかかり長が部材性能に及
ぼす影響確認実験/大成建設 [正] 山本 悠人・畑 明仁・
梶 修
 - V-290 鉄筋コンクリート部材にあと施工した鉄筋に関する引抜き
試験/安藤ハザマ [正] 澤田 純之・水上 博之・新井 泰
 - V-291 現場切り出し鉄筋コンクリート部材にあと施工した鉄筋に
関する引抜き試験/安藤ハザマ [正] 村上 祐治・水上 博
之・新井 泰

- 付着・定着・継手(3) / 15:20~16:40 / 高橋 良輔(秋田大学)
- V-292 ねじ込み式あと施工アンカーの耐荷力に関する検討/東海
旅客鉄道 [正] 鎌田 卓司・吉田 幸司
 - V-293 端部拡径鉄筋を用いた床版継手構造の実験的研究/三井住
友建設 [正] 三加 崇・竹山 忠臣・篠崎 裕生
 - V-294 線形判別関数を用いた新旧コンクリート打継面の付着特性
評価法/長崎大学 [学] 海部 貴裕・岩本 康平・松田 浩
 - V-295 補強鉄筋埋設方式PCM巻立て補強工法における鉄筋定着
長に関する実験的研究/九州大学 [学] 石村 昌也・日野
伸一・小沼 恵太郎
 - V-296 埋め込み深さの変化によるボルト定着部の付着破壊メカ
ニズムに関する一考察/愛知工業大学 [学] 近藤 駿光・宗
本 理・鈴木 森晶
 - V-297 接着系拡張アンカーのコンクリートのひび割れに対する性
能の評価/日本ヒルティ [正] 石原 力也・高橋 宗臣
 - V-298 機械式定着具を用いた鉄筋の付着特性に関する解析的検討
/日本交通技術 [正] 古屋 卓稔・中田 裕喜・田所 敏弥

- V-299 鍛造加工した端部拡径鉄筋の定着性能に関する実験的検討
/三井住友建設 [正] 野並 優二・三加 崇・竹山 忠臣
- プレキャストコンクリート/17:00~18:20/河野 哲也(鹿島建設)
- V-300 炉体基礎更新工事でのPCa化による生産性向上について/
大林組 [正] 山崎 博重・中村 範一・高田 元気
- V-301 コッター式継手を有する橋梁用床版(コッター床版)の性能
確認試験(その1)/熊谷組 [正] 渡邊 輝康・浅見 恭輔
- V-302 コッター式継手を有する橋梁用床版(コッター床版)の性能
比較試験(その2)/熊谷組 [正] 宮川 隆良・渡邊 輝康・
松本 政徳
- V-303 傾斜路におけるプレキャストボックスカルバートのPC鋼
棒を用いた縦方向一体性についての研究/技研 [正] 祐川
真也・橋詰 豊・長谷川 明
- V-304 更新用プレキャストコンクリート壁高欄継手に関する実験
的考察/首都高速道路 [正] 石原 陽介・柿木 啓・牧 剛史
- V-305 非線形プッシュオーバー解析によるPCaPC部材の変位靱
性率と曲率靱性率の算定/日本コンクリート工業 [正] 山
下 悠貴・伊藤 康宏・薄葉 信一
- V-306 静的荷重試験によるプレキャスト壁高欄の構造性能確認/
首都高速道路 [正] 染谷 厚徳・濱野 真彰・天野 寿宣
- V-307 凍結防止剤散布下における道路橋プレキャストPC床版の
耐久性向上に関する実験的検討/日本大学 [学] 功刀 裕
貴・前島 拓・子田 康弘

V-5 (センター2号館2209教室) / 9月12日(火)

- せん断・ねじり(1) / 9:00~10:20 / 松本 浩嗣(東京大学)
- V-308 1本杭を支点とした片持ち梁の模型実験シミュレーション
解析/東電設計 [正] 玉置 久也・高橋 秀明・田邊 成
 - V-309 両端固定支持条件下におけるRC棒部材のせん断耐力に及
ぼす軸方向力の効果の検証/鉄道総合技術研究所 [正] 松
下 将士・中田 裕喜・渡辺 健
 - V-310 せん断補強筋がRCはりのせん断強度の寸法効果に及ぼす
影響評価/名古屋大学 [学] 遅 舜元・中村 光・山本 佳士
 - V-311 曲げモーメントとせん断力の相互作用に基づく部材耐力の
評価/北武コンサルタント [正] 齊藤 聡彦・坂口 淳一・
渡辺 忠朋
 - V-312 上側のかぶりが断面高さの小さいRCはりのせん断耐力に
及ぼす影響/鉄道総合技術研究所 [正] 中田 裕喜・渡辺
健・大野 又稔
 - V-313 地中RCボックスカルバートの遅れせん断ひび割れ発生機
構に関する検討/東京工業大学 [学] 木原 亮太・千々和
伸浩・Hung Wen-Yi
 - V-314 鋼角ストッパー周辺のコンクリートのせん断破壊メカニ
ズムに関する解析的検討/鉄道総合技術研究所 [正] 岡本
圭太・笠倉 亮太・轟 俊太郎
 - V-315 高炉スラグ微粉末を高含有したRCはりのせん断性状/太
平洋セメント [正] 安田 瑛紀・森 香奈子・河野 克哉

- せん断・ねじり(2) / コンクリート製品 / 10:40~12:00 /
村田 裕志(大成建設)
- V-316 部分的鉄筋腐食をさせたRCディーブームにおけるせん
断耐力に関する実験的研究/神戸大学 [学] 田中 敦士・
三木 朋広
 - V-317 高荷重が作用する床版部材の押し抜きせん断耐力に
関する一考察/ジェイアール東海コンサルタンツ [正] 益田 悠
貴・木全 伯光・佐藤 僚生
 - V-318 曲げに対するねじり量が異なるRC柱の破壊挙動と耐力の
評価/鉄道総合技術研究所 [正] 大野 又稔・中田 裕喜・
田所 敏弥
 - V-319 廃瓦骨材を用いた高炉セメントB種RCはりのせん断耐力
に及ぼす初期高温履歴の影響/広島大学 [学] 川島 光貴・
小川 由布子・藤原 浩幸
 - V-320 PCaボックスカルバートの隅角部に圧着力を導入した接合
工法の曲げ耐荷挙動に関する実験的研究/ヤマックス
[正] 松本 康資・松田 学・日野 伸一
 - V-321 PC一壁体を用いた自立式擁壁の設計ノモグラムの試案/
日本コンクリート工業 [正] 伊藤 康宏・山下 悠貴・薄葉
信一
 - V-322 鋼材を用いたプレキャスト防潮堤の施工合理化検討/ジ
オスター [正] 谷口 哲憲・竹内 大輔・吉原 健郎

■プレストレストコンクリート / 9:00~10:20 / 細野 宏巳

(三井住友建設)

- V-323 一定せん断流パネルをPC橋に適用する場合のモデル化検討 / オリエンタルコンサルタンツ [正] 原田 健彦・栗山 照雄・河野 晴彦
- V-324 一定せん断流パネルを適用したPC橋の試設計 / オリエンタルコンサルタンツ [正] 栗山 照雄・原田 健彦・正木 守 臨海域におけるPC構造物の劣化特性に関する分析 / 中国電力 [正] 蟻正 慎介・斉藤 直・篠田 龍一
- V-326 破断したPC鋼材を有するPC梁の曲げ性状に関する解析的検討 / 埼玉大学 [学] 徳田 裕美・睦好 宏史・横田 敏広
- V-327 腐食等により断面欠損したPC鋼材を有するPC梁の曲げ性状に関する研究 / 埼玉大学 [学] 本田 美樹・睦好 宏史・横田 敏広
- V-328 PCケーブルの摩擦を考慮したPC構造物に対するFEM解析手法の提案 / 名城大学 [学] 松本 一志・石川 靖晃
- V-329 過大たわみが生じたPC橋梁の長期変形解析に基づく構造性能の評価 / 北武コンサルタンツ [正] 坂口 淳一・坂本 智明・渡辺 忠朋
- V-330 腐食ポストテンション方式PCはりの曲げひび割れ発生以前の挙動 / 高知工業高等専門学校 [学] 中谷 明登・中西 健太郎・近藤 拓也

■新材料・新工法(構造) / 10:40~12:00 / 中村 拓郎(東京工業大学)

- V-331 RC中空床版橋におけるプレキャストコンクリートパネルを用いた部分的床版増厚施工 / 富士技建 [正] 横山 和昭・古澤 貴治・徳光 卓
- V-332 高強度鉄筋を緊張材として使用したPRCプレボス工法の開発その1 PRCプレボス工法の概要と高強度鉄筋MK785(MD16)の付着伝達試験 / ホクエツ [正] 貝森 英樹・大野 義昭・竹田 清二
- V-333 高強度鉄筋を緊張材として使用したPRCプレボス工法の開発その2 セルフアンカー引き抜き実験 / ホクエツ [正] 久道 雄一・貝森 英樹・竹山 博史
- V-334 高強度鉄筋を緊張材として使用したPRCプレボス工法の開発その3 セルフアンカーを使用した継手部の曲げ載荷実験 / ホクエツ [正] 渡邊 潔・貝森 英樹・向山 敦
- V-335 レイタンス処理とけい酸塩系改質材の塗布がコンクリート打継目の付着特性に及ぼす影響 / 東洋大学 [学] 山崎 大輔・森田 浩史・竹中 寛
- V-336 格子鋼板筋を用いた床版部材の押抜きせん断耐荷力および耐疲労性評価 / 日本大学 [学] 新田 裕之・阿部 忠・水口 和彦
- V-337 施工性に優れたプレキャスト部材接合継手 その1 (部材実験) / 鹿島建設 [正] 大窪 一正・松浦 正典・一宮 利通
- V-338 施工性に優れたプレキャスト部材接合継手 その2 (両引き実験) / 鹿島建設 [正] 横田 祐起・松浦 正典・一宮 利通

■数値解析 / 破壊力学 / 15:20~16:40 / 山本 佳士(名古屋大学)

- V-339 金属系あと施工アンカーの定着機構に関する解析的研究 / 西日本高速道路 [正] 山下 翔真・玉井 宏樹・園田 佳巨
- V-340 発電用大型風車のアンボルト式基礎の設計に関する考察 / 三井造船 [正] 松本 巧・南陽 一・岩崎 博
- V-341 THASコンクリート構成モデルの定式化と数値計算アルゴリズム / 清水建設 [正] 長谷川 俊昭
- V-342 版構造のFEM解析における簡易モデルの検討 / 岐阜大学 [学] 黒田 宗之・奥西 淳一・内田 裕市
- V-343 損傷を有するコンクリート円柱供試体の圧縮破壊特性に関する基礎的実験 / 山梨大学 [学] 大垣 志穂・斉藤 成彦
- V-344 3次元非線形有限要素解析と損傷指標によるRCラーメン高架橋の性能評価 / 秋田大学 [正] 高橋 良輔・土屋 智史
- V-345 コンクリートの引張軟化特性に着目した破壊エネルギーの寸法依存性に関する検討 / 首都大学東京 [学] 松崎 晃・大野 健太郎・宇治 公隆

■混和剤 / 9:00~10:20 / 吉田 克弥(日本シーカ)

- V-346 遠心成形コンクリートのスラッジ量低減手法に関する一考察 / ビーエーエスエフジャパン [正] 佐藤 勝太・東堂 光浩・横山 卓哉
- V-347 可塑性付与型セルローズエーテル添加コンクリートに関する基礎的研究 / 信越化学工業 [正] 小西 秀和・山川 勉・大内 雅博
- V-348 セルローズエーテルを用いた一液型減水剤の基礎的研究 /

- 信越化学工業 [正] 山川 勉・小西 秀和
- V-349 水中不分離性混和剤の保存期間に関する一考察 / 清水建設 [正] 矢ノ倉 ひろみ・杉橋 直行・高橋 圭一
- V-350 単位水量中に占めるC-S-H系硬化促進剤が強度・耐久性に与える影響 / 芝浦工業大学 [学] 中西 縁・南 宏達・杉山 知巳
- V-351 モルタルの流動性に及ぼす化学混和剤への熱刺激に関する基礎的研究 / 東海大学 [学] 瀧川 瑞季・土井 駿・喜多 理王
- V-352 亜硝酸塩系硬化促進剤を添加したコンクリートの変形挙動と強度発現に関する基礎的研究 / 北見工業大学 [学] 岩澤 実和・井上 真澄・須藤 裕司
- V-353 高性能水中不分離性プレミックスモルタルの練混ぜ性能に関する一考察 / 太平洋マテリアル [正] 中田 学・中島 裕・福山 誠

■混和材(1) / 10:40~12:00 / 林 大介(鹿島建設)

- V-354 高炉セメントペーストの水和反応と圧縮強度に及ぼす熱養生履歴の影響 / 日本大学 [学] 高久 雅基・佐藤 正己・梅村 靖弘
- V-355 高炉スラグ微粉末に高置換セメントの炭酸化進行メカニズムの検討 / 芝浦工業大学 [学] 三坂 岳広・伊藤 孝文・伊代田 岳史
- V-356 高炉スラグ超微粉末を用いたモルタルの強度および収縮特性 / デイ・シイ [正] 藤原 了・阿部 竜也・二戸 信和
- V-357 高炉スラグ高含有コンクリートの温度ひび割れに関する検討 / 大林組 [正] 野島 省吾・新村 亮・小林 利充
- V-358 低炭素型のコンクリートのフレッシュ性状および圧送性 / 前田建設工業 [正] 白根 勇二・太田 健司・大脇 英司
- V-359 高炉セメント配合モルタルの初期強度に及ぼす硬化促進剤の影響に関する研究 / 東海大学 [学] 中嶋 望・橋本 紳一郎・宇野 洋志城
- V-360 高炉スラグ細骨材を用いたコンクリートの耐凍害性および乾燥収縮の検討 / 清水建設 [F] 浦野 真次・田中 博一・藤井 隆史
- V-361 高炉スラグ細骨材による遷移帯の緻密化とコンクリートの物質移動抵抗性向上効果 / 名古屋工業大学 [正] 吉田 亮・橋本 俊吾・齊藤 和秀

■混和材(2) / 15:20~16:40 / 山本 武志(電力中央研究所)

- V-362 実機製造した高強度フライアッシュコンクリートの流動性と材料分離抵抗性に関する検討 / 富山県立大学 [正] 伊藤 始・栗山 浩・窪田 一沙
- V-363 フライアッシュセメントの水和反応と圧縮強度発現性に及ぼす高温養生履歴の影響 / 日本大学 [学] 篠田 康人・佐藤 正己・梅村 靖弘
- V-364 高温養生履歴がフライアッシュコンクリートの圧縮強度と空隙構造に及ぼす影響 / 日本大学 [学] 厚川 匠汰・佐藤 正己・梅村 靖弘
- V-365 高エーライトセメントに混合するフライアッシュの品質が強度発現性に与える影響について / 電源開発 [正] 石川 学・石川 嘉崇・平尾 宙
- V-366 長期的な熱作用がフライアッシュ混合モルタルの硬化後物性に及ぼす影響 / 大成建設 [正] 木ノ村 幸士・石田 哲也
- V-367 異なる環境に暴露されたフライアッシュコンクリートのボゾラン反応に関する評価 / 電源開発 [正] 石川 嘉崇・細川 佳史・林 建佑
- V-368 高エーライトセメントを用いたフライアッシュセメントの基本特性 / 太平洋セメント [正] 安藝 朋子・久我 龍一郎・星野 清一
- V-369 10年間曝露したフライアッシュコンクリートの耐久性について / 北海道電力 [正] 開 洋介・関谷 美智・齋藤 敏樹

■混和材(3) / 17:00~18:20 / 酒井 雄也(東京大学)

- V-370 熱養生履歴がシリカフェュームのボゾラン反応に及ぼす影響 / 日本大学 [学] 新沼 拓也・梅村 靖弘・佐藤 正己
- V-371 低温環境下における混和材を用いたコンクリートの強度特性 / 東海旅客鉄道 [正] 鬼頭 直希・佐々木 敦司・鎌田 卓司
- V-372 耐塩害用混和材および各種混和材を用いたコンクリートの強度発現特性の比較研究 / 山口大学 [学] 水島 潤・宮本 圭介・大和 功一郎
- V-373 各地域のシラスを混和材として利用した際にセメントに与える影響について / 鹿児島工業高等専門学校 [正] 福永 隆之・里山 永光・武若 耕司
- V-374 屋外曝露を実施した膨張コンクリートの性状 / 太平洋マテリアル [正] 長塩 靖祐・丸田 浩・竹下 永造
- V-375 フライアッシュを添加した膨張コンクリートの挙動と若材齢時強度発現の関係 / 函館工業高等専門学校 [学] 熊城 圭佑・塚田 晃佑・澤村 秀治

V-376 ラテックス改質速硬コンクリートの一軸引張試験によるひび割れ特性/宮崎大学 [学] 井野 椋太・安井 賢太郎・李 春鶴

縮クリープに関する検討/鉄道総合技術研究所 [正] 笠倉 亮太・渡辺 健・進藤 良則

V-6 (センター2号館2201教室) /9月12日(火)

■物性(1) /9:00~10:20/小川 由布子(広島大学)

- V-377 給水型養生シートで養生したコンクリートの品質について(その1 圧縮強度試験および引っかかり試験の結果について)/鴻池組 [正] 為石 昌宏・吉田 涼平・小山 孝
- V-378 給水型養生シートで養生したコンクリートの品質について(その2 表面透気試験、促進中性化試験およびSEM観察の結果について)/鴻池組 [正] 吉田 涼平・為石 昌宏・小山 孝
- V-379 蒸気養生中の散水がコンクリート製品の強度特性および細孔構造に及ぼす影響/首都大学東京 [学] 鳥海 秋・宇治 公隆・上野 敦
- V-380 養生の異なるコンクリートを対象とした電気泳動法による遮塩性評価の課題に関する一考察/鹿島建設 [正] 吉田 祐麻・渡邊 賢三・石田 哲也
- V-381 結合材の化学組成および温度履歴養生時の最高温度がモルタルの特性に及ぼす影響/首都大学東京 [学] 多田 真人・上野 敦・大野 健太郎
- V-382 超撥水型枠を使用したコンクリートの表面気泡に及ぼす締固めの影響/清水建設 [正] 依田 侑也・辻埜 真人・齊藤 亮介
- V-383 型枠の内外温度を用いたコンクリートの中心温度推定手法に関する基礎的研究/東京大学 [正] 北垣 亮馬・野口 貴文・西島 茂行
- V-384 初期養生がコンクリートの圧縮強度に及ぼす影響/九州工業大学 [学] 村上 光樹・日比野 誠・合田 寛基

■物性(2) /10:40~12:00/福留 和人(石川工業高等専門学校)

- V-385 レンガ組積体とその構成材料の強度および変形特性/東京電力ホールディングス [正] 重岡 匠・岡 滋晃・齊藤 仁
- V-386 極若材齢におけるUFCの圧縮強度およびヤング係数の経時変化に関する研究/大成建設 [正] 川口 哲生・吉本 宏和・武者 浩透
- V-387 常温環境下での強度発現性を高めた超高強度繊維補強コンクリートの強度発現性状/大成建設 [正] 橋本 理・渡部 孝彦・武田 均
- V-388 超音波によるフライアッシュコンクリートの若材齢時強度発現の温度依存性の評価/函館工業高等専門学校 [正] 澤村 秀治・大清水 知穂・熊城 圭佑
- V-389 端面摩擦が無孔性コンクリートの圧縮破壊挙動に及ぼす影響/東京工業大学 [学] 林 佑希子・河野 克哉・二羽 淳一郎
- V-390 溶液種類および乾湿繰返し条件の違いがモルタルの飽和度分布に与える影響/東京理科大学 [学] 金子 泰明・江口 康平・加藤 佳孝
- V-391 一軸圧縮応力下の粗骨材とモルタルの付着ひずみに関する一考察/摂南大学 [学] 田中 遼・熊野 知司・的場 栄次
- V-392 調整池堆積土砂のコンクリート用細骨材への適用性に関する検討/東京電力ホールディングス [正] 小林 保之・松澤 貴士・浜 宜和

V-6 (センター2号館2201教室) /9月13日(水)

■クリープ・収縮/9:00~10:20/伊藤 始(富山県立大学)

- V-393 吸水高分子ゲルを用いた内部養生効果に関する検討/東海大学 [学] 徳 良介・アマヌラ テモリー・竹中 寛
- V-394 異なる相対湿度下におけるコンクリートの収縮特性/太平洋セメント [正] 大野 拓也・三谷 裕二・丸山 一平
- V-395 粗骨材の付着および吸水特性がコンクリートの乾燥収縮に与える影響/名古屋工業大学 [学] 楠見 将司・青山 祥梧・梅原 秀哲
- V-396 セメント硬化体の乾燥収縮に影響を与える各種要因の実験的検討/千葉工業大学 [学] 安田 知弘・内海 秀幸
- V-397 収縮低減材料を使用したコンクリートの収縮特性/太平洋マテリアル [正] 丸田 浩・長塩 靖祐・佐竹 紳也
- V-398 銅スラグを適用したコンクリートの乾燥収縮特性及び物質移動抵抗性に関する検討/徳島大学 [学] 西山 航平・渡邊 健・福富 隼人
- V-399 コンクリートの収縮特性に及ぼすフライアッシュの影響に関する研究/石川工業高等専門学校 [学] 連 亮也・福留 和人・大島 美穂
- V-400 実施工を考慮した北陸産フライアッシュコンクリートの圧

■ひび割れ/10:40~12:00/谷口 秀明(三井住友建設)

- V-401 現場打ちボックスカルバートのひび割れ抑制対策について/大林・富士ビー・エス特定建設工事共同企業体 [正] 福島 隼人・泉水 大輔・中嶋 祐里
- V-402 コンクリート収縮を考慮した合理的な高架橋設計の為の一考察/ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 小関 聡一郎・栗原 啓之・篠田 健次
- V-403 統計的分析による覆工コンクリートのひび割れ幅予測に関する検討/清水建設 [正] 幸田 圭司・山口 浩・根本 浩史
- V-404 コンクリートの圧縮試験に対するデジタル画像相関法の計測精度に関する検討/茨城大学 [正] 車谷 麻緒・邊見 哲一・小坪 祐輔
- V-405 エポキシ樹脂によるひび割れ補修領域に対する遮塩性能の評価方法について/電力中央研究所 [正] 松井 淳・審 浩年・森 敦史
- V-406 シールテープを用いた低圧注入工法の実施工/東海旅客鉄道 [正] 鈴木 迪彦・小野 慈恩・勝野 晃宏
- V-407 異なる微生物を用いたひび割れ補修剤の補修効果の実験的研究/埼玉大学 [学] 川名 梨香子・睦好 宏史・櫻 堯
- V-408 セメント系複合材料の自己治癒によって生成される炭酸カルシウム化合物の結晶多形制御に関する実験的考察/北見工業大学 [学] 千石 理紗・崔 希燮・井上 真澄

■引張・圧縮、温度応力/15:20~16:40/浅本 晋吾(埼玉大学)

- V-409 引張ヤング係数の推定に用いる応力・ひずみレベルの検討/山口大学 [学] 山田 浩司・三村 陽一・吉武 勇
- V-410 水門構造物における鉛直パイプクーリングの熱伝達率の逆解析/奥村組 [正] 東 邦和・森田 修二
- V-411 一閑遊水地における巨大水門築造工事でのパイプクーリングの適用について/奥村組 [正] 小林 俊彦・外木場 康将・中村 方紀
- V-412 ダムコンクリートのフライアッシュ混入率と断熱温度上昇特性について/佐藤工業 [正] 浜崎 尚・斎藤 達也・野稻 清
- V-413 フライアッシュコンクリートのクリープによる応力緩和に関する一考察/呉工業高等専門学校 [学] 道本 真悟・三村 陽一・堀口 至
- V-414 マス養生下でのコンクリートの引張強度特性/法政大学 [正] 溝淵 利明・新井 淳一・泉 宙希
- V-415 ミャンマー国での壁式橋脚におけるマスコンクリート対策/東急建設 [正] 作田 大幸・前田 欣昌・鈴木 晴久
- V-416 中詰めコンクリートの水和発熱に伴う鋼管シャフトの熱膨張を考慮したスリムケーソン橋脚の温度ひび割れ対策/東急建設 [正] 前田 欣昌・樋口 春樹・篠原 寛

V-7 (センター2号館2210教室) /9月11日(月)

■塩害(1) /9:00~10:20/山口 明伸(鹿児島大学)

- V-417 塩分吸着剤配合防錆材の高濃度塩化物イオン量での塩害抑制効果/ジェイアール総研エンジニアリング [正] 鈴木 昭仁・水野 清・立松 英信
- V-418 アルミノシリケートを活用した塩化物の浸透抑制効果に関する実験的検討/太平洋マテリアル [正] 山中 俊幸・高橋 洋朗・中島 裕
- V-419 沖縄県の海上橋下部工に適用したフライアッシュコンクリートの塩分浸透抵抗性/前田建設工業 [正] 笹倉 伸晃・白根 勇二・前田 啓太
- V-420 LPC-FA系コンクリートにおける塩分浸透性評価に関する研究/八戸工業高等専門学校 [学] 馬渡 大壮・庭瀬 一仁・皆川 浩
- V-421 高炉スラグやフライアッシュを用いたコンクリートの遮塩性能の迅速評価に関する一検討/土木研究所 [正] 中村 英佑・古賀 裕久・皆川 浩
- V-422 混和材を配合したコンクリートの遮塩効果に与える各種パラメータの影響/東日本旅客鉄道 [正] 井口 重信・大野 直也・松田 芳範
- V-423 混和材を配合したコンクリートの遮塩効果に関する実験的検討/東日本旅客鉄道 [正] 大野 直也・井口 重信・小泉 秀之
- V-424 遮塩性に優れたシールドセグメントの開発/東日本旅客鉄道 [正] 内田 雅人・大野 直也・倉岡 希樹

■塩害(2) /10:40~12:00/加藤 絵万(海上・港湾・航空技術研究所)

- V-425 水分逸散抑制養生の期間が塩分浸透抵抗性に及ぼす影響/鹿島建設 [正] 渡邊 賢三・吉田 祐麻・芹澤 良一

- V-426 PRCはりのひび割れ領域部のコンクリートにおける塩分浸透方向とその特性に関する検討／日本大学 [正] 齊藤 準平・下邊 悟
- V-427 塩害環境に暴露した塗布材料と塗布面が異なるRC供試体の腐食抑制効果の相違／土木研究所 [正] 加藤 智丈・櫻庭 浩樹・佐々木 巖
- V-428 感潮河川下の地下鉄潜通トンネルの塩害対策工事／東京地下鉄 [正] 藤沼 愛・阿部 敏秀・辻口 貴大
- V-429 海洋環境下に10年間暴露したシラスコンクリートの耐久性に関する検討／鹿児島大学 [学] 里山 永光・武若 耕司・山口 明伸
- V-430 塩害による再劣化を生じたRC橋脚の補修効果の一考察／東日本旅客鉄道 [正] 堀澤 誠
- V-431 凍結防止剤散布地域の床版における表面塩化物イオン濃度の推定と劣化予測／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 辻角 学・山田 稔・本庄 正樹
- V-432 コンクリート製壁高欄の塩害に関する基礎研究／東北学院大学 [学] 小林 稔・武田 三弘・早坂 洋平

■塩害(3) / 15:20~16:40 / 田中 博一(清水建設)

- V-433 構造物周辺における風環境と飛来塩分の空間分布に関する現地観測／長岡技術科学大学 [学] 大原 涼平・中村 文則・下村 匠
- V-434 数値シミュレーションと逆解析によるコンクリート橋の付着塩分量推定／新潟大学 [正] 山下 将一・富山 潤・阿部 和久
- V-435 移流拡散方程式による乾湿の激しい環境下でのコンクリート内部の塩化物イオン濃度分布評価／京都大学 [学] 白井 睦弥・三歩一 奏人・平野 裕一
- V-436 供用開始から約30年経過した栈橋上部工における塩化物イオン浸透の不均一性に関する検討／長岡技術科学大学 [学] 井向 日向・下村 匠・田中 豊
- V-437 小型模型による鉄筋腐食を生じたRCはりにおける力学挙動の再現性／弘前大学 [正] 上原子 晶久・高橋 阜・佐々木 柁也
- V-438 塩害劣化を受けるRC部材の破壊モードを考慮した限界鉄筋腐食量の提案／香川大学 [学] 釜本 拓哉・中川 裕之・岡崎 慎一郎
- V-439 コンクリート中の鉄筋腐食を考慮した構造解析に基づく栈橋の維持管理の負担軽減に関する検討／東京工業大学 [学] 中村 董・千々和 伸浩・岩波 光保
- V-440 鉄筋腐食の空間変動性を考慮したRCはりの有限要素解析と曲げ耐力評価に関する基礎的研究／早稲田大学 [学] 西谷 直樹・櫻井 絢子・秋山 充良

■塩害(4) / アルカリシリカ反応(1) / 17:00~18:20 / 久保 善司(金沢大学)

- V-441 モルタル供試体の設置状況が水分移動および塩化物イオン浸透に及ぼす影響／鹿児島大学 [正] 小池 賢太郎・水口 渉・山口 明伸
- V-442 モルタル板による凍結防止剤由来の浸透塩分量の評価に及ぼす諸要因の影響／東北大学 [正] 皆川 浩・早坂 洋平・曾田 信雄
- V-443 コンクリートの塩化物イオン拡散係数と表面吸水試験の関係に及ぼす塩水浸漬期間の影響／香川高等専門学校 [学] 井上 翼・林 和彦
- V-444 アルカリ溶液中におけるASR反応性骨材からのシリカ溶解挙動に関する検討／九州大学 [学] 上野 貴行・佐川 康貴・濱田 秀則
- V-445 画像相関法による骨材周辺のASR進展状況の可視化／広島大学 [正] 寺本 篤史・荒木 風太・大久保 孝昭
- V-446 ASR膨張途中における亜硝酸リチウムの含浸性状に関する研究／太平洋セメント [正] 落合 昂雄・江里口 玲・金田 由久
- V-447 実構造物に使用したコンクリート配合に対するアルカリシリカ反応抑制の確認試験／琉球セメント [正] 比屋根 方新・富山 潤・須田 裕哉
- V-448 ASR劣化による弾性係数の低下がPC部材の変形挙動に及ぼす影響／九州工業大学 [学] 矢野 佑輔・幸左 賢二・合田 寛基

V-7 (センター2号館2210教室) / 9月12日(火)

■アルカリシリカ反応(2) / 9:00~10:20 / 山本 貴士(京都大学)

- V-449 ASR劣化したPC梁試験体の曲げ載荷試験時に破断したPC鋼棒の破断原因調査／IHIインフラ建設 [正] 高木 祐介・樋口 泰久・廣井 幸夫

- V-450 アルカリ骨材反応が生じた3径間連続ピルツPC橋の調査／首都高速道路技術センター [正] 中畝 将太・張 広鋒・石田 和久
- V-451 撤去したASR橋脚梁のコンクリート物性調査／阪神高速道路 [正] 堀岡 良則・佐藤 彰紀・坂本 直太
- V-452 ASR膨張により変状を生じた表面保護工の補修性能の検証について／金沢大学 [正] 久保 善司・菊池 創太
- V-453 上面のみから水分を供給したPC梁のASRによる変形性状に関する研究／九州大学 [学] 田城 亨・濱田 秀則・山本 大介
- V-454 持続曲げ荷重下でASR劣化が進行するプレテンションPCはりの変形挙動／京都大学 [学] 西田 峻・楠本 和也・山本 貴士
- V-455 ASRによりひび割れが生じたPC梁部材の曲げ載荷試験時の破壊形態／九州大学 [学] 阪井 峻・山本 大介・濱田 秀則
- V-456 実物大鋼主桁上RC床版モデルの膨張収縮挙動及び表層品質に関する実験的検討／NIPPO [正] 前島 拓・岸良 竜・子田 康弘

■複合劣化 / 10:40~12:00 / 斎藤 豪(新潟大学)

- V-457 コンクリートの濃厚塩類による劣化の外観／国立環境研究所 [正] 山田 一夫・小川 彰一・芳賀 和子
- V-458 塩水の供給による塩害、凍害とASRの複合劣化機構と表面含浸工法の効果に関する検討／パシフィックコンサルタンツ [正] 園田 胡桃・上田 隆雄・塚越 雅幸
- V-459 中性化と塩分浸透の複合作用に対する環境配慮コンクリートの性能評価／大成建設 [正] 岡本 礼子・荻野 正貴・宮原 茂禎
- V-460 実構造物における複合劣化評価／八千代エンジニアリング [正] 伊藤 均・溝淵 利明
- V-461 収縮・クリープと鉄筋腐食進行の併用がRCラーメン高架橋の水平耐力等に与える影響／鉄道総合技術研究所 [正] 角野 拓真・佐藤 浩二・渡辺 健
- V-462 RC支柱式高欄の劣化原因の推定と補修方法の検討／西日本旅客鉄道 [正] 河井 勇樹・吉田 隆浩・渡辺 亨

V-7 (センター2号館2210教室) / 9月13日(水)

■耐久性(1) / 9:00~10:20 / 三浦 泰人(名古屋大学)

- V-463 遅延エトリンガイト生成による膨張に対するフライアッシュの長期的抑制効果／海上・港湾・航空技術研究所 [正] 川端 雄一郎・小川 彰一・高橋 晴香
- V-464 各種セメントを用いたモルタル中のエトリンガイトの遅延生成過程における膨張前の反応／鉄道総合技術研究所 [正] 山崎 由紀・鶴田 孝司・上原 元樹
- V-465 炭酸塩が水セメント比の異なるセメントペースト中のC-S-Hに及ぼす影響／鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正] 佐々木 亮人・佐藤 正己・小泉 公志郎
- V-466 コンクリート構造物の炭酸化反応による強度特性と長期耐久性に関する一考察／東日本旅客鉄道 [正] 高山 充直・廣田 元嗣
- V-467 硬化体粉末から得られるアルカリイオン量および塩化物イオン量に着目した腐食状況把握に関する実験的検討／東京理科大学 [正] 江口 康平・加藤 佳孝・金子 泰明
- V-468 高炉スラグ微粉末6000を混入したコンクリートの耐久性評価追跡調査(6年目)／オリエンタル白石 [正] 吉村 徹・鯨島 力・宜志 富 紹一
- V-469 高耐久性埋設型枠の目地部の耐久性に関する実験的検討／鹿島建設 [正] 青山 達彦・柿本 啓太郎・渡邊 有寿
- V-470 柔軟型はく落防止工法の実暴露による耐久性評価／コニシ [正] 堀井 久一・熊谷 慎祐・尾藤 陽介

■耐久性(2)・耐火性 / 10:40~12:00 / 皆川 浩(東北大学)

- V-471 早強性と低収縮性を有するコンクリートの実構造物調査に基づく耐久性評価／鹿島建設 [正] 関 健吾・川崎 文義・取違 剛
- V-472 乾燥・吸湿過程におけるセメント硬化体の水分移動に関する電気抵抗法を用いた検討／広島大学 [学] 北川 達也・DAUNGWILAILUK TOTSAWAT・小川 由布子
- V-473 塗布型収縮低減剤・養生剤がコンクリートの表面透気係数に及ぼす影響／太平洋セメント [正] 井口 舞・兵頭 彦次・丸田 浩
- V-474 作用する温度がコンクリートの透気性と空隙変化に与える影響／太平洋マテリアル [正] 杉野 雄亮・青野 利彦・谷辺 徹
- V-475 温度履歴の違いがコンクリートの物質侵入抵抗性に与える影響と表面含浸材の補修効果／太平洋マテリアル [正] 青野 利彦・杉野 雄亮・谷辺 徹

- V-476 急激な高温加熱を受けたコンクリートの細孔構造について／福島工業高等専門学校 [F] 緑川 猛彦・林 久資・車田 研一
- V-477 リング拘束試験と載荷加熱試験によるコンクリートの爆裂試験結果の比較／太平洋マテリアル [正] 谷辺 徹・小澤 満津雄・兼松 学
- V-478 RC部材試験体の耐火試験と同配合で作製したリング拘束供試体加熱試験結果の比較／群馬大学 [正] 小澤 満津雄・山本 哲・谷辺 徹

■凍害／15:20～16:40／迫井 裕樹(八戸工業大学)

- V-479 -20℃を超える寒冷地におけるコンクリートの品質確保の検討／鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正] 石井 秀和・朝長 光・前原 聡
- V-480 塩分供給下での凍結融解作用によるスケーリングの抑制対策に関する基礎的研究／土木研究所寒地土木研究所 [正] 吉田 行・安中 新太郎
- V-481 防水剤と防錆剤を使用したコンクリートの耐凍害性／太平洋セメント [正] 樋口 貴泰・兵頭 彦次・佐竹 伸也
- V-482 促進養生方法の違いによるコンクリートの気泡間隔係数と耐凍害性／松江工業高等専門学校 [正] 周藤 将司・高田 龍一・松浦 知希
- V-483 コンクリートのスケーリング抵抗性に及ぼす高炉スラグ微粉末の影響／前橋工科大学 [正] 佐川 孝広
- V-484 高炉スラグ微粉末および養生方法が高炉スラグ細骨材を用いたコンクリートの凍結融解抵抗性に与える影響／岡山大学 [学] 野口 光明・藤井 隆史・綾野 克紀
- V-485 高炉スラグ細骨材を用いたコンクリートの疲労寿命に凍結融解作用が及ぼす影響／岡山大学 [正] 藤井 隆史・榎原 至崇・綾野 克紀
- V-486 再生粗骨材を用いたプレキャストコンクリートの塩分環境下における凍結融解抵抗性／土木研究所 [正] 片平 博・古賀 裕久

V-8 (センター2号館2216教室) / 9月11日(月)

■補修・補強(材料)(1) / 9:00～10:20 / 遠藤 裕丈(土木研究所)

- V-487 施工性と工期短縮を考慮したラミネートシートを用いたはく落防止工法の開発／ショーボンド建設 [正] 大屋 貴生・山崎 大輔・三村 典正
- V-488 トンネル用透明剥落防止工法の開発／ショーボンド建設 [正] 塘師 英利・三村 典正・山崎 大輔
- V-489 紫外線硬化型ポリエステル樹脂製GFRPシートを用いた部材補修に関する研究／建設技術研究所 [正] 河原崎 雄介・光川 直宏・中村 一平
- V-490 橋梁通信管路に用いるFRP補修管の暴露試験／NTTアクセスサービスシステム研究所 [正] 田代 善彦・出原 克也・竹田 誠
- V-491 ポリウレタン樹脂を用いたコンクリート等の表面保護について／名工建設 [F] 峯沢 勝志・伊藤 文彦・吉川 輝智加
- V-492 ひび割れ補修したコンクリートの実環境における防食性能の検証／大成建設 [正] 村田 哲・新藤 竹文・菅野 道昭
- V-493 ひび割れ注入材として用いた塩分吸着剤添加エポキシ樹脂の鉄筋腐食抑制効果の検証／日本国土開発 [正] 千賀 年浩・山内 匡・横山 大輝
- V-494 低粘度型補修材のひび割れ浸透深さに関する検討／大成建設 [正] 河村 圭亮・新藤 竹文・松岡 康訓

■補修・補強(材料)(2) / 10:40～12:00 / 佐々木 亘(三井住友建設)

- V-495 ポリマーセメントモルタルの品質向上に関する実験的検討／高知工業高等専門学校 [学] 井上 恭一・横井 克則・近藤 拓也
- V-496 短繊維を混入させたPCM吹付け工法のRC梁への補修効果／北海道大学 [学] 海野 太貴・横田 弘・Shanya Orasutthikul
- V-497 吹き付けHPFRCCによるRC橋脚の耐震補強に関する評価／テーロス・ジャパン [正] 林 承燦・小林 徹・岩山 健治
- V-498 鋼繊維を用いた高強度繊維補強モルタルの吹付け工法への適用に関する実験的検討／鹿島建設 [正] 高木 智子・渡邊 有寿・青山 達彦
- V-499 損傷した円形RC橋脚のSHCCによる補修性能の検討／岐阜大学 [学] 矢野 義知・山本 翔吾・木下 幸治
- V-500 断面修復法における界面処理が亜硝酸混和モルタルの補修性能に及ぼす影響／福岡大学 [学] 久保田 崇嗣・山田 正健・榎原 弘貴
- V-501 低温で養生した若材齢の耐硫酸コンクリートの硫酸抵抗性／大成建設 [正] 大脇 英司・萩野 正貴・藤野 由隆
- V-502 超速硬フライアッシュコンクリートの適用効果の検証／川

田建設 [正] 北野 勇一・塩井 健太・寺崎 聖一

■補修・補強(材料)(3) / 15:20～16:40 / 宮里 心一(金沢工業大学)

- V-503 けい酸塩系表面含浸材の屋外暴露試験体による各種試験結果について／JR西日本 [正] 楠本 秀樹・荒巻 智・佃 洋一
- V-504 けい酸塩系表面含浸材とカルシウム付与材の塗布量の違いがコンクリートの改質効果に及ぼす影響／福岡大学 [学] 山田 浩嗣・阿部 稜・榎原 弘貴
- V-505 けい酸塩系表面含浸材を用いた硫酸の侵入抑制効果に関する基礎的検討／金沢工業大学 [学] 大溝 尚英・大嶋 俊一・宮里 心一
- V-506 固化型けい酸塩系表面含浸材のポリマーセメントとの付着性への影響検討／大林組 [正] 富井 孝喜・岩佐 正徳・中條 史峯
- V-507 表面含浸材の塗布方法(ローラー、刷毛、噴霧)による効果の違いについて／飛鳥建設 [正] 笠井 和弘・榎島 修
- V-508 表面処理材を用いたコンクリートに及ぼす水分逸散および浸透の影響／高知工業高等専門学校 [学] 内村 圭喬・横井 克則・近藤 拓也
- V-509 亜硝酸リチウムを塗布したモルタルの中性化抑制機構に関する基礎的研究／福岡大学 [学] 山田 正健・榎原 弘貴・江良 和徳
- V-510 Li系電解液を用いた電気化学的補修後に表面含浸材を適用した場合の補修効果持続性に関する検討／徳島大学 [学] 中山 一秀・上田 隆雄・七澤 章

■補修・補強(材料)(4) / 17:00～18:20 / 片平 博(土木研究所)

- V-511 シラン・シロキサン系表面含浸材の既設コンクリート構造物への適用性検討計画／大日本塗料 [正] 宮下 剛・関 智行・田邊 康孝
- V-512 シラン・シロキサン系表面含浸材を適用した劣化コンクリートの表面含水率と中性化深さの経年変化(43ヶ月後)／大日本塗料 [正] 田邊 康孝・関 智行・宮下 剛
- V-513 シラン・シロキサン系表面含浸材を適用した劣化コンクリートの外観観察と電気化学的測定結果の経年変化(43ヶ月後)／大日本塗料 [正] 関 智行・田邊 康孝・宮下 剛
- V-514 表面撥水性を強化したシラン系表面含浸材の基本性能／太平洋セメント [正] 浜中 昭徳・竹下 永造
- V-515 中性化に着目した表面含浸材併用工法の塗布割合選定／関西大学 [学] 三好 孝英・鶴田 浩章
- V-516 シラン系表面含浸材の施工材齢がコンクリートの収縮に与える影響について／高知工業高等専門学校 [学] 小松 桃子・近藤 拓也・山田 悠二
- V-517 低温下でのシラン系表面含浸材の含浸性に関する基礎実験／寒地土木研究所 [正] 遠藤 裕丈・安中 新太郎
- V-518 マイクロシランカプセルを混入したモルタルの基礎物性／日本建設機械施工協会 [正] 渡邊 晋也・久保 善司

V-8 (センター2号館2216教室) / 9月12日(火)

■エコ・緑地コンクリート、リサイクル / 9:00～10:20 / 伊達 重之(東海大学)

- V-519 エコセメントおよび再生骨材を用いた超硬練りコンクリートの特性／首都大学東京 [学] 水井 唯宇太・上野 敦・宇治 公隆
- V-520 ハイブリッドポーラスコンクリートの保水性能および圧縮強度に及ぼす練混ぜ方法の影響／呉工業高等専門学校 [学] 木山 直道
- V-521 戻りコンクリートから製造した乾燥スラッジ微粉末を用いた低環境負荷コンクリートの現場実打設／三和石産 [正] 大川 憲・青木 真一・川名 正嗣
- V-522 高炉スラッジ微粉末を添加したコンクリートの練混ぜ水へのスラッジ水および上澄水の適用に関する検討／三和石産 [正] 宮本 勇馬・大川 憲・笠井 哲郎
- V-523 水和反応に着目した乾燥スラッジ微粉末の強度発現性に関する検討／芝浦工業大学 [学] 水野 博貴・吉成 健吾・大川 憲
- V-524 使用済み瓦コンクリートの硬化特性に骨材が与える影響と梁への適応／名古屋工業大学 [学] 石原 悠貴・上原 匠・亀井 則幸
- V-525 複合リサイクル材料を用いた自己治癒コンクリートの開発／宮崎大学 [正] 安井 賢太郎・丸山 智裕・田口 弘平
- V-526 太陽光モジュールガラスを混和材として内割置換したセメント硬化体の強度特性／東北大学 [学] 志藤 暢哉・宮本 慎太郎・皆川 浩

- 評価・試験方法/10:40~12:00/岡崎 慎一郎(香川大学)
- V-527 導電率計測によるコンクリートの凝結評価に関する一考察/飛鳥建設 [正] 川里 麻莉子・楨島 修
- V-528 フライアッシュ原粉の簡易的な品質管理手法に関する検討/東京電力ホールディングス [正] 安田 浩二・鬼東 俊一・高添 琢己
- V-529 非破壊による圧縮強度推定試験方法に関する検討/熊谷組 [正] 野中英・金森 誠治・三谷 和裕
- V-530 非破壊連成法CT-XRDによる高温履歴を受けたセメント系材料の変質評価/北海道大学 [学] 高橋 駿人・若松 和哉・杉山 隆文
- V-531 分離抵抗性の簡易評価方法の現場適用による出来形の向上効果について/大成建設 [正] 松元 淳一・梁 俊・堀口 賢一
- V-532 RCセグメントにおけるウレタン系防水材の耐摩耗性に関する実験検討/サンユレック [正] 嘉指 成詞・谷本 那月・子田 康弘
- V-533 コンクリート表面処理材の外観観察による定量的評価方法に関する研究/大旺新洋 [正] 橋村 茂雄・下村 昭司・横井 克則
- V-534 表面保護工のひび割れ可視性にかかる定量化の試み/阪神高速道路 [正] 新名 勉・谷口 惺・正木 健太

V-8 (センター2号館2216教室) / 9月13日(水)

- 短繊維補強コンクリート(材料)(1) / 9:00~10:20/河野 伊知郎(豊田工業高等専門学校)
- V-535 アルカリ溶液に浸漬したPVA繊維補強コンクリートの曲げ特性/岐阜大学 [学] 守田 貴昭・仲野 弘識・末森 寿志
- V-536 炭酸化させたガラス繊維補強モルタルの施工性および曲げ強度に関する検討/鹿島建設 [正] 取違 剛・藤木 昭宏・森 泰一郎
- V-537 繊維配向性を考慮した打込み方法がDFRCCの曲げ性状に及ぼす影響/筑波大学 [学] 大園 友梨子・渡邊 啓介・金久保 利之
- V-538 超高強度繊維補強コンクリート中の繊維の配向角度が力学挙動に及ぼす影響/岐阜大学 [学] 石河 義希・伊藤 穂高・内田 裕市
- V-539 両端のフック形状を改良した鋼繊維の曲げ強度特性に関する研究/大林組 [正] 川西 貴士・平田 隆祥・伊藤 智章
- V-540 集束PBO繊維を用いた超高強度繊維補強コンクリートの曲げ疲労特性/太平洋セメント [正] 河野 克哉・小川 真生・森 香奈子
- V-541 断面補修した超高強度繊維補強モルタルの曲げ疲労特性に関する検討/鹿島建設 [正] 渡邊 有寿・高木 智子・一宮 利通

- 短繊維補強コンクリート(材料)(2) / 10:40~12:00/岩下 健太郎(名城大学)
- V-542 直接引張試験によるUHPFRCの引張特性に関する研究/中日本高速道路 [正] 牧田 通・横田 祐起・本田 智昭
- V-543 収縮低減剤を用いた超高強度繊維補強コンクリートにおける単繊維の付着特性に関する研究/神戸大学 [学] 江宮 文音・三木 朋広・河野 克哉
- V-544 鋼繊維と混和材によるアルカリシリカ反応の膨張抑制効果/北海道大学 [学] 品川 幸次・横田 弘
- V-545 炭素繊維または鋼繊維の鉄筋防食効果の評価/岐阜大学 [学] 加藤 貴裕・國枝 稔
- V-546 高温爆裂を防止した圧縮強度300N/mm²を有する超高強度繊維補強コンクリートの開発/太平洋セメント [正] 森 香奈子・安田 瑛紀・河野 克哉
- V-547 バサルト短繊維の耐アルカリ性に関する一考察/鉄道総合技術研究所 [正] 仁平 達也・笹田 航平・田中 徹
- V-548 コア採取による単骨に補強コンクリートの繊維分布の評価/岐阜大学 [学] 井戸 翼・國枝 稔

- 短繊維補強コンクリート(材料)(3)/連続繊維補強コンクリート(材料) / 15:20~16:40/堀口 賢一(大成建設)
- V-549 道路橋床版の打替え・補強に対する超高強度繊維補強コンクリートの適用性の評価/中日本高速道路 [正] 北川 寛和・牧田 通・渡邊 有寿
- V-550 プレキャスト部材の継手部に用いるコンクリート材料に関する基礎的研究/九州大学 [正] 畠山 繁忠・松下 拓樹・徳光 卓
- V-551 コンクリート充填鋼管ストッパーの履歴減衰に及ぼす配筋の影響/前橋工科大学 [学] ファンヴァン タイ・舌間 孝一郎・野上 雄太
- V-552 短繊維を混入した高流動高強度コンクリートの長距離圧送による性状変化確認試験/東日本旅客鉄道 [正] ヴ ニャツ

- トリン・谷野 良輔・野畑 茂雄
- V-553 鉄筋補強されたUFCのひび割れ分散性に関する解析的検討/岐阜大学 [学] 中家 康宏・森 亮太・國枝 稔
- V-554 弾塑性性状を示すCFRPの基礎的検討/清水建設 [F] 前田 敏也・上杉 昭二・衣笠 純
- V-555 ネット状連続繊維のひび割れ抑制効果に関する基礎的研究/太平洋マテリアル [正] 竹下 永造・堀田 成治・李 春鶴

V-9 (センター2号館2211教室) / 9月11日(月)

- 鋼材腐食(1) / 9:00~10:20/古賀 裕久(土木研究所)
- V-556 長期間海洋環境に暴露された鉄筋コンクリートの鉄筋腐食に及ぼす初期欠陥の影響/鹿島建設 [正] 水尻 大輔・岩波 光保・松川 圭輔
- V-557 引張鉄筋の腐食に伴う腐食ひび割れの方向がRCはりの付着割裂破壊に与える影響/京都大学 [学] 佐藤 貴幸・山本 貴士・高谷 哲
- V-558 コンクリート中における鉄筋腐食膨張率の実験的検討/長岡技術科学大学 [正] 山口 貴幸・下村 匠
- V-559 ステンレス鉄筋との異種金属接触による普通鉄筋の腐食促進の可能性/京都大学 [正] 平野 裕一・高谷 哲・山本 貴士
- V-560 塩害を受けるコンクリート中亜鉛めっき鉄筋の耐食性について/鹿児島大学 [学] 山本 乾雄・竹下 麗華・武若 耕司
- V-561 設置環境がコンクリート中鉄筋の分極特性に及ぼす影響/鹿児島大学 [学] 辻田 美帆・藤元 祐行・審良 善和
- V-562 地下埋設RC構造物の腐食特性に関する一考察/鹿児島大学 [学] 濱田 泰行・藤元 祐行・審良 善和
- V-563 横締めPC鋼棒の突出にかかわる調査/首都高速道路技術センター [正] 繪嶋 武史・石田 和久

- 鋼材腐食(2) / 10:40~12:00/染谷 望(港湾空港技術研究所)
- V-564 腐食抑制技術の開発~環境遮断剤の小型試験体暴露試験/MKエンジニアリング [正] 和田 浩介・竹舘 敏郎・藤間 誠司
- V-565 腐食抑制技術の開発~環境遮断剤の実橋における暴露試験/川田工業 [正] 三浦 誠也・竹舘 敏郎・藤間 誠司
- V-566 酸素を遮断して腐食を防止する窒息(チョーク)工法に関する実証実験とその実用化/日本磁気吸着工法協会 [F] 安江 哲・齊藤 清美・伊川 辰茂
- V-567 塩化物を含有するモルタルにより被覆した鋼板の腐食に及ぼす飽水率の影響/東亜建設工業 [正] 西田 浩太・網野 貴彦・加藤 誠司
- V-568 酸素供給促進によるモルタル埋設鉄の加速腐食/物質・材料研究機構 [正] 土井 康太郎・廣本 祥子・秋山 英二
- V-569 コンクリート構造物にて生じた鉄さびのラマン分光法による生成物評価/清水建設 [正] 齊藤 亮介・高谷 哲・羽村 陽平
- V-570 高含浸型シラン系含浸材の浸透性評価方法に関する基礎的研究/京都大学 [学] 鈴木 優人・高谷 哲・羽村 陽平
- V-571 AE法と電気化学的手法によるRC内部の鉄筋腐食進展のハイブリッド評価/立命館大学 [正] 川崎 佑磨・権納 拓央・伊津野 和行

- 木材利用 / 15:20~16:40/野田 龍(秋田大学)
- V-572 CLTを床版に用いた林道橋の施工/秋田県立大学 [正] 佐々木 貴信・林 知行・荒木 昇吾
- V-573 CLTを用いた床版の輪荷重載荷試験/秋田県立大学 [正] 林 知行・佐々木 貴信・有山 裕亮
- V-574 地中における丸太の軸圧縮強度に対する所見/飛鳥建設 [正] 沼田 淳紀・村田 拓海
- V-575 地中にある丸太の軸荷重の計測方法/飛鳥建設 [正] 村田 拓海・沼田 淳紀・佐々木 貴信
- V-576 丸太打設液状化対策工法に用いる丸太の低加工化の検討/飛鳥建設 [F] 三輪 滋・沼田 淳紀・村田 拓海
- V-577 ミャンマーにおける世界最大規模のマングローブ植林/安藤ハザマ [正] 池田 穰・松下 知照

- 木材(耐久性)・木材利用 / 17:00~18:20/佐々木 貴信(秋田県立大学)
- V-578 折り畳み式小型軽量木製トラス橋の開発/函館高専 [正] 平沢 秀之・安齋 穂実・戸沼 淳
- V-579 福井県における木製土木構造物の健全性に関する調査的研究/福井工業高等専門学校 [正] 吉田 雅徳・梅田 祐一・竹内 雅美
- V-580 動的応答解析に基づく近代木橋の経年による健全度評価/金沢工業大学 [F] 本田 秀行・豊田 淳
- V-581 高知県における多自然型川づくり使用木材の長期耐久性評

価 その1施工地点の概要／兼松サステック [正] 三村 佳織・原 忠・林 聖淳
 V-582 高知県における多自然型川づくり使用木材の長期耐久性評価
 価 その2ピロディン試験／高知大学 [学] 林 聖淳・原 忠・三村 佳織
 V-583 繰り返し凍結作用を受ける木材の曲げ強度に関する一考察
 ／秋田大学 [正] 野田 龍・後藤 文彦・吉田 壮
 V-584 木材の含水率がピロディンとドライバーの貫入深さに及ぼす影響に関する一斉試験／港湾空港技術研究所 [正] 山田 昌郎・原 忠・水谷 羊介

V-9 (センター2号館2211教室) / 9月12日(火)

■防食(1) / 9:00~10:20 / 審良 善和(鹿児島大学)

- V-585 金属溶射を利用した流電陽極方式電気防食工法による橋台の防食施工／富士技建 [正] 武藤 和好・横山 和昭・山本 誠
 V-586 金属溶射を利用した流電陽極方式電気防食工法の実構造物適用後の追跡調査／住友大阪セメント [正] 山本 誠・大野 晃・武藤 和好
 V-587 栈橋上部工に適用したチタン溶射方式による電気防食工法の約6年半経過後の耐久性／東亜建設工業 [正] 網野 貴彦・川島 仁・大谷 俊介
 V-588 鉄道高架橋に適用した電気防食工法の施工13年目追跡調査／JR西日本 [正] 渡辺 佳彦・荒巻 智・大江 崇元
 V-589 ハイブリッド犠牲陽極工法(仮称)の防食効果検証について／西日本高速道路エンジニアリング中国 [正] 山本 雅行・上田 知広・多田 紀枝
 V-590 電気防食下におけるモルタル中鉄筋の腐食速度評価に関する検討／ナカボーテック [正] 板屋 隼人・大谷 俊介・若林 徹
 V-591 アルミブローブ法による陽極消耗量の調査／東京電力フェエル&パワー [正] 安田 勝俊・松浦 忠孝・小林 浩之
 V-592 実構造物を対象とした鉄筋防錆材の電気化学的注入試験追跡調査／JR東海 [正] 並松 沙樹・門田 祐一朗・久保 淳一郎

■防食(2) / 10:40~12:00 / 羽瀨 貴士(東亜建設工業)

- V-593 重防食塗装系塗膜へ適用する撥水性クリヤー塗料の特徴と初期塗膜物性／大日本塗料 [正] 山内 健一郎・神頭 峰磯・土井 一慶
 V-594 重防食塗装系塗膜へ適用する撥水性クリヤー塗料の付着塩分抑制効果と耐久性／日本車輛製造 [正] 土井 一慶・神頭 峰磯・山内 健一郎
 V-595 上塗り剥離要因に関する実橋塗膜調査結果／本州四国連絡高速道路 [正] 久米 昌夫・楠原 栄樹・町田 陽
 V-596 PCB等有害物質を含む塗料を有する既設橋の再塗装の現状と課題／建設技術研究所 [正] 塚田 祥久・光川 直宏・小倉 司
 V-597 ロングライフ塗装用鋼板(エコビュー)の沖縄における長期暴露試験評価結果／神戸製鋼所 [正] 湯瀬 文雄・松下 政弘
 V-598 飛来塩分環境下における溶融亜鉛-アルミ合金めっきの暴露試験15年目の結果／東日本高速道路 [正] 戸久世 昂真・東田 典雅・小川 正幸
 V-599 フレック顔料を配合した塗膜の防食性向上に関する検討／IHI [正] 井合 雄一・赤嶺 健一
 V-600 鋼材類およびFRP樹脂のコンクリート付着性改善の検討について／日本車輛製造 [正] 神頭 峰磯・清水 勇治・佐竹 紳也

V-9 (センター2号館2211教室) / 9月13日(水)

■特殊コンクリート / 9:00~10:20 / 竹田 宣典(広島工業大学)

- V-601 レディーミクストコンクリート工場を使用した高耐久海水練りコンクリートの製造・施工／大林組 [F] 新村 亮・谷田部 勝博・藤野 満
 V-602 海水および珊瑚由来の石灰岩骨材を用いた自己充填型コンクリートの収縮特性／東洋建設 [正] 竹中 寛・山路 徹・清宮 理
 V-603 海水および珊瑚由来の石灰岩骨材を用いた自己充填型コンクリートの熱特性／五洋建設 [正] 谷口 修・羽瀨 貴士・末岡 英二
 V-604 珊瑚骨材を使用したステンレス鉄筋コンクリート梁の基本的な力学性状／東亜建設工業 [正] 田中 亮一・清宮 理・与那嶺 一秀
 V-605 即時脱型コンクリート製品の配合および白華抑制に関する基礎的研究／福岡大学 [学] 日高 翔太・橋本 紳一郎・山本 康雄
 V-606 尿素配合コンクリートに関する諸特性／和歌山工業高等専門学校 [正] 三岩 敬孝・堀井 克章・横井 克則

■吹付けコンクリート・高流動コンクリート / 10:40~12:00 / 白根 勇二(前田建設工業)

- V-607 混和材に石灰石微粉末を単体使用した吹付けコンクリートの諸性状／住友大阪セメント [正] 中島 有一・小田部 裕一・亀島 博之
 V-608 空気を連行したフレッシュ時の自己充填コンクリート中の固体粒子間摩擦に及ぼす細骨材の物理的特性の影響／高知工科大学 [正] 中村 巴大・大内 雅博
 V-609 収縮低減材を用いた中流動コンクリートの収縮特性と耐凍害特性／関西大学 [学] 野村 晃平・鶴田 浩章
 V-610 フライアッシュを混入した高流動コンクリートの充填性に関する検討／太平洋セメント [正] 中 新弥・扇 嘉史・早川 隆之
 V-611 高流動コンクリートの仕上げ時期に関する基礎検討／東急建設 [正] 早川 健司・前原 聡・伊藤 正憲
 V-612 自己充填コンクリートの受入れ検査用随時試験器の開発／高知工科大学 [F] 大内 雅博・宮地 日出夫・藤田 浩史

■水中コンクリート、軽量コンクリート / 15:20~16:40 / 笹倉 伸晃(前田建設工業)

- V-613 地中連続壁における高強度コンクリートの水中打込み時の強度低減率に関する検討／大成建設 [正] 白井 達哉・平山 哲司・西田 与志雄
 V-614 膨張材と収縮低減剤を併用した軽量コンクリートの基本特性／清水建設 [正] 阿部 寛之・田中 博一・辻埜 真人
 V-615 EPSビーズを混入した超軽量高流動コンクリートの開発／鴻池組 [正] 宇都本 彰夫・永井 久徳・為石 昌宏
 V-616 EPSビーズを混入した超軽量高流動コンクリートを用いた頭付きスタッドの押抜きせん断耐力／鴻池組 [正] 永井 久徳・宇都本 彰夫・為石 昌宏
 V-617 低含水状態の軽量骨材を使用したコンクリートの特性／IHIインフラ建設 [正] 小林 崇・中村 定明・石川 寛範
 V-618 軽量コンクリートの塩分遮蔽性に関する基礎的検討／人工軽量骨材協会 [正] 肥後 康秀・杉山 彰徳・成川 史春

第VI部門

建設事業計画、設計技術、積算・契約・労務・調達、施工技術、環境影響対応技術、維持・補修・保全技術、建設マネジメントなど

VI-1 (センター2号館2301教室) / 9月11日(月)

■ダム(1) / 9:00~10:20 / 山下 哲一(清水建設)

- VI-001 切削機を用いたダムコンクリートの越冬面チッピングについて／西松建設 [F] 西田 徳行・佐藤 幸三・大石 一明
 VI-002 ダム天端橋におけるPC桁縦取り装置を使用した桁架設施工実績／鹿島建設 [正] 阿部 高・片山 幸也・蓮野 武志
 VI-003 現場製作によるエレベータシャフトプレキャスト型枠の適用／鹿島建設 [正] 小田 朋輝・奈須野 恭伸・沼本 仁志
 VI-004 底部架台上に設置する仮締切りの施工実績／鹿島建設 [正] 大木 洋和・竹内 伸一・椿 治彦

- VI-005 ダム再開発工事における放流管仮締切りゲートの設計変更とその経緯／鹿島建設 [正] 楠木 寛士・沼本 仁志
 VI-006 ゲート更新工事の工程短縮実績(笠塚ダム嵩上げ工事報告)／鹿島建設 [正] 水上 裕治・門脇 要・萩原 康之
 VI-007 ダム再開発工事におけるバケットカーブ部の既設取壊しおよびコンクリート工事の施工実績／鹿島建設 [正] 水野 浩尚・沼本 仁志
 VI-008 低振動工法による既設構造物取壊しの実績報告／鹿島建設 [正] 和田 篤・福井 直之・中村 元郎

- ダム(2) / 10:40~12:00 / 佐藤 英明(熊谷組)
- VI-009 ダムコンクリートの締固め評価システムの高度化 / 安藤ハザマ [正] 林 俊斉・山田 聡・天明 敏行
- VI-010 冷風ミストを用いた粗骨材冷却によるコンクリート温度の抑制実績 / 鹿島建設 [正] 藤田 祐作・近藤 正芳・沼本 仁志
- VI-011 中唐熱フライアッシュコンクリートの長期強度発現性に関する一考察 / 鹿島建設 [正] 内田 典男・豊増 隆敏・取達 剛
- VI-012 既設コンクリートダムの長寿命化に向けた新工法による漏水対策の検討 / 水資源機構 [正] 藤田 将司・市川 滋己・田野 弘明
- VI-013 低品質原石骨材を用いたダムコンクリートの長期暴露試験 / 水資源機構 [正] 市川 滋己・藤田 将司・木戸 研太郎
- VI-014 液体窒素を用いたプレクーリングの適用実績 / 鹿島建設 [正] 小林 聖・稲見 哲男・櫻井 祥貴
- VI-015 止水性・付着性を考慮したダム既設水圧管内の閉塞コンクリートの施工実績 / 鹿島建設 [正] 藤野 賢一・金戸 崇史
- VI-016 ダム堤体の温度ひび割れ抑制対策 / 清水建設 [正] 中野 貴公・江渡 正満・長谷川 悦央

- ダム(3) / 15:20~16:40 / 宮入 斎(大林組)
- VI-017 ダム基礎岩盤の透水特性を考慮した斜孔グラウチングの施工実績 / 鹿島建設 [正] 大井 篤・佐藤 功基・阿部 高
- VI-018 ダム天端道路を迂回路として一般供用した仮設構台の施工実績 / 鹿島建設 [正] 沼本 仁志・楠木 寛士
- VI-019 画像粒度モニタリングを用いたフィルタ材製造時の粒度変動監視 / 鹿島建設 [正] 上本 勝広・櫻井 祥貴・梅田 光
- VI-020 大分川ダムにおけるICT施工 / 鹿島建設 [正] 奈須野 恭伸・岩崎 征弘・櫻井 祥貴
- VI-021 CSG品質管理システムの運用状況についての報告—その1: 画像処理による粒度推定技術の運用状況に関する報告— / 前田建設工業 [正] 田中 麻穂・國井 聡・笹倉 伸晃
- VI-022 品質管理システムの運用状況についての報告—その2: 表面水量の算出方法に関する検討— / 前田建設工業 [正] 國井 聡・田中 麻穂・笹倉 伸晃
- VI-023 着岩処理に湿式吹付工法を使用した堤体の盛立 / 鹿島建設 [正] 加納 清・奈須野 恭伸・寺本 淳一

- 調達 / 17:00~18:20 / 梅津 芳樹(大成建設)
- VI-024 維持修繕工事の調達支援に関する取り組み / 国土技術政策総合研究所 [正] 森 芳徳・古本 一司・竹屋 宏樹
- VI-025 港湾工事の積算に関する一考察 / 港湾空港総合技術センター [正] 鳥田 伊浩・見波 登・丸山 裕之
- VI-026 海外建設プロジェクトにおける契約管理に関する一考察 / 東洋大学 [正] 鈴木 信行
- VI-027 調査・設計等業務の総合評価落札方式に関する現状分析 / 国土技術政策総合研究所 [正] 菊田 友弥・根津 佳樹・小川 智弘
- VI-028 総合評価落札方式の技術提案評価型(S型)における改善方針について / 国土技術政策総合研究所 [正] 大野 真希・小川 智弘・富澤 成実
- VI-029 総合評価落札方式・技術提案評価A型工事のリスク事例に関する調査 / 国土技術政策総合研究所 [正] 中洲 啓太・小川 智弘・大野 真希
- VI-030 橋梁の長寿命化修繕事業における調達方式の改善に関する一考察 / 八千代エンジニアリング [正] 山本 浩貴・野田 一弘・神永 希
- VI-031 競争入札後の「不調特命見積協議方式」による調達について—契約制限価格を上回っても契約できる制度— / 中日本高速道路 [正] 名井 乃

VI-1 (センター2号館2301教室) / 9月12日(火)

- 橋梁(1) / 9:00~10:20 / 宇野 洋志城(佐藤工業)
- VI-032 橋梁上床版上面における養生効果の一検討 / 鹿島建設 [正] 山崎 大介・戸張 正利・渡邊 賢三
- VI-033 光ファイバを用いたPC張力計測技術の外ケーブルへの適用実績 / 鹿島建設 [正] 曾我部 直樹・佐藤 正・松原 喜之
- VI-034 平成28年熊本地震で被災したロックンギ橋脚を有する橋梁の構造変更について / 西日本高速道路 [正] 西谷 朋見・岩尾 省吾・工藤 昌生
- VI-035 国道45号 摂待道路工事における橋梁上・下部工の施工(摂待大橋) / 大成建設 [正] 中 隆司・福原 俊一・高次 涉
- VI-036 鋼橋の塗替塗装における素地調整用プラスチック材の検討 / 富士技建 [正] 水内 将司・樋口 直哉・城戸 靖彦
- VI-037 上げ越し計算における諸条件が与える影響検討 / 清水建設 [正] 鈴木 貴大・小林 顕・栃木 謙一
- VI-039 長大PC斜張橋における施工合理化へ向けた取組み / 清水

建設 [正] 宮永 泰光・栃木 謙一・小林 顕

- 橋梁(2) / 10:40~12:00 / 小林 顕(清水建設)
- VI-040 主桁断面寸法の変化に対応した鉄筋先組工法の開発 / 鹿島建設 [正] 熊部 淳・浦尾 賢一・秋山 清
- VI-041 主桁断面寸法の変化に対応した鉄筋先組工法の適用実績 / 鹿島建設 [正] 酒井 大輔・浦尾 賢一・秋山 清
- VI-042 小松川ジャンクションにおける既設橋脚のラーメン化改築工事 / 首都高速道路 [正] 田中 大介・山本 一昭
- VI-043 河川上空における高速道路拡幅工事の施工計画 / 首都高速道路 [正] 大西 達也・高橋 邦博・深谷 道夫
- VI-044 橋脚の施工における工程短縮の取組み / 西日本高速道路 [正] 古賀 泰輔・大原 一也
- VI-045 PCラーメン箱桁橋柱頭部の合理化施工 一中島高架橋の設計— / 大林組 [正] 坪倉 辰雄・高橋 秀武・石橋 知幸
- VI-046 高架橋のセグメント製作・スパンバイスパン工法による架設について / 東急建設 [正] 長野 竜馬・富田 佑一・中田 直樹

VI-1 (センター2号館2301教室) / 9月13日(水)

- 建設マネジメント(1) / 9:00~10:20 / 大沼 和弘(安藤・間)
- VI-047 三条市における包括的維持管理業務の導入について / パシフィックコンサルタンツ [正] 村松 和也・小山 正幸・山井 敦
- VI-048 鋼床版の疲労亀裂発生予測に基づく大規模修繕対象箇所の選定 / 大阪大学 [学] 二宮 陽平・貝戸 清之・小林 潔司
- VI-049 土壌汚染対策事業に上位マネジメント手法導入の必要性 / 国際航業 [正] 下池 季樹・角南 安紀
- VI-050 地層処分エンジニアリング統合支援システム(iSRE)の開発(その4) —iSREのプロトタイプの開発状況— / 八千代エンジニアリング [正] 吉野 博之・藤澤 康雄・小林 優一
- VI-051 地層処分エンジニアリング統合支援システム(iSRE)の開発(その5) —iSREのプロトタイプの試運用— / 鹿島建設 [正] 羽根 幸司・佐原 史浩・吉野 博之
- VI-052 復興CM方式の実績—仮設店舗の営業を確保した工事展開の事例— / 大林組 [正] 谷 和男・西 彰一
- VI-053 CM方式の中で提案した高台造成工事におけるベルトコンベアの適用事例 / 大林組 [正] 川田 知一・西 彰一
- VI-054 CM方式導入による事業への効果推計手法の基礎的検討 / 高知工科大学 [正] 五艘 隆志・近藤 仁・榎本 紳

- 建設マネジメント(2) / 10:40~12:00 / 嵩 直人(鹿島建設)
- VI-055 ウェアラブルセンサを用いた疲労評価システムに対するリスクマネジメント / 安藤ハザマ [正] 大沼 和弘
- VI-056 計画・設計段階から考える工事安全の海外事例調査 / 労働安全衛生総合研究所 [正] 大嶋 勝利・吉川 直孝・高橋 弘樹
- VI-057 契約真意の解釈についての一考“真意は契約文言にあらざるにあり” / 前田建設工業 [F] 酒井 照夫
- VI-058 公共工事請負契約における受発注者協議の可視化の提案 / 大阪大学 [正] 浜田 成一・貝戸 清之・水谷 大二郎
- VI-059 次世代インフラに向けた建設マネジメントに関する調査研究 / 西武建設 [正] 成島 誠一・濱中 誠司・荒井 竜司
- VI-060 建設産業が有する技術力の国際展開に向けた課題—栃木県の中小企業を対象として— / 宇都宮大学 [正] 山岡 暁・松本 美紀
- VI-061 ポスト 2020のシビル産業とみんながグローバル シビルエンジニアに向けて(その3) —リアルオプション計画と国民性の距離を考慮したグローバル展開— / 東海コンサルタンツ [F] 西 満幸
- VI-062 九州・山口地域における自治体のインフラ維持管理に関する実態調査 / 長崎大学 [正] 田中 徹政・松田 浩・牧角 龍憲

- 建設マネジメント(3) / 15:20~16:40 / 今石 尚(大成建設)
- VI-063 開発途上国における鉄線籠工の実用性に関する現地資料に基づく考察 / 八千代エンジニアリング [正] 横倉 順治
- VI-064 水災害・環境シミュレーションのためのAR可視化システムの構築 / 中央大学 [学] 花立 麻衣子・池田 直旺・榎山 和男
- VI-065 東北インフラ・マネジメント・プラットフォームの構築と展開 / 東北大学 [正] 渡邊 弘子・久田 真・鎌田 貢
- VI-066 土木行政に関わる技術職員のモチベーションに影響を与える要因分析モデルの構築 / 高知大学 [正] 二宮 仁志・渡邊 法美
- VI-067 文系出身者に対する土木技術者への再教育 / 高鳥テクノロジーセンター [F] 和久 昭正
- VI-068 公共調達制度改革と技術者モチベーションに関する一考察

- VI-069 /高知工科大学 [正] 渡邊 法美・王 玲玲・二宮 仁志
建設プロセスを活用した人材育成の取り組みについて/東京工業大学 [学] 栗原 遼大・合屋 力・杉島 貴史
- VI-070 建設コンサルティング業務の市場構造モデルに関する探索的研究/建設技術研究所 [正] 中島 裕之・二宮 仁志・渡邊 法美

VI-2 (センター2号館2302教室) /9月11日(月)

- 鉄道(1) /9:00~10:20/小林 寿子(東日本旅客鉄道)
- VI-071 フライアッシュの置換率を変化させたコンクリートによる試験期間6年のモルタルバー法による試験結果/ジェイアール東日本コンサルタンツ [正] 山下 修史・小林 薫・井口 重信
- VI-072 鋼鉄道橋におけるポリマーセメントを用いた長寿命化対策・環境対策の経過報告/前橋工科大学 [正] 谷口 望・松浦 史朗・佐竹 紳也
- VI-073 工事術本設化における高流動コンクリートへの流動性保持を目的とした混和剤の適用/大林組 [正] 奥村 拓也・中里 盛道・末宗 利隆
- VI-074 過密鉄筋の高架橋構築におけるフライアッシュを混入した高流動コンクリート/大成建設 [正] 佐藤 文彦・竹田 靖・江口 大介
- VI-075 線路下ボックスカルバートの部材寸法と鉄筋量に関する検討/ジェイアール東海コンサルタンツ [正] 柳川 一心・石橋 孝通・今枝 潤志
- VI-076 導水機能付きのトンネル剥落対策工法の断熱効果の検証/東日本旅客鉄道 [正] 金塚 智洋・古川 武英・関口 達也
- VI-077 鉄道トンネル覆工裏空隙への一液型可塑性注入材の適用/JR東海 [正] 蚊津見 和雅・田川 謙一・秋好 賢治

■鉄道(2) /10:40~12:00/早川 博久(鹿島建設)

- VI-078 JR飯田橋駅のホーム移設計画について/東日本旅客鉄道 [正] 飯塚 直人
- VI-079 既設高架橋を存置させた改修計画に関する設計施工事例/阪急設計コンサルタント [正] 松本 尚衛・五貫 慎・山口 武志
- VI-080 守谷追越設備軌道他工事の一考察/ユニオン建設 [正] 中嶋 祐介・飯田 進
- VI-081 京都構内0番線軌道低下について/大鉄工業 [正] 下川 恭史
- VI-082 銀座線渋谷駅改良工事における軌道工事の計画と施工について(第1回線路切替)/東京地下鉄 [正] 今井 奨・松川 俊介・大山 和利
- VI-083 営業線駅の仮ホーム化および線路切替工事実績/鹿島建設 [正] 小川 雄二・藤井 秀樹・伊原 貴志
- VI-084 有楽町線小竹向原駅~千川駅間連絡線設置工事における線路切替工事の計画と施工について/東京地下鉄 [正] 松川 俊介・金川 周平・佐藤 真丞
- VI-085 大型土のうを活用した線路こう上を伴う大規模線路切換について/大鉄工業 [正] 前川 貴裕・野口 卓也

■鉄道(3) /15:20~16:40/北出 啓一郎(大林組)

- VI-086 架設術を用いたボックスカルバート上床版一括撤去工法について/東日本旅客鉄道 [正] 植木 拓矢・門脇 実
- VI-087 鉄道線路6線を跨ぐ線路上空における2径間連続鋼床版桁の架設/東日本旅客鉄道 [正] 三木 孝則・吉田 一・飯塚 大介
- VI-088 駅改良工事における線路上空での連絡通路架設/東日本旅客鉄道 [正] 池田 圭吾・中野 和也・和田 旭弘
- VI-089 鉄道営業線直上部における2層トラス橋の架設工法選定から施工/大林組 [正] 浅沼 憲和・坪田 樹・川池 偉
- VI-090 鉄道クレーンによる工事術一括撤去の施工記録及び施工報告について/JR東日本旅客鉄道 [正] 片山 拓人・石島 朝男
- VI-091 線路閉鎖間合作業におけるトラス桁の横取り施工について/大鉄工業 [正] 高橋 亮一・松見 栄作
- VI-092 上空制限を受ける在来線直上での桁送出し架設の実績及び架設後調整結果/東日本旅客鉄道 [正] 若狹 周汰・花田 正喜・内藤 圭祐

■鉄道(4) /17:00~18:20/舟橋 秀磨(東海旅客鉄道)

- VI-093 鉄道営業線近接工事における移動昇降式足場の導入/東京地下鉄 [正] 武藤 義彦・田中 和也・金刺 広明
- VI-094 移動式足場による営業線上での橋梁修繕工事について/大鉄工業 [正] 篠原 寿一・根本 晴透
- VI-095 モノレール車両基地内軌道桁の耐震補強(その1) 一軌道敷内でのICタグによる持込み資器材管理/大阪高速鉄道 [正] 砂原 一貴・森川 佳則・一本松 新
- VI-096 モノレール車両基地内軌道桁の耐震補強(その2) 一変位制

- 限ブロックによる耐震性向上とその合理化/鹿島建設 [正] 西岡 省三・一本松 新・森川 佳則
- VI-097 高式ホーム構築工事における施工条件改善策/大鉄工業 [正] 金山 幸司・西口 典之・杉山 明久
- VI-098 ホームドア整備の推進に向けた盛土ホーム施工の効率化について/東日本旅客鉄道 [正] 小林 英司
- VI-099 ホームドア整備における盛土式ホームの基礎施工技術/大鉄工業 [正] 小島 正寛・有馬 広明

VI-2 (センター2号館2302教室) /9月12日(火)

■鉄道(5) /9:00~10:20/村上 達也(大成建設)

- VI-100 URTエレメント推進時における推進精度、軌道管理に関する報告/西日本旅客鉄道 [正] 水野 さおり・岩井 俊之
- VI-101 玉石地盤における営業線直下でのHEP&JES工法の施工実績/東日本旅客鉄道 [正] 佐藤 駿・花田 正喜・内藤 圭祐
- VI-102 東海道本線直下でのJES工法における粘性土地盤対策工の施工/東海旅客鉄道 [正] 児島 達也・原 正一郎
- VI-103 鉄道直下における薬液注入法の注入パイプに着目した性能比較/東鉄工業 [正] 佐藤 将樹・草野 英明・竹内 仁哉
- VI-104 常磐線金町・松戸間における盛土耐震補強工事/東日本旅客鉄道 [正] 小又 邦昭・鬼頭 和也・青柳 英佑
- VI-105 盛土耐震補強における法尻地盤改良工法の選定事例/東鉄工業 [正] 鳥越 雅記・森 薫
- VI-106 駅周辺の高利用地区における大型商業施設の附置義務駐車場の施工/シーエヌ建設 [F] 丹間 泰郎・原 和彦

■鉄道(6) /10:40~12:00/栗林 健一(東日本旅客鉄道)

- VI-107 ICT技術を活用した斜面等検査支援手法の開発/西日本旅客鉄道 [正] 塩谷 敦・泉 並良二・福井 雄気
- VI-108 衛星を活用した鉄道沿線斜面上における対象物検知に関する検討/東海旅客鉄道 [正] 小島 瑛太郎・舟橋 秀磨・今井 賢一
- VI-109 SAR衛星を活用した鉄道沿線の災害検知手法の基礎検討/東海旅客鉄道 [正] 舟橋 秀磨・小島 瑛太郎・今井 賢一
- VI-110 河川上流部で観測される情報を反映した水位予測/西日本旅客鉄道 [正] 竹内 傑・河村 清春・唐木 大輔
- VI-111 電気比抵抗による盛土内部水分の把握/JR東海 [正] 浅野 嘉文・大木 基裕・舟橋 秀磨
- VI-112 鉄道路線での落石対策工について/東日本旅客鉄道 [正] 永田 賢康・横井 進一・関口 達也
- VI-113 東海道本線 石部トンネルにおける冠水対策/JR東海 [正] 加藤 達也・長谷川 秀樹
- VI-114 のり面工変状急進箇所における原因の特定と対策工の検討/JR東海 [正] 佐野 淳・井奈波 周一

VI-2 (センター2号館2302教室) /9月13日(水)

■鉄道(7) /9:00~10:20/月館 洋(大成建設)

- VI-115 河川橋脚の耐震補強における工期短縮の取組みについて/JR東日本 [正] 大澤 瑤・長岡 範夫・村田 祐亨
- VI-116 軌きょうを反力とした小径鋼管杭打設治具の施工試験/東日本旅客鉄道 [正] 竹谷 勉・井口 重信・鈴木 辰彦
- VI-117 JRゲートタワー新設に伴う鉄道函体アンダーピニング工事の施工結果/東海旅客鉄道 [正] 土屋 正宏・齋藤 力哉・小野寺 聡
- VI-118 鉄道ラメン高架橋の連続アンダーピニング工事の計画と施工実績/鹿島建設 [正] 伊藤 弘之・田中 誠・山本 信也
- VI-119 鉄道営業線近接箇所における大口径超低空頭場所打ち杭工の施工実績(掘削速度)に関する一考察/東日本旅客鉄道 [正] 菊地 央・杉崎 尚秀
- VI-120 列車運行時間帯における軌道近接部での基礎杭掘削の施工管理/東日本旅客鉄道 [正] 大堀 将明・伊東 寛・橋本 詩織
- VI-121 成田(我)線 成田・下総松崎間高架化工事における施工時の課題と対応について/JR東日本 [正] 大矢 新吾・小林 義雄・最首 勝

■鉄道(8) /10:40~12:00/堀 雄一郎(JR東日本)

- VI-122 鉄道保守困難箇所における施工紹介/東日本旅客鉄道 [正] 穴倉 聡・鈴木 康弘・萩原 和可子
- VI-123 ポータブル吸音パネルの道床つき固め作業への導入/双葉鉄道工業 [正] 後藤 孝太・川田 大武・松田 芳文
- VI-124 札幌市市営路面電車における急曲線ガードレール(R20)の曲げ加工戻り度/礼建工業 [正] 石田 博之
- VI-125 九州新幹線のスラブ軌道における脱線防止ガード新設/九鉄工業 [正] 池田 幸隆

- VI-126 新型通り整正機の開発／東日本旅客鉄道 [正] 小綿 貴幸・北井 健博
- VI-127 継目落ち整正器の実用化に向けた検討／九州旅客鉄道 [正] 山口 寛史・力武 基樹・大久保 健吾
- VI-128 当社が取組む機械品質の確保について／大鉄工業 [正] 白崎 研人・坂本 士

■鉄道(9) / 15:20~16:40 / 川崎 祐征(東海旅客鉄道)

- VI-129 S型弾性まくらぎ直結軌道に対する性能確認試験／鉄道総合技術研究所 [正] 谷川 光・高橋 貴蔵・桃谷 尚嗣
- VI-130 プレバックド工法の設計基準強度検証／東京地下鉄 [正] 阿部 正和・飯塚 俊明・久保田 聡一
- VI-131 貯雪空間を有する合成マクラギ直結分岐器に関する実験的検討／JR東日本 [正] 佐伯 和浩・小川 正彦・岡澤 和哉
- VI-132 ロングチューブ注入口の処理に使用する常温塗布型保護材の性能評価／東亜道路工業 [正] 田端 勇人・山本 幸亮・片桐 聖太
- VI-133 バラスト撤去量低減型工事構造物に関する挙動解析／東日本旅客鉄道 [正] 山本 達也・小林 薫・後藤 貴士
- VI-134 免震構造上の軌道構造物の概要について／東京地下鉄 [正] 磯崎 光・佐藤 大祐・善本 秀一
- VI-135 橋上ロングレールが長スパン橋梁の挙動に及ぼす影響／鉄道総合技術研究所 [正] 濱上 洋平・小林 裕介・網谷 岳夫
- VI-136 人道橋やホーム桁の振動使用性に対する振動測定と照査方法に関する検討／JR東日本 [正] 黒田 智也・山田 正人

VI-3 (センター2号館2303教室) / 9月11日(月)

■山岳トンネル(1) / 9:00~10:20 / 石田 滋樹

(中電技術コンサルタント)

- VI-137 海水条件下での溶液型グラウト特性データの取得(その1)ー研究の概要ー／日本原子力研究開発機構 [正] 榎永 幸介・佐藤 稔紀・沖原 光信
- VI-138 海水条件下での溶液型グラウト特性データの取得(その2)ー海外の地層処分のためのグラウト技術に関する最新動向ー／清水建設 [正] 辻 正邦・沖原 光信・中島 均
- VI-139 海水条件下での溶液型グラウト特性データの取得(その3)ー基本物性試験ー／清水建設 [正] 中島 均・齋藤 亮・辻 正邦
- VI-140 山岳トンネル工事における坑内無線通信を利用した情報管理／前田建設工業 [正] 田中 ひかる・森 英治
- VI-141 山岳トンネルにおける高性能大容量吹付けコンクリートシステムの開発／安藤・間 [正] 稲田 匠吾・串橋 巧・嵯峨 豊
- VI-142 山岳トンネル工事における週休2日制への取り組み事例／大林組 [正] 東 憲太郎・加藤 隆雄・黒川 尚義
- VI-143 脆弱地山でのロックボルトの定着力向上対策について／大林組 [正] 岡崎 雄一・木梨 秀雄・伊藤 哲
- VI-144 吹付けコンクリートの練上がり温度を自動制御するバッテリープラントの現場検証／飛鳥建設 [正] 松田 浩朗・筒井 隆規・平間 昭信

■山岳トンネル(2) / 10:40~12:00 / 日下 敦(土木研究所)

- VI-145 環境温度に起因する中流動コンクリートの性状変化に関する一考察／戸田建設 [正] 土師 康一・新谷 岳・澤村 淳美
- VI-146 打込み直前流動化中流動覆工コンクリート性状／清水建設 [正] 谷村 浩輔・楠本 太・山本 将
- VI-147 実施工における覆工用高流動コンクリートの適用実績／鹿島建設 [正] 松本 修治・佐藤 崇洋・橋本 学
- VI-148 覆工コンクリートにおける繊維混入率の検討事例／大林組 [正] 鈴木 成・森川 義博・後藤 隆之
- VI-149 過大な乾燥収縮を生じる砂岩砕石を用いた覆工コンクリートの乾燥収縮率低減対策に関する試験考察／西松建設 [正] 椎名 貴快・佐藤 幸三
- VI-150 高品質フライアッシュを混入したトンネル覆工コンクリートの施工について／熊谷組 [正] 福田 博光・日高 正明・古屋 秀史
- VI-151 山岳トンネル防水シートの自己治癒機能の開発(2)／金沢工業大学 [学] 大森 成将・宇野 洋志城・木村 定雄
- VI-152 吹付け仕上り面平滑化のためのロックボルト頭部処理に関する一試行／飛鳥建設 [正] 熊谷 幸樹・筒井 隆規・渡邊 博

■山岳トンネル(3) / 15:20~16:40 / 安井 成豊(施工技術総合研究所)

- VI-153 中流動覆工コンクリートの打込み締固め方法／清水建設 [正] 山本 将・信永 博文・木村 厚之
- VI-154 型枠に設置したセンサによる覆工コンクリートの充填状況および締固め状況の把握に関する実験／日本国土開発 [正] 佐原 晴也・津久井 寛・小笠原 一基

- VI-155 センサに設置したセンサによる覆工コンクリートの施工・品質管理の見える化の検討／日本国土開発 [正] 細井 泰行・江頭 勝吾・武田 祐二
- VI-156 照度センサを用いた覆工コンクリートの打設高さ管理システムの開発／飛鳥建設 [正] 滝波 真澄・筒井 隆規・熊谷 幸樹
- VI-157 覆工コンクリートのラップ部の充てんについて／安藤ハザマ [正] 小野里 みどり・小池 悟・多宝 徹
- VI-158 吹上げ方式により打設する覆工コンクリートの流動および充てん状況について／安藤・間 [正] 小池 悟・小野里 みどり・多宝 徹
- VI-159 覆工コンクリートの天端部における打重ね箇所の表面近傍の品質／奥村組 [正] 小野 緑・齋藤 隆弘・岩波 光保
- VI-160 寒冷地における覆工コンクリートの高耐久化に向けた取組み／大林組 [正] 佐々木 大輝・蒲 雅志・永久 和正

■山岳トンネル(4) / 17:00~18:20 / 海瀬 忍

(高速道路総合技術研究所)

- VI-161 インバート施工区間の覆工コンクリートへの部分パイプクーリング適用効果／安藤ハザマ [正] 栗原 浩彦・三沢 良太・白岩 誠史
- VI-162 部分パイプクーリング工法と膨脹コンクリートによるひび割れ抑制効果の比較／安藤ハザマ [正] 白岩 誠史・栗原 浩彦・三沢 良太
- VI-163 非排水構造の道路トンネルにおける覆工コンクリート高密度配筋部の施工／大成建設 [正] 近藤 正隆・梁 俊・岡 浩一
- VI-164 覆工型枠の脱型に伴う覆工コンクリートの力学的挙動に関する考察／土木研究所 [正] 吉岡 知哉・砂金 伸治・森本 智
- VI-165 覆工コンクリートにおける品質向上と高速施工の取組みおよび施工実績／鹿島建設 [正] 月崎 良一・新岡 尚幸・竹市 篤史
- VI-166 覆工コンクリートにおける品質および耐久性向上への効果検証について／鹿島建設 [正] 佐藤 崇洋・新岡 尚幸・竹市 篤史
- VI-167 新型テレスコピックセメント工法および塗布型の水分逸散抑制剤による養生の効果ー高松自動車道大坂トンネル北工区ー／鹿島建設 [正] 石井 利治・松本 修治・橋本 学
- VI-168 AIと打音法を組み合わせた覆工コンクリート打設後の養生管理方法の検討／佐藤工業 [正] 京免 継彦・菊田 遥子・歌川 紀之

VI-3 (センター2号館2303教室) / 9月12日(火)

■山岳トンネル(5) / 9:00~10:20 / 青柳 隆浩(鹿島建設)

- VI-169 地すべりが懸念される地山における坑口設計／西松建設 [正] 鈴木 健・福山 新二・寺西 淳次
- VI-170 斜面斜交型坑口部の施工について／清水建設 [正] 藤田 知大・井口 常幸
- VI-171 大断面トンネルにおける坑口部の脆弱地山対策について／大林組 [正] 国島 広弥・蒲 雅志・平川 泰之
- VI-172 低土被り未固結地山におけるトンネルの施工／鴻池組 [正] 若林 宏彰・酒井 康至・寺本 雅昭
- VI-173 市街地における既設トンネル近接施工の実績／西松建設 [正] 竹村 いずみ・岡田 弘・大谷 達彦
- VI-174 国道直下の低土被り脆弱地山のトンネル掘削における早期閉合の施工事例／竹中土木 [正] 鶴窪 誠司・市川 晃央・西尾 泰三
- VI-175 斜面斜交型坑口における斜め支保工を適用したトンネルの貫通方法について／西松建設 [正] 原島 大・柳沢 一俊・河原 博

■山岳トンネル(6) / 10:40~12:00 / 土門 剛(首都大学東京)

- VI-176 大土被り区間の脆弱泥岩地山部における二重支保工の施工報告について／中日本高速道路 [正] 菅 浩亮・星野 実・吉野 兼央
- VI-177 軟質な蛇紋岩を含む混在岩地山における調査・設計・計測事例／鹿島建設 [正] 池田 廉・赤石 広秋・西川 幸一
- VI-178 ロックボルト削孔検層による蛇紋岩を含む不均質地山の評価／鹿島建設 [正] 金本 凌・赤石 広秋・西川 幸一
- VI-179 付加体地山を貫く長大トンネルにおける地質リスクマネジメント／鹿島建設 [正] 小泉 悠・赤石 広秋・西川 幸一
- VI-180 泥濘化しやすい凝灰岩質地山におけるトンネルの施工／鴻池組 [正] 後藤 宇・森谷 仁・池尻 大介
- VI-181 山岳トンネルにおける熱水変質起源による塑性地山の変状事例／安藤ハザマ [正] 鶴田 亮介・山本 浩之・石田 良二
- VI-182 坑口部地すべり対策によるトンネル掘削／前田建設工業 [正] 中山 泰起・峰 潔毅・金子 和己

VI-183 強風化地山の坑口区間における沈下抑制対策／東急建設
[正] 村田 和哉・満尾 淳・安野 雅志

VI-3 (センター2号館2303教室) / 9月13日(水)

■山岳トンネル(7) / 9:00~10:20 / 古賀 大陸 (エイト日本技術開発)

- VI-184 レール方式による小断面NATMの合理化施工／熊谷組
[正] 用害 靖己・松本 壮太郎
- VI-185 長大トンネルにおける急速施工の取組みについて／鹿島建設
[正] 竹市 篤史・新潟 尚幸・佐藤 崇洋
- VI-186 NATMの大断面山岳トンネル掘削で月進270m達成／鹿島建設
[正] 橋本 基・新潟 尚幸・竹市 篤史
- VI-187 長大トンネルCI区間における余掘低減への取り組み／鹿島建設
[正] 中嶋 翔平・新潟 尚幸・竹市 篤史
- VI-188 山岳トンネルにおける高速ずり搬出システムの開発／西松建設
[正] 三井 善孝・山下 雅之・冨永 秀之
- VI-189 環境と品質に配慮した新名神高速道路原萩谷トンネル東工事の施工実績／前田建設工業 [正] 古澤 剛・小柳 公治・新井 直樹
- VI-190 山岳トンネル掘削に干渉する廃坑道対策／竹中土木 [正] 藤田 豊彦・山下 裕司・市川 晃央
- VI-191 トンネル掘削に伴う近接送電線鉄塔への影響について一般国道106号宮古西道路(仮称)田鎖トンネル築造ほか工事／三井住友建設 [正] 山本 恭平・釜谷 薫幸・鷹鷲 智司

■山岳トンネル(8) / 10:40~12:00 / 西浦 秀明(大林組)

- VI-192 供用中トンネルにおける分岐部の施工／前田建設工業 [正] 宮内 俊彦・能登 喜幸・平森 誠
- VI-193 小断面水路トンネルからの超大断面空洞地中拡幅／ゼネコン [正] 松尾 孝之・肥後 桂介・北山 篤
- VI-194 硬岩の避難連絡坑拡幅工における割岩工法の採用／鴻池組 [正] 小林 亘・寺西 克彦・宇田 隆彦
- VI-195 多段式非火薬岩盤破砕剤を併用した硬質岩盤のトンネル掘削とその効果／鉄建建設 [正] 舟橋 孝仁・浦川 信行・田辺 洋一
- VI-196 トンネル硬岩部の機械掘削における先行削孔の効果に関する一考察／大成建設 [正] 山田 貴久・羽生 剛・松田 光司
- VI-197 鉄道トンネル側壁におけるハイスベックネイリング工法の適用／JR東海 [正] 中島 啓・田川 謙一・山本 彰
- VI-198 既設覆工の補強工設計事例―常磐共同火力勿来発電所第1送水トンネル補強工事―／鹿島建設 [正] 秋山 崇裕・菅波 敏春・岡本 二郎
- VI-199 埋設型枠工法による導水路トンネル構築／鹿島建設 [正] 木原 大樹・山本 明雄・安永 豊彦

■山岳トンネル(9) / 15:20~16:40 / 吉川 直孝(労働者健康安全機構)

- VI-200 トンネル切羽観察(節理) AI自動評価のための切羽面3次元単純モデル化手法／佐藤工業 [正] 菊田 遥子・京免 継彦・瀬谷 正巳
- VI-201 トンネル切羽観察(風化変質)のAI(自己組織化マップSOM)による自動評価の試み／佐藤工業 [正] 瀬谷 正巳・黒田 千歳・歌川 紀之
- VI-202 切羽観察項目と補助工法採用率の相関性に関する考察／山口大学 [学] 田中 惇一・進士 正人・森本 真吾
- VI-203 簡易なトンネル切羽前方変位計測手法の開発／安藤ハザマ [正] 稲葉 秀雄
- VI-204 天端先行変位計によるトンネル掘削の先行変位に対する一考察／大林組 [正] 木野村 有亮・山崎 哲也・井上 猛
- VI-205 TBM避難坑拡幅掘削切羽の安定性／清水建設 [正] 木村 厚之・信永 博文・楠本 太
- VI-206 全断面工法爆破掘削のII期線トンネルへの適用性／西日本高速道路 [正] 山中 慎也・信永 博文・小林 康範
- VI-207 II期線トンネル全断面爆破掘削が供用I期線トンネルに及ぼす影響／清水建設 [正] 福田 毅・信永 博文・木村 厚之

VI-4 (センター2号館2304教室) / 9月11日(月)

■山岳トンネル(10) / 9:00~10:20 / 嶋本 敬介(鉄道総合技術研究所)

- VI-208 ドリルジャンボの削孔データを使用した3次元地山評価システムの開発／西松建設 [正] 山下 雅之・三井 善孝・塚田 純一
- VI-209 発破のための削孔データを用いた切羽面の前方地山予測／山口大学 [学] 宮仲 美玖・河邊 信之・進士 正人
- VI-210 DRiスコープによるトンネル切羽前方地山調査の適用／戸田建設 [正] 法橋 亮・関根 一郎・石垣 和明
- VI-211 凝灰岩地山トンネルにおけるノンコア削孔切羽前方探査技

術と支保選定／大林組 [正] 渡辺 淳・宮沢 一雄・金田 和男
双葉断層を含む破砕帯推定区間での切羽前方探査による地山性状把握／清水建設 [正] アドザム アズマン・小島 英郷・安藤 拓

VI-212 掘削時の発破を起振とした地山弾性波速度モデルの構築と施工との対比／熊谷組 [正] 中本 大悟・石濱 茂崇・青木 宏一

VI-213 ICレコーダーを利用した簡易弾性波探査による支保パターンの妥当性の検証／安藤ハザマ [正] 山本 浩之・中谷 匡志・金田 仁志

VI-214 長距離高精度弾性波測定システムにおける発振源としての超磁歪素子の特性評価／西松建設 [正] 石山 宏二・吉野 修・佐ノ木 哲

■山岳トンネル(11) / 10:40~12:00 / 磯谷 篤実

(鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

- VI-216 多量湧水が想定されるトンネルでの地下水前方探査システムの開発／大林組 [正] 伊藤 哲・木梨 秀雄・中岡 健一
- VI-217 短尺ボーリング水圧計測システムの開発と現場適用試験／鹿島建設 [正] 小泉 恵介・岩野 圭太・岡田 侑子
- VI-218 トンネルの高湧水区間におけるディーブウェルによる地下水位低下工法の適用／鹿島建設 [正] 野中 隼人・中野 誠門・瀬尾 昭治
- VI-219 中尺ボーリング先端区間の湧水圧モニタリング技術／鹿島建設 [正] 滝 英明・志水 俊仁・升元 一彦
- VI-220 逆転層でのTDEM法探査の適用事例／戸田建設 [正] 原敏昭・西牧 均・香村 一夫
- VI-221 FDEM探査を用いた切羽前方探査による最適支保パターンの選定／三井住友建設 [正] 仲 哲路・山田 文孝・牛田 久雄
- VI-222 拡張カルマンフィルタを用いたトンネル切羽前方の三次元電気探査／新潟大学 [学] 佐々木 丈・阿部 和久・椎谷 成孝
- VI-223 ポストグラウチングによる山岳トンネルの減水対策とトンネル挙動について／熊谷組 [正] 中出 剛・木佐貫 浄治・鈴木 雅文

■山岳トンネル(12) / 15:20~16:40 / 増田 潔(大成建設)

- VI-224 再生ドラム缶を活用したトンネル発破超低周波音低減装置／フジタ [正] 阿部 将幸・野間 達也・小谷 朋央貴
- VI-225 膜振動型の吸音特性を利用したトンネル発破低周波音低減装置の開発 その1 吸音原理と吸音率測定／竹中土木 [正] 大村 啓介・田邊 康太・市川 晃央
- VI-226 膜振動型の吸音特性を利用したトンネル発破低周波音低減装置の開発 その2 現場における実証試験結果／竹中土木 [正] 田邊 康太・大村 啓介・市川 晃央
- VI-227 トンネル発破超低周波音消音装置の消音効果に関する検討／飛鳥建設 [正] 岩根 康之・小林 真人・川澄 卓也
- VI-228 硬質地山におけるトンネル発破消音器を用いた環境配慮施工事例／大林組 [正] 八木 隆之・大和田 正樹・谷口 信博
- VI-229 発破振動速度の遠隔測定システムNCVIBの活用例／鹿島建設 [正] 扇 裕次・竹井 修・手塚 康成
- VI-230 高精度電子雷管を用いたゴルフ場直下のトンネル掘削について～新名神高速道路 東畦野トンネル工事～／西日本高速道路 [正] 勘定 茂・藤澤 顕・横山 哲哉

■開削トンネル / 17:00~18:20 / 土屋 光弘(西松建設)

- VI-231 頂版・側壁をハーフプレキャストとしたカルバート隅角部の合理化構造の実験／清水建設 [正] 吉村 友李・荒木 尚幸・土屋 雅徳
- VI-232 接合部を補強したRCカルバート隅角部の交番荷重実験／ジオスター [正] 小山 直人・荒木 尚幸・竹内 大輔
- VI-233 鋼材重ね合せ機構によるハーフプレキャスト隅角部接合構造のFEM解析／清水建設 [正] 林 大輔・吉武 謙二・竹内 大輔
- VI-234 高水圧下でのアンカーと大規模掘削の施工実績／鹿島建設 [正] 柄沢 篤志・奥本 現・安田 学
- VI-235 供用中の高速道路における換気用開口の養生蓋設置／清水建設 [正] 溝口 達也・大塩 隆・赤松 諒亮
- VI-236 プレキャスト門型カルバートの適用による工程短縮／鹿島建設 [正] 迫田 剣治・坂梨 利男・渡邊 洋介
- VI-237 既設構造物上に設置する親杭・中間杭の施工／清水建設 [正] 宇田 光伸・大塩 隆・赤松 諒亮

VI-4 (センター2号館2304教室) / 9月12日(火)

■地下構造物(1) / 9:00~10:20 / 古荘 伸一郎(大林組)

- VI-238 ポンプ所基礎の底版コンクリートへの高流動コンクリート

- の適用(1) フレッシュ性状に関する試験報告—清水建設 [正] 吉田 匠吾・野村 朋宏・頃安 研吾
- VI-239 ポンプ基礎の底版コンクリートへの高流動コンクリートの適用(その2) —構造体強度の確認—清水建設 [正] 頃安 研吾・吉田 匠吾・野村 朋宏
- VI-240 矩形深礎を用いた既設土留め壁撤去工法の選定と施工実績 / 鹿島建設 [正] 古賀 新太郎・志村 敦・渡辺 幹広
- VI-241 玉石、砂礫地盤における地盤切削JES工法のガイドパイプ置換え敷設 / 鉄建建設 [正] 中村 征史・村田 浩平・石田 将貴
- VI-242 玉石混じり地盤における地盤切削JES工法による線路下横断工事の施工 / 東日本旅客鉄道 [正] 石田 将貴・吉田 直人・西村 知晃
- VI-243 箱形ルーフ推進用エアバック式土留めの開発 / 奥村組 [正] 亀井 寛功・佐藤 大起・川嶋 英介
- VI-244 鉄道構造物構築におけるハーモニカ工法の施工実績〜ハーモニカ部(非開削)と開削部の切り開き・一体化について〜 / 大成建設 [正] 石川 陽介・上坂 龍平・倉澤 敦
- VI-245 地下水によるリチャージ設備へのスケール付着抑制対策 / 鉄建建設 [正] 柳 博文・栗栖 基彰・小池 敏雄

■地下構造物(2) / 10:40~12:00 / 寺田 倫康(熊谷組)

- VI-246 ケーソン作業室内残土量可視化に向けたレーザーセンサ性能実験 / 大成建設 [正] 木下 勇人・森田 泰司・綿村 忍
- VI-247 ケーソン作業室内の掘り残し土量可視化技術の開発 / 大成建設 [正] 香川 純成・森田 泰司・草柳 太郎
- VI-248 圧入ケーソン工事における硬質な洪積層での圧入困難時の補助工法施工事例 / 大林組 [正] 宮田 健治朗・本間 英貴・久保寺 家光
- VI-249 大型ニューマチックケーソンにおける仮壁撤去方法の改善事例 / 大林組 [正] 原 良輔・武見 敏靖・小崎 敏之
- VI-250 ニューマチックケーソン施工時の影響解析に対する粒子法の適用性 / 清水建設 [正] 小林 聖二・遠藤 和雄・小野田 元
- VI-251 蒸気圧破碎薬利用電子段発着火具の開発と深礎掘削への応用 / 日本工機 [正] 村田 健司・川野 誠・林 知弘
- VI-252 仮設一本設兼用合成地下壁の床版接合部の性能確認実験その1 / JFEスチール [正] 恩田 邦彦・古荘 伸一郎・西口 正仁
- VI-253 仮設一本設兼用合成地下壁の床版接合部の性能確認実験その2 / 大林組 [正] 黄 再弘・伊藤 克也・恩田 邦彦

VI-4 (センター2号館2304教室) / 9月13日(水)

■地下構造物(3)、河川構造物 / 9:00~10:20 / 緒方 明彦(熊谷組)

- VI-254 鉄道駅直下のR&C工法による世界最大断面の函体けん引工事 / 清水建設 [正] 森本 大介・岸田 正博・藤原 英司
- VI-255 銀座線新橋駅改良工事における鉄構掘削に伴う補強計画 / 東京地下鉄 [正] 城石 尚明・福田 隆二・川岸 康人
- VI-256 日比谷線茅場町駅改良土木工事における既設構造物側壁撤去時の計測結果 その2 / 東京地下鉄 [正] 荻野 竹敏・橋口 弘明・町田 裕之
- VI-257 低空頭での土留め壁打設と地中拡幅掘削の施工実績(切り開きその4) / 鹿島建設 [正] 谷澤 史剛・吉田 潔・渡辺 幹広
- VI-258 屋内作業が可能な地盤改良マシンの小型化改良 / 大成建設 [正] 広野 彩・沖 慎一郎・橋本 利明
- VI-259 旧北上川河口部改修事業における近接施工対策の取り組み / 川崎地質 [正] 太田 史朗・高田 浩徳・川村 健弘
- VI-260 鬼怒川堤防本復旧工事の施工実績と現場運営 / 鹿島建設 [正] 下沖 優介・横坂 利雄・上田 哲也
- VI-261 周辺河川の水位変動の影響を強く受ける河川近傍での地下水低下対策について / 奥村組 [正] 佐藤 典央・小林 俊彦・森 裕之

■山留め / 10:40~12:00 / 近江 健吾(清水建設)

- VI-262 大規模掘削工事における土丹層の土質性状を踏まえた土留構造の変更について / 東急建設 [正] 中山 亘・森 正宏・小野 浩之
- VI-263 地層間に巨礫を含む地盤における掘削土留工の設計について / 鉄建建設 [正] 山本 淳・吉田 直人・藤岡 大造
- VI-264 地層間に巨礫を含む地盤における薬液注入工の設計・施工 / 東日本旅客鉄道 [正] 吉田 直人・高見澤 拓哉・市川 智久
- VI-265 腹起しの載荷試験と設計的検討(その1:トンボ火打ちの場合) / 大林組 [正] 高本 寛之・高橋 正登・平尾 淳一
- VI-266 腹起しの載荷試験と設計的検討(その2:45°火打ち、60°火打ちの場合) / ジェコス [正] 村山 正輝・松山 積夫・高橋 正登

- VI-267 地下調整池工事における仮設計画の改善事例 / 大林組 [正] 桑原 政仁・巨知 琢也・下田 剛史
- VI-268 偏側圧が作用する非対称土留めの挙動について / 熊谷組 [正] 赤石 圭治・鈴木 順次・田中 秀一
- VI-269 ソイルセメント地下連続壁に地盤改良体を考慮した設計を行った場合の効果について / 加藤建設 [正] 徳山 悦子・菅野 航太・伊藤 浩邦

■設計技術 / 15:20~16:40 / 森田 篤(前田建設工業)

- VI-270 高速道路橋における維持管理の容易さに配慮したコーディネートデザインの取組み / 西日本高速道路 [正] 宮田 弘和・多葉井 清司・益田 貴幸
- VI-271 風荷重が増幅する地形におけるアレイ架台基礎設計事例 / 大林組 [正] 三浦 国春・山並 真也・玉井 礼子
- VI-272 破砕帯を通過する超大断面水路トンネル側壁補強工の設計と施工 / 大林・飛鳥特定建設工事共同企業体 [正] 五十嵐 正剛・井上 達裕・籠谷 建太郎
- VI-273 大型石炭サイロの合理化に関する考察 / 中国電力 [正] 笠井 洋行・高田 英明
- VI-274 3次元FEM解析を用いた大型ケーソン構造物の設計合理化 / 大林組 [正] 高橋 敏樹・齋藤 隆
- VI-275 建築用タワークレーンのマスト接合部の強度に関する研究その2マスト結合ボルトの曲げ応力 / 労働安全衛生総合研究所 [正] 高梨 成次・大幢 勝利・高橋 弘樹
- VI-276 耐震性能向上を目的とした仮脚構造の検討 / 東日本旅客鉄道 [正] 山下 洋平・小林 薫

VI-5 (センター2号館2305教室) / 9月11日(月)

■シールドトンネル(1) / 9:00~10:20 / 河本 武士(大成建設)

- VI-277 RCセグメント耐火性能確認(その1:耐火実験結果) / 西松建設 [正] 野本 雅昭・椎名 貴快
- VI-278 RCセグメント耐火性能確認(その2:設計への反映) / 西松建設 [正] 山本 達也・村上 初央・坪井 広美
- VI-279 高水圧下の凍結地盤内に注入可能な高性能裏込め注入材の開発 その1— 配合試験結果報告 — / 戸田建設 [正] 中山 卓人・請川 誠・瀧川 信二
- VI-280 高水圧下の凍結地盤内に注入可能な高性能裏込め注入材の開発 その2— 実機試験結果報告 — / 戸田建設 [正] 小林 修・和田 洋一・平原 直樹
- VI-281 4面に鋼殻を有する合成セグメントに関する基礎的研究その2 / パシフィックコンサルタンツ [正] 清水 幸範・水上 博之・藤木 育雄
- VI-282 地盤の礫の特性および礫含有率がカッタービット摩耗量に及ぼす影響に関する研究 / 大林組 [正] 星野 智紀・田中 善広・野口 宏治
- VI-283 高耐久性カッタービットの開発(その3) —耐摩耗性に着目した「スタミナビット」の性能に関する検証— / 奥村組 [正] 川嶋 英介・木下 茂樹・木村 隼平
- VI-284 ディスクローラーカッター交換装置の開発 / 鹿島建設 [正] 船迫 俊雄・福田 昌弘・沼宮内 克己

■シールドトンネル(2) / 10:40~12:00 / 木村 晃(熊谷組)

- VI-285 支障する汚水幹線をシールドで直接切削してトンネルを施工 / 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正] 松尾 知明・田中 淳寛・下牧 高平
- VI-286 粒子法を用いた泥土圧シールド工法のスクリーコンベヤーにおける土砂流動解析 / 安藤ハザマ [正] 粥川 幸司・名倉 浩・西村 毅
- VI-287 砂質地盤、低土被りにおける泥土圧シールド掘進実績 / 西松建設 [正] 佐々木 栞
- VI-288 小断面二次覆工一体型RCセグメントでの長距離施工について / 西松建設 [正] 浅野 貴弘
- VI-289 西名古屋火力発電所リフレッシュ工事 放水路トンネル工事報告—直接切削壁(NOMST)の発達—到達実績— / 鹿島建設 [正] 石原 泰幸・蔵之内 英二・亀井 達司
- VI-290 高水圧下での泥水式岩盤シールド工法における掘削方法の工夫について / 大成建設 [正] 関 康太・稲積 教彦・國居 史武
- VI-291 急曲線、超近接施工を伴うデュアルシールド工法最大径の初施工報告 / 東急建設 [正] 高松 伸行・皆川 昌浩・田中 悠一
- VI-292 横浜北線馬場出入口工事におけるCランプシールドの掘進報告 / 清水建設 [正] 武本 怜真・内海 和仁・栗林 伶二

■シールドトンネル(3) / 15:20~16:40 / 粥川 幸司(安藤・間)

- VI-293 長距離大口径推進工法(396m、φ2,800mm)の推力低減対

- 策に関する考察／佐藤工業 [正] 小野寺 正人・市原 和彦・山田 和也
- VI-294 横浜北線馬場ランプシールド内装における床版構築の省力化の施工事例／清水建設 [正] 高橋 さや・栗林 伶二・武藤 圭祐
- VI-295 大断面道路トンネルの低土盛り区間覆工検討概要／大成建設 [正] 永塚 優希・濱島 圭佑・松下 真哉
- VI-296 大断面道路トンネルの低土盛り区間に適用したモルタル中詰鋼製セグメント構造概要／大成建設 [正] 織田 隆志・高橋 亨・近藤 基博
- VI-297 想定外の玉石層出現への対処実績／西松建設 [正] 栗田 武弘
- VI-298 巨礫混じりの砂礫層における長距離シールド施工／奥村組 [正] 秦 裕彰・吉田 典典・倉田 和彦
- VI-299 大深度におけるH&Vシールド工法の発進と地中分岐の施工について／前田建設工業 [正] 吉田 靖史・大熊 稔生
- VI-300 超大型シールドマシンの組立実績／鹿島建設 [正] 齊藤 祐輔・佐藤 卓哉・高橋 公城

■シールドトンネル(4) /17:00~18:20/中谷 武彦(清水建設)

- VI-301 回転式レーザー自動測定システムによる併設影響計測実績／鹿島建設 [正] 牧野 由依・渡辺 真介・松川 直史
- VI-302 近接施工時における非接触多点計測装置を用いたセグメント断面力算出に関する一考察／計測技研 [正] 石下 和雅・渡辺 真介・松川 直史
- VI-303 シールドトンネル掘削時の振動低減実績／鹿島建設 [正] 佐藤 一成・紀伊 吉隆・岡本 道孝
- VI-304 気泡シールド工法に用いる新型起泡剤の開発／鹿島建設 [正] 生川 寛之・吉迫 和生・渡辺 真介
- VI-305 新型ワンパス継手の鋼製セグメントへの適用／鹿島建設 [正] 近藤 資・渡辺 真介・紀伊 吉隆
- VI-306 大断面シールド往路掘進知見を活かした復路掘進実績／鹿島建設 [正] 紀伊 吉隆・渡辺 真介・松川 直史
- VI-307 泥土圧シールドにおける土砂運搬ベルコンの粉塵対策／鹿島建設 [正] 高木 賢二・紀伊 吉隆・渡辺 真介

VI-5 (センター2号館2305教室) /9月12日(火)

■シールドトンネル(5) /9:00~10:20/西田 与志雄(大成建設)

- VI-308 非開削の矩形断面地下通路工事における計測管理—新日比谷地下通路工事報告(その3)—／東京地下鉄 [正] 橋口 弘明・川岸 康人・根本 早季
- VI-309 R-SWING工法と六面鋼殻合成セグメントを採用した地下連絡通路工事の実績 新日比谷地下通路工事報告(その4)／鹿島建設 [正] 工藤 耕一・橋口 弘明・根本 早季
- VI-310 矩形断面に設置した仮設中柱の撤去時の計画と実施—新日比谷地下通路工事報告(その5)—／鹿島建設 [正] 盛岡 義郎・大西 諒・橋口 弘明
- VI-311 高速道路ランプ部への矩形シールド工法の導入(その1:計画概要)／阪神高速道路 [正] 志村 敦・渡辺 真介・吉田 潔
- VI-312 高速道路ランプ部への矩形シールド工法の導入(その2:掘進経過報告)／鹿島建設 [正] 真鍋 智・渡辺 幹広・馬目 広幸
- VI-313 高速道路ランプ部の矩形シールドトンネルに適用するセグメントの設計／鹿島建設 [正] 牛垣 勝・福島 誉史・吉田 潔
- VI-314 矩形シールド工事における新しい沈下抑止特殊充填材の施工実績／鹿島建設 [正] 吉迫 和生・渡辺 真介・瀧川 信二
- VI-315 地下鉄営業線を離隔2.2mで下越した大断面シールドの掘進管理／大阪市交通局 [正] 鳥 拓造・萬木 昇・西木 大道

■シールドトンネル(6) /10:40~12:00/中川 雅由(鹿島建設)

- VI-316 チャンバー内土砂流動性可視化システム(その1)—土砂粘度特性の確認実験—／大林組 [正] 菅野 静・香川 敦・阿部 靖
- VI-317 チャンバー内土砂流動性可視化システム(その2)—現場適用結果—／大林組 [正] 香川 敦・菅野 静・日高 基裕
- VI-318 シールド切羽可視化システムの構築と実現場への適用(その3:ピットの応答加速度に関する実験的研究)／奥村組 [正] 木下 茂樹・松田 顕伍・犬飼 貴
- VI-319 泥土圧シールドにおけるチャンバー内泥土の塑性流動性可視化システムの改良／清水建設 [正] 安井 克豊・杉山 博一
- VI-320 重要道路直下を横断する小土盛り大断面シールドの施工—東京外環自動車道 大和田工事Hランプシールド—／清水建設 [正] 中村 智史・大田 寛・宗像 慎也
- VI-321 地下鉄営業線との近接施工におけるシールド施工管理の一事例／大林組 [正] 安藤 嵩久・服部 鋭啓・宮田 博幸
- VI-322 大断面シールド(マシン外径13m)の小土盛り掘進について

- ／大成建設 [正] 田村 憲・金野 正一・小島 裕隆
- VI-323 シールド工事(下水道工事)におけるSAR衛星による地表沈下計測の精度確認／奥村組 [正] 宮田 岩往・村中 浩昭・五十嵐 善一

VI-5 (センター2号館2305教室) /9月13日(水)

■シールドトンネル(7) /9:00~10:20/安井 克豊(清水建設)

- VI-324 坑内回収型上向きシールド工法の導入／大成建設 [正] 川口 雄大・太田 祥史・中井 久隆
- VI-325 天然高分子材料を用いた噴発防止剤の開発／大林組 [正] 木村 志照・三浦 俊彦・武田 厚
- VI-326 高濃度のメタンガス含有地盤におけるシールド掘進対策について／鴻池組 [正] 桶川 宏司・安田 絢一・亀山 博通
- VI-327 防爆仕様によるデュアルシールド工法での長距離急曲線施工／前田建設工業 [正] 五十嵐 善行・佐々木 浩文
- VI-328 泥水式シールド工事における効率的な泥水二次処理技術の開発／西松建設 [正] 田口 雅章
- VI-329 消費電力を低減する二重カッター方式を採用したシールド機の模擬実験(1)／大林組 [正] 山下 健司・守屋 洋一・日野 義嗣
- VI-330 消費電力を低減する二重カッター方式を採用したシールド機の模擬実験(2)／大林組 [正] 日野 義嗣・上田 潤・山下 健司
- VI-331 場所打ちライニング工法におけるゴム製テールシールの開発／大成建設 [正] 竹中 計行・高倉 克彦・福田 興士

■シールドトンネル(8) /10:40~12:00/香川 敦(大林組)

- VI-332 シールドトンネルにおけるCIMモデルの開発および一考察／熊谷組 [正] 河越 勝
- VI-333 凍結工法によるシールドトンネルの幅掘とCIMによる施工管理の高度化／東急建設 [正] 堀 浩之・下村 義直・高松 伸行
- VI-334 シールド機動力学モデルによる急曲線部のシールドの挙動シミュレーション／長岡技術科学大学 [学] 鈴木 貴大・田中 秀幸・池田 圭太
- VI-335 都心部での非開削切掘げ工法における施工時挙動再現に関する解析手法による差違について／第一工業大学 [学] 神野 佑大・岩波 基
- VI-336 連続体モデルによるトンネル覆工挙動および周辺地盤変位に関する研究／長岡技術科学大学 [学] 相馬 裕希・真鍋 晃一・PHAM ANH
- VI-337 SENSによって構築されたトンネル周辺の地盤変位解析／長岡技術科学大学 [学] 畑下 創紀・中田 早紀・杉本 光隆
- VI-338 人工知能によるシールドマシン操作に関する予備的検討／清水建設 [正] 杉山 博一・和田 健介・中谷 武彦

■港湾海洋構造物・空港・建設環境 /15:20~16:40/濱地 克也

- (大林組)
- VI-339 プレミックス船工法による改良土の現場品質管理結果(その1事前解泥と施工時の品質管理)／東亜建設工業 [正] 永留 健・田中 洋輔・廣田 修治
- VI-340 プレミックス船工法による改良土の現場品質管理結果(その2製造時の改良土品質のばらつき)／東亜建設工業 [正] 木内 大介・永留 健・中川 克章
- VI-341 透水性砕石工法およびビニールシート養生を用いたコンクリート表面の品質の改善／東洋建設 [正] 菅 章雅・村本 哲二・森田 浩史
- VI-342 常温硬化型の超高強度繊維補強コンクリートによる梁部材の補修方法に関する施工実験／大林組 [正] 桜井 邦昭・武田 篤史・佐合 靖樹
- VI-343 津波引波時に対する動力式護岸の安定性の検討／早稲田大学 [学] 太田 海道
- VI-344 日本の港湾設計・施工基準の国際展開に関するベトナムでの取り組み／国土技術政策総合研究所 [正] 中野 敏彦・宮田 正史・清宮 理
- VI-345 特殊針葉樹皮改良材を活用した空港の防塵・防草対策／関東地方整備局 [正] 野口 孝俊・小原 剛・石川 弘志
- VI-346 プロペラ式湖水浄化装置によるアオコ抑制効果について／ゼニヤ海洋サービス [正] 川本 靖行・西田 秀紀・稲田 精一

VI-6 (センター2号館2306教室) /9月11日(月)

■施工技術(1) /9:00~10:20/高橋 敏樹(大林組)

- VI-347 内面平滑型RCプレキャストブロックを用いたアーバンリング工法の施工実績—石狩湾新港発電所1号機新設工事の

- VI-348 うち土木本工事(第3工区)工事報告(その13) —/鹿島建設 [正] 阿部 聡・遠藤 勉・齋藤 寿秋
海底シールドトンネル工事における施工実績と位置検知システムの開発—石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その14) —/北海道電力 [正] 畠田 大規・遠藤 勉・高柳 哲
- VI-349 シールドトンネル工事におけるCIMの取り組み/鹿島建設 [正] 渡邊 和英・遠藤 勉・畠田 大規
- VI-350 シールド内からの到達位置探査工—石狩湾信仰発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その16) —/ケミカルグラウト [正] 塩屋 祐太・齋藤 寿秋・畠田 大規
- VI-351 CO₂凍結によるシールド到達防護—石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その17) /ケミカルグラウト [正] 相馬 啓・齋藤 寿秋・畠田 大規
- VI-352 没水型放水口工事における鋼管矢板引抜工・洗掘防止工の施工実績—石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち土木本工事(第3工区)工事報告(その18) —/鹿島建設 [正] 岩前 伸幸・畠田 大規・飯田 和弘
- VI-353 空洞充填における限定充填工法のコストダウン技術の開発/飛鳥建設 [正] 勝又 諒・杉浦 乾郎・坂本 昭夫
- VI-354 空洞充填工法に用いる充填材の水中打設試験/飛鳥建設 [正] 宮沢 義博・杉浦 乾郎・坂本 昭夫

■施工技術(2) /10:40~12:00/梅村 勝(熊谷組)

- VI-355 多くの制約条件を克服した大規模土工事の施工実績/鹿島建設 [正] 松永 光示・堂本 聖司・江上 眞
- VI-356 神戸層群で発生した浅い地すべりを押え盛土と大型ごみ枠で対策した施工事例/前田建設工業 [正] 西川 浩二・城山 晃一・伊藤 久継
- VI-357 砂防えん堤工事の合理化施工実績/鹿島建設 [正] 上谷 泰高・服部 悦士・藤澤 理
- VI-358 打撃ランマ接地圧の転圧性能に対する効果/国立明石工業高等専門学校 [学] 嶋谷 宗太・江口 忠臣
- VI-359 事前混合処理工法による移動式改良機を用いた液状化・土圧低減対策事例/日本国土開発 [正] 高垣 豊・栗林 則夫・酒井 智光
- VI-360 腐植土を含む軟弱地盤の沈下対策工の設計施工実績/鹿島建設 [正] 小山田 邦弘・池元 康彦・村上 武志
- VI-361 放射性物質で汚染された港内海底土を封じ込める固化処理土の施工方法/五洋建設 [正] 秋本 哲平・熊谷 隆宏・小松 広季
- VI-362 土質力学の原理を応用した防草シート留め具の引抜強度推定に関する検討/西日本高速道路エンジニアリング四国 [正] 高畑 東志明・橋爪 謙治・橋本 和明

■軌道保守(1) /15:20~16:40/桶谷 栄一(西日本旅客鉄道)

- VI-363 線路設備モニタリング装置の導入と活用方法/JR東日本 [正] 佐藤 惇一・嘉嶋 崇志
- VI-364 相互相関法による軌道検測データの高精度位置補正処理の効率化の検証/鉄道総合技術研究所 [正] 田中 博文・山本 修平・葛西 亮平
- VI-365 軌道検測の頻度が軌道変位進みの推移予測に与える影響の検証/鉄道総合技術研究所 [正] 山本 修平・三和 雅史・田中 博文
- VI-366 軌道変位モニタリングデータの高頻度データ解析手法に関する検討/日本線路技術 [正] 糟谷 賢一・渡邊 寛隆・佐藤 惇一
- VI-367 軌道変位急進性把握アプリの開発/JR東日本情報システム [正] 大庭 啓輔・西藤 安隆
- VI-368 線路設備モニタリング装置を活用した効率的な保守管理に関する研究/東日本旅客鉄道 [正] 山口 剛志・大野 良輔・神谷 宗
- VI-369 TC型省力化軌道における高頻度軌道変位データを活用した路盤変状の把握/東日本旅客鉄道 [正] 清水 彰久

■軌道保守(2) /17:00~18:20/坪川 洋友(鉄道総合技術研究所)

- VI-370 高頻度測定による遊間の動きの実態把握/東海旅客鉄道 [正] 加藤 恭平・小川 浩司
- VI-371 軌道パッド飛び出し量測定装置の開発について/東日本旅客鉄道 [正] 浅香 俊朗・千葉 幸伸・富澤 竜也
- VI-372 ビデオカメラ画像による営業列車からの道床形状測定システムの開発/東日本旅客鉄道 [正] 石井 浩一郎・長谷川 健太・齋藤 匡平
- VI-373 レール探傷画像を転送できる装置及びアプリの開発/東日本旅客鉄道 [正] 深澤 貴史・渡邊 寛隆・岡澤 公二
- VI-374 画像解析を用いたレール表面状態の異常検知手法の検討/東日本旅客鉄道 [正] 小松 佳弘・西藤 安隆・元好 茂

- VI-375 軌道材料モニタリング装置を活用したレール溶接凹凸量把握についての一考察/JR東日本 [正] 因泥 健一・齋藤 寛大・小谷 修平
- VI-376 軌道材料モニタリング装置による締結装置緩み自動判定の検討/東日本旅客鉄道 [正] 赤松 秀彦・加藤 優実・西藤 安隆

VI-6 (センター2号館2306教室) /9月12日(火)

■軌道保守(3) /9:00~10:20/猿木 雄三(九州旅客鉄道)

- VI-377 慣性正矢軌道検測装置の列車動揺管理への活用の可能性評価/鉄道総合技術研究所 [正] 大島 崇史・坪川 洋友・兼子 弘
- VI-378 モニタリングデータを活用した静的・動的軌道変位の関係性に関する一考察/JR東日本 [正] 西藤 安隆・葛西 亮平・元好 茂
- VI-379 高頻度データを用いた道床作業後における高低変位進み評価/東日本旅客鉄道 [正] 葛西 亮平・松尾 善紀・元好 茂
- VI-380 営業車両による通り変位測定データに基づく軌道力学状態の推定/新潟大学 [学] 千葉 颯兵・阿部 和久・小松 佳弘
- VI-381 高頻度検測データを活用したMTT投入時期の予測に関する研究/東日本旅客鉄道 [正] 玉井 翠・葛西 亮平・山本 修平
- VI-382 効果的なMTT施工軌道整備に資するフィルタ適用方法の一考察/東海旅客鉄道 [正] 咲村 隆人・杉岡 祐亮・井上 陽一
- VI-383 短波長軌道狂いを考慮した新しいMTT軌道整備手法の実用化へ向けた検討/JR東海 [正] 矢田 太郎・曾田 祥信・永沼 泰州
- VI-384 軌道測量装置を使用した絶対基準による長延長MTT施工/東日本旅客鉄道 [正] 遠田 智生・山下 友也・小原 浩美

■軌道保守(4) /10:40~12:00/元好 茂(東日本旅客鉄道)

- VI-385 ロングレール交換区間の40m弦通りσ値改善の取組みについて/大鉄工業 [正] 中園 大・吉田 和宏
- VI-386 新幹線波状摩耗管理の一考察/東日本旅客鉄道 [正] 本山 寛・関口 雄貴・本間 博樹
- VI-387 無道床橋梁における長波長軌道狂いを考慮した調整型タイププレート更換/JR東海 [正] 君島 康太
- VI-388 列車の曲線通過時に生じる内外軌の輪重を考慮した静的線形弾性解析/鉄道総合技術研究所 [正] 伊藤 啓記・桃谷 尚嗣・木次谷 一平
- VI-389 保守困難箇所における軌道整備/JR東海 [正] 齋藤 隼也・堀井 靖也
- VI-390 推定脱線係数比算出ソフトウェアの開発と活用/鉄道総合技術研究所 [正] 松本 麻美・田中 博文
- VI-391 平均法による移動量算出の基礎理論と改良/東海旅客鉄道 [正] 永沼 泰州
- VI-392 軌間・平面性測定装置の試作と軌間測定機能の動的性能検証/鉄道総合技術研究所 [正] 石川 智行・坪川 洋友

VI-6 (センター2号館2306教室) /9月13日(水)

■軌道保守(5) /9:00~10:20/辻江 正裕(鉄道総合技術研究所)

- VI-393 レール自動溶接車の導入/九州旅客鉄道 [正] 坂之下 英樹
- VI-394 テルミット頭部補修溶接法の熱処理レールへの適用検討/鉄道総研 [正] 伊藤 太初・玉井 公一郎・辰己 光正
- VI-395 レール頭部補修溶接法における適用範囲拡大の検討/西日本旅客鉄道 [正] 原岡 周平・数中 嘉彦・加藤 篤史
- VI-396 THR溶接の適用拡大 ~ベインイトレールへの適用試験~ /峰製作所 [正] 加藤 篤史・徳島 慎吾・大久保 健吾
- VI-397 固体潤滑剤を用いた加工継目板の性能試験/東海旅客鉄道 [正] 黒田 正寿・鈴木 克也・横井 裕紀
- VI-398 固体潤滑剤を用いた加工継目板の現地敷設試験/東海旅客鉄道 [正] 鈴木 克也・横井 裕紀・額 智也
- VI-399 経年古60kgレール溶接部の疲労寿命に関する一考察/鉄道総合技術研究所 [正] 田中 俊史・井上 拓也・弟子丸 将
- VI-400 曲線中のレール破断箇所におけるレール頭部左右変位および輪重・横圧の発生傾向について/鉄道総合技術研究所 [正] 栗原 巧・片岡 宏夫・西宮 裕騎

■軌道保守(6) /10:40~12:00/山本 隆一(鉄道総合技術研究所)

- VI-401 レール中きしみ割れの発生状況調査/鉄道総合技術研究所 [正] 辻江 正裕・兼松 義一・猿木 雄三
- VI-402 レールのき裂進展速度に関する実験的考察/鉄道総合技術研究所 [正] 西本 晋平・細田 充・兼松 義一

- VI-403 鉄道レールの超音波検査のための半解析的有限要素法による伝搬モード解析/愛媛大学 [学] 唐川 和輝・中畑 和之
- VI-404 雨天でも実施可能な浸透探傷法の開発/東日本旅客鉄道 [正] 中村 慎也・柿崎 陽太・高橋 秀寿
- VI-405 群発シェリングに特化したレール探傷装置の開発/九州旅客鉄道 [正] 兼田 英樹・大田 昌孝・田神 哲也
- VI-406 レール探傷車を用いたレール摩耗検査について/九州旅客鉄道 [正] 猿木 雄三
- VI-407 軌道構造に着目した内軌側波状摩耗特性に関する一考察/東京地下鉄 [正] 大澤 純一郎・有田 伸介・河野 陽介
- VI-408 潤滑によるレール車輪間の摩擦係数と内軌側波状摩耗抑制に関する一考察/東京地下鉄 [正] 劔持 尚樹・河野 陽介・久保 奈帆美

■軌道保守(7) /15:20~16:40/森本 勝(東海旅客鉄道)

- VI-409 レールの削正(研削)に関する一考察/日本工営 [F] 石田 誠
- VI-410 レール初期削正によるシェリング抑制効果に関する研究/JR東日本 [正] 後藤 耕平
- VI-411 レール削正品質の向上と効率的な施工の検証/西日本旅客鉄道 [正] 村上 邦宏・瀬川 律文・池田 智史
- VI-412 JR西日本(在来線)における最適なレール削正周期の検討について/西日本旅客鉄道 [正] 今井 啓貴・高尾 賢一
- VI-413 山陽新幹線におけるレール削正車の削正可能区間拡大に向けた取り組み/西日本旅客鉄道 [正] 村上 真・山本 雄平・中野 昌平
- VI-414 内軌塗油効果向上を目的とした局所的なレール研削方法その2/東京地下鉄 [正] 小瀧 香
- VI-415 レール削正支援システムの確立/九州旅客鉄道 [正] 阿南 龍輝
- VI-416 踏切内レールの腐食傾向に関する研究/東日本旅客鉄道 [正] 松尾 喜紀・坂井 宏隆

VI-7 (センター2号館2401教室) /9月11日(月)

■施工技術(3) /9:00~10:20/谷口 裕史(安藤・間)

- VI-417 ロールマット工法による配筋作業の生産性向上/鹿島建設 [正] 近藤 千賀・岸田 正博・堤 浩志
- VI-418 合理化施工法を用いた和歌山ジャンクションAランプ橋の施工について/三井住友建設 [正] 富山 茂樹・山本 泰造・花川 泰治
- VI-419 セグメント工法によるPC桁の架設/大鉄工業 [正] 加藤 和宏
- VI-420 法面保護工におけるUAV航測技術の活用/大成建設 [正] 江田 正敏・今井 拓也・藤原 知弥
- VI-421 ICT土工における実際の効果と課題について/砂子組 [正] 野崎 了・廣上 伸二・田中 孝宏
- VI-422 テフコムを用いた橋梁補修の耐荷力評価/砂子組 [正] 平島 博樹・工藤 仁・近藤 里史
- VI-423 床版端部の劣化推定と補修方法に関する評価/砂子組 [正] 井元 俊介・山本 寛子・古川 大輔
- VI-424 中間貯蔵施設における粉じん飛散防止材の検討—即日被覆代替材の適用—/鹿島建設 [正] 大橋 麻衣子・辻本 宏・小澤 一喜

■施工技術(4) /10:40~12:00/藤井 誠司(清水建設)

- VI-425 道路橋桁下空間における鋼管杭の施工/大成建設 [正] 平野 純也・大田 泰二・田中 大介
- VI-426 羽付鋼管杭の回転圧入連続工法(口元管の敷設から杭打設まで)の開発/東鉄工業 [正] 松田 康紀・笹川 透・木村 敬
- VI-427 アーバンリングを泥岩層に貫入させる先行削孔の工夫/大成建設 [正] 戸塚 孝文・木村 真二・吉田 祥二
- VI-428 護岸ブロック及び袋型根固め工への鋼杭打設事例/大林組 [正] 稲積 一訓・田口 博文・辰巳 ター
- VI-429 鉄道複線区間におけるHEP&IES工法のバラベットエレメント施工方法の改良/仙建工業 [正] 藤澤 優・小野地 俊榮・伊藤 克廣
- VI-430 鋼コンクリート合成構造における鋼殻組立の施工実績/鹿島建設 [正] 小林 弘茂・岸田 正博・松崎 徹哉
- VI-431 既設管路を取壊しながら掘進する改築推進工の施工報告/熊谷組 [正] 遠藤 建史
- VI-432 狭隘地下空間における吊支保工にトラスガーター材を用いた構築施工/西松建設 [正] レー アンユーン・和田 格・松永 健

■軌道保守(8) /15:20~16:40/山崎 誠幸(東海旅客鉄道)

- VI-433 スラブ分岐器へのローラーベアリング床板の適用/西日本旅客鉄道 [正] 本野 貴志・東原 孝展・唐須 崇

- VI-434 次世代分岐器の最適化に向けたレール締結装置の検討/東日本旅客鉄道 [正] 渡部 一人・立川 正勝・小西 俊之
- VI-435 レール鋼製ノーズ可動クロッシングの可動レール又部に発生する応力の低減/鉄道総合技術研究所 [正] 及川 祐也・田中 俊史・西田 博貴
- VI-436 二段勾配レール製クロッシングの耐久性検証/東日本旅客鉄道 [正] 安藤 洋次郎・堀 雄一郎・神谷 祐次
- VI-437 7分割施工によるシーサスクロッシング重軌条化/九鉄工業 [正] 三宅 将貴
- VI-438 マングクロッシングの新たな検査方法について/東京地下鉄 [正] 松尾 東・渡邊 真一・武藤 義彦
- VI-439 マングクロッシングの振動加速度による損傷状態の検知に関する基礎検討/鉄道総合技術研究所 [正] 塩田 勝利・清水 紗希・及川 祐也
- VI-440 床板の塗油状態を変化させた場合のトングレールの密着・接着状態のモニタリング情報を活用した検知手法の検討/鉄道総合技術研究所 [正] 佐藤 慎司・及川 祐也・塩田 勝利

■軌道保守(9) /17:00~18:20/及川 祐也(鉄道総合技術研究所)

- VI-441 分岐器(シーサスクロッシング)の修繕についての一考察/交通建設 [正] 佐竹 宣章・松井 一晃・吉澤 利信
- VI-442 特殊分岐器における輸送障害削減に向けた取り組み/JR東日本 [正] 堀 雄一郎・安藤 洋次郎・柏木 将幸
- VI-443 地方幹線用PCまくらぎ分岐器の構造の最適化に向けた研究/JR東日本 [正] 水江 達也・立川 正勝・小西 俊之
- VI-444 分岐器ポイント部PCまくらぎ化の更なる保守省力化に向けた検討/西日本旅客鉄道 [正] 東原 孝展・本野 貴志
- VI-445 分岐器検査装置を活用した軌間線寸法の算出/東日本旅客鉄道 [正] 石坂 佳祐・篠田 勝己・堀家 哲也
- VI-446 復元帯域を延伸した新しい分岐器整備手法の提案/JR東海 [正] 榎原 貴大
- VI-447 分岐器における継目溶接の構造標準に向けた研究/JR東日本 [正] 橋本 雄也

VI-7 (センター2号館2401教室) /9月12日(火)

■軌道保守(10) /9:00~10:20/本野 貴志(西日本旅客鉄道)

- VI-448 経年劣化によるレール締結ばねの強度等に関する評価/JR東日本 [正] 伊東 謙悟・熊倉 孝雄・小西 俊之
- VI-449 重軌条化に対応したファーストクリップ締結装置の適用検討/東日本旅客鉄道 [正] 面高 陽紀・熊倉 孝雄・小西 俊之
- VI-450 無道床橋りょう上の締結装置の組み合わせによるロングレール化/東京地下鉄 [正] 小林 実・特内 香絵
- VI-451 低廉軌きょうのレールふく進抵抗特性/鉄道総合技術研究所 [正] 西宮 裕騎・西本 晋平・片岡 宏夫
- VI-452 レールふく進抵抗試験における温度がおよぼす影響に関する一考察/鉄道総合技術研究所 [正] 野口 雅人・弟子丸 将・片岡 宏夫
- VI-453 レール軸力を用いた酷暑巡回基準に関する一考察/東京地下鉄 [正] 森 信治・星 幸江・金子 和久
- VI-454 吊り上げ式軸力測定法の改善に関する一検討/新潟大学 [学] 遠藤 一彰・阿部 和久・紅露 一寛

■軌道保守(11) /10:40~12:00/松本 剛明(東日本旅客鉄道)

- VI-455 東海道新幹線の盛土区間における地盤および路盤調査(その1:地盤編)/JR東海 [正] 川崎 祐征・植松 嵩之
- VI-456 東海道新幹線の盛土区間における地盤および路盤調査(その2:路盤編)/JR東海 [正] 植松 嵩之・川崎 祐征
- VI-457 高減衰弾性まくらぎと人工バラストの軌道沈下抑止効果に関する模型実験/鉄道総合技術研究所 [F] 相川 明
- VI-458 バラスト材の弾性挙動の空間的ばらつきを有する有道床軌道における動的応答の変動量に及ぼす走行速度の影響/新潟大学 [学] 渡邊 あゆみ・紅露 一寛・阿部 和久
- VI-459 浮まくらぎ状態における道床横抵抗力特性に関する基礎的実験/横浜国立大学 [正] 早野 公敏・中村 貴久・桃谷 尚嗣
- VI-460 小型バラスト軌道模型の道床横抵抗力のスケール効果に関する研究/鉄道総合技術研究所 [正] 伊地知 卓也・中村 貴久・桃谷 尚嗣
- VI-461 構造物境界部におけるバラスト軌道の小型模型を用いた座屈試験/鉄道総合技術研究所 [正] 中村 貴久・桃谷 尚嗣・木次谷 一平
- VI-462 構造物境界部におけるバラスト軌道の小型模型を用いた加振試験/鉄道総合技術研究所 [正] 木次谷 一平・中村 貴久・伊地知 卓也

■軌道保守(12) / 9:00~10:20 / 大澤 純一郎(東京地下鉄)

- VI-463 スラブ軌道でん充層損傷に対する非破壊検査手法の適用に関する一考察 / JR西日本 [正] 山本 健吾・小野 隆・白水 健介
- VI-464 東北新幹線におけるスラブ軌道および箇所抽出方法の検証 / 東日本旅客鉄道 [正] 築瀬 和清・山中 貞男・須藤 雅人
- VI-465 軌道スラブ下に隙間が生じたスラブ軌道の挙動特性把握 / 鉄道総合技術研究所 [正] 吉川 秀平・高橋 貴蔵・小滝 康陽
- VI-466 補修用CAモルタルの凍結融解抵抗性向上に関する一検討 / ニチレキ [正] 三澤 祥文・城塚 厚佑
- VI-467 CAモルタルの弾性係数の算定に関する研究 / 鉄道総合技術研究所 [正] 小滝 康陽・高橋 貴蔵・測上 翔太
- VI-468 スラブ軌道CAモルタルの塗膜型保護層に関する検討 / ニチレキ [正] 平岡 富雄・佐々木 満範・松本 広明
- VI-469 インターバル式圧力注入工法本線施工箇所の軌道状態について / 東日本旅客鉄道 [正] 柏木 将幸・柿崎 慎介・堀 雄一郎
- VI-470 軌道スラブの移動等による線形整備について / JR西日本 [正] 阿部 桂太郎・荒木 恵徳・伊藤 仁

■軌道保守(13) / 10:40~12:00 / 高橋 貴蔵(鉄道総合技術研究所)

- VI-471 PCまくらぎの荷重環境の実態調査と設計における荷重係数の提案 / 鉄道総合技術研究所 [正] 箕浦 慎太郎・渡辺 勉
- VI-472 列車通過時のレール継目部におけるラダーマクラギの動的応答に関する検討 / 京王電鉄 [正] 水野 圭太・重岡 剛雄・渡辺 勉
- VI-473 下級線におけるウレタンパッドを活用した構造物前後対策について / 東日本旅客鉄道 [正] 富岡 健太
- VI-474 道床ふるい分け機による道床噴泥対策試験施工 / 大鉄工業 [正] 平野 健一郎
- VI-475 折り畳み式バラスト飛散防止ネットの開発 / 東海旅客鉄道 [正] 額綱 智也・横井 裕紀・後藤 康夫
- VI-476 MTT施工におけるツール設定深さの検証について / 東日本旅客鉄道 [正] 田中 健太郎・金子 真一・谷 隆一郎
- VI-477 弾性まくらぎ直結軌道用レール転倒防止装置の開発 / 東日本旅客鉄道 [正] 板倉 真理佳・熊倉 孝雄・小西 俊一
- VI-478 特殊区間用の転用レール方式逸脱防止ガードの開発 / 西日本旅客鉄道 [正] 井上 拓也・柳谷 勝

■軌道保守(14) / 15:20~16:40 / 立川 正勝(東日本旅客鉄道)

- VI-479 鋼橋直結Ⅲ形軌道区間における地絡発生に対する一考察 / JR西日本 [正] 竹田 純也
- VI-480 深坂トンネル短まくらぎ合成化 施工方法に関する一考察 / 大鉄工業 [正] 若林 裕史
- VI-481 新たな橋まくらぎと桁定着治具の営業線敷設結果の検証 / 東日本旅客鉄道 [正] 赤沼 潤一・今村 萌子・熊倉 孝雄
- VI-482 臨時列車運行周知システムの開発について / JR九州 [正] 佐野 弘典・川崎 恭平
- VI-483 牽引式レール交換機の完成について / 大鉄工業 [正] 坂本 士・森田 真・近重 宏徳
- VI-484 除雪装置付軌道モーターカーの導入 / JR東海 [正] 深沢 晃・堀 映二
- VI-485 軌道上における除草作業の機械化に向けた取組み / 東日本旅客鉄道 [正] 栗田 淳・中西 健一・澤口 朋典
- VI-486 まくらぎ穿孔機の開発とその活用方法 / 東海旅客鉄道 [正] 二反田 龍治・額綱 智也

■施工技術(5) / 9:00~10:20 / 杉山 律(安藤・間)

- VI-487 角形鋼管切梁を用いた仮設工事の作業効率改善事例 / 大林組 [正] 福井 正章・小林 謙二・篠崎 真弘
- VI-488 大規模河道の吊り防護とアンダーピニング統合管理システムの導入 / 大林組 [正] 村上 賢治・荒井 総一郎・福井 正章
- VI-489 硬質地盤における鋼矢板施工時の騒音・振動計測 / 清水建設 [正] 小宮山 由起江・秀嶋 桂・宮瀬 文裕
- VI-490 体育館建設工事ともなう地下水位低下と復水について / アサヒテクノ [正] 尾崎 哲二・遠山 文行・川村 和靖
- VI-491 曳航自沈式アンカー(ジャイロアンカー)沈設誘導システムの開発(その2) / ゼニヤ海洋サービス [正] 西田 秀紀・大友 英明・佐藤 明久
- VI-492 運用中のダム再開工における河川内仮締切実績について / 鹿島建設 [正] 菅井 貴洋・北崎 伸二・武井 昭
- VI-493 グラウンドアンカーの長期暴露試験 / NEXCO東日本 [正] 石川 尚樹・大友 弘志・平田 文

- VI-494 小型電動式二重管削孔機の開発 / 東鉄工業 [正] 鈴木 裕明・高橋 茂・塚田 堅士

■施工技術(6) / 10:40~12:00 / 喜多 直之(大林組)

- VI-495 河川改修に伴う営業線直下の鉄道橋下部工改築 / 東海旅客鉄道 [正] 市岡 賢三・今村 哲平
- VI-496 橋梁上下部工事でのプレキャスト化による生産性向上事例 / 西日本高速道路 [正] 前原 直樹・大原 一也・水野 克彦
- VI-497 鉄道活線下におけるRC橋梁撤去方法の一事例 / 仙建工業 [正] 佐藤 春海・佐々木 崇人・大場 宏樹
- VI-498 新名神高速道路一庫大路次川橋及び東畦野橋の綱架架設 / 西日本高速道路 [正] 大原 一也・佐々木 靖浩
- VI-499 鋼管矢板井筒基礎におけるトラス型支保工一括架設の施工 / 鹿島建設 [正] 高野 恵佑・合樂 将三・小林 裕
- VI-500 油圧式自昇降式足場の採用による高橋脚における足場作業の安全性向上 / 竹中土木 [正] 柿澤 雅樹・長友 良二・塩谷 良成
- VI-501 銀座線渋谷駅改良工事における第1回線路切替工事実績 / 東京地下鉄 [正] 新井 泰・藤野 覚・内山 光
- VI-502 東西線早稲田駅エレベーター設置工事に伴う既設ビルの基礎撤去施工実績 / 東京地下鉄 [正] 一寸木 朋也・白井 康人・森内 純平

■施工技術(7) / 15:20~16:40 / 笹原 克夫(高知大学)

- VI-503 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事(直轄砂防災害関連緊急事業)の取組み(その1) - 災害および施工の概要 - / 熊谷組 [正] 西尾 正隆・光武 孝弘・宮脇 悟
- VI-504 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事(直轄砂防災害関連緊急事業)の取組み(その2) - 斜面災害危険区域での調査計測工 - / 熊谷組 [正] 片山 政弘・光武 孝弘・石濱 茂崇
- VI-505 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事(直轄砂防災害関連緊急事業)の取組み(その3) - 厳しい条件下での重機の運搬(分解・組み立て) - / 熊谷組 [正] 中嶋 修作・渡邊 賢一・石田 直己
- VI-506 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事(直轄砂防災害関連緊急事業)の取組み(その4) - 土留盛土工の計画・設計・施工 - / 熊谷組 [正] 天下井 哲生・光武 孝弘・野村 真一
- VI-507 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事(直轄砂防災害関連緊急事業)の取組み(その5) - 土留盛土工の排水構造と施工 - / 熊谷組 [正] 山下 正治・光武 孝弘・野村 真一
- VI-508 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事(直轄砂防災害関連緊急事業)の取組み(その6) - 無人化施工技術 - / 熊谷組 [正] 坂西 孝仁・北原 成郎・飛鳥 鳥翼
- VI-509 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事(直轄砂防災害関連緊急事業)の取組み(その7) - 一頭部排土工の設計と施工 - / 熊谷組 [正] 寺田 倫康・光武 孝弘・野村 真一
- VI-510 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事(直轄砂防災害関連緊急事業)の取組み(その8) - 監視および計測 - / 熊谷組 [正] 石濱 茂崇・光武 孝弘・野村 真一

■施工技術(8) / 17:00~18:20 / 春木 正史(大成建設)

- VI-511 超小型小口径推進工法の開発・実用化と適用事例 / 関電工 [正] 井口 昌之・赤羽 俊彦・蓮見 享
- VI-512 地盤切削JES工法における切削ワイヤーの改良検討 / 東日本旅客鉄道 [正] 谷村 規規・小泉 秀之・中村 征史
- VI-513 岩盤切削機の施工効率向上を目的とした切削ビットの改良検討 / 奥村組土木興業 [正] 藤森 章記・川畑 雅樹・丸山 健一
- VI-514 鋼管矢板井筒基礎の水中掘削に伴う重力式土べら落としについて / 鹿島建設 [正] 桑島 修彦・合樂 将三・小林 裕
- VI-515 鋼管矢板井筒基礎におけるトラス型支保工一括架設の設計 / 鹿島建設 [正] 向市 清司・合樂 将三・小林 裕
- VI-516 流水部に位置する橋脚への任意深度定着型仮締切り工法の開発 / 第一建設工業 [正] 春日 秀文・佐藤 勇樹・村上 幸司
- VI-517 流水部に位置する橋脚への任意深度定着型仮締切り工法の適用 / 第一建設工業 [正] 丸山 哲郎・高橋 範明・武部 真悟
- VI-518 気泡とビニール膜を用いた解体騒音の低減に関する検討 / 大林組 [正] 本田 泰大・池上 雅之・木村 志照

■アセットマネジメント(1) / 9:00~10:20 / 青木 千里

- (東日本旅客鉄道)
- VI-519 目視点検結果に基づく兵庫県内市町管理道路橋の劣化特性評価 / 神戸大学 [正] 美濃 智広・森川 典典・渡邊 佳秀
- VI-520 橋梁長寿命化修繕計画での利用を目的とした部材劣化予測手法の提案 / 茨城大学 [正] 原田 隆郎・小島 将聖

- VI-521 橋梁定期点検調書を用いた新潟県内のコンクリート道路構造物の早期劣化傾向の検討／長岡工業高等専門学校 [学] 中川 直人・井林 康
- VI-522 鋼製橋脚基部の腐食損傷に対するFEM解析を用いた対策判定区分指標の設定手法／オリエンタルコンサルタンツ [正] 久木留 貴裕・梅林 福太郎・二村 大輔
- VI-523 3D橋梁維持管理システム(BBMAPS)の道路橋への適用検討／ジェイアール西日本コンサルタンツ [正] 清水 智弘・太田 一秀・池之上 理恵
- VI-524 生存時間解析を用いた北陸三県の橋梁における早期劣化傾向に関する一考察／金沢大学 [正] 牧 祐之・近田 康夫・島居 和之
- VI-525 新潟県及び市町村の海岸線に位置する管理橋梁の健全度分布／関東地方整備局 [正] 松藤 洋照・長井 宏平・井林 康
- VI-526 北陸の自治体を対象とした橋梁データフォーマットに関する基礎的研究／金沢大学(日本海コンサルタント) [正] 町口 敦志・近田 康夫

■アセットマネジメント(2) / 10:40~12:00 / 堀 倫裕(大成建設)

- VI-527 橋梁の劣化予測に関する定量的考察／高速道路総合技術研究所 [正] 白川 裕之
- VI-528 伸縮装置の劣化が鋼桁端部の腐食に及ぼす影響評価／大阪大学 [学] 阪本 凌一・音地 拓・貝戸 清之
- VI-529 重回帰分析に基づく地下鉄トンネル上床のはく離・はく落発生要注意区間の推定／東京大学 [正] 湧田 雄基・小川 大貴・安達 慎一
- VI-530 寒冷地トンネルにおける覆工劣化の推移について／岩田地崎建設 [正] 河村 巧・佐藤 京・須藤 敦史
- VI-531 一般国道における舗装マネジメント論の試験的検討／大阪大学 [学] 田中 晶大・松島 格也・小濱 健吾
- VI-532 確率的変数選択による統計的劣化予測モデルの推定時間短縮効果／大阪大学 [正] 水谷 大二郎・貝戸 清之
- VI-533 部分係数設計法における自動車荷重への一般化極値モデルの適用と設計値の設定方法／愛媛大学 [正] 大窪 和明・稲見 亮汰・奥井 義昭

VI-8 (センター2号館2402教室) / 9月13日(水)

■アセットマネジメント(3) / 9:00~10:20 / 吉田 三郎

(アサノ大成基礎エンジニアリング)

- VI-534 鉄道における部外気象情報を活用した降雨モニタリング範囲の検討／西日本旅客鉄道 [正] 佐々木 良・杉山 友康・藤井 昌隆
- VI-535 保守現場における航空レーザ計測技術を活用した斜面管理手法の一考察／JR西日本 [正] 衛藤 一平・古賀 小百合
- VI-536 小型UAVによる空撮画像を用いた積雪断面測定／構研エンジニアリング [正] 高橋 浩司・本田 秀樹・長沼 芳樹
- VI-537 100年以上寒冷地海洋環境下で経過した旧通信省根室北方領土間通信施設コンクリート構造物の保存と歴史遺産的意義についての考察／三重大学 [正] 桜井 宏・岡田 包儀・佐伯 昇
- VI-538 MMS及びドライブレコーダを用いた道路管理情報の調製可能性に関する研究／アジア航測 [正] 秋本 弦太郎・今井 龍一・谷口 寿俊
- VI-539 社会にインパクトのある研究暮らしを豊かにする創未来インフラの構築～「造る」から「活かす」そして「生きる」へ／東北大学 [正] 鎌田 貢・久田 真・有賀 雅奈
- VI-540 維持管理の現場におけるICT活用について／補修技術設計 [正] ガンゾリグ ウーガンムフ・中馬 勝己・斉藤 雅信
- VI-541 コンクリートの品質管理に対する取り組みについて／パシフィックコンサルタンツ [正] 藤原 広志

■アセットマネジメント(4) / 10:40~12:00 / 工藤 徹郎

(オリエンタルコンサルタンツ)

- VI-542 トンネル点検用プラットフォームの開発／日本建設機械施工協会 [正] 寺戸 秀和・藤田 一宏・安井 成豊
- VI-543 ICTによる検査データを用いたトンネル維持管理への取り組み／東京地下鉄 [正] 五十嵐 翔太・宮本 光基・今泉 直也
- VI-544 センサデータを活用したトンネル内走行軌跡推定手法の提案／三井共同建設コンサルタント [正] 吉武 俊章・木下 義博・江本 久雄
- VI-545 橋梁及びトンネルの劣化を考慮した道路ネットワークの災害時途絶リスクの検討／金沢大学 [正] 小川 福嗣・近田 康夫
- VI-546 橋梁を支える人口から見た地域格差の現状／復建技術コンサルタント [正] 小早川 正樹・唐木 正史・久田 真
- VI-547 橋梁アセットマネジメントによる健全度向上効果の検証／

- 鹿島建設 [正] 岩井 稔・工藤 健一郎・館山 恵実
- VI-548 東京都特別区における橋梁の維持管理マネジメントに関する問題分析と解決策の提案／東京工業大学 [正] 千々和 伸浩・齋藤 亮太・後藤 幹尚
- VI-549 産学官連携による橋梁メンテナンス統合データベースシステム(DBMY)の開発について／山形県 [正] 高橋 和明・後藤 美保・阿部 博行

■リニューアル(1) / 15:20~16:40 / 勝谷 康之

(千代田コンサルタント)

- VI-550 狭隘な場所におけるウォータージェット削孔技術の開発～曲り削孔技術の概要～／大成建設 [正] 高倉 克彦・森田 泰司・竹中 計行
- VI-551 テーパー型ナットをPC鋼棒定着体としたあと施工アンカー工法のへりあき・群の影響確認試験／サンコーテクノ [正] 藤井 保也・今井 清史・増田 公雄
- VI-552 空港エプロンNC舗装勾配修正工法に使用する樹脂コンクリートの物性値確認試験／大成建設 [正] 神谷 誠・大塚 徳之・柳下 剛
- VI-553 既設道路橋美装化区間におけるクリアーFRPグレーチング恒久足場の検討／日本エンジニアリング [正] 政門 哲夫・平野 秀一・中澤 治郎
- VI-554 完全水系高機能防錆塗装の採用と実施工／奥村組 [正] 沼田 憲・渡邊 章彦・小出 昌克
- VI-555 水力発電所リニューアル工事の設計・施工／西松建設 [正] 西見 宣俊・松永 健・神田 隆雄
- VI-556 発電所導水路トンネルの通水能力改善—イビデン広瀬発電所第3隧道改修—／熊谷組 [正] 中村 圭・小田 真央・大本 晋士郎

VI-9 (センター2号館2403教室) / 9月11日(月)

■施工技術(9) / 9:00~10:20 / 新村 亮(大林組)

- VI-557 温度管理に着目した豪雪地橋脚補強の昇降式足場上のコンクリート熱風養生試験施工／東鉄工業 [正] 本山 時男
- VI-558 柱部材を事例とした長期間にわたる水分逸散抑制養生の効果／鹿島建設 [正] 芦澤 良一・渡邊 賢三・林 宏延
- VI-559 熱可塑性樹脂シートによる水分逸散抑制養生の合理化に関する検討—無化粧合板の適用性—／鹿島建設 [正] 中谷 俊晴・柿本 啓太郎・芦澤 良一
- VI-560 ボックスカルバート側壁における長期間の水分逸散抑制養生／鹿島建設 [正] 柿本 啓太郎・渡邊 賢三・中谷 俊晴
- VI-561 四電極法によるコンクリート養生終了時期判定技術の現場適用に関する検討／佐藤工業 [正] 伊藤 正・本多 生吾・宇野 洋志城
- VI-562 橋梁壁高欄における熱可塑性樹脂シートを用いた長期湿潤養生の効果／鹿島建設 [正] 仲森 稔晃・石田 哲也・阿部 千枝
- VI-563 覆工コンクリートへの吸引式給水養生工法適用における乾燥収縮低減効果と表層品質改善効果／安藤ハザマ [正] 三沢 良太・栗原 浩彦・白岩 誠史

■施工技術(10) / 10:40~12:00 / 清水 正巳(大成建設)

- VI-564 橋梁下部工における品質向上および品質管理の効率化に関する報告／安藤ハザマ [正] 中村 康祐・政岡 龍司・斉藤 智行
- VI-565 再振動締めによるコンクリート鉛直打継目の品質向上／鹿島建設 [正] 品田 健太・柿本 啓太郎・入倉 英明
- VI-566 覆工コンクリートの目地および表層品質向上への取り組み／大林組 [正] 中嶋 祐里・泉水 大輔・福島 隼人
- VI-567 寒中環境での高炉スラグ微粉末高含有コンクリートの施工性に関する一考察／戸田建設 [正] 新谷 岳・土師 康一・田中 徹
- VI-568 小型振動式タンピング締め機による床版コンクリートの仕上げ効果／川田建設 [正] 杉田 悠美子・弘中 義昭・下山 秀男
- VI-569 海外製コンクリート均し機(スクリード機)の性能評価／鹿島建設 [正] 弓削 毅・横関 康祐・林 大介
- VI-570 透水性砕工法を適用した構造物の耐凍害性の向上効果／前田建設工業 [正] 兼光 雄大・福原 康顕・白根 勇二
- VI-571 鋼道路橋床版への簡易仕上げ機の適用について／駒井ハルテック [正] 岡田 幸児・多々見 隆幸・堀口 耕平

■施工技術(11) / 15:20~16:40 / 三木 浩(清水建設)

- VI-572 注水併用エアクーリング工法のトンネル覆工への適用／熊谷組 [正] 神崎 恵三・尾畑 洋・山口 哲司
- VI-573 NATMトンネル覆工コンクリートにおける施工目地部の変

- 状抑制対策とその効果／西松建設 [正] 宮田 和実・目崎浩二・河内 正道
- VI-574 既設堤体下流面に構築する大規模増厚コンクリートの最高到達温度の低減実績／鹿島建設 [正] 切島 弘貴・森本 修三・白川 豪人
- VI-575 ヒートパイプクーリングを用いた特殊マンホールの温度ひび割れ対策／大成建設 [正] 高 鳴笛・中井 久隆・太田 祥史
- VI-576 橋梁下部工における部分パイプクーリングのひび割れ抑制効果の確認／安藤ハザマ [正] 政岡 龍司・佐々木 照夫・白岩 誠史
- VI-577 液体窒素クーリングの適用による温度ひび割れ抑制手法と効果／飛鳥建設 [正] 榎島 修・川里 麻莉子
- VI-578 沖縄県海上橋下部工に適用したフライアッシュコンクリート温度ひび割れ低減効果／前田建設工業 [正] 角 翼・江頭 俊郎・平川 彩織

■施工技術(12)、施工計画(1) / 17:00~18:20 / 杉橋 直行(清水建設)

- VI-579 スポンジコンクリート止めを利用した妻型枠の施工実績／鹿島建設 [正] 藤井 信宏・志賀 真悟・西村 元伸
- VI-580 高流動コンクリート使用による逆巻き部の側壁・柱の閉合計画と施工／大成建設 [正] 熊谷 翼・伊藤 正樹・上野 修彦
- VI-581 高流動コンクリートによるハーモニカ鋼殻内打設について／大成建設 [正] 西尾 成夫・松元 淳一・小島 裕隆
- VI-582 超速硬コンクリートによる供用中の滑走路の舗装打替え／鹿島建設 [正] 今村 福一・西郷 敏弘
- VI-583 大規模コンクリートの効率的な打継方法／大成建設 [F] 水野 克彦・吉澤 崇幸
- VI-584 砂防堰堤におけるコンクリートの打設間隔の短縮に向けた温度応力解析による検討／大日コンサルタント [正] 町 勉・伊藤 誠記・片桐 知治
- VI-585 エアフェンス工法による打継型枠施工実績／鹿島建設 [正] 辻 裕幸・相澤 栄治・藤原 資也

VI-9 (センター2号館2403教室) / 9月12日(火)

■リニューアル(2) / 9:00~10:20 / 吉田 善紀(鉄道総合技術研究所)

- VI-586 鋼橋まくら木受台における疲労き裂の発生原因解明／東海旅客鉄道 [正] 稲葉 涼二・森田 雅也・土井 宏政
- VI-587 鋼橋まくら木受台における疲労き裂の対策方法検討／東海旅客鉄道 [正] 森田 雅也・土井 宏政・稲葉 涼二
- VI-588 水主町架道橋におけるリベット頭部破断の原因究明と対策の策定／東海旅客鉄道 [正] 岩田 耕平・久村 剛・野中 大輔
- VI-589 下路トラス橋下横構吊材の変状原因の究明／東海旅客鉄道 [正] 向井 天・瀬平 強美・山本 裕士
- VI-590 鋼橋の補修への適用を想定したCAモルタルの疲労特性／日本建設機械施工協会 [正] 橋本 雅行・小野 秀一・小林 裕介
- VI-591 新幹線合成箱桁橋の支点部における変状と対策について／東日本旅客鉄道 [正] 浜田 栄治・秋山 啓太・清水 達哉
- VI-592 鋼鉄道箱桁内に発生した疲労き裂の原因と対策／西日本旅客鉄道 [正] 越智 達也・小浦 貴明・大都 亮
- VI-593 鉄桁上フランジ溝型補強の耐荷力評価に関する一考察／西日本旅客鉄道 [正] 西脇 美安・小浦 貴明・中山 太士

■リニューアル(3) / 10:40~12:00 / 福本 守(西日本旅客鉄道)

- VI-594 東海道新幹線箱桁端部下フランジに発生した首首接ぎ裂の原因究明及び対策検討／JR東海 [正] 高橋 真・辻 英之・植村 潤
- VI-595 東海道新幹線トラス橋の中間補剛材天端部に発生した変状の原因と対策／JR東海 [正] 辻 英之・高橋 真・植村 潤
- VI-596 鋼鉄道橋の簡易査座補修工法の検証／JR西日本 [正] 丸田 健博・丹羽 雄一郎・池頭 賢
- VI-597 鋼鉄道橋 薄型BP-B沓の挙動調査／西日本旅客鉄道 [正] 西田 寿生・木村 元哉・七村 和明
- VI-598 鋼鉄道トラス橋ローラー支承の可動改善方法について／JR西日本 [正] 矢野 康平・中山 太士・岡本 陽介
- VI-599 まくらぎ加工を伴わない鉄桁補修方法の検討／西日本旅客鉄道 [正] 三輪 陽彦・小浦 貴明・越智 達也
- VI-600 鉄道高架橋柱の駅中階における耐震補強工事／熊谷組 [正] 大河 芳賢

VI-9 (センター2号館2403教室) / 9月13日(水)

■リニューアル(4) / 9:00~10:20 / 森瀬 喬士

(ジェイアール東海コンサルタンツ)

- VI-601 海岸護岸背面土砂流出の原因と対策／西日本旅客鉄道 [正]

- 東浦 和也・橋本 哲朗・福永 功
- VI-602 鉄道軌道直下において繰り返し注入型地山補強土工法「ロータスアンカー工法」を用いた耐震補強事例について／フジタ [正] 出川 博・山元 剛・別府 正顕
- VI-603 プレキャストパネルと高強度繊維補強モルタルを用いた耐震補強工法の施工／東急建設 [正] 高橋 泰成・笠倉 亮太・白崎 龍生
- VI-604 張コンクリートの背面地山の風化とその変状対策に関する一考察／西日本旅客鉄道 [正] 上野 知也・西田 幹嗣・窪塚 大輔
- VI-605 鋼製護岸防食対策の追跡調査による効果確認／JR東海 [正] 長谷川 誠・野中 泰輔
- VI-606 重要度ランク機能を付加したはく落要注意箇所の自動抽出システムの機能改良／東京地下鉄 [正] 小川 大貴・三浦 孝智・小西 真治
- VI-607 鉄道トンネルにおけるはく落実態に関する一考察／JR東日本 [正] 込山 実・鈴木 尊
- VI-608 鉄道トンネルにおける維持管理方法に関する一考察／東日本旅客鉄道 [正] 宮崎 真弥・込山 実・鈴木 尊

■リニューアル(5) / 10:40~12:00 / 出本 剛史

(オリエンタルコンサルタンツ)

- VI-609 地下鉄開削トンネルの変状に対する耐荷性能の評価(その1) ~変状要因の分析~ / 東京地下鉄 [正] 亀井 啓太・小西 真治・江原文武
- VI-610 地下鉄開削トンネルの変状に対する耐荷性能の評価(その2) ~耐荷性能の評価~ / 東電設計 [正] 阿南 健一・小西 真治・江原文武
- VI-611 飛騨トンネル非常駐車帯部における吹付け多層覆工構造10年経過時点の評価 / 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 佐藤 淳・足立 嘉文・津野 康則
- VI-612 水力発電所導水路トンネルのインバート全面補修 / 熊谷組 [正] 金子 伸和・中村 圭
- VI-613 トンネル中央通路側壁傾斜の原因と対策に関する検討 / 西日本旅客鉄道 [正] 渡邊 晃久・弓岡 省吾・小谷 洋平
- VI-614 新幹線トンネルにおける路盤隆起対策と効果の検証 / 東日本旅客鉄道 [正] 久保原 猛・北川 一希・藤田 麻里
- VI-615 矢板工法トンネルの盤膨れに対するインバート補強の検討 / 高速道路総合技術研究所 [正] 前川 和彦・八木 弘・海瀬 忍
- VI-616 車線規制下のトンネル大規模更新の効率化に関する検討 / ネクスコ東日本エンジニアリング [正] 中野 清人・安積 淳一・渡辺 陽太

■リニューアル(6) / 15:20~16:40 / 西川 修

(オリエンタルコンサルタンツ)

- VI-617 塗装材料を用いたトンネル内装工の現状と適用性の検討 / 高速道路総合技術研究所 [正] 増田 弘明・八木 弘・海瀬 忍
- VI-618 トンネル更新事業におけるタイル直張り内装の品質確保について / ネクスコ東日本エンジニアリング [正] 倉持 典幸・安積 淳一・松平 智
- VI-619 既存水路トンネルのパネルライニング工法を用いた改修実績 / 鹿島建設 [正] 沢 一馬・花田 則昭・鈴木 友幸
- VI-620 剥落対策としてのポリウレタ樹脂の性能評価 / 鉄道総合技術研究所 [正] 板谷 創平・野城 一栄・嶋本 敬介
- VI-621 ポリウレタ樹脂を用いたトンネル覆工の剥落防止対策の現地試験施工 / 鉄道総合技術研究所 [正] 野城 一栄・嶋本 敬介・鎌田 和孝
- VI-622 高度経済成長期に建造されたトンネルの変状原因と対策 / 東日本旅客鉄道 [正] 酒井 景祐・今野 恵子
- VI-623 トンネル覆工背面空洞に対する効率的な調査方法および裏込注入工に関する一考察 / 東日本旅客鉄道 [正] 原田 悟・北川 一希・中沢 ちづる
- VI-624 発泡ウレタン40倍による既設トンネル裏込注入工の漏出幅および注入増加率について / マシノ [正] 濱田 晋・木下 泰範・坂本 全布

VI-10 (センター2号館2404教室) / 9月11日(月)

■リニューアル(7) / 9:00~10:20 / 朝隈 竜也

(オリエンタルコンサルタンツ)

- VI-625 少雪地域における落雪防止柵の設計及び施工 / 中日本高速道路 [正] 山本 航
- VI-626 高速道路の盛土内浸透水排除対策と盛土補強対策の検討について / 西日本高速道路 [正] 村上 豊和・鈴木 健太郎・川波 敏博
- VI-627 のり面防護工の降雨に対する現有性能評価に関する研究 /

- 東日本旅客鉄道 [正] 籠 雅貴
 VI-628 木曾川の洪水と猿尾群の歴史/太栄コンサルタンツ [F]
 馬場 慎一・伊藤 政博・加藤 英明
 VI-629 登録有形文化財森村橋の復元のための詳細調査および復元
 方針決定の紹介/八千代エンジニアリング [正] 永富 大
 亮・溝口 久・五十畑 弘
 VI-630 土木構造物の長寿命化を目的とした水切り材の開発/パシ
 フィックコンサルタンツ [正] 小沼 恵太郎・高橋 俊二・
 武延 芳治
 VI-631 凍害により劣化した吹付のり枠の補修の考え方と原位置補
 修試験/日特建設 [正] 窪塚 大輔・宇次原 雅之

- リニューアル(8) / 10:40~12:00/富山 毅(橋梁コンサルタント)
 VI-632 首都高速1号羽田線(東品川栈橋・鮫洲埋立部)更新工事の
 概要/大林組 [正] 玉田 和法・磯部 龍太郎・堀田 尚史
 VI-633 首都高速1号羽田線更新工事迂回路の構造概要/首都高速
 道路 [正] 堀田 尚史・磯部 龍太郎・関 雄太
 VI-634 急速施工と施工性向上を実現した大規模更新工事における
 迂回路構造/大林組 [正] 富永 高行・磯部 龍太郎・堀田
 尚史
 VI-635 新型プレキャスト壁高欄(EMC壁高欄)の開発(その1) —
 構造概要と静的載荷実験による性能確認—/大林組 [正]
 岩城 孝之・磯部 龍太郎・関 雄太
 VI-636 新型プレキャスト壁高欄(EMC壁高欄)の開発(その2) —
 実車衝突実験および解析による性能確認—/首都高速道路
 [正] 関 雄太・磯部 龍太郎・岩城 孝之
 VI-637 鋼単純合成桁橋床版取替えに伴うPC外ケーブル併用の鋼
 桁補強について/中日本高速道路 [正] 長谷 俊彦・田尻
 丈晴・池上 浩太郎
 VI-638 斜角の小さい橋梁の床版取替について/西日本高速道路
 [正] 清水 宏志・山下 恭敬
 VI-639 二方向アラミド繊維シート補強による床版の疲労耐久性に
 ついて/名古屋高速道路公社 [正] 福地 佳典・鈴木 信勝・
 山下 章

- リニューアル(9) / 15:20~16:40/熊坂 徹也
 (オリエンタルコンサルタンツ)
 VI-640 集中工事の車線規制による床版取替と並行した床版上面増
 厚の断面分割施工について/オリエンタル白石 [正] 大谷
 悟司・浦野 悟・長谷 俊彦
 VI-641 東名高速道路 用宗高架橋(下り線)の床版取替え工事~設
 計概要および現地計測について~/川田建設 [正] 吉松
 秀和・小松 一明・佐藤 徹也
 VI-642 東名高速道路 用宗高架橋(下り線)の床版取替え工事~施工
 について~/川田建設 [正] 山岸 俊一・北川 学・真田 修
 床版取替時の延長床版設置に関する一検討/西日本高速道
 路 [正] 久行 高弘・鈴木 健太郎・山下 恭敬
 VI-643 斜橋の床版取替に伴う延長床版設計/西日本高速道路 [正]
 菅原 大暉・朝倉 功・山下 恭敬
 VI-644 半断面床版取替工法の試行/西日本高速道路 [正] 山下
 恭敬・清水 宏志
 VI-645 半断面床版取替における設計事例報告/西日本高速道路
 [正] 井手 将一・山口 雅幸
 VI-646 半断面施工による床版取替工事の施工について/ピーエス
 三菱 [正] 上城 良文・満田 恭輝・三浦 拓也

- リニューアル(10) / 17:00~18:20/愛敬 圭二(中央コンサルタンツ)
 VI-648 支承縁端距離不足と凍害により劣化した支承補修設計/オ
 リエンタルコンサルタンツ [正] 上野 大介・古賀 秀幸・
 安倍 敦
 VI-649 首都高羽田線更新工事における迂回路の構造選定と急速施
 工(全体概要)/首都高速道路 [正] 小島 直之・山本 多成・
 濱崎 景太
 VI-650 首都高羽田線更新工事における迂回路の構造選定と急速施
 工(工事用動線の確保)/大林組 [正] 藤村 博・山本 多成・
 釘宮 晃一
 VI-651 首都高羽田線更新工事における迂回路の構造選定と急速施
 工(一般部の施工)/首都高速道路 [正] 濱崎 景太・山本
 多成・小島 直之
 VI-652 首都高羽田線更新工事における迂回路の構造選定と急速施
 工(特殊部の施工)/大林組 [正] 釘宮 晃一・山本 多成・
 小島 直之
 VI-653 縦桁増設工法による既設床版補強に対する合理的な設計手
 法に関する検討/建設技術研究所 [正] 王 健・松本 崇志・
 光川 直宏
 VI-654 自然電位法を活用した塩害環境下における橋梁下部工の補
 修について/ネクスコ・エンジニアリング北海道 [正] 藤
 井 直己・村山 陽・中川 公太

- VI-655 維持管理性向上を目指した橋台改良計画/富士ピー・エ
 ス [正] 佐東 有次・藤木 昂・山下 恭敬

VI-10 (センター2号館2404教室) / 9月12日(火)

- リニューアル(11) / 9:00~10:20/廣田 元嗣(東日本旅客鉄道)
 VI-656 予防保全を目的とする高速道路大規模盛土の2次元表面探
 査による初期値取得/中日本ハイウェイ・エンジニアリ
 ング東京 [正] 笹本 直之・谷口 陽一・柳田 展幸
 VI-657 吹付のり面に対する維持管理の新たな展開~サーモグラ
 フィ調査~/山北調査設計 [正] 大平 英樹・相樂 弘朗
 VI-658 サーマグラフィ1時刻法による吹付のり面調査への適用/
 オリエンタルコンサルタンツ [正] 古山 翔悟・出本 剛史・
 河野 伸征
 VI-659 タブレット端末を用いたキルギス国における道路防災デー
 タベースの構築/長岡工業高等専門学校 [学] 馬場 ひと
 み・澤田 賢太郎・井林 康
 VI-660 グラウンドアンカー頭部見える化キャップの製品開発/中
 日本ハイウェイ・エンジニアリング東京 [正] 西田 直也・
 笹本 直之・大原 基憲
 VI-661 ラフ集合を用いた実橋梁目視点検結果の有効活用/福島工
 業高等専門学校 [正] 江本 久雄・緑川 猛彦
 VI-662 飛行体を用いた高度な点検手法の開発~構造物点検への利
 活用~/中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京 [正]
 中村 尚武・伊東 剛・堀 隆一
 VI-663 ICTを活用した橋りょう直営点検/小田原市役所 [正] 曾
 根 浩樹・千石 武史・安達 慎一

- リニューアル(12) / 10:40~12:00/内藤 英樹(東北大学)
 VI-664 市町村の橋梁維持管理における課題と問題点の抽出/近畿
 大学 [正] 東山 浩士・古市 亨・松井 繁之
 VI-665 市町村が管理する中小橋梁の維持管理(仮設橋梁を本設橋
 梁へ転用した橋梁の事例)/近畿建設協会 [正] 山本 幸
 雄・財満 直也・東山 浩士
 VI-666 国道8号における一般走行車両の交通特性について/近畿
 建設協会 [正] 林 正一・松井 繁之・古市 亨
 VI-667 タブレット端末を用いた地方自治体向けの橋梁概略点検お
 よび道路付属物点検システムの実用化の検討/長岡工業高
 等専門学校 [学] 小黒 蓮・井林 康
 VI-668 33年経過したオープングレーチングの溶融亜鉛めっき劣化
 度評価の考察/本州四国連絡高速道路 [正] 井上 晃祐・
 森脇 正生
 VI-669 豊田市における重要度の低い橋梁に対する維持管理の方向
 性(その3)/豊田市役所 [正] 鈴木 康貴・星川 雅貴
 VI-670 継続的な取り組みを見据えた効率的な橋梁点検の仕組み作
 りの構築/上山市 [正] 武田 秀人・柏倉 義啓・久田 真
 市町による橋梁直営点検への取り組み(島根プロジェクト)
 /奥出雲町役場 [正] 安部 俊光・野村 拓也・松田 徹

VI-10 (センター2号館2404教室) / 9月13日(水)

- リニューアル(13) / 9:00~10:20/田所 敏弥(鉄道総合技術研究所)
 VI-672 電着工法を適用した鉄筋コンクリート梁の曲げ特性の検討
 /安藤ハザマ [正] 齋藤 淳・山本周・西田 孝弘
 VI-673 TL-14荷重で設計された鋼曲弦トラス橋に対する外ケー
 プル補強の試算/大日コンサルタンツ [正] 坂井田 実・山
 本 一博・村上 茂之
 VI-674 金武橋(下り線)他2橋の床版取替工事におけるプレキャ
 スト壁高欄の施工について/オリエンタル白石 [正] 田中
 暁大・江嶋 謙・脇坂 英男
 VI-675 既設鋼製壁高欄に代わる取替用新構造高欄における実験的
 検討/阪神高速道路 [正] 安積 恭子・杉岡 弘一
 VI-676 ケーブル収容管耐震技術の橋梁区間への適用/NTT [正]
 柿元 啓祐・秋山 義弘・金山 守
 VI-677 関門橋へのケーブル送気乾燥システムの導入について/西
 日本高速道路 [正] 山本 誠也・後藤 昭彦・城戸 靖彦
 VI-678 亜硝酸リチウム水溶液を用いたPC鋼棒のグラウト充填不
 足部の注入確認試験/ピーエス三菱 [正] 深川 直利

- リニューアル(14) / 10:40~12:00/田口 直樹
 (総合技術コンサルタント)
 VI-679 塩害環境の厳しいRC中空床版裏面コンクリートの補修工
 法検討/本州四国連絡高速道路 [正] 新野 貴大・貴志 友
 基・長尾 幸雄
 VI-680 PC高架橋の漏水経路調査の実施報告/本州四国連絡高速
 道路 [正] 江口 敬一・麓 興一郎・信重 和紀

- VI-681 耐候性鋼橋における保護性さびの状況調査と対策工の検討／ネクスコ・エンジニアリング北海道 [正] 中村 肇・櫻庭 拓也・長瀬 修
- VI-682 夜間通行止めによる鋼橋の床版取替—東北自動車道 中山橋—／東日本高速道路 [正] 林 秀和・村西 信哉・綱川 悠道路橋床版更新工事における既設床版撤去方法の効率化／大成建設 [正] 北村 健・岸田 政彦・石原 陽介
- VI-683 PCケーブルが破断した国道18号妙高大橋の維持管理について／大日本コンサルタント [正] 伊藤 裕章・吉越 政浩・登石 清隆
- VI-684 PC桁グラウト再注入における施工方法の改良／大鉄工業 [正] 片山 直紀・立川 正明

■リニューアル(15) / 15:20~16:40 / 山口 順一郎(長大)

- VI-686 首都高速1号羽田線勝島地区のPCゲルバー橋連続化の効果検証／首都高速道路 [正] 糟谷 直樹・石橋 正博・中畝 将太
- VI-687 生保内橋床版補強工事報告(樹脂注入併用型下面増厚工法による長寿命化対策)／日本建設保全協会 [正] 宗 栄一・小松 剛・西川 貴志
- VI-688 北陸自動車道 早月川床版更新工事の設計／川田建設 [正] 岩瀬 祐二・山田 稔・本庄 正樹
- VI-689 損傷・劣化が著しい道路橋床版の補修対策／ライト工業 [正] 久下 陽人・大槻 俊正・石井 昌雪
- VI-690 ウェブギャップ板の取替補修構造の疲労耐久性等の検証／首都高速道路 [正] 鈴木 寛久・飛田 遼・平山 繁幸
- VI-691 鋼箱桁ゲルバー支保部の鋼桁化構造改良／首都高速道路 [正] 村井 啓太・中野 博文
- VI-692 安全性向上に向けた既設道路防護柵の改良更新／中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋 [正] 阿部 徳男・蔦川 敦丈・野村 清政

VI-11 (センター2号館2406教室) / 9月11日(月)

■ロボット、自動化、情報化施工(1) / 9:00~10:20 / 青木 浩章

(大成建設)

- VI-693 重量鉄筋配筋作業支援ロボット【配筋アシストロボ】の開発／清水建設 [正] 大木 智明・小西 真・本保 裕文
- VI-694 建設機械オペレータの視線特性調査／土木研究所 [正] 山田 充・藤野 健一・梶田 洋規
- VI-695 災害発生時における無人化施工等の運用に関する課題点について／土木研究所 [正] 橋本 毅・藤野 健一・梶田 洋規
- VI-696 宇宙・地上利用を指向した自律制御協調型の遠隔施工システム／鹿島建設 [正] 浜本 研一・三浦 悟・星野 健
- VI-697 搭載型人工筋肉ロボットによる伐採作業の無人化施工システム／鹿島建設 [正] 丹 秀男・太田 裕士・伊勢 卓矢
- VI-698 UAVを活用したコンクリート床版下面墨出し作業の省人化工法／竹中土木 [正] 倉知 星人・平井 卓
- VI-699 無人航空機(ドローン)による構造物への補修材吹付けにおける機体と対象構造物の距離の可視化技術の適用検証／西武建設 [正] 二村 憲太郎・井上 靖雄・伊代田 岳史
- VI-700 自動現場密度試験ロボット開発のための改良散乱型RT試験器評価／竹中土木 [正] 千葉 力・大村 啓介・池永 太一

■ロボット、自動化、情報化施工(2) / 10:40~12:00 / 武石 学

(安藤・間)

- VI-701 施工管理情報のビックデータとしての活用に関する一考察／土木研究所 [正] 田中 洋一・藤野 健一・梶田 洋規
- VI-702 ダム工事におけるダンプトラックによる土砂運搬・荷卸し作業の自動化／鹿島建設 [正] 田島 大輔・浜本 研一・宮内 良和
- VI-703 ロックフィルダム堤体材料のまき出しにおける自動化ブルドーザの試適用／鹿島建設 [正] 黒沼 出・小熊 正・加納 清
- VI-704 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事(直轄砂防関連緊急事業)における「無人移動体画像伝送システム」を用いた無線通信に関する実験報告／熊谷組 [正] 古谷 駿・野村 真一・伊藤 宗輝
- VI-705 阿蘇大橋地区斜面防災対策工事(直轄砂防関連緊急事業)における無人化施工建設機械の自律制御システムに関する実験報告／熊谷組 [正] 飛鳥馬 翼・野村 真一・伊藤 宗輝
- VI-706 鉄筋結束ロボットの開発／大成建設 [正] 高橋 要
- VI-707 産業用ロボットを使用した建材計測の開発／大成建設 [正] 石井 喬之・青木 浩章・石井 稔之
- VI-708 インバータシステムによる復水井戸の自動運転制御／鹿島建設 [正] 笹岡 里衣・中島 悠介・笹倉 剛

■ロボット、自動化、情報化施工(3) / 15:20~16:40 / 森本 直樹

(鹿島建設)

- VI-709 ICTコンクリート打設管理システムの現場適用性／前田建設工業 [正] 岩井 和彦・大野 茂・小峰 風太
- VI-710 TBM吹付モルタル自動ハツリ装置の開発／清水建設 [正] 前田 全規・木村 厚之・田上 達之
- VI-711 自動荷重測定装置搭載LOADRITE2350バックホウによる積載重量管理／鹿島建設 [正] 井上 友・山本 陽平・石川 晴章
- VI-712 場所打ち杭の孔内水位安定化システムの改良／鉄建建設 [正] 岩瀬 隆・永野 雄一
- VI-713 3Dスキャナとプロジェクションマッピング技術を用いたインバート掘削管理方法の開発／清水建設 [正] 青野 泰久・竹内 啓五・中谷 篤史
- VI-714 寸法公差を適用した3次元アノテティドモデルの考察／国土基盤モデル研究会 [正] 城古 雅典・有賀 貴志・矢吹 信喜
- VI-715 HMDを用いた臨場型遠隔映像システムの開発／大成建設 [F] 今石 尚・加藤 崇
- VI-716 UAV写真測量による地形把握作業の効率化を目指したシステム構築／パスコ [正] 間野 耕司・今西 裕昭・吉村 元吾

■ロボット、自動化、情報化施工(4) / 17:00~18:20 / 安藤 拓

(清水建設)

- VI-717 4ブームフルオートコンピュータジャンボによるICT施工例—国道106号 宮古盛岡横断道路 新区界トンネル工事—／鹿島建設 [正] 手塚 康成・赤石 広秋・川野 広道
- VI-718 一体型簡易3Dスキャナと余掘り評価ソフトの開発／鹿島建設 [正] 犬塚 隆明・手塚 康成・岩野 圭太
- VI-719 発破後の切羽の形状測定結果に基づく穿孔プランの改善／鹿島建設 [正] 井上 勇太・西川 幸一・福田 博之
- VI-720 公共通信網未整備地域における情報化施工の試み／前田建設工業 [正] 小野 稔和・森 英治
- VI-721 ICTを活用したコンクリート大量打設管理システムの開発／大成建設 [正] 石田 桂子・林 雄志・高橋 智彦
- VI-722 ICT土工現場における管理業務の高度化を目的とした地質情報CIM管理システムの適用／安藤ハザマ [正] 宇津木 慎司
- VI-723 カメラ位置を直接計測する手法を用いた空中写真測量に関する検証／日本建設機械施工協会 [正] 椎葉 祐士・大谷 仁志・本田 肇

VI-11 (センター2号館2406教室) / 9月12日(火)

■ロボット、自動化、情報化施工(5) / 9:00~10:20 / 前田 宗宏

(鹿島建設)

- VI-724 i-Constructionで適用する出来形の面管理に係わる基準類の検討／国土技術政策総合研究所 [正] 森川 博邦・近藤 弘嗣・長山 真一
- VI-725 盛土の法面整形工におけるマシンコントロールバックホウの適用効果に関する一考察／日本建設機械施工協会 [正] 藤島 崇・宇田 陽介・石橋 昌樹
- VI-726 ICT土工を利用した工程改善に関する現場事例紹介／日本建設機械施工協会 [正] 伊藤 文夫・岩瀬 裕・森川 博邦
- VI-727 ICTを全面的に導入した造成工事の成果と課題について／大林組 [正] 近藤 岳史・本村 祐二・古屋 弘
- VI-728 GNSS位置情報とQRコードを用いたEPS軽量盛土の施工管理／日本国土開発 [正] 四宮 圭三・佐野 健彦・武田 祐二
- VI-729 ステレオ写真測量(地上移動体)を用いた出来高・出来形管理の現場事例紹介／施工技術総合研究所 [正] 佐野 昌伴・八木橋 宏和・森川 博邦
- VI-730 トンネル工事未舗装区間におけるMMSトンネル点検車を用いた断面計測の実績および考察／日本国土開発 [正] 佐野 健彦・細井 泰行・長尾 孝幸
- VI-731 ダムコンクリート骨材粒径判別システムの開発／清水建設 [正] 白崎 耕平・竹内 啓五・松崎 和敏

■測量、センシング、GPS (1) / 10:40~12:00 / 片山 政弘(熊谷組)

- VI-732 i-Constructionを視野に入れたMMSによる起工測量での精度検証／安藤ハザマ [正] 木村 拓磨・早川 健太郎・黒台 昌弘
- VI-733 土工出来形計測を対象としたUAV搭載型レーザスキャナの基礎的な性能評価実験／安藤ハザマ [正] 武石 学・黒台 昌弘・澤 正樹
- VI-734 MMSとUAV計測による盛土出来形計測の適用例／西松建設 [F] 佐藤 靖彦・矢尾 板 啓・堺 浩一

- VI-735 UAV写真測量精度の向上に対する実証実験結果／西武建設 [正] 須長 真介・二村 憲太郎・川前 勝三郎
- VI-736 土工管理にUAVを活用する場合の効果的な運用方法について／安藤・間 [正] 早川 健太郎・黒台 昌弘・木付 拓磨
- VI-737 切土法面の3Dモデルを生成する場合のUAV飛行上の留意点／安藤ハザマ [正] 黒台 昌弘・早川 健太郎・木付 拓磨
- VI-738 UAVを用いた法面計測と処理ソフトウェアの実例／大成建設 [正] 青木 浩章・石井 喬之・鈴木 裕一朗
- VI-739 普及型UAVの建設工事への活用に関する検討／奥村組土木興業 [正] 梅宮 利之・藤森 章記

VI-11 (センター2号館2406教室) / 9月13日(水)

■測量、センシング、GPS (2) / 9:00~10:20 / 佐藤 靖彦 (西松建設)

- VI-740 i-Construction導入施工事例及び検証について／大林組 [正] 杉浦 伸哉・田島 僚・中原 康平
- VI-741 UAVを用いた写真測量の港湾構造物への適用の検討／五洋建設 [正] 三國 貴一・勝田 哲史・石田 仁
- VI-742 リアルタイム性を考慮した土量計算モデルに関する検討／日本国土開発 [正] 中村 裕希・佐野 健彦
- VI-743 三次元画像を活用した盛土材粒径計測方法の試験適用／竹中土木 [正] 東中 邦夫・大村 啓介・小西 一生
- VI-744 カルシア改質土・浚渫土人工石製造時のRI密度水分計による品質管理／五洋建設 [正] 辻 匠・野中 宗一郎・安藤 満
- VI-745 小口径推進工法の光掃引方式位置計測技術の開発／アイレック技建 [正] 森 治郎・渡邊 武士・八木 生剛
- VI-746 管推進工事における曲線推進の測量管理について／九鉄工業 [正] 久保 佑太
- VI-747 盛土施工による軟弱地盤の変状を計測・管理する「無人動態観測システム」の開発／大林組 [正] 西村 俊亮・望月 勝紀・森田 晃司

■測量、センシング、GPS (3) / 10:40~12:00 / 後閑 淳司 (鹿島建設)

- VI-748 UAV (小型無人飛行機)による盛土の品質管理手法の検討／立命館大学 [正] 小林 泰三・藤原 美波・戎 剛史
- VI-749 UAV (小型無人航空機)による盛土の維持管理手法の検討／国土防災技術 [正] 藤原 美波・戎 剛史・小林 泰三
- VI-750 ベルコンスキヤナ実証実験—光切断法による連続ベルコン傷検知および土量計測システム—／大成建設 [正] 片山 三郎・石井 稔之・白坂 紀彦
- VI-751 3Dモデリングの活用による利根川の堆積土砂量の計算／群馬工業高等専門学校 [正] 先村 律雄・小林 雅人・柳澤 護
- VI-752 3Dモデリングの要素サイズが標高・土量計算に与える影響／関東測量 [正] 柳澤 護・小林 雅人・大橋 洋子
- VI-753 関西国際空港連絡橋の洗堀および電気防食調査／西日本高速道路 [正] 土井 翔悟・熊井 貴弘・高井 久一
- VI-754 3次元点群データを用いた測量精度に関する実験的検討／東日本旅客鉄道 [正] 高見澤 拓哉・井口 重信・竹谷 勉
- VI-755 I-Construction等の成果の3次元データを用いたデジタル道路地図の調製・更新に関する基礎的研究／東京都市大学 [学] 山田 実典・今井 龍一・谷口 寿俊

■測量、センシング、GPS (4) / 15:20~16:40 / 近藤 高弘 (大成建設)

- VI-756 SfMと地上型レーザースキャナーによる3D建物モデルの精度検証／東洋大学 [正] 久保寺 貴彦・政春 尋志・里見 裕己
- VI-757 鉄道構造物へのプロダクトモデルの導入に向けた課題／東日本旅客鉄道 [正] 田原 孝
- VI-758 GPS静的測位解析の検定におけるRatioとPDF-Ratioの比較／東京理科大学 [正] 佐伯 昌之
- VI-759 GNSSを用いた地下管路の位置計測に関する基礎検証について／NTT [正] 小口 傑・秋山 義弘・金山 守
- VI-760 GPSとQZSSの併用測位における3周波利用の効果に関する研究／日本大学 [正] 池田 隆博
- VI-761 高仰角に位置するQZSSの併用による鉛直方向精度の向上効果に関する研究／日本大学 [学] 酒井 昂紀・佐田 達典・江守 央
- VI-762 植生の背景反射を考慮した正規化植生指標画像作成上の留意点／東京理科大学 [学] 清本 貴哉・小島 尚人・三波 快
- VI-763 GNSS測位を用いたクレーン作業の安全管理／三井住友建設 [正] 千葉 史隆・三上 博

VI-12 (センター2号館2407教室) / 9月11日(月)

■建設事業計画、工程管理 / 9:00~10:20 / 山下 正治 (熊谷組)

- VI-764 耳川水系総合土砂管理計画と山須原ダム改造計画 (I. ダム

- 通砂の概要及び山須原ダム堤体仕様の検討概要について／九州電力 [正] 川上 馨詞・向原 秀樹
- VI-765 耳川水系総合土砂管理計画と山須原ダム改造計画 (II. 仮締切下部の構造上の特徴とその計画・施工の概要について)／前田建設工業 [正] 吉田 宏三郎・川上 馨詞・真岸 徹
- VI-766 地球環境対策のための廃棄物最終処分場施設の持続的事業運営の課題検討／北見工業大学 [正] 岡田 包儀・桜井 宏・佐伯 昇
- VI-767 火力発電所純水タンク基礎および過水タンク基礎における埋込み杭の施工管理—石狩湾新港発電所1号機新設工事のうち機械・電気設備基礎他工事 工事報告—／北海道電力 [正] 齋藤 寿秋・池田 裕樹・橋本 篤志
- VI-768 ICTを活用した現場管理業務について／大林組 [正] 田代 晃基・山崎 哲也・井上 猛
- VI-769 LNGタンク防液堤工事における工程短縮事例／大林組 [正] 原 拓也・谷口 達彦・宮本 慎也
- VI-770 波浪予報データの作業船運航管理への適用に関する一考察／大成建設 [正] 羽角 華奈子・織田 幸伸
- VI-771 震災復興現場における残存型枠の使用による生産性の向上／奥村組 [正] 大竹 康広

■品質管理 (1) / 10:40~12:00 / 横尾 敦 (鹿島建設)

- VI-772 型枠に設置したセンサによるコンクリート締固め時の振動加速度測定に関する実験／日本国土開発 [正] 山内 匡・千賀 年浩・野口 貴文
- VI-773 実際に打設した断面修復材に対する衝撃弾性波法による品質管理／リック [正] 岩野 聡史・渡部 正・坂本 良憲
- VI-774 低熱セメントと鉛直パイプクリングを併用した水槽構造物の温度ひび割れ対策について／鴻池組 [正] 福田 尚弘・吉田 涼平・小嶋 貴久
- VI-775 フライアッシュセメントに対するアクリル系打継ぎ処理剤の適用性—第1報 室内配合試験での評価—／清水建設 [正] 宮田 佳和・佐久間 清文・関口 雄介
- VI-776 フライアッシュセメントに対するアクリル系打継ぎ処理剤の適用性—第2報 打継ぎ面長期暴露時の打継ぎ性能確認—／北海道電力 [正] 関口 雄介・佐久間 清文・宮田 佳和
- VI-777 プレキャスト製高欄基部に使用する充填材の品質管理方法の検討／東日本旅客鉄道 [正] 川村 孝太郎・塩田 彩夏・黒田 智也
- VI-778 橋梁下部工におけるコンクリートの品質確保に関する取組み／東急建設 [正] 鈴木 将充・折田 紘一郎・木下 豊
- VI-779 活線工法による橋りょう架設時の橋台背面埋戻しの施工／JR東海 [正] 矢田 輝一・伊藤 史将・三宅 修司

■品質管理 (2)、安全管理 (1) / 15:20~16:40 / 久保 昌史 (清水建設)

- VI-780 総合工事業における労働災害防止に向けた新たな課題の抽出／労働安全衛生総合研究所 [正] 高木 元也
- VI-781 ドラグ・ショベルの斜面降下時の限界傾斜角に関する検討／労働安全衛生総合研究所 [正] 堀 智仁・玉手 聡
- VI-782 車両運行管理システムによる運転支援と車両・輸送物のリアルタイム管理—中間貯蔵パイロット輸送におけるスマートG-Safeの機能拡張と適用／鹿島建設 [正] 中村 泰広・前田 宗宏・藤本 健治郎
- VI-783 衛星通信を利用した連絡・通信体制の確立および施工管理の省力化／大林組 [正] 尾内 陽介・山口 貴志・平山 浩司
- VI-784 第二浜田ダム本体建設工事における入退場管理システムおよび作業実績管理システム／鹿島建設 [正] 人見 志郎・近藤 正芳・奈須野 恭伸
- VI-785 PCLNGタンク側部冷熱抵抗緩和材の厳冬期における施工管理／大成建設 [正] 本谷 幸康・寺岡 匡伸・北郷 徳久
- VI-786 陸上工事における長尺鋼管杭の打設精度について／大林組 [正] 浦田 将弘・佐々木 徹・金田 和男
- VI-787 情報通信技術を活用した土工 (ICT土工)へのRI測定器適用に関する一提案／ソイルアンドロックエンジニアリング [正] 後藤 政昭・石井 正紀・井上 恵介

■安全管理 (2) / 17:00~18:20 / 八朝 秀晃 (熊谷組)

- VI-788 保守用車運行の取扱い誤りに学ぶヒューマンエラー防止／シーエヌ建設 [正] 大西 亨匡・近藤 拓也
- VI-789 旧石狩川頭首工撤去工事に適用する出水予測回帰モデルの検証／大成建設 [正] 大野 剛・本田 隆英・伊藤 一教
- VI-790 構造物に併設された足場の風力に及ぼす幅木の高さの影響その3 剥離流の影響に関する検討／労働安全衛生総合研究所 [正] 高橋 弘樹・大嶋 勝利・大垣 賀津雄
- VI-791 塩川橋・下り線の施工および安全対策／西日本高速道路 [正] 小山 敏史・進 繁樹・田口 靖雄
- VI-792 「五夢しるべ」の開発—鋼製杭一体型ゴム製サインボラード—／丸五ゴム工業 [正] 中野 将之・藤原 泰明・古城 純史

- VI-793 明かり発破における飛石事故の現象と原因に関する分析／フジタ [正] 宇田川 義夫
- VI-794 切羽常時計測を目指したポータブル傾斜計の適用性／清水建設 [正] 松野 遼太郎・福田 毅・安藤 拓
- VI-795 営業線上空を連続的に斜交差する張出し施工の安全対策／大成建設・ピーエス三菱JV [正] 新庄 皓平・深澤 俊雅・前原 直樹

VI-12 (センター2号館2407教室) / 9月12日(火)

■CIM (1) / 9:00~10:20 / 北原 剛(大成建設)

- VI-796 山岳トンネル工事におけるCIM現場適用を目指したシステム構築／パスコ [正] 五十嵐 善一・宮田 岩往・矢尾板 啓
- VI-797 トンネル工事における3次元可視化システムの適用／熊谷組 [正] 国領 優・神崎 恵三・大野 伸也
- VI-798 3次元地質モデルを活用した山岳トンネルCIMの現場適用事例／西松建設 [正] 原 久純・田中 勉・鬼頭 夏樹
- VI-799 3次元地質解析システムの概要と現場適用事例／鴻池組 [正] 高馬 崇・山田 浩幸
- VI-800 トンネルの施工穿孔データを利用した前方地山の予測技術／鹿島建設 [正] 白鷺 卓・宮嶋 保幸・山本 拓治
- VI-801 トンネルの施工穿孔データを利用した脆弱部の出現確率の評価技術／鹿島建設 [正] 宮嶋 保幸・白鷺 卓・山本 拓治
- VI-802 CIMを活用した斜面計測監視3D-ICTシステムの開発および施工現場への適用／安藤ハザマ [正] 中谷 匡志・宇津木 慎司
- VI-803 UAVおよびレーザースキャナーを用いた3次元測量データの現場適応事例／鴻池組 [正] 大畑 拓也・國富 和真

■CIM (2) / 10:40~12:00 / 杉浦 伸哉(大林組)

- VI-804 クラウド型仮想デスクトップサービスによる工事管理(大分川ダム工事報告) / 鹿島建設 [正] 小倉 精太・奈須野 恭伸・寺本 淳一
- VI-805 情報化施工による長大トンネル調査坑でのCIM展開事例／鹿島建設 [正] 小林 幸司・河本 貴史・桑原 良輝
- VI-806 CIMを活用した鉄道地下駅構築工における生産性向上事例／鹿島建設 [正] 外山 和仁・東田 卓也・根岸 範明
- VI-807 現場打ちコンクリートの新しい管理手法の提言〜コンクリート工事の品質向上及び生産性向上に向けて〜／大成建設 [正] 豊田 由仁・渡邊 高也・北原 剛
- VI-808 ICTとCIMを活用したコンクリート施工管理システムの運用／大林組 [正] 末宗 利隆・田中 将希・八木 純樹
- VI-809 長距離・大断面シールド工事におけるリアルタイム管理手法について—CIM・VRの活用に向けて—／清水建設 [正] 小野澤 龍介・前田 俊宏・橋本 隆紀
- VI-810 パイプインパイプ工事におけるCIMの活用／東急建設 [正] 中島 敏勝・山本 博司・五戸 一貴
- VI-811 三次元解析とCIMの連係による設計合理化システム構築への取り組み／鹿島建設 [正] 上田 純広・山沢 哲也・大家 史

VI-12 (センター2号館2407教室) / 9月13日(水)

■施工計画(2) / 9:00~10:20 / 田坂 幹雄(大林組)

- VI-812 環2勝どき高架橋 遮音壁の施工／大林組 [正] 伊藤 チャールズ健吉・福原 健治・中村 鉄也
- VI-813 高速道路の右側付加車線方式による試行運用および現場での創意工夫／中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 日東 義仁・上水 一路
- VI-814 夜間工事照明の照度が誘虫性に与える影響に関する基礎調査／清水建設 [正] 橋本 純・森 日出夫・青山 晋一
- VI-815 短時間での工事桁架設の施工実績／鹿島建設 [正] 松元 貴史・岡 寿一・笠原 大輔
- VI-816 プラットホーム部における土留鋼矢板圧入工事(上部障害クリア工法の適用) / 鹿島建設 [正] 江口 元・井出 雄介・北川 雄基
- VI-817 2段密集配管ラックにおける下段配管撤去工事の報告／大成建設 [正] 角崎 由貴子
- VI-818 城南河川清流復活管移設工事における技術的対策について／大成建設 [正] 大塚 翔一・森 正宏・小野 浩之
- VI-819 既設下水幹線に新設下水幹線を直接接続するための開口部補強の検討／東急建設 [正] 藤井 貴裕・北口 茂・北沢 宏和

■施工計画(3) / 10:40~12:00 / 尾崎 健一郎(熊谷組)

- VI-820 鋼橋床版コンクリートの施工における考察／九鉄工業 [正] 松田 直樹
- VI-821 東海道二線橋脚鋼製橋脚および鋼桁架設—営業線直上

- でのクレーン架設—／大成建設 [正] 杉浦 義徳・嘉村 達司・青木 貴志
- VI-822 線路上空部での道路橋撤去に関する施工計画／東日本旅客鉄道 [正] 林 利充・高橋 紗希子
- VI-823 高速道路上空の既設橋脚横梁撤去に対する試験施工／大林組 [正] 山角 康樹・多田 浩治・右高 裕二
- VI-824 高速道路拡幅工事における既設ラケット型橋脚の撤去計画／首都高速道路 [正] 右高 裕二・多田 浩治・兼丸 隆裕
- VI-825 供用中の高速道路を横断する橋梁架設に対する安全対策／西日本高速道路 [正] 白武 佑斗・佐溝 純一・安部 哲生
- VI-826 超高強度繊維補強コンクリート桁を用いた営業線鉄道橋の架け替え工事／大成建設 [正] 大塚 信介・篠田 貴宏・岩元 篤史
- VI-827 架道橋改築工事に伴う工事桁分割架設時における工夫／東鉄工業 [正] 山田 和人・根本 龍典

■施工計画(4) / 15:20~16:40 / 重光 達(大成建設)

- VI-828 既設タイロッド擁壁の盛土嵩上げに伴う構設計画および設計・施工／西日本旅客鉄道 [正] 大橋 亮平・橋本 直樹・小倉 強
- VI-829 逆解析手法に基づく土留工の効率化／戸田建設 [正] 木戸 しおり・岩永 祐治・鷹取 寛
- VI-830 護岸改修工事における既設構造物を活用した仮設計画と狹隘作業の合理化／大林組 [正] 富所 宏多・蔵園 和人・山浦 克仁
- VI-831 シールドマシン進捗時の土留計画における工夫／清水建設 [正] 足助 美岐子・大田 寛・宗像 慎也
- VI-832 パイプインパイプ工法用発達進出坑の設計／清水建設 [正] 金丸 亜紀・高橋 伸知・安藤 陽
- VI-833 東京外環大泉JCT立坑工事—その1 工事概要—／清水建設 [正] 小串 正明・緒畑 和也・本間 龍介
- VI-834 東京外環大泉JCT立坑工事—その2 門型クレーン構台—／清水建設 [正] 戸田 明良・緒畑 和也・本間 龍介
- VI-835 東京外環大泉JCT立坑工事—その3 門型クレーン基礎—／清水建設 [正] 上仲 亮・塚田 裕史・佐々木 博昭

VI-13 (センター2号館2409教室) / 9月11日(月)

■新材料・新素材 / 9:00~10:20 / 大脇 英司(大成建設)

- VI-836 穴開き鋼板によるひび割れ抑制材料の特性試験と覆工コンクリートへの適用について／戸田建設 [F] 関根 一郎・山田 勉・田中 徹
- VI-837 コンクリートのひび割れ抑制材料の凍結融解試験と寒冷地での適用事例／戸田建設 [正] 藤原 弘久・北本 広樹・関根 一郎
- VI-838 加熱改質フライアッシュが現場打ちコンクリートのワーカビリティに及ぼす影響／フローリック [正] 上本 洋・齋藤 隆弘・佐藤 貴之
- VI-839 加熱改質フライアッシュの現場打ちコンクリートへの適用／奥村組 [正] 齋藤 隆弘・佐藤 貴之・久田 真
- VI-840 保温養生材によるコンクリートの保温養生効果に関する実験的検討／りんかい日産建設 [正] 中出 陸・野原 貴純・高山 浩一
- VI-841 蒸気養生を行わないジオポリマーコンクリートの高温抵抗性について／大林組 [正] 青木 峻二・富井 孝喜・原田 耕司
- VI-842 道路周辺におけるプラスチック製雨水地下貯留浸透施設の適用状況の分析と調査／積水化学工業 [正] 小林 直・志村 吏士・栗山 卓
- VI-843 道路下におけるプラスチック製雨水地下貯留浸透施設の設計／積水化学工業 [正] 志村 吏士・栗山 卓・小林 直

■技術開発(1) / 10:40~12:00 / 坂本 守(安藤・間)

- VI-844 遠隔操作技術を用いたトンネル吹付けシステムの開発／熊谷組 [正] 新宮 信也・徳永 英人・尾畑 洋
- VI-845 トンネル覆工を対象とした型枠ヒーティングの技術に関する基礎的研究／佐藤工業 [正] 渡辺 晋吾・北川 真也・斎藤 達也
- VI-846 トンネル覆工コンクリートを対象とした撥水型枠の基礎的研究／佐藤工業 [正] 豆田 憲章・森濱 哲志・北川 真也
- VI-847 河道閉塞に伴う暗渠排水管の急速施工法の開発／大成建設 [F] 森田 泰司・阿部 智彦
- VI-848 河道閉塞に伴う暗渠排水管の急速施工法の開発 薬液注入による管内止水実験／日特建設 [正] 阿部 智彦・森田 泰司
- VI-849 止水型コンクリートコッティング式中連続壁の開発／大成建設 [正] 西田 与志雄・平山 哲也・大高 信雄
- VI-850 薬液を用いた自立削孔技術の開発／東京都市大学 [正] 杉浦 陽子・末政 直見・佐々木 隆光

VI-851 大深度立坑における止水グラウト排水用の超高揚程ポンプの開発／大成建設 [正] 中澤 慶介・須藤 正太・白瀬 光泰

■技術開発(2) /15:20~16:40/田中 亮一(東亜建設工業)

VI-852 吸引工法(潜行吸引式排砂管)の現場適用に向けた塵芥等の前処理手法に関する一検討／土木研究所 [正] 宮川 仁・楠見 正之・本山 健士

VI-853 吸引工法によるダム堆砂処理時等の濁水への対策手法の一提案／大成建設 [正] 楠見 正之・赤塚 真依子・宮川 仁

VI-854 ガス管敷設工事における長距離流動性・充填性に優れた中詰材の基本性能／奥村組 [正] 廣中 哲也・青柳 成彰・瀧川 信二

VI-855 樹脂注入による豆板補修工法の実構造物への適用／東日本旅客鉄道 [正] 丸子 文之・佐々木 尚美・本田 諭

VI-856 豆板注入補修工のトンネル覆工への適用について／東日本旅客鉄道 [正] 岩井 俊且・鈴木 尊・松田 康紀

VI-857 トンネル覆工内部の豆板を対象とした豆板注入補修工の試験施工について／東日本旅客鉄道 [正] 橋場 一富・鈴木 航・大谷 厚至

VI-858 RC床版ハンチ部省工剥落防止材の現場試験施工／モチヅキ [正] 望月 航

VI-859 貯蔵タンク底板コーティングへの誘導加熱式塗装剥離工法の適用／横河ブリッジ [正] 笹嶋 純司・日野 竜幸・小城 孝次

■技術開発(3) /17:00~18:20/宇野 昌利(清水建設)

VI-860 光ファイバーを用いたコンクリート充填検知技術の開発(その1) 一要素実験による光ファイバーの適用性検討一／銭高組 [正] 角田 晋相・原田 尚幸

VI-861 光ファイバーを用いたコンクリート充填検知技術の開発(その2) 一充填検知性能確認実験一／銭高組 [正] 原田 尚幸・角田 晋相

VI-862 地中連続壁高強度コンクリートカッティング実験における振動計測／大成建設 [正] 近藤 高弘

VI-863 地中障害物探査のための電磁波レーダ性能確認試験／東日本旅客鉄道 [正] 関塚 貴一・加藤 精亮・竹田 茂嗣

VI-864 画像による打継面処理状態の簡易評価方法の改良／鹿島建設 [正] 佐野 雄紀・今井 道男・柳井 修司

VI-865 斜面崩壊の簡易危険検出システムの開発／労働安全衛生総合研究所 [正] 玉手 聡・堀 智仁

VI-866 iBeacon活用の工事概要案内システムの現場試験／清水建設 [正] 宮瀬 文裕・内田 理恵・藤枝 達也

VI-867 ため池での転落時に脱出しやすい布製型枠による法面保護工の開発／太陽工業 [正] 山本 浩二・石田 正利・川岸 靖

VI-13 (センター2号館2409教室) /9月12日(火)

■施工計画(5) /9:00~10:20/木村 聡(安藤・間)

VI-868 土質別土量を考慮した、粘性土と砂質土の互層での高盛土計画／大成建設 [正] 斎藤 博行・岩崎 孝夫

VI-869 高盛土工の設計・施工について／西日本高速道路 [正] 山口 卓位

VI-870 工程短縮を目的とした地盤改良工法変更についての一考察／清水建設 [正] 前田 周吾・大塩 隆・赤松 諒亮

VI-871 谷戸地での締め地盤改良の計画と施工管理／大成建設 [正] 近藤 令子・岩崎 孝夫・宮崎 尚人

VI-872 山口市大浦一般廃棄物最終処分場埋立処分施設における土木造成工事／熊谷組 [正] 野村 泰之・田邊 大次郎・吉村 文晴

VI-873 大規模崩壊斜面直下における無人化施工の実績／鹿島建設 [正] 松本 健太郎・江口 健治

VI-874 傾斜地でのメガソーラー架台基礎の配置計画と実施例／大林組 [正] 玉井 礼子・定政 啓・三浦 国春

VI-875 急峻な法面部における鉄道橋脚耐震補強の仮設計画／東鉄工業 [正] 松山 一紀・濱野 翔太・鬼塚 信

■施工計画(6) /10:40~12:00/中出 剛(熊谷組)

VI-876 ニューマチックケーソンにおける制御発破による周辺環境へ影響低減について／前田建設工業 [正] 山田 倫・満田 昭弘・新青木 一利

VI-877 圧入ケーソン工事における電力用トンネルとの超近接施工事例／大林組 [正] 高野 金幸・本間 英貴・高橋 正登

VI-878 ケーソン沈設に伴う近接水管への影響低減対策について／清水建設 [正] 白田 隆一郎・佐藤 元信・遠藤 和雄

VI-879 既設地下駐輪場に近接した新設杭打設のための支障物撤去工／清水建設 [正] 高橋 威雄・宮元 大輔・浅香 貴俊

VI-880 鉄道高架橋近傍での開削工事における土留め壁の変形抑制

対策／清水建設 [正] 長澤 綾美・平井 孝幸

VI-881 駅改良計画における仮橋脚による既存ホームの変位制御について／JR東日本 [正] 元尾 秀行・鈴木 悠太・松岡 恭弘

VI-882 埋設物輻輳箇所での開削工法による地下道工事の仮設計画／清水建設 [正] 中谷 篤人・平井 孝幸・寺尾 昂

VI-883 PICフォームを用いたH鋼埋込桁の施工実績／鹿島建設 [正] 板野 次雅・林 宏延・中村 佳大

VI-13 (センター2号館2409教室) /9月13日(水)

■地盤改良(1) /9:00~10:20/坂梨 利男(鹿島建設)

VI-884 高圧噴射攪拌混合による橋台背面盛土のゆるみ対策に関する実証的検討(その1) 一改良形状の違いによる変位抑制効果の検討一／西日本旅客鉄道 [正] 藤原 雅仁・山田 孝弘・川西 敦士

VI-885 高圧噴射攪拌混合による橋台背面盛土のゆるみ対策に関する実証的検討(その2) /前田建設工業 [正] 川西 敦士・山内 崇寛・藤原 雅仁

VI-886 深層混合処理工法における地中障害物に対しての施工例／ライト工業 [正] 飯田 陽朗・大久保 泰宏・石黒 勇次

VI-887 地下鉄営業線の変状を制御した構築地盤改良の施工について／大成建設 [正] 桑本 寛之・近藤 達也・川岸 康人

VI-888 超大口径高圧噴射攪拌工法の高粘着粘性土地盤への適用／ライト工業 [正] 長崎 康司・大塩 隆・赤松 諒亮

VI-889 次世代型大口径深層混合処理工法(CDM-EXCEED工法)の開発／清水建設 [正] 遠西 幸男・原 俊郎・廣渡 智晶

VI-890 パワーブレンダー工法の攪拌混合時の周辺地盤への影響／加藤建設 [正] 牧野 貴哉・笹野 誠・菅野 航太

VI-891 長尺地盤改良杭の施工に向けた遅延剤添加に関する配合検討／大成建設 [正] 富永 直輝・大塚 徳之・石井 裕泰

■地盤改良(2) /10:40~12:00/足立 有史(安藤・間)

VI-892 防潮堤耐震工事におけるOPTジェット工法の施工事例／ライト工業 [正] 宇梶 伸・高木 敦生

VI-893 鉤さい集積場におけるかん止堤耐震補強対策の設計施工／鹿島建設 [正] 富樫 昇・前田 宗宏・梅寺 誠

VI-894 セメント改良盛土における品質管理の合理化／鹿島建設 [正] 中島 悠介・小原 隆志・北本 幸義

VI-895 原位置サンプリングしたセメント改良土の引張強度に関して／加藤建設 [正] 伊藤 正巳・佐々木 大樹・大川 拓真

VI-896 導電率による中層混合処理工法の品質管理システム／大林組 [正] 望月 勝紀・森田 晃司・伊藤 浩邦

VI-897 環状第5の1号線地下道路建設工事における盤ぶくれ対策の工法変更／清水建設 [正] 宮元 大輔・濱田 健・西川 貴規

VI-898 堆積軟岩における割れ目帯を対象とした物質移行試験に極超微粒子セメントを適用した深層調査ボーリングの施工事例／大成・大林・三井住友特定建設工事共同企業体 [正] 白瀬 光泰・安倍 章正・名合 牧人

VI-899 貫通施工による地下鉄営業線直下の地盤改良工一相鉄・東急直通線新横浜駅地下鉄交差部工事一／鹿島建設 [正] 菅谷 基規・野口 弘毅・杉崎 操

■地盤改良(3) /15:20~16:40/石井 裕泰(大成建設)

VI-900 中層混合処理工による遮断壁を用いた真空圧密工および盛土工施工時の周辺地盤への影響について／大林組 [正] 越智 宏充・伊藤 智治・佐々木 徹

VI-901 真空圧密工運転停止・載荷盛土撤去後の基礎地盤の挙動について／大林組 [正] 豊嶋 宏幸・伊藤 智治・佐々木 徹

VI-902 真空圧密工および載荷盛土併用による基礎地盤の改良効果／大林組 [正] 今岡 洋輔・伊藤 智治・金田 和男

VI-903 改良深度の深い地盤で採用した真空圧密工法の改良先端での有効性／大林組 [正] 佐々木 徹・青池 祥平・金田 和男

VI-904 TRD工法を採用した日比谷線虎ノ門新駅(仮称)工事／東京地下鉄 [正] 坂田 聡・佐久間 稜・野崎 圭祐

VI-905 地下ダム工事におけるSMW止水壁の出来形管理について／西松建設 [正] 小野 敦・羽山 里志・高村 浩彰

VI-906 砂質地盤にて分散剤を用いたソイルセメント柱列式連続壁工法における施工性と止水壁としての性能維持について／ジェコス [正] 岩崎 伸一・後藤 健治・石田 哲朗

VI-907 地下調整池工事における地盤改良の施工事例／大林組 [正] 福田 周司・巨知 琢也・下田 剛史

VI-14 (センター2号館2408教室) /9月11日(月)

■検査技術・診断(1) /9:00~10:20/阪本 泰士(東海旅客鉄道)

VI-908 ひびわれ指数(TCI)による覆土の変状原因推定について／

- 高速道路総合技術研究所 [正] 前田 佳克・八木 弘・水野 希典
- VI-909 トンネル全断面点検・診断システムの開発(その2 ひび割れ自動検出) / 東急建設 [正] 伊藤 正憲・井上 大輔・上野 隆雄
- VI-910 レーザーを用いた新幹線トンネル覆工コンクリート欠陥検査手法の開発 / 西日本旅客鉄道 [正] 御崎 哲一・保田 尚俊・島田 義則
- VI-911 橋梁点検ロボットシステムBRIDGEVIEWの開発 / 建設技術研究所 [正] 石田 辰英・茂男 茂男・塚越 秀行
- VI-912 アクアジャスターを搭載した橋橋下面点検ロボットの現場実証試験 / 大林組 [正] 濱地 克也・沼崎 孝義・三輪 徹
- VI-913 ワイヤロープを利用した橋梁点検について / ネクスコ東日本エンジニアリング [正] 赤尾 駿太郎・志村 充伸・大滝 政博
- VI-914 社会インフラの点検高度化に向けたロボット技術活用支援についての研究開発 / 土木研究所 [正] 林 利行・藤野 健一・梶田 洋規
- VI-915 打撃力波形によるコンクリート舗装版ジョイント部の健全性診断手法の検討 / 土谷組 [正] 森 清根・秋松 和正・波岡 雅昭
- 検査技術・診断(2) / 10:40~12:00 / 松田 敏(熊谷組)
- VI-916 広帯域AEセンサを用いたPC鋼材の腐食破断に関する実験的研究 / 日本建設機械施工協会 [正] 榎園 正義・谷倉 泉・萩原 直樹
- VI-917 PCグラウト充填率判定システムの開発 / 西日本高速道路エンジニアリング中国 [正] 前田 良文・松永 嵩・小川 良太
- VI-918 ガードレール支柱の健全性診断技術開発 / 原子燃料工業 [正] 匂坂 充行・磯部 仁博・前田 良文
- VI-919 加振レーダ法によるコンクリート構造物の鉄筋腐食量評価技術の開発(1) —RC供試体による原理検証— / 群馬大学 [正] 三輪 空司・本多 秀聡・中川 貴之
- VI-920 加振レーダ法によるコンクリート構造物の鉄筋腐食量評価技術の開発(2) —実構造物での適用性試験結果に関する報告— / 東電設計 [正] 志岐 仁成・鬼東 俊一・三輪 空司
- VI-921 X線を使用したセグメントの鉄筋応力測定に関する要素試験(その1) ~セグメントの鉄筋の応力測定~ / 東京電力パワーグリッド [正] 尾崎 潤・吉本 正浩・小椋 明仁
- VI-922 X線を使用したセグメント鉄筋応力測定に関する要素試験(その2) ~残留ひずみが存在する場合の応力測定~ / 東京電力パワーグリッド [正] 吉本 正浩・小椋 明仁・尾崎 潤
- VI-923 トンネル内路盤コンクリートの健全度評価法に関する検討 / JR西日本 [正] 坂本 寛章・近藤 政弘・小山 真
- 検査技術・診断(3) / 15:20~16:40 / 森 康雄(熊谷組)
- VI-924 川上川橋りょうにおける河床ブロックの変状に関する考察とその対策工事 / 東海旅客鉄道 [正] 萩谷 俊吾
- VI-925 鋼鉄道橋の維持管理に関する研究 縦桁片側切欠き部に発生する疲労き裂について / 東日本旅客鉄道 [正] 丹澤 裕太郎
- VI-926 打音診断技術を適用したグラウンドアンカーの緊張力簡易計測システムの開発(その1) / 原子燃料工業 [正] 松永 嵩・浜崎 智洋・小川 良太
- VI-927 打音診断技術を適用したグラウンドアンカーの緊張力簡易計測システムの開発(その2) / 西日本高速道路 [正] 浜崎 智洋・松永 嵩・小川 良太
- VI-928 誘導路橋梁の加速度計測データを用いたたわみ変動特性の検討 / 成田国際空港 [正] 金子 雅廣・山田 裕樹・尾関 将克
- VI-929 誘導路橋梁の振動特性に関する解析的評価 / 清水建設 [正] 稲田 裕・金子 雅廣・尾関 将克
- VI-930 有限要素法によるゴム堰用ゴム / 繊維複合材の内部応力解析 / 土木研究所 [正] 中村 崇・新田 弘之・百武 壮
- VI-931 橋梁の構造同定による性能評価と安全性評価に関する研究 / 長崎大学 [学] 河村 太紀・木本 啓介・森田 千尋
- 検査技術・診断(4) / 17:00~18:20 / 田辺 重男(安藤・間)
- VI-932 超音波を用いたカッタービットのろう付面積評価の推定精度に及ぼす測定条件の影響 / 有明工業高等専門学校 [正] 若本 達也・境 駿一・佐々木 誠
- VI-933 使用済みビットの再利用を目的とした超硬チップの健全性評価方法 / 丸和技研 [正] 佐々木 誠・森田 泰司・若本 達也
- VI-934 使用済みビットの損傷分析と超硬チップ健全性評価の検討 / 丸和技研 [正] 緒方 勤・森田 泰司・高倉 克彦
- VI-935 AEセンサを用いた打音検査システムによるメカニカルアノカ検査技術の開発3 / 原子燃料工業 [正] 小川 良太・磯部 仁博・岡本 智文
- VI-936 音響探査法を用いたコンクリート表層欠陥探査技術の開発

- 吹付けコンクリートへの適用性検討— / 桐蔭横浜大学 [正] 杉本 恒美・歌川 紀之・金子 岳夫
- VI-937 音響探査法を用いたコンクリート表層欠陥探査技術の開発 —長距離計測に関する検討(II)— / 桐蔭横浜大院 [正] 上地 樹・川上 明彦・歌川 紀之
- VI-938 音響探査法を用いたコンクリート表層欠陥探査技術の開発 —健全部評価に関する検討(II)— / 桐蔭横浜大学 [正] 杉本 和子・杉本 恒美・歌川 紀之
- VI-939 赤外線熱計測によるトンネルコンクリートの浮き・剥離の検出割合向上に関する検討 / 清水建設 [正] 久保 昌史・川上 幸一・瀬筒 新弥

VI-14 (センター2号館2408教室) / 9月12日(火)

■検査技術・診断(5) / 9:00~10:20 / 木村 政俊(大成建設)

- VI-940 蛍光X線分析計を用いたコンクリート表面塩分調査 / 本州四国連絡高速道路 [正] 堤 仁志・麓 興一郎・小川 和也
- VI-941 画像解析を用いたコンクリート部材の切断面の粗骨材分布の計測に関する検討 / 安藤ハザマ [正] 野間 康隆・小池 悟
- VI-942 RPR塗膜剥離工法を用いたタンク底部塗膜剥離時における底板裏への熱影響実験の報告 / コスモエンジニアリング [正] 近 信明・坂東 佑亮・養父 重紀
- VI-943 赤外線サーモグラフィを用いた温度ギャップ計測による亀裂検出の高度化 / 本州四国連絡高速道路 [正] 溝上 善昭・森山 彰・奥村 淳弘
- VI-944 温度ギャップ検出赤外線サーモグラフィ法による裏面亀裂の検出 / 滋賀県立大学 [学] 上西 広幹・和泉 遊以・阪上 隆英
- VI-945 橋梁コンクリートの表層領域に生じる劣化進行と初期欠陥に関する研究 / 西日本高速道路エンジニアリング四国 [正] 永易 慎二・橋本 和明・松田 靖博
- VI-946 高周波衝撃弾性波法を用いた熊本地震被害基礎杭調査精度について / 第一テクノコンサルタンツ [正] 塩月 隆久・甲斐 健之
- VI-947 応答部材角測定装置による鉄道RC高架橋地震時モニタリングシステムの構築 / 計測リサーチコンサルタント [正] 濱田 弘志・仁平 達也・濱上 洋平

■検査技術・診断(6) / 10:40~12:00 / 西村 毅(安藤・間)

- VI-948 公共事業に新技術を活用する際の障害と対策に関する考察 / 岐阜大学 [学] 蓮池 里菜・矢島 賢治・木下 幸治
- VI-949 光ファイバセンサによる水路トンネルモニタリング / 北海道電力 [正] 池田 圭甫・今井 道男
- VI-950 ドローンをを用いた鉄道土木構造物検査の検討 / JR西日本 [正] 渥美 知宏・唐木 大輔・清水谷 美佳
- VI-951 局所的な共振周波数の測定に基づくRC床版供試体の損傷評価 / ネクスコ・エンジニアリング東北 [正] 黒澤 由樹・阿部 公一・内藤 英樹
- VI-952 点検業務を支援する道具(重畳機能電子野帳)の開発 / 西日本高速道路エンジニアリング九州 [正] 東 克徳・田中 克則
- VI-953 道路構造物の損傷判定適正化に向けた統計的手法の検討 / 西日本高速道路エンジニアリング中国 [正] 鈴木 正範
- VI-954 モバイルPCを活用した橋梁点検効率化への取り組み / ネクスコ東日本エンジニアリング [正] 谷 栄剛・羽田野 恒・大澤 誠司
- VI-955 開口合成フェーズドアレイ探傷による鋼床版デッキ貫通型き裂検知精度の検証 / 首都高速道路技術センター [正] 村野 益巳・村越 潤・森 猛

VI-14 (センター2号館2408教室) / 9月13日(水)

■検査技術・診断(7) / 9:00~10:20 / 羽瀧 貴士(東亜建設工業)

- VI-956 電気化学的手法を用いたタイロッドの健全度評価技術に関する基礎的検討 / 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正] 山本 幸治・染谷 幸・加藤 絵乃
- VI-957 ダム上流面の水中部における水中調査ロボットの点検・調査 / 五洋建設 [正] 水野 剣一・杉本 英樹・武井 俊哉
- VI-958 瀬戸内海に面する海岸護岸の維持管理方法に関する一考察 / 西日本旅客鉄道 [正] 北里 龍馬・西田 幹嗣・内田 祐太郎
- VI-959 ラジコンボートを用いた点検困難箇所への取り組み / ネクスコ東日本エンジニアリング [正] 大根田 俊平・高櫻 裕一・志村 充伸
- VI-960 目視困難な水中部での鋼材腐食等への非破壊検出技術の適用による現場作業の効率化 / 若築建設 [正] 秋山 哲治・金子 貴一・田沼 遊太郎
- VI-961 波浪特性からみた海岸護岸の被災要因に関する研究 / 西日

- VI-962 本旅客鉄道 [正] 濱野 智紀・青木 伸一・内海 輝昭
生物付着等のある埋設導水鋼管における板厚測定ロボットの
現地検証および評価/日本工営 [正] 中山 宣洋・松田
貞則・中村 雄司
- VI-963 ゴム環におけるゴム袋体の損傷検知手法に関する研究/土
木研究所 [正] 中島 淳一・藤野 健一・梶田 洋規

■検査技術・診断(8) /10:40~12:00/戸田 勝哉

- (IHIインフラシステム)
- VI-964 非破壊検査機器を用いた点検による近接目視点検代替検証
/西日本高速道路エンジニアリング関西 [正] 江藤 優馬・
松井 俊吾・坂口 和也
- VI-965 非破壊検査機器を用いた点検の適用範囲検証/西日本高速
道路エンジニアリング関西 [正] 松井 俊吾・坂口 和也・
江藤 優馬
- VI-966 ステレオ画像処理技術の分岐器検査への適用/鉄道総合技
術研究所 [正] 坪川 洋友・坪川 洋友・石川 智行
- VI-967 多視点画像三次元モデルの土木構造物維持管理への適用に
向けた新たな試み/アジア航測 [正] 新名 恭仁・笹田 航
平・小林 裕介
- VI-968 映像処理技術等を活用した橋りょう挙動把握の精度検証に
ついて/東日本旅客鉄道 [正] 松尾 賢・小林 泰一郎・松
岡 弘大
- VI-969 トンネル覆工画像取得車両の形状計測検証の試行/日本建
設機械施工協会 [正] 伊吹 真一・新田 恭士・安井 成豊
- VI-970 保守用車を用いた防音壁隙間計測方法の提案/西日本旅客

- VI-971 鉄道 [正] 山崎 友裕・中澤 明寛・米山 義広
赤外線熱画像と可視画像を用いた画像診断技術による火力
発電所RC煙突調査/清水建設 [正] 河野 貴之・久保 昌
史・天野 勲

■検査技術・診断(9) /15:20~16:40/松井 雅紀(鹿島建設)

- VI-972 維持管理困難部位に着目した点検要領の改訂/国際航空
[正] 伊礼 貴幸・木下 万博・香川 紳一郎
- VI-973 3径間連続上路鋼桁の主桁腹板に生じた亀裂について/東
日本旅客鉄道 [正] 石川 智博・高見 満・大島 博之
- VI-974 市販デジタルカメラとフリーソフトを活用した橋梁健全度
診断事例/京橋ブリッジ [正] 公門 和樹・並木 宏徳
- VI-975 鉄筋コンクリート床版内部の非破壊検査方法/首都高技術
[正] 布施 光弘・影澤 雅人・亀岡 誠
- VI-976 道路橋狭隘部の外観性状調査機器の性能評価試験に関する
研究/国土技術政策総合研究所 [正] 宮原 史・星隈 順一・
白戸 真大
- VI-977 画像変位計測を用いたコンクリート床版不具合検知に関す
る実験的検討/大林組 [正] 谷田部 勝博・富井 孝喜・今
井 浩
- VI-978 SHF帯地中レーダ信号の時変逆畳込み演算によるRC床版
内部の損傷の高感度検知/東京大学 [学] 山口 貴浩・水
谷 司・垂水 稔
- VI-979 近接目視による点検が困難な橋梁の点検手法/首都高技術
[正] 折笠 智紀・村上 裕真・布施 光弘

第Ⅶ部門

環境計画・管理、環境システム、用排水システム、廃棄物、環境保全など

Ⅶ-1 (西講義棟第1講義室) /9月11日(月)

■有害物質環境汚染 /9:00~10:20/和田 信一郎(アステック)

- Ⅶ-001 車両に積載された大型土のう袋の放射能濃度測定技術の開
発/大林組 [正] 山崎 啓三・高田 尚哉・納多 勝
- Ⅶ-002 分級洗浄技術を用いた放射能汚染土壌の減容化処理/佐藤
工業 [正] 鈴木 茂生・磯松 教彦・高橋 英晴
- Ⅶ-003 アルカリ洗浄、分級による除染土壌の再生利用技術の開発
/大成建設 [正] 副島 敬道・根岸 昌範・井尻 裕二
- Ⅶ-004 海防法および土対法における溶出試験結果の相関性に関す
る確認試験/水底質浄化技術協会技術委員会(大林組)
[F] 黒岩 正夫・中川 佳次・阪本 廣行
- Ⅶ-005 特殊鉄粉によるヒ素/フッ素、カドミウム/フッ素同時除
去の検討/神戸製鋼所 [正] 飯島 勝之・吉川 英一郎・古
田 智之
- Ⅶ-006 生分解性キレート剤を用いた重金属等汚染土壌のソイルフ
ラッシングの基礎的検討/西松建設 [正] 山崎 将義・石
渡 寛之・地井 直行
- Ⅶ-007 石炭灰混合材料の重金属溶出抑制に及ぼす混和材の効果/
安藤・間 [正] 坂本 守・小野里 みどり・松浦 忠孝

■原子力土木(外的事象PRA・地震・津波) /10:40~12:00/中村 晋
(日本大学)

- Ⅶ-008 斜面崩壊による岩塊の衝突ハザードの提案/東京都市大学
[正] 吉田 郁政・中村 晋
- Ⅶ-009 斜面崩壊に伴う岩塊衝突による鉄筋コンクリート版の損傷
限界に関する評価手法の検討/防衛大学校 [正] 別府 万
寿博・吉田 郁政・中村 晋
- Ⅶ-010 地震作用による斜面崩壊が原子力発電施設に及ぼす影響評
価手法の構築/日本大学 [正] 中村 晋・吉田 郁政・別府
万寿博
- Ⅶ-011 二点推定法とモンテカルロシミュレーションによる斜面の
安定限界に関するフラジリティ評価/ユニック [正] 西村
聡・前原 達也・吉田 郁政
- Ⅶ-012 地すべり津波に関する基礎的水理実験(その2) /東電設計
[正] 藤井 直樹・松山 昌史・内野 大介
- Ⅶ-013 津波越流時の落下水塊の地表面圧力に関する既往算定式の
適用性検討/ニュージェック [正] 殿最 浩司・志方 建仁・
松山 昌史

■原子力土木(地中構造物耐震) /15:20~16:40/鎌田 泰子(神戸大学)

- Ⅶ-014 鉄筋コンクリート製ボックスカルバート屈曲部の力学的性
状に関する実験研究/電力中央研究所 [正] 柴山 淳・宮
川 義範・審 浩年

- Ⅶ-015 水平荷重を受けて損傷する過程におけるRCボックスカル
バート屈曲部の変位分布/電力中央研究所 [正] 宮川 義
範・柴山 淳・審 浩年
- Ⅶ-016 屈曲部を有するRC製地中ボックスカルバート構造物の三
次元非線形地震応答解析/電力中央研究所 [正] 島端 嗣
浩・松尾 豊史・審 浩年
- Ⅶ-017 下負荷モデルによる地中箱型構造物の動的応答解析/大
林組 [正] 堤内 隆広・永井 秀樹・伊藤 悟郎
- Ⅶ-018 三次元モデルによる地中ボックスカルバートの損傷指標評
価/東北電力 [正] 伊藤 悟郎・菊地 裕・永井 秀樹
- Ⅶ-019 機器配管系基部におけるアンカーの定着性能に関する一検
討/電力中央研究所 [正] 永田 聖二・松尾 豊史・審 浩年

■原子力土木(地盤・斜面・断層変位・耐久性) /17:00~18:20/
中村 晋(日本大学)

- Ⅶ-020 抑止杭を施した斜面の地震時安定性評価(その1) —抑止杭
工斜面モデルに対する動的遠心力モデル実験—/電力中央研
究所 [正] 小早川 博亮・石丸 真・関口 陽
- Ⅶ-021 抑止杭を施した斜面の地震時安定性評価(その2) /ニュー
ジェック [正] 森 聡・石丸 真・岡田 哲実
- Ⅶ-022 重要構造物基礎地盤の地震時安定性評価に関する遠心力模
型実験/電力中央研究所 [正] 石丸 真・小早川 博亮・岡
田 哲実
- Ⅶ-023 3次元有限要素法によるすべり面探索手法の提案とその検証
/構造計画研究所 [正] 岡村 航・三橋 祐太・小早川 博亮
- Ⅶ-024 逆断層変位を受ける地中構造物の挙動に関する遠心モデル実
験3次元性の検討/大林組 [正] 田中 浩一・伊藤 悟郎・
菊地 裕
- Ⅶ-025 ハイパフォーマンスコンピューティングを用いた断層変位
評価手法に関する検討/大成建設 [正] 園部 秀明・羽場
一基・澤田 昌孝
- Ⅶ-026 断面修復したモルタルにおける界面の微細組織観察/電力
中央研究所 [正] 大塚 拓・松井 淳・審 浩年
- Ⅶ-027 女川原子力発電所軽油タンク基礎地下ピット化工事の設計・
施工について/東北電力 [正] 菊地 慶太・堀見 慎吾・伊
達 政直

Ⅶ-1 (西講義棟第1講義室) /9月12日(火)

■放射性廃棄物の処分技術(1) /9:00~10:20/矢込 吉則(東電設計)

- Ⅶ-028 地下空洞型処分施設機能確認試験の事業概要—地下空洞型
処分施設機能確認試験(その1) —/原環センター [正] 渥
美 博行・藤原 啓司・田中 正人

- Ⅶ-029 地下空洞型処分施設における機能確認の目的と位置付け—地下空洞型処分施設機能確認試験(その2)—/鹿島建設 [正] 佐々木 敏幸・藤原 啓司・渥美 博行
- Ⅶ-030 人工バリアの安全機能に対する影響因子の抽出—地下空洞型処分施設機能確認試験(その3)—/東電設計 [正] 矢込吉則・伊藤 喜広・関 健吾
- Ⅶ-031 FTA-ETA手法を用いた偏膨潤に着目した過程のシナリオ整理—地下空洞型処分施設機能確認試験(その4)—/大林組 [正] 丹生屋 純夫・渥美 博行・笹倉 剛
- Ⅶ-032 地下空洞型処分施設のモニタリングにおける光ファイバセンサー技術の適用性—地下空洞型処分施設機能確認試験(その5)—/鹿島建設 [正] 今井 道男・須山 泰宏・佐々木 敏幸
- Ⅶ-033 地下空洞型処分施設におけるセメント系材料の化学変質に関する一考察—地下空洞型処分施設機能確認試験(その6)—/鹿島建設 [正] 高浦 雄貴・取違 剛・関 健吾
- Ⅶ-034 ベントナイト混合土の沈下挙動に関する検討/東電設計 [正] 伊藤 喜広・鈴木 康正・千々松 正和
- Ⅶ-035 埋め戻し用充填材料の試作(その2)—ベントナイトペレット製造の合理化—/大林組 [正] 森 拓雄・棚井 憲治・深谷 正明

■放射性廃棄物の処分技術(2) /10:40~12:00/ 沖原 光信(清水建設)

- Ⅶ-036 地層処分場 地下施設の排水設備の設計方法の検討(その1)—排水設備の合理的な設計体系の整備—/原子力発電環境整備機構 [正] 窪田 茂・野尻 慶介・鈴木 覚
- Ⅶ-037 地層処分場 地下施設の排水設備の設計方法の検討(その2)—簡易な湧水量算定式の開発—/原子力発電環境整備機構 [正] 野尻 慶介・鈴木 覚・窪田 茂
- Ⅶ-038 地層処分場 地下施設の換気システムの設計方法の検討(その1 平常時の検討)/原子力発電環境整備機構 [正] 勝又 尚貴・山品 和久・窪田 茂
- Ⅶ-039 地層処分場 地下施設の換気システムの設計方法の検討(その2 火災時の検討)/清水建設 [正] 沖原 光伸・黒崎 ひろみ・戸栗 智仁
- Ⅶ-040 ベントナイトの基礎的特性に関する比較検討/原子力発電環境整備機構 [正] 山本 陽一・後藤 考裕・窪田 茂
- Ⅶ-041 大型振動ローラを用いたベントナイト混合土の材料変動による施工品質への影響/大林組 [正] 松田 武・浪岡 翔吾・矢込 吉則
- Ⅶ-042 大型振動ローラによるコンクリートピット上蓋躯体の健全性影響評価/大林組 [正] 原 朗・浪岡 翔吾・矢込 吉則
- Ⅶ-043 低レベル放射性廃棄物処分施設における難透水性覆土の品質評価方法に関する検討(その3)—平均的透水係数による簡易な品質評価方法の提案—/鹿島建設 [F] 森川 誠司・並川 正・浪岡 翔吾

Ⅶ-1 (西講義棟第1講義室) /9月13日(水)

■放射性廃棄物の処分技術(3) /9:00~10:20/ 渡邊 保貴

- (電力中央研究所)
- Ⅶ-044 TRU廃棄物処分におけるガス移行連成挙動評価手法の開発(その1)—緩衝材(ベントナイト・砂混合材料)の不飽和せん断強度特性—/大林組 [正] 山本 修一・志村 友行・古賀 和正
- Ⅶ-045 TRU廃棄物処分におけるガス移行連成挙動評価手法の開発(その2)—界面を有する緩衝材(圧縮ベントナイト)供試体のガス移行試験(その2)—/大林組 [正] 高橋 真一・古賀 和正・志村 友行
- Ⅶ-046 TRU廃棄物処分におけるガス移行連成挙動評価手法の開発(その3)—界面を有する充填材(モルタル系材料)供試体のガス移行試験—/大林組 [正] 志村 友行・鈴木 健一郎・西村 政展
- Ⅶ-047 TRU廃棄物処分におけるガス移行連成挙動評価手法の開発(その4)—ガス移行評価シナリオの拡張に関する検討(ガス影響に係るシナリオの整理)—/mcm [F] 河村 秀紀・古賀 和正・大和田 仁
- Ⅶ-048 高密度ベントナイトペレットの試験製造/大成建設 [正] 本島 貴之・磯 さち恵・八尋 英恵
- Ⅶ-049 誘電率計を用いたベントナイトペレット充填密度計測試験/大成建設 [正] 八尋 英恵・本島 貴之・磯 さち恵
- Ⅶ-050 ウォータージェットを用いたベントナイト充填材除去技術の検討/大成建設 [正] 磯 さち恵・本島 貴之・八尋 英恵
- Ⅶ-051 除荷過程におけるベントナイトの膨潤挙動に関する一考察/電力中央研究所 [正] 渡邊 保貴

■放射性廃棄物の処分技術(4) /10:40~12:00/ 山田 淳夫(安藤・間)

- Ⅶ-052 放射性廃棄物処分場における施工管理方法(その1非破壊密度測定による管理)/安藤ハザマ [正] 小栗 光・永井 裕之・山田 淳夫
- Ⅶ-053 放射性廃棄物処分場における施工管理方法(その2.3Dレーザー測量による高さ管理)/安藤・間 [正] 田嶋 宏之・荻原 績・千々松 正和
- Ⅶ-054 地層処分施設内における温度・密度変化を考慮したベントナイト緩衝材の力学特性/福島工業高等専門学校 [学] 武藤 尚樹・金澤 伸一・林 久資
- Ⅶ-055 地層処分施設内における温度変化を考慮したベントナイト緩衝材の膨潤特性/福島工業高等専門学校 [学] 市川 希・金澤 伸一・林 久資
- Ⅶ-056 ベントナイト原鉱石の固結が高圧圧密実験による透水係数測定に及ぼす影響/早稲田大学 [学] 伊藤 大知・小峯 秀雄・諸留 章二
- Ⅶ-057 難透水性覆土の施工後品質測定における簡易手法による乾燥密度測定と補正に関する検討/安藤ハザマ [正] 山田 淳夫・永井 裕之・千々松 正和
- Ⅶ-058 光ファイバ熱伝導率計の計測範囲の実験的評価/Nagra [正] 榊 利博・Firat-Luthi Berrak・Vogt Tobias

■放射性廃棄物の処分技術・災害廃棄物処理 /15:20~16:40/

- 千野 裕之(大林組)
- Ⅶ-059 災害廃棄物処理計画の策定支援を目的とした災害廃棄物収集運搬モデルの提案/和歌山大学 [学] 坂口 直也・田内 裕人・江種 伸之
- Ⅶ-060 南海トラフ地震を想定した和歌山県下での災害廃棄物予測と一次仮置きに関する検討/和歌山工業高等専門学校 [学] 橋本 誠悟・鶴巻 峰夫
- Ⅶ-061 大規模災害における地域特性を考慮した積み上げ方式の災害廃棄物発生量予測/応用地質 [正] 谷 枝里子・山口 和範・奥岡 桂次郎
- Ⅶ-062 SfMによる3Dデータを用いた除染廃棄物仮置場キャッピングシートの破損危険度評価/九州大学 [学] 木村 恭之・中山 裕文・島岡 隆行
- Ⅶ-063 ポリイオンコンプレックスによる土砂の流出抑制に関する試験/大林組 [F] 千野 裕之・宮岡 修二・長縄 弘親
- Ⅶ-064 超重泥水のガンマ線遮蔽性能に関するスペクトル分析とエネルギ依存性評価/早稲田大学 [学] 吉川 絵麻・小峯 秀雄・後藤 茂
- Ⅶ-065 浅地中処分施設における難透水性覆土の施工技術の高度化に関する検討/安藤ハザマ [正] 千々松 正和・山田 淳夫・永井 裕之

Ⅶ-2 (西講義棟第2講義室) /9月11日(月)

■埋立処分場管理(1) /9:00~10:20/ 関戸 知雄(宮崎大学)

- Ⅶ-066 遮水シート熱融着作業の施工管理方法に関する実験的考察(その2)/大成建設 [正] 海老原 正明・小松 寛・美斉津 宏史
- Ⅶ-067 自己修復機能を有するアスファルト系シートのAML工法への適用検討2/大林組 [F] 柴田 健司・日笠山 徹巳・諸留 章二
- Ⅶ-068 埋立地法面部の応力Ratcheting現象による遮水シート引込力・変形挙動の評価/神奈川県 [正] 遠藤 清亮・田口 雅文
- Ⅶ-069 廃棄物最終処分場埋立地内を分断する鉛直遮水工及び大口径揚水井戸の設置について/東急建設 [正] 有田 剛・笠谷 政仁・椿 雅俊
- Ⅶ-070 管理型海面処分場における底面粘性土層の遮水性を確保した杭打設工法/近畿地方整備局 [正] 稲田 雅裕・水谷 崇亮・宮原 祐二
- Ⅶ-071 高針入度アスファルトを用いたアスファルトマスタックの変形追従性評価/海洋アスファルト工法研究会 [正] 岡本 信人・井澤 克則・和木 多克

■埋立処分場管理(2) /10:40~12:00/ 朝倉 宏(長崎大学)

- Ⅶ-072 管理型海面処分場の浸出水pHに影響を与える廃棄物品目/東洋建設 [正] 山崎 智弘・HEM Ramrav・角田 紘子
- Ⅶ-073 都市ごみ焼却灰からの細粒子区分離去による海面処分場の早期安定化に関する研究/九州大学 [学] 大西 一馬・梶野 友貴・小宮 哲平
- Ⅶ-074 O2UF水の水散による埋立廃棄物の安定化促進に関する基礎的研究/九州大学 [学] 三木 公輔・小宮 哲平・島岡 隆行
- Ⅶ-075 一般廃棄物焼却残渣固化式処分場の地震時挙動に関する研究/安藤ハザマ [正] 西尾 竜文・三反畑 勇・島岡 隆行

- Ⅶ-076 「不適正な最終処分場」における廃棄物の掘削・選別・埋立に関する施工実績/鹿島建設 [正] 阿部 雅弘・西村 吉央・三田 一成
- Ⅶ-077 焼却残渣主体埋立廃棄物からの水素ガス発生特性及び発生促進に関する研究/九州大学 [学] 松尾 翼・小宮 哲平・中山 裕文
- Ⅶ-078 浸出水処理における濃縮・乾燥工程の低炭素・低コスト化技術/鹿島建設 [正] 間宮 尚・岡部 元宣・古野 間達

■循環資源・リサイクル/15:20~16:40/渡辺 亮一(福岡大学)

- Ⅶ-079 都市ごみ焼却主灰のセメント資源化に関する一考察/首都大学東京 [正] 荒井 康裕・小泉 明・稲貝 とよの
- Ⅶ-080 海水掛け流し試験による未焼成貝殻砕粉を配合したフライアッシュ固化物の材料物性評価/電力中央研究所 [正] 日恵井 佳子・今村 正裕・小林 卓也
- Ⅶ-081 附着藻類の変化にみる貝殻含有フライアッシュ固化物の生物親和性/電力中央研究所 [正] 今村 正裕・本多 正樹・日恵井 佳子
- Ⅶ-082 使用済み瓦の物性およびコンクリート用骨材への適用/名古屋工業大学 [学] 欧陽 笛雲・上原 匠・加藤 潤一郎
- Ⅶ-083 微粉碎及び減圧処理による一般廃棄物焼却灰からの水素ガス発生促進効果の検討/九州大学 [学] 三宅 雅靖・小宮 哲平・島岡 隆行
- Ⅶ-084 木質燃焼灰の肥料原料としての利用に関する調査/大林組 [正] 田島 孝敏・大島 義徳・千野 裕之
- Ⅶ-085 盤改良を必要とする地盤にクリンカアッシュを混合した場合の影響評価/東京電力ホールディングス [正] 古川 園健朗・後藤 利博・黒羽 陽一郎

■バイオレメディエーション/17:00~18:20/奥津 徳也(栗田工業)

- Ⅶ-086 Rhodococcus jostii RHA1株を用いる塩素化エチレン類汚染地下水の浄化実証試験(その1)/大成建設 [正] 伊藤 雅子・渡邊 亮哉・高畑 陽
- Ⅶ-087 Rhodococcus jostii RHA1株を用いる塩素化エチレン汚染地下水の浄化実証試験(その2)/大成建設 [正] 渡邊 亮哉・伊藤 雅子・高畑 陽
- Ⅶ-088 Rhodococcus jostii RHA1株を用いる塩素化エチレン類汚染地下水の浄化実証試験(その3)/大成建設 [正] 高畑 陽・渡邊 亮哉・伊藤 雅子
- Ⅶ-089 セレン酸還元細菌Pseudomonas stutzeri NT-I株によるセレン酸汚染土壌のバイオレメディエーション/芝浦工業大学 [正] 大塚 治・堀池 巧・山下 光雄
- Ⅶ-090 バイオレメディエーション中の炭化水素分解菌の活性維持に関する検討/熊谷組 [正] 佐々木 静郎・久保 幹・門倉 伸行
- Ⅶ-091 ランドファーム工法の攪拌頻度を最適化するための実験的検討/熊谷組 [正] 河村 大樹・佐々木 静郎・門倉 伸行
- Ⅶ-092 難透水層及び透水層からなる多層地盤のVOC汚染へのバイオ浄化技術の適用/大林組 [正] 緒方 浩基・西田 憲司・宮崎 隆洋
- Ⅶ-093 ヒドリドリオン水から水素生成菌の増殖度と水素生成能/呉工業高等専門学校 [正] 及川 栄作・及川 胤昭

Ⅶ-2 (西講義棟第2講義室) /9月12日(火)

■モニタリング・解析(水質・生態系) /9:00~10:20/伊豫岡 宏樹(福岡大学)

- Ⅶ-094 下水処理放流水の流下に伴う水・底質環境への影響調査/佐賀大学 [正] 山西 博幸・大石 京子・前田 優斗
- Ⅶ-095 2016/17年インフルエンザシーズンにおける河川中のタミフルおよびタミフル代謝物濃度について/大阪産業大学 [正] 高浪 龍平・濱崎 竜英・尾崎 博明
- Ⅶ-096 大分県芦川ダム貯水池に堆積する底泥による水質への影響の検討/大分工業高等専門学校 [学] 河野 洋輝・横田 恭平
- Ⅶ-097 東洋大学川越キャンパス周辺における浅井戸の地下水質と降雨の関係/東洋大学 [学] 櫻井 龍太郎・青木 宗之・小野 晶雄
- Ⅶ-098 新名神高速道路(大阪府域)トンネル施工時における水環境保全への取組み/西日本高速道路 [正] 野田 翼・三井 邦弘・志田 侑士郎
- Ⅶ-099 環境DNAを用いた海草・サンゴのモニタリングに向けた一検討/大成建設 [正] 赤塚 真依子・高山 百合子・伊藤 一教
- Ⅶ-100 中海における主要微生物の生息状況と栄養塩変動との相関/松江工業高等専門学校 [学] 橋田 一輝・山口 剛士・武邊 勝道
- Ⅶ-101 汽水湖でのアサリ再生に向けた環境調査/大林組 [正] 大島 義徳・藤井 雄太・大谷 考一

■水環境モデリング・水質浄化技術/10:40~12:00/尾崎 博明

(大阪産業大学)

- Ⅶ-102 湖沼水質保全に係る政策評価のための汚濁解析モデルに関する検討/日水コン [正] 川口 智哉・安藤 哲也・久保 朱里
- Ⅶ-103 都市域における汚濁負荷流出と河川水質変化の数値解析/中部大学 [正] 武田 誠・村瀬 将隆・陳 怡琳
- Ⅶ-104 農地還元可能なリン酸除去材による水質浄化の基礎的検討/大林組 [正] 藤井 雄太・大島 義徳
- Ⅶ-105 鉄イオン溶出による河川等のリン削減に関する大型実証試験/復建調査設計 [F] 福田 直三・丸山 健吉・遠藤 茂
- Ⅶ-106 長洲町干潟における干潟浄化剤(フルボ酸鉄シリカ)による浄化効果の検証/福岡大学 [正] 渡辺 亮一・浜田 晃規・古賀 雅之
- Ⅶ-107 原位置固化処理による底泥からの溶出抑制効果の検討/大林組 [正] 西川 直仁・左合 靖樹・大西 健司
- Ⅶ-108 熱硝酸酸化竹炭のセシウムイオン吸着における最適な賦活処理条件の解明/九州大学 [学] 豊原 悠作・久場 隆広・シャジャラル カンダカー
- Ⅶ-109 有機高分子ゲルを外部電子供与体とした元位置脱窒浄化法/前橋工科大学 [学] 長谷川 僚・田中 恒夫・唐 文軒

Ⅶ-2 (西講義棟第2講義室) /9月13日(水)

■環境影響評価/9:00~10:20/横田 樹広(東京都大)

- Ⅶ-110 環境影響評価における新しい調査手法の試み:環境DNAを用いたヒメタイコウチ生息場の推定/パシフィックコンサルタンツ [正] 小菅 敏裕・土居 秀幸・片野 泉
- Ⅶ-111 環境影響評価における新しい調査手法の試み(環境DNAを用いたニホンザリガニ・ウチダザリガニ生息場の推定)/パシフィックコンサルタンツ [正] 池田 幸資・土居 秀幸・照井 滋晴
- Ⅶ-112 哺乳類の生息状況確認調査における次世代シーケンサーを用いた糞DNAによる種判別の試み/パシフィックコンサルタンツ [正] 石井 宏章・三塚 多佳志・池田 幸資
- Ⅶ-113 ドローンを用いたタンチョウモニタリング調査について/パシフィックコンサルタンツ [正] 漆原 強・山田 浩行・池田 幸資
- Ⅶ-114 音声解析ソフトを用いたシマフクロウ(Ketupa blakistoni)生息状況調査について/パシフィックコンサルタンツ [正] 小林 功・山田 浩行・池田 幸資
- Ⅶ-115 凍結防止剤散布に伴う飛散塩分調査手法の検討/西日本高速道路エンジニアリング中国 [正] 柳迫 新吾
- Ⅶ-116 吉野川河口域における橋梁建設に伴う環境保全の取組み/西日本高速道路 [正] 今村 社宏・松尾 祐典・藤田 真人
- Ⅶ-117 インドネシア共和国アウ州島嶼域における海岸侵食の現状/山口大学 [学] 香川 拓輝・山本 浩一・Muhammad Haidar

■環境創造・ピオトープ/10:40~12:00/川原田 圭介

(西日本高速道路)

- Ⅶ-118 生物多様性オフセットに関する事例検討/電源開発 [正] 鳥羽瀬 孝臣
- Ⅶ-119 生物多様性に貢献する群集マットの開発/大成建設 [正] 渡邊 篤・西野 文貴・鈴木 菜々子
- Ⅶ-120 現地土壌を活かした溜池・湿地環境保全の試み/大成建設 [正] 渡邊 千佳子
- Ⅶ-121 寒冷地における生態系再生コアとしてのエコスタックの長期機能検証/鹿島建設 [正] 越川 義功・高山 晴夫・山脇 健治
- Ⅶ-122 生残率と成長を向上させるカワニナ飼育装置の検討/鹿島建設 [正] 林 文慶・中村 華子・大野 貴子
- Ⅶ-123 ホタルピオトープにおけるカワニナの生息密度/鹿島建設 [正] 大野 貴子・高砂 裕之・林 文慶
- Ⅶ-124 ニホンザリガニの生息場創出と効果検証/パシフィックコンサルタンツ [正] 尾籠 健一・池田 幸資・田中 学
- Ⅶ-125 三者共生環境に配慮したキンラン領域の移植適地選定手法の開発/清水建設 [正] 渡部 陽介・米村 惣太郎・平野 亮将

■地域環境計画・管理/15:20~16:40/田中 周平(京都大学)

- Ⅶ-126 タイ・バンコク近郊工業団地立地地域における農地・空閑地の立地特性と水管理状況の把握/東京都大 [正] 横田 樹広
- Ⅶ-127 復興まちづくり支援を目的とした分野横断型の社会実装研究の事例/国立環境研究所 [正] 平野 勇二郎・中村 省吾・五味 馨
- Ⅶ-128 環境配慮型ガラスパーキングに関する大型車両による繰返し輪荷重試験/竹中道路 [正] 國松 俊郎・榎尾 健・佐久間 譲

- Ⅶ-129 新名神高速道路(大阪府域)自然環境保全に対する取組み／西日本高速道路 [正] 川村 祐次・三井 邦弘・志田 佑士郎
- Ⅶ-130 オギ原再生のためのオギの移植方法に関する試み／東急建設 [正] 金内 敦・柴野 一則・佐藤 たくみ
- Ⅶ-131 北海道の切土法面コンクリート法枠におけるつる植物・低木を用いた緑化手法／パシフィックコンサルタンツ [正] 野手 啓行・池田 幸資・宇高 勝美
- Ⅶ-132 路地における鉢植えの小さな緑の可能性と課題／佛教学大 [正] 水上 象吾
- Ⅶ-133 衛星リモートセンシングによる植栽維持管理技術に関する検討／西日本高速道路エンジニアリング四国 [正] 中野 敬浩・松田 靖博・宇野 久水

Ⅶ-3 (西講義棟第3講義室) / 9月11日(月)

■環境システム・環境計画 / 9:00~10:20 / 山田 百合子

(北九州市立大学)

- Ⅶ-134 河川管理上発生する植物資源の利活用に対する地域住民の意識調査／土木研究所 [正] 大寄 真弓・萱場 祐一
- Ⅶ-135 仮想的市場評価法(CVM)を用いた観光客の便益評価に関する考察／日本工営 [正] 舟越 善隆・国峯 紀彦・今井 素生
- Ⅶ-136 アジアの環境政策について～東南アジアの環境法政策を中心に～／陽明福祉会 [正] 佐島 静夫・野口 政明・下池 季樹
- Ⅶ-137 建設発生土の官民有効利用の試行マッチング制度活用結果報告／大成建設 [正] 内田 泰彦・原田 聖司・大田 健二
- Ⅶ-138 インドネシア・チマスク川流域の村民の水利用実態に関する調査／筑波大学 [学] 住谷 航大・松本 美紀・山岡 聡
- Ⅶ-139 環境モデル都市における削減目標達成率の事業別要素ごとの比較／東洋大学 [学] 大塚 章吾・村野 昭人
- Ⅶ-140 家庭系ごみ排出量に影響する要因の都市規模ごとの比較／東洋大学 [学] 色川 拓斗・村野 昭人
- Ⅶ-141 4d-GISを用いたマテリアルストックフロー分析一名古屋市中心部におけるケーススタディー／パシフィックコンサルタンツ [正] 青柳 淳之介・奥岡 桂次郎・杉本 賢二

■都市環境・エネルギー / 10:40~12:00 / 小林 功

(パシフィックコンサルタンツ)

- Ⅶ-142 積雪寒冷地におけるバイオガスプラントの余熱利用の経済性・環境性評価～北海道鹿追町環境保全センターにおける事例を対象として～／日本大学 [正] 田島 洋輔
- Ⅶ-143 北海道における地熱・温泉熱の活用に向けた課題把握／パシフィックコンサルタンツ [正] 森元 愛和・宮崎 栄一郎・佐竹 宗徳
- Ⅶ-144 温泉熱融通システム構築とバイナリー発電による環境と経済の効果について／和歌山工業高等専門学校 [正] 鶴巻 峰夫・佐藤 涼祐・吉田 登
- Ⅶ-145 太陽熱と蓄熱材融合による熱エネルギー活用システムの開発／北九州市立大学 [正] 山田 百合子・伊藤 洋・松尾 祐介
- Ⅶ-146 メガソーラの故障劣化診断技術の開発／鹿島建設 [正] 新海 貴史・塩谷 正樹・土谷 学
- Ⅶ-147 小水力発電の変遷と開発可能性／宇都宮大学 [学] 鈴木 啓介・山岡 暁・松本 美紀
- Ⅶ-148 水辺の建物を考慮した風・熱環境改善効果に関する研究／法政大学 [学] 白井 晴佳・福田 勝己・宮下 清栄
- Ⅶ-149 雨水タンクおよび雨庭の実装によるグリーンインフラの多面的機能の検証／福岡大学 [正] 浜田 晃規・渡辺 亮一・島谷 幸宏

■大気水環境・騒音振動(1) / 15:20~16:40 / 前田 章(大林組)

- Ⅶ-150 高架橋の違いが鉄道振動へ与える影響の数値シミュレーションを用いた検討／鉄道総合技術研究所 [正] 野寄 真徳・横山 秀史・三橋 祐太
- Ⅶ-151 模型供試体の加振試験による高減衰スラブ軌道の振動特性に関する基礎的検討／鉄道総合技術研究所 [正] 瀧上 翔太・高橋 貴蔵・渡辺 勉
- Ⅶ-152 三次元数値解析モデルによる高速走行時の高減衰スラブ軌道の地盤振動特性／鉄道総合技術研究所 [正] 渡辺 勉・瀧上 翔太・野寄 真徳
- Ⅶ-153 橋脚基礎形状が地盤振動伝播に及ぼす影響に関する模型実験／JR東日本 [正] 金田 淳・石井 武司・豊田 浩史
- Ⅶ-154 地盤振動に関する模型実験の数値解析／中央大学 [正] 石井 武司・金田 淳・池本 宏文
- Ⅶ-155 高架橋の伸縮装置前後の路面凹凸の低周波音への影響に関する研究／オリエンタルコンサルタンツ [正] 平栗 昌明・大竹 省吾・中村 一史
- Ⅶ-156 3次元地盤モデル解析による建設重機走行時の加振力推定／飛鳥建設 [正] 小林 真人・岩根 康之・佐藤 和熙

■大気水環境・騒音振動(2) / 17:00~18:20 / 齋藤 邦夫(中央大学)

- Ⅶ-157 音響管付二重防音壁の現場実証試験結果／大林組 [正] 前田 章・本田 泰大・宮岡 修二
- Ⅶ-158 騒音対策としての下部覆工の最適構造の検討／西日本旅客鉄道 [正] 富田 佳孝・猿渡 隆史
- Ⅶ-159 簡易な騒音抑制対策の組合せによるディーゼルエンジン音抑制装置の検討／日本車輛製造 [正] 山田 尚之・神頭 峰磯・梁瀬 和哉
- Ⅶ-160 シールド工事に伴う水中音および海底振動の周辺環境への影響／東亜建設工業 [正] 田中 ゆう子・山田 尚輝・三浦 正治
- Ⅶ-161 温排水拡散分布調査法に関する一提案／中国電力 [正] 梶田 拓志・斎藤 直・高田 英明
- Ⅶ-162 東大阪市における大気中多環芳香族炭化水素類の動態に関する研究／近畿大学 [学] タイ 偉航・嶋津 治希
- Ⅶ-163 統計モデルを用いた東大阪市の大気中有機リン酸トリエステルの濃度推定／近畿大学 [学] 井上 大河・嶋津 治希

Ⅶ-3 (西講義棟第3講義室) / 9月12日(火)

■土壌・地下水汚染 / 9:00~10:20 / 根岸 昌範(大成建設)

- Ⅶ-164 水溶性セレンを対象とした新規吸着剤の開発／清水建設 [正] 隅倉 光博・森 裕樹・毛利 光男
- Ⅶ-165 新規吸着剤による自然由来の水溶性セレンの除去／清水建設 [正] 毛利 光男・隅倉 光博・設楽 和彦
- Ⅶ-166 酸化鉄スラリーを用いた汚染拡散防止壁の現場適用事例／大林組 [正] 佐藤 祐輔・細江 輝彦・西田 憲司
- Ⅶ-167 建屋直下における重金属汚染土壌・地下水対策を目的とした薬剤注入例／大林組 [F] 西田 憲司・三浦 俊彦・日笠 山 徹巳
- Ⅶ-168 地下水循環による浄化技術の実現性に関する解析検討／鹿島建設 [正] 伊藤 圭二郎・酒井 学・河合 達司
- Ⅶ-169 ドレーン工法を用いた油回収に関する検討／鹿島建設 [正] 大塚 誠治・河合 達司・三成 昌也

■土壌・地下水汚染(分析修復技術) / 10:40~12:00 / 伊藤 圭二郎

(鹿島建設)

- Ⅶ-170 埋設物を損傷させない削孔技術の開発(その1)ーコンクリート中の埋設物を損傷させない削孔技術ー／大林組 [正] 嶽本 政宏・森 拓雄・土井 暁
- Ⅶ-171 埋設物を損傷させない削孔技術の開発(その2)ー土壌汚染の調査時にコンクリート中の埋設物を損傷させないコア削孔技術ー／大林組 [正] 佐波 弘一朗・土井 暁・沼崎 孝義
- Ⅶ-172 埋設物を損傷させない削孔技術の開発(その3)ー土壌や改良土を対象とした埋設物を損傷させないドリル削孔技術ー／大林組 [F] 岡本 英靖・森 拓雄・土井 暁
- Ⅶ-173 既存の塩移動数値モデルと湛水塩収支式を利用した水田からの溶出塩量評価／住化分析技術(上海)有限公司 [正] 仇 啓濤・福原 輝幸・寺崎 寛章
- Ⅶ-174 鉄粉の帯水層中における長期反応性に関する検討／大成建設 [正] 根岸 昌範
- Ⅶ-175 原位置浄化における地下水モニタリング中の地下水基準不適合に対する対応事例／大林組 [正] 福武 健一・緒方 浩基・西田 憲司

Ⅶ-3 (西講義棟第3講義室) / 9月13日(水)

■下水道・資源循環 / 9:00~10:20 / 山田 剛史(豊橋技術科学大学)

- Ⅶ-176 CTC法とDNAアプターを用いたアンモニア酸化細菌の簡易的蛍光検出法の開発／豊橋技術科学大学 [学] 萩原 達也・山田 剛史・川上 周司
- Ⅶ-177 硝化細菌叢及び亜酸化窒素生成能に及ぼす攪拌工程における一酸化窒素曝露の影響／日本大学 [学] 赤城 大史・齋藤 齋藤・小沼 晋
- Ⅶ-178 培養法と分子生物学的手法を用いた好気処理汚泥内における微生物群集構造解析とパチルス属細菌数の調査／長岡技術科学大学 [学] 金子 知世・野沢 和穂・幡本 将史
- Ⅶ-179 ウキク亜科植物を用いた下水処理水からのバイオエネルギー生産／東北大学 [学] 岩野 寛・久保田 健吾・玉木 秀幸
- Ⅶ-180 日本最大級の食品廃棄物メタン発酵処理施設建設における改善検討(第一報)ー霧島酒造(株)志比田工場焼酎粕リサイクルプラント工事で得た事例報告ー／鹿島建設 [正] 原田 淳・多田 羅 昌浩・石川 一真
- Ⅶ-181 下水処理場への複合バイオオマスの受入れと混合メタン発酵処理の取組み／鹿島建設 [正] 阿部 芳久・菅野 一敏・亀谷 美智康

- Ⅶ-182 ランダムサンプリング手法による下水管渠の状態推定とコスト削減効果/日本大学 [正] 保坂 成司・Tait Simon
 Ⅶ-183 荷重時の沈下率とCO₂発生速度による堆肥の完成度の判定方法の検討/五洋建設 [正] 能田 哲治・浜谷 信介・中瀬 浩太

■嫌気性処理/10:40~12:00/多田 羅 昌浩(鹿島建設)

- Ⅶ-184 ポリ乳酸を処理する高温嫌気性消化リアクターの微生物群集構造と乳酸酸化細菌の解析/豊橋技術科学大学 [正] 山田 剛史・萩原 達也・成廣 隆
 Ⅶ-185 UASBリアクターによる電子産業排水処理のスタートアップ/岐阜工業高等専門学校 [学] 浦崎 幹一郎・角野 晴彦・段下 剛志
 Ⅶ-186 下水を有機源としたUSBリアクターによるグラニュール形成と脱窒反応に関する微生物の解析/長岡技術科学大学 [学] 大峯 隆徳・幡本 将史・山口 隆司
 Ⅶ-187 18S rRNA遺伝子情報を用いた都市下水を処理するUASB槽及び活性汚泥における原生動物群集解析/長岡技術科学大学 [学] 平片 悠河・幡本 将史・山口 隆司
 Ⅶ-188 嫌気的硫黄酸化反応が発生したUASBリアクター保持汚泥中の微生物群集構造の解析/長岡技術科学大学 [学] 内田 翔太・幡本 将史・山口 隆司
 Ⅶ-189 阻害物除去にバイオガスを利用可能な新規嫌気処理リアクターの開発/国立環境研究所 [正] 小野寺 崇・珠坪 一晃・水落 元之
 Ⅶ-190 嫌気性廃水処理汚泥に生息するWWE1門細菌の利用基質の推定と分離の試み/長岡技術科学大学 [学] 野沢 和穂・幡本 将史・山口 隆司

- Ⅶ-191 高感度FISH法を用いた水処理装置内の未培養微生物の視覚的検出/松江工業高等専門学校 [学] 岡崎 祐輝・山口 剛士・中野 淳

■用排水システム/15:20~16:40/川又 睦(大成建設)

- Ⅶ-192 MBR負荷変動時における処理水質および微生物叢の変化/長岡技術科学大学 [学] 石田 孝弥・幡本 将史・山口 隆司
 Ⅶ-193 中空糸膜を用いた膜分離活性汚泥法におけるオゾン水洗淨のファウリング抑制効果の検討/東京都市大学 [学] 佐々木 敬成・中村 康大・長岡 裕
 Ⅶ-194 有機高分子ゲルからのTOC成分の溶出/前橋工科大学 [学] 高橋 駿平・田中 恒夫・唐 文軒
 Ⅶ-195 培養液循環利用による藻類培養の検討/大林組 [正] 山本 縁・大島 義徳・千野 裕之
 Ⅶ-196 DHSリアクターにおける嫌気的メタン酸化脱窒反応による亜酸化窒素発生量の評価/長岡技術科学大学 [学] 津場 大輔・山口 隆司・幡本 将史
 Ⅶ-197 一槽式アナモックスリアクタによる実廃水からの窒素除去/鹿島建設 [正] 多田 羅 昌浩・柴田 晴佳・上野 嘉之
 Ⅶ-198 嫌気性固定床法とDHS法を用いた食堂厨房油脂排水処理に関する研究/高知高専 [学] 畠中 亮子・松浦 拓実・山崎 慎一
 Ⅶ-199 染色廃水を処理するDHSリアクターの処理性能評価と微生物群集構造/長岡技術科学大学 [学] 秦 裕弥・幡本 将史・山口 隆司

共通セッション

CSの1会場(総合学習プラザ第5講義室) / 9月11日(月)

■International session国際セッション(1) / 9:00~10:20 / 大槻 順朗(土木研究所)

- CS2-001 Spatial distributions of NDVI and NDWI for Onigi rice terrace in Hasami using UAV/長崎大学 [学] 谷口 幸弥・日高 悠広・小川 進
 CS2-002 Application to Photogrammetry of Automatic Navigation for UAV/長崎大学 [学] 日高 悠広・小川 進・谷口 幸弥
 CS2-003 RIVERBED DEGRADATION IN MIXED ALLUVIAL-BEDROCK CURVING CHANNELS/北海道大学 [正] コウチニョ デリマ アドリアーノ・田口 真矢・泉 典洋
 CS2-004 Ecosystem-based Disaster Risk Reduction using a Coastal Lagoon/埼玉大学 [学] タルベリ ヤナゲ チャナカ ヴィノッド・田中 規夫
 CS2-005 SIMULATING HYDROLOGICAL RESPONSE OF SNOW AND GLACIER MELT AND ESTIMATING FLOOD PEAK DISCHARGE IN SWAT VALLEY RIVER BASIN/Pakistan Meteorological Department [正] Muhammad Gul・Mohamed Rasmy・津田 守正
 CS2-006 Trans boundary flood forecasting through downscaling of global weather forecast and hydrological model simulation/Pakistan Meteorological Department [正] Jamal Habib・津田 守正・牛山 朋来
 CS2-007 TWO-LAYER HYDROSTATIC FLOW MODEL IN A HORIZONTAL RECTANGULAR DUCT/京都大学 [学] イブラヒム アハメド・細田 尚・バシリ ハミド
 CS2-008 STUDY ON NUMERICAL SIMULATION APPROACHES FOR SLOSHING IN RECTANGULAR WATER POOLS UNDER SEISMIC EXCITATION/TAISEI CORPORATION [正] MANAWASEKARA CHATHURA・織田 幸伸・本田 隆英

■International session国際セッション(5) / 10:40~12:00 / Giancarlo TRONCOSO PARADY (東京大学)

- CS2-033 COMMUNITY ROAD SAFETY RESULTING FROM THE INTRODUCTION OF BIG DATA ANALYSIS AND FIELD EXPERIMENTATION/国土交通省 [正] 安部 勝也・上田 晴気・今村 直人
 CS2-034 Investigating the effects of off-street parking information provision system in motorists' parking choice behavior/宮崎大学 [学] ナセリー モハマドエムラン・嶋本 寛

- CS2-035 Evaluation of Punctuality in Fixed Route Bus by Using Simulation/日本大学 [学] 橋本 諒平・福田 敦・石坂 哲宏
 CS2-036 APPLICATION OF VEHICLE SPECIFIC POWER MODEL TO MICRO TRAFFIC SIMULATION/日本大学 [学] 峰岸 達也・石坂 哲宏
 CS2-037 Strategies for improving communication and support for foreign residents and tourists in Sapporo, Hokkaido/北海道大学 [学] 高橋 亮介・ヘンリー マイケル
 CS2-038 ESTIMATION OF URBAN COMPACT INDEXES IN THE THREE CITIES OF SOUTHEAST ASIA—CASE STUDY OF KHON KAEN, VIENTIANE AND DA NANG—/日本大学 [学] 中川 康也・菊池 治紀・石坂 哲宏
 CS2-039 Evaluation of Policy Scenarios by Using MARS Model in Mueang Khon Kaen, Thailand/日本大学 [学] 瀧川 大樹・菊池 浩紀・福田 敦
 CS2-040 THE INFLUENTIAL FACTORS IN PAYING COMPENSATION DURING LAND ACQUISITION PROCESS OF AGRICULTURAL LANDS IN SRI LANKA HIGHWAYS/東京大学 [学] シルバー ヴィマルシヤ・小澤 一雅・Maemura Yu

■地下空間の多角的利用(1) / 15:20~16:40 / 尾崎 平(関西大学)

- CS4-001 CO₂マイクロバブル原位置小規模注入実験/大林組 [正] 鈴木 健一郎・竹村 貴人・濱本 昌一郎
 CS4-002 大谷採石地下空間の利用者安全意識と構造安定性/宇都宮大学 [正] 清木 隆文・岩城 笙・佐藤 大地
 CS4-003 地下管渠工事の社会的費用の算定に関する研究(その1)(外部費用の算定項目の検討) /アイレック技建 [正] 宮武 昌志・松本 亨・松永 浩
 CS4-004 地下管渠工事の社会的費用の算定に関する研究(その2)(外部費用の試算と工事費の比較評価の事例) /東京電力パワーグリッド [F] 松永 浩・宮武 昌志・松本 亨
 CS4-005 地下管渠工事の社会的費用の算定に関する研究(その3)(社会的費用による工事費の比較に関する一考察) /北九州市立大学 [正] 松本 亨・宮武 昌志・松永 浩
 CS4-006 地下空間の特徴と浸水時の人的被害防止策/京都大学 [F] 戸田 圭一・石垣 泰輔・尾崎 平
 CS4-007 地下駐車場氾濫時の水没車の漂流挙動と車抗力の時間変化に関する実験的研究/京都大学 [正] 岡本 隆明・本庄 佑馬・戸田 圭一

- 地下空間の多角的利用(2) / 17:00~18:20 / 岡本 隆明(京都大学)
- CS4-008 浸水時のドアからの安全な避難に関する一考察 / 京都大学 [正] 馬場 康之・石垣 泰輔・戸田 圭一
- CS4-009 降雨量の違いが地下空間浸水時の安全避難に与える影響について / 関西大学 [学] 黄 碧蕊・齋藤 千夏・尾崎 平
- CS4-010 外水氾濫時における地下鉄浸水及び減災対策に関する研究 / 関西大学 [学] 岡部 良治・石垣 泰輔・尾崎 平
- CS4-011 下水道管渠内水位情報を活用した大規模地下空間の浸水対策の検討 / 関西大学 [正] 尾崎 平・川口 徹矢・盛岡 通
- CS4-012 津波を対象とした名古屋の地下浸水に関する対策の検討 / 中部大学 [学] 中島 勇介・久納 匠・武田 誠
- CS4-013 洪水破堤を対象とした地下鉄を有する三大都市圏の浸水解析 / 中部大学 [学] 村瀬 将隆・中島 勇介・武田 誠

CSの1会場(総合学習プラザ第5講義室) / 9月12日(火)

- International session国際セッション(6) / 9:00~10:20 / 党紀 (埼玉大学)
- CS2-041 Evaluation of dew condensation of steel girder using weather data / 名古屋工業大学 [学] ラスリ ザビッホラ・永田 和寿
- CS2-042 EXPERIMENTAL STUDY ON THERMAL RUPTURE OF A TENSIONING STAY CABLE ELEMENT / 早稲田大学 [学] ホアン フー・清宮 理・安 同祥
- CS2-043 Fundamental study on Joint Strength of FRP plates using FRP bolt and Adhesive / 豊橋技術科学大学 [学] ファン ヴィエツ ニュット・松本 幸大・北根 安雄
- CS2-044 SERVICEABILITY LIMIT STATES FOR SLENDER STIFFENED STEEL PLATES UNDER AXIAL COMPRESSION: A PROBABILISTIC STUDY / 埼玉大学 [学] ラーマン マフムダ・奥井 義昭
- CS2-045 EVALUATION OF STATIC AND FATIGUE STRENGTH OF ADHESIVELY BONDED JOINTS / 首都大学東京 [学] タイ ウィサル・中村 一史・堀井 久一
- CS2-046 DIRECT AND INDIRECT OBSERVATIONS OF LOCAL DEFORMATION PROPERTIES OF SAND SPECIMEN IN UNDRAINED TORIONAL SHEAR TESTS / 東京大学 [学] チョウ チャン・古関 潤一
- CS2-047 Liquefaction Susceptibility of Volcanic Soil in Aso Caldera due to The 2016 Kumamoto Earthquake / 九州大学 [学] ワ オデ スマルティニーニ・ハザリカ ヘマンタ・國生 剛治

- International session国際セッション(8) / 10:40~12:00 / 全邦釘 (愛媛大学)
- CS2-055 Road Profile Estimation Based on Vehicle modelling and Kalman Filter / 東京大学 [学] 趙 博宇・長山 智則・蘇 迪
- CS2-056 Sensitivity Based Model Updating and Damage Detection of an Artificially Damaged Steel Truss Bridge / 京都大学 [正] 張 凱淳・Wanjala Richard・金 哲佑
- CS2-057 Bridge Health Monitoring System Based on Smart Devices in Takamatsu Bridge / 埼玉大学 [学] シャリス タアシシ・党紀・王 欣
- CS2-058 SCOUR DEPTH ASSESSMENT FOR BALANCED CANTILEVER BRIDGE / 埼玉大学 [学] チョウドリ ムハンマド シャネワズ イスラム・松本 泰尚・アミン サイフル
- CS2-059 Numerical study for railway track geometry estimation using Augmented State Kalman Filter / 東京大学 [学] シャ ガラジャン ジョシ・チョウ ボウユウ・蘇 迪
- CS2-060 Validation of Finite Element Model of Concrete-filled Steel Tubular (CFST) T-joint for Hot Spot Stress Calculation / 長崎大学 [学] 鄭 建・中村 聖三・奥松 俊博
- CS2-061 EXPERIMENTAL VALIDATION OF VEHICLE PARAMETER IDENTIFICATION FROM BRIDGE RESPONSES BY USING PARTICLE FILTER / 東京大学 [学] オウ コウキ・長山 智則・蘇 迪

CSの1会場(総合学習プラザ第5講義室) / 9月13日(水)

- 新設および大規模改修時における橋梁計画(1) / 10:40~12:00 / 今西 修久(エイト日本技術開発)
- CS3-001 整備新幹線における単純PC桁のたわみ測定結果と考察 / 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 [正] 西 恭彦・井上 翔・石川 太郎
- CS3-002 GFRP材料を適用した迂回路仮橋の計画及び事後評価 / 大日本コンサルタント [正] 一噌 真佐志・藤本 直也・萱沼 恵一

- CS3-003 阪神高速道路3号神戸線湊川付近における大規模更新事業の取組み状況 / 阪神高速道路 [正] 高田 佳彦・長澤 光弥・中村 雄基
- CS3-004 高度経済成長期に建設された関西圏における鋼橋の特徴 / 西日本高速道路 [正] 加藤 大樹・松井 隆行
- CS3-005 既設鋼桁橋の連続化・免震化設計 / NEXCO西日本コンサルタント [正] 吉田 直弘・塩畑 英俊・高嶋 卓造
- CS3-006 新設橋梁の長寿命化について / エイト日本技術開発 [正] 椛木 洋子

- 新設および大規模改修時における橋梁計画(2) / 15:20~16:40 / 吉田 直弘(NEXCO西日本コンサルタント)
- CS3-007 国道325号阿蘇大橋の復旧計画 / 長大 [正] 西村 一朗・山田 浩司・草道 香成
- CS3-008 常磐自動車道(いわき中央IC~広野IC) 4車線化事業における取組み / 東日本高速道路 [正] 古谷 嘉康・田中 嘉康
- CS3-009 常磐自動車道 大久川橋(Ⅱ期線)の計画 / 日本構造橋梁研究所 [正] 岡田 俊彦・花島 崇・古谷 嘉康
- CS3-010 800mスパンのバタフライウェブを有するエクストラードズド吊橋の設計に関する研究 / 三井住友建設 [正] 内堀 裕之・ヘン サルピソット・永元 直樹
- CS3-011 河川環境保全に配慮した淀川橋の橋梁計画 / 西日本高速道路 [正] 安里 俊則・繁富 剛・小山 雅己
- CS3-012 新東名高速道路矢作川橋における橋梁計画の検証に関する一考察 / 中日本高速道路 [F] 上東 泰・伊藤 康輔・山本 徹

CSの2会場(総合学習プラザ第6講義室) / 9月11日(月)

- International session国際セッション(3) / 9:00~10:20 / 中島 伸一郎(山口大学)
- CS2-017 Liquefaction analysis of damaged river embankment in 2011 Tohoku earthquake / 京都大学 [学] チェン リー・木元 小百合
- CS2-018 COMPARISON OF SILICA SAND BEHAVIOUR UNDER REPEATED LIQUEFACTION USING SHAKE TABLE AND TRIAXIAL TEST / 東京大学 [学] テバラ クサジラット・古関 潤一
- CS2-019 ESTIMATION OF SMALL STRAIN STIFFNESS BEHAVIOR OF SAND USING PIEZO-CERAMIC DISK TRANSDUCERS / 東京大学 [学] デュッタ トロイータヌ・桑野 玲子
- CS2-020 NUMERICAL SIMULATION OF ROCK BLOCK STABILITY USING VIBRATION RESPONSE FOR MONITORING ROCKFALLS / 宇都宮大学 [学] デイン トウエ トウメロ・清木 隆文
- CS2-021 Shaking history effect on reliquefaction of sandy soils in model test / 東京大学 [学] イクバル ムハマド シャヒド・古関 潤一
- CS2-022 Mechanical Characteristics of Cement-mixed Sand in Triaxial Compression Tests / 東京大学 [学] ニュエン テイエンレイ
- CS2-023 Comparison of Strength in Treated Dredged Marine Clay Using Cement and steelmaking slag / 広島大学 [学] Cikmit Arlyn Aristo・Tsuchida Takashi・Kang Gyeong O
- CS2-024 EFFECTS OF LOADING RATE ON THE BEHAVIOR OF GYPSUM MIXED SAND / 東京大学 [学] マクスード ザイン・古関 潤一

- International session国際セッション(4) / 10:40~12:00 / 崔 瑛(横浜国立大学)
- CS2-025 Effect of Pin-length and Confining Pressure on the Local Measurement of the Permeability of Sands using Pin-Type Sensors in the Triaxial Apparatus / 東京大学 [学] タンティアン ジェイロード・Tan Tian Jaylord・古関 潤一
- CS2-026 EFFECT OF FREEZING AND THAWING ON THE DURABILITY OF AGGREGATED SOIL AND CEMENT TREATED SOIL / 東京大学 [学] ダヤニナデイシャサン ジーワニ デイガラムデイヤンセラグ・桑野 玲子
- CS2-027 SHEAR STRENGTH OF SANDS WITH NONPLASTIC FINES SUBJECTED TO SUFFUSION / 東京大学 [学] サントスピテアルイフェルナンダ
- CS2-028 Validation of the Continues Pressurization Method apparatus by the conventional staged pressurization method [axis-translation technique] / 九州大学 [学] アロウェイシー アデル・安福 規之・石藏 良平
- CS2-029 LABORATORY TESTS ON LONG TERM PERFORMANCE OF TREATED SOILS / 東京大学 [学] カリウキ キャサリン・宮下 千花・古関 潤一

- CS2-030 Characteristic of Strength Development on Converter Steel-making slag treated dredged clay/広島大学 [正] 土田 孝・Kang Gyeong O・Cikmit Arlyn Aristo
- CS2-031 Physical and Mechanical Properties of Gravel-Tire Chips Mixture (GTCM)/九州大学 [学] マナフィ カージェ パーシャ シアパッシュ・ハザリカ ヘマンタ・吉本 憲正
- CS2-032 Experimental Study on the Similarity of Embankment Scouring by Overflow Under Centrifugal Field/九州工業大学 [学] 万 金庭・黄 旭・池田 将志

■土木分野におけるIoT (1) /15:20~16:40/栢見 周彦 (JIPテクノサイエンス)

- CS15-001 スマートフォンを利用した可視化流量観測アプリケーションの開発—キャリブレーションと地図情報の統合—/名古屋大学 [正] 椿 涼太・二瓶 泰雄・藤田 一郎
- CS15-002 iBeacon内蔵「五夢するべ」の開発/丸五ゴム工業 [正] 藤原 泰明・中野 将之・岡本 修
- CS15-003 小型無人機(UAV)を用いた橋梁点検における必要性能と評価法の検討/埼玉大学 [学] 遠藤 広大・党 紀・八木澤 順治
- CS15-004 IoT技術による建設機械の稼働データ分析事例報告/東急建設 [正] 高倉 望・椿 雅俊・柴野 一則

■土木分野におけるIoT (2) /17:00~18:20/蒔苗 耕司(宮城大学)

- CS15-005 深層学習を用いた常時微動記録の自動処理手法の開発/山梨大学 [正] 宮本 崇・古屋 貴彦・盛川 仁
- CS15-006 スマートフォンを活用した路面評価データの安定化に向けた取り組み/富士通交通・道路データサービス [正] 佐々木 博
- CS15-007 斜面観測のための低コストな機器構成による計測・データ収集システムの試行/東京工科大学 [正] 天野 直紀・久米 仁司
- CS15-008 カメラレオンコードを用いた資機材の一括管理手法の構築について/大林組 [正] 田島 僚・杉浦 伸哉・田原 康平
- CS15-009 モニタリングのIoT化による建設現場の生産性向上への取り組み/五洋建設 [正] 石田 仁・勝田 哲史・山中 哲志

CSの2会場(総合学習プラザ第6講義室) /9月12日(火)

■International session国際セッション(7) /9:00~10:20/酒井 雄也(東京大学)

- CS2-048 STUDY ON THERMAL CRACKING TENDENCY OF SELF-COMPACTING CONCRETE/足利工業大学 [学] ベンソン キブケンボイ・宮澤 伸吾
- CS2-049 Cold joint formation of concrete in hot weather conditions/埼玉大学 [学] グェントロン ラム・Illangakoon Gayan・浅本 晋吾
- CS2-050 Development of Simulation Method for Crack Propagation and Corrosion Products Movement During Rebar Corrosion/名古屋大学 [正] 中村 光・ZAHRA AMALIA・QIAO DI
- CS2-051 INVESTIGATION OF FRESH BEHAVIOR AND PHYSICAL AND MECHANICAL PROPERTIES OF PAVEMENT CONCRETE CASTED USING EAF SLAG FINE AGGREGATE/名古屋大学 [学] スシヤンタ ロイ
- CS2-052 THE INFLUENCE OF ASR EXPANSION ON THE EFFECTIVENESS OF PATCHING REMEDIAL WORK/金沢大学 [学] Ho Hong Sao・菊池 創太・久保 善司
- CS2-053 AN EXPERIMENTAL STUDY ON HALF-CELL POTENTIAL OF STEEL BAR IN ASSOCIATED WITH CHLORIDE CONTENT/九州大学 [学] バタ ダリア・濱田 秀則・佐川 康貴
- CS2-054 Electrochemical behavior of reinforced mortar specimens exposed in different environmental conditions for 8 years/九州大学 [学] オカシャ ゼイナブ・HAMADA Hidenori・SAGAWA Yasutaka

■International session国際セッション(9) /10:40~12:00/千々和 伸浩(東京工業大学)

- CS2-062 Shear behavior of RC tapered beams with stirrups/東京工業大学 [学] 碩 騰・中村 拓郎・二羽 淳一郎
- CS2-063 Flexural Behavior Prediction of SFRC Beams Using FE Analysis and X-ray Images/早稲田大学 [学] LIM Sopokhem・松田 充弘・秋山 充良
- CS2-064 Crack width and deformation of RC beam with high strength rebar/名古屋大学 [正] 山本 佳士・USMAN FAROOQ・中村 光

- CS2-065 DEVELOPING A NEW RIGID BODY SPRING MODEL ELEMENT FOR INCORPORATING POISSON EFFECT IN SIMULATING CONCRETE-LIKE MATERIALS/北海道大学 [学] メヘルベイ モガッダム サイード・上田 多門
- CS2-066 Internationalization: Recommendations for Japanese construction firms/安藤 間 [正] ハウスナー ダニエル・宮脇 卓哉

CSの2会場(総合学習プラザ第6講義室) /9月13日(水)

■道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(1) /9:00~10:20/田中 敏弘(高速道路総合技術研究所)

- CS7-001 橋梁の短時間補修に適する高機能床版防水シートシステムの施工/スリーエム ジャパン [正] 佐藤 奈央・山崎 春菜・松井 繁之
- CS7-002 橋梁の短時間補修に適する高機能床版防水シートシステムの舗装耐久性/スリーエム ジャパン [正] 山崎 好直・佐藤 奈央・松井 繁之
- CS7-003 橋梁の短時間補修に適する高機能床版防水シートシステムのわだち掘れ抵抗性/スリーエム ジャパン [正] 山崎 春菜・山崎 好直・松井 繁之
- CS7-004 冬期における床版防水層の施工環境改善にむけた検討/西日本高速道路エンジニアリング関西 [正] 細川 晃司・竈本 武弘
- CS7-005 舗装補修工事を想定した床版防水層の性能評価/阪神高速道路 [正] 谷口 惺・西岡 勉・小坂 崇
- CS7-006 床版切削およびその処理方法が防水層の接着に及ぼす影響に関する一検討/ニチレキ [正] 沼田 政稔・米来 哲之・豊田 雄介
- CS7-007 せん断疲労試験による橋面舗装の耐久性評価に関する検討/ニチレキ [正] 樋口 勇輝・田中 伸介
- CS7-008 改良型排水柵の開発/川田建設 [F] 鈴木 裕二・水野 聡・平田 努

■道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(2) /10:40~12:00/佐藤 貢一(奈良建設)

- CS7-009 超音波の板波を用いた合成床版の底鋼板剥離部浸水検知技術/三菱電機 [正] 木村 友則・細谷 朗・石井 博典
- CS7-010 赤外線サーモグラフィを用いた鋼・コンクリート合成床版の漏水検出/滋賀県立大学 [学] 市橋 良・水野 浩・松井 繁之
- CS7-011 電磁波レーダを使用したRC床版上面の漏水検出について/土木研究所 寒地土木研究所 [正] 角間 恒・佐藤 孝司・西 弘明
- CS7-012 ガイド波を用いた鋼板上の排水層厚の推定/東京工業大学 [学] 松野 壮展・古川 陽・廣瀬 壮一
- CS7-013 電磁波レーダによるRC床版上面の状態評価に関する電子支援システムの検討/大日本コンサルタント [正] 小林 大・田代 大樹・永塚 竜也
- CS7-014 多点振動計測を用いた構造部材の振動可視化による割れ検出の試み/愛媛大学 [学] 松本 愛・齊藤 中・森 伸一郎
- CS7-015 小口径コア型コンクリート強度診断試験機による圧縮強度の推定/中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京 [正] 高野 真希子・大窪 克己・阿部 忠
- CS7-016 FWDを用いた重錘落下法による床版たわみ計測に関する考察/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 [正] 橋 吉宏・榎谷 浩・松田 幸一

■道路橋床版・防水層・舗装の維持管理と長寿命化(3) /15:20~16:40/東山 浩士(近畿大学)

- CS7-017 高強度鉄筋を緊張材として使用したPRCプレボス道路橋床版の輪荷重走行試験/ホクエツ [正] 竹山 博史・松井 繁之・古市 亨
- CS7-018 輪荷重走行疲労実験におけるRC床版の耐疲労性の評価法/日本大学 [正] 水口 和彦・阿部 忠・川井 豊
- CS7-019 維持管理に配慮したCFRPによる劣化床版の延命化工法/大日本コンサルタント [F] 横山 広・角間 恒・小林 朗
- CS7-020 床版防水に着目した道路橋床版の損傷進展速度評価/大阪大学 [学] 宇野 裕亮・貝戸 清之・小林 潔司
- CS7-021 SFRC上面補強法における鋼床版の応力低減に関する研究/日本大学 [学] 野口 博之・阿部 忠・川井 豊
- CS7-022 鋼板接着補強床版の接着剤再注入による補修効果/東京と土木技術支援・人材育成センター [正] 関口 幹夫・石田 教雄・栗塚 一範
- CS7-023 塩害劣化RC床版に対応した取替えが容易な流電陽極工法の開発と通電性状に関する検討/国土開発センター [学] 浦 修造・鴨谷 知繁・石井 浩司

CS7-024 塩害を受けているPCT桁橋間詰床版への電気防食工法の適用性検討／中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京 [正] 松本 昌也・萩原 幹・峰松 敏和

CSの3会場(総合学習プラザ第7講義室) / 9月11日(月)

- International session国際セッション(2) / 9:00~10:20 / 松村 聡(港湾空港技術研究所)
- CS2-009 Comparison of RC Segment Lining Design Method of Singapore NIPE C7 Project / 清水建設 [正] スティワラ ビラク ビーラボン・BAGAS JOHN ERIC
- CS2-010 Effect of Surcharge Load on the Magnitude and Distribution of Lateral Earth Pressure against Rigid / 九州大学 [学] サヒビ アリウラ・Hazarika Hemanta・石橋 勲
- CS2-011 A comparison study of 2D and 3D numerical analyses for shallow overburden tunnel by using elastic model. / 京都大学 [学] カリッドムハンマド シェザド・坂井 一雄・青木 智幸
- CS2-012 MONITORING THE IMPACT OF SOIL IMPROVEMENT FOR THE LARGE DIAMETER SHIELD TUNNEL PROJECT ON SURROUNDING STRUCTURES / 西松・戸田・奥村特定建設工事共同企業体 [正] タミア トリアン ディニ・村上 初央・野本 雅昭
- CS2-013 CENTRIFUGE EXPERIMENT ON EFFECTIVENESS OF STEEL DRAINAGE PIPES FOR REINFORCEMENT OF LEVEES AGAINST FLOODING / 東京工業大学 [学] シン ジェニシヤ・堀越 一輝・高橋 章浩
- CS2-014 EFFECTS OF ADDING SPIKES AT THE NODES OF BIAXIAL GEOGRID ON ITS PULLOUT RESISTANCE IN SANDY BACKFILL SOIL / 東京大学 [学] オロヤ サム・清田 隆
- CS2-015 A FINITE ELEMENT APPROACH TO UNDERSTAND THE CREEPING BEHAVIOR OF LARGE-SCALE LANDSLIDES / 群馬大学 [正] ラジバット ディバク・若井 明彦・小谷 健太
- CS2-016 Simplified Method for Characteristic Fragility Curves Evaluation / 安藤・間 [正] 峰沢 ジョージヴァルベ・浦野 和彦・西村 毅

■計算力学(1) / 10:40~12:00 / 斎藤 隆泰(群馬大学)

- CS13-001 防波堤の洗掘解析に向けたSPH—DEM法による流体—土粒子の混相流解析手法の開発 / 九州大学 [学] 原崎 健輔・浅井 光輝
- CS13-002 粒子離散化有限要素法を用いた改良土および地盤の変形・破壊解析 / 防衛大学校 [正] 野々山 栄人・宮田 喜壽・高野 大樹
- CS13-003 DG法によるBoussinesq方程式に基づく津波解析モデルの構築 / 中央大学 [学] 凌 国明・伊藤 翔・kubatko Ethan
- CS13-004 ISPH法における圧力の計算精度の向上を目的とした自由表面の取り扱い / 京都大学 [正] 西藤 潤・原田 峻吾
- CS13-005 環境流れシミュレーションのためのマーカーレスAR可視化システムの構築 / 中央大学 [学] 池田 直旺・花立 麻衣子・櫻山 和男
- CS13-006 VR技術を用いた車両編成を考慮した新幹線鉄道騒音評価システムの構築 / 中央大学 [学] 木下 公二・吉町 徹・櫻山 和男

■計算力学(2) / 15:20~16:40 / 吉川 仁(京都大学)

- CS13-007 MPS法を用いた異方性材料中の2次元弾性波動解析 / 群馬大学 [学] 野口 豪気・斎藤 隆泰
- CS13-008 不連続性を有する問題におけるDG-FEMの有効性の検討 / 中央大学 [学] 伊藤 翔・凌 国明・Kubatko Ethan
- CS13-009 2次元差分法と3次元粒子法による津波遡上解析の比較とその特徴～高知県高知市を対象とした数値実験～ / 九州大学 [学] 仲矢 直樹・浅井 光輝・馬場 俊孝
- CS13-010 時間域高速多重境界要素法による音場解析の大規模化のための並列化手法の構築 / 中央大学 [学] 高木 貴弘・吉川 仁・高橋 徹
- CS13-011 EVALUATION FOR THE SAFETY OF TSUNAMI REFUGEE BUILDING BY FLUID-RIGID COUPLED ANALYSIS BASED ON THE PARTICLE METHOD / 九州大学 [学] リキ・浅井 光輝
- CS13-012 破壊力学に基づく損傷モデルによるRC部材の大規模破壊シミュレーションに関する基礎的検討 / 茨城大学 [学] 相馬 悠人・車谷 麻緒

■計算力学(3) / 17:00~18:20 / 西藤 潤(京都大学)

- CS13-013 騒音シミュレーションにおけるメッシュの解像度がインパルス応答と可聴化に及ぼす影響の検討 / 中央大学 [学] 今井 啓太・谷川 将規・吉町 徹
- CS13-014 超音波スピーカに関するウェスターヴェルト方程式の波動伝播解析 / 京都大学 [正] 吉川 仁・若原 孝浩
- CS13-015 有限要素法による防振杭列の表面波透過解析 / 新潟大学 [学] 山谷 啓晃・阿部 和久・紅露 一寛
- CS13-016 蒸発効率による空間場の風速及び温度に与える影響の検討 / 中央大学 [学] 田中 洋志・櫻山 和男
- CS13-017 マルチGPUを用いた高速な疎行列ベクトル積による多数回地殻変動計算 / 東京大学 [学] 山口 拓真・藤田 航平・市村 強
- CS13-018 任意断面梁のせん断遅れを考慮できる梁要素の定式化 / 東北大学 [正] 齊木 功・西井 大樹・岩熊 哲夫
- CS13-019 破壊シミュレーションに基づく鉄筋コンクリートのひび割れの3次元造形化 / 茨城大学 [学] 佐々木 浩武・相馬 悠人・邊見 哲一

CSの3会場(総合学習プラザ第7講義室) / 9月12日(火)

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(1) / 9:00~10:20 / 岡本 修(茨城工業高等専門学校)

- CS14-001 障害物(雪やマンホール内)を通過するLoRa無線によるモニタリングシステム開発 / 関西大学 [F] 大西 有三・西川 啓一・中井 卓巳
- CS14-002 画像解析を用いた堤防監視に関する検討 / 土木研究所寒地土木研究所 [正] 矢部 浩規・岡部 博一・島田 友典
- CS14-003 画像処理による舗装ひび割れ自動検出精度向上対策 / 東芝 [正] 熊倉 信行・米川 陽子・中村 徳裕
- CS14-004 簡易路面性状調査で用いる市販ビデオカメラの比較検証 / 東芝 [正] 米川 陽子・熊倉 信行・吉岡 容
- CS14-005 茨城県水戸市における内水氾濫監視システムの検証 / 茨城大学 [正] 齋藤 修・桑原 祐史・黒木 幹
- CS14-006 マルチチャープによる深層空洞探査車の開発 / 川崎地質 [正] 丸山 祐司・山田 茂治・今井 利宗
- CS14-007 PCストランドを有する梁試験体による自己遅延ヘテロダインBOTDRの性能評価 / 沖電気工業 [正] 岩村 英志・今井 道男・小泉 健吾
- CS14-008 視覚情報受領型市民センサーの概念と試行実験 / 建設技術研究所 [正] 野村 貢・芥川 真一

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(2) / 10:40~12:00 / 澤田 純之(安藤・間)

- CS14-009 光ファイバーセンサによる動的ひずみ分布データ処理方法の研究—コンクリート梁試験体の加振実験— / 鹿島建設 [正] 三浦 悟・今井 道男・松浦 聡
- CS14-010 鋼製構造物各部位における腐食モニタリングシステムの開発 / 物質・材料研究機構 [正] 片山 英樹・山本 貴文・時枝 寛之
- CS14-011 遠隔非接触測定による高架橋付帯構造の振動特性の把握 / トップライズ [正] 植木 淳平・上半 文昭
- CS14-012 相反性を利用した多点加振による構造部材の振動の3次元可視化 / 愛媛大学 [学] 高橋 栞太・松本 愛・中畑 和之
- CS14-013 橋の体重計(支承鉛直反力計測システム)の開発 / オムロン ソーシャルソリューションズ [正] 笠井 論・高瀬 和男・中野 公太
- CS14-014 地震による構造物被害をIoTで監視する3軸加速度計の開発 / オムロン ソーシャルソリューションズ [正] 黒田 卓也・中野 公太・高瀬 和男
- CS14-015 ひずみゲージを用いた支承反力計測装置の実験的検討 / 日本鑄造 [正] 松本 征也・朝倉 康信・染谷 優太
- CS14-016 UAVとLDVを用いた構造部材の弾性波速度推定手法の検討 / 鉄道総合技術研究所 [正] 上半 文昭

CSの3会場(総合学習プラザ第7講義室) / 9月13日(水)

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(3) / 9:00~10:20 / 宇野 昌利(清水建設)

- CS14-017 振動可視化分析を用いた実橋梁床版のモード形状推定 / 日本電気 [正] 木下 翔平・葛西 茂・清川 裕
- CS14-018 実橋梁RC床版における光ファイバーセンサによるひび割れモニタリング技術の検討 / 鹿島建設 [F] 古市 耕輔・今井 道男・岩井 稔
- CS14-019 実橋梁RC床版におけるアコースティックエミッション法による疲労損傷の評価 / 鹿島建設 [正] 新井 崇裕・岩井 稔・古市 耕輔

- CS14-020 コンクリート桁橋におけるモニタリング技術活用の検討(その1)技術活用の概要と現場実証実験の概要/モニタリングシステム技術研究組合 [正] 中津井 邦喜・小原 孝之・石田 雅博
- CS14-021 コンクリート桁橋におけるモニタリング技術活用の検討(その2)低周波加速度解析による力学的挙動の評価/能美防災 [正] 皆川 翔輝・遠藤 義英・中野 主久
- CS14-022 輪荷重走行試験によるRC床版の疲労劣化に関するモニタリング技術の検討(その6)各種分析方法とモニタリングデータによる疲労劣化の評価/富士通 [正] 金見 純司・梅宮 茂良・梅田 裕平
- CS14-023 深層学習を用いたひび割れ領域の自動識別法に関する研究/山口大学 [学] 中村 優志・河村 圭・児玉 聖治
- CS14-024 道路インフラの日常点検に向けた走行型計測装置のプロトタイプ製作/三井住友建設 [正] 塩崎 正人・河村 圭・押切 幸治

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(4) / 10:40~12:00 / 田中 克則(西日本高速道路エンジニアリング九州)

- CS14-025 MMSの曲線部計測時における標定点を用いた補正効果の検証/日本大学 [学] 岡本 直樹・佐田 達典・江守 央
- CS14-026 超薄型センサを用いた覆工コンクリート天端部の面的な充填・締固め判定手法の開発/戸田建設 [正] 山田 勉・中林 雅昭・海野 雄士
- CS14-027 C-band衛星SARによる熊本地域の地表監視/清水建設 [正] 岩城 英朗・鳴海 智博・横島 喬
- CS14-028 ひずみやひび割れを視覚化するシート材料を用いた計測システムの検討/土木研究所 [正] 百武 壮・新田 弘之・西崎 到
- CS14-029 民生用高感度デジタルカメラを用いた夜間野外調査撮影に関する再検討/アジア航測 [正] 滝川 正則・中川 雅史・勝木 太
- CS14-030 航空写真による倒木危険性調査について/西日本高速道路エンジニアリング中国 [正] 高橋 英樹・小澤 徹三・極楽寺 準也
- CS14-031 塩害モニタリングにおける対象位置決定方法に関する研究/日本工営 [正] 園田 崇博・松山 公年・中野 雅章
- CS14-032 塩害モニタリングにおける実橋センサ設置方法に関する研究/日本工営 [正] 松山 公年・園田 崇博・中野 雅章

■土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性(5) / 15:20~16:40 / 佐田 達典(日本大学)

- CS14-033 光ファイバを用いた有脚式離岸堤脚部の局所洗掘計測手法/東洋建設 [正] 山野 貴司・酒井 大樹・重松 孝昌
- CS14-034 斜面のモニタリングのための無線センサリングネットワークの構築・活用に関する研究/長崎大学 [学] 張 慧中・石田 純平・杉本 知史
- CS14-035 無線センサネットワークを活用した高速道路モニタリングシステムの開発/西日本高速道路エンジニアリング中国 [正] 濱沖 俊史・櫻谷 慶治・小泉 圭吾
- CS14-036 複数の変状検知箇所を有するモニタリング装置開発に関する基礎的研究/神戸大学 [学] 鬼頭 朋宏・芥川 真一
- CS14-037 光の屈折率の違いを利用した光ファイバセンシング手法に関する基礎的研究/神戸大学 [学] 村越 堅・芥川 真一
- CS14-038 デジタル画像を用いたアオコ判定システムの自動化に向けた基礎的検討/八千代エンジニアリング [正] 吉田 拓司・末廣 富士代・二瓶 泰雄
- CS14-039 UAV空撮画像による色彩画像分析を用いたリップラップ材風化度評価の事例/エイト日本技術開発 [正] 黒田 修一・仲村 賢人・小林 晃
- CS14-040 サンプリングモアレ法を利用した斜め方向からの撮影による橋梁たわみ計測法の開発/産総研 [正] 李 志遠・津田 浩・成田 朋憲

CSの4会場(総合学習プラザ第8講義室) / 9月11日(月)

■気候変動による影響への適応 / 10:40~12:00 / 矢野 真一郎(九州大学)

- CS6-001 大規模アンサンブル気候予測データの簡易的な利用手法の検討/東京大学 [正] 渡部 哲史
- CS6-002 Mann-Kendall検定を用いた日本における平衡水温の長期経年変化の分析/芝浦工業大学 [学] 上村 晃平・宮本 仁志
- CS6-003 地球温暖化予測情報を用いたダム等施設への治水への影響に関する一考察/水資源機構 [正] 大島 伸介・小坪 洋巳・田野 弘明
- CS6-004 2016年北海道豪雨による橋梁の被災状況と発生メカニズムの基礎的検討/北見工業大学 [学] 鎌田 啓市・宮森 保紀・渡邊 康玄

- CS6-005 地質と降雨量の影響を組み込んだ流域の流木災害リスク評価法の開発/九州大学 [F] 矢野 真一郎・笠間 清伸・土橋 将太

■複合構造物(1) / 15:20~16:40 / 大山 理(大阪工業大学)

- CS5-001 複合構造化による鋼製柱の耐震補強法の開発/前橋工科大学 [学] 大山 拓也・谷口 望
- CS5-002 SRC施工時の初期応力の影響に関する研究/前橋工科大学 [学] 清水 宥敬・グエンバン・クワン
- CS5-003 局所振動試験によるSRC部材の損傷同定/東北大学 [学] 神宮 裕作・内藤 英樹
- CS5-004 鋼コンクリートサンドイッチ部材の補強に関する基礎的研究/鉄建建設 [正] 安保 知紀・栗栖 基彰・土井 至朗
- CS5-005 鋼箱桁橋支承部ダイアフラムへのCFT補剛材に関する数値解析的研究/大阪市立大学 [学] 牧野 修幸・鬼頭 宏明・三浦 芳雄
- CS5-006 城陽ジャンクションGランプ橋 鋼・PC接合部の設計/IHIインフラシステム [正] 清岡 直樹・三原 邦啓・茅原 周平

■複合構造物(2) / 17:00~18:20 / 大久保 宣人(日本ファブテック)

- CS5-007 実橋梁での合成床版の挙動確認に関する研究/前橋工科大学 [学] グェンディンフン・谷口 望・藤原 良憲
- CS5-008 SRC合成床版の引張剛性に関する実験的検討/東日本旅客鉄道 [正] 小島 巧・高見澤 拓哉・井口 重信
- CS5-009 外部拘束されたコンクリート床版の力学的挙動に関する3次元数値解析/大阪市立大学 [学] 植村 リョウタ・鬼頭 宏明・松本 涼
- CS5-010 超軽量FRP複合床版の強度特性に関する基礎的研究/新日鉄住金マテリアルズ [正] 小林 朗・秀熊 佑哉・大垣 賀津雄
- CS5-011 鋼コンクリート合成床版を有する連続合成桁橋の乾燥収縮挙動に関する解析的研究/大阪工業大学 [学] 平松 唯・山本 将士・大山 理
- CS5-012 火災による熱履歴を受けた合成桁橋の耐力評価/大阪工業大学 [学] 高橋 佑介・大山 理
- CS5-013 静的載荷試験に基づく合成梁と非合成梁の力学挙動の比較検討/宇都宮大学 [学] 桑原 伸太郎・中島 章典・菅原 健太郎

CSの4会場(総合学習プラザ第8講義室) / 9月12日(火)

■複合構造物(3) / 9:00~10:20 / 石川 敏之(関西大学)

- CS5-014 GFRP溝形材のせん断耐力に軸力が及ぼす影響について/東日本高速道路 [正] 石井 佑弥・中村 一史・古谷 嘉康
- CS5-015 鋼柱部材のCFRPによる全体座屈強度向上に関する実験的研究/ものつくり大学 [学] 菊地 新平・大垣 賀津雄・小林 朗
- CS5-016 FRP製HPリベットを用いたGFRP部材の接合法に関する基礎的研究/神戸大学 [学] 石間 啓介・橋本 国太郎・日比 英輝
- CS5-017 ハイブリッドFRP部材と鋼部材の高力ボルト接合に関するリラクセーション試験/IHI [正] 岩崎 初美・松井 孝洋・小林 拳祐
- CS5-018 ハイブリッドFRP部材と鋼部材の一面せん断ボルト継手の引張試験/IHIインフラシステム [正] 小林 拳祐・中村 一史・岩崎 初美
- CS5-019 FRPボルトによるFRP部材の支圧ボルト接合部の耐力評価に関する研究/名古屋大学 [学] 王 超・北根 安雄・松本 幸大
- CS5-020 Influence of Washers on Mechanical Behavior of Single Lap Connection in GFRP Plates using Tapping Screws/豊橋技術科学大学 [学] グエンゴック ユン・PhanViet Nhut・佐竹 ちとう

■複合構造物(4) / 10:40~12:00 / 齋藤 隆(大林組)

- CS5-021 高温負荷を受けた連続繊維シート剥落防止工の付着性/土木研究所 [正] 櫻庭 浩樹・西崎 到
- CS5-022 二次元振動台を用いた風車模型の2軸曲げ疲労実験/法政大学 [学] 植田 祐司・藤山 知加子・仙頭 紀明
- CS5-023 抜取り可能なあと施工アンカーの性能確認試験/駒井ハルテック [正] 平野 穂菜美・橋塚・三輪 浩二
- CS5-024 混合桁橋接合部に対するアスファルトウレタン樹脂系防水材料を用いた止水対策検討/大日本コンサルタント [正] 田代 大樹・原田 豊・本田 博幸
- CS5-025 複合構造化された既設鋼橋の長期曝露調査および材料評価/太平洋マテリアル [正] 大久保 藤和・赤江 信哉・谷口 望
- CS5-026 速硬ポリマーセメントモルタルの長期海岸線曝露試験/太平洋マテリアル [正] 佐竹 紳也・大久保 藤和・赤江 信哉

CS5-027 トルク型せん断試験におけるモルタルの乾燥収縮の影響に関する実験と考察/東北工業大学 [正] 山田 真幸・齊木 功

CSの4会場(総合学習プラザ第8講義室) / 9月13日(水)

■複合構造物(5) / 9:00~10:20 / 牧 剛史(埼玉大学)

- CS5-028 高軸力下における鋼とコンクリートの摩擦に関する実験的研究/JR東日本 [正] 井上 佳樹・吉田 一・田辺 詩織
- CS5-029 鋼コンクリート接触面の付着強度や剥離性状に及ぼす鋼材塗装の影響/宇都宮大学 [学] 葛西 孝平・中島 章典・桑原 伸太郎
- CS5-030 高強度繊維補強コンクリート床版を有するモノレール鋼軌道桁のずれ止めに関する実験的研究/大成建設 [正] 吉本 宏和・川口 哲生・名嘉真 浩昭
- CS5-031 スタッド配置段数に着目した押抜き試験体の押抜き挙動に関する実験的研究/宇都宮大学 [学] 菅原 健太郎・又吉 彩乃・中島 章典
- CS5-032 鉄筋をずれ止めに用いた2枚鋼板タイプ複合主塔定着構造の研究/三井住友建設 [正] 篠崎 裕生・中積 健一・内堀 裕之
- CS5-033 高強度軽量コンクリートを用いた合成桁におけるスタッドのせん断耐力算定式の提案/大阪工業大学 [学] 木下 貴史・小林 崇・大山 理

■複合構造物(6) / 10:40~12:00 / 平 陽兵(鹿島建設)

- CS5-034 頭付きスタッドのずれ剛性評価法について/神戸大学 [正] 大谷 恭弘・栄 真堂・堀江 良太
- CS5-035 側圧作用下における大孔径PBLの終局挙動/広島大学 [学] 湯藤 洋丈・藤井 堅・谷 慎太郎
- CS5-036 シートパイル基礎接合部の孔あき鋼板ジベルのせん断耐力評価/北武コンサルタント [正] 京田 英宏・阿部 淳一・西岡 英俊
- CS5-037 シートパイル基礎の接合部に関する解析的検討/北武コンサルタント [正] 阿部 淳一
- CS5-038 補強鉄筋のひずみ挙動に着目した孔あき鋼板ジベルのせん断抵抗に関する実験/宇都宮大学 [学] 水取 未流・NGUYEN MINHAI・中島 章典
- CS5-039 ジベル鋼板に平行な側圧を受ける孔あき鋼板ジベルの終局ずれ挙動/広島大学 [学] 伊須田 遼・藤井 堅

CSの5会場(総合学習プラザ第9講義室) / 9月11日(月)

■土木教育一般(1) / 9:00~10:20 / 白旗 弘実(東京都市大学)

- CS1-001 土質系材料の放射線遮蔽実験の実施期間中における実験者の被ばく状況/早稲田大学 [正] 小峯 秀雄・後藤 茂・吉川 絵麻
- CS1-002 LMSを用いた水理実験のための教材開発/岐阜工業高等専門学校 [正] 菊 雅美・渡邊 和也
- CS1-003 FE試験教材を用いた教育の実践/山口大学 [F] 羽田野 架梁義
- CS1-004 教材用体験型卓上一軸振動台の試作/和歌山工業高等専門学校 [正] 辻原 治・中嶋 真也・山村 猛
- CS1-005 測量実習におけるICT技術の導入及び共同型授業への取り組み/松江工業高等専門学校 [正] 表 真也・大屋 誠・安食 正太
- CS1-006 構造力学及び鋼構造学のための教材開発/舞鶴工業高等専門学校 [正] 玉田 和也・桐村 忠都
- CS1-007 継手の改良による梁模型の製作授業/苫小牧工業高等専門学校 [正] 土門 寛幸・廣川 一巳・渡辺 暁央

■土木教育一般(2) / 10:40~12:00 / 皆川 浩(東北大学)

- CS1-008 MMSを援用した防災学習教材とその評価/和歌山工業高等専門学校 [学] 山口 恭平・伊藤 秀幸・佐藤 友之
- CS1-009 小学校児童の避難行動を促すやさしい情報に関する研究/北海道大学 [学] 及川 あかり・田中 岳
- CS1-010 小学校における教育教材としてのハザードマップの活用に関する現況調査/北海道大学 [学] 杉田 優・田中 岳・森 太郎
- CS1-011 周南市勝間地区における児童・生徒への交通安全教育を通じた通学路の危険意識、行動意向の変化について/徳山工業高等専門学校 [正] 目山 直樹
- CS1-012 インフラに関する児童・生徒向け研究広報パネルの製作・展示/国土技術政策総合研究所 [正] 長屋 和宏・土肥 学・石川 浩
- CS1-013 「ボール紙で作る橋コンテスト」の開催/国土技術政策総合研究所 [正] 土肥 学・長屋 和宏・若井 裕

■土木教育一般(3) / 15:20~16:40 / 鈴木 啓悟(福井大学)

- CS1-014 地域企業と連携した実習におけるカリキュラム・マネジメントについて/新潟県立塩沢商工高等学校 [正] 松本 智・木村 栄一・菊池 啓一
- CS1-015 地方における土木行政の経験を活用した教育について/鹿児島県立鹿児島工業高等学校 [正] 松下 剛
- CS1-016 寒地土木技術の全国展開に向けた普及活動に関する考察/寒地土木研究所 [正] 林田 寿文・千葉 誠一・田畑 修
- CS1-017 AR技術を活用した点検教育への取り組み/ネクスコ東日本エンジニアリング [正] 兼崎 弘憲・入江 浩・伊藤 和宏
- CS1-018 『メンテナンス実務者コミュニティ (MEC)』による技術支援活動と今後の展望/阪神高速道路技術センター [正] 安藤 高士・慈道 充・赤松 伸祐
- CS1-019 2016年中における土木学会認定CPDプログラム開催状況について/土木学会 [正] 中島 敬介・竹村 次朗・尾高 義夫
- CS1-020 在外外国人技術者に対する技術者教育の一例/熊谷組 [正] 濱 慶子

■土木教育一般(4) / 17:00~18:20 / 宮里 心一(金沢工業大学)

- CS1-021 土木系の環境教育に関する一考察/西武建設 [正] 三村 卓・田中 宏幸・下池 季樹
- CS1-022 卒業生との連携による高等専門学校におけるキャリア支援教育事例の紹介/岐阜工業高等専門学校 [F] 吉村 優治
- CS1-023 地方中小建設コンサルタント会社の海外展開と今後の課題について/中央建設コンサルタント [正] 山中 亮・神谷 大介・川満 康智
- CS1-024 学生が統合土木工学を意識する機会の設置とCDIO基準による検証/金沢工業大学 [正] 宮里 心一・花岡 大伸
- CS1-025 工学部入学者の土木に関するイメージについて/足利工業大学 [正] 藤島 博英・築瀬 範彦・佐藤 峻平
- CS1-026 福島第一原発廃炉に関した人材育成の現状と課題/八戸工業大学 [F] 熊谷 浩二
- CS1-027 建設業界の転職事情からみた技術者の実情/芝浦工業大学 [学] 末木 博・中川 大樹・伊代田 岳史

CSの5会場(総合学習プラザ第9講義室) / 9月12日(火)

■ダイバーシティ&インクルージョン / 10:40~12:00 / 保田 祐司(鹿島建設)

- CS8-001 ダイバーシティからインクルージョンへ~パシフィックコンサルタンツの取り組み~ / パシフィックコンサルタンツ [正] 飯島 玲子
- CS8-002 建設コンサルタント企業のダイバーシティ推進/建設技術研究所 [正] 瀬尾 弘美・山根 直樹
- CS8-003 価値観の違いが意思決定に及ぼす影響—ペルソナとAHPを用いた意思決定モデルの構築— / 山梨大学 [正] 岡村 美好
- CS8-004 ペルソナとシナリオによる一時保育サービスの利用状況の記述 / 東京工業大学 [正] 山田 菊子
- CS8-005 土木学会におけるダイバーシティ&インクルージョンの推進/建設技術研究所 [正] 米山 賢

CSの5会場(総合学習プラザ第9講義室) / 9月13日(水)

■土木分野における資料・映像記録の収集、保存と利活用(1) / 9:00~10:20 / 原口 征人(北海道開発技術センター)

- CS12-001 「営団地下鉄土木技術者の記録」を制作して~地下鉄技術者の証言記録を遺す~ / 東京地下鉄 [正] 平野 隆・東山 裕亮
- CS12-002 「土木学会映画コンクール」応募本数の推移に見る現状と今後の課題/全国建設研修センター [正] 榊山清人・瀧川 正一
- CS12-003 「土木学会イブニングシアター資料集2013~2016」から見るイブニングシアターの現状/土木学会 [正] 瀧川 正一・榊山 清人
- CS12-004 一般市民を対象とした今後の土木映画のあり方/東急建設 [正] 梅津 愛・大野 春雄・田中 卓也
- CS12-005 「東海道線高架鉄道用地図」に関する考察/鉄道総合技術研究所 [F] 小野田 滋・野末 道子
- CS12-006 土木・建設系デジタル情報アーカイブの多様化とその課題/北海道教育大学 [正] 今 尚之

■土木分野における資料・映像記録の収集、保存と利活用(2) / 10:40~12:00 / 三上 卓(エイト日本技術開発)

- CS12-007 葦山反射炉維持管理事業での煙突壁面の外観画像調査/計測リサーチコンサルタント [正] 渡邊 弘行
- CS12-008 高速道路補修工事における映像利用の効果について/愛

- 亀 [正] 西山 周・黒河 洋吾・山本 和弘
CS12-009 「都市土木における映像利用による公衆災害予防」／可児
建設 [正] 可児 純子・可児 憲生・原 隆博
CS12-010 映像情報による数値化に関する報告／可児建設 [正] 可児
憲生・須田 清隆・小浦場 博
CS12-011 山岳工事における映像を活用した施工管理手法の検証／協
和建設工業 [正] 田村 伊正・高橋 正幸・若嶋 清志
CS12-012 画像から作成した点群によるメッシュ生成／環境風土テク
ノ [正] 本田 陽一・須田 清隆・小浦場 博
CS12-013 画像を活用した3次元化・数量化／環境風土テクノ [正]
小浦場 博・須田 清隆・本田 陽一



実績と信頼で築いてきた大学土木系教科書

「大学土木」シリーズ

A5判
定価(本体2,800円+税)

- ・基礎力を着実に定着できるように、理解しやすい表現を用いて解説。
- ・用語解説の拡充によりレポート、論文等で重要用語を正しく使うことができる。
- ・論理的な思考力を鍛えられるよう、項目や説明の展開を整理して記述。



大学土木 道路工学 改訂3版

稲垣竜興 編 / 中村俊行・
稲垣竜興・小梁川雅 共著
248頁 978-4-274-21787-6



大学土木 水理学 改訂2版

玉井信行・有田正光 共編
浅枝隆・有田正光・池谷毅・
佐藤大作・玉井信行 共著
244頁 978-4-274-21673-2



大学土木 河川工学 改訂2版

玉井信行 編 / 浅枝隆・
鈴木篤・玉井信行・西川肇・
安田実・青山定敬・朝香智仁 共著
228頁 978-4-274-21653-4



大学土木 土質力学 改訂2版

安田進・山田恭央・
片田敏行 共著
194頁 978-4-274-21643-5



大学土木 水環境工学 改訂3版

松尾友矩 編
田中修三・神子直之・
齋藤利晃・長岡裕 共著
276頁 978-4-274-21525-4



大学土木 鉄筋コンクリート 工学 改訂3版

町田篤彦 編 / 町田篤彦・関博・
丸山武彦・檜貝勇・斎藤成彦 共著
244頁 978-4-274-21524-7



オーム社

〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1
TEL 03(3233)0853 FAX 03(3233)3440

www.ohmsha.co.jp

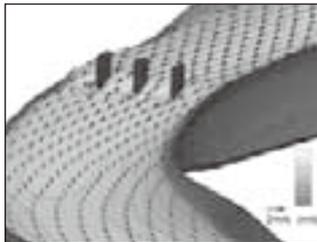
定価は変更になる場合があります。

▶ 確かな技術で未来を創る ◀

社会インフラ、防災、環境、サイエンス分野において、数値解析、システム構築、データ解析の専門技術を活かした高品質な技術サービスを提供いたします。



土砂水理
海岸水理
環境水理
氾濫防災
下水道
耐震・地盤
情報システム
GISデータ処理
総合防災
サイエンス



河道内における橋脚周辺の3次元流況解析



名古屋港における津波浸水可視化



株式会社 ハイドロソフト技術研究所
www.hydro-soft.co.jp

▶ 大阪本社 〒530-6126 大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル26F
TEL:06-6479-3621 FAX:06-6479-3622

▶ 東京支社 〒105-6031 東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー31F
TEL:03-6721-5507 FAX:03-6721-5506



波高計シリーズ



電磁流速計シリーズ



潮位観測装置

《営業品目》

- プロペラ式流速計・電磁流速計・
- 超音波式潮位計・波高計・濁度計・
- 水位計製造販売



株式会社ケネック

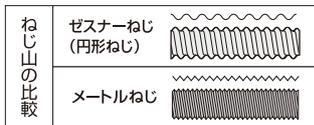
http://www.kenek-co.com
 Email sales@kenek-co.com
 TEL 042-544-1011

“建設の安全”と“省力化”のお役に立つ、建設用副資材専門メーカーです。Epoch - Making New Type

無溶接による鉄筋結束金具
 場所打ち杭／鉄筋組立用

ゼスロック® PAT.P

ゼスロックとは、鉄筋組立の“点溶接”に代わって、鉄筋をねじで組立結合する“無溶接(ゼロ溶接)”鉄筋結束金具のことです。

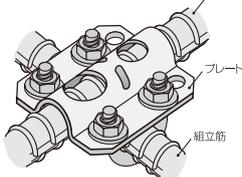


NETIS登録番号
 KT-120088-VE

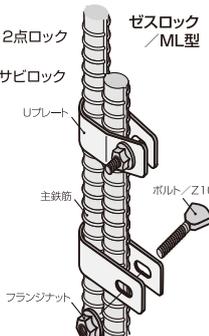
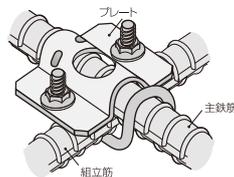
特長

- ゼスロックのゼスナーねじ(ゼン技研製品)は、ねじ山が大きく円形なので、ねじ組立ての作業が、スピードアップします。
- ゼスナーねじの締付け力は、トルク管理を提案します。
- 主鉄筋と組立筋の結合金具は、・長尺・重量用の、4点ロック(US型)・短尺・軽量用には、2点ロック(CS型)があり、各々の使い分けを提案します。
- 主鉄筋の重ね継手の結合金具(ML)は、上下鉄筋かこの重量を安全に支えるハチ巻きサビロック(ねじ結合)です。

ゼスロック／US型(4点ロック)
 〈長尺・重量用〉



ゼスロック／CS型(2点ロック)
 〈短尺・軽量用〉



建設の安全と省力化・必ず役立つ
 建設用副資材・金具

- ゼスロック® 無溶接による鉄筋結束金具 NETIS登録番号 KT-120088-VE
- プロテックPコン 塩害防止コーン・インサート
- プロテックPコンシリーズ MCコン・ZCコン NETIS登録番号 QS-110027-VE
- テンパー コンクリート床板の天端出し表示具 NETIS登録番号 KT-120062-VE
- 吊りカーン つりだな足場のつりチェーン用アンカー金具
- RCT-107 コンクリート専用壁つなぎ金具のアンカー

全国多数実績有

建設の安全と省力にアタック
 ゼン技研株式会社

本社 〒818-0105 太宰府市都府楼南5-16-13
 TEL (092)925-8161 FAX (092)925-3449
 URL http://www.zen-g.co.jp/
 東京営業所 〒108-0014 東京都港区芝5-26-30-3階
 TEL (03)6435-3899 FAX (03)6435-3842

自然との調和



私たちは先進技術で
自然と調和し美しい地球を創ることに貢献します



AsunaroAoki

青木あすなる建設株式会社

代表取締役社長 上野 康信

〒108-0014 東京都港区芝 4-8-2 TEL 03-5419-1011 (代表)

URL <http://www.aconst.co.jp>

その先の向こうへ

GOING FURTHER

1896年、広島県呉市にて創業した当社は、
進取気鋭の精神と先端の建設技術をもって社会に貢献し、
社会とともに成長してきました。
新たなフィールドへ常に挑戦し続ける心は、
いまでも当社のDNAに引き継がれています。
時代が変わっても変わらないチャレンジスピリットと、
時代の変化に応じた柔軟な自己革新力。
現状に甘んじることなく、一歩一歩着実に前に進む。
その先の向こうへ…五洋建設

本社 / 〒112-8576 東京都文京区後楽 2-2-8
支店 / 札幌 東北 北陸 東京土木 東京建築 名古屋 大阪 中国 四国 九州
<http://www.penta-ocean.co.jp/>

 五洋建設株式会社

Zenitaka



時を超え、持続する価値創造を

変わり続ける社会にあって、変わらない私たちの思い。

銭高組は、創業以来

「社会から認められ社会から求められる企業」として歴史を刻んできました。

次代に豊かな環境を残すため、新たな価値を創り続けます。

Since 1705

 銭高組
URL <http://www.zenitaka.co.jp/>

美しい時代へ——東急グループ

Town Value-up Management

タウン バリュースアップ マネジメント

街の新たな価値創造をめざして

私たち東急建設の原点は、多摩田園都市をはじめとする渋谷や東急沿線の街づくりです。私たちはこの原点に立ち、企画提案から新築、リニューアル、建て替えに至るまで、街のライフサイクルに末永く関わっていくことによって、建物ひとつひとつではなく、お客様や生活者の視点で“まち”全体を考え、常に新たな価値の創造に努めてまいります。

街並の美観向上

定住人口の増加

Town Value-up Management

来街者の増加

資産価値の向上



東急建設株式会社
<http://www.tokyu-cnst.co.jp/>

設計品質はそのまま超小型産業用パソコンを作りました。

Windowsが快適に動作します。

サイネージ / ゲートウェイ / エッジコンピュータ

SuperCD®



電源ブチ切りに対応
DC+6V~DC+37Vのワイドな電源入力
-30°C~+60°C*の広温度範囲
※オプション固定金具使用時
PoE受電モデルをラインナップ



詳細はこちら

SuperCD®は意匠登録出願中です。
製品の仕様、デザイン、価格については、予告なく変更する場合があります。
本広告に記載した会社名、商品名は、各会社の商標または登録商標です。

URL: www.interface.co.jp

FEM 地盤解析ソフトウェア

PLAXIS

静的線形解析

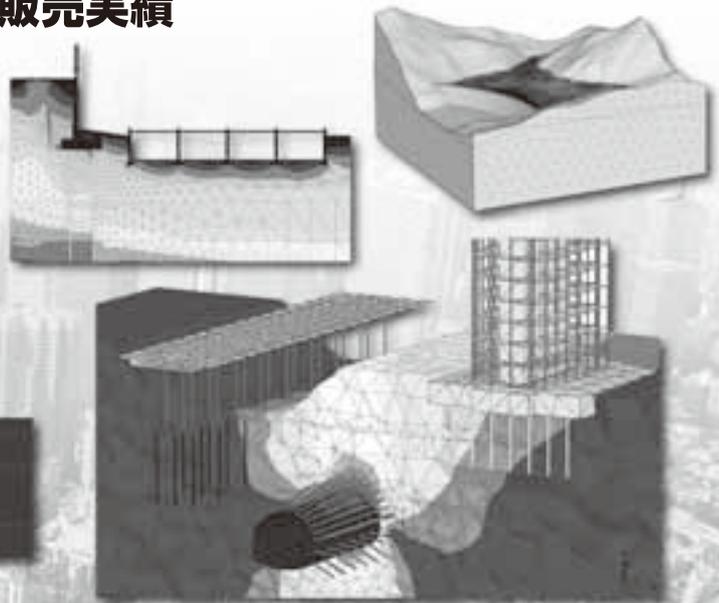
静的非線形解析

動的非線形解析

全世界で17,000ライセンスの販売実績

主な特長

- 直観的な操作画面によるモデル作成
- アンカー、ドレーンなどの専用要素
- 複雑な設定が不要な自動メッシュ生成
- 時刻歴応答解析、浸透流変形連成解析
- 圧密解析、せん断強度低減法
- スクリプト機能による作業効率化



汎用線形・非線形構造解析システム

DIANA

静的線形解析

静的非線形解析

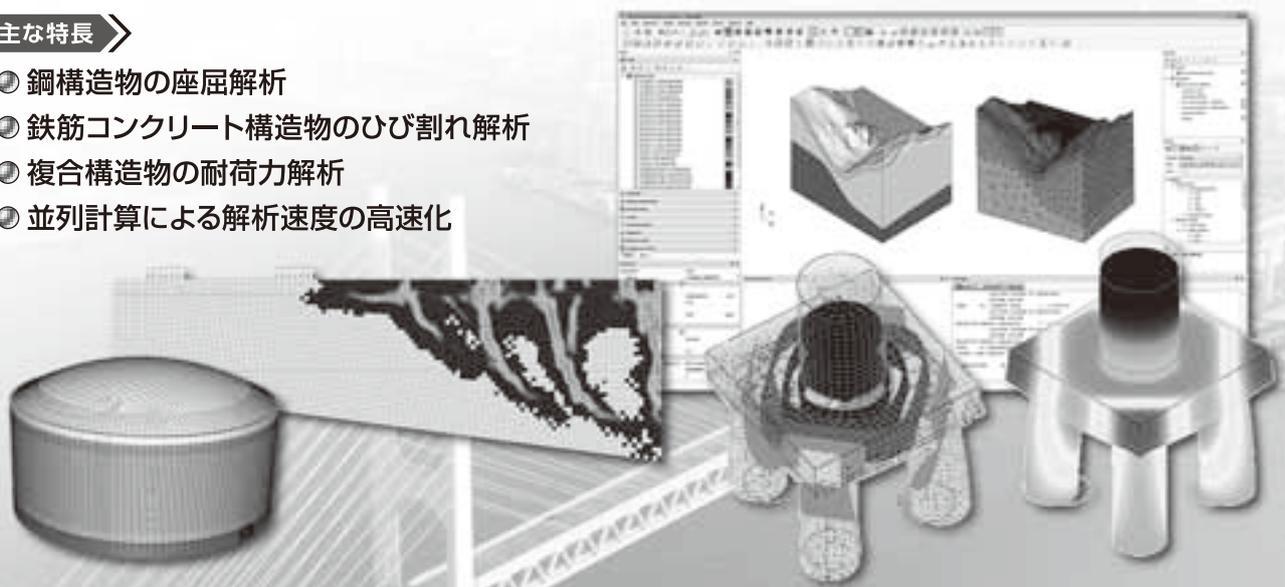
温度応力解析

動的非線形解析

非線形問題について、長年の豊富な使用実績

主な特長

- 鋼構造物の座屈解析
- 鉄筋コンクリート構造物のひび割れ解析
- 複合構造物の耐荷力解析
- 並列計算による解析速度の高速化



<https://www.jip-ts.co.jp>

詳細等は

JIPテクノサイエンス

検索

※製品名は各社の商標または登録商標です。

JIP JIPテクノサイエンス株式会社
解析ソリューション事業部

【東京】東京都中央区日本橋茅場町 1-2-5 TEL:03-5614-3204
【大阪】大阪府大阪市淀川区西中島 2-12-11 TEL:06-6307-5462

✉ 共通 E-mail. fem_sales@cm.jip-ts.co.jp

マスコンクリートの3次元温度応力解析専用プログラム

目地検討も

らくらく
温度応力

ASTEAMACS

Ver.9

DXFデータインポート機能/ヒートパイプ解析機能

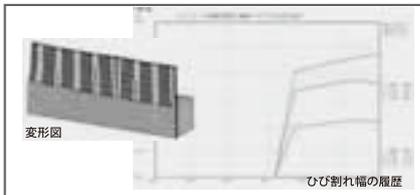
最強バージョンアップ V9 新規リリース



MACS スタンダード版

土木学会RC標準示方書 2012
JCIひび割れ制御指針2008
建築学会マスコン指針に準拠

マスコンクリートの温度応力検討専用開発されたシステムで、土木学会標準示方書・建築学会マスコン指針に準拠しています。コンクリート打設に伴う境界条件の変化や水和発熱・養生条件などを考慮した3次元非定熱伝導計算と強度発現を伴う温度応力計算を一貫して行なうことが出来ます。プリ・ポスト機能を重視し、標準データベースのデフォルト設定など解析初心者にも優しい設計となっております。自動メッシュ機能と条件自動設定のできる定形パターン10タイプが自動作成できます。(CS 機能完全内蔵)



	パイプクーリングなし	パイプクーリングあり
経験最高温度		
経験最小ひび割れ指数		

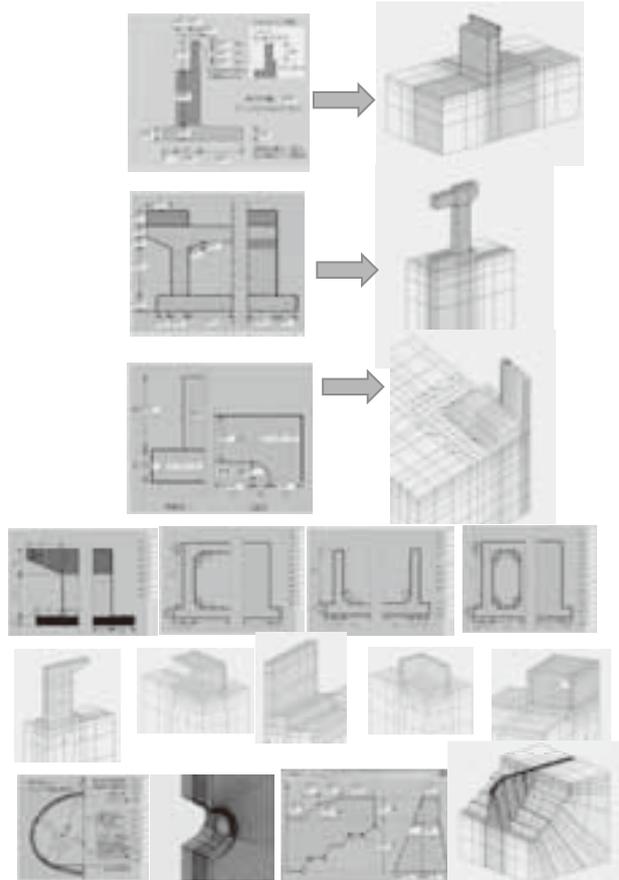


現場向けオートメッシュ搭載MACS

MACS CS Construction Site

現場の技術者が手軽に温度応力評価ができます。スタンダード版との互換性があるので、更に詳細な検討につなぐことが可能です。解析対象構造を限定し、主要な機能のみのコンパクト版です。メッシュ、物性データ、境界条件の自動設定により、作業時間を大幅に短縮できます。

サイズを入力すると自動的にメッシュが完成します。



ASTEAMACS for Windows スタンダード版			MACS-CS
年間ライセンス	3ヶ月ライセンス	1ヶ月ライセンス	年間ライセンス
400,000円~	250,000円~	180,000円~	300,000円

上記はすべてサポート込の価格です。

学会 on the WEB

■オンラインソリューション例



学術研究機関をオンラインシステムでサポートします。

秋田活版印刷株式会社では、土木学会はじめ各学会・研究機関の論文集・講演集の編集印刷製本はもとより、オンライン投稿システム・査読システム等の提供により、研究者の時間というコスト、事務局の経費というコストの削減をお手伝いするとともに、リアルタイムでの管理システムを実現します。

セキュアな環境で提供するオンラインシステムは、投稿の負担軽減、管理の効率化はもちろんのこと、デジタルデータ収集により学会誌・論文集・講演集・予稿集等の刊行物やCD-ROM・DVD・WEBコンテンツと幅広い活用が出来ます。

URL <http://www.kappan.co.jp/>
Kappan
E-mail info@kappan.co.jp

■運用実績・事例はお問い合わせください

秋田活版印刷株式会社

〒011-0901 秋田県秋田市寺内三千刈110-1
TEL 018-888-3500 FAX 018-888-3505





今日も、未来を
つくっています。

ビルを建てる。橋を架ける。道を繋ぐ。街を築く。

そのひとつひとつが未来の一部になっていく。

未来が仕事。それは、私たちの誇りです。

今日も、世界中の現場で、

未来が着々と生まれています。



時をつくる ところで創る



OBAYASHI

大林組



想像を、チカラに。



フランス人の小説家、ジュール・ヴェルヌが残したという言葉があります。「人が想像できることは、必ず人が実現できる」

100年以上も前に彼が空想したロケットや携帯電話が、世界の常識になっている今日。私たちは、「想像」の可能性を否定することはできません。いま、私たちが建設するひとつひとつが、地球の上でどんな存在なのかが問われる時代。これから築かなければいけないのは、人と地球のいい関係です。100年先、200年先、ずっと先の未来まで。私たちは、想像します。たとえいま困難に思えることでも、やがて世界の常識になる日が来るために。

人が想像できることは、必ず人が実現できる。鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。



自然を教える、 いちばんの近道になりそうだ。

子どもには、ドロまみれになるまで遊んで欲しい。

ちょっと山や海までと思うものの、遠出は道が混んで億劫だった。

それが今度、あの道がつながるといふから渋滞知らずで行けるかもしれない。

さあ、次の週末はどこへ行こうか。

つながる道路で、 行きたかったあちこちへ、速くスムーズに。

家族の心まで近づきたい。清水建設のしごとのひとつです。

圏央道(首都圏中央連絡自動車道)

圏央道は、都心から半径およそ40~60kmの位置に計画された、延長約300kmの高規格幹線道路です。首都圏の広域的な幹線道路網を形成する「首都圏3環状道路」の一番外側に位置する環状道路で、道路交通の円滑化、環境改善、沿線都市間の連絡強化、地域づくり支援、災害時の代替路としての機能など多くの役割を担います。

圏央道桶川北本地区函渠その2工事



※の区間の開通時期については土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合



圏央道桶川北本地区函渠その2工事

圏央道の鶴ヶ島JCT(関越道)と久喜白岡JCT(東北道)間の一部に箱型函渠を施工しました。

ストック効果

圏央道
(首都圏中央連絡自動車道)

子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION
清水建設

世界中に、
私が必要とされる
場所がある。

地図に残る仕事。®

 **大成建設**

TAISEI

For a Lively World





人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ。

かつて先人たちが理想を追い、
実現してきたデザインや技術は、
現代に伝統として受け継がれています。

竹中工務店は、その伝統を

尊びながら、常に新しい

価値や試みを取り入れ、

革新的なデザインや技術を

創り出すことを目指しています。

人と自然が共に豊かになるには

どうしたらいいのか、

未来の環境をつくる使命を持って

新しい建築を

世に送りだしていきたい。

そして、10年後、20年後、100年後、

その建物が新しい「伝統」になり、

未来の建築家たちの

礎になることを願っています。

「最良の作品を世に遺し、

社会に貢献する」

竹中工務店は、この経営理念のもと、

建築の可能性を追い求めていきます。

竹中大工道具館（兵庫県神戸市）
設計施工：竹中工務店

想いをかたちに 未来へつなぐ

 TAKENAKA

メットフォンIII レシーバー



見学者も案内者も、より安全・快適に。
革新的なワイヤレス音声ガイドを、「メットフォンIIIレシーバー」が実現します。

周囲の音も聞こえる

ガイド音声だけでなく、周囲の音や声も聞こえ安全です。

離れた場所や大人数でも

通信可能な距離圏内であれば、場所や人数の制限無く使用できます。

案内係の効率アップ

快適な使用感、多彩な機能、さらにお手入れも手軽に行えるので、業務の更なる効率化が期待できます。

ハンズフリー/イヤーフリー

ハンズフリーはもちろん、耳にも機器装着の必要がないので、イヤーフリーで快適にご利用いただけます。

グループ分け可能

周波数によるチャンネルの設定ができ、それぞれのグループのみに声を届けることも可能です。

ヘルメットに簡単装着

お手持ちのヘルメットに簡単に装着できます。充電時の取り外しも不要です。



従来品

- 耳の形に合わず、痛くなったり、イヤーハンガーが外れてしまう…
- トランシーバーが重く、機器の扱いにも気をを使う…
- 周囲の音が聞き取りづらくて危ない…
- コードの巻き取りが大変

メットフォン

- イヤーフリーなので、耳が痛くなる、すぐ外れるなどのストレスなし！
- ハンズフリーなので両手が自由に使える！
- 軽量でヘルメットにも簡単装着！音量もボタン一つで手軽に操作！
- 紙帽子との併用で、衛生面も安心！



POINT 1

騒音下でもクリアに聞こえる

取り付けるだけでヘルメット全体がスピーカーの役割をし、頭から音が聞こえるため、騒音下でも案内者の声クリアに聞こえます。耳を塞いでしまうことや周囲の音が聞こえなくなることもないので安全性能も非常に高いです。

POINT 2

スイッチオンでかぶるだけ

見学者・案内者ともに「なかなか耳の形にフィットせず、イヤホンが外れてしまう、耳が痛くなってしまふ」という、イヤーハンガータイプやヘッドセットタイプ受信機でのトラブルを、大きく改善することができます。見学者はヘルメットをかぶるだけなので、耳へのストレス・負担が一切ありません！

POINT 3

衛生的で管理もラクラク

見学者の方々はヘルメットの下に使い捨ての紙帽子を併用し装着するだけなので、衛生面についても安心してご利用頂けます。また管理者側も、耳に直接触れるパーツがないため消毒作業も要らず、ヘルメットに装着したままでも充電可能なので、管理やお手入れが非常に手軽になります。コードの巻き直しも要りません。





地震によるアスファルト舗装の 亀裂、段差を抑制する

地震対策型段差抑制工法

HRB工法

Hazard-Reducing Bed

地震直後の 車両交通が可能

地震によるアスファルト舗装の崩壊を防止するとともに亀裂や段差の発生を抑制し、地震直後も車両の通行を可能にします。

特長

短い工期と経済性

地盤改良等の地盤耐震対策工法と比較し、短期間で、安価に構築できます。

本復旧も容易

複合剛性層は簡単に撤去でき、本復旧も容易に行えます。

用途

大規模地震対策として

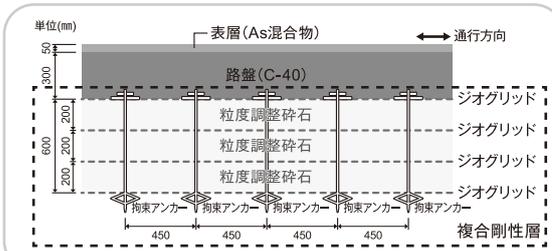
- 重要路線
- 緊急輸送道路
- 緊急車両基地
- 埋設構造物前後
- 構内道路

地震以外の用途として

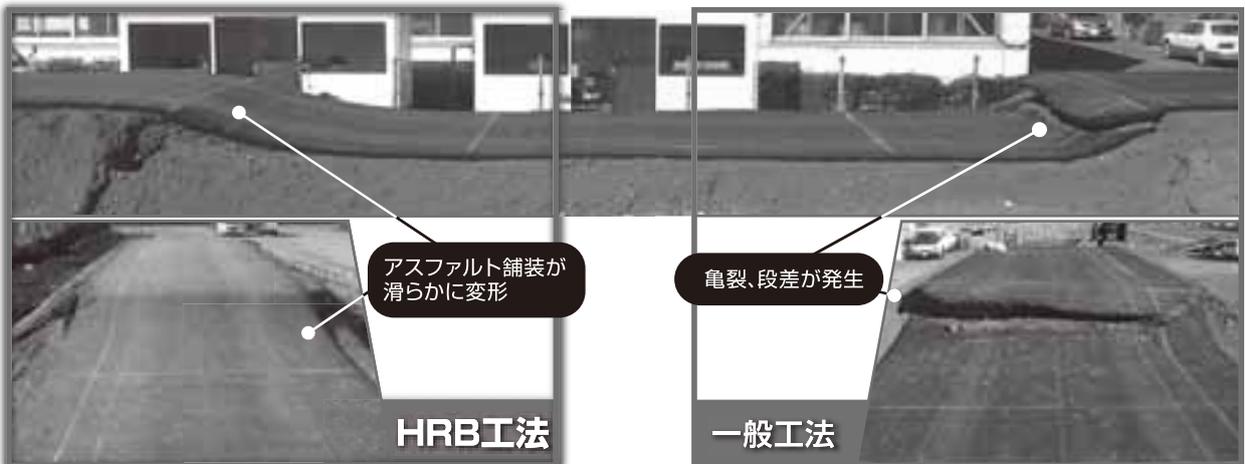
- 軟弱地盤上の道路高盛土
- 急速施工盛土上の道路

複合剛性層構造

粒調碎石を低ひずみ・高強度のジオグリッドでサンドイッチ状に3段に重ね、特殊な拘束アンカーを一定間隔で打ち込んで複合剛性層を構築します。複合剛性層は、地盤の変形に滑らかに追従するとともに車両荷重も支えます。



強制沈下実験 (地盤沈下量=55cm)



HRB工法

一般工法

※HRB工法は中央大学研究開発機構、株式会社NIPPO、前田工織株式会社が産学連携共同研究により開発した工法です(特許第5261121号)

『続けるチャレンジ』

社会インフラ創造企業として、未来を切り開く技術革新にチャレンジし続け、既存の社会インフラ資産の再生・改良など安全・安心な社会の維持に貢献します。



平成28年度土木学会田中賞作品賞受賞
関越自動車道 片品川橋(耐震補強設計)



平成28年度土木学会田中賞作品賞受賞
首都高速1号羽田線 勝島地区(PC橋ゲルバー連結設計)



株式会社 **オリエンタルコンサルタンツ**

ORICONSUL



紙は情報だけでなく
もつと熱いものも
伝えてきた

私たち印刷業は紙に固執をしているわけではありません。アナログとデジタルの共存を見据え、様々な情報を適材で後世に残すことが私たちの使命だと考えています。

情報を伝えるデジタルコンテンツ
記録として残す紙

それぞれの長所に適した形で私たちは社会に貢献したいと思っています。

あの頃に紙から受けた熱い情熱を「今」というフィルターで「次」へと伝えていきます。



デジタルと共存する印刷

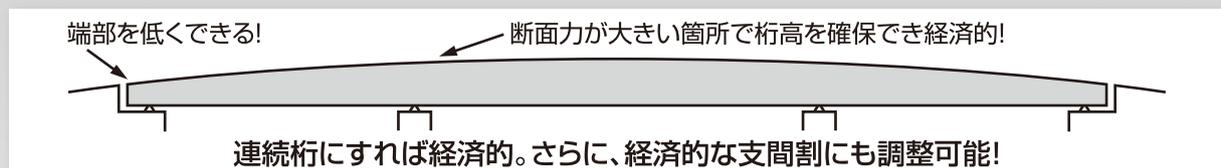
株式会社 大 應

<http://www.dai-oh.co.jp>

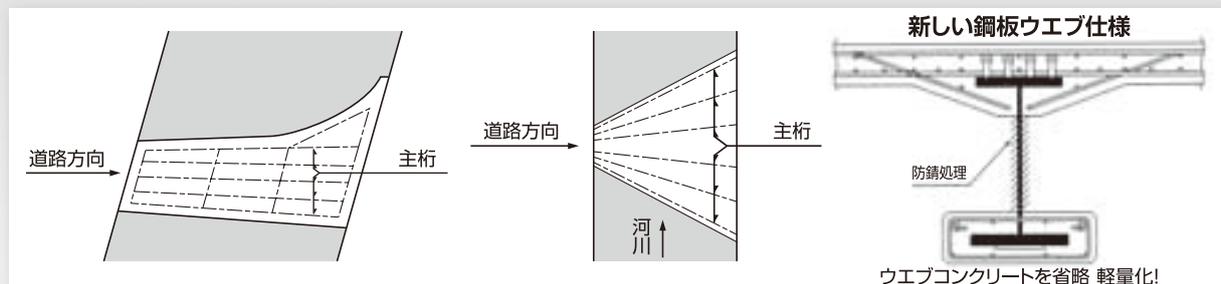
桁高変化が得意なプレビーム桁橋



- 桁剛性が高く、低い桁高が可能!
- 分割工法、連続桁が可能!
- 道路縦断に合わせ、必要な桁高に変化が可能!



- 他形式では困難とされる道路線形に対応可能!



- 鋼板ウェブ仕様で、死荷重低減・コストダウンが可能!
- 45年以上・1,000橋以上の実績があり、信頼される橋梁!

「カタログ」「設計・施工指針」「標準設計集」「設計・製作・施工要領書」「点検要領(案)」の図書販売、無料の設計計算プログラム、橋梁の実績等をホームページで公開中!

<http://www.prebeam.jp>

プレビーム振興会

事務局 〒114-0023 東京都北区滝野川 1-3-11 TEL(03)3915-5394

東北支部 〒980-0021 仙台市青葉区中央 1-6-35 TEL(022)266-8887
 中部支部 〒460-0008 名古屋市中区栄 2-4-1 TEL(052)223-8211
 北陸支部 〒939-1593 富山県南砺市苗島 4610 TEL(0763)22-6669
 関西支部 〒550-0013 大阪市西区新町 2-4-2 TEL(06)6532-4174
 九州支部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-5-19 TEL(092)431-7345

プレビーム振興会会員

- (株)IHIインフラ建設
- (株)安部日鋼工業
- 川田建設(株)
- 川田工業(株)
- 極東興和(株)
- コアツ工業(株)
- 昭和コンクリート工業(株)
- ドービー建設工業(株)
- 日本高圧コンクリート(株)
- (株)日本ピーエス
- (株)ピーエス三菱
- 東日本コンクリート(株)
- (株)富士ピー・エス

賛助会員

- 協立エンジ(株)
- (株)駒井ハルテック
- エムエム建材(株)



美しく、
快適な
地球環境づくり
邁進するに

Environment and new energy
環境・新エネルギー

小水力・地熱発電等のクリーンエネルギー
事業の展開
東南アジア諸国の地元企業と連携した
生活環境改善を目指すエコ事業の展開

Healthcare, welfare, construction
医療・福祉・建築

ITS 技術を駆使したデマンドパス
事業など医療・福祉と連携した地域
交通システムの整備
地域の交流と発展に寄与する新たな
建築設計

Improvement of country foundation
国土基盤整備

国土強靱化施策に対応する安全・安心で
豊かさを実感できる国土づくりを目指して
「技術の長大」の復活と発展
世界に誇る長大橋梁技術のさらなる
国外発展

人・夢・技術

株式会社 長大

www.chodai.co.jp

次世代へ届ける確かな技術 PC建協の未来への挑戦



会 長 菅野 昇孝

副 会 長 藤井 敏道

副 会 長 井岡 隆雄

副会長・専務理事 上野 進一郎



一般社団法人

プレストレスト・コンクリート建設業協会 [略称]

JAPAN PRESTRESSED CONCRETE CONTRACTORS ASSOCIATION PC建協

〒162-0821 東京都新宿区津久戸町4番6号 第3都ビル

TEL.03-3260-2535 FAX.03-3260-2518

<http://www.pcken.or.jp/>

Design for Next Age

次代への構想

建設コンサルタントに求められるもの。
その変化をとらえて、次の世代、次の時代に受け入れられる
社会資本整備に貢献していきます。



株式会社 東京建設コンサルタント
TOKEN C. E. E. Consultants Co., Ltd.

〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-15-6 TEL.(03)5980-2633 FAX.(03)5980-2601

<http://www.tokencon.co.jp/>

支社・支店：東京本社、関西本社、東北支社、北陸支社、中部支社、中国支社、四国支社、九州支社、北海道支店

事業内容

河川計画、河川構造物、河川環境、水質保全、上下水道、道路、橋梁、交通、海岸、ダム、砂防、港湾、環境アセスメント、観測技術、模型実験、都市・地域計画、事業執行マネジメント、防災、LCM、機械電気設備技術、情報通信技術、測量・地質調査、施工管理、建築設計



人を想い 社会を創る

人々の暮らしに想いを馳せ、技術の力を発揮することが私たちの使命です。
安全なインフラ整備で社会を支え、安心して暮らせるように。
道路や橋を人々が行き交い、豊かに発展できるように。
自然環境とも調和し、潤いのある生活が広がるように。

私たちは日本で最初の建設コンサルタントとして、
70年以上にわたってこの想いのもと、歩んできました。
そして、これからも。
高い技術とあふれる英知で、
安心して暮らせる明るい社会を創り続けます。

世界に誇れる技術と英知で、安全で潤いのある豊かな社会づくりに挑戦する

CTI 株式会社 **建設技術研究所**

〒103-8430 東京都中央区日本橋浜町3-21-1 (日本橋浜町Fタワー) TEL.03-3668-0451 <http://www.ctie.co.jp/>



Pacific
Consultants

Producing
The Future™

Minami Honmoku Hama Road
Detailed designed by Pacific Consultants

PRODUCING THE FUTURE

Pacific Consultants is sensitive to modern social issues
and offers a new vision for the future

 パシフィックコンサルタンツ株式会社

〒101-8462 東京都千代田区神田錦町三丁目22番地

地域本・支社：北海道、東北、北陸、大阪、中部、中国、四国、九州

www.pacific.co.jp